

2014 年度 博士学位請求論文

日本語と中国語における漢字同形 異義語の意味的相違に関する研究

— 『日中辞書』『中日辞書』における辞書的解釈の問題点及び辞
書編纂の諸問題をめぐって—

任 川海(にん せんかい)

目次

序章.....	9
(1) 本研究の目的.....	9
(2) 日本語と中国語の漢字同形語にかかわる先行研究に関する検証.....	12
(3) 『中国語と対応する漢語』に関する検証.....	26
(4) 研究意義及び本論文の構成.....	32
注と参考文献.....	36
第1章 意味のずれのある漢字同形語パターン（第1パターン）の考察（1）	40
第1節 中国語の“清潔”と日本語の「清潔」の意味的相違.....	42
(1) 古代中国語における“清潔”の種々相.....	43
(2) 中国語の“清潔”と日本語の「清潔」における共通点と相違点.....	44
(3) 日本語の「清潔」に対応する中国語訳及び中国語の“清潔”に対応する日本語訳の総合的考察.....	49
結語.....	59
第2節 中国語の“衛生”と日本語の「衛生」の意味的相違.....	63
(1) 中国語の“衛生”と日本語の「衛生」の主たる相違.....	64
(2) 現代中国語の“衛生”の由来.....	70
結語.....	71
第3節 中国語の“接触”と日本語の「接触」の意味的相違.....	74
(1) 人間と人間が接触する場合.....	75
(2) 人間と物体、人間とモノが接触する場合.....	89
(3) 物体と物体、モノとモノが接触する場合.....	94

結語.....	101
第4節 中国語の“紧张”と日本語の「緊張」の意味的相違.....	105
(1) 「人間」に用いられる中国語の“紧张”と日本語の「緊張」.....	105
(2) 物事の状態に用いられる中国語の“紧张”と日本語の「緊張」.....	111
結語.....	116
注と参考文献.....	119
第2章 意味のずれのある漢字同形語パターン（第1パターン）の考察（2）	
.....	121
第1節 中国語の“他人”“別人”と日本語の「他人」「別人」の意味的相違	
.....	121
(1) 日本語の「他人」と中国語の“他人”の使い方の特徴.....	122
(2) 日本語の「別人」の中国語訳の特徴.....	126
(3) 中国語の“別人”の日本語訳の特徴.....	129
結語.....	130
第2節 中国語の“人种”と日本語の「人種」の意味的相違.....	134
(1) 中国語と日本語における共通の用法.....	134
(2) 中国語には見られない日本語の「人種」の用法とその中国語訳.....	138
結語.....	139
第3節 中国語の“达人”と日本語の「達人」の意味的相違.....	142
(1) 中国語における“达人”の使い方の特徴.....	142
(2) 中国語の“达人”と日本語の「達人」の意味的相違.....	153
結語.....	159
第4節 中国語の“人气”と日本語の「人気」の意味的相違.....	161
(1) 古代中国語、現代中国語における“人气”の意味.....	162

(2) 日本語における「人気」の意味	165
(3) 中国語と日本語における「人気」（世間の評判）の意味や用法の相違	168
結語.....	174
第5節 中国語の“第三者”と日本語の「第三者」の意味的相違	176
(1) 中国語の“第三者”と日本語の「第三者」の共通の意味.....	176
(2) 日本語には見られない中国語における“第三者”の意味.....	178
結語.....	180
注と参考文献	181

第3章 意味のずれのある漢字同形語パターン（第1パターン）の考察（3）

.....	185
第1節 「問題」にみる中国語における慣習的な表現	185
(1) 中国語の“问题”と日本語の「問題」の共通の用法.....	185
(2) 中国語の“问题”と日本語の「問題」の微妙な相違.....	193
(3) 中国語独特の“问题”の用法	194
結語.....	197
第2節 「要求」「条件」からみる中国語における慣習的な表現.....	200
(1) 中国語の“要求”と日本語の「要求」の共通の用法.....	200
(2) 中国語独特の“要求”の用法	201
(3) 中国語の“条件”と日本語の「条件」	205
結語.....	209
第3節 「状況」「情況」からみる中国語における慣習的表現.....	212
(1) 中国語の“情况”“状况”と日本語の「情況」「状况」の共通の用法	212

(2) 中国語独特の“情况”“状况”の用法	214
結語.....	216
第4節 中国語の“参加”と日本語の「参加」の意味的相違に関する再考	218
(1) 王氏の中国語独特の“参加”の用法(日本語の「参加」との相違点)の 検証.....	218
(2) 王氏の日本語独自の「参加」の用法(中国語の“参加”との相違点)の 検証.....	225
結語.....	226
第5節 中国語の“气色”と日本語の「気色」の意味的相違.....	228
(1) 古代と現代の日本語の「気色」(きしよく、けしき)の意味とその中国 語訳	228
(2) 古代中国語と現代中国語の“气色”の意味及びその日本語訳.....	230
(3) 「気色が悪い」「気色ばむ」の意味及びその中国語訳.....	232
結語.....	233
注と参考文献.....	235
第4章 意味が相当(もしくは完全に)異なる漢字同形語パターン(第2パター ーン)の考察.....	237
第1節 中国語の“帮助”“助长”と日本語の「帮助」「助長」の意味的相違	238
(1) 中国語の“帮助”と日本語の「帮助」の意味的相違.....	238
(2) 中国語の“助长”と日本語の「助長」の意味的相違.....	243
結語.....	248
第2節 中国語の“改正”と日本語の「改正」「改定」の意味的相違.....	250

(1) 日本語の「改正」の用い方の特徴	250
(2) 日本語の「改正」と「改定」との意味的相違	253
(3) 中国語の“改正”の用い方の特徴	255
結語.....	258
第3節 中国語の“深刻”と日本語の「深刻」の意味的相違.....	260
(1) 中国語における“深刻”の使い方と日本語訳の特徴.....	260
(2) 日本語における「深刻」の使い方及び中国語訳の特徴.....	276
結語.....	282
第4節 中国語の“人間”と日本語の「人間」の意味的相違.....	285
(1) 古代と現代における日本語と中国語の「人間」	286
(2) 日本語の「人間」とその中国語訳	289
(3) 日本語の「人間」と「人」の使い分け	296
結語.....	303
第5節 中国語の“心中”と日本語の「心中」の意味的相違.....	305
(1) 古代と現代における日本語の「心中」の意味や用法.....	305
(2) 古代中国語と現代中国語の“心中”の意味や用法.....	307
(3) 現代日本語の「心中(しんちゅう)」とその中国語訳.....	308
(4) 現代日本語の「心中(しんじゅう)」とその中国語訳.....	309
結語.....	310
第6節 中国語の“正体”と日本語の「正体」の意味的相違.....	312
(1) 「正体」の辞書的解釈の検証	312
(2) 日本語の「正体」とその中国語訳	314
結語.....	316
第7節 中国語の“迷惑”と日本語の「迷惑」の意味的相違.....	318
(1) 中国語における“迷惑”の使い方とその日本語訳の特徴.....	318

(2) 日本語における「迷惑」の使い方及び中国語訳の特徴.....	323
(3) 中国語の“迷惑”と日本語の「迷惑」の意味的相違.....	327
結語.....	328
注と参考文献.....	330

第5章 中国語と日本語における漢字形態素「化」「素」「横」を伴う漢字同形語の考察..... 332

第1節 中国語と日本語における「化」を伴う漢字同形語の意味的相違及び接尾辞「化」の役割..... 332

(1) 中国語と日本語における「化」を伴う漢字同形語の意味的相違.....	333
(2) 日本語の「化」を伴う表現の中国語訳の考察	347
(3) 中国語と日本語における【漢字二文字+化】の役割.....	352
結語.....	357

第2節 中国語と日本語における「素」を伴う漢字同形語の意味的相違及び「素」を伴う表現の中国語訳..... 362

(1) 中国語の“素”と日本語の「素」を伴う漢字同形語の意味的相違..	362
(2) 中国語と日本語における「素」の意味や用法の相違.....	376
(3) 中国語にしか用いられない“素”と日本語にしか用いられない「素」の用法.....	380
結語.....	387

第3節 中国語の“横行”と日本語の「横行」の意味的相違及び日本語における「横」を伴う表現の中国語訳..... 389

(1) 中国語の“横行”と日本語の「横行」の共通点と相違点.....	389
(2) 古代中国語の“横”と古代日本語の「横」の本義と比喻義.....	396
(3) 現代中国語と現代日本語における「横」を伴う表現のマイナス評価と	

プラス評価の用法.....	398
結語.....	407
注と参考文献.....	409

第6章 漢字圏学習者の混同しやすい日本語と中国語の漢字同形語の考察.....
.....418

第1節 日中漢字同形語及び日本語の漢字類義語の意味や使い方の相違.418

(1) 中国語の“儿童”と日本語の「児童」「子供」の意味的相違.....	418
(2) 中国語の“厨房”と日本語の「厨房」「台所」の意味的相違.....	422
(3) 中国語の“行李”と日本語の「行李」「荷物」の意味的相違.....	423
(4) 中国語の“散歩”と日本語の「散歩」「散策」の意味的相違.....	425
(5) 中国語の“价格”と日本語の「価格」「値段」の意味的相違.....	430
(6) 中国語の“关心”と日本語の「関心」「興味」の意味的相違.....	433
(7) 中国語の“便利”と日本語の「便利」「重宝」の意味的相違.....	436
(8) 中国語の“学习”と日本語の「学習」「勉強」の意味的相違.....	439
(9) 中国語の“病人”と日本語の「病人」「患者」の意味的相違.....	442
(10) 中国語の“准备”と日本語の「準備」「用意」の意味的相違.....	445
(11) 中国語の“作用”と日本語の「作用」「役割」の意味的相違.....	447
結語.....	450

第2節 中国語と日本語の漢字類義語(反転語)の意味的相違..... 455

(1) 中国語の“命运”と日本語の「運命」「命運」の意味的相違.....	455
(2) 中国語の“和平”と日本語の「平和」「和平」の意味的相違.....	460
(3) 中国語の“习惯”と日本語の「習慣」「慣習」の意味的相違.....	463
(4) 中国語の“离别”と日本語の「別離」「離別」の意味的相違.....	467
(5) 中国語の“劳苦”と日本語の「苦劳」「劳苦」の意味的相違.....	470

結語.....	473
注と参考文献.....	477
終章.....	478

序章

本論文は日本語と中国語における漢字同形異義語を二分類にし、「意味が微妙に異なる漢字同形語パターン」、「意味が相当或いは完全に異なる漢字同形語パターン」に関して例文調査、日本人ネイティブを対象とするアンケート調査、また先行研究の検証を通してその意味的相違や用い方の相違について研究するものである。またこれらの漢字同形異義語の意味や用い方の考察を通して『日中辞書』『中日辞書』の辞書的解釈の問題点をも明らかにしようとする。

世界で漢字を用いている国は現在、中国と日本だけとなっている。中国語と日本語における漢字同形異義語の研究は中国人向けの日本語教育の研究において、また日本人向けの中国語教育の研究において、その意義は計り知れないほど大きなものである。

本章では(1)本研究の目的、(2)日本語と中国語の漢字同形語にかかわる先行研究に関する検証、(3)『中国語と対応する漢語』に関する検証、(4)研究意義及び本論文の構成、といった四つの節に分け、本研究の趣旨を述べることとする。

(1) 本研究の目的

日本語の語彙は大きく和語、漢語、外来語、混種語の四種に分類できる。国立国語研究所による報告書(注1)では、異なり語彙数から見て、四種のうち最も多いのが漢語であるとされている。また山田孝雄氏(1940)は『国語の中における漢語の研究』(注2)で、「現代の国語に於いて若し漢語を除き去る時は、日常の挨拶よりして、社会公私の一切の思想交換が殆ど不可能となるとも言ふべき状態に陥るべしと思はるるさまなり。」と述べている。漢語は現代日本語において、重要な役割を果たしていることは言うまでもない事実となっている。

現在使われている中国語と同様の字形を持つ日本語漢語には、「老人」、「金融」、「論文」、「留学」、「辞典」、「音楽」、「電話」、「民間」、「雑誌」のように中国語と意味が同様のものもあれば、「緊張」、「是非」、「大事」、「対象」、「東西」、「人種」など、異なるものも多く見られる。同じ意味だと思っても、よく調べると使い方が異なる場合もある。字形は同じだが、意味が多少異なる漢語には、「圧倒」、「暗号」、「意見」、「一発」、「意味」、「依頼」、「解放」、「家事」、「活動」、「下流」、「観念」、「黄色」、「機関」、「大方」、「大口」、「大勢」、「大家」、「親子」、「学芸」、「家事」、「下風」、「上手」、「寒心」、「魚肉」、「駆使」、「得意」、「文明」、「輸入」などがある。一部意味は重なるが、完全に同じとは言えない意味上のずれの研究は、漢字圏の日本語教育及び中国語教育において、極めて重要な課題であり、本研究の目的でもある。

本論文では、とりわけ、一部意味は重なるが、完全に同じではない意味上のずれの研究に力点を置くだけでなく、中国語と日本語の意味が相当、或いは完全に異なる漢字同形語をも研究対象とする。その例として、「質問」、「深刻」、「心地」、「大手」、「事情」、「人間」、「外人」などが挙げられる。上記のような語を中国人日本語学習者に指導する際の注意点に関する考察も、本研究のもう一つの研究焦点である。

本研究は上記の二つの研究課題に関して、日本語と中国語双方に日常的によく用いられ、漢字圏学習者の最も間違いやすい漢字同形異義語である「清潔」「衛生」「接触」「条件」「人気」「人種」「第三者」「気色」「緊張」「達人」「幫助」「助長」「人間」「心中」「正体」「深刻」「迷惑」を中心に考察する。その際、二つのパターンに分け、中国語と日本語における意味的相違や中国語訳などの諸問題をめぐって考察することにする。

次に「漢字同形異義語の二つのパターン」の定義を改めて説明することにする。

【第1パターン】とは、現代日本語と現代中国語において、字形は同じだが、意味が多少異なる漢字同形語を指す。さらに次のように四類の下位分類を試みる。＜第1類＞は日本語と中国語における漢字同形語の意味が重なる部分もあれば、ずれている部分もあるもの、＜第2類＞は日本語の漢語が中国語より意味領域が少し広く、中国語には見られない意味を持つもの、＜第3類＞は中国語の方が日本語より意味領域が広く、日本語には見られない意味を持つものを指す。＜第4類＞は中国語と日本語の意味がほぼ同じであるが、品詞や動作の主体などが異なるものを指す。本論文ではこの【第1パターン】の考察を中心とする。

【第2パターン】とは、現代日本語と現代中国語において、字形は同じだが、意味が相当（もしくは完全に）異なる漢字同形語を指す。【第2パターン】における漢字同形語を、さらに＜第1類＞、＜第2類＞に分けることを試みる。＜第1類＞とは意味が重なる部分があるが、使われる場合や評価の善悪など、意味や用法が相当異なる漢字同形語を指し、＜第2類＞は意味や用法が完全に異なる漢字同形語を指す。

本論文における日本語の例文は『KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス』『朝日新聞オンライン記事データベース』『Weblio 英和辞典・和英辞典』『筑波ウェブコーパス』などから抽出したものであり、中国語の例文は《CCL 语料库检索系统》《人民日报图文电子版 1946-2007 年》《人民网报刊检索》《中华基本古籍库》などから抽出したものである。辞書的解釈の調査において、『中日辞典 小学館』『中日辞典 講談社』『日中辞典 小学館』『日中辞典 講談社』『详解日汉辞典』を対象とする(注3)。

(2) 日本語と中国語の漢字同形語にかかわる先行研究に関する検証

ここ 35 年間の、日本語と中国語の漢字同形語に関する研究は主として下記の 6 領域にまとめられる。

- (1) 日中漢字同形語の意味や用法に関する対照研究
- (2) 日中漢字同形語の翻訳の諸問題に関する対照研究
- (3) 日中漢字同形語における反転語（“同素逆序词”）の対照研究
- (4) 日中漢字同形語の字形に関する対照研究
- (5) 日中漢字同形語の辞書的解釈の研究
- (6) 語彙交流史の視点による日中漢字同形語の対照研究

筆者は中国国内で代表的な研究誌である《日语学习与研究》（注 4）、また日本で代表的な研究誌である『日本語教育』（注 5）を対象に、日中漢字同形語にかかわる先行研究を調査した。この調査を通して中国と日本におけるこの領域の研究状況を把握し、本研究とのかかわり、本研究の位置づけを明らかにすることとする。

調査研究 (1) 中国对外经济贸易大学編 《日语学习与研究》(1979～2013)

筆者が中国国内で刊行されている日本語研究の学術誌《日语学习与研究》(1979～2013) を調べたところ、日中漢字同形語に関する論文は 31 本あった。上記に挙げた 6 領域における論文の本数や総数の割合を次の表にまとめることとする。

【表 1】《日语学习与研究》(1979～2013) の日中漢字同形語の 6 領域の論文の割合

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
11 (36%)	2 (7%)	3 (9%)	0 (0%)	0 (0%)	15 (48%)

【表 1】から分かるように、日中漢字同形語に関する論文のうち、(6) 語彙交流史の視点による日中漢字同形語の対照研究の論文は 15 本で、6 領域で最も多く、日中漢字同形語の論文の総数の 48% を占めている。それに次いで、(1) 日中漢字同形語の意味や用法に関する対照研究の論文は合計 11 本で、日中漢字同形語研究の論文の総数の 36% を占めている。続いて、(3) 日中漢字同形語における反転語（“同素逆序詞”）の対照研究の論文は 3 本(9%を占める)、(2) 日中漢字同形語の翻訳の諸問題に関する対照研究の論文は 2 本(7%を占める)、日中漢字同形語の字形に関する対照研究の論文は 0 本であることが分かった。

以上の調査により、日中漢字同形語の対照研究では、日中語彙交流史の視点による研究及び日中漢字同形語の意味や用法を中心とする研究が最も多く、日中漢字同形語に対応する訳語の問題を中心とする研究や、字体を焦点とする研究が極めて少ないことを確認することができた。

香坂順一氏（1980）は、《日语学习与研究》に掲載された「日中両国語の同形語について」で、「日中両言語に漢字同形語が数多く存在するのは漢字圏の日本語学習者にとって大きなメリットであるが、そのメリットに安住しては往々にして誤用を起こしてしまう」と注意喚起を呼びかけた。氏は「爆発」「信任」「品質」「要求」「分配」「解釈」「緊張」「文化」「表現」「改正」を取り上げ、その意味や用法の相違を述べた。氏は中国語の“表現”と日本語の「表現」の意味や用法の相違に関して、“他表现很好”を通常「彼の言動はたいへんよい」と訳すように中国語の表現は日本語の「言動」に最も近い意味であると指摘している。しかし、中国語の“表現”はそのほかに「ひけらかす」というややマ

イナスの意味にも使われる。“她爱表现自己”は日本語では「彼女は自分をひけらかすのが好きだ」と言う。また、中国語では“表现欲”という表現がよく使われるが、得意そうに見せる、見せびらかす、自慢するなど「自分をひけらかす欲」という意味である。30年も前の氏の指摘は日本語と中国語の漢字の意味の対照研究において、辞書編集においても大きな意義があった。が、中国語の“表现”の用法は極めて多く、その日本語訳に絞ってもまだまだ不足する点が多いと見られる。

氏の論文をきっかけに、それ以降、中国国内で日中漢字同形語に関する対照研究が本格的に、より活発に行われるようになったと言える。

李進守氏（1983）は「中日两国同形词的对比研究 —以“门”“上手”“今日”“得意”四个词为例」で、日中漢字同形語を「同形同義語」「同形異義語」「同形類義語」の三種類に分け、そのうち特に中国人学習者がよく間違える「同形類義語」に属する「門」「上手」「今日」「得意」を中心に、日中漢字同形語の意味や用法に関する比較的考察を行った。が、氏の同論文には“油门”（アクセル）、“柜门”（戸棚の扉）、“炉门”（ストーブのたき口）のように開閉できる機械や器物の部分など、現代中国語でよく使われる“门”の意味に関する記述が漏れている。それを補完すべきであると指摘したい。また、氏は日中漢字同形語には三種類あり、そのうち最も多いのは意味や用法が完全に同じものであると主張している。しかし、その結論を裏づけるものがなく、他の研究成果に関する引用も見られないため、信憑性が不足すると言わざるをえない。

趙福堂氏（1983）は「关于中日同形词的比较研究」で李進守氏と同様、日中漢字同形語を「同形同義語」「同形異義語」「同形類義語」の三つに分類し、そのうち特に中国人学習者が間違いやすい「同形類義語」の研究に力を入れるべきであると提唱している。また、日本語の漢字語には上記の同形語のほかに、「楊枝」「農産物」「下宿」など、漢字形態素が同じでありながら中国語には見

られない「不完全同形語」が存すると指摘し、さらに氏は同形語であるか否かを判断する場合、「語幹を見るが語尾を見なくともよい」と提案しており、「新しい／新」「走る／走」を日中漢字同形語に入れるべきであると主張している。

上記の李進守氏、趙福堂氏による「同形同義語」「同形異義語」「同形類義語」の日中漢字同形語の三分類は、現在、日中漢字同形語の研究において広く使われている。ただし、「同形同義語」とされる語には微妙な使い方の相違が多く見られ、「同形同義語」とすべきか「同形異義語」とすべきかという問題が浮上してくる。筆者は、本論文でこのような微妙な使い方の相違をもつ語を「同形異義語」の【第1パターン】に分類し、その考察にスポットをあてることを本研究の特色とした。

趙福堂氏の「新しい／新」「走る／走」を「日中漢字同形語」に入れるという提案について、筆者は日本語の「新しい」と中国語の“新”、日本語の「走る」と中国語の“走”の対照研究は重要だが、「日中漢字同形語」の「同形」にこだわれば、やはり失格になると考える。「日中漢字同形語」の研究領域はこれ以上拡大せずに、「同形」の漢字に限定した方が良いと筆者は主張する。

また、断っておくが、本論文で言う「同形漢字」とは「楊枝」「農産物」の「楊」(杨)、「農産」(产物)のように日本語の漢字は中国語の「簡体字」と「同形」ではないが、中国語の「繁体字」と同じ形である場合、「日中漢字同形語」とする。

次に、引き続き《日语学习与研究》に掲載される先行研究について説明する。

姚俊元氏(1988)は「“字同义异”的中日汉字」「“字同义异”的中日汉字(1)」「“字同义异”的中日汉字(2)」で日中両言語における字形は同様であるが意味が異なる漢字、とりわけ日本語と中国語における一字漢字の「兜」「猪」、二字漢字の「愛人」「一番」「縁故」「遠慮」「外人」「会費」の相違を分析している。氏は同論文で「外人」を中国語では“外国人”(外国人)を指すと説明し

ている。が、日本語の「外人」は「外国人」という意味である点は間違いではないが、中国人や東南アジアの人には「外人」とは言わず、欧米系の外国人を指す場合に用いられることが多いと思われる。この点を補って説明しなければ、中国人学習者は「外人」を誤用しかねない。また、中国語の“活跃”と日本語の「活躍」、「交代」と「交代」、「肯定」と「肯定」、「心得」と「心得」など、一部の漢字同形語に関して、氏はそれぞれその意味を説明しているが、肝心な両者の意味的相違には触れていない。補足説明すべきであると指摘したい。

計鋼氏（1986）は「日語的<趣味><興味>和汉语的“趣味”“兴味”“兴趣”的异同」で日本語の「趣味」「興味」と中国語の“趣味”“兴味”“兴趣”を対象に、その意味や用法の相違を論じている。氏は中国語の“兴趣”に対応する日本語訳の特徴を分析した上、四字熟語などを訳す場合、中国語の“趣味”“兴味”と日本語の「趣味」「興味」は互いに対応でき、中国語の“兴味”は日本語の「趣味」と「興味」に訳すことができると指摘している。筆者は日本語の四字熟語を中国語に訳す場合、中国語の“趣味”“兴味”と日本語の「趣味」「興味」が互いに対応できるのは現代中国語と現代日本語の使い方は完全に同じではないが、古代中国語と現代日本語の使い方が同じであるからだとしている。

潘钧氏（1995）は「中日同形词词义差异原因浅析」で「日中漢字同形語の定義」「日中漢字同形語の研究の現状と方法」「日中漢字同形語の意味による分類」「日中漢字同形語に意味的相違が生じる原因」などに関して考察している。氏の「日中漢字同形語に意味的相違が生じる原因」に関する記述に初歩的な誤りがある。詳しくは<注6>を参照されたい。

王永全氏（1997）は「学习日语时要注意对同形词语的辨析」で中国人学習者がよく間違える「一刀両断」「隔靴搔痒」「五十步百步」「立場」「政客」など、中国語と日本語における同形の四字熟語、慣用語及び二字漢語を取り上げ、その意味的相違を解析し、また不備のない優れた日中辞典、中日辞典の編纂の重

要性を強調している。しかし氏は論文で「同工異曲」「急転直下」など取り上げた一部の同形語の四字熟語について、その辞書的解釈を列挙するだけに留まり、語義の違いに触れなかった点が致命的であると指摘したい。

翟東娜氏（2000）は「浅析汉日同形词的褒贬色彩与社会文化因素」で「執着」「策略」「経験」「教訓」などの同形語を取り上げ、そのプラス評価の意味とマイナス評価の意味、さらにそれに関連する社会文化の要素に関して比較研究を行っている。氏は同論文で日本語の「策略」は相手、敵のことを示す場合に使われ、マイナス評価の意味合いを持つ。一方、中国語の“策略”は自分、友人のことを示す場合に使われ、プラス評価の意味合いを持つと主張している。しかし中国語の“策略”は自分、友人だけでなく、“敌人的策略”のように敵のことを言う場合と、“他们的策略”“他的策略”のように第三人称を言う場合にも使われることから、プラス評価の意味合いだけでなく、ニュートラルな意味合いも持つと指摘しておきたい。

王锐氏（2006）は「日语四字成语与汉语成语在词形、词义上的比较」で日中両言語における四字熟語の語形と語義の比較を試みた。氏は日本語の四字熟語を①中国語と同形のもの、②語形の異なるもの、の2種類に分け、また、①をさらに語義が同様のものと語義が異なるものに分類して論を進めた。語義が異なる原因として、日本人がそれを取り入れたときに勝手にその語義を解釈したこと、と中国人が使っている間に誤用が起きたことによると述べている。

しかし、中国語に由来した四字熟語が日本語として定着したのち、新たに語義が変化し、また中国語における四字熟語も使われている間に語義に変化が生じたことも考えられるため、一概には言えないと筆者は思う。四字熟語は日中漢字同形語の範疇に属するものであるが、本研究は二字漢字同形語、三字漢字同形語を考察の対象とするため、四字熟語に関する研究は考察対象としないこととする。

以上、11本の論文について本研究とのかかわりを交えながら説明した。11本の論文で分かるように、翟东娜氏(2000)と王锐氏(2006)の論文を除き、いずれも20世紀の論文であることに注目してほしい。

日中漢字同形語の意味や用法に関する対照研究は日本語と中国語の対照研究において極めて重要な研究なのに、論文の本数は11本と少ない。それは日中漢字同形語に関する論文の総数の36%を占めているが、《日语学习与研究》(1979～2013)の掲載論文総数(2869本)の0.38%にすぎない。この領域の研究は「空白」とは言えなくとも、まだまだ脆弱な研究領域と言える。今後ますます重要視されるだろうと期待する。

一方、語彙交流史の視点による日中同形語の対照研究の論文は15本もあり、日中漢字同形語研究の6領域で最も多く、日中漢字同形語の論文の総数の48%を占めている。日中両言語の語彙交流は、一方的に中国語から日本語へ伝来したのではなく、100年以上も前に日本語から中国語へと、すなわち中国語⇔日本語という双方向の受容の交流史でもある。日本語から中国語へ漢字語が大量に流れ込むのは二つの時期があり、その一つは日清戦争直後から20世紀20年代までであり、もう一つは20世紀70年代末から現在に至るまでである。この分野の研究は本論文では研究対象としないため、この領域の先行研究については、<注7>をご参照されたい。

調査研究(2) 日本語教育学会誌 『日本語教育』(1984～2014)

日本で刊行されている学会誌『日本語教育』(1984～2014)に掲載されている日中漢字同形語の対照研究に関する論文を調査したところ、合計5本あったことが分かった。日中漢字同形語研究の6研究領域における論文の本数の割合は下記の通りである。

【表 2】『日本語教育』（1984～2014）の日中漢字同形語に関する論文の割合

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
4 (80%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)

『日本語教育』に掲載されている論文には、日本語教育の理論研究に関する論文や、中国、韓国、アメリカなど日本語教育の国別実態に関する論文が極めて多い。が、日中漢字同形語に焦点を絞った論文は極めて少ない。『日本語教育』（1984～2014）に掲載されている日中漢字同形語の論文 5 本のうち、日中漢字同形語の意味や用法に関する論文は 4 本で、日中漢字同形語の論文の総数の 80%を占めており、字形に関する論文はわずか 1 本であった。

次に日中漢字同形語の意味や用法に関する 4 本の論文について、本研究とのかかわりを交えながら説明する。

三浦昭氏（1984）の「日本語から中国に入った漢語の意味と用法」は日中漢字同形語のうち、日本語から中国語に入った漢語に焦点を絞って研究したものである。氏は実藤恵秀氏（1973）が挙げた日本語から中国語に入った 1,063 の単語のうち 69 語を抽出し、それらを (1) 意味がかなり又は非常に違う語、(2) 意味はある程度重なっているが、中国語に見られない意味や用法がある日本語、日本語に見られない意味や用法がある中国語、(3) 意味はある程度重なっているが、日本語の方が意味範囲が広い語、(4) 意味はある程度重なっているが、中国語の方が意味範囲が広い語、という四つのグループに分けてその意味的相違を考察している。

三浦氏の日中漢字同形語に関する 4 分類と筆者の分類は、重なるところもあれば、異なるところもある。氏の (1) は本論文の第 4 章で取り上げる【第 2 パターン】に相当し、(2) ～ (4) は本論文の第 1 章～第 3 章で取り上げる【第 1 パターン】の<第 1 類>～<第 3 類>と重なる。しかし、三浦氏が論じてい

ない、ほぼ同じ意味に用いられるが、品詞や動作の主体などが異なる漢字同形語を、本研究では【第1パターン】＜第4類＞を設けて考察する。

石綿敏雄氏（1991）は「外来語と漢語・外来語の語源」で中国語からの漢字語が日本語化する際、子音への母音の添加、音の置き換え、アクセントの変化など、音形の日本語化が見られると同時に、意味の異化、意味の縮小、意味の拡大、拡大と縮小の組み合わせにより意味の変化が生ずることを指摘している。氏は中国語からの漢字語が日本語に浸透した際に起きた意味の変化のパターンをまとめることにより、日中漢字同形語に意味の異なる言葉が多く存在する原因を分析している。

氏は同論文で中国語の“建立”は建物や記念碑をつくる場合に使われると述べている。しかし中国語では“建立記念碑”とは言いが、“建立房子”“建立大樓”とは言わない。建物をつくる場合には“建立”は用いないのだ。氏の上記の記述には問題があると指摘しておきたい。

林玉恵氏は（2002）は「字形の誤用からみた日中同形語の干渉及びその対策」で台湾人日本語学習者が書いた作文を分析し、日中漢字同形語の誤用を考察している。氏は1996年に台湾輔仁大学日本語学科三年生の書いた作文から延べ5,871語の二字漢字同形語を探し出し、そのうちの475語の誤用例について分析を加えた。その誤用対策として、常用漢字における漢字の構成要素の省略する仕方と台湾漢字との相違に関する七つのパターンの類型化を試みた（注8）。同形語を表記する漢字の字体の差を論じる論文は極めて少なく、貴重な研究である。本研究では漢字同形語の字形は研究対象としないため、氏の研究は本研究と直接はかかわらない。

岡益巳氏（2002）は「日本経済語彙における日中両語間でのずれについて」で、「赤字」「組合」「外貨」「独占」など経済にかかわる一部の語彙が中国語にもあり、それらを中心に意味的相違を論じている。

しかし、氏は「公害」「所得」を「日中両言語における意味が同じか、または、きわめて近いもの」と分類している。中国語の“公害”は「公害」の意味のほかに、“恐怖主义是当今国际社会的一大公害”（テロリズムは現在国際社会の大きな害悪である）のように、「害悪」という比喻義にも用いられるため、日本語の「公害」とは意味的相違がある。また中国語の“所得”は「金銭的収入」のほかに、「得るところ」という語義を持つため、日本語の「所得」とは意味的に異なると見られる。さらに氏は「商社」「税金」を「日本語の漢語と同じ漢字語が中国語にないもの」と分類しているが、実は現在、中国語でも“商社”“税金”が用いられており、これは明らかに間違っている。

張麟声氏（2009）は「作文語彙に見られる母語の移転 —中国語話者による漢語語彙の移転を中心に—」で同形類義語、また日中漢字同形語における同形同義語を典型的な同形同義語と、品詞性がずれる同形同義語に分け、その意味や用法を考察している。氏は日本語の漢語語彙は基本的に名詞、動詞、形容詞、副詞の4種類であり、これと中国語の名詞、動詞、形容詞、副詞の4種類の品詞性のずれの可能性は論理的には12種類あるものの、そのうち①中国語が動詞であり、日本語が副詞である場合、②中国語が形容詞であり、日本語が副詞である場合、③中国語が名詞であり、日本語が形容詞である用例が見つからないため、実際には9種類になるという結論を出している。日中漢字同形語における品詞の違いによる用い方のずれに関する研究は重要な課題であると評価する。

氏は論文の3-1-1で典型的な同形同義語として「花瓶」「帽子」を取り上げている。しかし、“她只是个花瓶”のように、中国語の“花瓶”は「花瓶」のほかに、お飾り（の女性）という比喻義を持つため、日本語の「花瓶」とは意味的に異なる。また“扣帽子”のように中国語の“帽子”は「帽子」のほかに、「レッテル」「罪名」という比喻義を表すため、日本語の「帽子」とは意味的

相違がある。氏の「花瓶」「帽子」に関する分類には間違いがあると指摘しておきたい。

筆者は日本国内の学会誌『日本語教育』以外の研究誌に掲載される漢字同形語の論文も調査した。

荒屋勸氏（1983）は「日中同形語」で日中両言語における漢字同形語がなぜ多いかを歴史的に概観し、意味や用法の相違を述べ、訳語の多様性を分析している（注9）。筆者は荒屋勸氏による一部の解釈について、なお検討する余地があると思う。たとえば、「〈誘惑〉は〈悪いほうに誘い入れること〉としているが、中国語の“誘惑”は〈引き入れる、引き付ける〉であって、行為の良し悪しの語感はなく透明だといえる」、又「日本語の〈嗜好〉に良し悪しの響きはない。しかし、中国語の“嗜好”の多くは良くない面に用い、癖になっている悪い習慣をさす」などの解釈は不適切だと思う。中国語の“不良嗜好”は、確かに「癖になっている悪い習慣」という意味を示すが、しかし、“不良”をカットして、“嗜好”だけでも用いられる。この場合、“嗜好”自体には悪いイメージはなく、むしろニュートラルな表現である。“我没有别的嗜好，就是爱看书”（ぼくは本を読むことが好きなほかに何の道楽もない）の“嗜好”がそれであり、「興味、何かが好き」という意味を示し、決してマイナス評価の表現ではない。

曾根博隆氏（1988）は「日中同形語に関する基礎的考察」（注10）で日本在住の中国語学習者の立場から《現代汉语频率词典》を対象に、中国語常用語における日中漢字同形語の基本的状況について分析を行っている。《現代汉语频率词典》に収録されている使用頻度の高い8,441語から単音節語2,329語を除いた6,112語のうち、日中漢字同形語は55.5%と高い比率を占めている。また日中漢字同形語では、3割弱が日本人にとって、特に注意を必要とする難しい

単語であるとしている。さらに曾根氏は分野別にして、新聞雑誌などの第一類で日中漢字同形語の割合が最も高く、それに科学技術など自然科学系統の第二類が続いていることは、日中言語対照を研究するにあたり、特に注意しなければならないと述べている。

しかし、氏の中国語に対する理解不足のためか、“文化”、“注意”などを S (same) 類 (中国語と日本語の意味が同じか極めて近い種類) に分類するなど、明らかな間違いも見られる。中国語の“文化”は、日本語の「文化」と同様の意味を有するが、また“没有文化” (教養がない)、“学习文化” (初等教育程度の知識を学ぶ) のように「教養」「初等教育程度の知識」という日本語には見られない独特の意味をも持っている。また“注意”は日本語の「注意」と同様の意味を有するが、「先生に注意された」のように、「忠告」という意味は持たない。従って“文化”、“注意”は O (Overlap) 類に入れるべきである。

大塚秀明氏 (1990) は「日中同形語について」で《現代汉语词典》と《現代汉语八百词》を考察対象とし、“虚词” (中国語では、具体的な意味がなく文法的働きしか持たないものを指し、副詞、助詞などが含まれる) の視点から日中漢字同形語の調査を行った (注 11)。考察した結果、「以上」「一切」「始終」「前後」「上下」「本来」「満足」「以内」「以外」「一概」「活動」など、『中国語と対応する漢語』の本で挙げられている 21 箇所の妥当でない記述について、補充訂正を行った上、字形、読み方、意味の分析、誤用例を提示し、『同形語辞典』に関する氏の構想を提唱している。これについて筆者は賛同する立場を取るが、日中漢字同形語における微妙な意味的相違の解析は容易なことではなく、相当な研究の蓄積がなければ到底無理だと思う。

大河内康憲氏 (1992) は「日本語と中国語の同形語」で漢字同形語の語源と日中同形語における二字形容詞について考察している。氏は「日本語は和語が存在するから、それに日常的、具体的意味をゆだね、抽象的、比喩的意味へ偏

して使われるこれらの語は、広く日本語のなかで漢語というものが担っている語彙的役割分担を十分象徴的に語っている。また、『重大』や『深刻』のような漢語は中国語とほぼ同じ意味で用いられていても、喚情価値の差があり、評価の善悪が異なる」と指摘している（注 12）。筆者は氏の説に賛同する立場をとるとともに、氏の研究成果を踏まえながら、【第 1 パターン】の〈第 4 類〉で、中国語と日本語の意味はほぼ同じであるが、品詞や動作の主体などが異なる日中漢字同形語を取り上げ、その意味的相違について考察することにする。

王永全、小玉新次郎、許昌福氏（2007）が編著した『日中同形異義語辞典』（注 13）も漢字同形語における代表的研究成果の一つに挙げられる。この辞典は日本語については『広辞苑』『現代新国語辞典』『現代国語例解辞典』、中国語については『現代漢語辞典』『現代漢語規範辞典』をもとにして、日中両言語における同形異義、同形部分同義の言葉、また漢字が同じであるために間違えやすい言葉の中から 1,400 語余を選出して、現代における意味や用法の違いに焦点を絞って比較しているものである。

日中両言語における漢字同形語は日本語学習者にとって大きな利点であると同時に、誤解を引き起こす落とし穴ともなっている。『日中同形異義語辞典』では意味的相違や、意味が同じでありながら使い方、使われる範囲が異なるところなどを分かりやすく解釈し、日本語学習者に多大な利便を与える辞書である。しかしこの辞典にも問題や欠陥があることは否めない。たとえば、日本語の「肉薄（肉迫）」に対応する中国語として“肉搏”を取り上げているが、両者の漢字の書き方が著しく異なり、同形語と認定するのはふさわしくない。また、“大手”“余情”“真剑”“家内”などは《现代汉语词典》《辞海》をはじめとする中国語の代表的な辞書に収録されていないため、それらを定着した中国語と見なすのが妥当なのか、かなり疑問が残る。

東海林万結美氏（2009）は「日中同形語の対照研究 ― 語義以外の視点から

見る同形語一」(注 14) で同形語を使用する際に語義以外の要素を考慮する必要において、日常生活でよく使用される「小人」、「大家」、「柔軟」、「莫大」、「明朗」、「質問」などの例を中心に、読み方、共起語、文体、語感によって生じる使い方の差異を考察している。筆者は中国語の“单纯”にはマイナス評価の意味はなく、日本語の「純粹」や「純潔」の意味が含まれるという結論は適当ではないと見ている。複数の視点により日中漢字同形語の意味的相違を考えると、この両氏の主張には賛同する立場を取るが、取り上げた一部の語例の解釈には問題があることを指摘しておきたい。

彭飛氏『日本語の特徴 一漢字と外来語編一』、『中国語 虎の巻』(注 15) では「迷惑」「緊張」「深刻」「小康」「安静」「必死」のような日中漢字同形語を取り上げ、その意味的相違を指摘している。上記の二冊の本はいずれも漢字圏の日本語学習者に有益なヒント、日中言語対照研究に価値ある視点を示している。筆者はその方向に沿い、同書に取りあげられた一部の語例をさらに細かく分析し、その意味的相違を辞書的解釈、共起する語など様々な視点より解明する。しかし、『中国語 虎の巻』は出版されてもう十年も以上経っており、当時中国語には見られない、日本語独特の漢字表現として取り上げられた「看板」「時計」「花嫁」なども次第に中国語に浸透し、より多くの人々に使われるようになってきている。ここからも、中国語が依然として日本語から新しい言葉を吸収し、語彙を豊かにしている様子が窺える。

彭飛氏編集の『日中対照言語学研究論文集』(注 16) に掲載されている論文に、荒川清秀氏「日中両国語における漢語語基の意味と造語力」がある。氏は「日中同形語の研究」は、二字からなるものだけでなく、語基どうしについても研究を深めていかななくてはならない」と提唱している。筆者は荒川氏の説に賛同する立場を取るとともに、荒川氏の研究成果を踏まえながら、第 5 章を設け、漢字形態素「化」「素」「横」を伴う日中漢字同形語の意味的相違を考察するこ

ととする。

上記の日本で刊行されている一部の先行研究から分かるように、日中漢字同形語の意味的相違に関する研究は決して少なくない。が、中国語への理解が不足しているためか、両者の決定的な意味的相違をはっきりさせた論文はまだ少ない。また、個々の語例の意味的相違を記述はしているが、日中漢字同形語の意味的相違に関する類型化を試みる努力も欠如している。さらに意味分析の細かさに欠け、研究方法の単一さ、研究対象とされる語例の少なさなど、残されている課題も多い。

本研究では日中漢字同形語を考察の対象とし、その意味的相違を 16 の視点から考察し、意味の解析、訳語の特徴、共起する語など、さまざまな視点より総合的に考察すべきであると主張する。また代表的な日中辞典や中日辞典における意味記述の不備なところを指摘するにとどまらず、辞書編纂の諸問題をも考察対象とする。

(3) 『中国語と対応する漢語』に関する検証

意味分類による日中両言語における漢字同形語の研究を最初に本格的に行ったのは 1978 年に出版された文化庁『中国語と対応する漢語』(注 17)であった。その後、その影響を受け、同じ研究方法で日中漢字同形語を考察する研究者が増え、荒川清秀 (1979)、曾根博隆 (1988)、大河内康憲 (1992)、王蜀豫 (1998) など各氏の論文が発表された。『中国語と対応する漢語』は、まさにこの分野の草分け役を果たした一冊と言えよう。

この『中国語と対応する漢語』は、早稲田大学語学教育研究所編『外国学生用日本語教科書初級・中級』、国際基督教大学編『Modern Japanese for University Students』及び長沼直兄編『標準日本語読本』の三種類 10 冊の教科書より、日本語教育の初級・中級の段階における約 2,000 の漢語を抽出している。それらの

言葉における意味が同じものを S (Same) 類、日本語の漢語で中国語に存在しないものを N (Nothing) 類、両言語での意味が一部重なるものを O (Overlap) 類、意味が著しく異なるものを D (Different) と分類し、日本語教育を行う際の注意点についても指摘している。『中国語と対応する漢語』による 4 分類法は長い間この研究分野の一つの指標ともなってきた。この本が当時、日中両言語の対照研究及び中国人学習者に対する日本語教育に大いに貢献した事実は否めない。

しかし、三十六年経った今日から見れば、本書に多くの不備があるのも明らかである。荒川清秀氏 (1979) は早くもこの本が刊行された翌年に「中国語と漢語 —文化庁『中国語と対応する漢語』の評を兼ねて—」(注 18) で、(1) 中国語の定義のあいまいさ(一部は台湾において国語として使われている言葉で、中国大陸で使われていない)、(2) 目的と方法の矛盾、(3) 分析の不徹底など全体にわたって問題の所在を指摘している。

また松岡栄志氏 (1979) も『中国研究月報』に掲載されている「日本語教育『村』と中国語教育『村』 —文化庁『中国語と対応する漢語』をめぐって—」(注 19) で、漢語の選択、調査対象とする日中辞典と中日辞典の少なさ(香坂順一他編『現代日中辞典』光生館、香坂順一・太田辰夫共編『現代中日辞典』光生館の二冊の辞書しか使わなかった)、中国語の定義及び日中漢字同形語を「S. O. D. N」の 4 つに分類した理由がはっきりしないなどの問題点を鋭く指摘している。

筆者も荒川氏 (1978) と松岡氏 (1979) の指摘は、問題の的を射ているものであると思う。『中国語と対応する漢語』に挙げられている日中漢字同形語の意味の分析や分類などを調査したが、確かに数多くの問題を抱えていることが分かる。

筆者は『中国語と対応する漢語』に挙げられた四種類の漢語を下記のように

検証する。

(1) 【S 類】に分類された言葉のうち、日本語の「家事」は「①家庭生活に欠かせないいろいろな仕事。②家庭内のいろいろな事柄」という意味であり、現代中国語では通常“家务”“家务事”“家庭内部事务”“家事”と言う。それに対して中国語の“家事”は「家庭内部の事柄」「家のこと」の意味になる。従って日本語の「家事」と中国語の“家事”は意味的に重なる部分もあれば、異なる部分もあるため、【S 類】(完全に同様の意味)ではなく【O 類】(少し異なる)に分類すべきであると思う。【S 類】に分類された下記の言葉も【O 類】に分類した方が妥当である。

圧迫、意志、以上、一刻、一旦、一遍、移動、学芸、确实、学生、活動、花瓶、感覚、感情、感動、漢文、機械、気候、機構、希望、教室、最近、語法、自然、市場、原形、差別、思想、条件、情報、人種、生理、輸入、輸出、文化、第三者、品質、大気、読書、動作、普通、中心、電気、天気、適当、手腕、出身、清潔、評価、注意、生産、矛盾、訪問、自動、四方、抵抗、文字、利益、文明、前線、健康、採用、衝突、性格、成分、被害、発作、心臓、成長、地方、背景、夢想、理想、担当、批評、最高、製造、発達、問題、前後、表現、裁判、中央、敏感などがそれである。

また日本語の「電車」は「電気を動力源として軌道上を走る鉄道車両」の意味であり、現代中国語では通常“电气列车”と言う。一方、中国語の“电车”は「電気を動力源として路面を走るバス。トロリーバス」の意味になる。従って両者は意味的に相当、或いは完全に異なるため、【S 類】ではなく【D 類】に分類すべきであると思う。刀、質問、提燈、披露、指摘、家族、正直、家人、食堂、不自由など【S 類】に分類された語も、同様に【D 類】に分類した方が妥当である。

さらに日本語の「宿題」は「①学校などで、家庭で学習するように児童、生

徒に指示する課題。②未解決、未決定のまま持ち越された問題」という意味であり、現代中国語では通常“课外作业”“有待将来解决的问题”と言う。この語は中国語には見られないため、【S類】ではなく【N類】に分類すべきであると思う。警部、公器、国論、通学、大別、少々、商工業、古来など、【S類】に分類された言葉も同様に【N類】に分類した方が妥当であると見ている。

(2) 【O類】に分類された言葉のうち、日本語の「催促」は中国語の“催促”と同じく「早くするようにと、急がせること」という意味を表すため、これは【S類】に分類すべきであると思う。

日本語の「深刻」は「深刻な顔」「病気が深刻」のように、大変な状態を示すが、中国語の“深刻”はこのようには使わず、“深刻的印象”“深刻的体会”のように「深い」「深く掘り下げる」という意味を表す。従って「深刻」は【O類】ではなく、【D類】に分類すべきであると思う。さらに日本語の「家内」は中国語には見られない言葉であり、【N類】に分類すべきである。

(3) 【D類】に分類された言葉のうち、日本語の「原稿」は中国語の“原稿”と同じく「印刷、公表するために書いた文書。または講演、演説などの草案」という意味を表すため、【S類】に分類すべきであると思う。

また日本語の「料理」は中国語の“料理”と同じく「材料に手を加えて食べ物を作ること。またその食べ物」という意味を表すが、中国語の“料理”は日本語の「料理」には見られない「処理する、切り盛りする」の意味を持つため、【O類】に分類すべきである。先生、説明、一面、合計、模様なども同様に【O類】に分類した方が妥当である。さらに日本語の「行燈」は現代中国語では使われないため、【N類】に分類すべきである。

(4) 【N類】に分類された言葉のうち、日本語の「暗記」と同形の“暗记”は現代中国語では使われており、「ひそかに覚えたり、書き留めたりする」という意味を表す。従って「暗記」を【N類】に入れるのは大きな間違いである

と思う。下記の言葉も現代中国語に存在しており、日常生活で用いられる表現なので、【N類】の分類は大きな問題となる。

意味、演習、解説、覚悟、一心、元気、高校、競技、砂糖、柔道、就職、事務所、写真、一団、一日、一体、屋内、決意、今日、今夜、再現、人事、進出、全然、台風、他人、淡泊、弟子、答案、道具、当事者、当日、前文、堂々、発車、自身、始末、若干、特定、媒介、平素、平和、予定、予報、予約、予算、凡人、毎日、毎晩、領地、両方、留守、礼儀、和歌、和服、名作、約束、予期、予習、予想、食糧などがそれである。

現時点の調査では少なくとも四百語以上に問題があり、かなり大きなパーセンテージを占めていることが分かった。これに関しては、別の論文に譲ることにする。

『中国語と対応する漢語』に上記の不備な分類が生じた原因として、下記の三点が挙げられる。

1、中国語に対する理解不足によるものである。中国の日常生活においてよく用いられる“喧嘩”、“元気”、“后援”、“孝行”、“高校”、“后辈”、“今日”、“今夜”、“再現”、“砂糖”などを【N類】に分類したのは、明らかに中国語に対する理解不足によるものと見られる。たとえば、中国語でも“喧嘩”は「騒ぐ」という意味にも用いられている。また“高校”は「大学、短期大学など」という意味にも用いられている。

2、七十年代末以後、日本語から中国語に新しい言葉として多く流入したことによるものである。七十年代末頃から、中国は改革開放政策をとり、日本との交流も盛んになったことに伴い、“弁当”、“女优”、“柔道”、“看板”、“営業中”、“写真”、“社長”などの言葉が、日本語から中国語に伝わり、定着している。当時の分類や解釈では間違いではなかったが、現在、その分類や解釈が間違いになる場合もある。たとえば、「柔道」という言葉は、二十年前に日本語から

中国語に伝えられ、日本語と同じ意味で用いられているため、“柔道”は【N類】ではなく、【S類】に分類すべきである。

3、時代の変化に伴い、中国語の言葉に新しい意味が付与されたことによるものである。“恐怖”には“恐怖分子”、“恐怖主義”などのように、「テロ」という新しい意味が生まれた。またコンピュータなどの事務機器が普及すると同時に、“輸入”、“輸出”、“訪問”に「入力」、「出力」、「アクセス」という意味が付与され、頻繁に用いられるようになった。これは七十年代末にはなかったものであり、当時の分類解釈に間違いはなかったが、現在は新たに分類すべきである。

全体的に見て、中国語に対する理解不足が分類のミスを招いていると考えられる。

また、上記の問題以外に分類のミスではないが、意味の解釈に間違いや説明不足がある語も見られる。【O類】に分類された「一家」がそれである。『中国語と対応する漢語』では、「一家を成す」「自成一家」のように、日本語の「一家」と中国語の“一家”は同じく「独立の流派」という意味を表すが、日本語の「一家」は「一家を挙げて歓迎する」のように、「家族全員」という意味を持つが、中国語の“一家”にはその意味がないと説明されている。

確かに、中国語の“一家”と日本語の「一家」は上記の例のように、いずれも「独立の流派」という意味に用いられる。しかし、中国語の“一家”にも「家族全員」という意味があり、“一家之主”、“一家生计”などがその例である。さらに中国語の“一家”は“一家商店（一軒の店）”、“一家幼儿园（一軒の幼稚園）”など、商店や企業などを数える場合の「一軒」という意味もあるが、日本語の「一家」にはこの意味はない。

以上、『中国語と対応する漢語』による同形漢語の分類の問題点、及びその問題が生じる原因を検証した。この著書には大きな不備は見られる。が、当時

日中漢字同形語の研究に新たな方法を提示し、日本語教育や中国語教育に大きく貢献した点については高く評価する。

(4) 研究意義及び本論文の構成

本研究は漢字圏の日本語学習者を指導する立場に立ち、日中漢字同形異義語の意味的相違を語義、対応語、共起する語等の視点から考察するものである。本研究の目的は、中国語と日本語における漢字同形語の意味や用法をより細かく解析し、中日対照言語学の研究、また中国の日本語教育に貢献しようとするものである。本論文の特色、研究焦点は以下の通りである。

①漢字同形異義語の研究において、二つのパターンに分け、とりわけ意味的にずれのある(少し、微妙に異なる)とされる【第1パターン】に力点を置き、研究する。

【第1パターン】【第2パターン】は【本研究の2本柱】である。第1章～第3章は【第1パターン】を1本目の柱、第4章は【第2パターン】を2本目の柱とする。第5章と第6章は総合的にその二つのパターンを考察する。

②漢字同形異義語の意味的相違を考察する場合、16の相違点にスポットを当てていくことにする。例文を調査した結果、日本語と中国語の漢字同形語の主たる意味的相違は下記のようにまとめられる。

- (1) 比喩的表現、派生的用法(意味拡張)の有無による両言語の用い方の相違
- (2) 同じ表現でも指し示す範囲の異なりによる両言語の意味的相違
- (3) 人を表すかモノを表すかによる両言語の意味的相違
- (4) 人間と物事の両方に用いられるか否かによる両言語の意味的相違
- (5) 広く人間を指すのか、それとも特定の人間を指すのかによる相違
- (6) 人間の内心世界、それとも外観を表すことができるかによる相違
- (7) 道徳、品格にかかわることを示す場合に用いられるか否かによる両言語

の意味的相違

- (8) プラス評価に用いられるかマイナス評価に用いられるかによる相違
- (9) 動詞、形容詞、名詞、副詞としての働きがあるか否かによる両言語の用い方の相違(動詞として用いられるのか、動詞を修飾できるのかなど)
- (10) 動詞として用いられるが対象となる目的語が異なることによる相違
- (11) 共起する語が同様か否かによる両言語の相違
- (12) 固有名詞、熟語として使われるか否かによる両言語の用い方の相違
- (13) 流行語か否かによる両言語の使用頻度の高低や造語力の強弱の相違
- (14) 話し言葉なのか書き言葉なのかによる両言語の相違
- (15) 中国語と日本語にみられる慣習的な表現による両言語の用い方の相違
- (16) 複合語があるか否かによる両言語の相違

本論文では上記に挙げられている 16 の相違点をめぐって考察する。

③日中漢字同形異義語に関する辞書的解釈の問題点に関して、また中国人向けの日本漢字語の指導の問題点に関して調査を行う。

本論文は序章、終章を含め、八つの章から構成される。次に各章の構成及び研究焦点について述べる。

第 1 章～第 3 章では字形は同様だが、意味が多少異なるパターンの同形語(【第 1 パターン】)について考察する。【第 1 パターン】の下位分類は次の通りである。<第 1 類>は日本語と中国語における漢字語の意味が重なる部分とずれている部分があるものを指す。<第 2 類>は日本語の漢語が中国語より意味領域が少し広く、中国語には見られない意味を持つものを指す。<第 3 類>は中国語の漢字語が日本語より意味領域が少し広く、日本語には見られない意味を持つものを指す。<第 4 類>は日本語と中国語における漢字語の意味がほぼ同じであるが、品詞や動作の主体などが異なるものを指す。

第1章の第1節～第4節では、【第1パターン】の<第1類><第2類><第3類><第4類>に属する日中漢字同形語、「清潔」、「衛生」、「接触」、「緊張」を中心に、日本語と中国語における漢字同形語の意味的相違に関して考察する。

第2章では、【第1パターン】の<第1類><第2類><第3類>に属する日本語と中国語における漢字同形語、とりわけ「人」を伴う表現(別人、他人、人種、達人、人気)及び「人」を示す表現(第三者)の意味的相違について、五つの節に分けて考察する。そのうち「人気」「達人」「第三者」はここ20年中国語で使用頻度が高くなった表現である。

第3章では、第1章、第2章に引き続き、【第1パターン】の<第1類><第3類>に属する日本語と中国語における漢字同形語「問題」「要求」「条件」「状況」「状況」「参加」「気色」を中心にその意味的相違について考察する。

第4章では字形は同じだが、意味が相当、或いは完全に異なるパターンの漢字同形語(【第2パターン】)について考察する。この章では、中国人が間違えやすい8組の同形語「幫助」「助長」「改正」「人間」「心中」「正体」「深刻」「迷惑」を対象に、日本語と中国語におけるこれらの同形語の意味や用法に、どのような相違が見られるか、中国語訳にはどのような特徴があるか、を探ることにする。

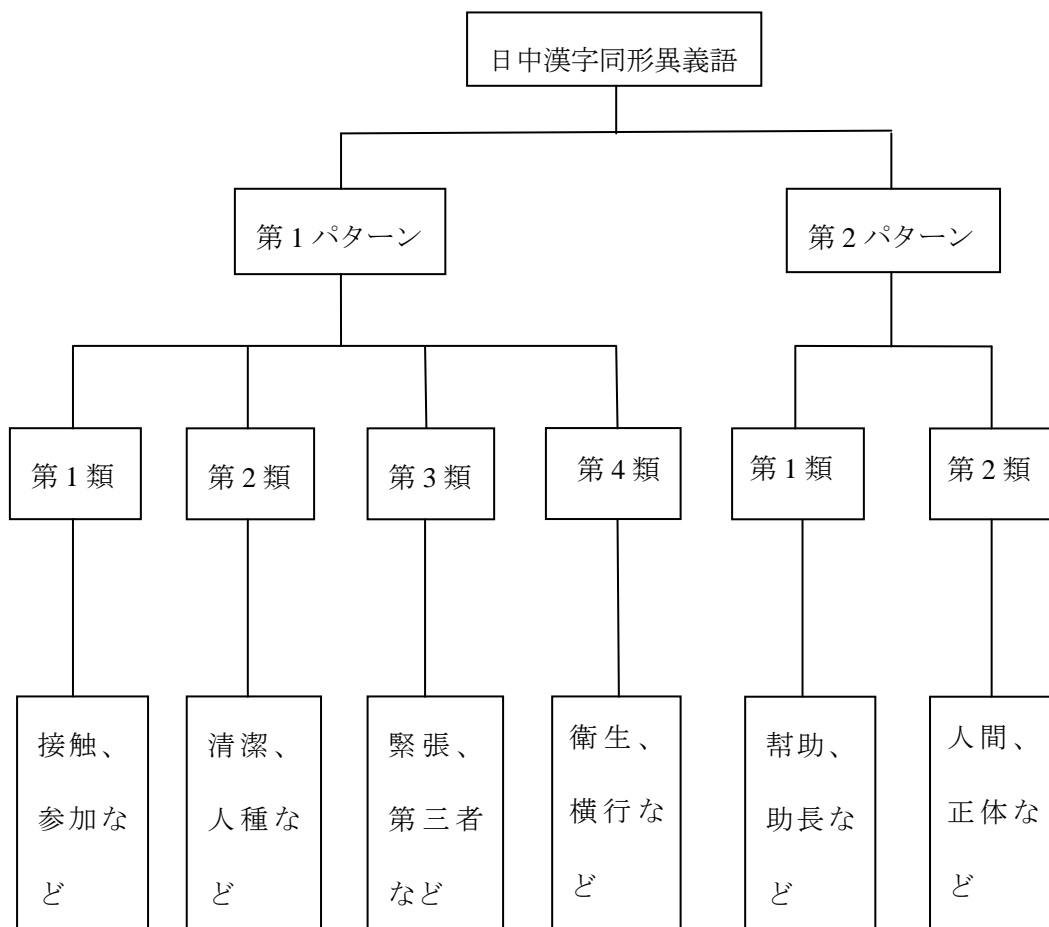
第5章では中国語と日本語における漢字形態素「化」「素」「横」を伴う日中漢字同形語の意味的相違、また一部の日本語的な表現の中国語訳の特徴に関して三つの節に分けて考察し、【第1パターン】【第2パターン】にかかわる諸問題、また辞書的語釈の問題点について改めて考えることにする。

第6章では漢字圏学習者向けの日本語教育の視点から、日本語と中国語の漢字同形語の意味的相違、日本語の漢字類義語の中国語訳について考察する。第1節では「児童／子供」「厨房／台所」「散歩／散策」「価格／値段」「便利／重

宝」「関心／興味」「学習／勉強」など 11 例を中心に、日本語と中国語の漢字同形語の意味や用い方の相違について、日本語における「漢字類義語」の意味的相違にも力点を置いて考察する。第 2 節では「平和、和平」「運命、命運」「習慣、慣習」「別離、離別」「苦勞、勞苦」を中心に、中国語と日本語の漢字類義語（反転語）の意味的相違に関して分析する。

さらに各章で中日辞典や日中辞典における語釈を検証し、その不備の部分を指摘し、辞書編纂をめぐる諸問題を検討する。

本論文で考察の対象とする日中漢字同形異義語を図示すると、下記の通りになる。



注と参考文献

(1) 国立国語研究所 (1983～1984) 『高校教科書の語彙調査』 秀英出版
国立国語研究所が 1974 年の高校教科書(科目は社会科と理科に限定している)
について用語調査を行い、1983 年にその報告書を刊行した。同研究所は 1956
年に刊行した一般人向けの雑誌 90 種を対象に用語用字の調査を行った。

国立国語研究所『現代雑誌九十種の用語用字』 秀英出版 1984 年 6 月

(2) 山田孝雄『国語の中における漢語の研究』 宝文館 1958 年 11 月

(3) 日本語と中国語の一部の例文の出典は下記の通りである。

『KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス』(国立国語研究所)

『朝日新聞オンライン記事データベース』(朝日新聞社)

『Weblio 英和辞典・和英辞典』(研究社『新英和中辞典』『新和英中辞典』を
中心に 75 種類の英和辞典・和英辞典、国内最大級のオンライン英語辞書)

『筑波ウェブコーパス』(国立国語研究所)

《CCL 语料库检索系统》(北京大学中国語学部)

《人民日报图文电子版 1946～2007 年》(人民日报)

《人民网报刊检索》(人民日报)

《中华基本古籍库》(武汉大学)

辞書的解釈の調査において、下記の五冊の辞書を対象とする。

『中日辞典 小学館』(第 2 版) 伊藤醇、小川文昭、三宅登之編 北京商務
印書館／小学館 2002 年 11 月

『中日辞典 講談社』(第 3 版) 相原茂編 講談社 2010 年 3 月

『日中辞典 小学館』(第 2 版) 小学館・商務印書館共同編集 小学館
2002 年 1 月

『日中辞典 講談社』(第 3 版) 相原茂編 講談社 2006 年 3 月

《详解日汉辞典》(修订本) 周蕴石、李孙华、吴之荣编 北京出版社 1999

年3月

(4) 中国对外経済貿易大学編 《日语学习与研究》(1979～2013) 中国对外経済貿易大学出版

(5) 日本語教育学会誌 『日本語教育』(1984～2014)

(6) 潘鈞氏は「日中漢字同形語に意味的相違が生じる原因」の一つに「漢字形態素の意味の異なりによる」ことを挙げた。しかし、その点を説明するために取りあげたのは「老婆」「洋行」など出所を同じくし、または借用関係にあるものではなく、たまたま中国語と同形の漢字語となり、日中漢字同形語とは言えない語例である。これは漢字同形語でない語例をもって、漢字同形語の意味的相違の原因を説明することなので、問題がある。

(7) 劉凡夫氏(2012)は「以黄遵宪《日本国志》(1895)为语料的日语借词研究」で《日本国志》を研究の対象にし、それを調査整理することにより、近代になって間もない頃の、日中両国語における新語の生成、中国語が日本語から新語を受容する実態、日本語の新語が中国語への伝播、中国語に対する影響などを考察した。

朱京偉氏(2012)は「《时务报》(1896～98)中的日语借词——文本分析与二字词部分」で1896～1898に発行された《时务报》を考察の対象にし、日本の借用語は、いかなるルートを通して中国語に流入したのか、その実態を解明するために価値ある試みを行った。また同氏(2013)は「《清议报》中的四字日语借词」、李運博氏は「梁启超在中日近代汉字词汇交流中的作用」(2006)、「『英華和訳字典』中出现的日语新词」(2012)などの論文を掲載した。

吴侃氏(2010)は「近年日语外来词对中文的影响」で近年、中国語に流入した日本語の漢字語を研究の焦点に当て、それらの漢字語(漢語)が中国語へ、いかなる影響を及ぼしているかを考察した。氏は日本語における漢字語(漢語)を①古代中国語から伝えられたもの、②在来語を音読して作られたもの、③中

国語の造語法に基づいて作られたもの、④中国語の古典語に新しい意味が付与されて作られたもの、の4種類に分け、そのうち、③④は中国語に伝えられ、日中漢字同形語が多数存在する大きな要因となり、これらの日本語からの借用語は中国語の語彙、文法へ無視できないほど大きな影響をもたらしていると指摘している。

彭広陸氏(2012)は「从汉语的新词语看日语的影响----说“人脉”」で新語“人脉”を取り上げ、日本語が及ぼした中国語への影響について分析している。氏は日本語の「人脉」が生成した時期、当時の辞書に掲載されていた状況、また「人脉」が中国語に流入した時期、中国語辞書に掲載される状況を説明したうえで、現代日本語の「人脉」と現代中国語の“人脉”の意味や用法の共通点と相違点を検討した。

(8) 林玉恵氏は、漢字の誤用対策として、常用漢字における漢字の構成要素の省略の仕方と台湾漢字との相違の類型化を試み、下記の七つのパターン(a~g)にまとめた。

a.字の構成要素の一部を取り出したもの(医:醫 処:處)、b.字の構成要素が一部省略されたもの(压:壓 参:參)、c.点画が省略されたもの(奥:奥 漢:漢)、d.字形にわずかの差があるもの(呉:吳 歳:歲)、e.字の構成要素の一部を省略して違う形になったもの(榮:榮 桜:櫻)、f.同字異形であるが、日台それぞれ異なるもの(却:卻 裏:裡)、g.字形に大きな違いがあるもの(壹:壹 当:當)がそれである。

(9) 荒屋勸(1983)「日中同形語」『大東文化大学紀要第二十一号<人文科学>』
大東文化大学

(10) 曾根博隆(1988)「日中同形語に関する基礎的考察」『明治学院論叢』 明治学院大学

(11) 大塚秀明 (1990) 「日中同形語について」『外国語教育論集』筑波大学
本論文では 21 語を取り上げ、例文を付け加えて、『中国語と対応する漢語』
の記述の誤りを指摘している。考察の対象とする語は数が少ない上、記述も不
十分であると思う。また、「注意」を S 類、「大家」を D 類に、分類しているが、
正確さに欠けたところも見られる。

(12) 大河内康憲 (1992) 「日本語と中国語の同形語」『日本語と中国語の対照
研究論文集 (下)』くろしお出版

(13) 『日中同形異義語辞典』王永全、小玉新次郎、許昌福編著 東方書店
2007 年 11 月

(14) 東海林万結美 (2009) 「日中同形語の対照研究—語義以外の視点から見
る同形語—」『帝京日本文化論集』帝京大学日本文化学会

(15) 彭飛 『日本語の特徴 —漢字と外来語編—』凡人社 2003 年 3 月

彭飛 『中国語 虎の巻』東方書店 2004 年 12 月

(16) 彭飛編 『日中対照言語学研究論文集 —中国語からみた日本語の特徴
日本語からみた中国語の特徴—』和泉書院 2007 年 3 月

(17) 文化庁 『中国語と対応する漢語—日本語教育研究資料—』大蔵省印
刷局発行 1978 年 11 月

(18) 荒川清秀 (1979) 「中国語と漢語 —文化庁『中国語と対応する漢語』
の評を兼ねて—」『愛知大学文学論叢』愛知大学文学会

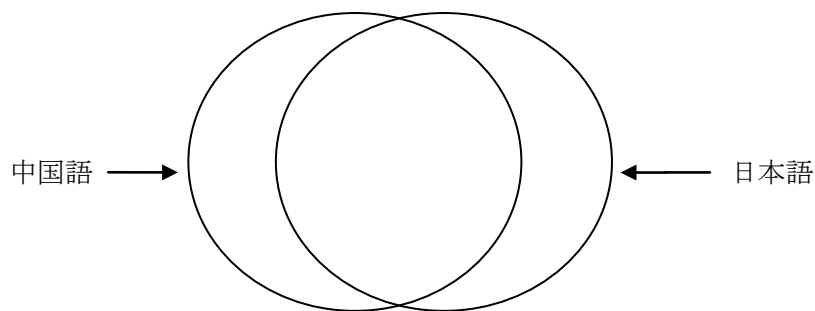
(19) 松岡栄志 (1979) 「日本語教育『村』と中国語教育『村』 —文化庁『中
国語と対応する漢語』をめぐって—」『中国研究月報』中国研究所

第 1 章 意味のずれのある漢字同形語パターン (第 1 パターン) の考察 (1)

本章では【第 1 パターン】の漢字同形異義語について考察する。【第 1 パターン】とは、中国語と日本語において「字形は同様だが、意味が多少異なる漢字同形語」パターンを指す。中国語と日本語で意味領域が重なる部分があると同時にそれぞれ異なる部分も見られる場合、日本語の方が中国語より意味幅が広い場合、中国語の方が日本語より意味幅が広い場合、中国語と日本語の意味はほぼ同じであるが、品詞や動作の主体などが異なる場合といった四つの下位分類が考えられる。【第 1 パターン】の四つの下位分類を下記のように<第 1 類><第 2 類><第 3 類><第 4 類>とする。

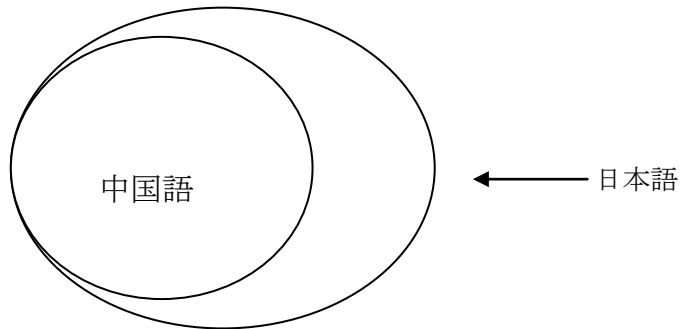
中国語と日本語で意味領域が重なる部分があると同時に、それぞれ異なる部分も見られるものを<第 1 類>と呼ぶ。両者の意味領域の関係を図で示すと、次の通りになる。

<第 1 類> 意味領域が重なる部分もあれば、異なる部分もある



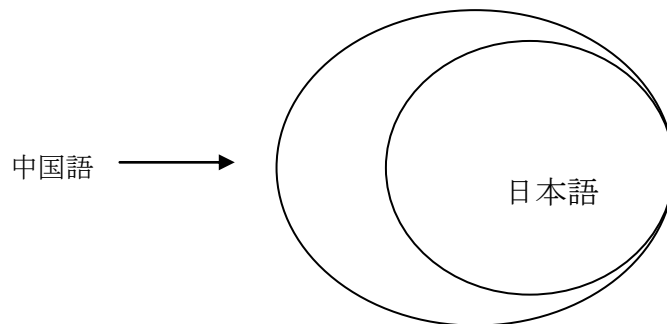
日本語の漢語の意味領域が、同様の形の中国語の漢字語より広いものを<第 2 類>と呼ぶ。両者の意味領域の関係を図示すると、次のようになる。

<第2類> 日本語の方が中国語より意味領域が広い



中国語の漢字語の意味領域が、同様の形の日本語の漢語より広いものを<第3類>と呼ぶ。両者の意味領域の関係を図示すると、次のようになる。

<第3類> 中国語の方が日本語より意味領域が広い



上記<第1類><第2類><第3類>に属する日中漢字同形語のうち、意味領域がほぼ重なり、品詞や動作の主体などが異なるものを<第4類>と呼ぶ。

第1章～第3章では、その【第1パターン】の<第1類><第2類><第3類><第4類>の例を中心に考察する。

本章の第1節、第2節では「動詞、形容詞などの働きの有無」と「同じ表現でも指し示す範囲の異なりによる両言語の意味的相違」の視点から「清潔」「衛

生」について、第3節では「人を表すかモノを表すかによる両言語の意味的相違」と「中国語・日本語における慣習的な表現による両言語の用い方の相違」という視点より「接触」について、第4節では人を表すかモノを表すか、人間と事柄の両方に用いられるかという視点から「緊張」を中心に、【第1パターン】の<第1類><第2類><第3類><第4類>に属する日本語と中国語における漢字同形語の意味的相違について考察する。

第1節 中国語の“清潔”と日本語の「清潔」の意味的相違

「清潔と健康」「清潔習慣」、「食品衛生」「環境衛生」なら、中国人学習者は同様の漢字を用いるためすぐ理解できる。しかし日本語の「清潔な選挙」、「清潔感」、「歯科衛生士」の「清潔」「衛生」の用法はいずれも中国語の“清洁”“卫生”に見られないため、漢字圏の日本語学習者は違和感を抱く。

中国語の“清洁”と日本語の「清潔」は意味領域が重なる部分があり、また中国語の“清洁”にはない意味を日本語の「清潔」が持つため、両者は意味領域の関係において【第1パターン】の<第2類>に属する。また中国語の“卫生”と日本語の「衛生」は意味領域がほぼ重なるため、両者は意味領域の関係において【第1パターン】の<第4類>に属するものと見られる。

本節と次節では、中国語の“清洁”“卫生”と日本語の「清潔」「衛生」の共通点と相違点、とりわけ、①中国語の“清洁”と“卫生”の使い分け、日本語の「清潔」と「衛生」の使い分け、②中国語の“清洁”と“干净”の使い分け、③日本語の「清潔感」「清潔な選挙」など「清潔」の中国語訳の特徴、④「歯科衛生士」など「衛生」の中国語訳の特徴、⑤なぜ日本語の「清潔」の一部は中国語に訳すと、“卫生”になるのかを中心に考察する。

(1) 古代中国語における“清潔”の種々相

中国語の“清潔”の“清”に関して、《说文解字》(注1)では、“清，朗也，澄水之貌”と解釈され、その本義は「水が透き徹っていて、不純物がない様子」とされている。また、“洁”に関して《说文解字》では、“潔，滌也”と説明され、その本義は「きれいで、ほこりや汚れがない様子」とされている。従って、中国語の“清潔”は、類似する意味を有する二つの漢字を並列することによって作られた二字複合語と見られる。

中国語における“清潔”の由来を調べたところ、戦国時代に遡ることができる。時代が下ると、各時代の典籍に“清潔”の用例が見られる(注2)。

『蒙求抄』の「心中が清潔な人ぞと云ひてほめたぞ」のように、古代日本語における「清潔」は①人格や品行が清くいさぎよいことを示す。また、『浮世物語』の「茶の湯は清潔にしてさはやかなるを本とし」は、②汚れがなくきれいなことを表す(『広辞苑』<注3>による)。上記の意味①は人間の状態、②は物事の状態を表し、古代中国語の“清潔”とほぼ同様であることが分かる。ここで言う「人間の状態」とは「人間の人格や品行の性質」を指す。日本語の「清潔」の意味、また使われた時期を考えてみれば、古代中国語から伝わってきた可能性が極めて高いと考えられる。

○既想要清潔的空气、畅通的道路，又想要享受汽车所能提供的一切文明。(清潔な空気、すっと通れる道が欲しい。同時にまた自動車をもたらしてくれる便利な生活も楽しみたい。)

○燃烧后生成的水也不会产生污染，所以氢是最清洁的燃料。(燃焼後にできた水は汚染が発生することはない。だから水素は最も清潔な燃料だ。)

上記の例のように、現代中国語における“清潔”は、“空气”(空気)、“燃料”(燃料)など、物事の状態を表す場合に使われる。

無論、“保持手的清洁”(手を清潔に保つ)、“保持皮肤的清洁”(肌を清潔に

保つ) もよく使われる表現であるが、「人間の人格や品行の性質」を直接表さない体のある部分の状態であるため、それは物事の状態と見ることにする。

上記の例で分かるように、古代中国語における“清潔”より、現代中国語の“清潔”の方が意味領域はかなり小さくなり、「人格や品行が清くいさぎよい」という人間の状態を表す場合には用いられず、物事の状態を表す場合にだけ用いられるようになっている。

(2) 中国語の“清潔”と日本語の「清潔」における共通点と相違点

次に日本語の「清潔」と中国語の“清潔”の意味的相違、使い方の相違に力点を置き、考察することにする。主たる違いは下記の四つにまとめられる。

(一) 日本語の「清潔」は「清潔に保つ」のように動詞を修飾することができる。この点において中国語と異なる。

日本語では「清潔を保つ」と言うのか、それとも「清潔に保つ」と言うのか、日本人ネイティブを対象とした調査を行った結果、両方使われているが、後者の使用頻度が高いことが判明した(注4)。

“人人都要保持清洁”の“保持清洁”は日本語でどう言うのか、9割以上の中国人学習者は「清潔を保つ」と訳すであろう。実は「清潔に保つ」「清潔にする」「清潔にしておく」「清潔に努める」のように日本語の「清潔」は名詞よりも形容動詞としてよく用いられるという特徴が見られる。「トイレを清潔に保つ」「毎日しっかりシャンプーをして頭皮を清潔に保つ」「肛門を清潔に保つことが痔瘻^{じろう}対策だ」「台所を清潔に保つ」のように「～を清潔に保つ」の形の使用頻度が高い。上記の例の「～を清潔に保つ」に中国語で“保持～清洁”と対応する。

一方、中国語の“清潔”は名詞、形容詞の両方に用いられるが、“清洁地打

掃”のように動詞を修飾することはできない。この点が日本語の「清潔」と中国語の“清洁”の最も大きな相違点と言える。

日本語の「清潔」は、形容動詞として「清潔な＋名詞」の形でよく使われる。

○あまり人の臭いがしない、清潔な街である。(这是一处不怎么闻得到人的体味，很清洁的街道。)

○清潔なわらの上で、体を丸めてぬくぬくと寝ている。(那只猫在清洁的麦秆上蜷缩着身体悠然地睡着。)

上記の例文の「清潔」は形容動詞として用いられる。一方、中国語の“清洁”はどのように使われるか、次の例を見てみよう。

例①. 由于十分注意清洁，伦敦似乎终于完全消灭了黑死病。(清潔をよく心がけていたため、ロンドンはついにペストを撲滅したようだ。)

例②. 此举不仅减少了会场的垃圾，保持了会场的清洁，更重要的是增强了国民的环保意识。(こうして、会場のゴミを減らしただけでなく、会場の清潔を保ち、さらに重要なことは国民の環境保護意識を高めることができたことだ。)

上記の例①の“清洁”は名詞であり、動詞“注意”の目的語として用いられている。例②の“清洁”も名詞として用いられ、日本語との共通点が見られる。

下記の例を見てみよう。

例①. 我们需要寻找比私人轿车更安全、更清洁、更节能的交通方式。(マイカーよりもっと安全、清潔、省エネの交通手段を見つけなければならない。)

例②. 发展清洁的核电是经济高速发展国家的一个重要选择。(清潔な原子力エネルギーを発展させるのは経済を早く成長させるための、国の重要な選択事項だ。)

例②の“清洁”は安全で環境に優しく人々の生活に悪影響がないという意味であり、日本語では「清潔な原子力エネルギー」で対応することができる。

上記の“清洁”はいずれも形容詞であり、“交通方式”“核电”という名詞を

修飾している。“清洁的城市”（清潔な街）、“清洁的道路”（清潔な道路）、“清洁的空气”（清潔な空気）、“清洁燃料”（清潔な燃料）などもその例である。

（二）中国語の“清洁”は“清洁房间”のように動詞として使われる。この点において日本語と異なる。

○用洗手液和清水彻底清洁双手。（ハンドソープと水で両手をきれいに洗う。）

○清洁环境、床单、枕套及病服等都外包,降低了不少人事成本。（環境をきれいにし、シーツ、枕カバー及び患者の服を洗うのを請負会社に任せ、人事コストを大幅に下げた。）

○6時50分,负责清洁厕所的孟秀琴和吴玉珠早已守候在“绿房子”门口。（6時50分には、トイレの清掃を担当する孟秀琴と吳玉珠が早くも“緑の家”の入り口で待っていた。）

○一些志愿者计划探访长者,为他们清洁房间。（一部のボランティアの人は年輩の方を訪れ、彼らの部屋を清掃しようと思っている。）

○有些人用洗衣粉清洁皮鞋、运动鞋,虽然能洗去脏物,但不能还其本色。（一部の人は洗剤で革靴、運動靴をきれいにしようとする。汚れは洗い落とせるが、本来の色を取り戻すことはできない。）

中国語の“清洁”は上記の例のように動詞として用いられ、目的語としての“双手”（両手）、“环境、床单、枕套及病服”（環境、シーツ、枕カバー及び患者の服）、“厕所”（トイレ）、“房间”（部屋）、“皮鞋、运动鞋”（革靴、運動靴）を「清潔」にするという意味を表す。“清洁皮肤”（皮膚を清潔にする）、“清洁泳池”（プールを清潔にする）などの“清洁”も同様である。

中国語の“清洁”は名詞、形容詞、動詞という働きを持つ語である。しかし、《現代汉语词典》（注5）では、“清洁”は形容詞としか解釈されていない。こ

れは明らかに間違っていると指摘しておきたい。一方、日本語の「清潔」は名詞、形容動詞という働きを有し、使い方においては、中国語の“清洁”と一部重なっているが、ただし、動詞という働きは持たない。日本語の「清潔」が、動詞として使われるかどうかを確認するために、筆者は『KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス』を検索したが、僅か 1 例しか見つからなかった。また日本人ネイティブ 20 人を対象にアンケート調査を行ったが、ほぼ全員が「～を清潔する」は使わず、「～を清潔する」は違和感を覚えると回答している（注 6）。日本語では基本的に「～を清潔する」という構文が用いられないという点で中国語の“清洁”と異なっている。

また中国語の“清洁”は書き言葉にも話し言葉にも使われるが、日本語の“清洁”は話し言葉より書き言葉としてよく用いられる。次の例がそれである。

○我惊呼：北京太清洁了，天安门广场更是圣洁无比啊！（「北京はとてもきれいだな、天安門広場は更にこの上なく神聖かつ純潔だ！」と私は驚いて叫んだ。）

上記の例のように話し言葉で“北京太清洁了”と感嘆する場合、日本語では「北京はとても清潔だな」より、「北京はとてもきれいな」と言う方が多い。「清潔」は書き言葉的で「きれいな」は話し言葉としてよく使われる。

（三）中国語の“清洁”は“清洁工”“清洁剂”“清洁袋”“清洁工作”のように使われている。日本語にはこのような用法は見られない。

○十几名清洁工正在清扫地上的碎玻璃。（十数人の清掃係が路上のガラスの破片を清掃している。）

○日本不久前推出了洗车清洁剂。（日本はしばらく前に洗車クリーナーを売り出している。）

○一进张家界景区，门卫就给游客一人发一只漂亮的塑料袋——清洁袋，供沿

途装瓜皮果壳和空瓶之用。（張家界の観光ゾーンに入ると、警備員らは観光客の一人一人に、きれいなビニール袋<ごみ袋>を手渡している。それは観光中、食べた果物の皮や果実の種の殻、空き瓶などを入れるのに使われる。）

○我承包了我所住的宿舍楼的清洁工作。（私は自分が住んでいる寮の清掃を請け負った。）

上記の例文における“清洁工”は中国語では固定された表現としてもよく使われるが、日本語にはその使い方が見られないため、「清掃係」「清掃する人」といった表現で対応する。また中国語では“清洁剂”“清洁袋”“清洁工作”もよく使用されるが、日本語ではそれぞれ「クリーナー」「ごみ袋」「清掃」と対応する。

(四) 日本語の「清潔な手」「清潔な選挙」の「清潔」は中国語の“清洁”では対応できない。この点において中国語と異なる。

○綺麗で清潔なマンションに立て替えれば、新しい店子^{たなこ}も入居し、家賃も高く取れる。（如果翻建成漂亮清洁的公寓，就会有新的店铺入驻，房租也能收得高些。）

上記の例の日本語の「清潔」は中国語の“清洁”で対応できる。しかし、「君の手は清潔ですか」の場合、中国語では“清洁”よりも“干净”を使う方がより自然である。

○わが国ではイギリスの総選挙は金のかからないきわめて清潔な選挙だ、というのが一般的な受け止め方のようなのである。（在我国，人们似乎普遍认为英国的大选是不花费金钱的极为公正透明的选举。）

「清潔な選挙」は中国語で“公正透明的选举”と言う。ここの「清潔」は「選挙に不正なところがなく清らかである」という意味を表すため、中国語では“公正透明”と対応する。

「清潔な人柄」の「清潔」は「品行がよくて潔い」という意味であるため、中国語では“人品高洁”と言う。上記の例のように、中国語には見られない日本語の「清潔」独特の用法が見られる。

(3) 日本語の「清潔」に対応する中国語訳及び中国語の“清洁” に対応する日本語訳の総合的考察

次に日本語の「清潔」は中国語訳としていかに対応するのか、中国語の“清洁”に対応する日本語訳は何かについて考えることにする。

① 建物、室内外、車内、町などの場合

○条例规定客运经营者应当为旅客提供良好的乘车环境, 保持车辆清洁、卫生。(この条例は旅客輸送を取り扱う経営者が乗客のために、良好な環境を提供し、バスの清潔を保つことを義務付けている。)

○此外, 所有进出的车辆也须清洁消毒。(そのほか、出入りするすべての自動車は清掃し、消毒しなければならない。)

○这个学校教学条件优良, 环境清洁, 伙食诱人。(この学校の施設は整備されており、清潔で食事も美味しい。)

○为保持街道清洁, 新加坡政府 1992 年规定在全国范围内禁止出售口香糖。(町の清潔を保つため、シンガポール政府は 1992 年に全国でチューイングガムの販売禁止を決定した。)

○爱护公共设施, 保持房间清洁。(公共施設を大切に使い、部屋の清潔を保つ。)

上記の例文のように、中国語では、車内、建物、町、室内外などにほこりなどがなく、きれいな状態を示す場合、“清洁”が使われる。

○アパートはしみ一つなく清潔だった。(公寓里没有任何的污迹, 很清洁。)

○その部屋を清潔に保ってくれますか? (能保持那房间清洁吗?)

○シンガポールのチャンギー国際空港は恐らく世界一現代的で、世界一清潔な空港だ。(新加坡樟宜国际机场也许是最现代化、最清洁的机场。)

○座席や車内は清潔で、危険な雰囲気もなく、女性の乗客が靴を脱いでくつろいでいた。(座位和车厢都很清洁，也没有令人感觉危险的气氛，女乘客脱了鞋子显得很轻松。)

上記の例のように、日本語でも生活する環境、町、車など、ほこりや泥などがつかずきれいな状態を示す場合、「清潔」が使われる。これは通常中国語の“清洁”で対応し、また“整洁”“干净”と訳すこともできる。

中国語の“整洁”はきちんと片付いている様子、身だしなみが清潔できちんとしている様子を表す。“干净”は環境や身だしなみや物が清潔だったり、話し方や動作がすっきりしていることを示す。また副詞として「(何も残さず)きれいに、さっぱり」という意味をも表し、さらに“干净”は“干干净净”という形でも使われる。

②空気と水の場合

“清洁”は人が生きていくのに欠かせない空気、水の場合にも使われる。次にその例を挙げる。

○雪后，空气新鲜、清洁，对人体健康大有好处。(雪が降った後、空気は新鮮、かつ清潔で、体の健康にとってもよい。)

○而物价指数是不是太高，生活是不是舒适，空气够不够清洁，度假够不够方便，已成为人们选择职业的条件。(物価指数が高いかどうか、生活が快適かどうか、空気が清潔かどうか、休日を過ごすのが便利かどうかは、すでに人々が職業を選ぶ際の基準となっている。)

次に日本語の例を見てみよう。

○自然な方法で室内の空気を清潔にするには、どうすればいいだろう。(怎

样才能做到以自然的方法来保持室内空气清洁?)

上記の例文のように、空気にはほこりなどなくきれいな状態を言う場合、中国語では“清洁”が使われ、日本語でも「清潔」が使われるため、互いに対応することができる。次に「水」の例を見てみよう。

○目前，清洁的水已成了人类生死攸关的大问题。(现在、清潔な水はすでに人類の命に関わる大きな問題となっている。)

○地震直後に清潔な水の確保は大事だ。(地震之后确保能用上清洁的水是非常重要的。)

上記の例文のように、水に雑物がなくきれいな状態を言う場合、中国語では“清洁”が使われ、日本語でも「清潔」が使われるため、互いに対応することができる。

空気、水の場合、中国語では“清洁”のほかに、“干净的空气”“干净的水”“洁净的空气”“洁净的水”のように、“干净”や“洁净”を使う場合もある。

③台所、食器、トイレなどの場合

○食中毒予防の基本は、清潔を保つこと、食品を十分に加熱することである。(防止食物中毒，最基本的就是保持清洁和对食物进行充分的加热。)

○流し台における殺菌、照明装置、及びその制御システムを提供したい。これらは流し台内の台所用具などの清潔状態を、より効果的に維持することが可能である。(我们计划提供水槽的杀菌、照明装置及其控制系统，它们能够更有效地保持放置在水槽内的厨房用具的清洁状态。)

○広々とした清潔なトイレは、その国ではとても貴重だ。(宽敞清洁的厕所在那个国家里是很宝贵的。)

上記の例文のように、日本語では台所や食器などに油の垢・汚れがなくきれいな状態を表す場合と、トイレのきれいな状態を表す場合に、「清潔」が使わ

れる。中国語では“清潔”のほかに、“衛生”と対応することができる。

中国語では“清潔”は汚れがなくきれいな様子を表すが、“衛生”は菌がなく健康によく、病気を予防することができる状態を指す。台所や食器、トイレなどのきれいな状態を表す場合や、「健康によい」「病気を予防できる」に重きを置いて言う場合、“清潔”のほかに、“衛生”を使うこともできる。また中国語では“讲卫生”（衛生に注意する）、“打扫卫生”（掃除する）、“卫生习惯”（衛生習慣）は言うが、“讲清洁”“打扫清洁”“清洁习惯”とは言わない。そして、“这样吃不卫生”の“不卫生”はこのような食べ方は健康に悪く、病気になりやすいという意味を表し、“不清洁”には置き換えられない。

④身体及び頭や手など体の一部の場合

○他突然有一种想喝水的冲动，想要找点什么来清洁自己的身体。（彼は突然水が飲みたい衝動に駆られた、何かで自分の体を清潔にしたかったのだ。）

○因为保持头皮清洁和健康，对于帮助保持剩下的头发不再脱落是非常重要的。（残る髪の毛がこれ以上抜けないようにするには、頭皮を清潔で健康な状態に保つのが大事である。）

○手要清洁，指甲剪短，胡须应修剪好或者剃光。（手は清潔にし、爪は短く切って、ひげはきちんと手入れするか、或いは全てそるべきだ。）

上記の例文のように、中国語では身体及び頭、手、足など体のある部位に垢などがなくきれいな状態を表す場合に“清潔”が使われる。

○人が健康的に暮らすためには、身体を清潔に保つことが必要だ。（人要生活得健康，就需要保持身体的清洁。）

○お風呂に入った時はよく洗って、体をいつも清潔に保とう。（洗澡时要好好洗，平时要保持身体清洁。）

○外から帰ったら手を石鹼でよく洗い、いつも清潔にしておこう。（从外面

回家后要用肥皂好好洗手，始终保持清潔。)

○歯を清潔にするために磨く。(刷牙是为了保持牙齿清潔。)

○手術後の傷口を清潔にし、血行を促進するとともに、薬液を傷口に噴射することで、回復を早めることができる。(保持术后伤口清潔、促进血液循环，同时对伤口喷射药水，可加速病情的恢复。)

上記の例文のように、「清潔」は「体」の状態を示すが、「手」「歯」など体のある部位の状態を表す場合にもよく用いられる。この点においては、中国語の“清潔”と異なるところがないため、“<保持>……清潔”で対応する。日本語の「体を清潔に保つ」に対応する中国語訳“保持身体清潔”もよく使われる表現である。“产妇要注意合理饮食，保持身体清潔。”“经常洗澡保持身体清潔”などがその例である。

⑤衣服、生活用品、身だしなみの場合

○いつも清潔な衣服を身に付けよう。(平时要穿干净的衣服。)

○清潔な衣服を着るようにしなければいけない。(必须穿上干净的衣服。)

○頭を洗い、身体を洗い、清潔な下着を付けた。(洗头、洗身体、穿上干净的内衣。)

上記の例文のように、日本語では衣服が汚れがなくきれいな場合、「清潔」が使われる。しかし中国語では通常“清潔”より、“干净”で対応する。筆者が《CCL 语料库检索系统》で検索したところ、“清潔”が次のように服の状態を表す例も見られるが、その数は限られており、2995例のうち、わずか5例しかなかった。下記の例がそれである。

○他叹口气，用手叉着腰四处环顾，都收拾过了，清洁的衣服晾在露台上。(彼はため息をつき、手を腰にあててぐるりと見回すと、すべて片付けられており、清潔な服はベランダに干してあった。)

また日本語では下記の例文のように、生活用品がきれいな状態を表す場合にも使われる。

○タオルは常に清潔なものにし、枕カバーやシーツ等も清潔を心がける。(平时毛巾要保持干净，枕套、床单等也要注意干净。)

○子供たちはみな清潔なハンカチを持っていた。(孩子们都带着干净的手帕。)

上記の例文のように、タオル、枕カバー、ハンカチなど、生活用品に汚れがなくきれいな状態を表す場合、「清潔」が使われる。中国語では通常“清洁”より“干净”を使用する。“干净的被褥”“干净的被套”“干净的袜子”などがその例である。

さらに日本語では身だしなみを表す場合にも、「清潔」が使われる。

○男性の身だしなみとして、最も重要なのは異性に対してもビジネスでも清潔感を出すことだと思います。(我认为，无论是对于异性还是在工作中，男性的仪表最重要的是干净利落。)

○千鶴はふたりの子の親になっても、眼鏡のせいか女書生のような清潔感を残していた。(千鹤即使成了两个孩子的母亲，但或许因为带着眼镜，仍然保留了女生般的清纯感。)

上記の例の「清潔感」は中国語には見られない表現であり、“干净利落”“仪容整洁”“清纯感”で対応する。また「清潔感」は上記の場合だけでなく、下記のように使われる場合もある。

○下草や落ち葉などがきちんと整理された、清潔感のある林をイメージする人が多いだろう。(树下的杂草、落叶等都好好地收拾过了，整洁干净，很多人对这片树林抱有这样的想象吧。)

○かつては「4K (暗い、汚い、臭い、怖い)」と言われていたトイレも、今や清潔感のあるおしゃれなものになっているようだ。(曾经被叫做 4K 的厕所，即“阴暗、肮脏、恶臭、恐怖”，现在似乎也变成了干净卫生的、让人耳目一新

的地方。)

日本語の「清潔感」は身だしなみを表す場合に使われるだけでなく、上記の例のように、「林」や「トイレ」にも使われる。この場合の「清潔感」も中国語には見られず、“整洁干净”、“干净卫生”で対応する。

⑥食べ物の場合

中国語では食べ物の場合、“卫生”が使われる。が、“清洁”と表現する場合もある。次の例がそれである。

○他们不会想到，菜里的酱是生过蛆的，以为是蛮清洁的呢。(料理に使われる味噌にウジがわいていたとは思いませんでした。とても衛生的だと思い込んでいた。)

○看看谁家的食品最清洁。(どこの店の食品が一番衛生的なのかを調べてください。)

上記の例文のように、中国語では食べ物などに汚れがなく、安心して食べられる状態を表す場合、“卫生”を用いることが多いが、“清洁”を使う場合もある。それに対して、日本語では食品や食べ物の状態を言う場合は「清潔」より「安全」「衛生」がよく使われる。下記の例がそれである。

○消費者の要求に応え、安全で衛生的な食品を提供するため、日々努力をしている。(为了满足消费者的要求，提供安全卫生的食品，我们正每天努力着。)

上記の例文のように、日本語では食品や食べ物の状態を言う場合、「安全で衛生的」がよく使われる。しかし食品や食べ物を作るための「材料」の状態を言う場合、「清潔」が使われることがある。下記の例がそれである。

○安全で衛生的な食品を調理または製造するには、まず清潔な材料を確保しなければならない。(为了烹饪或者生产出安全卫生的食品，首先就必须确保清洁的原料。)

○清潔な材料をもとに、清潔な場所で、清潔な器具を用いて作業を行う。(在确保清洁的原材料的基础上，在清洁的场所、用清洁的器具进行烹饪。)

上記の例文における「清潔な材料」は食品や食べ物を作るための「材料」が汚れがなく、きれいな状態にあることを表している。

⑦環境に何らかの影響を及ぼすエネルギーや経済活動の場合

○该计划要求粤港双方推广清洁能源，防治酸雨污染。(この計画では広東と香港の双方にクリーンエネルギー使用の普及と酸性雨汚染の防止が求められている。)

○大力发展循环经济，推行清洁生产。(循環型経済の発展に力を入れ、クリーン生産を押し進める。)

上記の例文に使われる“清洁”は“能源”(エネルギー)、“生产”(生産)の性質や状態を示し、「汚れがなく、環境に優しい」という意味を表す。“清洁汽油”(クリーンガソリン)、“清洁燃料”(クリーン燃料)、“清洁煤”(クリーン石炭)、“清洁发展”(クリーンな生産による持続可能な発展)、“清洁排污”(汚水などを処理してから排出する)などもその例であり、環境に何らかの影響を及ぼす経済活動を述べる場合によく用いられる。このような場合の“清洁”は日本語では、「清潔」のほかに「クリーン」で対応したり、解釈的な文をつけたりなどする。

○工事現場での配管・配線類の敷設を無くし、施工コストを低減し、工期を短縮するとともに、施工に伴う汚染物質の放出がなく、清潔性の高い工事を行うことができる壁パネルを提供する。(我们提供挂壁式控电板，它能够取消施工现场的配管、配线类的敷设，降低施工成本和缩短工期，同时也能杜绝施工中污染物的排放，从而能确保在高度清洁的状态下进行施工。)

○石炭をジメチルエーテルに転化すれば、清潔なエネルギーとなる。(如果

将煤转化为 DME, 就成了清洁能源。)

○天然ガスは、清潔な可燃燃料である。(天然气是清洁的可燃燃料。)

日本語では中国語の“清潔”と同じく環境に何らかの影響を及ぼす生産活動やエネルギーを表す場合、「清潔」が使われる。それは中国語の“清潔”に訳すことができる。

⑧選挙など人間の政治活動、政治家の場合

○「ごまかしのない清潔な政治をする」というのが彼の選挙の時の公約だった。(“实现没有欺骗的、公正透明的政治”是他参与选举时的承诺。)

○選挙期間が短いのは、お金のかからない清潔な選挙を求めたためである。(之所以选举期很短，是因为我们追求的是不费金钱的公正透明的选举。)

○英国の政治家は、日本の政治家と違って非常に清潔である。金儲けの手段として政治家を考えている人は一人もいない。(英国的政治家和日本的政治家不同，他们非常清廉，没有人把成为政治家作为敛财的手段。)

「清潔な服装」「清潔な施設」「身体を清潔に保つ」などの「清潔」は本義として用いられるが、上記の例文の「清潔な選挙／清潔な政治」は人間の政治活動に不正がなく、清い、廉潔な、清廉な、ごまかしのない、クリーンな、身ぎれいな(生き方)、倫理感の強い、道義的に正しい、フェアな、公正な、疑いをもたれない政治活動を指す。一方、中国語の“清潔”はこのような意味には用いられないため、「政治」「選挙」の清潔な状態を表す場合は“公正透明”と言い、「政治家」に不正の行為がないことを表す場合は“廉洁”“清廉”といった語で対応することが多い。

⑨人柄、品行、他人に与える印象などの場合

○私利私欲に走る人の多いこの国で、彼のような清潔な人柄は貴重な存在だ。

(在利欲熏心之人众多的这个国家里，像他那样的高尚人品是很宝贵的。)

○しかしそれでも、私はおしゃれをしたかった。優しく、清潔で、明るく、そしてドラマティックな女の子になるために。(但是我还是想好好打扮一番，为了成为一个温柔、清纯、活泼并且富于戏剧色彩的女孩子。)

○清潔そうな若者たちだから、なんとなく雰囲気がいい。(都是些感觉清纯的年轻人，所以总觉得气氛很好。)

○目鼻立のくっきりした清潔な感じの美少女だった。(她是一个五官端正、感觉清纯的美丽少女。)

○清潔な印象を与える若者だった。(他是一个给人印象纯洁的年轻人。)

上記の例文のように、日本語では人柄や品行や人に与える印象に不正を感じさせる部分がなく清らかな状態を表す場合、「清潔」がよく使われる。それに対して、中国語ではこの意味に“清洁”は用いられないため、“高尚”“纯洁”“清纯”といった他の語で対応する。

また日本語では「清潔な人」という表現もよく使われるが、この表現における「清潔」はどういった意味を表すのであろうか。

例①. 髪形の状態によって、清潔な人かどうか分かる。(看发型的状态，就可以知道是不是一个打扮得干净利落的人。)

例②. おまえはうれしそうに、そうだ、そうだ、そんな賄賂を出さなくても、介殿は清潔な人だからと言ったではないか。(你不是曾经高兴地说，“对！对！即使不行贿也没关系，因为介殿是个清廉的人”)

上記の例①の「清潔」は体が健康で、身ざれいで、きちんと散髪して、爽やかに感じられる人を指す。このような人は中国語では“清洁”ではなく、“打扮得干净利落”と言う。例②の「清潔」は人の行動や品行などに不正がなく、清らかな状態を言い、中国語では“高尚”“清廉”などに訳す。

結語

本節では、「動詞、形容詞などの働きの有無」及び「同じ表現でも指し示す範囲の異なりによる両言語の意味的相違」などの視点から中国語の“清潔”と日本語の「清潔」の意味的相違を考察した。中国語における“清潔”の由来を調べたところ、戦国時代に遡ることができる。日本語の「清潔」は古代中国語に由来したと見られる。

(1) 動詞、形容詞、名詞、副詞としての働きがあるか否かによる両言語の使い方の相違について、日本語では「清潔に保つ」のように「清潔」は動詞を修飾することができるが、中国語の“清潔”はできない。が、中国語の“清潔”は動詞として用いられるが、日本語の「清潔」は用いられない。

(2) 複合語があるか否かによる両言語の相違について、“清洁工人”(清掃員)のような中国語の複合語は職業を表す。これは日本語には見られない。“清洁剂”“清洁袋”“清洁工作”などもそれである。

(3) 比喩的表現、派生的用法(意味拡張)の有無による両言語の使い方の相違について、日本語の「清潔」は中国語の“清洁”より意味領域が広い。日本語の「清潔感」の表現も中国語には見られない。“纯洁”“清纯”“干净利落”“仪容整洁”“干净卫生”などと訳されることが多い。

(4) 道徳、品格にかかわることを示す場合に用いられるか否かによる両言語の意味的相違について、人間の道徳などにかかわる「清潔な選挙」「清潔な政治家」などは中国語には見られない表現であり、中国語では“公正透明”“清廉”などに訳されることが多い。また人柄や品行などに不正を感じさせる部分がなく、清らかな状態という抽象的な意味を表す場合、日本語では「清潔」が用いられるが、中国語では“清洁”ではなく、“清廉”“高尚”などで対応する。中国語の“清洁”は抽象的なことには使わない。「清潔な交際」も同様である。

古代中国語では、“清洁”は「清廉、潔白」という人間の状態と「汚れがな

くきれい」という物事の状態を表していた。日本語の「清潔」は古代中国語から伝えられた可能性が高く、その意味を受け継ぎ、現代に至っている。一方、現代中国語の“清洁”は古代中国語より意味領域が小さくなり、物事の状態を表す場合にだけ用いられるようになっている。従って、現在では日本語の「清潔」は中国語の“清洁”より意味領域が広く、中国語には見られない意味を持っている。

「清潔感」「清潔な選挙」などに対応する中国語訳

語例	中国語訳
清潔感（身だしなみなど）	干净利落。仪容整洁。
清潔感（人に与える印象）	清纯感
清潔感（トイレ、教室などの環境）	干净卫生。整洁干净。
清潔な（選挙、政治）	公正透明
清潔な（政治家）	清廉。廉洁。

(5) 話し言葉か書き言葉かによる両言語の相違について、中国語の“清洁”は書き言葉にも話し言葉にも使われるが、日本語の「清潔」は話し言葉より書き言葉としてよく用いられる。

(6) 物事の状態を表す場合に、中国語の“清洁”と日本語の「清潔」の用法は同様である。が、衣服、生活用品に汚れがなくきれいな状態を言う場合、日本語では「清潔」が使われるが、中国語では“清洁”より“干净”で対応する。なぜならば、中国語の“清洁”と“干净”は同じく「汚れがなくきれい」という意味を表すが、服装や生活用品の場合、中国語では“干净”の方がよく使われるからである。“干净”は行動の結果を表す場合、【動詞+干净】という構文でよく使われる。“洗干净”（きれいに洗う）、“扫干净”（きれいに掃く）、“收拾干净”（きれいに片付ける）などがその例である。

(7) 中国語の“清潔”と“衛生”も置き換えて使われることがある。その使い分けは下記のように示すことができる。

“清潔”と“衛生”の使い分け

清 洁	卫 生
汚れがなくきれいである。	菌がなく健康によい。
人の命にかかわらない。	人の命にかかわる。
目に見える状態である。	目に見えない状態である。
法によって決められない。	法によって決められる。

上の表で示されるように、“清潔”は汚れがなくきれいであるという意味を表すが、“衛生”は菌がなく健康によいという意味を表す。“衛生”は“卫”と“生”を組み合わせて作られた語であり、古代中国語では「命を守る」という意味を表していた。現代中国語にはその意味はなくなっているが、健康や飲食など人間の命にかかわる場合、“清潔”ではなく、“衛生”をよく使うのは古代中国語との関係である。簡単な治療を行う場を“衛生所(院)”と言い、“清潔所”と言わないのもそのためである。また“清潔”かどうかは目に見える状態であるが、“衛生”かどうかは目に見えない状態である。さらに、“清潔”の状態は法律などによって決められないが、“食品卫生法”のように“衛生”の状態は法律上決められる。

“清潔房间”“清潔走廊”のように、“清潔”は動詞(中国語の“及物动词”)として使われるが、“衛生”にはこのような使い方はない。“衛生”は“讲卫生”(衛生に注意する)、“打扫卫生”(清掃する)とも言うが、“清潔”にはこのような使い方はない。

(8) 中国語の“清潔”と日本語の「清潔」に関する辞書的解釈の問題について

て、『中日辞典 講談社』（注7）では、中国語の“清潔”は、「形」清潔である。きれいである」と解釈している。“清潔”は形容詞だけでなく、名詞・動詞としても使われるため、上記の語釈は明らかに間違っている。また「清潔である、きれいである」という語釈だけでは“清潔”がどんな場合に用いられるか、日本語の「清潔」と意味や用法がどのように異なるのか分からない。《详解日汉辞典》（注8）では日本語の「清潔」は、“清洁”“干净”“清秀”“清廉”“廉洁”と解釈している。が、中国語の“清洁”と日本語の「清潔」の品詞のずれによる使い方の違いには一切触れていない。

第2節 中国語の“卫生”と日本語の「衛生」の意味的相違

中国語では“清洁卫生”という表現がよく使われるが、日本語には「清潔衛生」という表現はない。が、日本語には「公衆衛生」という表現があり、中国語の“公共卫生”にあたる。日本語の「公衆衛生の状態は清潔か不潔か」は中国語で“公共卫生状况是否良好”と言う。

○衛生状態を清潔に維持する。(保持良好的卫生状况。)

○ホテル、病院、家庭等の布団やマット等の寝具に近寄るダニ類等、害虫を駆除し、清潔で、衛生的に眠れるようにする。(驱除侵入宾馆、医院、民宅的被子、床垫等寝具的虱类等害虫，让人能够在清洁卫生的环境中睡眠。)

○免疫力の衰えた人が感染症を起こすのを予防することができ、衛生的且つ清潔な状態に保つことができる。(这样做，既能预防免疫力衰退的人患上感染症，又能保持卫生・清洁的状态。)

○本体内部を清潔な状態に維持し、さらに風に含まれる異物を殺菌、あるいは分解することにより、衛生的にクリーンな風を送風できる温風乾燥機を提供する。(我们提供的吹风干燥机可以使机体内部保持清洁的状态，并通过对风内所含的异物进行杀菌或分解，在符合卫生要求的状态下送出清新的风。)

「衛生」は「清潔」の同義語として使われることがある。が、両者には、はっきりとした違いが見られる。中国語の“清洁”と“卫生”の意味的相違と同様、「衛生」は菌がなくてきれいで、人の命にかかわる状態、「清潔」はほこりや油の垢がなくてきれいで、人の命にかかわらない状態を指す。「衛生」は目に見えない状態を言うのに対して、「清潔」は目に見える状態を言う。また「食品衛生法」のように「衛生」は法規などによって定められるが、「清潔」はそれがない。

日本語の「清潔」は「清潔な人柄」「清潔な政治家」のように「人格や品行に不正と感じられるところがなく、清らかである」という、「衛生」には見られない用法がある。また日本語では「衛生管理」「食品衛生」は言うが、「清潔管理」「食品清潔」とは言わない。食べ物など体に直接影響する場合、「衛生」や「不衛生」がよく用いられる。この点は中国語と共通する。

さらに「清潔」は形容動詞であるため、「清潔な」で名詞を、「清潔に」で動詞を修飾できる。しかし「衛生」は名詞であるため「的」を「衛生」に後続させ「衛生的」という形容動詞の形となり、「衛生的な」のように名詞を修飾し、また「衛生的に」のように動詞を修飾することもできる。この点は中国語と異なる。

中国語の“不卫生”は日本語では「衛生上よくない」、「注意卫生」は「衛生管理に気を付ける／衛生の面で気を付ける」と言い、中国語の“卫生”と日本語の「衛生」には共通的の用法が見られる。「衛生設備」「衛生管理」「食品衛生」「医療衛生」「この地域は衛生状態が悪い」「感染は不衛生から起こる」「保健所がレストランの衛生を検査しに来た」なども同様である。

(1) 中国語の“卫生”と日本語の「衛生」の主たる相違

次に中国語の“卫生”と日本語の「衛生」の主たる相違について考察する。

(一) 日本語でよく用いられる「衛生的」

○生産の工程で、直接に人の手が触れていないので衛生的である。(在生产过程中, 人的手不直接接触, 所以是很卫生的。)

○観光地はもとより、地域の生活環境を衛生的で快適なものにするためには、廃棄物処理施設や水道等の環境衛生施設の整備が極めて重要である。(旅游景区自不待言, 为使当地的生活环境变得卫生舒适, 完善处理废弃物的设施及自来水等环境卫生设施是极其重要的。)

○汚れや病菌、有害物などを取り除き、爽快で衛生的な状態にする。(去除汚物、病菌及有害物質，保持清爽卫生的状态。)

○平成 14 年 2 月に、学校環境を衛生的に維持するためのガイドライン（指針）である「学校環境衛生の基準」の改訂を行った。(平成 14 年 2 月修订了旨在保持学校环境卫生的准则“学校环境卫生标准”)

○廃棄物を衛生的に処理するため、昭和 47 年 3 月に「廃棄物処理施設整備計画」が策定された。(为了对废弃物进行卫生处理，昭和 47 年 3 月制定了“废弃物处理设施完善计划”)

○衛生的に調理し、その日の給食に入れる。(在符合卫生要求的环境中进行烹饪，作为当天提供给学生的饭菜。)

上記の例文のうち、「衛生的である」「衛生的な+名詞」のように、「衛生的」が述語、或いは連体修飾語として用いられる場合、中国語では“卫生（的）”と対応する。また、「衛生的に+動詞」のように、連用修飾語として用いられる場合は、「衛生的に」の用法は三つに分けられる。一つは「維持する」。「学校環境」が健康を守り病気を予防できる状態にすることを表し、中国語の“保持……卫生”で対応する。二つ目は「処理する」。人間の活動により「廃棄物」が健康に害のない状態にするという使い方である。中国語では“进行卫生处理”と言う。三つ目は「調理する」。人間の行動が、健康を守り病気を予防するのに適している状態の下、行われるということを示し、このような場合の「衛生的に」は中国語では“在符合卫生要求的环境中（状态下）做……”と訳す。

日本語の「衛生」とは対照的に、中国語の“卫生”は名詞として使われるのが主で、形容詞としても使われるため、直接名詞を修飾することができる。“卫生状态”“卫生常识”“卫生习惯”“卫生条件”などがその例である。また“卫生”は副詞“很”“非常”“不太”などに修飾される場合もある。しかし“卫生”は直接、動詞を修飾することはできない。

(二) “卫生间” “卫生纸” のような中国語における “卫生” 独特の表現

○每个套间有四个卧室，外加一个卫生间。(部屋には 4 つの寝室もあり、それにバスルーム・トイレもある。)

中国のマンションやホテルでは、バスルームとトイレを一つの空間にするのが普通で、それを “卫生间” と呼ぶ。またトイレだけでも “卫生间” と呼ぶ場合がある。日本語には同じような表現は見られない。

○他想，如果把中草药加到卫生纸里，使卫生纸具有防病功能该多好！（彼はもし漢方薬をトイレットペーパーに加えて、それに病気を防ぐ機能を持たせることに成功すれば、素晴らしいことになるだろうと考えている。)

中国語では、トイレットペーパーを “卫生纸” と言う。日本語では、業界用語として「衛生用紙」が使われるが、「衛生紙」は使われない。また中国語では、女性生理用のナプキンを “卫生巾” と言う。日本語の「衛生用紙」については後述することにする。

○用塑料袋装的衣服不宜放卫生球。(プラスチック袋入りの服はナフタリンを入れない方がいい。)

中国では、衣類の防虫剤は “卫生球” と言うが、“卫生丸” とも言い、日本語には見られない表現である。日本語では「ナフタリン」と訳す。

○目前，这个村的主要产品铅笔、卫生筷等远销欧洲、日本、韩国及东南亚等地。(現在、この村の主力製品である鉛筆や割り箸は、遠くヨーロッパ、日本、韓国、東南アジアなどへ輸出している。)

中国では、飲食店などで “卫生筷子” がよく使われる。この表現は日本語には見られず、「(使い捨てる) 割り箸」と対応する。

○先到纸盒厂做临时工，搞卫生，在食堂做饭，什么都干过。(まず紙箱工場の契約社員となって、清掃をしたり食堂でご飯を作ったりと、何でもした。)

中国語では、清掃することを“搞卫生”と言う。また、“打扫卫生”とも言う。「～を清掃する」という意味を表す場合、【**打扫+場所を示す名詞+卫生**】という形を取る。“打扫房间卫生”（部屋を清掃する）、“打扫教室卫生”（教室を清掃する）がその例である。

○公司没有幼儿园和学校，商店、粮店、卫生所等。（会社には幼稚園と学校、店、米穀食料販売店、医務室／保健室／クリニック／診療所などはない。）

中国では会社や工場や村など、社会の末端組織には軽い病気の簡単な処置や治療などを行う場が設置されており、“卫生所”と呼ぶ。また中国語の“卫生室”は日本語では「(企業、機関、学校などの) 医務室、保健室」と言い、“卫生院”は農村部の簡単な設備の医療施設を指す。

○病房内一片混乱，废弃的纸屑、果皮、甚至枕头满地都是，却不见卫生员清理打扫。（病棟内は混乱状態で、捨てられた紙くず、果物の皮、そして枕が地面いっぱい散らかっており、看護師はきちんと掃除していない。）

中国語では短期訓練を受け、看護などの初級医療技術及び応急手当の基本知識を持つ人を“卫生员”と呼び、田舎の診療所や軍隊の病院でよく使われる。これは日本の自衛隊で使っている「衛生員」と同じである。

下記の例を見てみよう。

○他找着自己的卫生衣，披在肩上。（彼は自分のメリヤス製のシャツを見つけ、肩にかけた。）

中国語では気温の低い冬、中高年の人が上着の下に着るメリヤス製のシャツを、“卫生衣”と呼ぶ。また下半身に着用する「パッチ」を“卫生裤”と言う。

○他身后，一支卫生香无声地燃起，袅袅的香气很能提神。（彼の後ろに、におい消しの線香が燃えているが、ゆらゆらと立ち上る香は元気を回復させることができる。）

中国語では芳香及び害虫駆除で使う棒状や渦巻き状の線香を“卫生香”と言

う。

○中国今春爱国卫生运动以预防和控制禽流感为重点。(中国の今春の「爱国卫生キャンペーン」は鳥インフルエンザの予防、対処に力点を置いている。)

中国では、1952年から毎年4月に全国的に生活環境を清潔にし、国民の健康水準を高めるためのキャンペーンが行われており、それを“爱国卫生运动”と言う。

以上のように、中国語独特の“卫生”を伴う表現は数多くあり、いずれも日本語には見られない使い方である。

(三) 日本語における「歯科衛生士」のような独特の表現

○私は歯科衛生士を長く続けた。(我干了很长时间的牙医助理技师。)

「歯科衛生士」は1948年制定された『歯科衛生法』に基づく厚生労働大臣免許の国家資格となっている。歯科医師の指示のもと、歯科予防処置、歯科診療補助及び歯科保険指導を行うという。中国語には、“牙科卫生士”という表現は見られない。通常、“牙医助理技师”と訳す。

○衛生用紙、容器入り衛生用紙、及び包装用袋入り衛生用紙 (生活用紙、桶装生活用紙、及袋装生活用紙)

日本環境協会エコマーク事務局が平成9年11月28日制定した『「衛生用紙」商品認定基準』によれば、衛生用紙はティッシュペーパー、トイレットペーパー及びちり紙とする、という。また、ウェットティッシュ、キッチンペーパー、ペーパータオルなど衛生的に加工され、日常生活で用いられる紙も衛生用紙に含まれる。

中国語においては、“卫生纸”がよく使われ、“卫生用纸”は使われない。“卫生纸”はトイレットペーパーを指し、“手纸”“厕纸”とも言う。日本語の「衛生用紙」が指すものの範囲より狭い。

○衛生陶器（卫生洁具）

日本語では、「衛生陶器」は浴室や便所などに置かれる、主に水回りに用いられる洗面台、浴槽、便器など陶製器具の総称である。中国語では“卫生陶器”ではなく、“卫生洁具”と言う。

○衛生車（抽吸式运粪车/真空清洁车）

日本語では、尿尿を吸い取る運搬車両を「衛生車」と呼ぶ。また「バキュームカー」とも言う。都市や町では下水道などの施設が整備されるに伴い、衛生車の姿も消えているが、しかしインフラ設備が整っていない山間部や作業現場などでは、衛生車は依然と活躍しているようである。中国語では、“抽吸式运粪车”または“真空清洁车”と言う。

(四)日本語の「保健」は「健康を守り保つこと」という意味であり、中国語の“卫生”は健康を保つために必要なきれいな状態、環境、措置を指すため、両者は意味的にずいぶん異なる。

中国では、幼稚園や小中学校、高等学校には病気の予防や保健、健康教育、簡単な治療などが行われる場が設置されている。それは“卫生室”と言う。日本の「保健室」にあたる。

また日本語では「環境保健」という表現がよく用いられるが、中国語には見られない。「環境保健」を中国語に訳すと、“环境保健”ではなく、“环境卫生”と言う。

以上の例から分かるように、中国語の“卫生”には日本語の「保健」の意味が含まれる。

日本語では、「厚生年金」「厚生労働大臣」「福利厚生」「厚生白書」「社会厚生」など、「厚生」を伴う表現がよく使われる。「厚生」は《書経・大禹謨》に“正徳利用，厚生惟和”という一文が見られ、「人民の生活を豊かにすること」

という意味を示す。現代日本語では「健康を維持または増進して、生活を豊かにすること」という意味としてよく用いられる。

現代中国語では、“厚生”は「厚生労働省」「厚生労働大臣」など日本の固有名詞として用いられる以外、ほとんど使われなくなっている。それを中国語の“増進健康”“提高生活质量”と対応させる場合がある。また“保健”“衛生”と訳す場合もある。

例えば、「福利厚生施設」を“福利保健设施”と言い、「厚生福祉」を“卫生福利”と言う。また日本の「厚生労働省」をそのまま“厚生劳动省”と対応させる以外に、“卫生劳动省”と訳すこともある。

(2) 現代中国語の“衛生”の由来

中国語で使われる“衛生”は日本人が作ったものであると思われるが、それは事実であろうか。

《現代汉语词典》によれば、現代中国語で“衛生”は“能防止疾病，有益于健康”（病気を予防することができ、健康に良い）と“合乎卫生的环境和措施”（衛生的な環境に適応すること、及び衛生措置）という意味を表すが、その由来は清の時代に遡る。戊戌变法（1898年6月11日至9月21日）の時期に康有为が光緒帝に呈した《请禁妇女裹足折》に“以家之慈恩论，则伤父母之仁爱；以人之卫生论，则折骨无用之致疾”とあり、また民国時代の胡适《归国杂感》に“人力那样不值钱，所以卫生也不讲究，医药也不讲究”とある。

『世界大百科事典』（注9）によれば、^{ながよせんさい}長与専齋は明治4年（1871年）岩倉遣欧使節団のメンバーとして渡欧し、ドイツやイギリスの医学及び衛生行政を視察した際に、ドイツ語 Hygiene、英語 hygiene に接し、帰国後その訳語に「衛生」＜第二次世界大戦後の国語改革以降は現表記「衛生」となった＞を当てたという。医師、衛生行政家である^{ながよせんさい}長与専齋は1878年初代の内務省衛生局長と

なり、日本最初の医療・衛生法規たる〈医制〉の草案（76 条）を作成し、日本の近代医療の確立に貢献した。これを機に、日本では「衛生」という語がかなり一般的に広く用いられるようになった。

康有為氏の推進した戊戌新政は明治維新に成功した日本をモデルとし、彼自身は日本の政治、経済などに強く関心を抱き、日本の新聞や出版物をよく閲覧していたに相違ない。「衛生」が使われた時期から考えて、中国語で用いられる“卫生”という語は日本語から伝えられたものである可能性が高いと見られる。

しかし、さらに一歩その由来を突き詰めると、古代中国語にあったことが分かる。中国語における“卫生”ははなはだ古い時期に使われていた語でいろいろな意味を示していた。春秋戦国の《庄子・庚桑楚》に、すでに“越愿闻卫生之经而已矣”という用例が見られ、「養生、命を守る」という意味を持っていた。また《宋书・郑鲜之传》に、“至于陈平默顺避祸，以权济屈，皆是卫生免害，非为荣也”とあり、「生存する、生きていく」という意味を示していた。さらに明の時代の李贽《兵食论》に、“亦深苦卫生之难，而既竭心思以惟之矣”とあり、「命あるものを守る」という意味を表していた。

以上のことをまとめてみると、「衛生」は、まず古代中国語で使われていたが、その後日本語に伝えられ、明治時代に「身の回りを清潔にして、健康の維持と疾病の予防・治療につとめること」という新しい意味が付与された。清の時代の末期、康有為などの中国の知識人が日本語から新しい意味の「衛生」を中国語に取り入れ、現在まで使われてきたという流れが考えられる。

結語

本節では中国語の“卫生”と日本語の「衛生」の意味的相違を考察した。中国語の“卫生”と“清洁”との違いについて、中国語の“清洁”は汚れがな

くきれいな様子を表すのに対して、“衛生”は主として菌がなく健康によく、病気を予防することができる状態を指す。台所や食器、トイレなどのきれいな状態を表す場合、“清潔”のほかに、「健康によい」「病気を予防できる」を重視して言う場合、“衛生”を使うこともできる。また中国語では“讲卫生”（衛生に注意する），“打扫卫生”（掃除する），“卫生习惯”（衛生習慣）は言うが、“讲清洁”“打扫清洁”“清洁习惯”とは言わない。そして“这样吃不卫生”の“不卫生”はこのような食べ方は健康に悪く、病気になりやすいという意味を表し、この場合、“不清洁”には置き換えられない。

(1)動詞、形容詞、名詞、副詞としての働きがあるか否かによる両言語の用い方の相違について、中国語の“卫生”は名詞で、形容詞でもあるため直接名詞を修飾することができる。また“卫生”は副詞“很”“非常”“不太”などに修飾される場合もある。が、“卫生”は動詞を修飾することはできない。中国語の“卫生”とは対照的に、日本語の「衛生」は形容詞でないため、「衛生」に「的」を後続し、「衛生的な」の形で名詞を、「衛生的に」の形で動詞を修飾する。

(2)固有名詞、熟語として使われることによる両言語の用い方の相違について、日本語の「歯科衛生士」は中国語には見られない。また“搞卫生”は中国語では「清掃する」という意味の熟語として使われるが、日本語には「清潔をする」「衛生をする」の表現はない。中国語の“卫生间”“卫生球”“卫生筷”“卫生所”など、いずれも日本語には見られない。一方、日本語の「衛生車」は中国語には見られない。

(3)同じ表現で、指し示す範囲の異なりによる両言語の意味的相違について、中国語の“卫生纸”と日本語の「衛生用紙」の指し示す意味は異なる。日本語の「衛生用紙」は家庭やオフィス等で広く使用されているティシュペーパー、ペーパータオルなども含まれる。中国語の“卫生纸”はトイレトペーパーだ

けを指す。また日本語の「衛生設備」とは、一般的に「建物内又はその敷地内において、給水・給湯・排水・通気及び衛生器具、消火、ガスなどの設備、排水処理水再利用などの諸設備に関する総称」として定義されている。中国語の“卫生设备”は「建築物内において給水、給湯、排水などの諸設備の総称である。特に蛇口が取り付けられ、排水管などと繋がる洗面台、浴槽、水洗式便器などを指す。日本語の「衛生設備」と比べると、指し示す意味がかなり縮小していることが分かる。

(4) 中国語の“卫生”の語源は古代中国語に遡る。古代中国語の“卫生”は日本に伝えられ、明治時代に長与専斎によってドイツ語 Hygiene、英語 hygiene の訳語に当てられたのがきっかけで「身の回りを清潔にして、健康の維持と疾病の予防・治療につとめること」という意味が付与された。清末に康有為らがその意味の「衛生」を中国語に取り入れたと見られる。

(5) 中国語の“卫生”と日本語の「衛生」に関する辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》『日中辞典 小学館』『日中辞典 講談社』では、日本語の「衛生」は、“卫生 weisheng”と解釈されている。しかしながら、日本語の「衛生」と中国語の“卫生”における品詞のずれや使い方の相違点は記述されていない。また「衛生設備」と“卫生设备”は指す物の内容が異なるが、『日中辞典 小学館』では、「衛生設備」をそのまま“卫生设备”と対応しているという不備も見られる。

第3節 中国語の“接触”と日本語の「接触」の意味的相違

本節では引き続き【第1パターン】の例として中国語の“接触”と日本語の「接触」の意味的相違を中心に考察する。

中国語の“接触”と日本語の「接触」はいずれも使用頻度の高い日中漢字同形語である。日本語の「接触感染」という表現なら、中国人学習者は字面から何かに接触して感染したと理解できる。が、「接触事故」という表現になると、中国人学習者はその意味の理解に困惑してしまう。本節では「人を表すかモノを表すかによる両言語の意味的相違」及び「中国語・日本語における慣習的な表現による両言語の用い方の相違」という視点より考察する。

中国語の“接触”と日本語の「接触」は意味領域が重る部分があるが、それぞれ独自の意味を持つため、両者は意味領域の関係において【第1パターン】の<第1類>に属する。

《現代汉语词典》の“接触”の語釈に、①挨上，碰着（さわること、触れること）、②人跟人接近并发生交往或冲突（人と人が近づき、付き合ったり衝突したりする）とある。『中日辞典 小学館』（注11）では、“接触”は「①触れる。さわる。くっつく。②（人と人が）近づきになる。接触する。交渉する。」と解釈している。

また日本語の「接触」に関しては、『広辞苑』では、「①近づきふれること。さわること。②他人との交渉を持つこと。付き合うこと」とあり、『明鏡 国語辞典』（注12）では「①近づいて触れること、触れ合うこと、②他の人や他の領域と触れる機会を持つこと、交渉を持つこと」とある。さらに『新明解 国語辞典』（注13）では「①触れ合うこと、さわること、②（親しく）付き合うこと」とある。

上記の中国語の“接触”と日本語の「接触」における辞書的語彙から、人間以外の【物体と物体の接触】の用法は中国語にもあるのか、また日本語の「親しく付き合う」の用法は中国語にもあるのか、中国語の「衝突する」という意味は日本語にもあるのか、中国語の“挨上”“碰着”（さわること、触れること）の用法は日本語にも見られるのか、【人間と人間の接触】の用法は中国語と日本語では本当に共通しているのか、などを研究焦点とする。

次に【人間と人間の接触】【人間と物体、人間とモノの接触】【物体と物体、モノとモノの接触】という三つの視点から、中国語の“接触”と日本語の「接触」の意味的相違点と共通点について考えることとする。

(1) 人間と人間が接触する場合

この場合における「接触」の主体と対象にはいずれも人間を示す語が使われる。この場合に使われる「接触する」(接触)は、「会う」、「付き合う」、「ばったり会う」などの意味を表すと考えられる。次に例文の解析を通して考えてみることにする。

(a) 「会う、付き合う」の場合

○彼は商売柄いろいろな人と接触する。(因为生意上的关系,他要与各种人接触。)

上記の例文の「接触」は「会う、付き合う」という意味を表し、その主体と対象に「彼」「人」のような人間を示す語が使われる。

例①. 彼とは個人的な接触がある。(和他有些个人接触。)

例②. 彼と接触してはいけない。(不要和他接触。)

上記の二つの例文について、日本人 20 人を対象に、1. 文中の「接触」に「付き合う」という意味があるか、ほかに言外の意味があるのか、2. 上記の例②は「これから二度と会ってはいけない」という意味なのか、それとも「これまで

の付き合いを絶ちなさい」という意味なのかについて調査した。まとめると、下記のようになる。

上記の例①と例②の「接触」に「付き合う」という意味があるかという質問に対し、15人がイエス、4人がノー、1人が分からないと回答している。また上記の例における「接触」に言外の意味があるかという質問に対し、16人がイエスと回答しており、「会う」「関わり」などの意味を挙げている。

質問2に対し、どちらでもOKと回答している人は4人、「これから二度と会ってはいけない」を選んだ人は15人、分からないと回答している人は1人であった。

以上の結果で分かるように「接触」に対応する中国語は、“接触”のほかに、“见面”“会面”“关系”などがある。

例①. 私は、こうした問題に興味をもったドイツ人仲間とある程度の接触を保って意見の交換をしていた。(我与对此问题抱有兴趣的德国伙伴保持着一定程度的接触，并交换意见。)

例②. 文部省とマッカーサー司令部とは接触を保っており、文教に関し何等の指令なしに終わることは考えられない。(文部省和麦克阿瑟司令部保持接触，关于文教没有任何指令就结束，那是不可想象的。)

「接触を保つ」は、他者との連絡のパイプを維持し、他者との付き合いを続けるという意味である。すなわち「連絡の維持」「付き合いを続ける」意味があることは明白である。ただし、「親しく付き合う」を意味するかどうかは「接触」だけでは分からない。例①では、そのドイツ人仲間とは個人的に親しい付き合いとも、また普通の付き合いとも考えられる。例②の場合、文部省とマッカーサー司令部とは事務上管理される立場と管理する立場に置かれ、その「接触」は親しく付き合うまではいかないであろう。

○ボンドは以前の雇い主たちとの接触をいっさい絶った。(邦德断绝了和前

雇主们的联系。)

○「君との接触を断つつもりはなかった」、とフィービは彼の強い視線を感じ、表情を顔に出すまいとした。(“我没打算和你断绝联系。”菲毕能够感受到他强烈的目光，因而竭力不将表情流露在脸上。)

上記の例文における「接触を断(絶)つ」は縁を切る、いっさい会わないことを表し、これまでが濃厚な付き合いとも、また普通の付き合いとも考えられる。

○基昭は東アジア選手権で相当な危機感を抱き、Jリーグ浦和レッズの監督を務めたギド・ブッフバルトらとひそかに接触を図っていたという。(据说基昭在东亚冠军赛上就抱有相当大的危机感，已经在私下和担任日本足球联赛浦和红钻队教练的基德·布夫巴鲁特等人接触。)

上の例文のように、日本語の「接触」は「公然と会う」とは異なり、「密談する」という意味を示す場合にもよく用いられる。

日本語の「接触」はその対象となるのが人間だけではなく、人間で構成される団体、組織、機構や国の場合もある。下記の例を見てみよう。

○その後、米大使館は武装勢力とつながりがある宗教者委員会に接触した。(之后，美国大使馆与同武装势力有关系的宗教者委员会进行了接触。)

○かくして、カーヒルは絵を換金するために、ヨーロッパ中の様々な犯罪者や組織に接触するハメになる。(就这样，卡菲尔为了变卖画作，竟然与欧洲的各种罪犯和组织进行了接触。)

○彼は、その後「癌の治療」のためという名目でアメリカへの入国を求め、アメリカ政府に接触した。(之后，他与美国政府接触，以“治疗癌症”为由要求进入美国。)

上記の例で分かるように、団体、組織や国と交渉する場合にも「接触」が用いられる。

日本語の「接触」の用い方の特徴は上記の例から少なくとも(1)はじめて会う、(2)何回も会う、よく会う、(3)密談する、(4)電話、手紙やファックスなどで連絡を取り合って付き合う、(5)親しく付き合う、親しく触れ合う、(6) 団体、組織や国と交渉する、が挙げられる。

中国語の“接触”も日本語と同様に、上記の6用法として用いられるのだろうか。下記の中国語の例を見てみよう。

○周恩来代表中国共产党在武汉、重庆、南京、上海广泛接触了外国使节、记者、学者、政界人士、国际友人和各种援华国际组织。（周恩来は中国共産党を代表して武漢、重慶、南京、上海で外国の使節、記者、学者、政界の人、国際友人、及び中国を支援する国際組織など、さまざまな人や団体と幅広く接触した。）

上記の例における“接触”は(1)「はじめて会う」にあたる例である。日本語の「接触」の用法(1)と共通する。

例①. 开放的军营,今天成为市民和军人亲密接触的场所。（兵舎は今日、市民に開放され、自由に見学でき、市民と軍人が親しく触れ合う場となった。）

例②. 中国部分地区可以看到这次月亮与金星“亲密接触”的奇妙天象。（中国の一部の地域では今回の月と金星の「親密な接触」という奇妙な天体の現象を観察することができる。）

上記の二例は(5)「親しく触れ合う、接触する」にあたる例である。中国語の“亲密接触”は通常、人間と人間との接触を表す場合に用いられる。が、上記の例②のように月と金星の接触を擬人化して表現する場合にも使われる。

例①. 此后双方虽多次秘密接触,但一直没有恢复正常关系。（その後双方は何度も秘密裏に接触したが、ずっと相互関係の正常化を実現できないでいた。）

例②. 与此同时,他们还同协约国代表多方私下接触,以挑拨它们之间的矛盾。

(それと同時に、彼らはまた三国同盟の代表といろいろとひそかに接触し、その間の対立をそそのかしていた。)

上記の二例は(3)「密談する」にあたる例である。この場合、“接触”の前に“秘密”“私下”などの形容詞が置かれそれを修飾することが多い。上記の例①は“多次”を用いるため、(2)「何回も会う、よく会う」にもあたる例である。いずれも日本語の「接触」にも見られる用法である。

○北约官方人士称双方的首次电话接触是“令人鼓舞的”。(NATO関係者は双方の初めての電話による接触が「人心を奮い立たせるものだ」と語った。)

上記の例は(4)「電話などで連絡を取り合っての接触」にあたる例である。

○法律规定的“禁止接触”,只是禁止见面或共同生活,而电话、传真等间接接触也会给妇女带来巨大压力。(法律の定める「接触禁止」は、ただ面会或いは共同生活を禁止するだけであり、電話、ファックスなど間接的な接触も女性に巨大な圧力をもたらす。)

上記の例も(4)にあたる例で、電話やファックスなどで連絡を取り合っての間接的接触を示す例である。

中国語でも日本語と同様、団体、組織や国と交渉する場合に“接触”が用いられる。下記の例がそれである。

○据了解,同仁堂已经和香港本地的科研机构接触探讨合作研发的事宜。(同仁堂はすでに香港地元の科学研究機関と接触し、共同で研究開発することを検討しているという。)

○透过这些网站陈太太可以与政府接触,并以电子邮件的方式向政府表达观点和意见。(これらのウェブサイトを通して、陳夫人は政府と接触し、また電子メールで政府に自分の考えと意見を発表できる。)

○我们呼吁绑架者释放这名记者,并多次试图与多个组织接触以了解他的情况。

(私達は拉致者にこの記者の釈放を呼びかけ、そして彼の状況を知るために幾

つかの組織との接触を何度も試みた。)

上記の例文の“接触”は(6)にあたる例で、その対象が“香港当地的科研机构”“政府”“多个组织”など人間からなる機構や組織である。

人間と人間との接触の場合、上記の例で分かるように、日本語の6用法は中国語の“接触”にも見られる。

(b) 「敵と接触する」場合

「敵と接触する」場合、「ばったり遭遇する」という意味なのか、それとも「敵と交戦する」という意味なのか、下記の例文をめぐって日本人20人を対象に調査した。

○平坦な地形を通過しているとき、敵軍と接触したら、どうすればよいか。
(在通过平坦的地形时，与敌军发生接触怎么办?)

○防御者の派遣する別働隊と接触する可能性は低い。(与防御方派出的别动队发生接触的可能性很低。)

○敵と接触するまで移動する。(一直向前推进，直到与敌军发生接触。)

○味方の軍は、すでに敵軍と接触しており、銃の音があちこちから聞こえてきた。(友军已与敌军接触，枪声从四面八方传来。)

○戦国期の戦場では忍びが暗躍しており、特に境目といった敵方との接触がある地域においては、至る所に待ち伏せの罠が仕掛けられていた。(战国时期的战场上奸细暗中活动，特别是在被称作分界线的与敌方接触的区域，到处设有埋伏的陷阱。)

○十人に四人が非戦闘任務をはっきりと選択し、コンピューター技術員や人事係、出荷係、トラック整備員、気象予報員、情報分析員、コック、フォークリフト運転手になる。どれも敵と接触する危険性が低い仕事だ。(十人中有四人明确选择非战斗性任务，去担任计算机技术员、人事管理、出货员、卡车维修

員、气象预报员、厨师、铲车司机，这些工作与敌人发生接触的危险性很低。)

○戦力が敵軍に及ばない場合には、敵軍と接触するのを避け、敵の戦力を消耗させる。(当战斗力不及敌军时，应避免与敌军接触，消耗敌人的战斗力。)

○中国の意図に関する謎は、11月第2週に人民義勇軍が国連軍との接触を断ち、国連軍が進撃する予定であった北朝鮮北部の山岳地域に撤退したことで、さらに混迷を深めた。(有关中国意图之谜，因11月第2周人民义勇军退出与联合国军的战斗、撤退至联合国军计划进攻的北朝鲜北部山岳地区，而显得更加疑云重重。)

上記の例文をめぐって、日本人ネイティブ 20 人を対象にアンケート調査を行った結果、「敵と接触する」は①「ばったり遭遇する」、②「交戦する」という意味をどちらも表すと、ほぼ全員が回答している。

一方、中国語の“接触”も同じような場合に使われる。下記の例がそれである。

○先頭部隊已经和敌人接触上了。(先頭部隊はすでに敵と接触した。)

○但刚刚到达运河便与解放军发生接触，遭到猛烈的狙击。(しかし運河に到着すると、すぐ解放軍と接触して、猛烈な狙撃に遭遇した。)

○英军正面仅有小接触。(イギリス軍は正面で、敵と少し交戦した。)

○我们向内陆挺进的部队与敌军发生了接触。(内陸へ勇敢に進む我が部隊は敵軍と接触した。)

○他在第一次与敌军接触时就采取了诱敌之计，将敌军引入了自己的战线当中。(彼は初めて敵軍と接触した時、敵をおびき寄せる計を取り、敵軍を自分の戦線に引き入れた。)

上記の例はひそかに敵側と交渉する意味ではなく、「ばったり敵と遭遇する」、または「敵と交戦する」という意味を示し、日本語の「接触」と対応することができる。

以上の例文のように、「接触」は「両方の部隊がぶつたり遭遇する」、または「戦闘状態に入る、交戦する」という意味を表し、「接触する」対象は「敵」「敵方」「敵軍」などである。しかし、次の「接触」も戦場で起きる行動であるが、上記の「接触」とは異なる意味を表す。

例①. 総政治局敵工部（通称「563部隊」）は、平時労働党統一戦線部の統制を受け、韓国軍兵士との接触工作、拉致、越北の工作、非武装地帯での拡声器放送、出版物配布を行う。（总政治局敌工部〈通称“563部队”〉平时接受劳动党统一战线部的领导，执行与韩国士兵接触、绑架、协助逃亡、非武装地带的广播、出版物的散发等任务。）

例②. 英軍は上層部から、敵との友好的な接触、非公式の休戦を厳しく禁止された。（英军被上级严厉禁止与敌方的友好接触和非正式的休战。）

例③. 敵と接触を保って敵情に通ずる。（与敌方保持接触以掌握敌情。）

上記の例文における「接触」は「両方の部隊がぶつたり遭遇する」、または「戦闘状態に入る。交戦する」という意味ではなく、例①は敵軍兵士と付き合う、例②は友好的な接触をする、例③は敵との連絡をするなど、様々な意味を表すものである。

一方、《现代汉语词典》では、中国語の“接触”は「交戦する。砲火、銃弾などを交える」と解釈している。また、“接触”が上述の意味と異なる意味を表す場合もある。次の例がそれである。

例①. 以后的几天，美军这个团的其他几支巡逻队也同苏军接触上了。（数日後、米軍のこの連隊に所属するその他の数個のパトロール隊もソ連軍と連絡が取れた。）

例②. 双方边防军人的交往与接触正稳步增加。（双方の国境警備軍の兵士の付き合いと接触が着実に増加している。）

例③. 塞族军方停止与北约军队的接触，直到被扣押的塞族人得到释放。（取

り押さえられたセルビア族の人が釈放されるまで、セルビア軍は NATO 軍隊との接触を停止するとした。)

上記の例①は第二次世界大戦の時、同盟国軍に属するアメリカ軍とソ連軍は連絡が取れたという意味、例②は双方の兵士が交わったり付き合ったりするという意味、また例③はセルビア族軍と NATO 軍が交渉するという意味である。

以上、日本語と中国語の例文を分析することにより、敵方の部隊や兵士との“接触”／「接触」は「両方の部隊がぶつかり遭遇する」、または「戦闘状態に入る。交戦する」という意味だけでなく、そのほかに「交わり付き合う」「連絡する」「交渉する」など様々な意味を表す。『明鏡 国語辞典』『新明解 国語辞典』『中日辞典 小学館』『日中辞典 小学館』はこれに関する説明が欠如しており、補うべきであると指摘しておく。

(c)かつて仕事などで会った、また共に仕事した、仕事の相手であったことを示す場合

○我从不挑客户，这不单是为了收入，我还要给所有和我接触过的人一个好印象。（取引先を選ばない。収入のためだけでなく、接触したすべての人に良い印象を与えたい。）

○我接触过的那些编剧们，他们中绝大多数却竟然连这个道理都不懂。（私が接触したシナリオ・ライター達の中で、絶対多数はなんとこの道理さえ分らない。）

○但是由非直接接触客户的部门举办，效果会大打折扣。（しかし取引先と直接接触／関係しない部門が主催すると、効果は相当下がる。）

上記の例文と日本語訳で分かるように、この場合、日本語と中国語の用法は共通している。中国語の“接触”に日本語の「接触」で対応することができる。

「人間と人間が接触する」は以上のように「会う」「付き合う」「ばったり遭遇する」「交戦する」「連絡を取り合う」などの意味を表す。また、中国語では「人間と人間が物理的に触れる」という意味は表さないため、それを表す場合、“碰”“撞”を用いる。が、日本語の「接触」は中国語の“接触”と異なり「人間と人間が物理的に触れる」という意味に用いられる。

○細い歩道では、すれ違うときにほかの人に接触することがある。（如果是在狭窄的人行道上，插肩而过时会碰到别人。）

○我只是不小心碰了小王一下，并不是故意撞他。 <×接触>

（私はちょっとうっかり王さんに当たって、別にわざと彼にぶつかったわけではない。）

上記の中国語の例文は、人間“我”と“他”が物理的に触れる、ぶつかることを表すものである。このような場合中国語では“接触”とは言わない。また日本語の「接触」は中国語とは異なり、「人間と人間が物理的に触れる、ぶつかること」という意味に用いられるため、「接触する」のほかに「当たる」「ぶつかる」で対応される。

しかし、下記の場合には中国語の“接触”と日本語の「接触」は同様に「人間と人間が物理的に触れる」という意味を表すことができる。

(d) 患者との接触の場合

(a)～(c)の例は「会う」「付き合う」「ばったり遭遇する」「交戦する」「連絡を取り合う」の意味であって、「人間と人間が物理的に触れること」を示すものではない。患者との接触を示す場合、「人間と人間が物理的に触れること」を示し、この用法は中国語の“接触”と日本語の「接触」にも見られる。次の例がそれである。

○医院已经对3名接触患者的家属予以隔离观察。（病院はすでに患者と接触した3名の親族に対し、隔離観察を行っている。）

○近距离接触患者后，90%都有可能在患者打喷嚏、咳嗽和说话时感染上此种病毒。(患者と濃厚接触した後、90%の人は患者のくしゃみ、咳、話をした時に、このウイルスに感染する。)

○有位医生因恐惧甚至无法再接触患者，后转至别的部门。(大変怖がって患者に接触することができないため、後になってほかの部署に移動させられた医者がある。)

次に日本語の例を見てみよう。

○この時期の患者に接触するとヘルペスに感染する率が高くなる。(如果接触这个时期的患者，感染疱疹的几率就会很高。)

○患者に接触する前に有用な手の消毒をする。(接触患者前要进行有效的手部消毒。)

○結核患者に接触した病院職員への対策を進めている。(正在推进针对接触过结核患者的医院工作人员的应对之策。)

上記の例文で分かるように、中国語の“接触患者”と日本語の「患者に接触する」は対応している。この場合の“接触”(接触)は「連絡」、「付き合う」という意味ではなく、「人間と人間が物理的に触れること」を表す。

(e) 異性との接触

異性との接触を示す場合、「人間と人間が物理的に触れる」場合とそうでない場合の二通りが考えられる。下記の例がそれである。

例①. 未知の女性との接触を、何らかの方法で肉親(特に母親)が妨害する。(家中亲人<尤其是母亲>会用某些方法干扰他和陌生女子的接触。)

例②. 「皆に蔓延した病気の原因は、水と大気の変化」だけでなく、「当地に沢山おります女性との接触が大きく禍した」と報告しているようにその要因が本来の任務を全うしないから、三百人以上は島に残さずスペインへ戻すこと

を決断せねばならなかった。（传染给众人疾病的原因不光是水和大气的变化，与当地众多的女子的接触引发了很大的灾难，它将使完成任务的希望化成泡影，所以只能下决定将三百多人从岛上迁回西班牙。）

上記の例①における「女性との接触」は「未知の女性」との交際、付き合いという意味を表す。しかし、例②に用いられる「女性との接触」は例①とは異なり、「他者と付き合う」、「連絡する」という意味ではなく、性的接触がある、異性の体と物理的に触れ合うという意味である。物理的に女性の体に触れない限り病気の蔓延は起こらないからである。

一方、中国語にも“接触”は同じ使い方がある。その用例を見てみよう。

例①. 男人在外面应酬，一天到晚接触女人，很容易会受人引诱。（男は外で客の応対をし、朝から晩まで女性と接触するから、人に誘惑されやすい。）

例②. 尼采是十九世纪德国哲学家，他一生不接触女人，并曾说：“你到女人那里去吗？可别忘了带上你的鞭子！”（ニーチェは19世紀のドイツの哲學家で、彼は一生女に触れず、且つ次のように言ったことがある。「女のところへ行きますか。鞭を忘れないように！」と）

例①の“接触女人”は「女性との交際」という意味である。例②の“接触女人”はニーチェが女性の体に触れること、すなわち「ボディタッチ」ということを表す。この場合、中国語では“碰女人”のように、“碰”とも言うが、“接触”よりくだけた言い方になる。

上記の用例で分かるように、中国語の“接触”と日本語の「接触」は「異性との接触」を表す場合、コンテキストや前後の文脈により、「人間と人間が物理的に触れる」場合とそうでない場合を表すことができる。また、はっきり「男性と女性が物理的に触れる」という意味を表す場合、日本語には「性的接触」という表現が用いられる。その例を見てみよう。

○D型肝炎ウイルスとB型肝炎ウイルスは、血液の接触か性的接触により他

者に伝染する。(D型肝炎ウイルスとB型肝炎ウイルス通过血液接触或性接触传染给其他人。)

○我が国の患者発生状況はいまだ少数にとどまっているが、日本人どうしの性的接触による感染例も発見されるなど、感染が広がっていることがわかる。(我国新增患者的状况仍然局限于少数，但通过日本人之间的性接触而导致传染的病例，我们从中可以发现感染在扩散。)

○若い男性同士の性的接触で、梅毒が急増中。(由于青年男子之间的性接触，梅毒病患者正在急剧增加。)

性行為は通常、接吻、さわり、抱き合う、性交などが含まれるが、「性的接触」は性交、性行為とほぼ同様の意味を表す。以上の例文の「性的接触」は「人と人が物理的に触れる」こと、性的関係を持つことを表す。一方、中国語の“性接触”も同じ意味として用いられる。

「人間と人間が接触する」場合の日本語の「接触」の使い方をまとめると、下記のようになる。

- (1) はじめて会う
- (2) 何回も会う、よく会う
- (3) 密談する
- (4) 電話、手紙やファックスなどで連絡を取り合って付き合う
- (5) 親しく付き合う、親しく触れ合う
- (6) 団体、組織や国と交渉する
- (7) 敵と接触する(敵と遭遇する、場合によっては交戦する)
- (8) かつて仕事などで会った、また共に仕事した、仕事の相手にしたことがある
- (9) 人間と人間が物理的に触れる

(10)患者と接触する

(11)性的接触を行う

一方、中国語の“接触”は、(9)を除く上記の「接触」の10種類の使い方があり、互いに対応することができる。

同じ「人間と人間が接触する」場合でも、下記の使い方は日本語には見られない中国語独特のものである。次の例を見てみよう。

①接触群众（民衆に接する）

○领导干部带头深入基层，直接接触群众，了解第一手材料。（指導者は率先して現場に入り、直接民衆に接し、現地資料を直接手に入れなければならない。）

○切莫只听汇报，不接触群众。（ただ報告を聞くだけで、民衆に接することを怠るわけにはいかない。）

○她不辞辛苦，深入工厂、农村和各少数民族地区，广泛接触群众，关心人民疾苦。（彼女は苦勞を惜まずに、工場、農村及び各少数民族の地域に深く入り込み、広く民衆に接して声を聞き、人々の病気や苦しみに関心を寄せた。）

○他宁肯不休息，也从不放过接触群众的机会。（彼は休もうとせず、民衆と接する機会を絶対逃さない。）

○行程逾 2000 公里，接触群众 3 万人以上，视察了我省 3 区 5 市 6 县的总书记离开了山西。（2000 キロメートルを超える道程、接した民衆は 3 万人以上、我が省 3 区 5 市 6 県の視察を終えた総書記は山西省を離れた。）

上記の例文のように、中国語の“接触”は中国語特有の表現としてよく用いられる。中国語の“接触”は政府側の幹部が民衆の苦しみや悩みなどに関心を抱いて、民衆といろいろコミュニケーションを交わし、民衆の生活の現状などを調べ、場合によっては民衆との共同生活を行うという意味合いを持つ言葉である。文中に使われる場合、“接触”の主体が“市长”“镇长”など役職を持

つ人が多く、“接触”の対象となるのは“群众”（群衆）であることが多い。このような中国独特の政治環境で用いられる“接触”は、日本語の「接触」では対応できない。

(2) 人間と物体、人間とモノが接触する場合

「接触」は「人間と人間が接触する」場合だけでなく、「人間と物体、人間とモノが接触する」場合にも用いられる。この場合に使われる「接触」は、一方は人間であり、もう一方は物体、モノである。

○エイズウイルスは、感染力が弱く、血液や精液に濃厚に接触する場合を除き、必要な注意を払えば、日常生活では感染しない。（艾滋病毒传染性很弱，除了密切接触血液和精液，如果给予必要的注意，在日常生活中是不会被传染的。）

○そういう日ごろ麻薬に接触するチャンスの多い人が依存症になって、強制的に入院させられたケースが多かった。（这些平时有很多机会接触毒品的人嗜毒成瘾，很多被强制送入医院。）

○モデルを直接ガラスに接触させ、顔をくっつけて撮影した。（让模特儿直接接触玻璃，将脸贴在上面进行拍摄。）

○その意味では、映像に接触した人は何らかの行動にまき込まれる、というふうにもいえる。（从这个意义上说，可以认为接触了影像的人会被卷入某种行动。）

上記の例文のように、「モデル」「人」などのような「人間」が「血液や精液」「麻薬」「ガラス」などの実物と「映像」などの抽象物に「接触する」ことを表す。このような場合に使われる「接触」は、中国語でもほぼ“接触”と対応して差し支えない。

下記の二つの例を考えてみよう。

○一部の聖職者で、マス・メディアに接触することを一切断って生活してい

る人がいる。(在部分圣职人员中, 有些人完全断绝与媒体的接触而生活着。)

○一部の聖職者で、マス・メディア関係者に接触することを一切断って生活している人がいる。(在部分圣职人员中, 有些人完全断绝与媒体人员的接触而生活着。)

「マス・メディア」を「マス・メディア関係者」に変えると、①人間と人間が接触する場合の(a)「会う、付き合う」の例になる。一方、中国語の“接触”も「人間と物体、人間とモノとが接触する」場合に用いられる。次の例がそれである。

○一般说来, 接触鸡粪和鸡的血液感染危险性大, 因此养鸡人员要注意带口罩和洗手。(普通、ニワトリの糞とその血液に接触すると感染する恐れが大きく、そのためにニワトリを飼う人はマスクをかけ、手を洗うように気をつけなければならない。)

○这是人们可能接触到的最大的人造辐射源。(恐らくこれは人々が接触する最大の人造放射線源である。)

上記の例文のように、中国語の“接触”も“养鸡人员”“人们” などのような人間が“鸡粪和鸡的血液”“人造辐射源”などのような実物に「接触する」という意味を表す場合に使われる。

○民警在李代沫的暂住地查获了冰毒以及全套吸毒工具。李代沫表示自己 2012 年底接触上毒品, 此后曾戒掉, 今年春节前再次复吸。(警察は李代沫の仮住まいの部屋でメチルアンフェタミンと麻薬を吸う道具セットを押収した。李代沫は 2012 年末に麻薬を吸飲はじめ、以後一時やめたが、今年の春節の前に再び吸飲を始めたと白状している。)

○有调查表明, 接触暴力淫秽出版物和影视作品基本上不会导致针对女性的攻击性或反女性的性想像。(暴力や猥褻な出版物、映画とテレビの作品を読んだり見たりしても、女性に対する攻撃、或いは女性に対する性的幻想を招くよう

なことはほぼないという結論が、ある調査で明らかになった。)

また、上記の例文のように、中国語の“接触”は“李代沫”や不特定の人が“毒品”“暴力淫秽出版物和影视作品”などに「接触」し、悪いことを始めるという意味を表す場合にも使われる。

○今年带太太、女儿一起来平遥旅游, 接触点儿传统文化, 这个年过得新颖而充实。(今年、妻や娘を連れて一緒に平遥の観光に行き、すこし伝統文化に接触し、新鮮味があって充実した年末を過ぎた。)

○把他们关在暗室中, 只让他们吃、睡以便生存下去, 不让他们接触外部世界。(彼らを暗室に閉じ込め、生きつづけるように食事と睡眠だけを取らせ、外部世界との接触を一切断った。)

さらに上記の例文のように、“太太、女儿”“他们”のような人間が“传统文化”“外部世界”などの抽象物に「接触」する場合にも用いられる。

以上のように中国語の“接触”と日本語の「接触」は意味が同じである。下記のような使い方は日本語に見られない中国語独特のものである。

① 「習う」「勉強する」ことを意味する場合

中国語の“接触”は「習う」「勉強する」「出会う」などの意味を表す場合にも使われ、中国語では、“接触书本”(勉強する)、“接触这门技术”(この技術を習う)、“接触……思想”(～思想に触れる)などのように用いられる。次の例がそれである。

○他进一步熟悉了当时比较先进的机械技术, 并接触了蒸汽机。(彼は更にその時比較的、先進的な機械の技術を熟知し、また蒸気機関に関する技術をも習った。)

○在中学接触到的各种文字里, 除了汉字以外, 历史最久的就是希腊字母了。(中学<高校>で習った文字の中で、漢字のほかに、歴史が最も長いのがギリシア文字だった。)

○他从小对戏剧有兴趣，在学校里接触到古罗马的诗歌与戏剧。（彼は小さいときから、芝居に興味があって、学校で古代ローマの詩と芝居を習った。）

○她同时也接触到了犹太教、基督教的一神论的思想，以及一系列宗教主张。（それと同時に、彼女はユダヤ教、キリスト教など一神教の思想及び一連の宗教的な主張を習った。）

○学生们主要学习儒家学说和历史著作，基本上不接触自然科学的内容。（学生達は主に儒学の学説と歴史書を読んでいたが、自然科学はほとんど勉強しなかった。）

○这孩子从7岁就开始接触绘画。（この子は七歳から絵を習い始めた。）

上記の例文のように、中国語では「勉強する」「習う」などの意味を表す場合、“接触”がよく使われる。“接触”の対象は“蒸汽机”“文字”“古罗马的诗歌与戏剧”“思想”“自然科学”“绘画”など、いずれも人間の能力を伸ばし、人格をより健全にするためのものである。

② 「～に触れる」「～に言及する」「～にかかわる」ことを意味する場合

下記の中国語の“接触”の用法も日本語の「接触」には見られない。

○特别是《地狱篇》，鲜明地反映了意大利的现实生活，接触到一系列重大的社会政治问题，探索了意大利民族的出路。（特に『地獄の編』は、鮮明にイタリアの現実的な生活を反映し、一連の重大な社会的政治的な問題に触れ、イタリア民族の道を探求した。）

○大家在发言中也接触到了这个问题。（皆さんの発言でこの問題にも触れた。）

○有些问题在已出版的中国近代史著作中虽然接触到了，似乎都还可以深入探讨。（一部の問題はすでに出版された中国近代史の著作で言及されたが、皆もっと深く突っ込んで検討する余地がありそうだ。）

○但它显然已经接触到了现代诗的特质，使我们有了一个展开讨论的基础。（し

かしそれは明らかに近代詩の特質が取り上げられ、私達が議論を行うための土台を作ってくれた。)

○高尔基从一九〇五年直到一九三六年逝世不久之前写的多篇政论和杂文，内容是多样性的，既接触到国内的问题，也接触到国际的问题。(ゴーリキーが 1905 年から 1936 年の逝去までに書いた何本もの政論と雑文は、内容が多様性に富み、国内の問題及び国際問題にも触れている。)

上記の例文における“接触”は「物に接触する」という意味ではなく、「ある抽象的な事柄に言及する」という意味を表す。“接触”と共起するのは“問題”“特質”などのような「物」ではなく、ある抽象的意味を表す語が多く見られる。この場合に用いられる“接触”は日本語の「接触」とは対応できない。

以上のように、「人間と物体、人間とモノが接触する」場合、中国語の“接触”と日本語の「接触」は同様の意味を表すため、互いに対応することができる。しかし中国語の“接触”は「習う」「勉強する」「出会う」「～に言及する」「～に触れる」という意味をも表し、このような意味を表す“接触”は、日本語の「接触」とは対応できず、他の言葉に訳す。

③ “接触接触”の重ね語の形で用いられる場合

中国語の“接触”は“接触接触”のように、“接触”を繰り返し、重ねて動詞として用いることがある。「社会に出る」、「自然に触れる」という意味を表す場合に多く用いられる。下記の例がそれである。

○让孩子接触接触农村，接触接触大自然，别长大了跟我似的。(子供にすこし農村、また大自然に触れる機会を与えるのが良い。大人になったら僕みたいになってほしくない。)

○金先生晚年深居简出。我对他说：“你要接触接触社会。”(金先生は晩年、家に引っ込んでばかりいてめったに外出しない。私は彼に「すこし世間に出た

方が良い」と言ったことがある。)

上記の例文のように、中国語の“接触”は、農村や大自然に触れること、または世間に出ることなどを表す場合に用いられる。日本語では「社会との接触」「自然との接触」という表現がよく用いられるが、“接触接触”という重ね語は見られない。

“接触接触”は、また「人間と人間の接触」という意味を表す場合にも使われる。次の例がそれである。

例①. 应该多接触接触，做些工作，争取他为城市的建设出点力。（町づくりに力を貸してくれるように、もっと彼と接触し、働きかけるべきである。）

例②. 谈到后来，她同意“接触接触再说”，但警告他“不准对任何人说”。（話し合った結果、彼女は「付き合ってみる」と承諾した。しかし彼に「誰にも言ってはだめ」と注意を促した。）

例③. 他说：“那就让他们两人接触接触再说，合得来，不用大人帮忙，他们自己也会好起来的。”（「それなら2人が付き合うようにさせればいい。気が合ったら、親族の手伝いがなくても、2人が互いに好きになるだろう」と彼は言った。）

以上のように中国語の重ね語“接触接触”は「短時間で何かをする」「試しに何かをする」「気軽に何かをする」という意味合いを持つ。“接触接触”はよく会話に用いられ、人と人の交際を表す場合、とりわけ例②と例③のように男女の付き合いを表すことが多い。

(3) 物体と物体、モノとモノが接触する場合

日本語の「接触」は以上の「人間と人間が接触する」、「人間と物体、モノとモノが接触する」場合に使われるだけでなく、下記のように「物体と物体、モノとモノが接触する」場合にも用いられる。次に (a) 類～ (e) 類に分け、その意

味を考えることにする。

(a)人間の体の一部（手、頭、皮膚など）と他の物が接触する場合

○器具の針は一人ずつ毎回交換していたが、皮膚に接触し血液が付着するおそれがあるキャップ部分はアルコール消毒して使用していた。（用作器具的针每人每次都会更换，接触皮肤后血液可能会附着在上面的针筒部分用酒精消毒后再使用。）

○左足が地面に接触するたびに「1. 2. 3. 4…」と数え、片足 20～30 回を 1 セットとして行う。（左脚每次接触地面都数“1. 2. 3. 4…”，每只脚 20 次至 30 次为一套动作进行。）

○角膜内皮細胞の検査は、点眼麻酔の上、眼圧を計る時のチップのようなレンズを軽く角膜に接触させて写真を撮る。（角膜内皮細胞検査就是在点眼麻酔后，让测试眼压时芯片似的镜头轻轻地与角膜接触并拍片。）

上記の例文は「皮膚」「左足」「角膜」のような人間の体の一部と「針」「地面」「レンズ」のような物体が接触することを表す。この場合の「接触」は中国語の“接触”で対応することができる。

例①. 皮肤与温度高的物体接触会感觉疼痛。（温度の高い物体に皮膚が接触すると、痛みを感じる。）

例②. 大脑会迅速接触到高浓度的尼古丁, 使吸烟者感到愉悦, 逐渐对香烟上瘾。（大脑が早く高濃度のニコチンに接触し、たばこを吸う者に喜びや興奮を感じさせ、次第にたばこをやめられなくしていく。）

例①は“皮膚”のような人間の体の一部が“物体”と接触することを表す。例②の「接触」は“尼古丁”（ニコチン）が含まれるたばこを吸うことを指す。日本語の「接触」も同じように使われる。

(b)物体と物体が接触する場合

○コピー用紙をドラムに接触させると、トナーが紙に移る。（如果让复印纸接触了墨盒，墨粉会转移到纸上。）

○目の前を二頭立ての馬車の鉄製の車輪が、敷石に接触して「カラ、カラ」という音をたてて通りすぎて行く。（铁制的车轮与敷设在路面上的石头接触发出“嘎啦嘎啦”的声音，双驾马车从眼前驶过。）

○プログラムの実行時にマウスがコマンドボタンに接触すると、この文字列がガイドとして表示される。（如果执行程序时鼠标与指令键接触，这行字就会作为提示显示出来。）

上記の例文は「コピー用紙」「鉄製の車輪」「マウス」のような物体と「ドラム」「敷石」「コマンドボタン」のような物体が接触することを表し、中国語の“接触”と対応することができる。

○只要两个物体紧密接触，间隙小到一定程度，就会使两个物体“粘牢”。（二つの物体はしっかり接触し、隙間が一定の程度に縮まれば、その二つの物体がくっつく。）

○空气的低层因接触地面或海面而冷却，使水气凝结而成雾。（空気の低い層は地面あるいは海面に接触し冷却され、その水蒸気が霧に凝結される。）

上記の例文は“物体和物体”“空气和地面或海面”のように物体と物体が接触することを表す。日本語の「接触」も同じように用いられるため、互いに対応することができる。

(c) 電気、電流が使われる物体が接触する場合

○洗面所の電気スイッチの接触が悪くて使えなくなってしまった。（盥洗室的电源开关接触不好，不能用了。）

○彼が奮闘して故障の原因を究明し、修理してくれた。結局、バッテリー端子とコードの接触不良が原因だった。（他好不容易查明原因并帮我修好了，最

后弄明白原因是电池端子与电线接触不良。)

○金メッキ表面に絶縁皮膜が出来て接触不良を起こすことがある。(镀金表面如果出现绝缘皮膜，会引起接触不良。)

○そこで、導電粒子の粒径を小さくし、電極との接触点数を増やすことで接触面積が増加され、信頼性の向上を得ることができた。(因此，通过缩小导电粒子颗粒直径、增加与电极的接触点数，从而增加了接触面积、提高了稳定性。)

○観賞魚用ヒーターが水に接触していない状態では機器は発熱しない。(观赏鱼用加热器在不与水接触的状态下，机器是不会发热的。)

上記の例文は「電気スイッチ」「バッテリー端子とコード」「絶縁皮膜」「導電粒子と電極」のように電気や電流が使われる物体が他の物体と接触することを表す。この場合の「接触」は中国語の“接触”で対応する。

○厕所排水不畅，电源插座接触不良。(便所は排水が悪く、電源コンセントは接触不良である。)

○試験車在线路上流动作业时，接触的交流电压高达 27,000 伏。(試験車が途中で移動作業をするとき、接触する交流電圧は 27,000 ボルトに達する。)

上記の例文は“电源插座与电流”“试验车和交流电”のように、電気、電流が使われる物体が接触することを表す。日本語の「接触」も同じように使われる。

(d) 化学反応を引き起こす物体が接触する場合

○濡れた鋼の包丁を、流し台のステンレス面に接触したまま長時間放置すると、鉄が酸化して鉄錆となり、ステンレス表面も錆びることがある。(将潮湿的钢制菜刀与厨房洗碗池不锈钢面接触并长期放置，铁经酸化后成为铁锈，不锈钢表面也会生锈。)

○ゴムの劣化は気体、液体、固体がゴムに接触→溶解→拡散→反応すること

で起こる。（橡胶劣化是经过气体、液体、固体与橡胶接触→溶解→扩散→反应的过程而产生的。）

○変圧器内に湿気を持ち込むから、油の絶縁耐力が低下する一方、熱せられた油が空気に接触するため、酸化作用によって油を劣化させ、不溶解性沈澱物が生じる。（将湿气带入变压器内，会使油的绝缘耐力下降，同时由于发热的油与空气接触，因酸化作用而导致油的劣化，产生不溶解性沉淀物。）

上記の例文は「包丁とステンレス面」「ゴムと気体、液体、固体」「油と空気」のような物体と物体が接触して化学反応を引き起こすことを表す。この場合の「接触」は中国語の“接触”で対応される。

○控制卷帆的机器几乎一接触到盐水就立刻生锈了。（帆を巻くことを制御する機械が塩水に接触して、すぐ錆びてしまった。）

○古银器长期与空气接触，在空气中极微量的臭氧作用下，也会失去光泽。（古い銀製品は長期間にわたり空気と接触すると、空気中のわずかなオゾンのため、光沢を失ってしまう。）

上記の例文は“机器和盐水”“银器和空气”のように、物体と物体が接触して化学反応を引き起こすことを表し、日本語の「接触」と共通する用法が見られる。

(e) 医学上の物が接触する場合

○胚をタンパク質分解酵素や酸性の溶液と短時間接触させる。（使胚胎与蛋白质分解酵素及酸性溶液短时间接触。）

○その細菌を植物細胞に接触させると、細菌は導入プラスミドを植物細胞に入れる。（使这种细菌与植物细胞接触，细菌会将导入质粒带入植物细胞内。）

○軸索の末端部は他のニューロンの細胞体あるいは樹状突起と接触しており、その部分をシナプスという。（轴索末端部与其他神经元细胞体或者树状突

起接触，这个部分称作“突触”。)

○免疫系には、抗原と接触しなくても先天的に有する異物に対する抵抗力である自然免疫 (natural immunity, 先天免疫) と、抗原との接触により後天的に得られる抵抗力がある。(免疫系是指自然免疫力，即不与抗原体接触、与生俱来的对异物的抵抗力，以及通过与抗原体的接触后天获得的抵抗力。)

上記の例文は「胚とタンパク質分解酵素や酸性の溶液」「細菌と植物細胞」「軸索とニューロンの細胞体あるいは樹状突起」「体と抗原」のように医学上の物体と物体の接触を表す。この場合の「接触」は通常、中国語の“接触”で対応される。

次に中国語の“接触”の例を見てみよう。

○这三种细菌都是厌氧生物, 只要接触氧气就会立即死亡。(この3種類の細菌はすべて嫌気性生物で、酸素に接触すると、直ちに死亡する。)

○这样可以扩大细胞同环境的接触面积, 有利吸取水和无机盐。(こうすることにより、細胞と環境の接触面積を拡大することができ、水と無機塩の吸い取りが有利となる。)

上記の例文は医学上の物体“細菌”“細胞”と何かの物体が接触することを表し、日本語の「接触」と共通する用法が見られる。

以上のように、「物体と物体が接触する場合」を (a) 類～ (e) 類に分け、その用い方の特徴について例文で確認し、中国語の“接触”と日本語の「接触」はいずれも上記の五つの場合に使われることが分かった。

日本語では、交通機関による事故を表す場合、「接触」がよく用いられるが、次にこの場合の日本語の「接触」と中国語訳の特徴を考えることにする。

日本語の「接触」は乗り物が何かに近づいて触れることを表す場合によく用

いられる。これをさらに、(ア)「乗り物同士の接触」、(イ)「乗り物と人、物の接触」に分けて考察することにする。

(ア)乗り物同士の接触

○注意して運転していたのに、僕の車はタクシーに接触してしまった。(虽然很小心地开车，但是我的车还是碰撞到了出租车。)

○左折のときに塀や電柱にこすったり、並んでいる車と接触したりして傷がついているのだ。(在左转时碰擦到了围墙、电杆，并且碰撞到了停在那里的车，使自己的车发生了损伤。)

○川崎駅通過中の京浜東北線回送列車が工事用車両と接触して、列車の先頭2両が脱線横転した。(正在通过川崎站的京滨东北线返站列车与工程车辆发生碰撞，列车头部两节车厢脱轨倾覆。)

以上の例文に使われる「接触」はいずれも乗り物同士が近づいて触れることを表す。中国語の“接触”はこのような場合には使われない。乗り物同士が近づいて触れる具体的な状態により、中国語では“碰撞”“碰擦”“蹭”などで対応する。

(イ)乗り物と人、物の接触

○トラックが橋梁に接触した。(卡车与桥梁发生了碰撞。)

○彼は接触事故で怪我をした。(他因为交通碰撞事故而受伤。)

○被害者が自動車に接触して転倒した以上、大なり小なり負傷することは何人も容易に想像できるはずである。(既然受害者与汽车发生碰撞而摔倒，无疑谁都能很容易地想象到他或重或轻会受伤。)

上記の例文に用いられる「接触」は、「トラック」「自動車」のような交通機関と「彼」「被害者」のような「人間」、「橋梁」のような物が触れることを表す。この場合、中国語の“接触”は使われず、(ア)類と同様、具体的な状態により、“碰撞”“碰擦”“蹭”が多く使われる。

また、日本語では「接触事故」という表現がよく使われるが、中国語では“接触事故”ではなく、“交通碰撞（碰擦）事故”と言う。この「接触事故」は道路交通事故だけでなく、飛行機の接触による航空事故や、また船の接触による海上交通事故など、様々な場合に用いられる。次の例がそれである。

○航空事故調査委員会は「那覇空港における全日空機と自衛隊機の接触に係る航空事故調査について」という文書を発表した。（航空事故调查委员会发表了“关于在那霸机场发生的全日空客机与自卫队战机碰撞的航空事故调查”的报告。）

○1日朝、山口県上関町の沖合で海上自衛隊の掃海母艦と漁船が接触する事故があった。（1号上午，在山口县上关町的海面上，海上自卫队的扫雷舰与渔船发生了碰撞事故。）

○野洲発姫路行き新快速電車と、踏切内にあったバイクが接触し、停車した。（从野洲发车开往姬路的新快速电车与在道口内的摩托车碰撞并停车。）

上記の例文のように、日本語の「接触」は「航空機」「船」「電車」「バイク」などによる様々の「接触事故」を表すが、中国語の“接触”はこのような場合には使われない。またその中国語訳は“接触”ではなく、具体的な状態により、“碰撞”“碰擦”“蹭”と使い分ける。

結語

本節では、中国語の“接触”と日本語の「接触」の意味的相違について、「人間と人間が接触する」場合、「人間と物体、モノが接触する」場合、「物体と物体、モノとモノが接触する」場合をそれぞれ考察した。

(1)「人間と人間が接触する」場合、「会う」「付き合う」「ばったり遭遇する」「交戦する」「連絡を取り合う」などの意味を表す。また、日本語の「接触」は「人間と人間が物理的に触れる」という意味を表すが、中国語の“接触”

はその意味を表さない。それを表そうとする場合、中国語では“碰”“撞”を使うが、日本語では「接触」のほかに、「当たる」「ぶつかる」などを使う。ここに中国語の“接触”と日本語の「接触」との相違点が見られる。さらに、「敵と接触する」の意味について調査を行い、「双方の部隊がばったり遭遇する」「交戦する」「密談する」の少なくとも三つの場面があることが判明した。

(2)「人間と物体、モノが接触する」場合、中国語の“接触”は日本語の「接触」と同じ意味もあれば、日本語にはない、「習う、勉強する」「～言及する、～にかかわる」という独特の用法もあることが分かった。

(3)「物体と物体、モノとモノが接触する」場合、日本語の「接触」は「航空機」「船」「電車」「バイク」など乗り物同士が近づいて触れることを表す。中国語の“接触”にはこのような使い方は見られない。具体的な状態により、中国語の“碰撞”“碰擦”“蹭”で対応する。

中国語の“接触”と日本語の「接触」の意味的相違を図表で示せば、下記の通りになる。

中国語の“接触”と日本語の「接触」の意味的相違

意味や用法	中国語	日本語
会う、付き合う	○	○
何回も会う、よく会う	○	○
密談する	○	○
電話、手紙やファックスなどで連絡 を取り合って付き合う	○	○
親しく付き合う、親しく触れ合う	○	○
団体、組織、国と交渉する	○	○

敵と接触する	○	○
かつて仕事などで会った、また共に仕事した、仕事の相手にする。	○	○
人間と人間が物理的に触れる	×	○
患者と接触する。	○	○
性的接触	○	○
民衆の意見に耳を傾け、場合によって共同生活をする。	○	×
“接触接触”	○	×
人間が物体、モノに触れる、さわる。	○	○
習う、勉強する、出会う	○	×
～に触れる、～に言及する	○	×
物と物が接触する	○	○
乗り物や自動車による交通事故	×	○

(4) 中国語・日本語それぞれにおける慣習的な表現の用い方に相違がある。中国語の“接触群众”は日本語には見られない中国語独特の表現である。また“接触接触”のように“接触”という動詞を重ねて用いる使い方も日本語には見られない。日本語では慣習的表現として「接触事故」がよく使われるが、中国語にはない用法である。

(5) 中国語の“接触”と日本語の「接触」に関する辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》では、「接触」は、“接触”“交往”と解釈している。しかし「接触」と“接触”は、双方の部隊がばったり遭遇する、交戦するという意味もあるため、中国語訳は“接触”“交往”だけではない。また日本語では「接触事故」という表現が使われるが、中国語ではそう言わない。一方、中国

語では“接触群众”“接触接触”と言うが、日本語ではそう言わない。中国語の“接触”は「習う」「言及する」などの意味を表すが、日本語には見られない。前掲の辞書では、このような意味や用法の相違点に関する解釈がなされていない。

第4節 中国語の“紧张”と日本語の「緊張」の意味的相違

本節では中国語の“紧张”と日本語の「緊張」の例を通して、「人間と物事の両方に用いるのか否かによる両言語の意味的相違」及び「動詞、形容詞、名詞、副詞としての働きがあるか否かによる両言語の用い方の相違」の視点から、両者の意味的相違について考察することとする。

中国語の“紧张”と日本語の「緊張」は意味領域が重なる部分もあれば、日本語の「緊張」には見られない意味を中国語の“紧张”が持つため、両者は意味領域の関係において【第1パターン】の<第3類>に属する。

(1) 「人間」に用いられる中国語の“紧张”と日本語の「緊張」

例①. 你也不用太紧张, 就随便聊聊。(ちょっと気軽にしゃべるだけでよい。あまり緊張しないで。)

例②. 最挠头的问题就是经费紧张。(最も頭が痛いのは経費が足りない問題だ。)

上記の例②のように中国語の“紧张”には日本語の「緊張」に見られない用法がある。《現代汉语词典》『中日辞典 小学館』では、①精神处于高度准备状态；兴奋不安（張り詰める、緊張する）、②激烈或紧迫（激しい、緊迫する、忙しい）、③供应不足，难于应付（供給などに余裕がない）、とある。以上の解釈をまとめてみると、中国語の“紧张”は心の動きなど人間の状態を示す場合と、物事の状態を示す場合に使われる二通りの用法がある。さらに物事の状態を示す場合、「激しい／忙しい」「不足」という二通りの用法がある。

人間の状態を示す場合の“紧张”は完全に日本語の「緊張」と共通するの否か、その用法に下位分類が必要なのか否かについて考える。

○緊張してレジを待つお客様には、挨拶と笑顔が万能である。（对待紧张地等待结账的顾客，寒暄和笑容很管用。）

○その歴史的瞬間を目の前にしたとき、緊張と感動のあまりほとんど言葉を失っていた。（目睹那个历史性的瞬间，人们因为过于紧张和激动而几乎说不出话来。）

上記の2例はいずれも日本語の「緊張」で対応できるため、共通する用法と見られる。心の動きなど人間の状態を示す場合の日本語の「緊張」はどのように下位分類されているのか、その辞書的解釈を見ることとする。

『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』では、①好ましくない結果にならないようにという点に、もっぱら神経を使うこと、②身内の筋肉が引き締まる状態を持続していること、③間柄が穏やかでなくなり、争いになりそうなこと、としている。

心の動きなど人間の状態を示す場合、中国語の“紧张”は辞書的解釈における日本語の「緊張」のように三分類できるのか否かについて考える。

(1) 主体が人間であり、人間の心の状態を表す場合

○我坐在一边脸红心跳，紧张得把手心都攥出汗来了。（私は傍らに坐って顔を赤らめ胸がどきどきして、緊張のあまり手に汗を握った。）

○这一下，三个人变得越发紧张起来，趁着混乱，落荒而逃。（こうして3人はますます緊張してきた。混乱しているうちに、慌てて逃げていった。）

○这四个人都以一种极度的内心紧张，用自己的方式，力图竞争倒对手。（この4人は皆極度の緊張を抱き、自分なりの方法で、相手を倒すことに努めた。）

上記の例文のように、中国語の“紧张”は日本語の「緊張」と同様に使われ、その主体には“我”（わたし、ぼく），“三个人”（三人）、「彼」、「私」など人を表す語がくる。この類の主体に用いられる語には、“他”、“你们”などの人称代名詞、“小张”、“王虹”などの人名や、“学生们”、“大家”などの一般名詞が

よく用いられる。

次の日本語の例を見てみよう。

○まだ彼は緊張がほぐれていないようだった。(他的紧张情绪似乎还未平静下来。)

○私は緊張のあまり、貧血を起こした。(我因为过于紧张而导致贫血。)

○この心の緊張や内心の葛藤のために、ママンはこめかみに血がのぼって、頭を冷やすために窓を開けた。(因为这种内心的紧张和纠葛，马曼脑部充血，为使自己冷静下来，他打开窗户。)

中国語と同様、人間の心の状態を表す場合、日本語では「緊張する」を使う。「心の緊張」の「心」のように身体部位を指す語が現れる点においても中国語と共通する。また下記の例の「顔」のように身体部位を指す語が現れる場合もあり、中国語とも共通する。

○谷島の顔がふたたび緊張した。(谷岛的面部又紧张起来。)

日本語の場合、人間の心の状態を表す場合、「緊張する」ほか、「ドキドキする」「あがる」などで表現する場合もある。下記の例がそれである。下記の中国語の例の日本語訳を考える。

○他们呆板地、神经紧张地互相微笑。(彼らは、表情鈍くドキドキしながら互いに微笑みあった。)

次に“心情紧张”“情绪紧张”“精神紧张”“表情紧张”の例を見てみよう。

○赛后他在接受采访时表示,压力大、心情紧张是发挥失常的主要原因。(試合後の取材を受けた時に、彼は「いいプレーができなかった主な原因はプレッシャーが強く、気持ちが緊張したからだ」と言った。)

○胃溃疡通常根据人情绪紧张的程度而发作或消失的。(胃潰瘍は通常緊張感の程度によって発作が起きたり消えたりする。)

“心情紧张”“情绪紧张”は日本語の「気持ちが緊張する」「緊張感」「緊張

する」で対応する。

日本語の「緊張」も精神の面、また表情の場合にも用いられる。下記の例がそれである。

○精神的緊張からくるストレスや過労が考えられる場合は、進んで休息をとるようにする。(如果认为是因为精神紧张导致的心理压力和过度疲劳，就要主动去休息。)

○英治は相原と顔を見合わせた。相原の表情も緊張している。(英治和相原互相看了一下对方，相原的表情也很紧张。)

上記の日本語の「精神的緊張」「表情も緊張している」は“精神紧张”“表情很紧张”に対応する。

(2) 主体が身体部位(筋肉、肩、体など)である場合

○過度に緊張していない柔軟な筋肉はスポーツなどあらゆる刺激に対応できる。(没有过度紧张的、柔软的肌肉能够应对体育运动等所有刺激。)

○プレッシャーの打開策として「深呼吸」の方法を考えた。演技が始まる直前、浅田選手は深呼吸によって体の緊張が緩和されたそうだ。(作为缓解心理压力性的方法，她考虑做深呼吸。比赛开始前，据说浅田选手通过深呼吸来缓解了身体的紧张。)

中国語でも“身体紧张”を用い、「体の緊張」を表す。下記の例がそれである。

○我们可以从每天仔细按摩自己开始,用简单的动作释放身体紧张。(每日全身マッサージをやればいい。また簡単な動きで体の緊張を和らげることができる。)

中国語の“紧张”と日本語の「緊張」は上記の例文のように、いずれの場合にも使われる。その主体は「体」、「筋肉」など体の部位を示す語である。次に

下記の肩の例を考える。

○简单运动舒缓肩部紧张，有些运动项目对肩部肌肉有很好的舒缓作用，比如游泳，特别是蝶泳。在家里也可以通过简单的肩部运动来锻炼肌肉。（少し体を動して肩凝りを和らげる。肩の筋肉を柔らかくするには水泳、特にバタフライが効果的である。家にいる時でも、簡単な肩の体操で筋肉は鍛えられる。）

○经常感觉肩部紧张，放松不下来，前两年准备考研，并且一边工作，一边准备考试，一直都处于紧张的状态，现在考完了，也考上了，但是总感觉放松不下来。（いつも肩凝りを覚え、なかなか落ち着かない。この二年間大学院入試のため、働きながら準備してきたのでずっと忙しかった。今、その試験が終わって受かったにもかかわらず、気持ちの落ち着きをまだ取り戻せていない。）

中国語の“肩部紧张”は、日本語では「肩が緊張状態にある」「肩の緊張度」「肩が固まっている」と言う。日常生活では「肩が凝る」という表現が最もよく用いられる。

また、用法（2）に用いられる主体の語は用法（1）“内心”、“神经”、“顔”とは異なり、心の状態を表さない身体部位である。中国語の“紧张”と日本語の「緊張」は体のある部位の筋肉が硬直し、思うままに動かないという意味を示す。これは《现代汉语词典》『日中辞典 小学館』では触れていないので、加えるべきものであると指摘しておきたい。

次に、中国語の“手”と“腿”の例を見てみよう。

○弹钢琴时手很紧张。（ピアノを弾くとき、緊張して手が固くなる。）

○手紧张的时候会发抖，而且抖得很厉害，写不了字。（緊張して手が震えた。しかも字も書けないほどひどく震えていた。）

○第一次站在街头开唱时，双腿紧张得发抖，声音都发不出。（初めて街頭で歌を歌った時、緊張して両足が震えて声も出なかった。）

○腿紧张时还发抖，做什么事时都很紧张，思想不专一，老是觉得有人在瞅着

我。（緊張して足が震える。何をしても落ち着かず集中できない。そして、いつも誰かに見られているような感じだ。）

上記の例文のように、中国語では“手紧张”、“腿紧张”などがよく使われる。緊張して手や足などが震えたり、硬くなったりするという意味である。日本語では「手が緊張する」「足が緊張する」とは言わず、「緊張して手がかたくなる／手が緊張でかたくなる」「緊張して足が震える／足が緊張で震える」と言う。この点に日本語と中国語との相違点が窺える。

(3) 人間と人間の場合

「緊張」の辞書的解釈③では間柄が穏やかでなくなり、争いになりそうなこと、としている。その用例を見てみよう。

○個人と個人の間の緊張が高まった。（个人与个人之间的紧张关系加剧了。）

○プロデューサーは二人のスターの間の緊張関係を鎮めようとしている。

（制片人竭力去平息两位明星之间的紧张关系。）

上記の例のように、「個人と個人の間の緊張」「二人のスターの間の緊張関係」など日本語の「緊張」は人間と人間との関係を表す場合にも使われる。

○人们以金钱为目的，人与人之间关系很紧张。（人々は金銭を目当てにして、人間関係の緊張が高まっている。）

○如夫妻关系紧张、经常发生争吵，这样的家庭氛围不适合孩子成长。（夫婦関係がうまくいかずしょっちゅう喧嘩が起こるような家庭環境は、子供の成長にはよくない。）

○有的地方干群关系紧张，问题其实出在干部身上。（一部の地域で幹部と大衆の関係が悪くなっているが、その責任は幹部にある。）

上記の例のように、中国語の“紧张”は“人与人之间关系很紧张”“夫妻关系紧张”“干群关系紧张”など人間と人間との関係を表す場合にも使われる。

以上のように、日本語における心の動きなど人間の状態を示す三分類は中国語の“紧张”にも見られる。中国語の“紧张”と日本語の「緊張」は、人間の状態を表す場合、“手紧张”、“腿紧张”を除き、両者には用い方の相違点が少なく、対応できる場合が多い。

(2) 物事の状態に用いられる中国語の“紧张”と日本語の「緊張」

物事の状態に用いられる中国語の“紧张”と日本語の「緊張」には、それぞれ独自の用法が見られる。次に両者にどんな相違があるのかを考える。物事の状態をさらに、(ア)「緊張ムード」と(イ)「物が不足する」の二つに下位分類して解析する。

(ア) 緊張ムード

(1) 主体が互いに戦いあう人間の行動や活動である場合

○“在平时也好，偏偏在战事紧张的时候，要生孩子！”黎青烦恼地说。（「平時なら大丈夫だが、戦いが激しいときに子供を生むなんて」と黎青は悩んでいた。）

○三天的比赛紧张而激烈，但也有不如人愿之处。（三日間の試合は激しかったが、気に入らないところもあった。）

上記の例文の“紧张”の主体は“战事”（戦い）、“比赛”（試合）など、互いに戦う人間の行動や活動である。この類の主体には、ほかに“战争”（戦争）、“战斗”（戦い）、“赛事”（試合）、“角逐”（力を競い合う）などもよく用いられる。日本語の「緊張」はこの場合には使わない。

(2) 主体が世の中の状態、様子である場合

○陈独秀刚一下车便知形势紧张，没有回家，躲往北京大学王星拱教授家。（陳独秀は下車するとすぐ情勢が緊迫しているのを察知し、家に帰らず、北京大学の王星拱教授の家に隠れた。）

○由于时局紧张，交通车辆均被投入战场，所以虽相距不远，竟无法见面。（時局が緊迫しており、車が皆戦場に投げられたため、距離は遠くないが、意外にも会うことができなかった。）

下記の日本語の例を見てみよう。

○戦争が起こってもおかしくないくらい、世界情勢が緊張していた。（国際形勢非常紧张，可能发生战争。）

○核開発問題をめぐる情勢がさらに緊張する可能性がある。（围绕核开发问题，局势有可能进一步紧张。）

上記の例文における“紧张”の主体は“形勢”、“时局”といった世の中の情勢、事態などを示す語である。この類に使われる語には“局势”（情勢）、“事态”（事態）、“时势”（現在の情勢）などもよく見られる。日本語の「緊張」も同じように使われるため、両者は対応することができる。

(3) 主体がその場の雰囲気である場合

例①. 会议气氛相当紧张。（会議の雰囲気は相当陰しかった。）

例②. 制造紧张空气，破坏正在形成的和缓气氛。（緊張した雰囲気を作り、次第に醸し出されている穏やかな雰囲気を壊す。）

例③. そんな空気の緊張（緊張感）が、ひしひしと感じられた。（我能够深深地感受到那种空气中的紧张。）

例④. 緊張した雰囲気を和らげるために、マックはデスクの角に腰かけた。（为了缓和紧张的气氛，马克在写字台角上坐了下来。）

中国語の“紧张”と日本語の「緊張」は上記の例文のように、その主体に“气氛”“空气”、「空気」、「雰囲気」などその場の雰囲気を表す語がよく現れる。例②、例③の“空气”と「空気」は地球を包んでいる無色透明の気体ではなく、その場の気分、雰囲気を指す。上記の例文における中国語の“紧张”と日本語の「緊張」はその場の雰囲気が悪くなり、争いになりそうなことを意味する。

○タイ・カンボジア国境地帯の緊張が一挙に高まった。(泰国・柬埔寨边境地带的紧张形势急剧升级。)

○自从这起枪击事件发生之后，当地的紧张气氛非常高。(銃撃事件が発生してから、現地の緊張が高まっている。)

○两国间的紧张局势只会给各自国家的经济带来负面影响。(两国間の緊張はそれぞれの国の経済にマイナス影響をもたらすだけである。)

上記の例文のように、日本語の「緊張」と中国語の“紧张”は「タイ・カンボジア国境地帯」「当地」など場所や位置を示す文に使われ、緊張状態を表す。

(4) 主体が業務や事務である場合

○因为时间紧，他曾在春节期间跑到实验室去做实验，结果因工作紧张发了心脏病。(時間が足りなかったので、彼は春節の時も実験室で実験を続けた。結局、仕事が忙しかったため心臓病を引き起こしてしまった。)

○任务很紧张，我去不了了。(仕事が忙しくて、行けなくなった。)

上記の例文の“紧张”の主体は“工作”“任务”のような業務、事務などを示す語である。この類には“劳动”（労働），“业务”（仕事、業務），“生产”（生産）などもよく使われる。日本語の「緊張」はこの場合には使わず、「仕事がきつい」「仕事が忙しい」で対応する。

(イ)物が不足する

(1) 主体が時間や人手など何かをするのに必要なものである場合

○我深感年岁大了，学着吃力，加上时间紧张、工作繁忙，所以加倍努力。(年を取っているのを身にしみて感じる。習うのに骨が折れて、その上時間が足りず、仕事が忙しく、いっそう努力しなければならない。)

○由于人手紧张，种地养猪两头忙，年盈利不过 2000 元。(人手が足りず、野良仕事と養豚で忙しいにもかかわらず、毎年の利益は 2000 元に過ぎない。)

中国語の場合、“时间紧张”“人手紧张”のように用いられる。“工作”（仕事、

業務)、“任务”(任務、仕事)、“劳动”(労働)、“业务”(仕事、業務)、“生产”(生産)などを成し遂げるまで時間がきつい、時間が足りないことを示す場合に用いられる。また、人手が足りないことも中国語では“紧张”と表現する。この用法の主体には、ほかに“位置”(座席)、“纸张”(紙)、“教室”(教室)などもよく用いられる。不足の意味を示す中国語の“紧张”の用法は日本語の「緊張」には見られない。

(2) 主体が市場で販売される商品である場合

○届吋, 藏东地区电力紧张局面可得到彻底改善。(その時になれば、チベット東部地域の電力供給のピンチは徹底的に改善される。)

○我们开始经历了改革开放以来第一次粮食紧张。(改革開放以来、初めて食糧供給のピンチを経験した。)

○高密度的人口严重恶化了居住条件, 上海的住房紧张至今仍是全国之最。(高密度の人口が居住環境を悪化させており、上海の住宅難は依然、国内における最も深刻な問題である。)

上記の例文における“紧张”の主体は“电力”(電力)、“粮食”(食糧)、“住房”(住宅)など市場で販売される商品である。この類には、“煤炭”(石炭)、“票源”(チケット)、“能源”(エネルギー)、“资源”(資源)などもよく用いられる。日本語の「緊張」はこの場合には使われない。

また、中国語の“紧张”は次のような場合にも使われる。

○到 2025 年, 世界上 40%左右的人将生活在供水紧张或长期缺水的国度里。(2025 年までには、世界で 40%ぐらいの人が、給水が逼迫するか、長期にわたり水が不足する国で生活することになる。)

○电力专家指出, 造成用电紧张的主要原因还是经济的快速增长。(電力専門家は、電力供給が厳しい状態を引き起こした主な原因は経済高度成長にあると指摘した。)

上記の例文における“紧张”の主体は“供水”（水の供給）、“用电”（電力の消費）など、商品を提供したり、消費したりする消費活動や経済活動であり、中国語では“供/供应”（供給）、“用”（消費）などを伴う言葉で表現する。“供水”（水の供給）、“用电”（電力の消費）のほかに、“供煤”（石炭の供給）、“汽油供应”（ガソリンの供給）、“饮用水供应”（飲用水の供給）、“用水”（水の消費）などもよく使われる表現である。日本語の「緊張」はこの場合には使わない。

(3) 主体が商品を提供する市場である場合

○有一些菜霸拦在桥头，不让菜农进来，人为制造市场紧张。（何人かの野菜市場のならず者は橋の上に立ち塞がり、野菜農家を通さず、故意に市場の供給不足を起こす。）

○国内金融市场紧张，市政建设也要敢于用好外国资金。（国内金融市場における資金供給が不足しているため、都市施設整備には思い切って外国の資金をうまく利用しなければならない。）

上記の例文の“紧张”の主体は“市场”（市場）のように、商品を提供する場であり、またその市場の特徴を詳しく表すために“金融”（金融）、“食品”（食品）、“能源”（エネルギー）などの言葉を“市场”（市場）に前置することが多い。“蔬菜市场紧张”は野菜農家が市場に入れなため、野菜の供給が不足し、また“金融市场紧张”は資金の供給が不足しているという意味である。

以上のように、物事の状態を示す場合、中国語の“紧张”はさまざまな使い方があるのに対し、日本語の「緊張」はその使い方が比較的少なく、緊張ムードを表す用法(2)(3)しか持たない。

結語

本節では中国語の“紧张”と日本語の「緊張」の意味的相違について考察した。

(1)人間の状態と物事の状態の両方に用いるのか否かによる両言語の意味的相違について、中国語の“紧张”と日本語の「緊張」の意味や用法を10項目に分類し、その共通点と相違点を図示すると、次のようになる。

中国語の“紧张”と日本語の「緊張」の意味的相違

紧张 (中)	主体	緊張 (日)
	人間の状態	
○	人間、人間の心の状態	○
○	身体部位(筋肉、肩など)	○
○	人間と人間の関係	○
	物事の状態 (緊張ムード)	
○	互いに戦いあう人間の活動	×
○	世の中の状態、様子	○
○	その場の雰囲気	○
○	業務や事務	×
	物事の状態 (物が不足する)	
○	何かをするのに必要なもの	×
○	市場で販売される商品	×
○	商品を供給する市場	×

上記の一覧で分かるように、中国語の“紧张”を「人間の状態」と「物事の

状態」に二分し、さらに「物事の状態」を「緊張ムード」と「物が不足する」の二つに下位分類する。10項目のうち、中国語の“紧张”はいずれも用いられるが、日本語の「緊張」は中国語の“紧张”と比較するとはるかに少なく、5項目の用法しかないことが分かる。

「人間の状態」を示す三分類は成り立ち、中国語にも日本語にも見られる。“大家都很紧张”を日本語では「みんなとても緊張している」、「紧张的心情」を「緊張した気持ち」に、“身体肌肉紧张”を「体の筋肉が緊張する」に、“人与人之间的关系很紧张”を「人間関係の緊張が高まっている」に、置き換えられる場合が多い。中国語の“紧张”と日本語の「緊張」の意味や用法は相違点が少ない。

しかし、中国語では“手紧张”、“腿紧张”がよく使われるが、緊張して手や足が震えたり、硬くなったりするという意味である。日本語では「手が緊張する」「足が緊張する」とは言わず、「緊張して手が固くなる／手が緊張で固くなる」「緊張して足が震える／足が緊張で震える」で対応する。この点に日本語と中国語との相違点が窺える。

また、「物事の状態」の「緊張ムード」を示す場合、日本語の「緊張」の使い方は少なく、中国語の“紧张”には他の言葉で対応することが多い。“比赛很紧张”を「試合がとても激しい」、「工作紧张」を「仕事が忙しい」と訳すように、日本語の「緊張」ではなく、それぞれ「激しい」「忙しい」と訳す。「物事の状態」の「物が不足する」場合、“时间紧张”を「時間が足りない、時間がきつい」、「电力紧张」を「電力の供給に余裕がない」、「用水紧张」を「水供給が厳しい」、「市场紧张」を「市場供給の手詰まり」と、これも日本語の「緊張」ではなく、「供給に余裕がない」「厳しい」「手詰まり」で対応する。

(2)動詞、形容詞、名詞、副詞としての働きがあるか否かによる両言語の使い方の相違について、中国語の“紧张”は形容詞であるのに対して、日本語の

「緊張」は名詞、サ変動詞であるため、文における両者の使い方もそれによって異なってくる。“紧张”は、“他很紧张”のように述語としてよく用いられるが、日本語では「彼はとても緊張である」ではなく、「彼はとても緊張している」と言う。また中国語の“紧张”は形容詞として名詞を修飾することができるが、日本語の「緊張」はその使い方はない。

(3)中国語の“紧张”と日本語の「緊張」に関する辞書の解釈の問題点について、《详解日汉辞典》『日中辞典 講談社』『中日辞典 講談社』では、日本語の「緊張」と中国語の“紧张”の語義に関しては解釈されているものの、「緊張」と“紧张”の意味的相違、使われる場合の違い、さらに両者の品詞のずれによる使い方の異なりなど、中国人学習者にとって難解な問題に関する説明はされていない。

注と参考文献

(1) 许慎（东汉）著 《说文解字》 中华书局 2005年6月

(2) 中国語における“清洁”の由来を調べたところ、戦国時代に遡ることができる。《韩非子・八说》に“是以有道之主，不求清洁之吏，而务必知之术也。”（故に法治をわきまえる君主は、清廉潔白な官吏を求めずに、必ず臣下の邪悪な行為に気づく方法に力を尽くす）という例があり、また《韩非子・人主・第五十二》に“游宦之士焉得无挠於私门而务於清洁矣？”（遊説することによって役職を謀る者は、どうして裏取引などをやめて高尚な品格と節操を失わないようにすることができるか？）という例が見られる。この二例における“清洁”は「清らかで欲がない」、「清廉」という意味を表す。

時代が下ると、各時代の典籍に“清洁”の用例が見られる。漢の時代の劉向《说苑・尊贤》に“将谓桓公清洁乎？闺门之内无可嫁者，非清洁也。”という例が見られ、「純潔無垢である、潔白である」という意味を表す。また、唐の時代の高仲武《中兴闲气集・皇甫曾》に、“今侍御之与补闕，文辞亦尔，体制清洁，华不胜文”という例があり、「はっきりしている、明らかである」という意味を表す。清の時代の坑余生《徐济公传》における“你们掌柜儿的在家么？咱和尚要住店。只要地方清洁，那多几个钱是不关事的。”も「きれいで汚れない様子」という意味を示す。また民国の許慕羲の小説《元代宫廷艳史》における“看房中的陈设，全是些西式家具，清洁无尘”の“清洁”も同様の意味を示す。

(3) 新村出編 『広辞苑』（第6版） 岩波書店 2008年1月

(4) 2014年6月、京都外国語大学在籍の学生20人を対象に、日本語は「清潔を保つ」と言いますか、それとも「清潔に保つ」と言いますか。両方とも言うなら、どちらをよく使いますか、といった設問でアンケート調査を行った。上記の設問に対し、全員が両方とも使うと回答している。また「清潔に保つ」を

よく使うと回答した人が 19 人で、「清潔を保つ」をよく使うと回答した人は 1 人であった。

(5) 中国社会科学院语言研究所词典编辑室編 《现代汉语词典》(第 6 版)
商务印书馆 2012 年 6 月

(6) 2014 年 6 月、京都外国語大学在籍の学生 20 人を対象に、「～を清潔する」のように、「清潔」を動詞として使いますか、といった設問でアンケート調査を行った。「使わない」と回答した人が 18 人で、「使う」と回答した人は 2 人であった。

(7) 相原茂編『中日辞典 講談社』(第 3 版) 講談社 2010 年 3 月

(8) 周蘊石、李孙华、吴之荣編 《详解日汉辞典》(修订本) 北京出版社
1999 年 3 月

(9) 下中直人編集 『世界大百科事典』改訂新版 平凡社 2009 年 6 月

(10) 小学館・商務印書館共同編集 『日中辞典 小学館』(第 2 版) 小学館
2002 年 1 月、相原茂編集 『日中辞典 講談社』(第 3 版) 講談社 2006 年 3 月

(11) 伊藤醇、小川文昭、三宅登之編 『中日辞典 小学館』(第 2 版) 北京
商務印書館／小学館 2002 年 11 月

(12) 北原保雄編 『明鏡 国語辞典』(初版) 大修館書店 2002 年 12 月

(13) 山田忠雄[ほか]編『新明解 国語辞典』(第 7 版) 三省堂 2012 年 1 月

第 2 章 意味のずれのある漢字同形語パターン (第 1 パターン) の考察 (2)

本章では引き続き、前章の冒頭に挙げた 16 の相違点をめぐって、【第 1 パターン】の〈第 1 類〉、〈第 2 類〉、〈第 3 類〉に属する日本語と中国語における漢字同形語、とりわけ「人」を伴う表現(他人、別人、人種、達人、人気)及び「人」を示す表現(第三者)の意味的相違について考察する。

第 1 節では【第 1 パターン】の〈第 2 類〉の例の「他人」を中心に、【第 2 パターン】とされる「別人」と比較しながら考察する。中国語の“他人”“別人”はいずれも「ほかの人」の意味があり、同じ意味として用いられることがある。日本語の「他人」は「ほかの人」の意味もあり、中国語の“他人”の用法に近いため、【第 1 パターン】の例とする。一方、「別人」は「ほかの人」の意味としてはあまり用いられず、中国語と相当異なる用法のため、【第 2 パターン】の例とする。

「達人」「人気」「第三者」はいずれもここ 20 年、中国語で使用頻度が高くなった表現であり、第 3 節～第 5 節で「達人」「人気」「第三者」を中心に古代中国語の意味とは異なる用法をもつ現代中国語の意味や使い方の特徴について考察する。

第 1 節 中国語の“他人”“別人”と日本語の「他人」「別人」の意味的相違

日本語の「他人事」「まるで別人のようだ」の「他人」「別人」はいずれも「ほかの人」を意味する。だが、「他人」と「別人」は置き換えられない場面が多く、使い方が異なる。本節では、①日本語の「他人」と「別人」の使い分け、

②中国語の“他人”“別人”と日本語の「他人」「別人」の意味的相違、③日本語の「他人」「別人」に対応する中国語訳など、漢字圏の日本語学習者の悩む問題を考察の対象とする。

日本語の「他人」の意味領域が中国語の“他人”より広いため、両者は意味領域の関係において【第1パターン】の<第2類>に属する。

(1) 日本語の「他人」と中国語の“他人”の使い方の特徴

中国語の“別人”は“他人”と比べれば、意味的に近いが、使用頻度が高い。これに対して、日本語の「他人」と「別人」は意味的相違が多く、使用頻度はそれほど変わらない。「他人事」「他人行儀」のように、日本語では「他人」という語がよく使われるが、それはいかなる意味をもつのか、中国語の「他人」といかなる意味的相違があるのかについて考えることにする。

①「己／自分」とのセットで用いられる「他人」

○人は他人という鏡を通して、己を知ることができる。(人能够通过别人／他人这面镜子了解自己。)

○自分は自分、他人は他人。(自己是自己，别人是别人。)

○他人との競争ではなく、自分のペースでやり直していく。(不和别人竞争，按自己的节奏重新做。)

○自分の作文を推敲するときには、他人の目で文章を見ることが大切だ。(在推敲自己的作文时，重要的是以他人的眼光来审视文章。)

○「成功は自分のおかげ、失敗は他人のせい」と考えてしまう。(他以为“成功源于自己，失败归于他人”。)

上記の例はいずれも日本語の「他人」を中国語の“別人”“他人”で対応する例である。中国語では“自己”に対して、自分自身以外の人を示す場合、“別人”“他人”を使う。

また下記の例のように、日本語の「他人」に中国語の“人”で対応する場合があります。

○「自分に厳しく、他人に優しく」、この言葉は、誰でも一度は聞いたことがある。実は、これが成功の秘訣の一つであり、人生そのものの鍵でもある。（“严以律己，宽以待人。”这句话谁都听说过，实际上它是成功的秘诀之一，是人生的关键。）

上記の例は日本語の「他人」を中国語の“人”で対応する例であり、熟語としてよく用いられる。

上記の例のように、日本語の「他人」と中国語の“他人”は同じ意味をもつため、同形漢字で対応することがある。中国語では“他人”は文章語であるため、“他人”と訳すよりも、話し言葉の“别人”で対応する方がより多く見られる。

日本語には「别人」という表現もある。日本語の「别人」は、「他人」には見られない4用法(後述する)があるため、相当異なると考えられる。

日本語の「他人」は「己／自分」に対して用いられ、また「他人」「己／自分」のセットで用いられることが多い。また「何でも誰かがやってくれるだろうというすべて他人まかせな態度ではいけない」のように、「自分」がいなくとも「やってくれる」のような表現で、自分とのかかわりを示す。日本語の「他人」は「己／自分」に対して用いられる点で中国語の“他人”と共通すると見られる。下記の例がそれである。

○今天班会课的主题是：《尊重他人就是尊重自己》。（今日のクラスの討論会のテーマは「他人への尊重は自分への尊重」である。）

○事实上，宽恕他人，宽恕自己，都是很重要的。（事实上、他人を寛大に許すことも、自分を寛大に許すことも大事である。）

○善待他人就是善待自己。（他人を大切にすることは、すなわち自分を大切に

にすることである。)

○如何取得他人对自己的信任？(どのようにして、他の人から自分に対する信用を得られますか？)

○关爱他人、快乐自己。(他人を配慮し大切にすることで、自分を楽しむことができる。)

○一心一意为他人着想，自己在精神上才能得到充实。(ひたすら他人のことを考え、配慮することで、自分も精神面において充実することができる。)

○不求他人，自己动手。(何事でもまず人に頼まないで、自分でやることだ。)

○人不能失去爱心，更不能失去他人对自己的爱。(私たちは人を慈しみ思いやる気持ちを失うことはできず、更には、他人の自分に対する愛を失うことはできない。)

○可以委托他人替自己进行诉讼吗？(自分の代わりに他人に、訴訟を行うことを頼めますか？)

上記の例文の“他人”はいずれも“自己”に対して用いられるものである。この点では、日本語の「他人」と同じである。ただし、「他人」は「他人事」のようにも用いられるため、話し言葉では「ほかの人」「人」を使うことも多く見られる。

②「身内」「親類」とのセットで用いられる「他人」

○話す言葉も身内と他人、改まった場合とくだけた場合で違ってくる。(口語表达也会因为亲属与外人、正式场合与非正式场合有所不同。)

○身内も他人も私は同じ接し方をしている。(我对自家人和外人一视同仁。)

○苗字がない時代、どうやって親類と他人を見分けていたのでしょうか。(在没有姓氏的年代，人们是如何辨别亲属和外人的呢？)

○遠くの親類より近くの他人。(远亲不如近邻。)

以上の例文のように、日本語の「他人」は「身内」「親類」とのセットでよく用いられ、「血筋の繋がらない人、親族でない人」という意味を表す。この場合の「他人」は中国語では“他人”ではなく、通常“外人”で対応する。

③自分、親類以外の人を指す「他人」

日本語の「他人」は自分自身、親類以外の人を指す場合が多い。次の例がそれである。

○大人になってから他人とこんなに思いっきり喧嘩したことがなかった。
(成年之后, 从没有和别人 / 他人如此痛痛快快地吵过架。)

○もう一年近く、まともに他人と接触していないのだ。(已有近一年时间没有和别人好好接触过了。)

上記の例の「他人」は、そのまま中国語の“他人”で対応できるが、それより“别人”の方がより自然になる場合がある。

また日本語の「他人」は中国語の“他人”にはない「血筋の繋がらない人、親族でない人」、「その事に関係のない人、当事者でない人」という意味をもつため、“他人”ではなく、別の語で対応することも多い。下記の例がそれである。

例①. 夫婦とは奇妙な人間関係である。赤の他人であった男女が、人生を共にするという約束を交わす。(所谓夫妇真是奇妙的人际关系啊, 原本毫无关系的一对男女相互约定要共度人生。)

例②. 他人に子育てを押しつけるのはやめましょう。(不要把养育孩子的事情推到外人身上。)

例③. 他人は口を出すな。(局外人不要插嘴!)

上記の例文のうち、例①における「赤の他人」は「全然縁のない人」という意味であり、中国語では“完全没有关系的人”と解釈的に表現する。また例②

の「他人」は“外人”、例③の「他人」は“局外人”“无关者”で対応する。

さらに日本語には「他人」を伴う表現が数多く見られ、日常的によく使われるが、これらの表現における「他人」も中国語の“他人”ではなく、他の語で対応するか、解釈的に訳す。

他人行儀	→	如客人般客气、见外
他人扱い	→	当外人看待、当外人相待
他人事	→	别人的事、与自己没有关系的事
他人丼	→	猪肉鸡蛋盖浇饭

上記の「他人」を伴う表現は中国語に相当する表現がないため、通常他の語で対応し、または解釈的に訳す方法を取る。

中国語の“他人”はどのように日本語に訳すのか、下記の例の日本語訳を考える。

○关心他人，帮助他人。（他人のことに關心を持ち、他人に力を貸してあげる。）

○不许他人干涉。（他人の干涉を許さない。）

○在乎他人的看法。（人の目を気にする。）

○缺乏为他人服务的意识。（他人のために奉仕する意識が乏しい。）

○损坏他人的财物。（ほかの人の財物を壊す。）

日本語の「他人」に比べ、中国語の“他人”は「他人、人、ほかの人」を指し、「他人」より意味領域が狭く、日本語の「他人」で対応することもできる。また上記の“他人”は“別人”に置き換えても差し支えない。

(2) 日本語の「別人」の中国語訳の特徴

中国語の“他人”と日本語の「他人」は共通的な用法もあり、異なる用法も

あるため、【第 1 パターン】に属する。これに対して日本語の「別人」は「他の人、その人でない人」を意味し、中国語の“别人”とは相当異なるため、【第 2 パターン】に属する。下記の日本語の「別人」の例を見てみよう。

○契約者と同一人のこともあれば別人のこともある。（有时与合同方是同一个人，有时是另外一个人。）

○しかしながらゲットン子爵と名のって国境を越えたのはまったくの別人です！（但是，名叫哥顿子爵越过国境的完全是另外一个人。）

日本語の「別人」は、中国語の“别人”では対応できず、普通“另外一个人”と訳す。ほかに「別人」は次のような場合にも使われる。

○酒を飲むと別人のようになる。（一喝酒就判若两人。）

○ひげをそったらまるで別人になった。（剃了胡须，简直就成了另外一个人。）

○いつもの君とはまるっきりの別人だ。（与平时的你判若两人。）

○真摯な表情でパソコンに向かう姿は別人みたいで、初めて黒坂を恰好いいと思ってしまった。（他表情认真地面对电脑的神态简直判若两人，我第一次觉得黒坂很帅。）

○別人の如く、一回り大きくなったようだ。（他个头似乎大了一圈，简直判若两人。）

上記の例文のように、日本語の「別人」は、「本来のその人とは様子がまったく違う」という意味を表す。この場合、副詞「まるで」「まるっきり」や助動詞「ようだ」「みたいだ」「の如く」などと呼応して使われる。この場合の「別人」も中国語では“别人”ではなく、“判若两人”“简直成了另外一个人”と言う。

日本語の「別人」の例文を調査した結果、下記の 4 種類の使用場面が最も多いことが分かった。

(1) <変装、正装、化粧、整形、成長など>何かによってすっかり姿が変わ

った場合に使われる。「正装して別人のように見える」「変装などをして別人に見せかける」「サングラスと帽子をつけると別人のように見える」「整形手術の技術の進歩が目覚ましい韓国。同国の完全に別人になってしまうレベルの整形について、海外でも話題になっているほどだ」のように衣装、体につけるもの、化粧、整形などで変わり本人とは違う別の人のように見える、ということを示す場合に用いられる。

「以前とは別人のようになった」「彼女は日焼けで別人のようだ」「写真はまるで彼とは別人のようだ」「彼女は別人のようにスマートになっていた」「甥の成長は目を見張るばかりで、以前とは別人の観がある」のように違う姿に変身した、という場合にも用いられる。

「性格や行動が別人のように変わる」「今日の彼は昨日とは全く別人だ」「彼は結婚してから別人のようになった」「飲んだ時の彼は、それはもう別人だった」「同じ人が場合によって別人のようにふるまう異常性格」のように性格・言動・表情が本人と全然違って変わった、という場合にも用いられる。

以上のような場合に使われる「別人」は同一人物が別の人のように変わるという意味を表し、「他人」には置き換えられない。中国語では通常“判若两人”“另外一个人”と訳す。

(2)名前、顔、後ろ姿などが似ているが、完全に違う人を指す。「巨人小笠原と巨人の小笠原内野手のように、よく似ているが別人である」「同名別人」「後ろ姿で友人と思って声を掛けたら全くの別人だった」などがそれである。この場合に使われる「別人」も「他人」には置き換えられない。中国語では、“另外一个人”とよく訳す。

(3)同一人物ではなく、二人は別々の人であると判断する場合に用いられる。「時忠・時子と親宗の年齢差も大きく、母は別人である可能性が高い」「実は義秀と義季は別人ではないかとする説が存在する」などがそれである。この場

合の「別人」は「他人」には置き換えられない。中国語では、“不是同一个人” “另有其人” と訳す。

(4)小説、楽曲、絵画など、ほかの人による代作である場合に用いられる。「現在では別人の作とする説もあらわれている」「『源氏物語』の大部分が紫式部の作品であるとしても、一部に別人の手が加わっているのではないかとする説は古くから存在する」「この屏風には《法橋光琳》の落款があるが、《法橋》の2字は別人による書き入れとする説が有力である」「別人作曲問題で田中氏は7日に会見へ」などがそれである。上記の「別人の手」の「別人」は「他人」に置き換えられるが、ごく限られた場合に使われる用法である。中国語では、“別人” “其他人” “他人” などと訳す。

以上、4種類の使用場面のうち、(4)の「別人」だけが「他人」に置き換えられ、中国語の“別人” “他人” “其他人”などで対応する。ごく限られた場合にしか使われない用法(4)を除き、残りの(1)(2)(3)は「他人」には置き換えられず、中国語では通常“判若两人” “另外一个人” “不是同一个人” “另有其人” などと訳す。

(3) 中国語の“別人”の日本語訳の特徴

次に中国語の“別人”の使い方の特徴及び日本語訳を考えることとする。

○家里只有我，没有別人。(家には僕だけで、ほかの人はいない。)

「私一人だけ」の意味を示す場合、上記の中国語の“別人”は“他人”に置き換えても違和感はない。中国語の“別人”は話し言葉としてよく用いられ、“他人”は書き言葉として用いられることが多い。

上記の中国語の“別人”の日本語訳は「ほかの人」としている。中国語の“別人”を日本語の「別人」の4種類の使い方に合わせてみると、該当する用法はごく限られた場合にしか使われない用法(4)だけである。

○不要管别人的事。(ほかの人／他人のことに干渉するな／かかわるな。)

自分以外のことにかかわりたくない場合、上記の中国語の“别人”は“他人”に置き換えても違和感はない。日本語の「别人」の4種類の用い方に見られない用法で、日本語の「别人」で対応できないことが分かる。

○看别人的脸色。(人／ほかの人の顔色を窺う。)

上記の中国語の“别人”も“他人”に置き換えても違和感はない。“他人”より“别人”の方が使用頻度が高い。

日本語の訳は「人／ほかの人」としている。日本語の「别人」の4種類の用い方に見られない用法で、この場合の中国語の“别人”は日本語の「别人」で対応できない。

○这则消息不知别人怎么看，笔者却颇以为然。(このニュースをほかの人がどう見ているか分からないが、筆者はそうだと認める。)

上記の中国語の“别人”は“他人”に置き換えられる。が、“别人”は日本語の「别人」では対応できない。

中国語の“别人”は、『中日辞典 小学館』では「自分以外の人、ほかの人」と解釈している。が、さらに「他人」「人」などの対応語を付け加えることができる。

結語

本節では、「固有名詞、熟語として使われるか否かによる両言語の用い方の相違」の視点から、中国語の“他人”“别人”と日本語の「别人」「他人」の意味的相違を考察した。

(1)固有名詞、熟語として使われるか否かによる両言語の用い方の相違について、日本語には、「他人行儀」、「他人事」、「他人扱い」「他人井」など、他人を伴う複合語が多く、中国語にはない。それらの複合語は中国語では“见外”

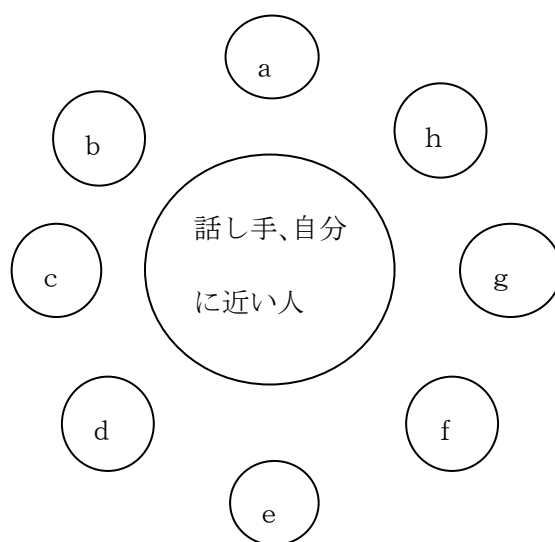
“别人的事”など他の語で対応し、または“如客人般客气”“与自己没有关系的事”のように解釈的に訳す。

(2) 中国語の“他人”“别人”にはいずれも「ほかの人」の意味があり、同じ意味として用いられることがある。日本語の「他人」は「ほかの人」の意味もあり、中国語の“他人”の用法に近いので、【第1パターン】の例とする。一方、「别人」は「ほかの人」の意味ではあまり用いられず、中国語とは相当異なる用法のため、【第2パターン】の例とする。

(3) 日本語の「他人」と「别人」の意味的相違について、「他人」は①「自分、親類以外の人、血縁関係のない人」、②「当事者でない人」、③「自分以外の人」の意味を表すが、そのうち、意味③は「别人」の用法に類似する。

日本人は「ウチ」と「ソト」の意識が強い。「ウチ」には話し手や自分に近い人が属するが、その以外の人には「ソト」の人、または「他人」である。それを図示すると、下記の通りになる。

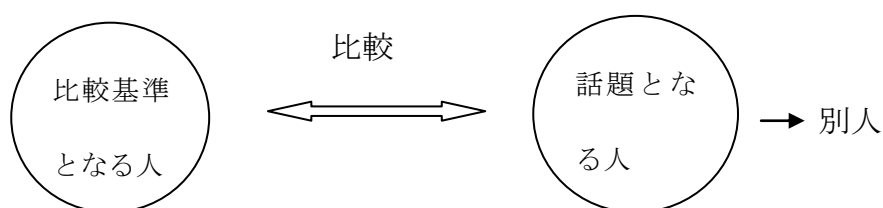
日本語の「他人」の意味



「ウチ」側にいる「話し手や自分に近い人」に対して、「ソト」側にいる「a」～「h」は皆「他人」である。また「别人」は通常、一人であるのに対して、「他人」は一人から不特定多数の人を指す。が、「别人」の「他人」との違い

は「自分以外の人」の意味よりも、「その人でない人」「本人と異なる人」という意が強い。「予想通り彼女の写真を改めて見た田中は、死体が別人であると証言した」（正像我们预料的那样，重新看过她照片的田中证实，尸体是另外一个人）のように、亡くなった人と＜彼女＞とは違う人という意味を表す。日本語の「別人」の意味を図示すると、下記の通りになる。

日本語の「別人」の意味



「別人」と「他人」は意味が相当異なるため、「病気のつらさは他人には分からない」「目元のはっきりした可愛い女性が、今では目から下が別人となっている」の例は、「別人」と「他人」を置き換えて使用することができない。

日本語の「別人」は①＜変装、正装、化粧、整形、成長など＞によってすっかり姿が変わった、性格・言動・表情が本人と全然違って変わった場合、②名前、顔、後ろ姿などが似ているが、完全に違う場合、③同一人物ではなく、二人は別々の人であると判断する場合、④小説、作曲、作絵などのほかの人による代作、の4つの場合によく用いられる。

(4)中国語の“別人”“他人”と日本語の「別人」「他人」の意味的相違について、中国語の“別人”と“他人”は口頭語と文章語の相違があるものの、同様の意味を表す。日本語の「別人」とはずいぶん意味が異なるため、「別人」の使用場面④を除き、“別人”と“他人”は対応できる場合が少ない。「別人」は中国語の“判若两人”“另外一个人”“不是同一个人”“另有其人”で対応することが多い。しかし「他人」とは意味的に包括される関係にあり、「自分以

外の人、ほかの人」という意味を表す場合、“別人”“他人”と「他人」は互いに対応でき、その他の意味を表す「他人」を中国語では、“外人”“局外人”“无关者”などと言う。

(5) 中国語の“別人”“他人”と日本語の「別人」「他人」に関する辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》には「別人」は収録されていない。『日中辞典 小学館』『日中辞典 講談社』には収録されているが、“別人”“另外一个人”と解釈されているだけで、中国語の“別人”との意味や用法の違いには触れていなかった。また上記三冊の辞書では、「他人」に関しては、“別人”“他人”“外人”“陌生人”“局外人”“旁人”などを挙げているが、日本語の「他人」と中国語の“他人”“别人”の意味的相違に関する説明は行われていない。

第2節 中国語の“人種”と日本語の「人種」の意味的相違

本節では【第1パターン】の例として、日本語の「人種」(人種)を考察対象とし、「広く人間を指すのか、それとも特定の人間を指すのかによる相違」という視点から説明することとする。

日本語の「人種」は中国語の“人種”より意味領域が広く、中国語には見られない意味を持つため、両者は意味領域の関係において【第1パターン】の<第2類>に属する。

(1) 中国語と日本語における共通の用法

《汉语大词典》《辞海》(注1)の“人種”の語釈をまとめると、次のようになる。“‘人種’也称‘种族’。指具有共同起源和共同遗传特征的人群。根据这些特征,全世界人类可以分为三大人种,即蒙古人种、尼格罗人种和欧罗巴人种。”

(「人種」は「種族」とも呼び、同じ起源と遺伝的特徴を有する人の集団を指す。これらの特徴に基づいて地球上の人類を大きく三つの人種に分けることができる。すなわち、モンゴル人種、ニグロ人種、ヨーロッパ人種である)と定義されている。

『日本国語大辞典』『大辞林』(注2)『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』の「人種」の語釈では、(A)「地球上の人類を、骨格・皮膚の色・毛髪・血液型など、身体形質的特徴によって区別した種類」、としている。

次に日本語の「人種」及び「人種」を伴う複合語と比較しながら、中国語の“人種”及び“人種”を伴う複合語の使い方を見てみよう。

(1) “人種”が単独で使われる場合

○肤色相同、人种相同，连文化似乎也可归入同一鼻祖，但是日企在进入中国

发展时前途并非一片光明。(肌の色が同じで、人種が同じで、文化も同一の始祖を持つが、しかし日系企業が中国に進出して成長する見込みはそう明るくはない。)

○人種歧视倾向、性别歧视倾向等，都是美国的政府职员一切言行绝对不敢触碰的禁区。(人種差別、性差別などは米国政府の職員が絶対に触れてはならないタブーである。)

現代中国語では“人種”は単独で使われることが多い。“人種歧视”(人種差別)は“种族歧视”とも呼ばれる。ただし、中国語では“种族歧视”(人種差別)の方が、“人種歧视”より使用頻度が高い。

次に日本語の「人種」の例を見てみよう。

○人種に関係なく人は皆平等であるべきだ。(无关人种，人人都应该平等。)

○同じ人間でも人種によって明るさの感じ方が違う。(即使同为人类，如果人种不同，对亮光的感受方式也不同。)

○突然変異で人種の違う子供が生まれたりする話を聞いたことがある。(我听说过因突然变异而生下人种迥异的孩子的事情。)

○フランスへ行って、人種差別の扱いを受けたことは一度もなかった。(在法国，我一次也没有受到过种族歧视。)

○会社には職場での人種差別を匿名で報告できるシステムがあるが、本気で利用してみようとする人が少ない。(公司设有能够匿名举报在工作场所发生的种族歧视事件的系统，但真正愿意利用这种系统的人却很少。)

上記の例のように、単独で使われる場合の「人種」は、通常、中国語の“人種”、或いは“种族”で対応できる。

(2) 【地域名、国名+人種】で使われる場合

○拾阶而上，有欧美人種，有藏人，有内地游客，也有扛木头的工人。(階段

を上がってみると、欧米人種の人もいれば、チベット人も、内陸からの観光客も、木材を担ぐ労働者もいた。）

○关于美洲人種的起源问题可以作为一个人类学问题继续进行研究。（アメリカ大陸の人種起源の問題は、人類学の問題として引き続き研究が進められる。）

○部分教练员认为亚洲人在体能上与欧美和非洲人種有很大的差距，在这个项目上难有作为。（アジア人の身体能力は欧米人種とアフリカ人種に比べてかなりの差が見られ、この種目で優勝する可能性は低いと思うコーチがいる。）

この場合、“人種”の前に来る地名は“欧美”、“美洲”、“非洲”などが多く見られ、日本語の「人種」の使い方と同様である。

次に【国名＋人種】で使われる場合の例を見る。

○甚至有人提出日本人应该说英语，与西洋人通婚，以改良日本人種。（日本人は英語をしゃべり、欧米人と結婚することによって、日本人種を改良すべきだと主張する人さえいる。）

○中国人種往往塌鼻、单眼皮，不像美国人那样高鼻梁、双眼皮，年轻人接受了西方的审美观，也追求和西方一样的审美效果。（中国人種はしし鼻で一重まぶたなのに対して、アメリカ人は鼻梁が高く、二重まぶたである。中国の若い人は西洋の美意識を受け入れ、西洋と同じ美的効果を追い求める。）

現代中国語では“美国人種”、“英国人種”、“法国人種”のように【国名＋人種】の形で用いられる。

次に日本語の例を見てみよう。

○どうしてヨーロッパ・アメリカ人種やアフリカ人種はアジア人種と比べて身体能力が高いのだろうか。（为什么欧美人種和非洲人種与亚洲人種相比体能更好呢？）

○ヨーロッパ人種とアジア人種が混血した結果が今のインド人であると言われている。（人们认为欧洲人種与亚洲人種通婚后产生了如今的印度人。）

上記の例のように、「人種」の前に用いられる「地域名」には、「アフリカ」や「アジア」などが多く見られる。ただし、日本語では【国名+人種】という形はあまり用いられず、その点で中国語と異なる。

(3) 【肌色+人種】で使われる場合

○他把五角星设计为三原色中最亮的黄色，像朝霞一片金光灿灿，色调简练而庄严大气，也表达了中华儿女黄色人种的民族特征。(彼は五角星形を3元色の中で最も明るい黄色に設計した。それは朝焼けのように輝かしく、色合いが素朴且つ厳かであり、中国人の黄色人種の民族特徴をも表現できた。)

○从人种构成看，既有白人、黑人、黄皮肤的印第安人，还有黑白混血人种、印黑混血人种、印白混血人种，是典型的“种族大熔炉”。(人種構成から見ると、白人、黒人、黄色のアメリカ・インディアンがおり、白黒混血の人、インディアンとアフリカの混血の人、インディアンと白人の混血の人もおおり、典型的な「人種のるつぼ」となっている。)

○有色人種一般被西方种族主义者定义为白种人以外的人种，是一种极端的种族主义观点。(有色人種は普通ヨーロッパの人種差別主義者によって白人以外の人種であると定義されている。これは極端な人種差別主義的な考えである。)

現代中国語では、“黄色人種”、“黑白混血人種”、“有色人種”などの表現がよく使われ、その他にも“红色人種”、“棕色人種”、“灰色人種”などの表現がある。

○白人には有色人種に対して優越感があるようだ。(白人似乎对有色人種抱有优越感。)

○アフリカ起源説によれば、人間は黒人から黄色人種と白人に分れたそうだ。(根据非洲起源论的观点，人类据说是从黑人演变成黄色人種和白人。)

○アメリカ大陸の原住民は、赤色人種という呼ばれ方をする。(美洲

大陸の原住民被称为红色人种。)

上記の日本語の「人種」は中国語と同様、「白色人種」を“白色人种”、「有色人種」を“有色人种”、「人種学」を“人种学”と言う。

日本語の「人種」は中国語の“人种”で対応するほか、「人種主義」を“种族主义”、「人種差別」を“种族歧视”、「人種のるつぼ」を“种族大熔炉”というように中国語の“种族”で対応する場合もある。

(2) 中国語には見られない日本語の「人種」の用法とその中国語訳

『日本国語大辞典』『大辞林』『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』の「人種」の語釈は、(B)「環境・職業などの違いによる生活習慣や気質を共通の特徴として、人を分類した言い方」もある。下記の例がそれである。

○駅のホームで傘を振ってゴルフのスイングをしているゴルファーという人種を格好いいと考えるのだろうか。(你认为在电车月台上挥舞雨伞做出击打高尔夫球动作的高尔夫爱好者这些人挺帅吗?)

○政治家という人種は世間と掛け離れており、感覚が麻痺している。(政治家这类人远离社会，感觉麻木。)

○価値観も人生観も理解できないような人種が多いのが現実である。(社会上不能理解价值观、人生观的这一类人很多。)

○彼は多くのサラリーマンとは違い、ひとつのことを究めていく人種だ。(与很多工薪族不同，他是那种会围绕某一问题探究到底的人。)

○雇用された労働者、いわゆるサラリーマンは日本では一番多い人種だ。(被雇佣的劳动者即工薪族们在日本是人数最多的一类人。)

○僕はこのOLという人種がなぜか好きになれない。(不知为何，我对于女白领这一类人总是喜欢不起来。)

○社長という人種は神経質では務まらない。(社长这类人如果神经脆弱的话是干不了的。)

○君のように気の長い人種とは付き合いきれないよ。(我无法跟你这种慢性子的人交往。)

○夜型の人種らしかった。(他似乎是个夜猫子。)

上記の例の「人種」は意味(A)「地球上の人類を、骨格・皮膚の色・毛髪・血液型など形質的特徴によって区別した種類」とは異なる。辞書では(B)「人を環境・職業などの違いによる生活習慣や気質を共通の特徴として分類した言い方」としているが、筆者はこの用法も本来の意味(A)から意味拡大した用法、一種の比喩的な用法と見てよいと考える。上記の例文を見ると、「社長という人種」「OL という人種」「サラリーマンという人種」「政治家という人種」は職業などに関係し、「ゴルファーという人種」「気の長い人種」「夜型の人種」は、嗜好、生活習慣、気質、性格に関係する。「この種の人」の意味で、場合によっては軽視的な意として用いられる点も見逃すことができない。この用法は中国語の“人种”には見られないものであり、中国語に訳す場合、“人种”ではなく、“这类人”、“这一种人”など、前後の文脈に応じて適当な言葉を選んで対応する。

結語

本節では、「広く人間を指すのか、特定の間を指すのかによる相違」という視点から、日本語の「人種」と中国語の“人种”の意味的相違を考察した。

(1) 広く人間を指すのか、それとも特定の間を指すのかによる相違について、日本語の「人種」は中国語の“人种”より意味領域が広く、中国語には見られない「政治家という人種」「夜型の人種」のように特定の間を指す独特の用法を持っており、中国語では“这类人”“这种人”などで対応する。

(2) 中国語では、“中国人種” “日本人種” “美国人種” などのように、【国名＋人種】の形が使われるが、日本語にはない。また日本語の「人種主義」を“种族主义”、「人種差別」を“种族歧视”、「人種のるつぼ」を“种族大熔炉”というように中国語では“种族”で対応する場合もある。

(3) 日本語の「人種」は中国語の“人種”より意味領域が広い。両者の意味的相違を図示すると、次のようになる。

日本語の「人種」は中国語の“人種”の意味的相違

	日本語	中国語	中国語訳
(A) 地球上の人類を、骨格・皮膚の色・毛髪・血液型など形質的特徴によって区別した種類	○	○	人種、种族
(B) 環境・職業などの違いによる生活習慣や気質を共通の特徴として、人を分類した言い方	○	×	这类人、这种人

上記の「人種」の意味（B）を、「環境・職業などの違いによる生活習慣や気質を共通の特徴として、人を分類した言い方」としているが、筆者はこの用法も本来の意味（A）から意味拡大した用法、一種の比喩的な用法と見ている。

「社長という人種」「OL という人種」「サラリーマンという人種」「政治家という人種」は職業などに関係し、「ゴルファーという人種」「深夜人種」「気の長い人種」は、嗜好、生活習慣、気質、性格と関係し、「この種の人」の意味で、

場合によっては軽視的な意味として用いられる点も見逃すことができない。この用法は中国語の“人种”には見られず、中国語に訳す場合、“人种”ではなく、“这类人”“这一种人”など、前後の文脈に応じて適切な言葉を選んで対応する。

(4) 中国語の“人种”と日本語の「人種」に関する辞書的解釈の問題点について、『日中辞典 小学館』では、「人種」に関しては、“人种”“种族”“《比喻的》种类”と解釈している。

この語釈には大きな間違いはないが、“《比喻的》种类”の解釈は、意味不明である。“（具有共同特征的群体）这类人，这一种人”と説明した方が分かりやすいと考える。

第3節 中国語の“达人”と日本語の「達人」の意味的相違

本節では、「派生語や複合語があるか否かによる両言語の相違」という視点より、ここ二十年、使用頻度が高くなった中国語の“达人”を中心に考察することとする。

中国語の“达人”と日本語の「達人」は意味領域が重なる部分もあるが、日本語の「達人」に見られない意味も持つため、両者は意味領域の関係において【第1パターン】の<第3類>に属する。

(1) 中国語における“达人”の用い方の特徴

下記の中国語における“达人”の例を考える。

○在发明达人的精心打造下，电子产品正变得绿色环保。(発明の达人が工夫を凝らしたおかげで、電子製品は環境にやさしいものとなっている。)

○她也从一位初入图书世界的新人，成为老练的书店达人。(彼女は、初めて書籍の世界に入った新人から老練な本屋の达人に成長してきた。)

上記の例文のように、現在、中国の新聞やテレビでは“达人”という言葉がよく用いられる。また若者言葉として若年層の間でも使用頻度が高い。

ところが、《辞海》の“达人”の解釈では①通达事理之人（物事の道理によく通じた人）、②达观的人（物事を楽観的に考え、度量が広い人）、とし、《左传・昭公七年》、賈誼《鵬鸟赋》の例が挙げられている(注3)。上記の語釈によれば、中国語の“达人”の源は遅くとも春秋戦国時代に遡ることができると言えよう。

しかし、“达人”は下記のように用いられることもある。唐の楊炯《王勃集序》には“晋室南迁，家声布于淮海；宋臣北徙，门德胜于河汾。宏材继出，

达人間峙”（晋の皇室が南方へ移り、一族の声望が淮海に広がった。宋の臣下が北へ引っ越し、その名誉が河汾に知れ渡った。優れた人材が輩出し、えらい人がたびたび現れた）があり、ここの“达人”は上記の意味①、②とも異なり、「身分や地位の高い人」という意味である。この意味の“达人”は“达人显贵”“贵族达人”のように現代中国語にもその面影が残っているが、使用頻度は高くない。

○他说话慢条斯理，轻言细语，谈锋甚健，而且乐观达人。（彼の話しぶりはゆったりと落ち着いたもので、声が柔らかく言葉が穏やかで、弁舌が滑らかだ。その上明るく楽観的である。）

○不仅如此，她还把乐观达人的精神达于人，把帮助人、救助入当成自己义不容辞的责任和义务。（これだけではなく、彼女は明るくて楽観的な心を人に伝え、人を援助したり救助したりすることを、道義上引き受けるべき自分の責任や義務としている。）

上記の例文のように、中国語の“达人”は「物事を楽観的に考え、度量が広い人」という意味を表す場合にも使われる。ただし、“时尚达人”“恋爱达人”“美丽达人”のような現在よく使われている“达人”はあきらかに上述した意味とは異なる。現在は「ある分野の学問や技芸に深く通じている人」という意味となっている。“时尚达人”は「時代の流行に秀でた人」、「恋爱达人」は「彼女（彼氏）との交際に詳しい人」、「美丽达人」は「自分を綺麗に見せるための化粧や物腰などに深く通じた人」という意味である。

以上の考察をまとめると、中国語の“达人”は①通达事理之人（物事の道理によく通じた人）、②达观之人（物事を楽観的に考え、度量が広い人）、③显贵之人（身分や地位の高い人）、④对某一领域非常专业、精通之人（ある分野の学問や技芸に深く通じた人）、という意味をもつことが分かる。

しかし、現在では『中日辞典 小学館』などの辞書では、“达人”を収録して

いない。《辞海》では、上記の意味①と意味②しか取り上げず、他の意味の記述が抜けている。中国語の“达人”は四つの意味を持つが、現在、圧倒的に多く用いられているのは意味④である。筆者は《人民网报刊检索》で 2012 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの一年間の《人民日报 海外版》を調べ、“达人”の用例を 50 例ほど収集したが、そのうち、“己欲立而立人，己欲达而达人”（己立たんと欲して人を立て、己達せんと欲して人を達す）という《論語》から引用した例が一つあり、残りの 49 例はすべて意味④を示すものであることが分かった。

次に、他の意味と比べ、このように圧倒的によく見られる意味④の“达人”がどのように用いられているかを考える。

“喜欢网购的达人”（ネットショッピングを好む達人）、“当红的明星和达人”（売れっ子のスターと達人）のように単独で用いられることは少なくないが、“恋爱达人”“潮流达人”などのように“达人”を 2 字漢語語基にして他の語と組み合わせて新しい複合語を作ること多い。このように他の語を前置して“～达人”という形を取る複合語を、前置された語が固有の漢語であるか、それともローマ字語であるかによって、次のように分類することができる。

A 【ローマ字語＋达人】

○深受动漫迷喜爱的国内顶级社团和 cosplay 达人 几乎全数到场。（熱狂なアニメファンに好まれる国内トップクラスのグループと cosplay の達人たち はほとんど出席した。）

上記の例文のように、“cosplay 达人”という表現は中国語でよく使われる。このほかに、“家装 DIY 达人”（内装 DIY の達人）、“3C 达人”（コンピューターや通信機器などの達人）、“K 歌达人”（カラオケの達人）、“QQ 达人”（QQ というネット通信サービスを上手に利用できる人）などがこの類に属する。

B 【漢字語＋达人】

この類に属する語は数多くあるが、“达人”に前置する語の品詞(名詞か動詞か)によって下位分類すると、次のように分けられる。

① 【名詞+达人】

○他率先获得 51 票，获得“2011 中国达人”称号。(彼は真っ先に 51 票を取り、『2011 中国达人』という称号を獲得した。)

上記の例文のように、“中国达人”(ある得意技を持ち、中国で影響力がある人)という表現は中国語でよく用いられる。そのほかに、“星座达人”(星座の達人)、“学术达人”(學術の達人)、“书法达人”(書道の達人)、“校园达人”(学園の達人)、“时尚达人”(ファッションの達人)、“美食达人”(グルメの達人)などがそれである。これらの例にある“星座”、“学术”、“书法”、“校园”、“时尚”、“美食”は皆名詞である。

② 【動詞+达人】

○而暂时出不了国门的“购物达人”则纷纷转向代购。(一時海外に行けない「ショッピングの達人」は次々に代理購入に目を向けた。)

中国語では、上記の例文のように“购物达人”という表現がよく用いられる。そのほかに、“阅读达人”(読書の達人)、“省钱达人”(お金を節約する達人)、“创业达人”(創業の達人)、“营销达人”(経営と販売の達人)、“捕鱼达人”(魚を取る達人)などがそれである。これらの例にある“阅读”、“省钱”、“创业”、“营销”、“捕鱼”などは動詞である。

③ 【形容詞+达人】

○两组老达人给评委和观众留下深刻印象。(二組のお年寄りの达人は審査委員や観衆に深い印象を与えた。)

中国語では、上記の例文のように“老达人”という表現がよく使われる。そのほかに、“小达人”(年齢が小さい達人)、“快乐达人”(人生を楽しむ達人)、“幸福达人”(幸せ作りの達人)、“健康达人”(健康の達人)、“美丽达人”(美

の達人) などがある。これらの例にある“小”、“快乐”、“幸福”、“健康”、“美丽”は形容詞として用いられる。

以上の種類のうち、【名詞+達人】と【動詞+達人】の形が最も多く、【形容詞+達人】【ローマ字語+達人】の形は比較的少ない。

また前置する語の意味によって、“～達人”は下記のような種類に分けられる。

A 類：【国名や場所などを示す語+達人】

○学生们参观企业并与职场达人进行了交流。(学生達は企業を見学して職場の達人と交流をした。)

中国語では、上記の例文のように“职场达人”という表現がよく使われる。そのほかに、“中国达人”(中国の達人)、“世界达人”(世界の達人)、“街头达人”(街の達人)、“校园达人”(学園の達人)、“各界达人”(各界の達人)、“草根达人”(庶民世界の達人)などがある。

A 類は“达人”という語の前に国籍や場所などを表す言葉が使われ、達人が生まれたところ、活躍するところを表す。“中国达人”、“校园达人”は中国、または学園で育った、または活躍している達人を指す。

B 類：【時代の流行や風潮などを示す語+達人】

○他供职于北京某单位，是朋友眼中公认的“美食达人”。(彼は北京のある会社に勤め、「グルメの達人」として、友人たちに認められている。)

中国語では、上記の例文のように“美食达人”という表現がよく見られる。そのほかに、“时尚达人”(ファッションの達人)、“潮流达人”(流行の達人)、“美容达人”(美容の達人)、“服装达人”(服の達人)、“香水达人”(香水の達人)などもそれである。

B 類は“达人”という語の前にファッションなどを示す言葉が置かれ、時代の流行や風潮などに深く通じる人を指す。“美容达人”は美容の事情に詳しい

人、“香水达人”は香水の使い方などをよく知る人を指す。

C類：【食物や食事などを示す語+达人】

○民間的厨艺达人同台竞技。(民間の料理の達人が同じ舞台で腕前を競う。)

中国語では、上記の例文のように“厨艺达人”という表現がよく見られる。そのほかに、“野菜达人”(山菜料理の達人)、“早餐达人”(朝食の達人)、“火锅达人”(鍋料理の達人)などがある。

C類は“达人”という語の前に“野菜”のような食物、“火锅”のような食器、“早餐”のような食事を示す語が使われる。“厨艺达人”は料理の達人であり、“野菜达人”はいかに山菜を美味しく食べるかがよく分かる人である。

D類：【学習や学術などを示す語+达人】

○大学保安变身“英语达人”，引发网友竞相点赞。(大学の警備員が「英語の達人」に変身したことを、ネットユーザーが我先に褒め称えた。)

中国語では、上記の例文のように“英语达人”という表現がよく使われる。そのほか、“汉语达人”(中国語の達人)、“语言达人”(語学の達人)、“高考达人”(大学入試の達人)、“学习达人”(勉強の達人)、“学术达人”(学術の達人)などもある。

D類は“达人”という語の前に言語、試験、勉強などを示す語が使われる。“英语达人”は英語のレベルがとても高い人であり、“高考达人”は大学入試で良い成績が取れる人であり、“学术达人”は学問の造詣が深く、学術的水準が高い人の意味である。また“学习达人”は他の人より効率よく勉強できる人を指す。

E類：【演劇や音楽などを示す語+达人】

○这款手机非常适合喜爱个性时尚的各位音乐达人选购。(この機種は個性的で、ファッションを好む音楽の達人に向いている。)

中国語では、上記の例文のように“音乐达人”という表現がよく使われる。

そのほか、“喜劇達人”（喜劇の達人）、“歌舞達人”（歌舞の達人）、“相声達人”（漫才の達人）、“动漫達人”（アニメの達人）などもある。

E類は“達人”という語の前に“喜劇”、“音楽”、“歌舞”、“相声”のような演劇や音楽などを示す語が使われる。“喜劇達人”は喜劇分野の、“音楽達人”は音楽分野の、“相声達人”は中国の伝統芸能である漫才分野の造詣が深い人である。

F類：【社名を示す語+達人】

○试吃团当中包括网络上人气旺盛的淘宝达人。（试食团にはネットでとても人気の「淘宝」の達人が含まれている。）

“淘宝达人”の“淘宝”はアリババグループが2003年に設けた会社であり、現在、アジア太平洋地域で最大級の大手通販サイトとなっている。“淘宝达人”は“淘宝”の使い方に深く通じた人を指す。

“淘宝达人”の表現のほかに、“苹果达人”（アップルの達人）などもある。“苹果达人”はアップル会社の製品を使いこなす人を指す。“苹果”（アップル）は若年層の消費者にipadやiphoneなど一連の人気デジタル商品を提供し、世界的な流行を巻き起こし、人々はそれらの商品を一台持つことを誇りにしている。F類は“達人”という語の前に使われる言葉が限られ、その用例の数は少ない。

G類：【乗り物や交通などを示す語+達人】

○单车达人倡导低碳生活。（自転車の達人が二酸化炭素を抑えて生活するよう呼びかけている。）

“单车达人”は自転車が好きな人を指す。“单车达人”の表現のほか、“房车达人”（キャンピングカーの達人）、“驾驶达人”（運転の達人）、“骑行达人”（自転車に乗る達人）などもある。

G類は“達人”という語の前に“单车”、“房车”、“公交”、“驾驶”のような、

乗り物や交通などを示す語が多く見られる。“公交达人”はいかにバスを上手に利用するかに通じた人を指し、また“驾驶达人”はガソリンの無駄がなく、しかも安全に車を運転できる人を指す。

H類：【手工芸などを示す語+达人】

○他扮演个性张扬的制瓷达人“张天三”。(彼は個性が強い焼き物作りの达人「張天三」という役を演じる。)

“制瓷达人”のほかにも、“陶艺达人”(陶芸の达人)、“手绘达人”(手描きの达人)、“铜锣达人”(銅鑼の达人)、“手工达人”(手細工の达人)などもある。

H類は“达人”という語の前に“陶艺”、“铜锣”、“徽章”といった手工芸を示す語や、“制瓷”のような「～を作る」という意味の語が使われる。“陶艺达人”は陶芸に通じた人であり、また“铜锣达人”は銅鑼の作り方や打ち鳴らし方に通じた人である。

I類：【IP技術やデジテクに基づくサービスなどを示す語+达人】

○自己用中文写就的一篇小文章意外走红，让他第一次成了“微博达人”。(中国語で書いた短い文が予想外にヒットしたおかげで、彼は初めて「ミニブログの达人」となった。)

“微博达人”の表現のほか、“网络达人”(ネットの达人)、“手机达人”(携帯電話の达人)、“数码达人”(デジタルの达人)、“网游达人”(オンラインゲームの达人)、“QQ达人”(QQの达人)などもある。

I類は“达人”という語の前に“网络”、“QQ”など、IP技術やデジテクのサービスなどを示す言葉が使われる。“网络达人”はネットの使い方などに通じた人を指し、また“QQ达人”は中国騰訊会社がユーザーに提供する“QQ”という名称のネット通信サービスを上手に利用できる人を指す。こういったIP技術やデジテクによるサービスを利用するのは若年層が多く、また上述のような新しいサービスがどんどん開発されるため、I類の表現は一層多く作られる

であろう。

J類：【スポーツを示す語＋达人】

○他就是蜚声全国的网球达人黄星桥。(彼は全国でよく知られているテニスの達人・黄星橋である。)

“网球达人”の表現のほかに、“运动达人”(スポーツの達人)、“户外达人”(アウトドアスポーツの達人)、“健身达人”(トレーニングの達人)、“减肥达人”(ダイエットの達人)などがある。

J類は“达人”という語の前に“网球”“健身”“运动”など、スポーツを示す言葉が多く見られる。“网球达人”はテニスが上手な人、“健身达人”は健康を保つための運動がよくできる人、“运动达人”はスポーツに秀でた人を指す。

K類：【商業場所を示す語＋达人】

○台北“夜市达人”朱学恒写过一篇《崩溃的士林夜市》。(台北の「夜市の達人」と呼ばれる朱学恒は《崩れた士林の夜市》という文を書いた。)

“夜市达人”の表現のほかに“书店达人”(本屋の達人)、“酒店达人”(ホテルの達人)などがある。

K類は達人という語の前に“书店”、“夜市”、“酒店”のような、商業場所を示す言葉が使われる。“书店达人”、“夜市达人”、“酒店达人”は本屋、夜店、ホテルなどをうまく利用できる人を指す。

M類：【得意技を示す語＋达人】

○同场还有特技达人表演绝技。(また同じ舞台で特殊技能の達人が得意技を演じる。)

“特技达人”の表現のほかに、“水晶球达人”(水晶球の達人)、“溜溜球达人”(ヨーヨーの達人)、“吹泡泡达人”(シャボン玉を飛ばす達人)、“书法达人”(書道の達人)、“歌词记忆达人”(歌詞の記憶に秀でた人)などもある。

N類：【買い物を示す語＋达人】

○林先生一家都是网购达人，每年网购的商品达到上万元。(林さん一家はみんなネットショッピングの達人で、毎年ネットサービスを利用して買うものは一万元近くにのぼる。)

“网购达人”(ネットショッピングの達人)のほかに、“购物达人”(ショッピングの達人)、“采购达人”(仕入れの達人)、“团购达人”(グループショッピングの達人)、“血拼达人”(ショッピングの達人)などがある。

今は商業が非常に盛んな時代であるため、いつ、どこで、どのように安くいいものを買うかにはコツが必要である。それがよくできる人は“达人”と呼ばれる。“网购达人”はネットを利用して上手に買い物できる人、“团购达人”はグループショッピングが上手にできる人、“血拼达人”はたくさんのお金をかけて、上手に買い物ができる人を指す。

○類：【年齢性別などを示す語+达人】

○小达人张艾青搭档老爸再次登台秀舞技。(低年齢の達人・張艾青は父とコンビを組み、再び舞台上がって踊りの技を披露した。)

“小达人”(低年齢の達人)のほかに、“女达人”(女性の達人)、“老达人”(お年寄りの達人)などもある。○類は他の類と比べ、使用例はそれほど多くはない。中国語の“达人”には若い男性というニュアンスが含まれている。子供の達人のことを“小达人”と呼び、年寄りの達人のことを“老达人”、また女性の達人のことを“女达人”と呼ぶように、“达人”の前に“小”、“老”、“女”のような年齢や性別を限定する言葉を付け加えることが多い。

P類：【レジャーや娯楽などを示す語+达人】

○养生达人淘汰的凉垫、电火锅，扔了可惜，留着又占地儿。(養生の達人に役立つないござや電気鍋は捨てるのもったいないが、残しておいたら場所を取る。)

“养生达人”のほかに、“赏花达人”(花鑑賞の達人)、“派对达人”(パーテ

ィーの達人)、“温泉达人” (温泉の達人)、“旅游达人” (旅行の達人)、“玩乐达人” (遊びごとの達人)、“阅读达人” (読書の達人) などもある。

P類は“达人”という語の前に“养生”、“赏花”、“玩乐”などのような、レジャーや趣味などを示す言葉が多い。“养生达人”は療養に通じる人であり、“赏花达人”は花好きの人であり、“玩乐达人”は遊びごとに詳しい人を指す。

Q類：【家庭の経済や消費などを示す語+达人】

○变身成为“储蓄达人”，其实并不需要什么天才的能力。(貯金の達人になるには、たいして生まれつきの能力はいらない。)

“储蓄达人” (貯金の達人)のほかに、“理财达人” (財テクの達人)、“省钱达人” (金を節約する達人)、“节电达人” (節電の達人)、“投资达人” (投資の達人)、“炒新达人” (新株を売買する達人)、“租房达人” (借家する達人) などがある。

Q類は“达人”という語の前に“理财”、“省钱”、“节电”といった家庭の経済や消費にかかわる言葉が多い。“理财达人”は財テク名人、“省钱达人”は上手に生活費の無駄を省く人、“节电达人”は上手に節電する人、また“炒新达人”は上手に新株を売買して金儲けをする人を指す。

R類：【職業や仕事などを示す語+达人】

○眼罩是出差达人的必备品。(アイマスクは出張の達人が必携するものである。)

“出差达人” (出張の達人)のほかに、“营销达人” (経営と販売の達人)、“会计达人” (会計の達人)、“售票达人” (チケット売りの達人)、“出版达人” (出版の達人) などもある。

R類は“达人”という語の前に“营销”、“会计”、“出差”、“售票”など職業や仕事を示す言葉が多い。“营销达人”は経営と販売に深く通じる人、“会计达人”は会計、簿記に通じる人である。また“出差达人”は出張する場合、何を

用意するか、どこのホテルに泊まるかなどをよく知る人、“售票达人”はチケットを早く多く、しかも間違いなく売る人を指す。

S類：その他

○参加此次巡游的卢荣盼今年 28 岁，是位环保达人。(今回の巡回活動に参加した卢荣盼は今年 28 歳の、環境保護の達人だ。)

S類は“达人”という語の前に、“环保”、“爆料”、“公益”のような語が使われる。“爆料达人”は一般の人々があまり知らないことや裏の事情をよくメディアに漏らす人、“公益达人”はボランティア活動に熱心で、よく参加する人のことを指す。そのほか、“生活达人”（暮らしの達人）、“献血达人”（献血の達人）、“揭弊达人”（不正行為を摘発する達人）、“恋爱达人”（恋愛の達人）などもある。

以上のように、中国語の“达人”の前に意味分野が広い言葉が置かれ、その語の意味分野によって、“～达人”を A 類から～R 類に、またそのどちらにも入らないものを S 類に分類した。

さらに“达人”の前に置かれた語の字数によって、“～达人”を次のような種類に分けることもできる。

A【一文字の語+达人】小达人、女达人、老达人などがそれである。B【二文字の語+达人】时尚达人、美容达人、服装达人、英国达人、旅行达人、公益达人などがある。C【三文字の語+达人】出版界达人、溜溜球达人、吹泡泡达人などがある。D【四文字以上の語+达人】新品试用达人、家庭消防达人、慢阻肺防治达人などがある。以上の A 類～D 類のうち、B 類が最も多く見られる。

(2) 中国語の“达人”と日本語の「達人」の意味的相違

○あなたが相当な恋の達人でない限りこの美女を追うことは危険である。

(如果你不是一位恋爱达人，追求这个美女就危险了。)

○他是一位厨艺达人。(彼は料理の達人です。)

以上のように、中国語の“达人”と日本語の「達人」は訳す際に、漢字同形語で対応することが多い。ただし、近年、中国語の“达人”は流行語として幅広く使われる傾向にある。

(1)で考察したように、中国語の“达人”には意味①～意味④がある。日本語の「達人」に関しては、『明鏡 国語辞典』『新明解 国語辞典』では「①物事の道理によく通じた人。②学問・技芸など、その道に秀でた人」としている。両者の意味的相違を図表で示すと、次のようになる。

中国語の“达人”と日本語の「達人」の意味的相違

达人 (中国語)	意 味	達人 (日本語)
○	①物事の道理によく通じた人	○
○	②物事を楽観的に考え、度量が広い人	×
○	③身分や地位の高い人	×
○	④ある分野の学問や技芸に深く通じた人	○

上記の図表によると、中国語の“达人”がもつ意味②と意味③を日本語の「達人」が持たない点を除き、意味①と意味④は同じである。

しかし中国語の“达人”は現在意味④が圧倒的に多く使われ、意味①～意味③はあまり使わない。これは筆者が《人民网报刊检索》を利用し、2012年1月1日から12月31日までの一年間の《人民日报 海外版》で収集した“达人”の50例を分析した結果、判明したことである。

一方、日本語の「達人」は意味①はあまり使われず、意味④が使用頻度が高

い。筆者が『KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス』で検索したところ、74例のうち、73例が意味④を示していた。例外は「真人^{しんじん}というのは達人、真理に目覚めた人のことである」の例だけであった。

中国語の“達人”は単独で用いられることもあるが、それより、他の語と組み合わせ、新たな複合語を作る場合が多く見られる。“谈恋爱的达人”（恋愛をする達人）より“恋爱达人”（恋愛の達人）がよく使われる。また“懂得品酒的达人”（如何にお酒を味わってみるか分かる達人）より“品酒达人”（利き酒の達人）の方が多い。後者の方が表現として簡潔で、リズム感があり韻律がきれいに聞こえるからであろう。

一方、日本語の「達人」は中国語の“達人”とは異なり、他の語と組み合わせた複合語として使われることは少ない。「海の達人」「鮮魚の達人」「恋愛の達人」「酒を飲む達人」「ジョークやユーモアの達人」などがよく見られる。

日本語の「達人」の例を見てみると、【名詞+の+達人】という構造が圧倒的に多い。文武（両道）の達人、武術の達人、武道の達人、一刀流の達人、二刀流の達人、気功の達人、合気功の達人、剣道の達人、茶道の達人、料理の達人、恋愛の達人、太鼓の達人、話芸の達人、散歩の達人、転勤生活の達人、顧客心理掌握の達人、祭りの達人、立ち読みの達人、段取りの達人、ゲームの達人、コミュニケーションの達人、タイムマネジメントの達人などがそれである。

以上の「達人」を伴う表現を見ると、達人を飾る名詞によく使われるのは、「武術」、「茶道」、「太鼓」のような普通の名詞もあれば、「恋愛」「散歩」のようなサ変動詞の語幹もある。また「祭り」「立ち読み」のような動詞連用形から変化してきた名詞もあれば、「ゲーム」「コミュニケーション」「タイムマネジメント」のような外来語もある。

さらに「この道の達人」「魚の絵の達人」「ジョークやユーモアの達人」などのように、「この道」「魚の絵」「ジョークやユーモア」といった名詞文が使わ

れ、「酒を飲む達人」「暮らしを楽しむ達人」「天下に鳴り響いた達人」のように、動詞文も用いられる。

日本語の「鮮魚の達人」は、中国語では“鮮魚的达人”ではなく“鮮魚达人”と表現する。また「酒を飲む達人」は“喝酒的达人”ではなく“饮酒达人”、「暮らしを楽しむ達人」を“享受生活的达人”より“乐活达人”と表現するように、四字熟語として使われる傾向にある。日本語では四字熟語として用いられる例は少ない。

中国語の“达人”の源が春秋戦国時代に遡ることができることは前述した。春秋戦国時代以後の各時代の書籍にもその使用例が数多く見られ、民国時代の小説や文学作品にも随所に見られる。

○夫使其民国元首之资格，我国民犹肯降心承认焉，拥戴焉。袁氏达人，或可。（彼が民国の元首になったら、我が国の民は素直にそれを認め、支持するだろうか。道理をわきまえた袁氏なら、大丈夫だろう。）

天忤生《洪宪宫闈艳史演义》

○“他如有意投诚，兄弟请朱参赞代劳，去代达兄弟这番意思。想他是个达人，必不见罪。”（彼にもし降参する意向があれば、そのことを朱事務官に頼んで伝えてもらう。彼は道理に通じた人で、怒らないと思う。）

不肖生《留东外史续集》

上記の二例の“达人”は意味①「物事の道理によく通じた人」を表す。しかし、中華人民共和国(1949年)が誕生してから改革開放(1978年)が始まるまで、「身分や地位の高い人」、「物事を楽観的に考え、度量が広い人」という意味を表す“达人”はその当時のイデオロギーや思想と相容れないものだったのだろうか、中国人の言語生活から“达人”の姿が消え、あまり使われなくなった。筆者が《CCL 语料库检索系统》で検索した結果、現代中国語で用いられる“达人”の例はわずか10例しか得られなかった。その10例も20世紀90年代のも

ので、1949年から1978年までのものは1例もなかった。また内容的にも、仏教に関するものや、古代人物の言葉を引用したものがほとんどである。

当然、《CCL 语料库检索系统》が収録したテキストの題材、内容の偏り、テキストの数の制限などがあるからとも考えられるが、1949年から1978の間に“达人”という語が使われなくなったということはほぼ間違いない事実である。また90年代の“达人”の10例は「物事の道理によく通じた人」や「物事を楽観的に考え、度量が広い人」という古代語の意味として用いられ、現在よく使われている「ある分野の学問や技芸に深く通じた人」という意味をもつ例は見当たらなかった。

《CCL 语料库检索系统》の不足を補うために、筆者は《人民日报图文电子版1946～2007年》を調べたが、新中国が設立されて間もない1953年に1例あるだけで、1953年以後1985年までその例は見当たらなかった。

○这个竹林七贤之一的诗人，一向被认为达人的标准，名士的典型。（この「竹林の七賢」のうちの一人の詩人は、昔からその道の達人の範とされている。）

（1953年3月25日《人民日报》）

1985年から“达人”の用例が見られるようになり、それはすべて「物事の道理によく通じた人」「物事を楽観的に考え、度量が広い人」という意味を表す。

○达人志士成群死，剩有男儿冷眼看。（道理をわきまえた人や志士が多く亡くなり、残りの男たちは冷めた目でそれを見ていた。）

（1985年3月4日《人民日报》）

○或许，历史还该感谢那位授意修建碑亭的达人呢！（もしかすると、我々はかつて碑亭＜中国独特の石碑を覆うような形で作られた木造の建築物＞を作らせた度量のある人に感謝しなければならない。）

（1987年7月20日《人民日报》）

現在よく使われる「ある分野の学問や技芸に深く通じた人」という意味を示

す“达人”の例が見られるようになったのは2007年になってからである。

○最后只能发动身边所有的关系网，托买票“达人”代买。（最後に、身の回りのつてを頼って、チケット取りの达人に買ってもらうしかなかった。）

（2007年2月5日《人民日报》）

筆者は《人民网报刊检索》を利用して中国で発行される新聞を調査し、次の使用例を収集した。

○吴佩慈最近在为新书《美丽达人》做宣传。（吴佩慈は最近、出版したばかりの本『美の达人』のプロモーションをしていた。）

《江南时报》2005年3月30日

○昨天下午，身兼主持人和歌手双重身份的罗志祥携第二张专辑《达人 SHOW》，来京进行宣传活动。（昨日の午後、歌手兼司会者の羅志祥は、2枚目のCD『达人ショー』を発表し、北京でプロモーションを始めた。）

《京华时报》2005年3月21日

○眼下当红相声达人郭德纲接下了北京台的新节目《星夜故事秀》。（今人気がある漫才の达人郭徳綱は、北京テレビ局の新しい番組『星空の物語ショー』に出ることになった。）

《江南时报》2006年4月25日

○谁不想成为令人羡慕的“健康达人”？中老年人亦是如此。（だれでも周りの人から羨まれる「健康の达人」になりたいだろう。中高年層の人もそうだ。）

《京华时报》2006年11月1日

○看完后你会觉得上班不再是件苦差事，而你也成为了人见人爱的职场达人！（これを読み終えれば、働くことがつらくなるし、だれからも好かれる、職場の达人になれる。）

《健康时报》2007年3月22日

以上のように、中国で発行されている新聞の調査でも分かるように、「ある分野の学問や技芸に深く通じた人」という意味を示す“达人”を使い始めたのは、ここ20年以内のことである。台湾出身の芸能人や有名人が自分の書いた

本や制作した音楽CDの名前として使ったのが始まりで、後に大陸で使用されるようになっていったと見られる。

日本語の「達人」という語は古代中国語から伝わっていった点は疑いない事実である。鎌倉時代の吉田兼好が著した『徒然草・一九四』に「達人の人を見る眼は、少しも誤る所あるべからず」（『日本国語大辞典』）があり、それは古代中国語と同様「物事の道理に通じた人、人生を悟った人」という意味を表す。

「達人」が日本で用いられていた間に、「ある分野の学問や技芸に深く通じた人」という新しい意味が派生し、江戸時代の『浄瑠璃・信州川中島合戦四』の「古今独歩の弓馬の達人」（『日本国語大辞典』）がそれである。現在、中国の若者言葉として流行っている“达人”の源は日本の江戸時代に求められると言えよう。

類似した意味を示す言葉は中国語にないわけでもない。“高手”（名手）、“能手”（熟練者）、“行家里手”（専門家、玄人）などがそれである。しかし新しく日本語から流入した意味を吸収した“达人”は優雅、好尚なイメージを感じさせる語に変身し、人々から愛用され、“钓鱼的高手”（魚釣りの名手）より“钓鱼达人”（魚釣りの達人）、また“捕鱼能手”（魚捕りの熟練者）より“捕鱼达人”（魚捕りの達人）、“各行各业的行家里手”（各業種の玄人）より“各界达人”（各界の達人）の方がよく使われる傾向にある。

結語

本節では「派生語や複合語があるか否かによる両言語の相違」という視点から、中国語の“达人”と日本語の「達人」の意味的相違を考察した。

(1) 派生語や複合語があるか否かによる両言語の相違について、中国語の“达人”は“书法达人”（書道の達人）、“快乐达人”（暮らしを楽しむ達人）のように四字熟語としてよく用いられる。“……达人”は複合語が作られる漢語語基

として造語力が強い。日本語の場合、「達人」を伴う四字熟語はあまり見られず、「～の達人」や「修飾句+達人」という形で用いられる。

中国語の“达人”は優雅、好尚なイメージをもち、“钓鱼的高手”（魚釣りの名手）より“钓鱼达人”（魚釣りの達人）、また“捕鱼能手”（魚捕りの熟練者）より“捕鱼达人”（魚捕りの達人）、“各行各业的行家里手”（各業種の玄人）より“各界达人”（各界の達人）のように使う傾向にある。

(2) 「達人」の由来は春秋戦国時代の古代中国語に遡る。その後、日本に伝わってきて、次第に「ある分野の学問や技芸に深く通じた人」という新しい意味が派生した。ここ 20 年の間に、日本語からその新しい意味をもつ「達人」が中国語に流入し、流行語として中国で広く使用されるようになっていく。

(3) 中国語の“达人”と日本語の「達人」に関する辞書的解釈の問題点について、中国語の“达人”は現代中国語でよく使われているにもかかわらず、『中日辞典 小学館』では収録されていない。また《辞海》では、“达人”は“通达事理之人”（物事の道理によく通じた人）と“达观的人”（物事を楽観的に考え、度量が広い人）という意味しか取り上げず、現在よく使われている“对某一领域非常专业、精通之人”（ある分野の学問や技芸に深く通じた人）という意味が抜けている。

日本語の「達人」における「学問や技芸に通じた人」という意味を、『日中辞典 講談社』では“高手”“专家”“名人”、『日中辞典 小学館』では“高手”、《详解日汉辞典》では“名手”“高手”“好手”と解釈しているが、現在中国語でも同じ意味によく用いられている“达人”は見られない。その対応語として“达人”を付け加えるべきである。

第4節 中国語の“人気”と日本語の「人気」の意味的相違

本節は前節に引き続き、ここ 20 年、中国語で使用頻度が高くなり、造語力の強い中国語の“人気”と日本語の「人気」の意味的相違を、「流行語か否かによる両言語の使用頻度の高低や造語力の強弱の相違」を軸に考察することにする。

中国語の“人気”と日本語の「人気」は意味領域が重なる部分があると同時に、それぞれ異なる部分も見られる。両者は意味領域の関係において【第1パターン】の<第1類>に属する。

まず日本語の「人気」と中国語の“人気”において、意味が完全に同様か否かについて考察することとする。

○新書や人気のある本は予約がいっぱいで、すぐに読めそうにない。(新书和有人气的书有很多人预订，不可能马上看到。)

上記の“人気”は、ここ 20 年、中国語での使用頻度が高い。“人気”という語は日本語から伝わったものなのか、それとも古代中国語にすでにあったのかを研究の焦点とする。

筆者の仮説として“人気”という表現自体は古代中国語に存在していたが、現在の意味とは異なる別の意味として用いられていた、とする。この語が日本に伝わってから、「人や物事に対する受けの良さ」という独特の意味が生まれた。この用法は二十年ほど前に中国に逆輸入され、現在、中国語の流行語として使用している。

この仮説について、下記の通り、例文を交えながら説明することにする。

(1) 古代中国語、現代中国語における“人气”の意味

“人气”という表現は、春秋戦国時代の古典作品にすでに用いられていた。下記の例がそれである。

○且德厚信**砥**，未达**人气**；名闻不**争**，未达人心。（その上、道德と信頼が篤いにしても、人々の心に通じるとは限らない。名誉などを奪わないにしても、人々から理解を得られるとは限らない。） 《庄子・内篇・人间世第四》

○知**人气**盛衰，而养其志气，察其所安，以知其所能。（ある人の意気込みが高いかどうかを知り、その志を育てることができる。その志が堅いかどうかを察し、どのくらい才能を持っているかを知る。） 《鬼谷子・本经・养志》

上記の“人气”は、いずれも春秋戦国時代の古典作品に使われていた例で、「人間の感情や意気」を意味する。

明と清の時代になると、この“人气”の使用例がより多く見られるようになった。下記の例がそれである。

例①. 我那一篓红橘，自从到船中，不曾开看，莫不**人气**蒸烂了？趁着众人不在，看看则个。（おれが持ってきたその一籠の蜜柑は船に乗ってから、まだ開けて見ていないが、もしかして人の熱気で腐ってしまっているかもしれない。ほかの人がいないうちに、ちょっと見てくれ。） 明・抱甕老人《今古奇观》

例②. 及到后来，看见他所作所为，越无**人气**，时常规讽，只是不听。（その行動にますます人情味がないことが分かった。彼に注意したが、聞いてくれなかった。） 明・凌蒙初《拍案惊奇》

例③. 怎得庙中有生**人气**？必有奸细潜藏，与我细加搜筒！（なんで廟のなかに人の気配があるんだろう。回し者が隠れているはずだ。しっかり探せ！）

清・西周生《醒世姻缘传》

上記の3例のうち、例①と例③の“人气”は、人の気配や人間の身体の熱気・匂いという意味であるが、例②の“人气”は人間の意気や感情を意味してい

る。

次に中国語の辞書における“人气”の語釈を検証する。まず、《汉语大词典》では、“人气”は次のように解釈されている。

(A)指人的意气、气质、感情等(人間の意気や気質や感情など)。挙げられている例は、漢の時代のものである。漢の董仲舒の《春秋繁露・人副天数》では、“天气上，地气下，人气在其间”(天の気は上にあり、地の気は下にあり、人間の意気はその間に存在する)とある。ほかに、明の時代の吴承恩の《西游记》第四一回では、“你这呆子，全无人人气，你就惧怕妖火，败走逃生，却把老孙丢下”(この阿呆め、全然人情味がないな。妖しい火を怖がって、自分一人で逃げたんだろう。おれを残して)とある。

(B)人体的的气味或人的气息(身体の匂いや人の息)。宋の時代の文天祥の《〈正气歌〉序》では、“骈肩杂还，腥臊汗垢，时则为人气”(大勢の人が込み合い、身体の汚れによる嫌な匂いがする。これが身体の匂いだ)、とある。清の時代の魏源《默觚下・治篇三》では、“人气所缢，横行为风，上泄为云”(身体の気が立ちこめ、横に向くと風になり、上に行けば雲になる)、とある。

(C)人的心气、情绪(人の気分や気持ち)。挙げられている例はより新しいものである。茅盾《子夜二》では、“谣言太多，市场人气看低，估量来看还要跌哪!”(デマが多いし、市場における人々の意欲が落ち込んでいるので、株価はまだ下がるだろう)、とある。

上記の語釈の三つの意味項目のうち、意味(A)はすでに使われなくなり、現在では“人情”“人味”の表現に取って代わられている。意味(B)、(C)は、“这里地处偏僻，缺少人气，大型商业难以入驻”(ここは辺鄙だし、人氣くひとけもないから、大型店がなかなか来ない)、“近来楼市人气低迷，价格一落千丈”(最近、不動産市場で人々の意気込みが落ち込み、価格が暴落してしまった)のように依然として使用されている。

また 1996 年に出版された《現代汉语词典》(修订本)(注 4)には、“人气”は収録されておらず、《現代汉语词典》(第 5 版)(注 5)で初めて収録されたが、上記の三つの意味の説明はなく、“人或事物受欢迎的程度”(人や物事に対する受けの良さ)と定義されているだけである。

中国語では本来、“受欢迎”“很红”がよく用いられていたが、ここ 20 年、“人气”の使用頻度が高くなった。下記の例がそれである。

○九人组合“少女时代”2007 年出道以来人气直线上升。(9 人組のバンド「少女時代」が 2007 年にデビューし、人気は急上昇した。)

○在首次代表英国女王正式出访海外的威廉王子结束了上周对澳大利亚为期 3 天的成功访问之后，威廉王子的人气就大增。(初めてイギリス女王の使者として海外公式訪問をしたウィリアム王子が、3 日間のオーストラリア訪問を先週大成功で終え、その人気が急上昇した。)

上記の例の“人气”は「人や物事に対する受けの良さ」という意味を示す。しかし《現代汉语词典》(第 5 版)では“人气”は“人或事物受欢迎的程度”としか解釈されておらず、現代中国語で依然として使われている「身体の匂いや人の息」「人の気分や気持ち」という意味を付け加えるべきである。

また小学館の『中日辞典 小学館』では、“人气”を「人々の評判」と定義しているが、これも《現代汉语词典》(第 5 版)と同様に「身体の匂いや人の息」「人の気分や気持ち」という意味が抜けているため、同じく語釈が不十分ということが指摘できる。

中国語の“人气”は「人や物事に対する受けの良さ」という意味を示す場合、名詞として用いられ、“大增”、“直线上升”、“急降”、“最具”、“高”などの表現や形容詞と呼応して使われる。また「強く人々から好かれる」という意味を示す場合は形容詞的機能を有し、その後に“节目”、“美食”、“组合”などの名詞が続き、“人气节目”、“人气美食”、“人气组合”など複合名詞として使われ

ることが多い。

現代中国語における“人気”について、筆者は次のように定義している。(1) 人或事物受欢迎的程度(人や物事に対する受けの良さ)、(2) 人的心気情緒(人々の意欲や気分)、(3) 人体的気味或人的氣息(身体の匂いや人の息)である。

意味(2)と意味(3)は古代中国語の意味を受け継いでいるが、意味(1)は新しく付与されたものである。

なお、日本語の「人気」に見られない中国語の“人気”の用い方の特徴については(3)で考察する。

(2) 日本語における「人気」の意味

日本語の「人気」の意味について、『日本国語大辞典』『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』を調べた。それぞれの辞書的解釈をまとめると、次のようになる。

(A) 人間の意気。「天道人氣に空しからず」『浮・日本新永代蔵』という例が挙げられている。(B) 世間からの好みや評判、人々からの受け。「彼は学生に人気がある」、「国民に人気のない政治家が多い」などがそれである。(C) その社会、地方の気風。「人気の悪い土地柄」、「人気のいい町」という例が挙げられている。

日本語の「人気」は古代中国語から伝えられ、古代中国語の“人気”と同じ意味(A)を有していた。しかし現代日本語ではすでにこの「人間の意気」の意味は使われなくなっている。日常的によく使われているのは、意味(B)である。「人気がある」、「人気がない」、「人気が出る」、「人気を取る」、「人気を集める」、「人気が衰える」、「人気落ちる」、「人気をさらう」「人気を失う」、「人気を呼ぶ」、「人気上昇する」の他に、「人気者」、「人気スター」、「人気取り」、「人気俳優」、「人気商売」、「人気番組」、「人気小説」など「人気」を伴

う表現が数多く作られている。また使用頻度は意味 (B) ほどではないが、意味 (C) も、「この町はどうも人気が悪いようだ」、「港には人気の悪いところが多い」のように使われている。

日本語の意味 (B) として使われる「人気」は、いつ頃から用いられ始めたのか定かではないが、次の例は八十年代の初め頃のものと思われる。

○拍手が起こる。人気のある牛らしい。(掌声响起, 好像是那头很受大家欢迎/很有人气的牛。) 『新・里見八犬伝』鎌田敏夫

○レストランのテレビで性格俳優として、人気のある中年男と、女流評論家が対談している。(在餐馆的电视上正在播出一名性格演员、很有人气的中年男子和一名女性评论家对谈的节目。) 『小さな貴婦人』吉行理恵

上記二冊の本は、いずれも 1981 年に出版されたものである。中国国内では、改革開放が行われて間もない頃だったため、新しい意味の“人気”はまだ使われていなかった。

『朝日新聞オンライン記事データベース』(1945 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの一年間の記事) から、「世間の好みや評判」という意味の「人気」の例を調査したところ、三つの例が検索された。

「大人気の“勝札”街頭売出し (朝日新聞朝刊 1945 年 7 月 19 日)」

「米生産、民需へ綱渡り 日用品製造で国民の人気取り 金権迎合の気配も濃化 (朝日新聞朝刊 1945 年 7 月 21 日)」

「焼跡から悠々と 空の人気者オートジャイロ (朝日新聞朝刊 1945 年 9 月 26 日)」

上記の三例からも分かるように、日本語の「人気」(世間の評判)は、少なくとも 40 年代には使われていた。

○英吉利の野菜、仏蘭西の野菜、独逸の野菜、伊太利の野菜、露西亜の野菜、一番学生に人気のあるのは露西亜の野菜学の講義だそうです。

『随筆』 芥川龍之介

○昨年の晩秋、ヨオゼフ・シゲティというブダペスト生れのヴァイオリンの名手が日本へやって来て、日比谷の公会堂で三度ほど演奏会をひらいたが、三度が三度ともたいへんな不人気であった。

「ダス・ゲマイネ」『文芸春秋』 太宰治

○もとより番附その他の設備、楽屋の積物、いうまでもなく人気役者の名題披露の通りにした。

『旧聞日本橋』 長谷川時雨

さらに時代を遡って戦前の作品を検索すると、上記の例のように、20年代か30年代に刊行された太宰治や芥川龍之介の作品には、すでに「人々から好まれる」という意味で用いられていたことが分かる。

『日本国語大辞典』では、「人気」（「世間の評判」の意味）の早い使用例として『浮世草子・日本新永代蔵（1713）』一・二における「四五十迄何にても勤めたる功は、天道人気（ニンキ）に空しからず」が掲載されている。また『歌舞伎・東海道四谷怪談（1825）』序幕に「表向き人気（ニンキ）が悪うござりますか、それで炎をほぐして居ります。」とある。さらに、明治時代の作品『寄合ばなし（1874）』〈榊原伊祐〉初・下に「是は面白からふ、いてみやうかといふて、人気（ニンキ）が寄て大入の札をかける。」と見える。従って、「人気」（「世間の評判」の意味）が使われ始めたのは恐らく18世紀の前半であると判断できる。

中国語で同様の意味の“人気”を使い始めたのはここ20年のことであるため、「世間の評判」という「人気」の意味は、日本語から中国語に伝えられた可能性が極めて高いと見られる。

(3) 中国語と日本語における「人気」(世間の評判)の意味や用法の相違

中国語と日本語における「人気」(世間の評判)は同じ意味や用法に用いられることが多く見られる。次の例を見てみよう。

○选手的人气越高, 粉丝席位越多。(出場する選手の人气が高いほど、ファンの観戦席も増える。)

○由于聪明好学, 他在学校里得到老师的钟爱, 在小伙伴中也有人气。(賢い上、真面目に勉強するから、学校の先生に可愛がられ、仲間の間でも人气がある。)

上記の“人気”の例はいずれも名詞として使われ、“人或事物受欢迎的程度”(人や物事に対する受けの良さ)という意味で用いられている。この場合、“人気”と共起する“有”、“大增”、“直线上升”という表現や、“高”、“低”などの形容詞がくることが特徴として見られる。日本語の「人気」も同様の意味や用法をもつため、この場合の中国語の“人気”は日本語でも通常「人気」という。

○《此间的少年》等获十佳优秀作品, 《尘缘》等获十佳人气作品。(『地元の少年』はベストテンの優秀作品賞を、『俗世の因縁』は人气作品賞を得た。)

○他将正式接手上海第一财经频道的人气节目《上班这点事》。(彼は正式に上海第1財政経済チャンネルの人气番組『出勤これっぽっちの事』を引き受けることになった。)

上記の例の“人气作品”と“人气节目”の“人气”は形容詞的機能を有し、“作品”“节目”という名詞を修飾している。この場合の“人气”は“深受人们喜爱”(人々から強く好かれる)という意味である。【人气+名詞】という表現は現在、新聞用語や若者用語としてよく使われている。“人气歌手”、“人气组合”、“人气美食”なども同じである。日本語の「人気」も「人气番組」「人

気俳優」のように【人気+名詞】という形の表現が使われ、同様の意味を表すため、この場合の中国語の“人気”は日本語の「人気」で対応する。

以上のように、中国語の“人気”と日本語の「人気」は同様の意味や用法として用いられることが多いが、次に両者間の相違点を考えることにする。

(1) 日本語の「人気」に対応する中国語訳

日本語で、「世間の好みや評判、人々からの受けの良さ」という意味を表す「人気」は、現在よく用いられ、中国語の“人気”で対応する場合が多い。

○何故アメリカでは、サッカーは人気のない、マイナースポーツなのだろうか。(为什么在美国足球是一项没有人气、不受人们关注的运动呢?)

○なぜこんなに人気だったのか良く分からない。(不明白为何会有如此人气。)

○人気があるのとレベルが高いのとは全く別の概念である。(有人气和水平高，那是完全不同的概念。)

○人気のピークが高ければ高いほど落ちた時の落差が大きくなり、相当痛い目にあう事が容易に想像できる。(人气越高，跌落时的落差就越大，很容易就能想象得到他会倒大霉。)

○当時、雑誌や世間的に人気があったキャラは誰なのか？(当时，在杂志、社会上人气很高／受欢迎的标志性人物是谁?)

以上のように日本語の「人気」の多くは、ほとんど中国語の“人気”、或いは“受欢迎”で対応することができるが、下記のように、別の表現を用いる形もよく見られる。

(A) 人間を示す場合

(1) 芸能人など人気者

人気スター ⇒ 当红明星／很有人气的明星

人気俳優 ⇒ 当红演员／很有人气的演员

人気歌手 ⇒ 当红歌手／很有人气的歌手

人気作家 ⇒ 当红作家／很有人气的作家

上記の例から分かるように、日本語の「人気」を中国語の“当红”で対応する場合もある。“红”という色は人々の目を引くが、いつかは褪せてしまうものである。従って、“红”で以って芸能界の人を修飾するのは適切である。日本語の「人気作家」を中国語では“当红作家”と言うが、これも「人気作家」が、一時期は読者から強く好まれるが長続きせず、いつかは人々の視線から消えてしまうというニュアンスがあるからである。

(2) 周りの人々より一段と年齢や地位が高く、尊敬される人

その先生は生徒に人気がある。 ⇒ 有声望／很有人气

国民に人気のある政治家である。 ⇒ 有声望／很有人气

上記の例のように、「先生」や「政治家」は一般的には社会地位が高く、尊敬される存在であるため、「人気がある」は中国語の“有声望”で対応する場合もある。

(3) 周りの人々と年齢や地位が同じぐらいの人

近所の人に人気がある。 ⇒ 有人缘儿／很有人气

彼は仲間に人気がある。 ⇒ 有人缘儿／很有人气

上記の例のように、「近隣同士」や「仲間同士」は年齢や地位などが同じか近い場合、この場合の「人気がある」は中国語の“有人缘儿”で対応する。

(B) 物事を示す場合

(1) 一般の物事

人気パビリオン ⇒ 热门场馆／很有人气的场馆

人気ゲーム ⇒ 热门游戏／很有人气的游戏

人気小説 ⇒ 热门小说、畅销小说／很有人气的小说

人気車 ⇒ 热门车型、畅销车／很有人气的车

「一般の物事」における例だが、「パビリオン」や「オンラインゲーム」の

ような、金銭で買えないものの場合には中国語の“热门”で対応することが多く、「小説」「車」のような、金銭で買えるものの場合には“热门”或いは“畅销”で対応することが多い。

(2) 人生や将来の生活にかかわる物事

大学卒業生に人気のある職業 ⇒ 热门行业／很有人气的行业

人気のある専攻を選ぶ ⇒ 热门专业／很有人气的专业

上記の例のように、「職業」や「専攻」は、高校生や新卒者にとって将来の人生にかかわることであり、この場合の「人気がある」は通常、中国語の“热门”で対応することが多い。

(3) あるブームを巻き起こす物事（日本語では「～+人気」の形）

サッカー人気 ⇒ 足球热

野球人気 ⇒ 棒球热

小泉人気 ⇒ 小泉热

嵐人気 ⇒ 嵐（歌唱组合）热

上記の例のように、「サッカー」「野球」「小泉」「嵐」は何かのブームが巻き起こる時、日本語では代わりに「～人気」の形で表現するが、これを中国語では通常“……热”で対応する。

上記の中国語訳を見ると、物事の「人気」を示す場合、中国語では“热”という漢字がよく用いられることが分かる。これは、芸能人などの「人気」に“红”という漢字を用いるのと同じである。物事の“热”も一時的な現象であり、いつかは冷めてしまうものだからである。

“人気”、“受欢迎”の他に、日本語の「人気」と対応する中国語表現を図示すると、次のようになる。

日本語の「人気」と対応する中国語表現

日本語の「人気」	中国語訳
芸能人などの「人気」	当红
周りの人々より一段と年齢や地位が高く、尊敬される人の「人気」	有声望
周りの人々と年齢や地位が同じ位の人の「人気」	有人缘儿
一般の物事の「人気」	热门、畅销
人生や将来の生活にかかわる物事の「人気」	热门
あるブームが巻き起こる物事の「人気」(日本語の「～人気」)	……热

(2) 中国語の“人気”と日本語の「人気」を伴う表現

日本語には「人気者」や「人気アイドル」など、「人気」を伴う表現が多く見られる。一方、中国語でも“人気美食”、“人気节目”など“人気”を伴う表現がよく使われる。次にそれらの複合語構成における相違点を考える。

① 「人気+人間」の形

このパターンでは、中国語の“人気”と日本語の「人気」に後置するのは人間を示す語である。日本語の「人気女優」、「人気歌手」、「人気芸能人」、「人気選手」、「人気小説家」、「人気教授」、「人気者」などがそれである。

中国語の“人气偶像”、“人气明星”、“人气女星”、“人气演员”、“人气艺人”、“人气节目主持人”、“人气歌王”、“人气之星”、“人气选手”、“人气学者”、“人气组合”などもそれである。

② 「人気+物」の形

このパターンでは、中国語の“人気”と日本語の「人気」に後置するのは物を示す語である。日本語には「人気商品」、「人気作品」、「人気小説」、「人気映画」、「人気車」、「人気機種」、「人気曲」、「人気番組」、「人気株」、「人気漫画」、「人気物件」、「人気髪型」などがある。

中国語の“人气电影”、“人气韩剧”、“人气歌曲”、“人气节目”、“人气作品”、“人气博客”、“人气专辑”、“人气品牌”、“人气美食”、“人气食谱”、“人气游戏”、“人气小吃”、“人气宠物”、“人气家具”、“人气手机”、“人气产品”などもそれである。

③ 「人気+組織、機構、場所」の形

このパターンでは、中国語の“人气”と日本語の「人気」に後置するのは組織、機構、場所を示す語である。日本語には「人気大学」、「人気企業」、「人気会社」、「人気店」、「人気校」、「人気局」、「人気宿」、「人気温泉地」などがある。中国語の“人气场馆”、“人气剧场”、“人气店铺”、“人气网站”、“人气论坛”などがそれである。

④ 「人気+程度や状況を知るためのデータや行動」の形

このパターンでは、中国語の“人气”と日本語の「人気」に後置するのはその程度や状態を知るためのデータや行動を示す語である。日本語には「人気指数」、「人気度」、「人気順」、「人気投票」などがある。中国語の“人气指标”、“人气排行榜”、“人气指数”、“人气投票”、“人气排名”などもそれである。

⑤ 「人気+変化や状態など」の形

このパターンでは、中国語の“人气”と日本語の「人気」に後置するのは変化や状態を示す語である。日本語には「人気上昇」、「人気絶頂」、「人気回復」、「人気再燃」、「人気爆発」、「人気抜群」、「人気復活」、「人気下落」、「人気暴落」、「人気衰退」、「人気低下」、「人気凋落」、「人気低迷」などがある。中国語の“人气低迷”、“人气强劲”、“人气兴旺”、“人气高”、“人气上升”、“人气飙升”、“人

気暴漲”、“人気下降”、“人気下滑”、“人気大踏”、“人気暴踏”などもそれである。

以上のように五つのパターンに分けられる。日本語の「人気」と中国語の“人気”は、同じように用いられることが分かった。

また中国語の“人気”を伴う表現を【人気+漢字】、【人気+英数字】、【接頭辞+人気】の三種類、日本語の「人気」を伴う表現を【人気+漢語】、【人気+英数字】、【人気+和語（動詞連用形）】、【人気+外来語】、【人気+英数字】、【固有名詞、名詞+人気】、【接頭辞+人気】に分類することができる。詳しくは<注6>を参照されたい。

中国語では、“人気”を伴う表現がよく用いられ、“人気”の後ろに一文字、または三文字以上の語が続く表現は少なく、二文字の語が圧倒的に多いのが特徴である。それは中国人が二文字或いは四文字の表現に、音節のバランスが保たれた美感を感じることに関係する。人気のある店のことを“人気店”ではなく、“人気店舗”と呼ぶ。また人気のある曲のことを“人気歌”ではなく、“人気歌曲”と呼ぶのもそのためである。日本語の「人気」の後に来る言葉にも同じような傾向が見られるが、そう多くはない。

結語

本節では、「流行語か否かによる両言語の使用頻度の高低や造語力の強弱の相違」という視点から、中国語の“人気”と日本語の「人気」の意味的相違を考察した。

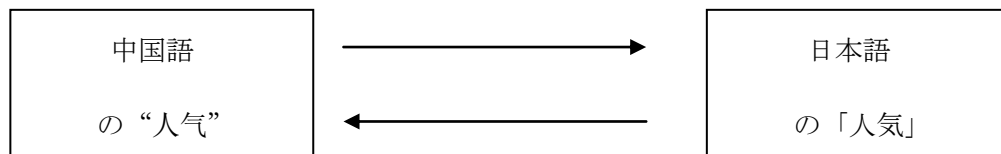
(1)「流行語か否かによる両言語の使用頻度の高低や造語力の強弱の相違」について、中国語では“人気”は流行語としてよく用いられ、“人気”を伴う表現がよく見られる。そのうち、“人気”に後続するのは二字表現が圧倒的に多い。それは中国人が二文字或いは四文字の表現に、音節のバランスが保たれ

た美感を感じることに関係する。日本語の「人気」の後に来る言葉にも同じような傾向が見られるが、そう多くはない。

(2) 日本語では、舂添人気、岡本人気、嵐人気、Jリーグ人気、野球人気、サッカー人気、自転車人気など「～人気」という表現が使われる。中国語には、“……人気”のような複合語は見られない。この場合、中国語では“姚明热”、“足球热”のように、“……热”という表現を使う。

(3) 日本語の「人気」(評判が良い意)を中国語に訳す場合、“人气”“受欢迎”の他に、人を指す場合は、“当红”“有声望”“有人缘儿”で対応し、物事を指す場合は、“热门”“热销”“……热”などの表現を用いるのが特徴である。

(4) 日本語の「人気」は古代中国語から伝えられたものである。それに「人々の好みや評判」という新しい意味が付与された後、中国に逆輸入されたと見られる。このルートを図示すると、次のようになる。



(5) 中国語の“人气”と日本語の「人気」に関する辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》では、日本語の「人気」(世間からの好みや評判)に関しては“声望”“名声”“受欢迎”としている。しかし、現在中国語で「世間からの好みや評判」という意味を表す場合、“人气”がよく用いられているため、その対応語に“人气”を付け加えるべきである。また中国語の“人气”に関しては、『中日辞典 小学館』では「人气、人々の評判」「人の品性、人柄」と、『中日辞典 講談社』では「人气」「品格」と解釈している。が、中国語の“人气”は上記の意味のほかに、「身体の匂いや人の息」「人の気分や気持ち」という意味があり、上記二冊の辞書にこれを補足追加するべきである。

第5節 中国語の“第三者”と日本語の「第三者」の意味的相違

本節では前節に続き、ここ 20 年ほど、使用頻度が高くなった中国語の“第三者”と日本語の「第三者」の意味的相違を「比喩的表現、派生的用法（意味拡張）の有無による両言語の用い方の相違」という視点から考察することとする。

中国語の“第三者”は日本語の「第三者」より意味領域が広く、日本語の「第三者」の意味領域をほぼ内包しているため、両者は意味領域の関係において【第1パターン】の<第3類>に属する。

(1) 中国語の“第三者”と日本語の「第三者」の共通の意味

中国語では“第三者”は法律やビジネスの用語としてよく用いられている。《現代汉语词典》には、(A) 当事者双方以外的人或团体（当事者双方以外の人または団体）という辞書的解釈が記されている。下記の例は法律用語としてよく用いられる。

○一辆没有投保第三者责任险的车辆上路，与其它车辆相撞并负全责的，保险公司不会对此作任何赔偿。（第三者責任保険をかけていない車が街に出て、他の車と衝突した場合、その責任は運転手にあり、保険会社はこれに対していかなる弁償を行うことはない。）

○因产品质量问题，造成燃放者或第三者人身伤亡及财产损失的，由中国太平保险有限公司江苏分公司在规定的限额内予以赔偿。（製品の品質不良が原因で、取り扱う者或いは第三者の人身事故および財産の損失をもたらした場合、中国の太平保険有限会社江蘇支社から決まった金額が補償される。）

○完全由于第三者的故意或者过失，造成海洋环境污染损害的，由第三者排除

危害，并承担赔偿责任。（完全に第三者の故意或いは過失のため、海洋の環境汚染をもたらした場合、その第三者がその損害を排除し、弁償する義務を負うことになる。）

上記の例文の“第三者”は中国語では法律用語としてよく用いられ、日本語の「第三者」で対応することができる。日本語の「第三者」も「当事者以外の者、その事柄に直接関係していない人」を意味する。

○それは第三者の過失で起こった労働災害である。（这是由第三者的过失所引起的劳动事故。）

○個人情報が第三者に渡され悪用されて困っている。（自己的个人信息被披露给第三者并遭滥用，令人头疼。）

下記の例を見てみよう。

○他以从事经济学研究为幸，在演讲中曾以第三者的语气描述自己的经历。（彼は経済学の研究に従事することを喜ぶべきこととし、かつて講演で第三者の言葉で自分のことを述べた。）

○铁矿石价格涨幅应是从第三者角度看对于钢铁业及矿业都相对合理的数字。（鉄鉱石の価格の上げ幅は第三者の視点から見て、鋼鉄業と鉱石業に対して合理的なものでなければならない。）

上記の例の“第三者”は法律用語として用いられているのではなく、日常的な「第三者の立場」という意味を表す。日本語にも同様の用法がある。

○第三者評価を受けることにより、利用者や地域からの信頼が得られる。（通过接受第三方评估，由此获得了使用者和本地区的信任。）

○出品中の画像を第三者に無断で使用されてしまった。（展品中的肖像画遭第三者擅自使用。）

日本語の「第三者」は「第三者の立場」という意味合いであり、中国語の“第三者”“第三方”で対応することができる。

中国語における“第三者”の語源について、東漢時代の作品にすでに“第三者”が使われ、当時は「三番目」の意味として用いられていた。日本語に伝わった「第三者」には「当事者以外の者、その事柄に直接関係していない人」という意味が付与され、さらに中国語に逆輸入されたと見られる。これに関しては、今後の研究課題とする。詳しくは<注7>を参照されたい。

(2) 日本語には見られない中国語における“第三者”の意味

中国語の“第三者”は意味(A)以外に、《現代汉语词典》に、意味(B)“特指插足于他人家庭，跟夫妇中的一方有不正当的男女关系的人。”(夫婦どちらか一方の人と不当な男女関係をもつ人、愛人、浮気相手)が記されている。次の例を見てみよう。

○曹心梅的第一次婚姻曾被第三者插足，她内心一直愤愤不平，处处找前夫与小三的麻烦。(曹心梅の1回目の結婚は夫の浮気相手に壊され、彼女は怒りのあまり、至る所で前の夫とその浮気相手の邪魔をする。)

○因为在离婚前她就怀疑有第三者介入，在离婚后她又发现前夫很快有了新欢，而自己还要单独抚养孩子，心中不忿。(離婚する前に夫に浮気相手がいることを疑ったが、離婚直後、前の夫に好きな女がすぐできたことが分かった。自分一人で子供を育てなければならないことを思って憤慨した。)

○我们因为了解而分开，并不是像传说中的第三者介入。(私達は互いに理解しているため別れたのだ。噂のように浮気相手が原因ではない。)

○“家庭暴力”和第三者插足，已经成为近年来婚姻破裂的两大诱因。(「家庭暴力」と不倫相手は、すでにここ数年来、婚姻関係が破綻する二つの大きな原因となっている。)

上記の例文の“第三者”は、明らかに法律用語として使われる場合と異なる。

日本語の「第三者」には見られない用法であるため、日本語は「第三者」と訳さず、通常「愛人」、「浮気相手」、「不倫相手」という表現で対応する。中国語では近年、“第三者”の他に“二奶”、“小三”という表現もよく用いられている。

「愛人」「浮気相手」「不倫相手」という意味の“第三者”はいつ頃使われ始めたのか、2007年に出版された『現代中国語新語辞典』（注8）にその意味の“第三者”が掲載されているが、使われ始めた時期はさらに遡ると思う。筆者が《人民日报图文电子版 1946-2007》を検索したところ、1946年から70年代まで上述した意味の“第三者”の用例は一例も見つからなかった。80年代に入ってから徐々にその使用例が見られるようになった。

○那么袁、王（夫妻）关系不和是否由第三者引起的呢？（袁さん、王さんの夫婦関係が悪化したのは浮気相手がいたからだろうか。）

《人民日报》1980年10月21日

○要教育“第三者”，不要把自己的幸福建立在别人的痛苦之上。（自分の幸福を人の苦痛の上に築いてはいけないと、愛人を戒めるべきである。）

《人民日报》1982年1月20日

○有的要求法律工作者对破坏家庭婚姻关系的第三者进行严肃处理。（他人の夫婦関係を悪化させる浮気相手を厳しく対処するように、法律関係者に呼びかけている。）

《人民日报》1984年2月13日

以上のことを考えると、現代中国語の“第三者”に「愛人」「不倫相手」「浮気相手」という意味が派生したのは1980年代に入ってからのことだと思われる。

中国語の“第三者”と日本語の「第三者」の意味的相違を図表で示すと、次のようになる。

日本語の「第三者」と中国語の“第三者”における意味的相違

	日本語	中国語	訳語
当事者以外の者、その事柄に直接関係していない人	○	○	中国語訳 第三者、第三方
夫婦どちらかの人と不倫な関係を持つ人	×	○	日本語訳 愛人、浮気相手、不倫相手

結語

本節では「比喩的表現、派生的用法（意味拡張）の有無による両言語の用い方の相違」という視点より、中国語の“第三者”と日本語の「第三者」の意味的相違を考察した。

(1) 中国語の“第三者”は日本語の「第三者」より意味領域が広く、近代日本語から伝えられ、また使われている内に「愛人」「浮気相手」という意味が派生した。日本語の「第三者」は、この中国語の派生義「愛人」「浮気相手」という意味を持たない。日本語の「第三者」は法律用語と「第三者の立場」の意味で使われる場合、中国語の“第三者”と意味や用法が同じで、中国語の“第三者”または“第三方”で対応することができる。

(2) 中国語の“第三者”と日本語の「第三者」に関する辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》では、「第三者」の意味の解釈に、漢字同形語の“第三者”で対応しているが、しかし、日本語の「第三者」とは異なり、中国語の“第三者”に、「当事者双方以外の人または団体」のほかに、「愛人、浮気相手、不倫相手」という意味も持つ。中国人日本語学習者は日本語の「第三者」にもこの意味が含まれると誤解してしまう恐れがある。

注と参考文献

(1) 罗竹风主编 汉语大词典编辑委员会・汉语大词典编纂处 《汉语大词典》(第2版) 汉语大词典出版社 2001年9月、辞海编辑委员会编纂 《辞海》 上海辞书出版社 1999年9月

(2) 日本国語大辞典第2版編集委員会、小学館国語辞典編集部編 『日本国語大辞典』(第2版) 小学館 2001年7月、松村明編 『大辞林』(第3版) 三省堂 2006年10月

(3) 《左传・昭公七年》：“圣人有明德者，若不当世，其后必有达人。”

賈誼《鵬鸟赋》：“小智自私兮，贱彼贵我；达人大观兮，物无不可。”

(4) 中国社会科学院语言研究所词典编辑室编 《现代汉语词典》(修订本) 商务印书馆 1996年7月

(5) 中国社会科学院语言研究所词典编辑室编 《现代汉语词典》(第5版) 商务印书馆 2005年7月

(6) 中国語の“人气”と日本語の「人気」を伴う表現は下記のようにも分類することができる。

中国語の場合

中国語は日本語ほど、文字表記が複雑でないため、下記の二つのパターンしかない。

(A) 【人气+漢字語】

○通过人气美食可以了解上海的饮食文化。(人気グルメを通じて上海の食文化を知ることができる。) / 很多人在看北京电视台的这档人气节目。(多くの人がこの北京テレビの人気番組を見ている。) などがそれである。また“人气歌手”、“人气作家”、“人气组合”、“人气指数”、“人气楼盘”などもその例である。中国語の文字表記が単純なため、“人气”を伴う表現はほぼこのパターンに属する。

(B) 【人気+英数字】

○2013 年度中国动漫人气 Top10 揭晓。(2013 年度中国アニメ 人気 Top10 が発表された。) / 人気 MM 教你如何化妆。(人気の女の子が化粧法を教えてくれる。) などがそれである。

日本語の場合

(A) 【人気+漢語】

○六十年も続いてきた人気番組だが、視聴者からは失望の声が寄せられているという。(这是一档已经延续了六十年的人气节目，但据说也收到了观众来信表示失望的意见。) / 現在の巨人の人気指数が 100 だとして、10 年後の人気指数はどれくらいになるだろう。(如果现在的巨人队人气指数是 100 的话，10 年后它的人气指数会是多少呢?) が例である。上記の例の「人気番組」、「人気者」、「人気指数」は、日本語では使用頻度の高い言葉である。その他の例として「人気歌手」、「人気選手」、「人気商品」、「人気番組」、「人気大学」、「人気会社」、「人気指数」などがある。

(B) 【人気+和語】

○彼はたちまちクラスの人気者になった。(他很快就成了班里受欢迎的人) / 政府は国民に対する人気取りのためにたえず減税をしてきた。(政府为了取悦于民不断減税)。上記の「人気者」「人気取り」がその例である。

(C) 【人気+外来語】

○女性でも年齢によって人気メーカーが変わってくるようだ。(即使在女性中，受欢迎的企业似乎也会因年龄的不同而发生变化。) / バスケットは何故、日本でサッカーほど人気スポーツではないのだろうか?(在日本，篮球为什么不如足球那样受到人们的喜爱呢?) 上記の「人気メーカー」、「人気スポーツ」が、日常的によく用いられる「人気+外来語」の例である。その他の例として、人気スター、人気アニメ、人気ドラマ、人気バンド、人気メンバー、人気コラ

ム、人気スポット、人気ランキング、人気コミック、人気タレント、人気サイト、人気アナ、人気パビリオン、人気グループ、人気エリア、人気ブログ、人気キャラ、人気アイドル、人気チーム、人気ブランド、人気モデル、人気グルメ、人気ゲーム、人気スイーツ、人気コンビ、人気ユニット、人気エントリー、人気キャラクター、人気デザインなどがある。

(D) 【人気+英数字】

○これは他店では食べられない人気 No1 商品である。(这是在其他店里品尝不到的最受欢迎的食物。) / 人気 best3 のレシピを紹介する。(我来介绍一下在人气排行榜在排名前三的烹饪法。) などがその例である。

日本語には、「人気」の前に他の語を前置する表現が数多く見られるが、それをさらに次のように分類することができる。

① 【固有名詞、名詞+人気】。このパターンには、舛添人気、岡本人気、嵐人気、Jリーグ人気、野球人気、サッカー人気、自転車人気などがある。上記の例の「～人気」は、「人気」の前に人の名前、バンドの名前、スポーツ競技項目の名前などを置き、「～ブーム」や「～の熱」の意味で用いられている。中国語の“人气”はこのパターンはない。同じ意味を表す場合、中国語では“童子怡热”、“足球热”のように、“～热”という表現を使う。

② 【接頭辞+人気】。このパターンには、超人気、大人気、不人気、低人気などがあり、使用頻度が高い。中国語にも、このパターンの表現がよく見られる。“超人气”、“高人气”、“低人气”などがその例である。

(7) 中国語では、“第三者”の語源は遅くとも東漢の時代に遡ることができる。《太平经》に“欲楽第一者，宜象天。欲楽第二者，宜象地。欲楽第三者，宜象人。欲楽第四者，宜象万物。”とある。また姚思廉が撰した《梁书》に、“贵人第一者为大对盧，第二者为小对盧，第三者为纳咄沙。”とある。当時の意味は「三番目」であり、現代中国語で用いられている“第三者”とは、意味が著し

く異なる。現代中国語における上述した意味（A）を示す“第三者”はいつ頃から使われたのか、《汉语大词典》を調べたところ、魯迅の《集外集・〈奔流〉编校后记（二）》の“因为图画是人类共通的语言，很难由第三者从中作梗的。”を早い例として取りあげている。これに対し、同じ意味を示す日本語の「第三者」はいつ頃から使い始められたのか、『日本国語大辞典』を調べたところ、明治二十九年に定められた『民法』一八四条には、「代理人に依りて占有を為す場合に於いて本人か其代理人に対し爾後第三者のために其物を占有すべき旨を命し」とある。また明治三十九年（1906年）に刊行された夏目漱石の作品『草枕』にも、「これがわかるためには、わかる丈の余裕のある第三者の地位に立たねばならぬ」とある。意味（A）に用いられるのは日本語の「第三者」の方が先であり、この意味に使われる中国語の“第三者”は日本語から伝えられた可能性が高い。

(8) 相原茂編集 『現代中国語新語辞典』 講談社 2007年5月

第3章 意味のずれのある漢字同形語パターン (第1パターン) の考察 (3)

本章では第1章、第2章に引き続き、序章に挙げた16の相違点をめぐって【第1パターン】の<第1類><第3類>に属する日本語と中国語における漢字同形語「問題」「条件」「要求」「状況」「情況」「参加」を中心にその意味的相違について考察することとする。

第1節 「問題」にみる中国語における慣習的な表現

本節では日本語と中国語における漢字同形語の「問題」について、とりわけ比喩的表現、派生的用法(意味拡張)の有無による両言語の用い方の相違を考える。

(1) 中国語の“问题”と日本語の「問題」の共通的用法

次に中国語の“问题”と日本語の「問題」の共通点について考察する。まず下記の中国語の“问题”の例を考える。

○什么叫问题? 问题就是事物的矛盾。(問題とは何か。問題とは物事の内部に含まれる矛盾のことを指す。)

○有了问题才会思考, 有了思考, 才有解决问题的方法。(人間は問題が生じてから考える。またいろいろと考えた末、問題を解決する方法を見出すことができる。)

上記の例における中国語の“问题”は研究や解決を必要とする事柄、取り上げるべき事柄、世間で注目を集めている事柄、面倒で厄介な事柄などを指し、日本語の「問題」も同様の意味をもつ。この場合、両者はほぼ漢字同形語で対

応することができる。下記の例もそれである。

「時間の問題」(時間的问题)、「死活問題」(生死存亡的问题)、「別問題」(另一个问题、不同的问题)、「問題が残る」(留下问题)、「問題となる」(成为问题)、「問題にぶつかる」(遇到问题)、「問題を抱える」(面临问题)、「大きな問題」(大问题)、「問題を解く」(解决问题)、「切実な問題」(迫切的问题)、「良心の問題」(良心问题)、「問題提起」(提出问题)、「外交問題」(外交问题)、「国際問題」(国际问题)、「住宅問題」(住宅问题)、「金銭問題」(金钱问题)、「恋愛問題」(恋爱问题)、「実際問題」(实际问题)、「領土問題」(领土问题)、「時事問題」(时事问题)、「問題解決」(解决问题)、「家庭問題」(家庭问题)、「心の問題」(心理上的问题)、「雇用問題」(雇佣问题)のように、中国語でも“問題”で対応でき、共通的用法と見られる。

下記の例はいずれも二つの“問題”を使っている。日本語の「問題」の使い方と共通するか否か、考えてみる。

○这次出事故死了 106 人, 本来是技术问题, 硬说成责任问题。(今回の事故で 106 人の死者が出た。本来、技術的な問題であったが、無理やり 責任問題とされた。)

○是他有问题还是我有问题? (彼に問題があったのか、それとも 私に問題があったのか。)

○孙爱武博士归国没工作只能摆地摊, 究竟是孙爱武出了“问题”, 还是我们的制度本身有“问题”? (孫愛武博士は帰国して仕事がなく露店を開いた。これは 孫愛武自身に問題があるのか、それとも今の 制度そのものに問題があるのか。)

上記の例の“問題”はいずれも問題となる原因、問題所在という意味を示し、日本語の「問題」で対応でき、共通的用法と見られる。下記の例もそれである。

「公害問題」(公害问题)、「社会問題」(社会问题)、「人権問題」(人权问题)、

「拉致問題」(綁架問題)、「環境問題」(環境問題)、「都市問題」(城市問題)、
のように、日本語の「問題」も問題となっている課題を指すことが多い。

日本語の「問題児」の「問題」は中国語と同じなのか。

○天才児は問題児である。確かにこれはまだ仮説なのだが、才能のあるところには問題があると言われる。(神童是問題兒童，确实这还是一种假说，但人们都说有才能的地方就有问题。)

“問題兒童”はここ数十年、中国語でもよく用いられるようになり、そのまま対応することができる。

下記の例を見てみよう。

○让受害儿童尽快获得康复，問題少年重新得到社会的认可。(被害を受けた子供が速く立ち直り、不良少年が改めて社会的に認められるようにする。)

○处于这种环境中成长的她，15岁的时候成为問題少女，后又染上了毒癮。(このような環境の中で成長した彼女は、15歳の時に不良少女になり、後にまた麻薬が病みつきになった。)

上記の例文の“問題少年”(不良少年)、“問題少女”(不良少女)のように、
【問題+人を示す名詞】という表現もここ数十年、中国語でもよく使われるようになる。ここの“問題”は“少年”“少女”など人を示す名詞を修飾する働きがあり、「よくトラブルを起こし、周りの人に面倒をかけ、場合によっては軽い犯罪を犯すというケースもあり、嫌がられる存在」というマイナス評価の意味を表す。

“問題学生”はどんな意味として使われるのか、下記の例を見てみよう。

○在教育教学实践中，我们经常遇到一些或表现不佳，或学习不好的学生，我们通常称之为“問題学生”。(学校現場で、態度や振る舞いに問題があり、勉強がついていけない生徒を、通常「問題生徒」と呼ぶ。)

○针对問題学生的思想上的误区，教师不仅要理解問題学生的这种心理，而且

还要精心教育和引导他们,使之顺利渡过这一关键时期。(問題児とされる生徒は誤った考えを持っている。教員はこのような生徒の心の葛藤をよく理解し、心をこめて指導することによって、この大切な時期を順調に過ごすように努める。)

上記の例から分かるように、“問題学生”は勉強面、道德面、行い面、心理面などにおいて、普通の生徒と相当異なり、問題視される生徒を指す。

しかし、“問題人物”も同じなのか、「回りの人に迷惑をかける人」「トラブルばかり起こしたりして問題視される」「嫌がられる人」だけの意味だろうか。下記の例を見てみよう。

○我觉得我们公司内部的协同性有些问题,能不能一起吃个午饭讨论下?寻求他人的帮助是一种好习惯,但有时四处求助反而会令你看起来像个“问题人物”。(私はわが社の部署と部署との協調性に問題があると思う。一緒に昼食を取りながら議論しようか。ほかの人に助けを求めるのは良い習慣だが、しかしあちこち助けを求めては、時には却って「周囲の人々に迷惑をかける人物」のように見られてしまう。)

○巩义市马民是个问题人物,曾因盗窃罪 1996 年入狱一年,出狱后不思悔改,1999 年犯抢劫罪被判处有期徒刑六年。(鞏義市の馬民は問題のある人物で、かつて窃盗罪で 1996 年に 1 年間入獄したが、出獄した後も悔い改めず、1999 年にまた略奪罪で 6 年の懲役の判決に処された。)

上記の例から分かるように、“問題人物”は次のようにさまざまな場合に用いられる。①協調性がなく、周囲の人々に迷惑をかけ、「異端児」と嫌われる場合、②グループの中でいつも反論を唱え、難癖をつけ、難題をふっかける場合、③わざと人を困らせることをして歓迎されない場合、さらに犯罪を犯す場合も考えられる。

日本語の「問題」は中国語の“问题”で対応できない場合も多く見られる。筆者は例文調査、分析を行い、中国語の“问题”で対応できないケースを次の通りにまとめた。

下記の日本語の「問題」は中国語には見られない。その中国語訳を考える。

(1) 問題発言、問題行動

○昭和二十五年十二月、当時の大蔵大臣が「所得の多い者は米、少ない者は麦を食べるように」という問題発言を行った。（“高收入者吃米饭，低收入者吃麦饭。”昭和25年12月，当时的大蔵大臣作了上述有争议的发言。）

○小・中学校で、子どもたちの問題行動に手を焼いている教師は少なくない。（在中小学，对孩子们的异常行为深感棘手的教师为数不少。）

上記の例のように、日本語の「問題発言」「問題行動」など「問題」を伴う表現は、中国語では必ずしも“问题”で対応するとは限らない。“问题发言”“问题行动”より“有争议的发言”“异常行为”を使う。

(2) 試験問題、試験の問題集

例①. 午後の試験問題で特別に難しい問題が少なかった。（在下午的考卷里，特别难的考题不多。）

例②. 午前の試験では、既出問題からの再出題が目立った。同じ問題だけで36問だ。これに類題を含めると、半分以上が再出題になる。（在上午的考试中，有不少题目是过去考过的试题。仅相同的考题就有36题，如果加上内容相似的考题，那半数以上是考过的题目。）

例③. 答えは、問題の一番下にある。（答案在考卷的最下方。）

例④. 今から算数の問題を出すのでこの場で解いて見て下さい。（现在我出一道数学题，请当场解答一下。）

例⑤. 公式サイトで入試過去問題に関する情報をご覧いただける。（在官方

网站上能够浏览有关历年入学试题的信息。)

例⑥. 1週間ほど前に、3級の試験問題集を買ってきて、勉強を始めた。(大概一周前，我买来3级试题集，开始准备迎考。)

上記の例①と例②の「問題」は答えや回答が求められる試験の問題という意味で、中国語では“考题”“试题”と言う。上記の「入試過去問題」「試験問題集」は中国語は“历年入学试题”“试题集”と訳されるように、“问题”では対応しない。

(3)問題作(取り上げるべき問題を含んだもの、また注目や話題を集めた本、文学作品、記事など)

○監督、制作、音楽を担当した彼が、また問題作を作った。(他集导演、制作、音乐于一身，再次创作了一部引发热议的作品。)

○この映画はアメリカのディズニーランド内で無許可撮影を敢行したことで話題になっている問題作である。(这是一部有争议的电影，它是在没有取得拍摄许可的情况下在美国迪斯尼乐园内摄制的，因而受到注目。)

○非道のロクデナシが、謎の失踪をとげた娘の行方を追う——容赦のない暴力描写と入り組んだ構成のため、映像化不可能と言われた問題作が映画化された。(残暴的二流子寻找神秘失踪的女儿——无情的暴力描写和错综复杂的情节，使原来被认为不可能实现影像化的有争议的作品被拍摄成了电影。)

○これが問題の本だ。(这就是那本有争议的／引起轰动的／有问题的书。)

○これが問題の記事だ。(这就是那篇有争议的／引发热议的／有问题的报道。)

日本語の「問題作」「問題の本」は取り上げるべき問題を含んだ作品・本、また人々の注目を集める作品・本、この作品・本自身に問題があることを指し、中国語には見られない表現であり、通常“引发热议的作品・书”“引起轰动的

作品・書” “有问题的作品・書” と訳す。

下記の例の中国語訳を考えてみよう。

○この問題に関する研究書は山のようにある。(研究这个问题<课题>的书多如牛毛。)

扱う研究テーマのことを示す場合、日本語の「問題」は中国語の“问题”、もしくは“专题”、“课题”、“题目”で対応することがある。

(4) 問題点

次に日本語の「問題点」の中国語の対応語を考える。

○日本語教育上の問題点は、2006年調査に比べてすべての項目が増加。最も割合の高い項目は「教材不足」で34.6%もある。(在日语教学方面存在的问题是与2006年的调查相比所有的项目都增加了,其中比例最高的项目是教材不足,高达34.6%。)

○彼の主張には以下のように多くの問題点がある。(他的观点有下列诸多值得注意的地方。)

日本語の「問題点」は焦点をあてるべき、または解決すべき点を意味し、中国語では“存在的问题”“必须解决的问题”“问题的焦点”で対応するほか、“值得注意的地方”“应该予以关注的焦点”のように“问题”を伴わない表現で対応する場合が多い。

(5) 問題意識

次に日本語の「問題意識」の中国語の対応語を考える。

○彼は問題意識が弱い。(他发现问题的能力很弱。)

○「何か質問がある人はいますか？」という投げ掛けに対して、挙手をして的確な質問をする人は、問題意識の高い人と言える。(“有提问的人吗？”对

于这样的提问，能够举手并恰当提问的人称得上是一个问题意识很强的人。)

日本語の「問題意識」は本来、社会学用語の一つであり、社会に存在している問題の性質を見抜くといった形で、その問題に対して主体的に関わり合おうとする意識の持ちようのことを言う。現在、中国語でも“问题意识”という表現がよく用いられており、日本語の「問題意識」と似た意味を示すため、日本語の「問題意識」に対応することができる。また上記の例のように“发现问题的能力”と解釈的に訳す場合も多い。

(6) 問題を起こす

次に日本語の「問題を起こす」の中国語の対応語を考える。

○次の添付ファイルは問題を起こす可能性があるため、利用できなくなった。
(下列附件可能有问题，不能使用了。)

○人間関係で問題を起こす人の特徴は怒りっぽいことだ。(在人际关系方面引发矛盾的人，其特点是易怒。)

○うちの子も父親のパソコンを使って友達とメールをしているが、それをのぞいてみると、「うるせえよ」「ざけんな」と、汚い言葉がたくさん出てくる。注意をするとかえって反抗し、この先、問題を起こさず育てられるか心配だ。(我家的孩子也使用父亲的电脑跟朋友 e-mail 联系，我看了一下邮件的内容，里面有很多脏话，如“啰嗦!”“敢耍我!”。我一提醒他就顶撞，我很担心孩子将来是否能顺利成长。)

上記の「問題を起こす」は中国語の“有问题”“出现问题”“制造问题”“发生问题”のほか、“引发矛盾”“出事”“惹出麻烦”“闹纠纷”“出乱子”など“问题”を使用しない対応語も見られる。また否定形の「問題を起こさず」は中国語の“顺利”で対応する場合もある。

(2) 中国語の“問題”と日本語の「問題」の微妙な相違

日本語の「問題」は一部の例を除き、ほぼ中国語の“問題”で対応できる。これに対して中国語の“問題”は幅広く用いられるため、日本語の「問題」では対応できない場合が多い。下記の例を考える。

○关于这个问题，你感觉如何？（これについて、あなたはどうか考えたの？）

○关于这个问题，有必要再在这里谈一下。（この件について、ここで改めて語る必要がある。）

○对于干部问题作了一些安排。（幹部の配置について話し合った。）

○会上讨论了都市男女的婚恋问题。（この会議で都市部の男女の結婚・恋愛について議論した。）

以上の中国語の“关于……问题”は日本語の「これについて」「この件について」で対応し、日本語に訳すと、「問題」がカットされていることから、中国語の“問題”と日本語の「問題」の相違点が窺える。

下記の例を見てみよう。

○一提借钱的问题，马上摇头。（借金話を聞くと、すぐ首を振った。）

○我提议还是来讨论一下纪念“五四运动”的问题。（「五四運動」をどう記念するかという議題について話し合おう。）

上記の例文の“问题”も日本語の「問題」ではなく、「～の話」「～の議題」で対応する。

○我刚回来，许多问题还不清楚。（帰ってきたばかりだから、よく分からないことばかりだ。）

上記の例文の“问题”も日本語の「問題」ではなく、「～のこと」で対応する。中国語の“不是问题的问题”は「問題にならないことだ」と訳す。“不是问题”は「取りあげる価値がない」という意味を示し、文末の“问题”は解決

や処理を必要とする事柄を指す。

以上のように中国語の“問題”は幅広く使われ、①“这问题”を「これについて」「この件について」で対応する場合、②日本語の「～の話」「～の議題」で対応する場合、③日本語の「～のこと」で対応する場合が見られる。

(3) 中国語独特の“問題”の用法

中国語では“出问题”という表現がよく用いられるが、下記の例を考えてみよう。

① 故障を示す場合

○电路好像出问题了，我也不确定。(まだ確認できていないが、電気回路が故障しているらしい。)

“车子出问题了”(車が故障した)の“出问题”は日本語の「故障する」で対応する。“丰田召回问题车”(トヨタは欠陥車をリコールする)のように、欠陥のある車を“问题车”と言い、欠陥のある家電製品を“问题家电”と言う。

② 頭がおかしくなることを示す場合

○你是不是脑子出问题了？你怎么爱上她了。(おまえ、頭がおかしくなってるのかい。あの女が好きになるなんて。)

○他心理上出了问题。(彼は頭がおかしくなっている。)

中国語では、“脑子出问题了”は「頭がおかしくなる」「思慮に欠ける」「考え方や振舞が尋常でない」という意味を表す。また中国語の“心理上出问题”は「頭がおかしくなる」という意味である。

③ 病気にかかることを示す場合

中国語の“出问题”は病気にかかることをも示す。下記の例がそれである。

○董良的肠胃出了问题，他需要回家休息。(董良は胃腸の病気にかかり、家へ帰って休まなければならない。)

○身体出了问题能怪他吗？（病気にかかった彼をとがめていいのか。）

○最近发现他有点偏胖了,再不控制我怕会出问题。（彼が最近ちょっと太ってきたのに気づいたが、体重を抑えないと病気にかかってしまうと心配する。）

以上の例のように、中国語では病気にかかるという意味を表す場合も、“出问题”を使う。上の3つ目の例には“肠胃”（胃腸）、“身体”（体）などの言葉が現れなかったが、前後の文脈により病気にかかるという意味であることが分かる。

④ 仲が悪くなる、浮気などを表す場合

○我和他感情上出了问题,怎么办？（私と彼氏の仲が悪くなっているが、どうすればいいですか。）

○发现老公他出问题了,我该怎么办？（主人に女ができたみたいで、どうしたらいいの？）

上記の“发现老公他出问题”“感情上出问题”は夫婦関係や恋人関係が悪化したり、浮気相手ができたりすることを指し、日本語では「仲が悪くなる」「女ができる」で対応する。

⑤ 悪事がばれる、逮捕されることを表す場合

○他去年出问题了。（彼は去年その事件に巻き込まれた／逮捕された。）

○领导干部出了问题,对单位的形象是有一定影响的。（指導幹部がかかわった悪事がばれたら、勤務先のイメージは傷つけられてしまう。）

中国語の“出问题”は、上記のように場合によっては「事件に巻き込まれる」、「逮捕される」、「悪事がばれる」などの意味を表す。

次に中国語の“问题”のその他の例を見てみよう。

中国語の“个人问题解决了吗？”（結婚していますか），“还没有考虑个人问题”（結婚することはまだ考えていない）の“个人问题”は日本語に訳すと、「個人の問題」でなく「結婚のこと」になる。

中国語の“这件事没问题”（この件は大丈夫だ）、“这件事问题不大”（この件は大丈夫だ）の“没问题”“问题不大”はいずれも「大丈夫」という意味である。“吃饭不成问题”（食いっぱぐれる心配はない）のように、“不成问题”は“没问题”と似た意味を表し、「～心配はない」で対応する。場合によって、日本語の「問題にならない」で対応することもある。

下記の例を考えてみよう。

○一会儿找你提意见，一会儿找你摆问题，闹得你心头烦。（意見を出したり、文句を言ったりして、彼には全くうんざりだ。）

○这份报告摆问题多，讲成绩少。（この報告書は仕事上のミスや失敗／問題点を多く挙げ、業績はあまり述べていない。）

中国語では“摆问题”という表現がよく使われるが、「文句を言う」「苦情を言う」「仕事上のミスや失敗／問題点を挙げる」という意味で、日本語の「問題」はこのようには使われない。

○接下来，我们就来谈谈具体问题。（それでは、次にその具体策を話し合しましょう。）

中国語の“具体问题”は日本語の「具体策」「具体的なこと」にあたる。

○他们之间有什么问题发生了吗？（彼らの間で、何か起こったとでもいうのかね。）

上記の“問題”は「揉め事」や「不愉快なこと」の意味を表す。

例①. 他过去有过危害国家的严重问题。（彼はこれまで国に危害を加える重大な罪を犯したことがある。）

例②. 公安局很快便查明其有严重的经济问题，已触犯刑律。（彼が重大な経済犯罪を犯し、刑法に触れている事実は、警察庁の取り調べで早くも明らかになった。）

上記の“問題”は「犯した罪」という意味であり、例①の“严重问题”は「重

大な罪」、例②の“严重的经济问题”は「重大な経済犯罪」で対応する。また中国語では“交代问题”という表現もよく使われるが、日本語に訳すと「罪を白状する」となる。

○同学们，大家有问题吗？（みなさん、質問はありませんか。）

授業中、先生は生徒や学生に以上のように“有问题吗”と聞く。日本語では「質問はないか」になる。分からないことがあって、相手に質問する場合は、“提问题”と言う。

○最重要的问题在于不断地总结经验。（最も肝心な点はたえず経験を総括することだ。）

○最重要的问题在于尽快改变目前的这种状况。（最も肝心な点は速やかに今の状況を変えることだ。）

○对于中国来说，最重要的问题在于控制通货膨胀、加速国有企业的改革。（中国にとって、最も肝心な点はインフレを抑え、国有企業の改革を早めることである。）

○重要的问题在于善于学习。（大事なポイントは見習うのがうまいということである。）

上記の“问题”は「重要な点、肝心な点、キーポイント、かぎ」という意味を示し、日本語の「問題」には見られない使い方である。

結語

本節では、【第1パターン】の<第1類>に属する中国語の“问题”と日本語の「問題」の意味的相違について考察し、下記のことを判明した。

(1) 比喩的表現、派生的用法(意味拡張)の有無による両言語の用い方の相違について、“摆问题”(苦情を言う、文句を言う、仕事上のミスや失敗/問題点を挙げる)、“交代问题”(犯行を白状する)のように、中国語の“问题”には

派生的用法が多く、いずれも日本語の「問題」には見られない用法で、日本語に訳す際は「問題」以外の表現で対応することが多い。機械などの場合“车子出问题”の“问题”は「故障する」、「问题家电」は日本語では「欠陥のある家電製品」となることが多い。人間の場合、“脑袋出问题”は「頭がおかしくなる」、「肠胃／身体出问题」は「病気になる。健康状態が悪化する」、「他／领导干部出问题」は「ある事件に巻き込まれる」「逮捕される」「悪事がばれる」ことを意味する。それらを日本語に訳す際は、前後の文脈からその意味を把握して適切な表現を選んで訳さねばならない。また中国語の“个人问题解决了吗？”の“个人问题”は「結婚する」を意味し、“他们之间有什么问题发生了吗？”の“问题”は「揉め事」「不愉快なこと」を意味する。いずれも日本語の「問題」は使われない。

重要な箇所ということを表す場合、中国語では“最重要的问题在于改变现状”のように、“问题”を使うが、日本語では「問題」ではなく、「ポイント」「肝心な点」「重要な点」「かぎ」などで対応する。

疑問などを尋ねるという意味を表す場合、中国語では“大家有问题吗？”のように“问题”を使うが、日本語では「質問」と言う。

中国語の“问题”は日本語の「問題」よりも幅広く使われており、日本語に訳す場合、「問題」をカットするか、または他の言葉で対応することが多い。取りあげられる事柄<重大な問題でない場合、問題となっているというわけではない場合>を示す場合、中国語では“关于……问题”のように、“问题”をよく使うが、日本語では「～について」「～の件について」「～のことについて」のように、「問題」をカットして表現する。また「～の話」「～の議題」で対応する場合も見られる。

“这件事没有问题”“吃饭不成问题”のように、中国語の“没有／不成问题”は「大丈夫」「～心配はない」で対応することが多い。場合によって、「問題に

ならない」と訳す。

(2) 日本語では「問題発言」「問題行動」など「問題」を伴う表現が多く、この場合は中国語の“问题”で対応することができない。“问题发言”“问题行动”よりも“有争议的发言”“异常行为”を使う方が多い。日本語の「問題作」「問題の本」は取り上げるべき問題を含んだ作品・本、また人々の注目を集める作品・本、この作品・本自身に問題があることを指し、通常“引发热议的作品<书>”“引起轰动性的作品<书>”“有问题的作品<书>”と訳す。

答えや回答が求められる試験問題は、中国語では“考题”“试题”と言う。「入試過去問題」「試験問題集」は中国語では“历年入学试题”“试题集”と訳され、“问题”では対応しない。

(3) 日本語の「問題児」に対応する“问题儿童”はここ数十年、中国語でもよく用いられるようになり、そのまま対応することができる。

(4) 中国語の“问题”と日本語の「問題」に関する辞書的解釈の問題点について、『中日辞典 講談社』では、“问题”に関しては①問題、質問、②解決すべき問題、③肝要な点、キーポイント、④故障、出来事、トラブル、と解釈されている。しかし、中国語の“问题”は「苦情」「文句」「罪」など派生義をもち、また“这件事没有问题”（この件は大丈夫だ）、“脑子有问题”（こいつは頭がおかしい）のような場合にも使われる。これは日本語の「問題」には見られない意味や用法であり、補足追加すべきである。

中国語の“问题”は日本語の「問題」よりも幅広い意味で使われ、“关于…问题”のように、日本語訳では「～について」「～の件について」「～のことについて」と、「問題」をカットして表現する。また「～の話」「～の議題」で対応する場合も見られる。中国語の“具体问题”は日本語の「具体策」「具体的なこと」にあたる。『中日辞典 小学館』では、この重要な点については説明されていない。ここで指摘しておく。

第2節 「要求」「条件」からみる中国語における慣習的な表現

本節では前節に続き、中国語の“要求”“条件”の例を通して中国語における慣習的な表現を中心に考察することとする。

(1) 中国語の“要求”と日本語の「要求」の共通の用法

○首相は、賃上げは困難として要求を拒否していた。(首相以提高工资非常困难为由，始终拒绝这项要求。)

○这项工作要求注意力高度集中。(この仕事は注意力の高度な集中が要求される。)

上記の例文のように、中国語の“要求”と日本語の「要求」は「必要なこととして、また当然の権利としてそれを求めること、またその内容。」(『明鏡 国語辞典』)を表し、中国語の“要求”で対応できることが多い。

「工事の即時中止を要求する」(要求立即停止施工)、「賃上げを要求する」(要求提高工资)、「被害者は損害賠償を要求した」(受害者要求赔偿损失)、「労働者は賃上げを要求してストに入った」(工人要求提高工资并举行了罢工)、「犯人は身代金を要求してきた」(犯人要求支付赎金)、「地主から立ち退きを要求された」(地主要求对方搬出去)、「専門的な知識が要求される仕事」(这项工作要求具备专业的知识)のように日本語で動詞として用いられる場合、中国語でも動詞として対応できる。

また「無理な要求を押し付ける」(提出过分的要求)、「この出版は時代の要求に応えるものだ」(这部作品的出版呼应了时代的要求)、「要求をける」(拒绝要求)、「要求を満たす」(满足要求)、「要求に応じる」(答应要求)、「要求を受

け入れる」(接受要求)のように日本語で名詞として用いられる場合、中国語でも名詞として対応できる。

しかし、両者は意味や用法が完全に一致するのか否か、次に中国語の“要求”と日本語の「要求」の微妙な相違を考察することとする。

(2) 中国語独特の“要求”の用法

中国語の“要求”と日本語の「要求」は意味や用法が同じである場合があるが、次のような相違も見られる。

① 「学習指導要領」などを示す場合

○按教学要求規定，大学英语课程要融入学校的学分制体系，尽量保证在本科总学分中占 10%。(教育要領では大学の英語課程を大学単位制に組み入れ、できる限り大学履修科目の 10%を保証すると定めている。)

「学習指導要領」「教育要領」などを表す場合、中国語では“教学要求”のように“要求”を用いるが、日本語では「要求」ではなく、「要領」で対応する。

○認真贯彻执行中央的工作要求。(中央政府の方針を的確に実行する。)

○政府对全面建成小康社会提出了新的要求。(政府は全面的に「ゆとりのある社会」を築き上げるよう、新しい指示を出した。)

○按照体育总局下达的要求，参加东亚运动会的各运动队要提前上交一份名单。(体育総局の通達の通りに、東アスポーツ大会に参加する各チームは代表選手の名簿を前もって出す。)

また上記の例のように、中国語では「方針」「指示」「通達」という意味を表す場合、“要求”を使うが、日本語の「要求」にはこの使い方はない。

② 「ご希望／ご要望」などを示す場合

○有什么要求，请提出来，不要客气。（何かご希望/ご要望がありましたら、ご遠慮なく出してください。）

○在拍摄身份证照片时，如果觉得相片不够满意，可以向工作人员提出要求，重新拍照。（身分証明書用の写真を撮ったあと、もしその写真が気に入らない場合、それを取り直す要望を出してもよい。）

相手に「希望」、「要望」などを表す場合、中国語では“要求”がよく使われる。日本語の「要求」には「強く相手に求める」というニュアンスが含まれるため、「希望」「要望」などで対応する。

日本語の「お申し出」は中国語で“要求”と訳されることもある。下記の例がそれである。

○お客さまのお申し出（ご意見・ご要望・ご相談・苦情等）に迅速・公平かつ適切に対応する。（对顾客的要求<意见・期望・咨询・抱怨等>迅速、公平并且恰当地采取应对措施。）

③「求める」ことを示す場合

○粉丝们要求签名和合影。（ファン達はサインと記念写真の撮影を求めた。）

○他要求我们帮助他。（彼は我々に援助を求めている。）

中国語の“要求”は「～をしてほしいと求める」という意味を表す場合に使われる。日本語の「要求」にはこの使い方はない。

④「申し出る」「願いを出す」などを示す場合

例①. 提出入党要求。（共産党への入党を申し出る。）

例②. 提出去外地工作的要求。（地方への配属を申し出た。）

中国語では、例①のようにある組織に参加するために申し出ることを“提出入……要求”と言う。中国共産党に参加するために申し出ることを“提出入党

要求”と言う。ほかに“提出入团要求”（中国共産主義青年団への入団を申し出る）、“提出入会要求”（入会を申し出る）がある。また例②のように「～を申し出る」は“提出……要求”と言う。日本語の「要求」にはこの使い方はない。

⑤「規格」「基準」「条件」などを示す場合

○符合质量要求。（品質の条件を満たす。）

○产品质量特性应达到的技术要求, 称为产品质量标准。（製品の品質が達すべき技術上の規格は、品質評価基準と称される。）

中国語では、「～の条件を満たす」という意味を表す場合に、“符合要求”という表現がよく使われる。上記のように、“符合质量要求”を「品質の条件を満たす」と言う。日本語の「要求」にはこの用法が見られない。中国語では製品の品質などを評価する「基準」「規格」という意味を表す場合、“要求”がよく使われるが、日本語では「規格」「基準」で対応する。

⑥「～を問わない」「～の制限がない」を示す場合

○对年龄、性别不作要求。（年齢、性別を問わない。／年齢や性別の制限はなし。）

○我打算参加从业会计资格考试, 请问有没有学历上的要求啊?（会計士の資格試験を受けることを考えているが、学歴上の制限や条件などはないのか。）

上記のように、「～を問わない」という意味を表す場合は、中国語では“对……不作要求”、「～の制限や条件がある」を示す場合は、“有……要求”と言う。日本語の「要求」にはこの使い方はない。

⑦「理想(が高い)」ことを示す場合

○她要求很高。(彼女は理想が高い。)

上記の例のように結婚相手を選ぶ場合、理想が高いことを、中国語では“要求很高”と言う。現在の若い女性の理想の結婚相手は“三高”(学歴が高い、収入が高い、身長が高い)ではなく、“高富帅”(身長が高い、お金持ち、イケメン)である。日本語の「要求」にはこの使い方はない。

中国語の“要求很高”は結婚相手を選ぶ場合以外にもよく用いられる。その日本語の対応語を考える。

○这位教授对论文写作的要求很高。(この教授は論文の作成に対する要求が高い。)

○对产品质量要求很高。(製品の品質に対する要求が高い。)

上記の例のように改まった場合に使われる“要求很高”は、日本語でも「～に対する要求が高い」のように「要求が高い」で対応する。しかし、下記の例の“要求很高”に対応する日本語は異なる。

○他对食品的要求很高，超过一定时间的、不新鲜的不吃。(彼は食べ物にこだわり、ある程度時間が過ぎて新鮮でないものは食べない。)

○这种动物对生存环境要求很高。(この動物は生息する環境に敏感だ。)

上記の例のように、中国語の“要求很高”は「～にこだわる」「～に敏感だ」という意味を表す場合にも使われるが、日本語の「要求」にはその使い方はない。

⑧「～に厳しい」ことを示す場合

○他对手下员工要求很严格。(彼は部下に厳しい。)

○严格要求自己。(自分に厳しい。)

中国語では、「～に厳しい」という意味を表す場合、“对……要求很严格”“严格要求……”と言うが、その対象となるのは人である。日本語の「要求」はこ

の使い方がない。

考察の結果、中国語の“要求”の以上の八つの用法は日本語の「要求」にはないことが分かった。

(3) 中国語の“条件”と日本語の「条件」

次に中国語の“条件”と日本語の「条件」の共通点と相違点を考える。下記の日本語の例を見てみよう。

○<面接官が出した条件> 勤務時間は 24 時間、呼出にはすぐ対応、勤務日は月火水木金土日（休日なし）、給与は 0 円 などなど……。ヒドイ条件に「なんだそれは！」と怒り出す人も。（<面试官提出的条件> 工作时间全天候，有联系马上回复，工作日周一至周日<休息日无>，工资 0 日元等等……。 “这算什么！” 也有人对这种苛刻的条件非常愤怒。）

下記の中国語の例を見てみよう。

○工会为争取更好的工作条件而罢工。（労働組合はより良い勤務条件を求めするためにストライキを行った。）

○他们在恶劣的天气条件下登上了山的顶峰。（彼らは悪天候の条件下で山頂に登った。）

上記の例から中国語の“条件”と日本語の「条件」の共通点が見られる。中国語の“工作条件”は“劳动条件”とも言い、職場環境、設備、勤務の内容、勤務時間などが含まれる。日本語の「勤務条件」、「労働条件」にあたる。採用の条件とする場合、「採用条件」とも言う。

日本語の「条件反射」「前提条件」と中国語の“条件反射”“前提条件”のように、中国語と日本語の「条件」が同じ意味であるため、訳す場合は漢字同形語で対応することができる。

次に日本語の「条件」では対応できない中国語の“条件”を伴う表現がどれ

ぐらいあるのか考察することとする。

① “生活条件” の場合

下記の中国語の“生活条件”は日本語に訳される際には「条件」がカットされることが多い。

○生活条件不错。(いい生活をしている。／経済的に恵まれている。)

○仍有许多人的生活条件是很艰苦的。(生活が苦しい人はまだ多い。)

中国語では、“生活条件不错”“生活条件很差”のように“生活条件”という表現がよく使われるが、日本語に訳すと、「条件」はカットされ「生活」だけで対応することが多く見られる。

② “家庭条件” の場合

○贫困山区的孩子与城里的孩子，他们从出生就注定在家庭条件上存在巨大的差异。(貧しい山岳地帯の子供と都市部の子供、彼らは生まれた時から家庭の経済状況に大きな開きがある。)

○一直不敢追家庭条件比我好的女生，感觉没自信，压力也大，而且有种自卑感。(私より家庭の経済状況が良い女の子を追っかける勇気はなかった。そのような子を前にすると、自信がなくなり、プレッシャーも大きく、劣等感を覚えてしまう。)

中国語では“家庭条件”という表現がよく使われ、親の職業、住む家の広さ、家庭の経済状況などを意味する。が、場合によって専ら家庭の経済状況を指すこともある。中国語の“家庭条件”は日本語では「家庭の経済状況」で対応する。

③ “学习条件” の場合

○虽然山区的孩子学习条件并不如城里的孩子，但这同样不能阻碍他们求学的

步伐，山沟沟里照样飞出里金凤凰。(山岳地帯の子供達の学習環境・設備は都市部の子供には及ばない。が、そのことが彼らの勉強する意欲を弱めるものではない。遠隔の山間部からもすばらしい人材が育つ。)

○营造学习氛围,改善学习条件,让更多的学生感受学习的魅力和动力。(教室に明るい雰囲気を作り、学習環境・設備を改善し、より多くの学生に勉強の楽しさを味わってもらい、勉強する意欲を引き出す。)

中国語の“学习条件”は日本語では「学習環境・設備」と訳される。

④ “卫生条件” の場合

○随着卫生条件的改善，人民的健康水平明显提高。(衛生状態が改善されるに伴って、国民の健康水準も著しく向上した。)

○卫生条件有所改善，食品的质量也不断得到提高。(衛生面の状況がある程度改善され、食品の品質もたえず向上している。)

中国語の“卫生条件”は日本語の「衛生条件」ではなく、「衛生状態」「衛生面の状況」で対応する。“卫生条件很好”は「衛生状態／衛生面の状況がとてもいい」、「卫生条件非常差」は「衛生状態／衛生面の状況が非常に悪い」となる。中国語では“卫生条件”は「衛生状態」「衛生面の状況」のほかに、衛生状態を保つための施設や設備をも指す。

⑤ “身体条件” の場合

例①. 我也认为在中国只有少数人的身体条件适合打篮球。(中国ではごく一部の人がバスケットボールに向く体格を持つ。)

例②. 我现在感觉好多了，我的身体条件正在一天天变好。(気分がだいぶよくなり、体の健康状態が回復しつつある。)

例①の“身体条件”は、何かをするのに適する体格や体質、例②は体の健康

状態を指す。日本語の「身体条件」や「体の条件」では対応できず、「体格」「体質」「体の健康状態」と訳される。

⑥ “经济条件” の場合

○由于当时家里经济条件差，没有得到及时有效的治疗。（当時、うちの経済状況が悪かったため、すぐに効果的治療を受けられなかった。）

○相对于在国内上学的孩子，留学生家庭的经济条件大都不错，家长对身处异国的孩子往往怀有更多担忧。（国内で勉強している子供と比べ、留学生の家庭はほとんど経済的に恵まれ、親が海外にいる子供のことを大変心配している。）

上記の中国語の“经济条件”は、日本語の「経済条件」「経済の条件」では対応できず「経済状況」となる。“经济条件好”は「経済状況がいい／経済的に恵まれている」、“经济条件差”は「経済状況が悪い／経済的に恵まれていない」と言う。また“没有经济条件在日本继续留学了”（日本留学を続ける経済的余裕がない）のように、【有（没有）+经济条件】という表現もよく見られるが、経済的なゆとりがある（ない）という意味で、この“经济条件”は「経済的余裕」と訳される。

⑦ “个人条件” “本人条件” の場合

○追求她的男生在个人条件上都极为优秀。（彼女を追っかける男の子は皆経済的に恵まれ、優れた能力を持ち、かっこいい人ばかりである。）

○以为凭自己的专业优势以及优越的个人条件，总会找到一份合适的工作。（専門の知識と優れた能力、きれいな容貌などを持っているから、いい仕事が見つかると思込んでいた。）

○本人条件一般，长相，家庭，学历都一般。个人没什么特长，也没太大的缺点，人缘不错。（その人の収入や能力はごく普通。容貌、家柄、学歴も人並み。）

特に優れたところがないし、たいした欠点もなく、人受けも悪くない。)

○他本人条件很好，拥有丰富的外交经验，办事果断。(彼は優れた能力、学歴などを持ち、外交経験が豊かで、決断力がある。)

上記の例文の“個人条件”はその人の能力、収入、容貌、家柄などを含めた表現であり、日本語にはそれに相当する表現がないため、例文の日本語訳のように説明的に訳すしかない。上記の“本人条件”は“個人条件”と同じ意味である。

日本語に「生活条件」「家庭条件」「学習条件」「衛生条件」「身体条件」「経済条件」「個人条件」という表現があるのか、『朝日新聞オンライン記事データベース』で1985年から2014年現在の朝日新聞を調べたところ、「学習条件」は1例しか見つからず、使用頻度が非常に低くほとんど使われていないと言えよう。またその他の表現は1例も見つからなかった。

以上の考察の結果、中国語の“条件”の七つの用法は日本語の「条件」には見られないことが分かった。

結語

本節では、【第1パターン】の<第3類>に属する中国語の“要求”“条件”と日本語の「要求」「条件」の意味的相違を考察した。

(1)中国語の“要求”の慣習的用法は次のようにまとめることができる。“教学要求”(学習指導要領/教育要領)のように、中国語では“要求”を使うが、日本語では「要求」ではなく、「要領」で対応する。また“你有什么要求?”のように「希望」、「要望」などを表す場合、日本語の「要求」はこの場合には使われない。中国語の“要求”は“要求签名和合影”のように「～をしてほしいと求める」という意味を表す場合に使われるが、日本語の「要求」はこの使い方がない。また中国語では、ある組織や団体に参加するために申し出ること

を“提出入……要求”と言う。日本語の「要求」にはこの場合には使われない。

中国語では“质量要求”“技术要求”のように「製品の品質を評価する基準」を表す場合、“要求”を使うが、日本語では「条件」「規格」などで対応する。また“有……要求”のように「～の制限がある」意味を表す場合、日本語では「要求」は使わない。結婚相手を求める場合“要求很高”がよく使われるが、日本語では「理想が高い」で対応することが多い。さらに中国語では「～に厳しい」という意味を表す場合、“对……要求很严格”“严格要求……”と言うが、日本語の「要求」にはこの使い方はない。考察した結果、中国語の“要求”の八つの用法は日本語の「要求」には見られないことが分かった。

(2) 中国語の“条件”の慣習的用法は下記のようにまとめることができる。中国語の“生活条件很好”を日本語に訳す場合、「いい生活をしている」のように「条件」をカットして対応する。また中国語の“家庭条件”は親の職業、住む場所の広さ、家庭の経済状況などを意味する。場合によって専ら家庭の経済状況を指すこともあり、日本語では「家の経済状況」で対応し、「条件」を使わない。

中国語の“学习条件”は「学習環境・設備」、「卫生条件”は「衛生状態」、「身体条件”は「体格」「体質」「体の健康状態」で対応する。“经济条件”は「経済状況」で対応し、“没有经济条件在日本继续留学了”（日本留学を続ける経済的余裕がない）の“经济条件”は「経済的余裕」と訳される。“个人条件”はその人の能力、収入、容貌、家柄などを含めて指す表現であり、日本語ではそれに相当する表現がないため、説明的に訳すしかない。考察の結果、中国語の“条件”の七つの用法は日本語の「条件」には見られないことが分かった。

(3) 中国語の“要求”と日本語の「要求」に関する辞書的解釈の問題点について、『中日辞典 小学館』『中日辞典 講談社』では、“要求”に関して、「要求する。求める」「要求、希望、条件」と解釈している。結婚相手に対する「理想」、

何らかの組織や団体に加入するための「申し出」、「～の制限」など中国語独特の“要求”の用法に関する記述が見られない。

中国語の“条件”と日本語の「条件」に関する辞書的解釈の問題点について、中国語では“家庭条件”“学习条件”“卫生条件”“经济条件”“个人条件”など“条件”を伴う慣用表現が多いが、『中日辞典 講談社』では説明されていない。また『中日辞典 小学館』でも“家庭条件”“卫生条件”“个人条件”などに関する語釈が欠けている。

第3節 「状況」「情況」からみる中国語における慣習的表現

本節では、中国語の“情況”“状況”と日本語の「情況」「状況」の意味的相違、とりわけ中国語の“情況”“状況”の日本語訳の特徴を考える。

(1) 中国語の“情況”“状況”と日本語の「情況」「状況」の共通用法

○アジアの一部の国では、昨年後半以降厳しい経済状況に直面し、世界経済への影響も懸念されている。(在亚洲部分国家, 自去年下半年开始面临严峻的经济状况, 人们普遍担心会给世界经济造成影响。)

上記の日本語の「経済状況」は中国語の“经济状况”と同じ意味で用いられる。中国語の“经济状况”は“经济情况”とも言う。日本語では明治の終わりごろまで「情況」の方がよく用いられていた(注1)。が、現代日本語では「情況」よりも「状況」の方をよく用いる、という特徴が見られる。一部の辞書では、「状況=外から見たありさま」「情況=物事の動きゆく様子」とその違いを説明している。しかし「情況」の使用頻度が低いため、その違いははっきりしていない。

日本語の「～状況」を伴う四字表現は、中国語の“状况”で対応することが多い。下記の例がそれである。

○大変厳しい財政状況の中、科学技術関係予算の充実に努めてきた。(在非常严峻的财政状况下, 政府始终在努力充实科技方面的预算。)

○新しい技術的特性がこれまでになかった社会状況を作り出した。(新的技术特性形成了从未有过的社会状况。)

上記の例文のように、「物事のその時々の様子、ありさま」を示す場合、日本語では「状況」を使うが、中国語の“状況”も同様の意味や用法があり、対応することができる。下記の例もそれである。

○各大学では、学生の就職状況を把握するためのさまざまな手段を講じている。（各大学采取各种手段以把握学生的就职状况。）

○それだけでは現在の状況をはっきり説明することはできない。（仅此不足以清楚说明现在的状况。）

また日本語では「状況を把握する」「状況を説明する」などの表現もよく用いられるが、中国語でも“把握状況”“说明状况／说明情况”と言う。

中国語の“情况”と“状况”の違いについて、基本的には“情况”は話し言葉として、“状况”は書き言葉として用いられる。また“情况”に比べ、“状况”は持続的、安定した状態を表す。“经济状况”（経済状况）、“家庭状况”

（家庭状况）、“健康状况”（健康状况）などがそれである。“情况”はその時の様子、事情を指し、“有情况”（異状がある）、“情况不妙”（情勢はよくない）の“情况”は“状况”には置き換えられない。そのほか“情况”は「ある条件の下で」の意味を表す場合、“在……情况下”と言うが、“状况”は使わない。

日本語の「状況」は中国語の“情况”で対応する場合も多い。次の例がそれである。

例①. この地震による被害状況を調査するために担当官を現地に派遣した。（为了调查因地震而造成损失的情况，政府向当地派出了有关官员。）

例②. お金さえ出せば状況が好転するなどという考えは、現地の事情を何も知らないから出てくるのだ。（由于不了解当地的情况，才会产生只要交钱情况就会好转的想法。）

上記のように日本語の「状況」を中国語の“情况”で対応する場合が多く見

られる。例①の「被害状況」は地震が起きたときの現場の様子、例②の「状況」はお金を出した場合の様子を言っているため、持続的、安定した状態を表す“状況”ではなく、そのときの様子、事情を表す“情况”で対応するのが妥当である。

(2) 中国語独特の“情况” “状況” の用法

次に中国語の“情况” “状況” の、日本語の「情况」「状況」には見られない用法について考えることとする。

①中国語の“情况”を日本語の「こと」で対応する場合

○任何情况都是有可能发生的。(いかなることが発生してもおかしくないものだ。)

○不了解具体情况。(詳しいことは分からない。)

上記の例文のように中国語の“情况”は日本語の「こと」で対応する場合がある。

②中国語の“情况”を日本語の「異状」「意外な事態」で対応する場合

○发生情况，马上报告。(異状が起きたら、直ちに報告しろ。)

○有情况，马上出动。(異状があったら直ちに出動する。)

○没有发现什么情况。(別に異状はない。)

上記の例文の“发生情况”“有情况”“发现情况”という表現は中国語ではよく使われる。これらも日本語は「情况」「状況」ではなく、「異状」「意外な事態」と訳される。また「何かあったら」と訳す場合もある。

また中国語では、相手の行動に不満がある場合、“你这是什么情况啊?!”を使う。日本語では、「何をしているんだ!」になり、「状況」は使われない。中国語の“发生了什么情况?”(何か起こったのか)も同様で、「状況」は使われない。

③中国語の“一般情况”を日本語の「普通」「通常」で対応する場合
中国語の“情况”は“一般”と組み合わせて使われることが多い。次の例が
それである。

○一般情况奖金多少？（普通、ボーナスをどれくらいもらえますか。）

○在一般情况下，水火是不相容的。（通常、水と火は相容れないものである。）

上記の例文のように、中国語の“一般情况”は、日本語の「普通」「通常」
で対応する。

④中国語の“情况”を日本語の「場面」「雰囲気」で対応する場合

○当时他正在换服装，连裤链都未拉好，情况尴尬，工作人员见状即上前遮住
他。（その時、彼は着替えをしている最中で、ファスナーもあけたままで、相
当気まずい場面だった。それを見かけたスタッフは素早く前に来て彼を遮っ
た。）

○男方要求被拒，情况尴尬，如何面对？（男側の要望が拒まれて雰囲気が気
まずくなり、どう対処すればいいか困った。）

中国語では、ファスナーを閉めなかったり、要望が拒まれたりする場合に、
“情况尴尬”という表現がよく使われる。この“情况”は「場面」、または「雰
囲気」で対応する。“情况尴尬”は「その時の場面（雰囲気）が気まずい」と
言う。

⑤中国語の“情况”を日本語の「様子」で対応する場合

○发现情况不对，赶紧下车跑了。（様子がおかしいのに気づいて、すぐ車を
降りて逃げていった。）

○她一听电话里姐姐声音沙哑，没什么劲头，就觉得情况不对，赶紧打了车就
来到姐姐的家。（電話から聞こえた姉さんの声がかすれ、元気のない様子だっ
たので、おかしいと思って、急いでタクシーを拾って姉さんの家へ行った。）

中国語では「<様子が>おかしい」意味を表す場合、“情况不对”のように“情

況”を使うが、日本語では「様子」で対応するのが一般的である。

⑥中国語の“情况”を日本語の「進展」で対応する場合

○工地情况怎么样？（工事の進展はどう？）

○情况不太乐观。（思うように進展しない。）

上記の例の“情况”は物事が進行して新たな局面が現れることを表し、日本語では「進展」で対応する。

⑦中国語の“情况”を日本語の「情報」で対応する場合

中国語の“个人情况”、“个人信息”はよく使われるが、日本語では「個人情報」と言う。

⑧中国語の“天气情况”“天气状况”を日本語では「状況」をカットして「天気」と訳す場合

○“如果天气状况<天气情况>良好，可以看见流星雨。”（天気がよければ、流星雨が見られる）

上記の例のように、中国語の“天气情况”“天气状况”は日本語では「状況」をカットして「天気」と訳す。

以上考察した結果、中国語の“情况”“状况”の八つの用法は日本語の「情況」「状況」には見られないことが分かった。

結語

本節では、【第1パターン】の<第3類>に属する中国語の“情况”“状况”と日本語の「情況」「状況」について考察し、次の意味的相違が判明した。

(1) 考察の結果、中国語の“情况”“状况”の八つの用法は日本語の「情況」「状況」には見られないことが分かった。中国語の“有情况”“发生情况”の“情况”は異状や意外な動き、事態の意味を表し、日本語では「異状」という言葉で対応することが多い。中国語では“一般情况奖金多少”のように“一般

“情况”という表現がよく使われ、日本語では「普通」「通常」で対応する。中国語の“个人情况”の“情况”は日本語では「個人情報」のように「情報」で対応する場合がある。“天气情况”“天气状况”は日本語では「状況」をカットして「天気」と訳す。

中国語の“情况尴尬”の“情况”は日本語の「場面」「雰囲気」に、“情况不对”の“情况”は「様子」に、“工地情况怎么样？”の“情况”は「進展」に、“任何情况”“具体情况”の“情况”は「こと」に訳す。

日本語の「経済状況」「財政状況」「社会状況」は中国語の“状况”で対応できるが、中国語の“情况”“状况”は日本語の「状況」より幅広く使われ、日本語に訳す場合、「状況」をカットする場合と「異状」「普通」「通常」「場面、雰囲気」「情報」「様子」「進展」など他の表現で対応する場合がある。

(2) 中国語の“情况”“状况”と日本語の「情况」「状況」に関する辞書の解釈の問題点について、『中日辞典 小学館』『中日辞典 講談社』では、“情况”に関しては、「状況、様子」「＜軍事、保安上＞状況変化、異状」と解釈している。しかし、“有什么情况，马上告诉我”のように、「異状、意外な事態」という意味の“情况”は軍事、保安上だけでなく、広く一般に使われている表現である。また“情况”が持つ「場面、雰囲気」「情報」「進展」の意味に関する記述も抜けている。

第4節 中国語の“参加”と日本語の「参加」の意味的相違に関する再考

本節は、動詞の目的語が異なることによる相違という視点から、中国語の“参加”と日本語の「参加」の意味的相違について考察することとする。中国語の“参加”は各節で取り上げた“問題”“条件”“要求”“状況”と同様、使用頻度が高く、日本語学習者の間違いやすい語として挙げられる。

たとえば、保険の場合、中国語では“参加保険”のように“参加”が用いられるが、日本語では「保険に加入する」のように「加入する」が使用される。中国語の“参加点意見”は日本語では「参加する」ではなく、「意見を出す」と言う。中国語の“参加工作”は日本語の「就職する」「入社する」となる。

中国語の“参加选举”は日本語の「選挙に出る」「選挙に参加する」の両方の意味にあたる。「選挙に出る」は本人自ら立候補することを示し、「選挙に参加する」は選挙権を有する者が投票することを言う。

(1) 王氏の中国語独特の“参加”の用法(日本語の「参加」との相違点)の検証

王雪晨氏(注2)は『中国語と日本語における「参」を伴う漢語同形語の意味的相違に関する研究』で、中国語の“参加”と日本語の「参加」の共通点と相違点について考察し、その共通点を(A)類、(B)類、(C)類(注3)に分け、さらに(A)類を①名詞として用いられる場合、②訓練(トレーニング)の意味として用いられる場合、③政治運動の意味として用いられる場合、④集团的活動、旅行・ツアー、スポーツ・競技の意味として用いられる場合、の四つにまとめている。また氏は中国語独特の“参加”の意味を、相違点①は世界的なプ

プログラム、計画などに参画する場合、相違点②は保険に加入する場合、相違点③は意見を出す、発表する場合、相違点④は就職する、入社する場合、相違点⑤は受験する場合、相違点⑥は参戦する場合、相違点⑦は入隊する場合、相違点⑧は入札する場合、とまとめている。

上述した共通点は確かに氏の指摘通り、中国語の“参加”と日本語の「参加」に見られる。ただし、中国語独自の“参加”の用法(日本語の「参加」との相違点)についてはなお検討する余地があると考えられる。筆者は、例文を調査した結果、中国語独自の“参加”の①、⑥、⑦、⑧は日本語の「参加」にも見られるため、日中両言語の共通の意味に分類した方が妥当であると思う。

下記は氏の中国語独特の“参加”の用法(日本語の「参加」との相違点)①の主張である。

①「世界的なプログラム、計画などに参画する」という意味を表す場合

○目前，已有 114 个国家和地区参加了人与生物圈计划。(いま、144 か国および地域が **MAB** に加入した。)

世界的なプログラム、計画などに参画する場合、中国語では“参加”と言うが、日本語では通常「加入する」、「加盟する」、「参画する」が使われる。

以上の氏の主張に対して、筆者は世界的なプログラム、計画などに参画する場合、確かに「加入する」、「加盟する」、「参画する」が使われている。しかし「参加する」を全く使わないというわけでもない。下記の例を考えてみよう。

○生活が豊かになるに従い、人々の生活する地域環境への関心は高まってきており、従来、行政機関が担ってきた都市計画、まちづくり等における住民参加が進んでいる。(随着生活水平的提高，人们越来越关注自己生活的周边环境，居民们越来越多地参与到原本由行政机构主导的城市计划以及城市建设中来。)

上記は「計画に参加する」例である。国と国との関係ではなく、市役所と市民の関係や、組織の一員とする場合は「参加する」が使える。ただし、王氏は

世界的なプログラム、計画などに参画する場合に限定しているため、上記の例は対象とならない。下記の例を見てみよう。

○この問題を解明するために、米国の LOFT 計画(注 4)に参加して各種実験を行った。(为了弄清这个问题，参加了美国的 LOFT 计划并进行了各种实验。)

○国際宇宙ステーション計画に参加する各機関が提供する実験装置を相互に利用する国際公募に参加している。(为了能够互相利用由参加国际空间站计划的各机构提供的实验装置，我国也参与了此项国际公募。)

上記の二例は「LOFT 計画」、「国際宇宙ステーション計画」のように国際的な規模の計画、一種の世界的プログラムだが、日本語でも「参加する」を使う例である。世界的規模の世界的なプログラムの場合、「計画(事業などの立案)に加わる」、「加入する」、「加盟する」などが多く使われるが、「参加する」も使う、というのが筆者の主張である。

次に王氏の中国語独自の“参加”の用法(日本語の「参加」との相違点)⑥の主張を検証する。以下は氏の主張である。

⑥「参戦する」という意味を表す場合

例 1 中国为什么参加了朝鲜战争? (中国が朝鮮戦争に参戦した理由は何か?)

例 2 这个概要是在美国参加战争很久之前，根据罗斯福个人的意志拟定的。(この概要は、実は米国が参戦する遥か以前、ルーズベルト個人によって立案されていたものである。)

例 3 麦克阿瑟没有想到中国会参加战争。(マッカーサーは中国軍が参戦するとは思わなかった。)

例 4 澳大利亚作为英国的殖民地，为英国提供船只、士兵以及资金，也参加了第一次世界大战。(オーストラリアは、英国の植民地であるので、英国に船

船、兵員、資金を提供して、第一次世界大戦に参戦した。)

上記の例から分かるように、参戦を表す場合、中国語では“参加战争”が用いられる。日本語に「戦争に参加する」という表現があるか否かについて、日本人 20 人を対象としたアンケート調査を行った。その中、13 人が「戦争に参加する」は言わないと回答している。では、「戦争に参加する」という表現は本当はないのか、筆者はインターネットで例文調査を行った結果、下記の例文を見つけた。括弧中の数字は例文が書かれた年代を示すものである。

○戦争に参加することに反対する運動がまだ続いている。(30 年代の例)

○学生が兵として戦争に参加した。(1917 年ごろの例)

○彼女は前の君主の理想を実現するために戦争に参加した。(30 年代の例)

上記の例はいずれも古い例であり、現代日本語では通常「戦争に参加する」とは言わず、「参戦する」また「戦いに参加する」「戦闘（行為）に参加する」「攻撃に参加する」「作戦に参加する」という表現を使う。この類はD類に属する。

以上は王氏の主張である。筆者も例文調査を行った。下記の例がそれである。

○ベトナム独立戦争に参加した日本人兵士の墓を訪れる。(去探访参加了越南独立战争的日本士兵的墓地。)

○憲法学者や作家らが、解釈改憲によって日本を戦争に参加できる国にしようとする動きを止めよと呼びかけている。(宪法学者及作家们呼吁：终止通过修改宪法将日本改造成成为能够参加战争的国家的行动。)

○韓国軍に銃弾を提供するということは、日本が直接戦争に参加するに等しい。(向韩国军队提供弹药等同于日本直接参加战争。)

○人型ロボットを遠隔操作して戦争に参加する。(通过远距离操控人型机器人来参加战争。)

○政府は、集团的自衛権が行使されれば、我が国が全面的な戦争に参加する

ことになることをことさら無視している。(政府故意无视这样的事实，即如果行使集体自卫权，我国将参加全面的战争。)

王氏は1917年の例、30年代の例などいずれも古い例を挙げ、現代日本語では通常「戦争に参加する」とは言わず、「参戦する」また「戦いに参加する」「戦闘(行為)に参加する」「攻撃に参加する」「作戦に参加する」を用いる、という結論を下したが、上記の例文で分かるように、いずれも最近話題となっている事柄である。例文に使われた「戦争に参加する」という表現は中国語にしか見られない表現ではなく、使用頻度の差はあるものの、現代日本語にも用いられていることが分かる。

次に王氏の中国語独特の“参加”の用法(日本語の「参加」との相違点)⑦の主張を検証する。以下は氏の主張である。

⑦「入隊」という意味を表す場合

例1 几天之内，就有十万人参加红军，开赴前线。(数日のうちに十万もの人が中国共産軍に入隊し、前線に赴いた。)

例2 1990年4月，我国第一次派出四人参加联合国部队。(1990年4月、我が国は初めて四人を国際連合軍に派遣し、入隊させた。)

例3 公元1352年，朱元璋参加了濠州郭子兴领导的红巾军。(西暦1352年、朱元璋は濠州で郭子興をリーダーとした紅巾軍に加わった。)

上記の例から分かるように、軍隊に入る、つまり兵士になる場合、中国語では“参军”と言うが、日本語では「軍隊に参加する」は使わず、「入隊する」「軍隊に志願する」「軍に加わる」を用いる。例文を調査した結果、「久扶は再興軍に参加することなく、吉川元春に起請文を提出して異心無きことを示した」「彼はエルサレム王に忠誠を誓い、騎士としてエルサレムへの十字軍に参加する」

「北条泰時を大将とする東海道軍に参加し、乱後には摂津国の守護となる」の

ように古代の話に用いられることが多い。「自衛隊に参加する」と言えるのか、例文を調査した結果、「自衛隊に参加する」の例は見当たらないが、「日本の自衛隊も多国籍軍に参加する可能性がある」、「国連軍に自衛隊が参加することは日本国憲法第9条の“反戦平和”の理念を否定することになる」のように、「自衛隊が多国籍軍／国連軍に参加する」例はあった。

以上の王氏の主張に対して、筆者は「入隊する」「軍隊に志願する」「軍に加わる」をよく用い、「参加する」の使用頻度は低いが、全く使わない、使って違和感があるということではないと思う。少なくとも書き言葉として「参加する」は使える。筆者も例文調査を行った。下記の例がそれである。

○特殊部隊に参加されたい方は次の応募要項を確認の上応募して下さい。

(请打算参加特种部队的人员在确认下期应征要点后应征。)

○ユウナの姉のアシュリーも傭兵として部隊に参加していた。(尤娜的姐姐奥修丽也作为雇佣兵参加了部队。)

上記の例文における「部隊に参加する」は個人が入隊するという意味である。中国語では“参加部队”“加入部队”で対応する。次に連合部隊の「部隊に参加する」の例を見る。

○安倍内閣は、ソマリア沖・アデン湾で海賊対策にあたる海上自衛隊の護衛艦を他国との連合部隊に参加させる方針を固めた。(安倍内阁制定了让在索马里海・亚丁湾执行打击海盗任务的海上自卫队护卫舰参加与他国组成的联合部队的方针。)

○タイが国連平和維持部隊に参加する用意があることを高く評価した。(我们高度评价泰国参加联合国维和部队的计划。))

上記の例文の「他国との連合部隊に参加する」「国連平和維持部隊に参加する」は、「参加する」主体が個人ではなく、国あるいは一国の部隊で、「数国が軍事力を合わせて行う活動」である。「他国との連合部隊に参加する」「国連平

和維持部隊に参加する」はそれぞれ“参加（加入）同他国组成的联合部队”“参加（加入）联合国维和部队”と訳す。

次に王氏の中国語独自の“参加”の用法(日本語の「参加」との相違点)⑧の主張を検証する。以下は氏の主張である。

⑧「入札する」という意味を表す場合

例1 现在的价格已经被拍到 1000 日元，B 先生以 1190 日元参加竞标。(現在の価格が 1000 円と表示されている状態で、B さんは 1190 円で入札した。)

例2 很明显是为了转售自己的商品的人又参加竞拍，真是很困扰啊。(明らかに自分の出品物を転売する目的で入札に加わるのは、困る！)

上記の例から、中国語では“参加／参与竞标”、“参加／参与竞拍”という言い方があるが、日本語では「オークションに参加する」より、「入札する」の方が多く使われていることが分かる。

例3 入札エージェントプログラムは、入札参加者を代理し、入札するプログラムである。(竞拍代理程序，是一款代理竞拍参与者实施竞拍的程序。)

日本語では「入札参加者」のように名詞として使用する場合は「参加」を用いる。しかし「入札に参加する」のように動詞として用いることは極めて少ない。

以上の王氏の主張に対して、筆者も例文調査を行った。下記の例がそれである。

○終了 2 時間前から 2 人の方が入札に参加し、2.5 倍の値がついた。(在离结束还有 2 小时的时候，有 2 人参加了竞拍，并以 2.5 倍的价格成交。)

○日本円の現金を書留で送付していただけるなら、入札に参加しても構いません。(如果您能够通过挂号信的方式将日元现金汇出，就可以参加竞拍。)

○自社に情報の提示のあった物件のみ入札に参加し、自社に情報の提示のな

かった物件については入札に参加しなかった。(仅仅参加了向本公司披露信息的不动产的竞拍，而没有参加未向本公司披露信息的不动产的竞拍。)

○不動産業者はほとんど入札に参加しなかった。(不动产商基本没有参加竞拍。)

○一般競争入札又は指名競争入札に参加するためには、資格が必要となる。(参加一般性竞拍或者指名竞拍，需有一定的资质。)

日本語の「参加」は「入札参加者」のように名詞として使用されるだけでなく、上記の例文のように、「入札に参加する」という形で動詞としても用いられる。従って、「参加竞标」は中国語だけでなく、日本語にも使われる表現であると言える。

(2) 王氏の日本語独自の「参加」の用法(中国語の“参加”との相違点)の検証

王雪晨氏(2013)は日本語にしかない「参加」の意味や用法をまとめた。筆者は例文を調査してその意味や用法を分析し、中国語には見られない「参加」独自の意味や用法は1~7だけでなく、少なくとも下記のものも付け加えるべきであると考えた。

①組織などの結成に参加する場合

○一九二二年、帰国し、慶応の講師となり、日本共産党結成に参加する。(一九二二年回国后成为庆应讲师，并参与创立了日本共产党。)

○重井鹿治は、その後昭和十年岡山地方労働者組合の結成に参加し副議長となっている。(之后，重井鹿治于昭和十年参与创立了岡山地区工会，并担任副议长。)

上記の例文における「組織や団体の結成に参加する」はよく用いられる表現である。「結成」の前には組織や団体を示す名詞がくる。この場合、中国語で

は“参加創立”とは言わず、“参与創立”と訳す。「日本共産党結成に参加する」は“参与創立日本共産党”、「岡山地方労働組合の結成に参加する」は“参与創立岡山地区工会”で対応する。

②市場メカニズムやシステムに参加する場合

○ユーロに参加するために、1992年のマーストリヒト条約によって次の四つの基準が規定された。（为加入欧元区，根据 1992 年的《马城条约》制定了以下四项标准。）

○1976年7月その利用を世界に開放したのを契機に我が国もこのシステムに参加することになった。（以 1976 年 7 月向世界开放为契机，我国也加入了这个体系。）

日本語の「参加する」は上記の例文のように、ある市場メカニズム、機構などに入る意味を表す場合によく用いられる。中国語では“参加”ではなく“加入”で対応する。「ユーロに参加する」は“加入欧元区”、「このシステムに参加する」は“加入这个体系”と言う。

③運営、経営などに参加する場合

○「第 35 回日展東海展」（中日新聞社など主催）の事務局は、運営に参加するアテンダントを募集している。（《第 35 届日展东海展》（中日新闻社等主办）事務局正招募参与运营的出席者。）

○少数派の株主にも会社の経営に参加する機会を与える。（也为少数派股东参与公司经营提供机会。）

上記の例文は「運営」「経営」などある種の人間の活動に参加することを示し、中国語では“参加”ではなく、“参与”で対応する。

結語

本節では、動詞の目的語が異なることによる相違という視点から、【第 1 パタ

ーン】の〈第1類〉に属する中国語の“参加”と日本語の「参加」の考察を行い、次のような意味的相違を明らかにした。

(1)日本語でも「世界的なプログラム、計画などに参画する」、「参戦する」、「入隊する」、「入札する」という意味を表す場合、「参加」が使えることを検証し、中国語の“参加”と日本語の「参加」の意味や用法に関する王雪晨氏の分類の四箇所に修正を加えることを提案した。中国語独自の“参加”の意味は「保険に加入する」「意見を出す／発表する」「就職する／入社する」「受験する」である。

また王雪晨氏は中国語には見られない日本語独自の「参加」の意味や用法を7種類にまとめたが、「組織や団体の結成に参加する場合」「市場メカニズムやシステムに参加する場合」「運営、経営などに参加する場合」の3種類を付け加えて10種類に修正することを提案した。

(2)中国語の“参加”と日本語の「参加」に関する辞書的解釈の問題点について、『中日辞典 講談社』では、“参加”は、「参加する」と解釈している。『中日辞典 小学館』では、上記の辞典より詳しく解釈しているが、いずれの辞書も“参加保険”など中国語の“参加”の独自の意味や用法に関する記述が欠けている。《详解日汉辞典》『日中辞典 小学館』『日中辞典 講談社』では、「参加」に関しては、“参加”“加入”と解釈しているが、「組織や団体の結成に参加する」のように、「参加」の独自の意味や用法には触れていなかった。

第5節 中国語の“气色”と日本語の「気色」の意味的相違

本節では中国語の“气色”と日本語の「気色」の例を通して、人間の内心世界、それとも外観を表すかによる日中両言語の相違について説明する。まず下記の例を見てみよう。

○他气色不错。(彼は血色がよい。)

上記の“气色不错”を日本語にどう訳すか、中国人の日本語学習者なら、「彼は気色がよい」と訳すことが多いが、正しくは「血色がいい」である。

現代日本語と現代中国語にいずれも「気色」という言葉がある。日中辞書、中日辞書の多くは同じく人間の顔に表れている様子を表すと記載されている。

「気色」の呉音読みは「けしき」、漢音読みは「きしよく」とされている。『全訳古語辞典 旺文社』(注5)などの辞書によれば、「けしき」が外に表れた様子を表すことが多いのに対し、「きしよく」は気持ちを表すことが多い、という。しかし、現代日本語では「けしき」の使用頻度は低い。

(1) 古代と現代の日本語の「気色」(きしよく、けしき)の意味とその中国語訳

「気色」には「けしき」、「きしよく」という両方の読み方があり、それぞれ意味が異なる。中国語の“气色”には、上記に挙げられている二つの意味が含まれているのか、また中国人学習者に日本語の「気色」を指導する場合、どんな点に注意すべきなのか、以下に三点に分けて説明していく。

『日本国語大辞典』『広辞苑』『古語林』『古語辞典 旺文社』(注6)における古代日本語の「気色(きしよく)」の語釈は次のように記されている。

(1) 顔色、ようす、表情。○入道相国の気色をもうかがうて、迎へに人を奉らむ『平家・三・足摺』。(2) 意向、内意。○「さるにてもこれへ」と御気色ありければ、参られたり『平家・二・少将乞請』。(3) 寵愛、おぼえ、気に入ること。○院の御気色悪しうなると『平家・八・鼓判官』。(4) 気分、気持ち。○気色もだんだん快うござるによって『狂・武悪』。(5) 改まった顔つきをする。○武正ことに気色してわたる『宇治拾遺・一五』。

上記の辞書ではさらに次のように解釈している。「きしよく」は平安時代末期以後、主に『平家物語』などの和漢混淆文に使用されていることが多いのに対して、「気色」(けしき)は、平安時代の物語や女流日記などの和文に多く用いられていた。また「けしき」の意味は「きしよく」とはかなり異なり、上記の人の様子を表す五つの意味の他に、下記の物事の様子を表す意味にも用いられた。

①物のようす、情景、状態、眺め。○今ひときは心も浮き立つものは、春の気色にこそあめれ。『徒然・一九』②兆候、兆し、前ぶれ、物事が起こりそうなようす。○男御子生まれ給へり。気色もなくしておはしつるほどに生まれ給へば。『宇津保・国譲中』③少しばかりのようす。ほんの少し。ちよつとばかり。○気色にても漏り聞かせ給ふことあらば。『源氏・若菜下』④事情、わけ、内情。○若き人にて、気色もえ深く思ひ寄らねば。『源氏・葵』⑤趣、情趣。⑥怪しいようす、不安な感じ。(意味⑤、⑥は主に「気色覚ゆ」の形で用いられていた)

また「けしき」は他の語と結びつき、多数の慣用的用法や複合語を生んでいる。「気色悪し」、「気色有り」、「気色覚ゆ」、「気色賜る」、「気色取る」、「気色立つ」、「気色付く」、「気色ばむ」などがそれである。

現代日本語の「^{きしよく}気色」はどんな意味で使われているのだろうか。『新明解 国語辞典』の「^{きしよく}気色」の語釈は、(1) (顔に表れている) 快、不快の状態。○気色をうかがう。／気色が悪い、とされている。

上記の解釈から、現代日本語で用いられている「気色」は、意味領域がかなり縮小され、「顔に見える快、不快の状態」だけ意味していることが分かる。

(2) 古代中国語と現代中国語の“気色”の意味及びその日本語訳

古代中国語でも、“気色”は物事の様子や人の心の状態を表していた。その例は中国の春秋戦国時代に見られる。

“故未可与言而言谓之傲；可与言而不言谓之隐；不观气色而言谓之瞽”（故に言ってはならないが、あえて言うことを「傲慢」と言う。言ってもいいが、言わないことを「耐え忍ぶ」と言う。その場の様子をわきまえずに発言することを「道理に合わない」と言う。） 《荀子・劝学篇第一》

しかし、その意味領域は古代日本語と比較すると、かなり狭いことが分かる。《古汉语大词典》（注7）の語釈では、古代中国語における“気色”には、主として次の二つの意味用法があった、としている。

①指人的気色、神态。（日本語の「顔の血色、表情」の意）○故藏病则気色发于面，体病则欠申动于貌。（病気になると、その状態が顔に表れ、また体の調子が悪ければ欠伸をしたりする）《汉书·翼奉传》

②景象（日本語の「光景、ありさま」の意）○凡攻城围邑，城之気色如死灰，城可屠。（城を攻めたり町を包囲したりする場合、その城郭の雰囲気が暗いなら、それを攻め落とすことができる）《六韬·兵微》／萧条洲渚際，気色少谐和。

（中洲や渚が物寂しくて、その光景は調和が取れていない）南朝・宋谢惠连《西陵遇风献康乐》诗

また現代中国語でも、“気色”は物事の様子を表す意味が脱落し、現代日本語と同様、人の様子を表す意味しか持たなくなった。《现代汉语词典》では、

①指人的精神和面色（日本語の「顔色、血色、或いは快、不快の表情」の意）。
○凡见到我的人都十分惊讶，说我一点不像病人，気色非常好。（会ってくれた

人は皆私のことを患者らしくない、血色がいいと言ってくれた) / 外婆气色不好, 我知道她生舅舅的气了。(おばあさんは顔色が悪い。おじのことを怒っているせいだと思う) と解釈している。

上記の二つの例を見れば分かるが、同じく人の様子を表す場合、顔に表れている健康状態と快、不快の両方を指すことがある。1 つ目の例の場合、日本語の「気色」には置き換えられないが、2 つ目の例の場合は、日本語の「気色」と意味が同じで置き換えは可能である。

○你的气色很不错, 看来你恢复得很好。(君は血色がよい。よく回復しているようだ。)

○不久, 她就退烧了, 气色越来越好, 人也长胖了。(しばらくして彼女は熱が下がり、血色がますます良くなって、体も太った。)

上記の“气色”は顔に現れる健康状態であり、日本語の「気色」にはその用法がないため、「気色」と訳すことができない。「血色」、或いは「顔色」で対応する。次の例はどうだろうか。

○他站在大餐桌旁边, 一脸的懊恼气色。(彼は大きな食卓のそばに立って、思い悩んでいる気色だった。)

○为人随和、大方、不拘小节、瞎七搭八什么都可以聊上半天, 又善观气色, 永远不得罪人。(人付き合いが良く、気前が良く、細かいことに拘らず、つまらないことでも気軽にしゃべり、また気色をうかがって上手に人の心を探ることができ、めったに恨みを買わない。)

上記の“气色”は顔に現れる快、不快の状態を示しているため、日本語の「気色」で対応することができる。

現代中国語の“气色”と現代日本語の「気色」は、両者とも人の様子を表す。が、中国語の“气色”は顔に現れる快、不快を示す場合、日本語の「気色」で対応することができる。しかし、顔に表れる健康状態という意味を示す場合、

日本語では「血色」、「顔色」と訳すように、「^{きしよく}気色」で対応し切れない場合がある。一方、顔に現れる快、不快を示す日本語の「^{きしよく}気色」は、中国語の“气色”で対応することができるが、「^{きしよく}気色悪い」のように「気分、気持ち」という意味を示す場合は、中国語では通常“气色”ではなく、“心情、感觉”で対応する。

(3) 「^{きしよく}気色が悪い」「^{けしき}気色ばむ」の意味及びその中国語訳

現代日本語において、「^{きしよく}気色が悪い」の使用頻度は高い。次の例文における「^{きしよく}気色が悪い」の中国語訳を検討する。

○死んだ魚なんか生臭くて、気色悪くて食べられない。(死鱼有腥臭味，令人恶心，不能吃。)

○鳥肌たつほど気色悪い。(令人恶心得起鸡皮疙瘩。)

○男のくせに女の言葉を使って、気色が悪い。(明明是男人，却使用女子用语，让人感觉不舒服。)

○「みんな一色」は気色が悪い。(“大家都一个颜色”，让人感觉不舒服。)

○議員の言葉遣いは妙に丁寧で、気色悪いくらいだ。(议员的话一反常态，很是客气，让人感觉有些不自在。)

○女物の名刺を差し出されて気色が悪いと感じる男性がかなりいる。(有相当多的男性会在接过男人递来的女式名片时感觉不自在。)

上記の「^{きしよく}気色が悪い」は「^{けしき}気持ちは悪い」と比べてより強調される表現として使われている。それらを中国語に訳す場合、通常は“令人恶心”、“让人感觉不舒服”、“觉得不自在”などで対応する。この場合の「^{きしよく}気色」は気分、気持ちなど人の心の状態を示す。

また日本語では「^{けしき}気色ばむ」という表現もあるが、これはどのように中国語に訳するのか、次の例を見てみよう。

○「相手に対し敬意を払って話すべきだ」と気色ばんで反論する。(我生气地反驳道：“应该怀着敬意和对方说话。”)

○その点を問われると、「そんなことはない」と気色ばむ。(当被问到这一点时，他生气地回答：“没那回事儿！”)

○知事は記者会見でアンケート結果について聞かれると気色ばんだ。(当在记者招待会上被问及问卷调查的结果时，知事沉下脸来。)

○「間違った報道をされては困る」と珍しく気色ばんだ。(他罕见地沉下脸来说道：“他们的报道歪曲了事实，真让人头疼！”)

「気色ばむ」という表現は顔に怒りの気持ちを表すという意味であり、中国語では“生气”、“沉下脸来”と言う。

結語

本節では、人間の内心世界のことを表すのか、それとも人間の表情などの外観を表すかによる日中両言語の相違という視点より、【第1パターン】の<第1類>に属する中国語の“气色”と日本語の「気色」の意味的相違を考察した。

(1) 日本語の「気色」が最初に使われた時期を考えると、古代中国語から日本語に伝わってきた可能性が極めて高い。現代中国語の“气色”と現代日本語の「気色」は、両者とも人の様子を表す。中国語の“气色”は顔に現れる快、不快を示す場合、日本語の「^{きしよく}気色」で対応することができる。しかし、顔に表れる健康状態を示す場合、日本語では「血色」、「顔色」と訳すように、「^{きしよく}気色」では対応し切れない場合がある。一方、顔に現れる快、不快を示す日本語の「^{きしよく}気色」は、中国語の“气色”で対応することができるが、「^{きしよく}気色悪い」のように「気分、気持ち」という意味を示す場合は、中国語では“气色”ではなく、“心情、感觉”で対応する。中国語の“气色”は顔に現れた外の様子を示し、日本語の「^{きしよく}気色」は顔に表れた外の様子だけでなく、「気分、気持ち」という

人間の内心世界をも表す。

中国語の“气色”と日本語の「気色」の意味的相違を図示すると、次のようになる。

中国語の“气色”と日本語の「気色」の意味的相違

	気色（日本語）	气色（中国語）	訳語
顔に表れている健康状態	×	○	日本語訳 血色、顔色
顔に表れている快、不快の状態	○	○	
気分、気持ち	○	×	中国語訳 心情、感觉

(2)中国語の“气色”と日本語の「気色」に関する辞書的解釈の問題点について、『中日辞典 小学館』には“气色”が収録されていないが、『中日辞典 講談社』には収録され、「顔色。血色」と解釈している。中国語の“气色”は顔に現れる快、不快を表す場合、日本語の「気色」で対応することができるため、対応語として「気色」を補足追加すべきである。『日中辞典 講談社』では、「気色」は、“感觉”“感受”と解釈している。しかし、日本語の「気色」は上記の意味のほかに、「気色が悪い（脸色不好）」「気色をうかがう（查看对方脸色）」のように、“脸色”のほかに、“气色”、“神色”、“神情”という対応語も付け加えるべきである。

注と参考文献

(1)文化庁編集 『言葉に関する問答集 総集編』 1995年3月

(2)王雪晨(2013)の京都外国語大学修士学位請求論文『中国語と日本語における「参」を伴う漢語同形語の意味的相違に関する研究—「参加」、「参与」、「参事」、「参観」、「参考」、「参照」を中心に—』の「第1章中国語の“参加”と日本語の「参加」との意味的相違」

(3)A類：中国語でも、日本語でも同様に「参加」を使う場合。B類：中国語では“参加”が使われるが、日本語では「参加する」のほか、「加入する」、「加わる」といった同義語も用いられ、意味が変わらない場合を指す。「団体に参加する」「団体に加入する」のように、どちらを使っても意味はそれほど変わらない。C類：中国語では“参加”が使われるが、日本語では「参加する」のほか、「加入する／加わる／出る」などの動詞が用いられ、場合によって「参加する」より、「加入する／加わる／出る」の方がよく用いられる。またこれによって意味が変わる場合があることも指す。「選挙に参加する」「選挙に出る」のように、異なる動詞によって意味は変わってくる。このC類は中国人学習者が最も間違いやすいため、日本語教育で重点的に指導すべきであろう。D類：中国語では“参加”が用いられるが、日本語では「参加」が用いられない場合（中国語独自の用法）、E類：日本語では「参加」が用いられるが、中国語では“参加”が用いられない場合（日本語独自の用法）と氏は定義している。

(4)「LOFT計画」とは、国際エネルギー機関(IEA)の原子力安全性に関する国際協力の一環として行われ、アメリカ原子力規制委員会(USNRC)が運営するもので、アイダホ国立工学研究所のLOFT装置(55MWtPWR型試験用原子炉)を利用した冷却材喪失事故条件での核熱水力学的及び構造的現象に関する総合試験である。また「国際宇宙ステーション計画」は略称ISS計画と呼び、

参加国がアメリカ、ロシア、カナダ、日本、ESA 加盟の各国（ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス）の 15 カ国となっている。

(5) 宮腰賢、石井正己、小田勝編 『全訳古語辞典 旺文社』（第 4 版）旺文社 2011 年 10 月

(6) 林巨樹、安藤千鶴子編 『古語林』大修館書店 1998 年 4 月、松村明、山口明穂、和田利政編 『古語辞典 旺文社』（第 10 版）2008 年 10 月

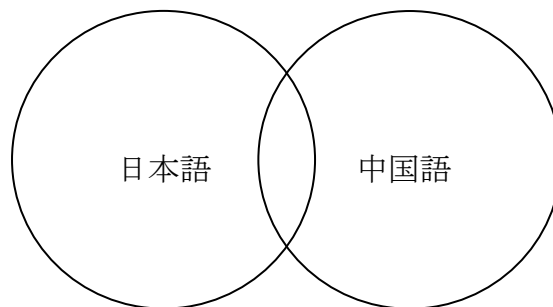
(7) 徐复等編 《古汉语大辞典》 上海辞书出版社 2001 年 6 月

第4章 意味が相当(もしくは完全に)異なる漢字同形語パターン(第2パターン)の考察

第1章～第3章では中国人学習者の混同しやすい、日本語と中国語にみられる漢字同形語(意味が微妙に異なる【第1パターン】)に関して、辞書的解釈に間違いが多い代表的な例を中心に考察した。本章では、序章で取り上げた二つのパターンのうち、現代日本語と現代中国語にみられる漢字同形語(【第2パターン】と呼ぶ)の意味や用法について検討することとする。

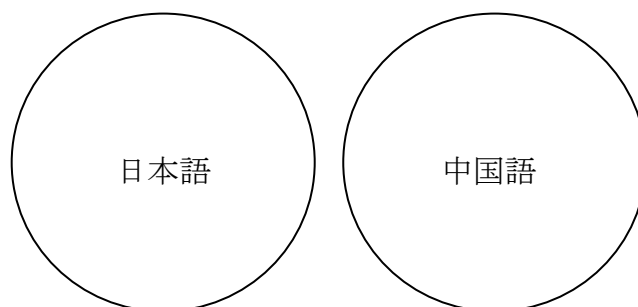
【第2パターン】とは中国語と日本語において「字形は同様だが、意味や用法が相当(もしくは完全に)異なる漢字語」パターンを指す。【第2パターン】に分類される漢字同形語を、さらに<第1類>、<第2類>に分けるを試みる。<第1類>とは意味が重なる部分があるが、使われる場合や評価の善悪など、意味や用法が相当異なる漢字同形語を指し、<第2類>は意味や用法が完全に異なる漢字同形語を指す。

中国語と日本語における「幫助」「助長」「改正」には意味が重なる部分があるが、使われる状況がほぼ異なり、評価の善悪なども相当異にするため、【第2パターン】<第1類>に分類される。その意味領域の関係を図示すれば、次のようになる。



【第2パターン】<第1類>

また、「人間」「正体」「深刻」「迷惑」は意味や用法が完全に異なり、【第2パターン】<第2類>に分類される。その意味領域の関係を図示すれば、下記の通りになる。



【第2パターン】<第2類>

本章では、【第2パターン】の例として辞書的解釈に間違いが多く見られる「幫助」「助長」「深刻」「改正」「人間」「心中」「正体」「迷惑」を中心に、その意味的相違について七つの節に分けて分析し、さらに日中辞書、中日辞書の解釈の問題点に関しても考察を行うことにする。

第1節 中国語の“幫助”“助長”と日本語の「幫助」「助長」の意味的相違

漢字圏の日本語学習者は、「幫助罪」「政治的安定を助長する」という表現に困惑してしまう。それは中国語の“幫助”と“助長”とが異なる用法をもつからである。本節ではプラス評価・マイナス評価の視点から中国語の“幫助”“助長”と日本語の「幫助」「助長」の意味的相違について考察する。

(1) 中国語の“幫助”と日本語の「幫助」の意味的相違

中国語の“幫助”と日本語の「幫助」は「他人に力を貸す」という意味を表

す点においては同じであるが、両者の使い方は著しく異なる。次にまず日本語の例文を考える。

○相手方を処罰するという規定がない以上、教唆や幫助として処罰されることはない。（只要没有处罚对方的规定，他就不可能以教唆、協助等名义受到处罚。）

上記の例のように中国語の“幫助”と異なって、日本語の「幫助」はマイナス評価として用いられる。また下記のように複合語としても用いられる。

○本罪は、内乱の幫助行為を処罰する規定であるが、内乱の予備・陰謀罪の幫助も含む点で、処罰範囲はさらに広がる。（本项罪名是处罚協助内乱的行为所作的规定。由于还包括预谋内乱・協助阴谋罪等，因此处罚的范围会更大。）

○老人の「尊厳死」に関わる医療までは、老人保険では配慮されていない。「安楽死」や「自殺幫助」に関わる問題もある。（有关老人“尊严死”的医疗问题，在老年人保险中没有加以考虑，有些还涉及到“安乐死”、“協助自杀”的问题。）

○「気に入らないやつを殺したい」とかの質問に「やってしまえ」のような回答をすると幫助罪になりますか？（对于“我想干掉看不顺眼的家伙”这样的提问，如果回答是“去干掉他吧”，这样是否就犯下了协助罪？）

○被告人らを幫助犯とする理由は十分である。（认定这几个被告人是协助犯的理由是很充分的。）

日本語の「幫助」は「他人に力を貸す」という意味を表す点において中国語と共通することが分かるが、しかし、主にマイナス評価に用いられる点において中国語とは完全に異なると考えられる。

筆者は『KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス』を検索し、日本語の「幫助」の78例を収集した。そのうちの75例は上述したマイナス評価の意味として用いられる例であり、残りのわずか3例がプラス評価の「力を貸して

助ける」という意味を表し、3例中2例は増野肇『森田療法と心の自然治癒力』の例で、残りの1例は韓国詩人・李箱の詩集に出た例である。

現代日本語では「幫助」は法律用語としてよく用いられ、且つ犯罪行為ととらえられるようなマイナスの事柄を指す。「幫助犯」「幫助罪」のほかに、「幫助者」「詐欺幫助」「自殺幫助」など「幫助」を伴う表現がある。「逃亡を幫助する」「殺害を幫助する」「偽装結婚を幫助する」「犯罪行為を幫助する」「脱税を幫助する」のように他動詞としてもよく用いられ、その対象語として使われるのは「逃亡」「殺害」「自殺」「死亡」「飲酒運転」「侵害」「偽装結婚」「犯罪行為」「脱税」などの違法行為を示す語が多い。

一方、中国語の“幫助”はどのように使用されているのか、下記に具体例を挙げる。

○家里虽然也算不上多么富裕，但在我困难的时候，还是可以给我一点幫助的。（実家はあまり裕福とは言えないが、経済的に苦しいときには、少し援助をしてくれる。）

○切实保障低保对象及时获得物质幫助。（低所得者が直ちに物質的援助をもらえるように確保する。）

○幫助罪犯走向新生。（罪を犯した人が新しい人生が始められるように力を貸してあげた。）

○有人向我提供法律幫助，医生们也群起支持我们。（法律の知識を提供して助けてくれる人がいるし、お医者さんたちも皆支持してくれた。）

上記の例から分かるように、中国語の“幫助”も「他の人に力を貸す」という意味を表すが、日本語の「幫助」とは対照的に、プラス評価の意味としてよく用いられ、中国語の“幫助”が法律関係に限って使われるだけではなく、様々な場面に使われている点においても、日本語の「幫助」とは異なる。

中国語では“对……有幫助”“对……没有幫助”の形としてもよく使われる

が、日本語では「～に幫助がある」「～に幫助がない」とは言わない。次の例がそれである。

○这位专家表示，在内地人可以选择投资香港股票的同时，国外投资者也开始购买低廉的股票，从长期看，这对上海市场也有帮助。（中国国内の人が香港の株への投資を選択できるとともに、海外の投資家も安い株を買い始めている。この専門家は、長期的に見ると、これは上海市場にもメリットがあると指摘している。）

○该议案事实上对解决美国财政不可持续问题几乎没有帮助。（この議案は事実上、米国財政の持続不可能な問題を解決するにはほとんど役立たない。）

上記の例文における“对……有帮助”“对……没有帮助”は日本語の「幫助」には見られない使い方であり、それらは日本語では「メリットがある」「役に立つ」「～ためになる」「プラスになる」などと訳される。

中国語の“幫助”は名詞として使われることが多い。

○没有你的帮助，我们很难做到，有你的参与就好多了。（君の手助けがなければ、私たちにはなかなかできない。参加してくれて本当によかった。）

○在大家的帮助下读完中学后，他带着同学们为他凑的 20 元路费，上了燕京大学。（皆様のおかげで中学校を卒業した。その後、友人たちが出し合ってくれた旅費 20 元を持って、燕京大学に行った。）

上記の例のように、名詞として用いられる“幫助”は上記の場合のほか、“法律幫助”（法律支援）、“物质幫助”（物質的援助）、“资金幫助”（資金的援助）などによく使われ、日本語の「支援」「援助」で対応することが多い。

また、中国語の“幫助”は動詞としてもよく用いられる。その場合、下記のような構文がよく見られる。

① 【帮助+人を示す名詞】

○我认为写出我的经历未必能帮助别人。（私が自分の体験を書いてもほかの人を助けることにつながるとは限らないと思う。）

○在群众最需要帮助的时候，去关心群众，帮助群众。（民衆が最も援助が必要な時に、彼らに関心を寄せ、助けなければならない。）

○你替我想个办法，怎样捐出去帮助大家。（どうやって寄付してみんなを助けられるか、その方法を考えてくれ。）

上記の例文のように、“帮助”は日本語の「助ける」または「援助する」と対応することが多い。中国語では、【帮助+人を示す名詞】の構文がよく使われ、人を示す名詞に“别人”“群众”“大家”などが多く見られる。日本語においても【名詞+を+帮助する】という構文が使われる。が、その名詞に「逃亡」「殺害」「自殺」「死亡」「脱税」「飲酒運転」「犯罪」「侵害」など違法行為を示す語がよく使われ、人を示す名詞が少ない、という相違点が見られる。

② 【帮助+目的を示す文】

○帮助群众解决了一些实际困难和问题。（民衆の実際の困難と問題を解決するよう助けてあげる。）

○他帮助我们建设了一个没有种族差别的社会。（彼は人種差別のない社会の実現を手伝ってくれた）

上記の例文の“帮助”に後続する“群众解决了一些实际困难和问题”“建设了一个没有种族差别的社会”は主体の目的を表す文である。日本語では【述語文+を帮助する】という構文ではほぼ使われない。この場合の“帮助”は日本語で「支援する」「助ける」「手伝う」と対応する。

以上のように、中国語の“帮助”と日本語の「帮助」の意味や用法の相違点、

日本語訳と中国語訳の特徴について考察してきた。『日中辞典 小学館』では、「幫助」に関して「(法) 辅助, 帮助」と解釈されているが、「他人の犯罪の遂行に便宜を与える行為」という意味的特徴には触れなかった。また、中国語では、“对……有帮助” “对……没有帮助” という形としてよく使われ、「役立つ」「メリットがある」「ためになる」「プラスになる」という意味を示す。これは日本語の「幫助」には見られない用法である。『中日辞典 小学館』では、これに関する記述が漏れている。さらに中国語では“幫助”が動詞として使われる場合、【幫助+人を示す名詞】 【幫助+目的を示す文】 という構文を用いるが、日本語の「幫助」にはそのような構文は見られない。

(2) 中国語の“助长”と日本語の「助長」の意味的相違

○このような不正行為を助長してはならない。(不能助长此类不正当的行为。)

○这种傲慢的态度助长不得。(このような傲慢な態度は助長してはいけない。)

上記の例文における日本語の「助長」と中国語の“助长”はよく用いられる。

次に両者の意味的相違、及び日本語の「助長」に対応する中国語訳の特徴を検討する。

○这么做, 不仅会涣散群众的热情, 也助长了言行不一的坏风气。(これでは、民衆の意欲をなくし、言行不一致な悪い気風をも助長してしまう。)

○这项政策在一定程度上助长了通货膨胀。(この政策はある程度インフレを助長した。)

上記の例文のように、中国語の“助长”に後続するのは“言行不一的坏风气”(言行不一致の気風)、“通货膨胀”(インフレ)といった悪いイメージを指す表現ばかりである。これは中国語の“助长”の使い方の特徴と言える。《人民网报刊检索》を利用し、2013年6月1日から2013年12月31日までの『人民日报』を検索したところ、“助长”の例は109例あり、いずれも悪いイメー

ジを表すものであった。《現代漢語詞典》に掲載されている“幫助增長<多指坏的方面>”（成長を助ける<多くはマイナス評価>）という語釈もそれを裏付けることができる。

例文を調査した結果、中国語の“助長”は主に次のような構文に用いられることが分かる。

① 【助長+名詞】構文

“不良风气”（良くない風習）、“封建迷信”（封建的な迷信）、“非法出版活动(不法な出版活動)”などがそれである。

○大量使用冥钱、冥器，不仅浪费了钱财，更助长了封建迷信。（お葬式の際に紙銭や墓に副葬する器物をたくさん焼くのは、お金を無駄にするだけでなく、更に封建的迷信を助長してしまう。）

○这样做，不仅助长铺张浪费之风，更会败坏社会风气。（このようにすれば、派手さを好む無駄遣いの気風を助長だけでなく、更に社会のモラルを乱してしまう。）

上記の例のように、【助長+名詞】構文では“封建迷信”（封建的な迷信）“铺张浪费之风”（派手さを好む無駄遣いの気風）のようにマイナス評価を示すものが多い。

② 【助長+名詞<“动名词”>】構文

名詞<“动名词”>には“泛滥”（氾濫）、“蔓延”（蔓延）、“沦丧”（喪失する、失われる）などが見られる。下記の例を見てみよう。

○给领导发“奖”，极易助长公款行贿赂受贿之风蔓延。（指導者に「賞」を出しでは、公金による贈収賄の気風が蔓延するのを助長しやすい。）

○这类社会现象造成是非观念的混淆，助长了行贿赂的滋生蔓延。（このような社会的現象は是非の混淆をもたらし、贈賄を助長してしまい、さらに蔓延するおそれがある。）

上記の例文のように、“助長”に後続する“蔓延”（蔓延）、“泛滥”（泛滥）、“沦丧”（喪失する、失われる）などはマイナス評価がされる物事の発生や変化を表す。そのほか、“滋生”（引き起こす）、“发生”（発生する、起きる）などもそれである。

③【助長+文】構文

○这势必助长违章建筑恶性发展。（これはきっと違法建築の蔓延を助長する。）

○中央银行的加息政策助长了本币急剧升值。（中央銀行の金利引き上げ政策は、自国の貨幣の急激な値上がりを助長した。）

上記の構文では“违章建筑恶性发展”（違法建築の蔓延），“本币急剧升值”（自国の貨幣の急激な値上がり）のような文は“助長”の目的語になる。

一方、日本語の「助長」はどのように使われているのか、その使い方に如何なる特徴があるのか、以下の例から考察する。

○長い文章や複雑な構文は理解できず、かえって混乱を助長してしまうことになりかねない。（这样做，不仅不能理解较长的文章和复杂的句法，反而使脑子更混乱。）

○いずれにしても暴力におびえていると、ますます暴力を助長する。（无论如何，如果畏惧暴力，就会更加助长暴力行为的发生。）

○内需は全く伸びず、益々不景気を助長する。（内需不振，使经济更加不景气。）

○これは男の支配と女の従属を助長するのでしょうか。（这会令男主女从的现象更为加剧吗？）

○そんな犯罪を助長するようなサイトはあるわけがない。（不可能有那种助长犯罪的网页。）

上記の例文のように、日本語の「助長」の対象となるのは、「混乱」「暴力」「不景气」「男の支配と女の従属」「犯罪」のようなマイナス評価がなされる

事柄である。しかし「助長」の対象となるのはマイナス評価がされる事柄だけではない。次がその例である。

○特定の政治団体や宗教団体を援助、助長する。（援助、扶持特定の政治団体及宗教団体。）

○発言力を助長する。（增强说服力。）

○この二重の現象は、結局のところ資産管理の活動を助長し、活発にただけであった。（此类双重现象最终只是促进了资产管理活动，并使它更加活跃。）

上記の例文の「助長」の対象となるのはマイナス評価がなされる事柄ではなく、「特定の政治団体や宗教団体」「発言力」「資産管理の活動」のような、ニュートラルな意を示す事柄である。日本語の「助長」はさらに次のような場合にも使われる。

○それは政治的安定を助長し、第一次共和国の誤りと激変を回避する体制だった。（这是一种促进政治安定，避免第一次共和国的错误和剧烈动荡的体制。）

○学生の問題発掘能力を高め、創造性を助長するための一般的な教育方法はあまり知られていない。（很多人不太了解提高学生挖掘问题的能力、增强创造性的通用教学方法。）

○地域の農水産物を活用した優良な食生活の実践活動を助長している。（促进利用地区农水产物的良好饮食生活的实践活动。）

○それは自立を助長することを目的とする制度である。（这是一种以帮助人们自立为目的的制度。）

上記の例のように、「助長」の対象となるのはマイナス評価がされる事柄、またはニュートラルな物事ではなく、「政治的安定」「創造性」「優良な食生活の実践活動」「自立」といったプラス評価がなされる事柄である。中国語の“助长”に比べ、日本語の「助長」は多様に用いられると言える。

次に日本語の「助長」を中国語に訳す場合の対応語について考える。

①マイナス評価がされる事柄を示す場合

○それはエイズ患者に対する社会的偏見を助長する。（这会助长针对艾滋病患者的社会偏见。）

上記の例のように、マイナス評価がされる事柄を示す場合、中国語の“助长”と意味や用法は同じであるため、基本的には中国語の“助长”で対応することができる。

○自民党内では「家族制度の崩壊を助長しかねない」として反発が強く、足踏みが続いている。（自民党内反对意见强烈，认为“很可能引发家族制度的崩溃”，因而停滞不前。）

○世界の先進国のほとんどが、武器を世界に売り、戦争を助長し、金儲けをしてきた。（世界上几乎所有的发达国家一直都在向世界推销武器，煽动战争，赚取财富。）

○物財消費の増大を追求することは、土地の荒廃とエネルギー不足を助長する。（追求物质消费水平的提高，使土地的荒芜和能源不足的情况更加严重。）

○不景気だから節約する。それは余計不景気を助長してしまう。（因为不景气而节约，这会使经济更加不景气。）

しかし、上記の例文における「助長」の対象となっているのは「家族制度の崩壊」「戦争」「土地の荒廃とエネルギー不足」「不景気」のようなマイナス評価がされる事柄を示す場合、中国語では“助长”ではなく、“引发”“煽动”“使……更加严重”などで対応するのがより自然に感じられる。

②プラス評価がされる事柄を示す場合

○都道府県農業大学校は、農業改良助長法で定められている農業者研修教育施設である。（都道府县立的农业大学，是农业改良促进法规定的农业从业人员进行研修教学的设施。）

○子どもの心身の成長・発達を助長する。（促进儿童身心的成长和发展。）

○林業従事者の自主的努力を助長し、林業の発展を図るため、林業従事者等に対して中・短期の無利子資金の貸付けを行う。（为推动林业从业者自发努力，为了谋求林业的发展，对林业从业者发放中短期无息贷款。）

上記の例文における「助長」は、その対象となるのが「農業改良」「心身の成長・発達」「自主的努力」のような、プラス評価がされる事柄である。これは中国語の“助长”とは異なるため、“助长”ではなく、“促进”“推动”など、よい意味を表す言葉で対応する。

③ニュートラルな事柄を示す場合

○カーテンが窓の結露を助長する。（窗帘促使窗户结露。）

○お互いにばらばらな生活を送り、異なるものを優先させ、それが感受性の違いを助長している。（过着相互不同的生活，把不同之处放在第一位，这更加促成了感受性的差异。）

上記の例文の「助長」はその対象となるのが、プラス評価がされる事柄でもなく、マイナス評価がされる事柄でもなく、「結露」「感受性の違い」というニュートラルな意味の事柄を示す場合の「助長」は“促使”“促成”“促进”と訳す。

結語

本節では、日本語の「幫助」「助長」と中国語の“帮助”“助长”を中心に考察した。その主たる意味的相違を下記のようにまとめることができる。

(1)「マイナス評価・プラス評価の相違」について、日本語の「幫助」はマイナスイメージをもつ事柄を表し、特に法律関係の文脈によく用いられるが、中国語の“帮助”はプラス評価がされる語として使われる。一方、日本語の「助長」はプラスイメージをもつ事柄だけでなく、マイナスイメージの事柄やニュ

ートラル、という場合にも用いられる。が、中国語の“助長”は、もっぱらマイナスイメージをもつ事柄を述べる場合にしか用いられない。日本語の「助長」の用法がより多いため、対応する中国語訳として“促进”“促使”“促成”“引发”“煽动”“推动”なども多く見られる。

(2) 日本語の「帮助犯」「帮助罪」という表現は中国語には見られない。それを中国語に訳す場合、“协从犯”“协从罪”と対応する。

(3) 中国語の“帮助”は【帮助+名詞】の構文によく用いられるが、その名詞に“别人”“群众”“大家”など、人を示す名詞がよく現れる。日本語においても【名詞+を+帮助する】という構文が使われるが、その名詞に「逃亡」「殺害」「自殺」「死亡」「脱税」「飲酒運転」「犯罪」「侵害」など違法行為を示す語がよく使われることや、「人を示す名詞」が少ない、などといった相違点が見られる。

(4) 中国語の“帮助”“助长”と日本語の「帮助」「助長」に関する辞書的解釈の問題点について、『日中辞典 小学館』では、「帮助」は「(法) 辅助, 帮助」と解釈しているが、「他人の犯罪の遂行に便宜を与える行為」という意味的特徴には触れていない。また、『中日辞典 小学館』には、中国語の“帮助”が持つ「役立つ」「メリットがある」「ためになる」という意味の記述が漏れている。さらに、『中日辞典 講談社』では、“助长”は、「**動** 助長する」と解釈しているが、日本語の「助長」と中国語の“助长”が使われる場合の違いに関しては記述されていない。

第2節 中国語の“改正”と日本語の「改正」「改定」の 意味的相違

第1節では、【第2パターン】<第1類>に属する中国語の“帮助”“助长”と日本語の「帮助」「助長」の意味的相違を考察した。本節では、中国語の“改正”と日本語の「改正」の意味的相違を「中国語と日本語にみられる慣習的な表現による両言語の用い方の相違」と「共起する語の異なりによる両言語の相違」という視点から考察することにする。中国語の“改正”と日本語の「改正」は意味が重なる部分があるが、両者が使われる場面が異なるため、“帮助”“助长”と同様、その意味領域の関係において【第2パターン】の<第1類>に属する。

日本語の「改定」と中国語の“改正”は漢字同形語ではないが、日本語の「改正」の用い方との共通点もあり、相違点もあるため、本節の(2)で検討することにする。

(1) 日本語の「改正」の用い方の特徴

日本語の「改正」は「憲法改正」「規約改正」「ダイヤ改正」のようによく使われる。「憲法改正」などの表現は漢字圏の日本語学習者なら違和感を持つ。なぜならば、中国語の“改正”は通常、大きな過ちを正すという意味を示す場合に使われるからである。

『広辞苑』の「改正」の解釈では「改めて正しくすること」とある。『日中辞典 小学館』では、日本語の「改正」は、“修改，修正；[誤りを正す]改正”と解釈している。

一方、中国語の“改正”の意味に関しては、《現代汉语词典》に“把错误的改正确的”（間違っただけを正しいものに改める）とある。

以上の辞書的解釈をみると、中国語の“改正”と日本語の「改正」はいずれも「誤りを正す」意を表し、たいした差異は見られない。ただし、下記のように中国語の“改正”と日本語の「改正」は対応しない。

- 日本銀行法を改正する → × 改正日本銀行法
- 修改日本銀行法
- 改正错误 → × 誤りを改正する
- 誤りを改める

以上の例のように、中国語の“改正”と日本語の「改正」の意味はほぼ同様でありながら、なぜそのまま、同形の漢字で対応できないのであろうか。次に両者の共通点と相違点について考えることにする。

例①. 抽象的なスローガンではなく、憲法改正が必要か、何が問題かを、多くの国民に分かりやすく伝える。(需要修改宪法吗？什么是问题所在？应该把这些内容通俗易懂地告知广大的国民，而不是抽象的口号。)

例②. 以上が銀行法等の一部を改正する法律案の提案理由及びその内容である。(以上是提交有关修改银行法等部分条款的法案的理由及内容。)

例③. 国は、2004年に児童手当法を改正し、支給対象年齢を小学校就学前から小学校第3学年修了時まで引き上げるなど施策の充実に努めている。(2004年修改儿童津贴法，将支付对象的年龄从学龄前提高至小学3年级末，国家正努力充实这些措施。)

例④. 旅行業法の一部を改正し、あわせて標準旅行業約款の改正を行う。(修改旅游业法的部分内容，同时修改标准旅游业条款。)

例⑤. 昨年、農業機械化促進法の一部を改正いたして、この実用化を進めるということをやった。(去年，修改了农业机械化促进法的部分内容，并推进其实施。)

例⑥. 現行の新幹線鉄道整備法を改正する。(修改现行的新干线铁路维修法。)

上記の例文の「憲法改正」は、中国語では“改正宪法”ではなく、“修改宪法”となる。また、例②～例⑤の「改正」は「銀行法などの一部」「児童手当法」「旅行業法」「農業機械促進法」「新幹線鉄道整備法」など、法律、法規をその「正す」対象としている。中国語では“修改”で対応することが多いと思われる。そのほか、「制度改正」「税法改正」「派遣法改正」「校則改正」という表現もよく使われるが、中国語にはそれぞれ“修改制度”“修改税法”“修改派遣法”“修改校規”と訳される。

日本語の「改正」は文書化された規則などの改正によく用いられる。例文を調査した結果、(1)規約、条約、契約など「約」を伴う表現の改正、(2)法案、法律、法令、政令など「法」「令」を伴う表現の改正、(3)「その他附則を改正する」のように規則、附則など「則」を伴う表現の改正、(4)「協定改正」のように規定、協定など「定」を伴う表現の改正、(5)条例、基準などの改正、(6)「会社制度の改正等の動き」「1876年に国立銀行制度を改正した」のように「制度」を伴う表現の改正、(7)税率の改正、税改正、税制改正など、税関係の表現を伴う例が多く見られた。

下記の「本の改正」、「教科書の改正」、「絵の改正」、「区画の改正」などは条例、規則、憲法の改正などとは異なるため、現代日本語において使用頻度が高いか否かについて、日本人ネイティブ 30 人を対象とする調査を行った。(注 1)

<例 1>即座にこの絵を改正して下さい

<例 2>本は、未改正である

<例 3>本を改正する

<例 4>本年より教科書改正

<例 5>市と区の区画を改正する

上記 5 例のうち、<例 1>はすべての回答者が文としては成立しない、使わないと答えた。残りの 4 例について正しい、正しくないとの回答で意見が分か

れた。しかし、たとえ正しいとしても、これらの表現の使用頻度が低いとの回答も多かった。この結果を踏まえ、日本語の「改正」は主に、法律や規則などを改める場合に使われる表現であり、絵や本、教科書などを改める場合には使われないか、使用頻度が低いことが分かった。

以上のように、日本語の「改正」の対象となるのは制度、法案、規定、ルールなど、多くの人々がそれに従い、行動の規範となっているものである。中国語の“改正”は日本語の「改正」のように、「憲法」「法規」などを正す場合には使われないため、その場合は通常“修改”で対応する。

(2) 日本語の「改正」と「改定」との意味的相違

法律や規則などを改めることを意味する場合、日本語では「改正」のほか、「改定」もよく用いられる。次に日本語の「改正」と「改定」の意味的相違について考える。両者は「何かを改める」という点においては、意味が同様であるが、改められる対象、改められる対象の性質、そして対象を改める目的という三つの視点より、その意味的相違を考える。まず、如何なるものが「改正」と「改定」の対象になるかを見てみる。

①改められる対象

○第一は、国家公務員共済組合等からの年金の額を改定することである。(第一，重新规定由国家公务员互助工会发放的养老金的金额。)

○市職員に支給する扶養手当の額や勤勉手当の支給割合などを改定する。(重新规定发给市政府工作人员的赡养津贴的金额及业绩津贴的发放比例。)

○特に必要があると認めるときは、保証基準価格等を改定することができる。(在认为很有必要的情况下，可以重新规定保证基准价格等。)

○このため、今後の医療費や介護給付費の動向を考え、今年度は次のとおり

税率・税額を改定することになった。（因此，考虑到将来医疗费及护理费的趋势，本年度对税率・税額作了如下修改。）

○このような状況から、電報電話料金を改定して電信電話事業財政の健全化を図ろうとするものである。（根据这样的状况，通过修改电报电话费，来健全电信电话事业财政。）

上記の例のように、「改定する」対象は普通「金額」「値段」「価格」などである。このような場合に使われる「改定」は中国語の“重新規定”か“修改”で対応することが多い。また「改定」は次のような場合にも使われる。

○私たちは、「人間環境都市」の理念を継承し、新たな6つのまちづくりの目標を定め、その実現を目指すため、基本構想を改定した。（我们继承人类环境都市的理念，重新制定6项城市建设目标，并为实现这些目标，修改了基本构想。）

○「国際的、国内的規模での情報の自由な流れ、および表現の自由に対する一切の障害がない、より広く、より均衡の取れた普及」というゴールを目指して、一九八九年に「コミュニケーション新戦略」を改定した。（“在国际、国家范围内信息的自由流通，以及消除一切限制表达自由的障碍，使其更加广泛、更加均衡地普及”，我们以此为目标，于1989年重新制定了“对话新战略”。）

以上の例文のように、「改定」は「基本構想」「コミュニケーション新戦略」などを改める場合にも使われるが、さらに「制度を改定する」「憲法を改定する」という表現も用いられるため、幅広い使い方を有すると言えよう。

一方、「改正」は前述した通り、「憲法を改正する」「法律を改正する」「規則を改正する」のように、「改正」する対象が主に「憲法」「法律」「規則」「制度」「法令」などである。従って、「改定」と比べ、「改正」の対象は比較的制限されると言える。

②改められる対象の状態

「法律を改正する」「規則を改正する」のように、「改正」される「法律」「規則」には不適當なところや欠陥があるため、それを改めるという意味合いがある。一方、「法律を改定する」「規則を改定する」場合、その「法律」「規則」には不適當なところや欠陥がある否かはともかく、従来のそれを改めるところに重きが置かれる。

③対象を改める目的

「改正」は不適當なところや欠陥が存在する「法律」「制度」などを改め、それをよりよいものにするという目的があるが、「改定」は従来の「金額」「価格」「カリキュラム」などを改めて新しく決めることであるが、それをよりよいものにするという目的があるか否かが示されない。

以上のように、「改定」と「改正」は一見同じ意味に使われるように思われるが、①改められる対象、②改められる対象の状態、③対象を改める目的という三つの視点からみると、両者は意味的には異なるところがあることが分かる。また日本語の「改定」を中国語に訳す際に、同じ漢字語が中国語には見られないため、“改定”ではなく、“修改”“重新規定”“重新制定”などで対応する。

(3) 中国語の“改正”の使い方の特徴

中国語の“改正”はどのように使われるのであろうか。

①過ちや欠点を直す場合

○聪明人不是不犯错误，而是有了错误立即改正。（賢い人が過ちを犯さないわけではないが、過ちを犯したらすぐ直す。）

○要让他们懂得：做错事要勇于承认和改正。（勇気を持って自分の過ちを認め、そして直すべきであることを分からせる。）

○一个敢于承认政府工作存在缺点的总理将会有决心、有能力去改正缺点，去为人民做更多的事情。（政府の仕事に不十分な点があることを認める勇気をも

つ首相なら、必ず欠点を直す決意、能力があり、もっと国民のために頑張ろうとする。)

○回头总结经验，改正缺点就是了。(後で経験を総括し、欠点を直せばいい。)

上記の例文のように、中国語の“改正”は個人や集団が犯した過ちや、持っている欠点などを直す場合に使われることが多い。日本語の「改正」にはそのような使い方がないため、日本語に訳す場合は「直す」で対応することができる。

②行動、行為などを改める場合

○你们若改正行动，听从耶和华的话，那他必后悔，不将灾祸降与你们。(あなた達がもしその行動を改めて、エホバに従えば、彼は必ず後悔して、災害があなた達に起こらないようにするはずだ。)

○他不但未改正行为，反而用污言秽语辱骂该女乘客。(彼は自分の行為を改めるどころか、汚い言葉でこの女性乗客を罵った。)

○顾客误解时，她们耐心倾听顾客的意见，及时改正自己的行为。(お客さんに誤解された時、彼女たちは辛抱よくお客さんの意見に耳を傾け、直ちに自分の行為を改める。)

○因为这样做，儿童并不了解自己受惩罚的原因，不利于改正自己的行为。(こうすれば、子供が自分が処罰された原因を理解できず、自分の行為を改めるには有利ではない。)

上記の例から分かるように、中国語の“改正”は「過ちや欠点を直す場合」だけでなく、「個人や集団の行動や行為を改める場合」にも使われる。上記の例文の“改正”は日本語の「改める」「正す」で対応することができる。

③思想や考えなどを改める場合

○我现在还是要提醒你，必须立刻想一想自己跟党的关系，坚决改正自己的错误思想才行。（すぐに自分と党の関係を考え、断固として自分の誤った考え方を改めなければならないと、今あなたに注意する。）

○胡文玉越来越叫人担心，怎样才能把他的思想改正过来呢？（胡文玉のことがますます心配になる。どうやって彼の考えを改められるだろうか。）

○他要求广大盟员加强团结，彻底改正一切由个人出发的想法，从而担负起时代赋予的任务。（団結を強化し、徹底的に個人主義の考えを改め、そうすることによって時代の使命を担おうと、彼は多くのメンバーに呼びかけた。）

○我觉得这个观念应该改正。（私はこの考え方を改めるべきだと思う。）

上記の例文は“思想”“想法”“观念”など個人や集団の思想や考えを改めることを表す。日本語の「改正」はそのような場合には使われないため、「改める」で対応することができる。

④態度や仕事のやり方などを改める場合

○金全礼见老周他们改正了态度，也就没和他们再计较，反倒怪自己刚才发火太小家子气。（周さんらが態度を改めたので、金全礼は彼らとはそれ以上言い争わず、かえってさっき腹を立てたのを気が小さいのだと後ろめたく思った。）

○这是我的不对，今后我不会那样了，我要改正一向对你的态度。（私が悪かった。今後そのようにはしません。これまでの態度を正します。）

○我们要提高认识，改正态度。（私達は認識を高め、態度を正さなければならない。）

○以改正作风、增强团结为重点，提高科学决策、民主决策、依法决策的能力。（仕事のやり方を正し、団結を強めることに重きを置き、科学的且つ民主的な政策決定、法律による政策決定の能力を高める。）

上記の例文は“態度”“作风”など個人や集団の態度、仕事のやり方を改め

ることを表す。意味③「思想や考えなどを改める場合」と、意味④「態度や仕事のやり方などを改める場合」が異なるのは、意味③は個人や集団の心にある内面的なものであるのに対して、意味④は人の顔や行動などに表れる表面的なものを指す。日本語の「改正」はこの場合にも使われないため、「正す」「改める」で対応する。また、中国語では、“改变态度”“改变作风”ともよく用いられるが、その態度ややり方に必ずしも過ちなどが存在するわけではなく、ただこれまでの態度ややり方を変えることを示す。これに対して、“改正态度”“改正作风”は過ちなどがあるため、その態度ややり方を改めるということであり、“改正”と“改变”は意味的に大きく異なっている。

結語

本節では、中国語の“改正”と日本語の「改正」の意味的相違について考察した。その主たる相違は次のようにまとめられる。

(1)「共起する語の異なりによる両言語の相違」について、中国語の“改正”と日本語の「改正」は何かを改めるという意味においては両者の共通点が見られるが、使われる場合が相当異なる。日本語では、「改正」と共起するのは「憲法」「銀行法」など法律や法規などの表現である。それに対して、中国語の“改正”は個人や集団が犯した過ち、または個人や集団の行動、思想、考え、さらにその態度、やり方などを示す語が共起する。その改められる対象がかなり異なるため、漢字同形語で対応することができない。日本語の「改正」は中国語で“修改”と訳され、中国語の“改正”は「改める」「正す」「直す」などと訳される。

(2)「中国語と日本語にみられる慣習的な表現による両言語の用い方の相違」について、日本語では「憲法改正」「銀行法改正」など慣習的な表現としてよく使われるが、中国語の“改正”には見られない用法である。この場合、中国

語では“修改宪法”“修改银行法”のように“修改”が用いられる。

日本語の「改正」と「改定」は類似する意味として使われるが、①改められる対象、②改められる対象の性質、③対象を改める目的という三点から考察してみると、両者は意味的には相当異なることが分かる。

(3)中国語の“改正”と日本語の「改正」に関する辞書的解釈の問題点について、『日中辞典 小学館』と《详解日汉辞典》ではいずれも語釈が曖昧であるため、学習者が日本語の「改正」の意味や用法を的確に把握するのは困難である。

「法律、規則、規約などの不適當な点や不備な点を改めること」(『明鏡 国語辞典』)のように、その改める対象や内容をはっきりと明記しなければならない。

第3節 中国語の“深刻”と日本語の「深刻」の意味的相違

本節では中国語の“深刻”と日本語の「深刻」の意味的相違について考察する。中国語の“深刻”と日本語の「深刻」は「深刻な環境問題」（严重的环境问题）、「深刻な状態」（严峻的状态）のように、日本語の「深刻」は中国語の“深刻”と意味や用法が完全に異なるため、両者は意味領域の関係において【第2パターン】の<第2類>に属する。

(1) 中国語における“深刻”の使い方と日本語訳の特徴

○巴黎之行给他留下了最深刻的印象。（パリの旅は彼に最も深い印象を残した。）

○这一系列改革，使农村经济发生了深刻的变化，农业生产连续几年获得丰收。（この一連の改革によって、農村の経済には大きな変化が起き、農業はここ数年にわたり、大豊作の連続だった。）

以上のように、中国語の“深刻”は日本語の「深い」「大きい」で対応し、日本語に訳す場合、いずれも「深刻」が用いられない。

中国語の“深刻”はいつ頃から使われ始めたのか、古代中国語ではどのような意味として使われていたのか、《古汉语大词典》、《辞海》では下記のように解釈している。

①镂刻得很深（深く刻み込む）。王恪の詩《石鼓》に、“当日岐阳猎火红，大书深刻配《车攻》。”（当日岐陽で狩猟が楽しく行われ、篆書が深く刻み込まれ、《車攻》に組み合わせる）とある。②严峻苛刻（厳しい）。《汉书・食货志上》に“刑罚深刻，它政悖乱。”（刑罚は厳しいが、他の政策は乱れている）とあり、《后汉书・光武帝纪》に“狱多冤人，用刑深刻。”（投獄された多くの人は無実

の罪を着せられ、厳しい拷問にかけられた)とあり、唐李翰の詩《蒙求》に“张汤巧詆，杜周深刻。”（張湯は口がうまいが、杜周は厳しい）とある。

しかし、宋の惠洪が著した《冷斋夜话・诗忌深刻》に、“鲁直罪余于诗深刻见骨，不务含蓄”（魯直は私の詩に表現がストレートで含みがないと不評を呈した）とあり、「物事をストレートに表現し、含みがない」という意味を示す。

また、《南史・循吏传・郭祖深》にも、“又言‘庐陵年少，不宜镇襄阳；左僕射王暕在丧，被起为吴郡，曾无辞让。’其言深刻”（彼は、また「庐陵は年が若く、襄陽守の座には適しない。左僕射の王暕は葬に服した間、呉郡守に任命され、辞さなかった」と言った。その言葉は意味深い）とあり、さらに明朝の楊慎が著した《升庵诗话卷十一》にも、“搜眼前景而深刻思之”（眼前の風景を眺め深く考える）とあった。これらの“深刻”は「物事や問題の本質に触れている」という意味を示す。

古代中国語の“深刻”の辞書的解釈を踏まえながら、“深刻”の解釈は①深く刻み込む、②厳しい、③物事をストレートに表現し、含みがない、④物事や問題の本質に触れている、とまとめることができよう。

“深刻”は現代中国語でどのように用いられているのかに関して、《现代汉语词典》や『中日辞典 小学館』を調べた。①达到事物或问题的本质的（物事や問題の本質に触れている）、深刻剖析（深く分析する）、这篇文章内容深刻，见解精辟（この文章は内容が奥深く、見方が透徹している）、②内心感受程度很深的（心に深く刻み込まれている）、印象深刻（印象が深い）、深刻的体会（身にしみる体験）、とある。

上記の語釈をみると、現代中国語の“深刻”は意味領域がかなり縮小し、古代中国語の“深刻”の持つ意味①、意味②、意味③が無くなり、意味④だけが現代中国語に受け継がれ、そして意味④からまた「心に深く刻み込まれている」という意味が派生したと見られる。

次に中国語の“深刻”が形容詞として他の語を修飾する場合、その被修飾語にどのような語が現れるかを分析する。筆者は《CCL 语料库检索系统》を利用し、収集した用例に基づき、下記のように分類することを試みた。

① 人間の理性的思考などを示す語

中国語の“深刻”には人間の理性的思考などを示す動詞を修飾するケースと名詞を修飾するケースが見られる。まず動詞を修飾するケースの例を見てみる。

○他从政治和经济两个角度深刻地分析了国际形势。（彼は政治と経済の二つの視点から国際情勢を深く／掘り下げて分析した。）

○过去他从没有如此深刻地思考过这个问题。（彼はこれまでにこの問題を深く考えたことがない。）

○他深刻地洞察了当时美国社会中的一切弊端固疾，作出了种种惊人举动。（彼は当時のアメリカ社会のすべての弊害を鋭く洞察し、人々を驚かせるほど様々な行動を取った。）

中国語の“深刻”は“分析”（分析する）、“思考”（思考する、深く考える）、“洞察”（洞察する）、“观察”（観察する）、“剖析”（分析する）、“研究”（研究する）など、人間の理性的思考を示す動詞を修飾する場合によく使われる。この場合、通常【深刻＋（地）＋動詞】という形を取る。しかし、中国語では上記に挙げられた“分析”、“研究”などの動詞は名詞としても使われ、【深刻＋的＋名詞】という形で“深刻”に修飾される。下記の例がそれである。

○对于这种社会现象，作了极为深刻的分析。（彼はこのような社会的現象を深く分析した。）

○同时，他还收集了近 30 年世界上发生的大事记，做了详细深刻的研究。（同時に、彼はまたここ 30 年間に世界で起こった主な出来事を収集し、細かく深く研究を行った。）

○要做到这一点，需要深刻的观察、正确的判断、恰当的方法。（これを成し

遂げるには、注意深く観察すること、正しく判断すること、また適切な方法が必要だ。)

上記の例文における“分析”“研究”“观察”は、人間の理性的思考を示す名詞であり、“深刻”はこれらの名詞を修飾している。しかし、日本語では「深い観察／研究／分析」のように直接名詞を修飾する用法は多くなく、「深く」と対応する点において中国語との相違が窺える。上記の例のように、人間の理性的思考などを示す動詞と名詞を修飾する“深刻”は、日本語では「深く」「注意深く」「鋭く」などで対応する。

② よくない事柄や出来事を批判したり摘発したりすることを示す語

次によくない事柄や出来事などを批判したり摘発したりすることを示す動詞と名詞を修飾する中国語の“深刻”の日本語訳を考える。

○作者巧妙而深刻地嘲讽了女主人公爱慕虚荣、追求享乐的思想。(作者は、女性ヒロインの虚栄心と享乐的態度を巧みに鋭く風刺した。)

○此漫画，深刻地讽刺了这种社会现象。(この諷刺画は、このような社会的現象を鋭く風刺した。)

○他在本书中深刻地批判了贵族政体和君主政体，认为二者都是有害的制度。(彼はその本で貴族の体制と君主の体制を厳しく批判し、両者とも有害な制度であると考えている。)

中国語の“深刻”は“嘲讽”(風刺する、あざける)、“讽刺”(風刺する、皮肉を言う)、“批判”(批判する、論駁する)、“驳斥”(過ちを指弾して反駁する)、“揭露”(あばき出す、指摘する)、“揭发”(摘発する)など、物事にマイナス評価を下し、批判したり摘発したりすることを表す動詞を修飾する場合によく使われる。これらの動詞が示す動作の対象は“追求享乐的思想”(享乐的態度)、“毒害”(害毒)、“阴暗面”(＜思想・生活・社会の＞暗黒面)、“弊端”(不正行

為、弊害)、“罪惡”(罪惡、罪)、“暴行”(暴行、殘虐な行為)などのようなマイナス評価のイメージを持つ事柄を指すことが多い。また上記の動詞が名詞としても使われ、“深刻”に修飾されることがある。下記の例がそれである。

○随后，他又对这种盲动思想做了深刻的批判。(それから、彼はまたこのような軽率な考えを強く批判した。)

○他们也对官僚主义进行了深刻的讽刺。(彼らも官僚主義を辛辣に風刺した。)

○这部小说对这些社会弊病作了很深刻的揭露。(この小説は、そのような社会的弊害を鋭く暴露している。)

上記の例における“批判”、“讽刺”、“揭露”は名詞として用いられ、“深刻”に修飾されている。中国語の“深刻”はこの類に使われる動詞と名詞を修飾する場合、日本語の「深刻」では対応できず、通常「鋭く」「厳しく」「強く」「辛辣に」のような表現で対応する。

③ 物事に対する見方や考え方を述べたりすることを示す語

次に物事に対する見方や考え方を述べたりすることを示す語を修飾する中国語の“深刻”の例を見てみる。

○他在讲话中深刻地阐述了中国政府的基本观点和原则立场。(彼は演説で中国政府の基本的な考え方及び原則的立場をきちんと述べた。)

○这篇文章深刻地阐明了制度建设的重要性。(この文章は、制度構築の重要性をきちんと述べた。)

○诗人杜甫用形象化的语言深刻地概括了这时的社会矛盾。(詩人・杜甫は、生き生きとした表現で当時の社会的な矛盾をきちんとまとめた。)

中国語の“深刻”は“阐述”(詳しく述べる)、“阐明”(明らかにする)、“阐释”(詳しく解釈する)、“论述”(論述する)、“解释”(解釈する)、“指出”(指摘する)、“介绍”(紹介する)、“诠释”(説明する)、“概括”(概括する、総括

する)、“总结”(まとめる、総括する)のような、何かの手段によって、物事に対する見方や考え方を述べたりすることを示す動詞を修飾する。それらの動詞の表す動作の対象は“基本观点”(基本的な考え方)、“原则立场”(原則的立場)、“忧国伤时的心情”(国の現状や時局を心配する気持ち)、“长处和短处”(長所と短所)、“辩证关系”(弁証法的関係)などが多い。また、上記の一部の動詞は名詞としても使われ、“深刻”に修飾される。下記の例がそれである。

○对于怎样处理好经济建设和人民生活的关系这个重大问题，他在这一时期也已经有正确而深刻的论述。(経済建設と国民生活の関係というこの重大な問題をどううまく解決するかについて、彼はこの時期にすでに正しくきちんとした論述をしていた。)

○现今报章杂志上泛滥着煞有介事貌似深刻的讨论分析流行音乐的文章。(このごろ、新聞や雑誌では、流行している音楽に関し、もっともらしくきちんとした議論や分析のように見せかける文章が氾濫している。)

○“时间就是金钱”，这句话在这方面也得到了深刻的诠释。(「時は金なり」、この言葉はこの分野においてもはっきりと証明された。)

上記の例における“论述”(論述)、“讨论”(議論、検討)、“诠释”(証明、説明)は名詞として使われ、“深刻”に修飾されている。この類に使われる動詞と名詞を修飾する“深刻”は、日本語では通常「はっきりと<した>」「きちんとかした>」などで対応する。

④ 何かに気づいたり、何かが分かったりすることを表す語

中国語の“深刻”は、何かに気づいたり、何かが分かったりすることを表す動詞と名詞を修飾する。次にその例を見てみる。

○人们越来越深刻地认识到，在发展经济的同时，必须把社会发展摆在重要的位置。(人々は経済を発展させると同時に、社会の発展も重要視しなければな

らないことを次第に深く認識してきた。)

○包括彩电业在内的中国企业应该更深刻地意识到:企业要靠竞争力、而不是靠价格来赢得国际市场的份额。(カラーテレビ業界を含めた中国企業は、価格ではなく、競争力によって国際市場のシェアを拡大すべきだということをよく／強く認識しなければならない。)

○这件事使黄学敏更加深刻地体会到知识的价值。(このことで、黄学敏に知識の価値をいっそう深く理解させた。)

中国語の“深刻”は“认识”(認識する)、“感受”(感じる、体験する)、“感到”(感じる、思う)、“看到”(見える)、“了解”(了解する、理解する、分かる)、“体会”(理解する、体得する)、“体味”(体得する、味得する)、“意识”(意識する、気づく、認識する)、“把握”(把握する、とらえる)、“领略”(味わう、初めて知る)、“领会”(理解する、把握する)、“领悟”(悟る、分かる)、“理解”(理解する、分かる)、“懂得”(理解する、分かる)など、人々が行う理性的思考活動の結果を示すものである。また、上記の一部の語は動詞だけでなく、名詞としても使われ、“深刻”に修飾される。下記の例がそれである。

○可见中国古代对于数学的功用，已有相当深刻的认识。(古代中国は、数学の働きについて、すでに非常に深い認識を持っていた。)

○科学家对自身戮力的事业，有最深刻的体会。(科学者は、自分自身が全力で取り組んだ研究を最もよく理解している。)

○通过 10 多年的钻研，他对古老的徽剧有了深刻的理解和深厚的感情。(10 年余りの研究を通じて、彼は長い歴史を持つ徽劇に対し、深い理解と愛着を抱くようになった。)

上記の例における“认识”“体会”“理解”は名詞として使われ、“深刻”に修飾されている。この類に使われる動詞と名詞を修飾する“深刻”は、日本語では通常「深く／深い」「強く」「良く」と対応する。

⑤ 熟考した結果、後悔したり反省したりすることを表す語

次に熟考した結果、後悔したり反省したりすることを表す語を修飾する中国語の“深刻”の例を見てみる。

○他们在探寻沿海起飞秘诀的同时，也在深刻地反省自身。（彼らは沿岸地域における経済発展の秘訣を探し求め、同時に自分達のことについても深く反省している。）

○只有认真记取历史教训，深刻忏悔侵略罪行，坚持走和平发展的道路，才能赢得亚洲各国和国际社会的信任。（真剣に歴史的教訓を肝に銘じ、侵略の罪を深く懺悔し、平和的発展の道を歩み続けることにより、アジア諸国と国際社会の信頼を勝ち取ることができる。）

○你自己拿去好好学习，深刻地反思一下。（これを持ち帰ってよく勉強し、深く反省しなさい。）

中国語の“深刻”は“反省”（反省する），“忏悔”（懺悔する），“反思”（改めて考える、反省する），“检讨”（自己批判をする、反省する），“醒悟”（目覚める、悟る）など、人々が熟考した結果、後悔したり反省したりすることを示す動詞を修飾する。過去の自分の行為などに批判的評価を下すという点において、④の用法とは大きく異なる。

この⑤の用法に使われる動詞を修飾する“深刻”は、日本語では通常「深く」と対応する。日本語では失望する、お詫びすることを示す場合にも、「深く失望する」「深くお詫びする」のように「深く」を用いる。

⑥ 物事を変えたり、物事が変化したりすることを示す語

中国語の“深刻”は物事を変えたり、物事が変化したりすることを示す動詞と名詞を修飾する。まず動詞を修飾する例を見てみる。

○其实，起始于农村、持续 17 年的经济改革已经深刻地改变了中国农民的精神面貌。（実は、農村で始まって 17 年間も続いたこの経済改革は、すでに中国の農民の姿を大きく変えた。）

○形势将迫使出版商全面而深刻地改革经营方式和革新印刷技术。（この情勢により、出版会社は経営の方法を全面的かつ大幅に改革し、印刷技術を革新しなければならないだろう。）

○这场轰轰烈烈的学术革命持续二十年之久，深刻改造了美国文学批评的内容与方法。（この大規模な学術的革命は 20 年も続き、アメリカにおける文学批判の内容と方法を大きく変えた。）

中国語の“深刻”は“改变”（変える、変更する）、“改革”（改革する、革新する）、“改造”（変える、改善する）など、物事を変えたりすることを示す動詞を修飾する。その動詞が表す動作の対象は“命运”（命運）、“面貌”（様相、状態）、“经营方式”（経営方式）、“印刷技术”（印刷技術）などが多い。

○他认为，从 80 年代初以来，中国的社会结构开始了深刻的转型。（彼は、80 年代の初め以降、中国の社会構造が大きく変化してきていると感じている。）

○冷战结束后，国际关系，尤其是大国关系正处在深刻的调整之中。（冷戦終結後、国際関係、特に大国間の関係は大幅に調整されている状態にある。）

○股票市场的出现标志着我国的投资体制正经历着深刻的变革。（株市場の誕生は、我が国の投資体制に大幅な変革が起きていることを示している。）

上記の例のように中国語の“深刻”は“变化”（変化）、“变革”（変革）、“变动”（変動、変化）、“转变”（転換）、“转型”（変化）など物事の変化を示す名詞を修飾する。また“社会变革”（社会の変革）、“经济转型”（経済を成長させる方法の変化）、“社会变动”（社会の変動）、“历史变动”（歴史の変動）、“思想变化”（思想の変化）、“革命性变化”（革命的变化）、“观念变迁”（意識の移り変わり）、“思想变革”（思想の変革）、“土地改革运动”（農地改革運動）などの

ような名詞を伴う複合語を修飾することも多い。この⑥の用法に使われる動詞と名詞を修飾する“深刻”は、日本語では通常「大きく」「大幅に／大幅な」で対応することが多い。

⑦ 物事が変化するように働きかけることなどを示す語

中国語の“深刻”は、物事が変化するように働きかけたりすることを示す語を修飾することができる。次にそれに対応する日本語訳を考える。

○农村农民的收入远远赶不上城市，城市的消费观念却在深刻地影响着农村。
(農村部の人々の収入は、都市部にはるかに及ばないが、都市部の消費志向は農村部に強く影響を及ぼしている。)

○这些状况深刻地左右着经济体制的选择和经济目标的取舍。(これらの状況は、経済システムの選択と経済目標の取捨を大きく左右する。)

○政府提出的口号深刻地冲击了在部分领导干部头脑中长期存在的满足现状、自我感觉良好的情绪。(政府が掲げたスローガンは、一部の指導幹部が長い間持ち続けていた現状に満足し、自己陶醉していた感覚に強い衝撃を与えた。)

この⑦の用法に使われるのは“影响”(影響する、影響を及ぼす)、“左右”(左右する、支配する)、“冲击”(衝撃を与える、ぶつかる)など、物事が変化するように働きかける動詞である。物事の状態や様子を質的には変えないという点においては、⑥の用法とは異なる。その動詞が表す動作の対象は“变化”(変化)、“发展”(発展、成長)、“今天”(今日、現在)、“进程”(過程、プロセス)、“变革”(変革)など物事の現状や移り変わりを意味する語が多く見られる。この類に使われる動詞を修飾する“深刻”は、日本語では通常「大きく」「強く／強い」と対応する。

⑧ 心を揺り動かしたり刺激したりすることを表す語

中国語の“深刻”は、心を揺り動かしたり刺激したりすることを表す語を修飾する。

○他们的命运深刻地触动我的思考、认识。（彼らの運命は私の考え、認識に深く触れた。）

○我惊愕地看着他，没想到这两天的旅程如此深刻地震撼了这小小的人。（私は驚いて彼を見た。この2日間の旅がこれほど、この幼い子の心を大きく揺り動かしたとは思わなかった。）

○贫穷，从来没有像今天这样尖利而深刻地刺痛着王思明。（貧しさが、これほど王思明の胸を鋭く、深く痛めつけたことはこれまでにはなかった。）

上記の例のように、中国語の“深刻”は“触动”（触れる、<心を>打つ）、“震撼”（揺すり動かす、震撼する）、“刺痛”（痛めつける、衝撃を与える）など、心を揺り動かしたり刺激したりすることを表す動詞を修飾する。日本語では、通常「深く」「大きく」と対応する。

⑨ 物事の道理などを分からせることを示す語

次に物事の道理などを分からせることを示す語を修飾する中国語の“深刻”の例を考えてみよう。

○它深刻地启示我们，通向未来的道路并非都是铺满鲜花和地毯，而是荆棘丛生，充满曲折和斗争。（それは、未来への道は決してきれいな花やじゅうたんに覆われる道ではなく、いばらが生い茂り、曲折と闘争に満ちている道であることを奥深く諭し示してくれた。）

○这场话剧深刻地教育了广大观众。（この劇で、多くの観客に深い／苦い教訓を与えた。）

○这一系列事件再次深刻地告诫我们，领导干部必须树立正确的人生观和价值观。（この一連の出来事は、指導者は正しい人生観と価値感を持たなければな

らないことを、改めて強く教えてくれた。)

この⑨の用法に使われる動詞は“告誡”(戒める、訓戒を与える)、“启示”(諭し示す、啓示する)、“教育”(教育する、教訓を与える)、“启发”(啓発する、示唆する)などのような、物事の道理などを分からせることを示す語である。この類に使われる動詞を修飾する“深刻”は通常、日本語では「奥深く」「強く」「深い」と対応する。

⑩ 人や物事を描いたりすることを示す語

中国語の“深刻”は、何かの手段で人や物事を描写することを示す語を修飾するが、それに対応する日本語訳を次に検討する。

○他用质朴的语言深刻地描绘时代的变迁,文字中浸润着一种深沉的凝重感。(彼は、素朴な言葉で時代の変遷を奥深く描写し、その文章からは厳かで重々しいものが感じられる。)

○这诗确实立刻吸引住这些年轻的人们,因为它也把他们当时的心情深刻地刻画出来了。(確かに、この詩はすぐにこれらの若者の心を引き付けた。彼らの当時の気持ちをうまく描いていたからだ。)

○作家们从自己最了解的地区来深刻地描写社会。(作家達は自分が最もよく知っている地域から世の中の様子を細かく描いた。)

この⑩の用法に使われる動詞は“描绘”(描写する、描く)、“刻画”(描写する、浮き彫りにする)、“描写”(描写する、描く)、“塑造”(描き出す)などのような、言葉や絵などの手段によって人や物事を描いたりすることを示す語である。その動詞が示す動作の対象は“时代变迁”(時代の移り変わり)、“精神风貌”(人間の風貌、風采)、“心态”(心理状態)、“人物”(人物)など人や物事が多く見られる。これらの動詞を修飾する“深刻”は、通常日本語の「深く」「奥深く」「うまく」「細かく」で対応する。

⑪ 「反映する」、「表明する」、「表す」という意味を示す語

中国語の“深刻”は物事を明らかにしたり裏付けたりすることを示す語をも修飾することができる。

○通过对一系列生活细节的巧妙捕捉，作品深刻地再现了我们时代的这种特征。（一連の生活の細部を巧みに捉えることによって、この作品は私達の時代の特徴をはっきりと再現している。）

○它深刻地体现了市场经济体制的质量意识与管理思想。（それは、市場経済システムにおける品質に対する意識や管理の理念をはっきりと表した。）

○从这个角度说，这部作品深刻地展示了中华儒家文化的悲剧。（この角度から見れば、この作品は中国儒家文化の悲劇を深く示していると言える。）

この⑪の用法に使われる動詞は“再現”（再現する）、“体现”（体现する、具体的に表す）、“展示”（示す）、“表现”（表現する、表す）、“表达”（表現する、言い表す）、“表明”（表明する、はっきりと表す）、“揭示”（指摘してはっきり示す）、“印证”（裏付ける）、“反映”（反映する）など、目の前に見えない物事、知らない物事を現したり裏付けたりすることを示す語である。その動詞が表す動作の対象は“地方特色”（地元の特色）、“时代特征”（時代の特徴）、“问题”（問題）、“本质”（本質）、“社会现实”（社会的現実）など抽象的な物事が多い。これらの動詞を修飾する“深刻”は、日本語では通常「はっきりと」「深く」と対応する。

⑫ 何かに融け込んだりくっ付いたりすることを示す語

中国語では、何かに融け込んだりくっ付いたりすることを示す語は、“深刻”によって修飾されることがある。

○境外资本和境外人士将日益广泛而深刻地融入中国的经济和社会。（海外資

本と外国人は日増しに広く且つ深く中国の経済と社会に溶け込んでいく。)

○这一强烈的招商意识今天已越来越深刻地渗透到开发区人的思维和行动中。

(この強い企業誘致の意欲は、現在では開発区の人々の考えや行動に次第に深く染み込みつつある。)

この⑫の用法に使われる動詞は“融入”(溶け込む)、“渗入”(染み込む、入り込む)、“嵌入”(はめ込む)、“渗透”(染み込む、浸入する)、“记在”(～に記す)、“留在”(～に残す<残る>)、“印在”(～に印をつける)などのような、“入”、“在”を伴う語が多く、何かに溶け込んだりくっ付いたりすることを示す。その動詞が表す対象は“中国的经济和社会”(中国の経済と社会)、“我们的思维之中”(私達の頭の中)、“心中”(心中、心の中)、“脑海里”(頭の中、脳裏)など、抽象的な場所を示す表現が多く見られる。このような動詞を修飾する“深刻”は、通常日本語の「深く」で対応する。

⑬ ある物事や状態が生じるもとになる事柄などを示す語

次にある物事や状態が生じるもとになる事柄などを示す語を修飾する中国語の“深刻”の例をしてみる。

○这项活动持续了这么长时间，而且参与者日渐其众，有着深刻的原因。(このイベントがこんなに長く続けられ、その上、参加者が日に日に増えることには、大きな理由がある。)

○在经济全球化背景下，反倾销的频频使用，有着深刻的背景。(経済のグローバル化という状況の下で、アンチダンピング関税措置が頻繁に講じられることには、複雑な背景がある。)

○这与美国人崇拜英雄的价值观念有着深刻的联系。(これはアメリカ人の英雄崇拜の価値観と密接に関係している。)

この⑬の用法に使われる語は“原因”(原因)、“根源”(根源、根本原因)、“背

景”（背景）、“联系”（関係、つながり）など、ある物事や状態が生じるものとなる事柄などを示す名詞である。そのほかに、これらの語を伴う複合語に、“国际国内原因”（国内外の原因）、“社会原因”（社会の原因）、“外部原因”（外部の原因）、“历史根源”（歴史の根源）、“社会根源”（社会の根源）、“内在联系”（内在的連係）、“儒家文化背景”（儒教文化の背景）、“政治背景”（政治的背景）などが多く見られる。これらの名詞を修飾する“深刻”は、日本語では通常「大きな」「複雑な」「密接なくに>」と対応する。

⑭ 思惟・思考活動から得られた認識、考えなどを示す語

中国語では、思惟・思考活動から得られた認識、考えなどを示す語は、“深刻”に修飾されるが、この場合に使われる“深刻”に対応する日本語訳を検討する。

○这些深刻的哲理影响了他的一生。（この人生に関する奥深い教えは彼の一生に影響を与えた。）

○只有正视历史，从中吸取深刻的教训，才能避免历史的悲剧重演。（歴史を直視し、そこから大事な教訓を汲み取り、歴史的悲劇が二度と起こらないようにするのだ。）

○这场巨大的灾难给正在建设小康社会的中国带来深刻的警示。（この大規模な災害は、小康社会<ゆとりのある生活ができる社会>の実現を目指している中国に厳しい警告を鳴らした。）

この⑭の用法に使われる名詞には、“学说”（学説）、“哲理”（哲理）、“道理”（道理、筋道）、“教训”（教訓）、“警示”（警め）、“思想”（思想、考え）など、思惟・思考活動から得られた認識、考えなどを示す語がある。また、上記の言葉のほかに、“思想内容”（思考内容）、“教育内容”（教育の内容）、“科学道理”（科学的理論）、“市场观”（市場に関する思考）、“竞争观”（競争に関する考え）

などが見られる。この類に使われる名詞を修飾する“深刻”は、日本語では通常「奥深い」「大事」「厳しい」などで対応する。

⑮ 含まれていること、また含まれている意味や意義を示す語

中国語の“深刻”は、物事に含まれていること、また含まれている意味や意義を示す語をも修飾することができる。下記の例がそれである。

○经过思索就会感到其中有普遍而深刻的含义。(思索することによってこそ、その中に普遍的且つ深い意味が含まれていることが理解できる。)

○那精炼的话句，深刻的寓意，实非平庸之作可比拟。(その洗練された表現、その作品に含まれる深い意味は、本当にほかの凡庸な作品などとは比べ物にならない。)

○弄清事物的本质特征，最后才能概括出独特、深刻的新意。(物事の本質的特徴をはっきりさせることによって、最後にユニークで鋭い新たな見解をまとめることができる。)

この⑮の用法に使われるのは、“含意”（含まれている意味）、“寓意”（寓されている意味）、“新意”（新しい意味）、“意义”（意味、意義）、“内涵”（含み、含まれている意味）など、含まれている意味や意義などを示す名詞である。そのほかに、“社会意义”（社会的意義）、“现实意义”（現実的意義）、“历史意义”（歴史的意義）、“文化内涵”（文化的な含み）など“意义”“内涵”を伴う複合語も多く見られる。これらの名詞を修飾する“深刻”は、日本語では通常「深い」「鋭い」と対応する。

⑯ 人や物事に対する心持ちなどを示す語

中国語の“深刻”は、人や物事に対する心持ちなどを示す語を修飾する場合にも使われる。

○尤其是对英国殖民统治者表现了深刻的厌恶。（特にイギリスの植民地の統治者に対して強い嫌悪感を表した。）

○张华峰的话，也引起了秦守本对杨军更深刻的怀念。（張華峰の言葉によって、秦守本が抱く楊軍への懐かしい気持ちを一層強くした。）

この⑯の用法に使われるのは、“厌恶”（嫌悪感、反感）、“忧虑”（心配）、“怀念”（懐かしい気持ち）など、物事に対する心持ちなどを示す名詞である。これらの名詞を修飾する“深刻”は、日本語では「強い／強く」「深い」と対応する。

⑰ テーマ、本質などを示す語

○他的作品始终受到欢迎，最重要的原因是它们表现了深刻的主题。（彼の作品にずっと人気があった最も大きな理由は、意味深いテーマを扱っていたからである。）

○他既能把握事物丰富的现象，又能把握其深刻的本质。（彼は物事の様々な現象を捉えることができ、またその奥深い本質をとらえることができる。）

この⑰の用法に使われるのは“主题”（主題、テーマ）、“事实”（事実）、“本质”（本質）など、テーマや本質などを示す名詞である。これらの名詞を修飾する“深刻”は、日本語では「意味深い」「奥深い」「深い」と訳す。

以上の考察から分かるように、中国語の“深刻”は、上述の動詞と名詞を修飾し、日本語の「深い／深く」「大きい／大きく」「強い／強く」「奥深い」「はっきりと」「きちんと」など様々な言葉で対応する。

(2) 日本語における「深刻」の使い方及び中国語訳の特徴

次に日本語の「深刻」の使い方やその中国語訳の特徴について考える。

○これはかなり深刻な問題である。(这是一个相当严重的问题。)

○社長は深刻そうな顔でそう言った。(社长表情严肃地这样说道。)

上記の例で分かるように、日本語の「深刻」は中国語の“深刻”と完全に異なる。『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』(前掲書)の「深刻」の語釈では、①事態が非常に切迫して重大な様子、②非常に切迫した事態に心がとらわれている様子」、としている。

しかし、現在、日本語では日常によく使われる表現ではないものの、「深刻な描写」「深刻な思想」などの言い方が「考え、表現などが深いところにまで達するように工夫されている様子」という意味で用いられるが、上記の三冊の辞書の語釈には見られない。

例①. この肝心な数コマが白紙で蔽われていたことからしてみると、相当に深刻な描写があって人間の隠れた本能を呼び覚ますものがあるものと見える。

(从关键的数幅画面被白纸遮蔽这一点来看，似乎有些东西具有相当深刻的描写，能够唤醒人们潜在的本能。)

例②. ミュージックに深刻な思想など盛り込まれたら、楽しくないはずだ。

(如果在音乐里加入了深刻的思想，那肯定不会让人快乐的。)

上記の例①の「深刻な描写」の「深刻」は「深いところにまで達するようにその描写を工夫する」という意味であり、中国語では“深刻的描写”と対応することができる。また、例②の「深刻な思想」の「深刻」も「その思想が深いところにまで達するように工夫される」という意味であり、中国語では“深刻的思想”と対応できる。しかし、このような意味の「深刻」は、現代日本語では、ほとんど使われていない。『KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス』で検索したが、「深刻な描写」「深刻な思想」の例文は一例も抽出できなかった。

また、『大辞林』『広辞苑』には、「深刻」は上記の三つの意味のほかに、現代日本語ではほとんど用いられない「きわめて残忍なこと」という解釈も載っ

ているが、これは古代中国語の“深刻”の“严峻苛刻（厳しい）”という意味との繋がりと見られる。

中国語の“深刻”と同様に、日本語の「深刻」も形容詞（形容動詞）として用いられ、「深刻に」という形を持って動詞を飾る機能を有する。「深刻に」の後にどんな動詞が現れるか、筆者は『KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス』を利用し、例文を収集した。どんな語を修飾するのか、次のように分類することを試みる。

① 物事に対する人の思考や態度を示す動詞

○次は運転資金について検討しますが、しかしこれも、それほど深刻に考えることはない。（下面讨论周转资金的问题，但是，这个问题也没有必要想得那么严重。）

○これはえらいことになったなと非常に深刻に思いまして、私もかつて二年間だけ学校教員の経験がありますけれども、戦争直後の衣食住が極端に欠けておりましたその時代には、全然いじめというような問題はございませんでした。

（“这下可糟糕了！”我认识到这问题非常严重。我曾经担任过两年学校的老师，在战后不久那个衣食住都极端缺乏的年代，完全不存在欺凌低年级同学的问题。）

○そんなに深刻に捉えなくても大丈夫と思う。（我认为没必要看得那么严重。）

この①の用法に使われるのは「考える」、「思う」、「捉える」、「受ける」など、物事に対する人の思考や態度を示す動詞である。しかし、「深刻に受け止める」は上記の例とは異なり、「深刻な事として受け止める／痛切に感じる」という意味の表現になる。

② 物事に対する心配や憂慮を示す動詞

○自分とその家族の将来の問題について、深刻に悩む日が続いている。（对于自己和家人的未来，我每天都感觉情况严重而烦恼。）

○学校のいじめ問題につきましては、深刻に憂慮しておるところであります。
(对于校园欺凌问题，我感觉情况严重而忧虑。)

○彼はこの事態を深刻に心配しているのに、私と二人の五年生はニヤニヤです。
(他认为这情况很严重并且为此担忧，但我和另外两个五年级同学在一旁窃笑。)

この②の用法に使われる動詞に「悩む」、「心配する」、「憂慮する」、「後悔の臍を嘔む」などが多く見られる。この場合、「深刻」を中国語では“感觉情况严重”と対応することができる。

③ 事態の出現や変化を示す動詞

○日本も含む一部先進国での生活習慣病の問題が一層深刻になるだろう。
(包括日本在内的部分发达国家的“生活习惯病”问题将会更加严重。)

○あの海洋博の後のいろいろな倒産その他の問題が深刻に出ておるということを聞きまして、それに対する対策をいろいろ省内におきましても相談もいたしてまいったのであります。
(我听说自举办海洋博览会之后产生了严重的破产及其他的问题，为采取应对之策，部内也进行了讨论。)

この③の用法に使われる動詞に「出る」、「なる」などがある。この場合、「深刻」を中国語では“严重”と対応することができる。

④ 物事をよくない状態にしたり、物事がよくない状態に変化したりすることを示す動詞

○国の安全を深刻に脅かす者に対して市民権を剥奪する、テロを唱導するような過激な言論を禁止するといった新たな法的対応が行われている。
(采取了剥夺严重威胁国家安全者的公民权、禁止宣传恐怖主义的过激言论等新的法律应对措施。)

○隣国との関係がいっそう深刻に悪化した。(与邻国的关系更趋严重恶化。)

○どの分野においても、有能な人材が深刻に不足した。(在所有领域，有才能的人才都严重不足。)

この④の用法に使われる動詞に「脅かす」、「悪化する」、「侵害する」、「損なう」、「阻害する」、さらに「不足する」などが見られる。この場合、「深刻」を中国語では“严重”と対応することができる。

上記の①「物事に対する人の思考や態度を示す動詞」と②「物事に対する心配や憂慮を示す動詞」は同じく物事に対する人の思考や態度を示す動詞であるが、①の用法の動詞がニュートラルな語感を持つのに対して、②の用法の動詞はある事柄や事態に対し、心配したり悩んだりするというマイナスイメージを持つ心理状態を抱く点において大きく異なる。

また、同じように③「事態の出現や変化を示す動詞」はニュートラルな語感を持つのに対して、④「物事をよくない状態にしたり、物事がよくない状態に変化したりすることを示す動詞」はマイナス語感を持つ点において大きく異なる。

上記の①の用法と②の用法の動詞が後続する場合、「深刻」は意味②を表すが、③の用法と④の用法の動詞が後続する場合、「深刻」は意味①を表すのが特徴であることが分かる。

以上のように、日本語の「深刻」は様々な動詞を修飾する場合に用いられるが、中国語では通常“严重”“严峻”などと対応する。

日本語の「深刻」は形容詞（形容動詞）として「深刻な」という形で名詞を修飾する機能もある。「深刻な」の後にどんな名詞が現れるか、『KOTONOH A 現代日本語書き言葉均衡コーパス』を利用して調べたが、収集した用例の中で「深刻な」に後続する名詞の意味に基づき、九つのグループに分類した。詳しい内容は（注2）を参照されたい。

日本語の「深刻」は「問題」「危機」「困難」のようなマイナス評価の事柄と、「状態」、「局面」、「情勢」などニュートラルな語感の事柄を示す名詞を修飾する。その用例を見てみよう。

○今日、経済摩擦が極めて深刻な問題となり、殊に摩擦を起こしてはならないアメリカ合衆国との間に憂慮すべき状況が生まれている。（目前，经济摩擦成为非常严重的问题，与尤其不能引发摩擦的美国之间产生了令人忧虑的状况。）

○平成十年度を迎えても、日本経済はいまだに深刻な危機を脱し得ず、株価、為替の低迷が続いている。（虽然迎来了平成十年，但日本经济仍然没能摆脱严重的危机，股价及汇率依然低迷。）

○九三年をピークに虐待件数は減少しているが、深刻な状態であることには変わらない。（虐待事件的数量在九三年达到顶峰，之后逐渐减少，但仍处于严峻的状态。）

上記の例のように日本語の「深刻」は「問題」「危機」「状態」などのような語を修飾する。この場合の「深刻」は、中国語では“严重”“严峻”などと対応することが多い。

また日本語の「深刻」は表情などが現れた顔の様子、人間の思考活動や言語活動を示す名詞を修飾する。下記の例がそれである。

○彼は、急に深刻な表情を浮かべて腕組をした。（突然，他露出凝重的表情，将胳膊抱在胸前。）

○「どうしたの、深刻な顔しちゃって、アイちゃんらしくないぞ」西口さんは言った。（“怎么啦？这么严肃，可不像小爱啊！”西口说道。）

○やはり原子力についてはその安全性に深刻な疑問がある。（民众对原子能的安全性还是有严重的疑虑。）

日本語の「深刻」は「顔」「表情」「疑問」など、表情などが現れた顔の様子、人間の思考活動や言語活動を示す名詞を修飾する場合、中国語では通常“凝重”

“严肃”“严重”と訳す。

以上のように、日本語の「深刻」が動詞、名詞を修飾する場合の中国語訳を考えた。両者の意味が完全に異なるため、日本語の「深刻」を訳す場合、中国語では“深刻”ではなく、“严重”“感觉情况严重”“严峻”“凝重”など、他の言葉で対応する。

結語

本節では、【第2パターン】の<第2類>に属する例として、日本語の「深刻」及び中国語の“深刻”と共起する動詞や名詞の違いについて、また両者の意味や用法の特徴及び訳語の特徴についても考察した。

中国語の“深刻”と日本語の「深刻」は意味が完全に異なるため、置き換えることができない。中国語の“深刻”はプラス評価の意味として、またニュートラルな意味として用いられるのに対して、日本語の「深刻」はマイナス評価の意味が強い。中国語の“深刻”は、日本語では「意味深い」「奥深い」「深い／深く」「大きい／大きく」「強い／強く」「はっきりと」「きちんと」などで対応することが必要とされる。

中国語の“深刻”と日本語の「深刻」の意味的相違をまとめると、次のようになる。

中国語の“深刻”と日本語の「深刻」の意味的相違

深刻 (中国語)	意味	深刻 (日本語)
○	物事や問題の本質に触れている様子	×
○	心に深く刻み込まれている様子	×

×	事態が非常に切迫して重大な様子	○
×	非常に切迫した事態に心がとらわれている様子	○

日本語では「考える」「なる」「問題」「影響」などを「深刻」が修飾する。中国語においても“深刻”は同じ意味を示す語を修飾するため、日本語の「深刻」を中国語に訳す場合、間違いやすい。

問題を深刻に考える → × 深刻地考虑问题

○ 认为问题严重、认为问题严峻

深刻になる → × 变得深刻

○ 变得严峻

深刻な問題 → × 深刻的问题

○ 严重的问题

深刻な影響 → × 深刻的影响

○ 严重的影响

日本語の「深刻な影響」と中国語の“深刻的影响”とは意味が異なる。日本語の「深刻な影響」はマイナス評価であるが、中国語の“深刻的影响”はプラス評価となり、大きな影響やいい影響を指す。同じ形の表現であるため、特別に留意しなければならない。

また、日本語では「深刻」は「顔」「打撃」「悩む」「危機」「困難」などを修飾するが、中国語の“深刻”は通常、そう使わないため、日本語の「深刻」を中国語に訳す場合、工夫する必要がある。

深刻に悩む → 感觉情况严重而烦恼

深刻な顔 → 严肃的表情

深刻な打撃 → 严重的打击

深刻な危機 → 严重的危机

深刻な困難 → 重大的困难

上記の例のように、「悩む」、「顔」、「打撃」、「危機」、「困難」などを修飾する日本語の「深刻」を、中国語に訳す場合、“深刻地烦恼”、“深刻的表情”、“深刻的打击”、“深刻的危机”、“深刻的困难”とは言わず、それぞれ“感觉情况严重而烦恼”“严肃的表情”“严重的打击”“严重的危机”“重大的困难”と訳す。

《详解日汉辞典》では、「深刻」に関しては、“深刻、严重”と解釈されている。中国語の“深刻”は日本語の「深刻」とは完全に意味が異なるため、“深刻”を「深刻」と対応させては問題となる。また、同辞書には、「深刻」が持つ「非常に切迫した事態に心がとらわれている様子」という意味の解釈が欠けているため、大きな不備であると指摘しておきたい。

第4節 中国語の“人間”と日本語の「人間」の意味的相違

本節では中国語の“人間”と日本語の「人間」の意味的相違について考察する。日本語の「人間」は中国語の“人間”の意味と同じであるのか、日本語の「人間」と「人」との使い分けは何かについて考える。

中国語の“人間”と日本語の「人間」は意味が完全に異なるため、両者は意味領域の関係において【第2パターン】の<第2類>に属する。

下記の例を考えてみよう。

○彼は「自分はだめな人間だ」とか「自分は役に立たない、要らない人間だ」と思い込んでいる。(他自己一直认为“自己是个无能之辈”、“自己是个无用的、没有存在价值的人”。)

上記の例の「人間」は「ある性質を持つ人のこと」を指す。また、「人間関係」を中国語に訳す場合、“人际关系”、“人与人之间的关系”になる。この場合の「人間」は「人」を指すのではなく、「人間と人間」、或いは「人と人の間」と理解してよい。日本語の「人間」は「人」を意味するのか、それとも「人間と人間」を表すのか、日本語教育の現場で学習者からよく質問される。

また、「人的交流」という表現も日本語でよく使われる。下記の例がそれである。

○人的交流と経済貿易を通じた日中の協力が双方の利益の拡大に必要である。(通过人员交流和经济贸易推进的日中合作对于扩大双方的利益是必要的。)

○国交正常化を機に両国間の人的交流が進み、やがては良識ある両国民の手によって、真に平和で友好的な関係が構築されていくだろう。(两国间的人员交流以邦交正常化为契机不断推进，不久的将来，通过具有良知的两国人民的努力，将构筑起真正的和平友好的关系。)

この場合は「人との交流」と言うが、「人間交流」とは言わない。日本語の「人的交流」を中国語では“人員交流”と対応する。

一方、中国語の“人間天堂”（地上の楽園）、“人間仙境”（下界の仙境）、“人間烟火”（俗世の食べ物）、“天使在人间”（天使は世の中にいる）、“把真情和挚爱留在了人间”（真心と真摯な愛情を世の中に残した）の“人間”は、人間の住んでいるこの世のことを指す。下記の例を見てみよう。

○把钱骗到手中就“人間蒸发”的事件近年时有发生。（近年、相手からお金を騙し取ると、「蒸発」してしまう事件が時々発生している。）

○不少文库版图书一印再印，发行量惊人，如新潮文库《人間失格》、《友情》。（例えば新潮文庫の『人間失格』、『友情』のように、多くの文庫本は増版され、発行量が驚異的なものとなっている。）

○我没有看过《人间的证明》。（『人間の証明』という映画を見たことがない。）

近年、日本語の影響によって、“人間蒸发”、“人間失格”、“人间的证明”などの“人間”を伴う表現も増えてはいるが、まだ日本語的な「人間」の用法は完全に中国語に浸透しているとは言えない。

(1) 古代と現代における日本語と中国語の「人間」

古代及び現代における日本語の「人間」の意味及び用法について、『日本国語大辞典』『古語林』『古語辞典 旺文社』（前掲書）を調べた。日本語の「人間」における主たる解釈をまとめれば、次のようになる。

(1) (仏教語)「六道」の一つで、人間の住む世界、人間界、世の中を意味する。○人間のあだなるならひは、今更おどろくべきにはあらねども（『平家灌頂・六道之沙汰』）。(2) 人間界に住む人、ひとを意味する。○竹の園生の末葉まで人間の種ならぬぞやんごとなき（『徒然草・一』）がそれである。

「人間の世界」を示す場合、日本語では通常、「じんかん」と発音する。日

本語としてよく知られている「人間到る所青山あり」（人の住む世の中、どこに行っても墓場ぐらいはある。郷里を出て活躍すべきだ）、「人間万事塞翁が馬」（人生の吉凶や禍福の、転変極まりないこと）は、いずれも古代中国語“人間到处有青山”、“塞翁失马焉知非福”からきたものと見られる。

しかし、『広辞苑』『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』（前掲書）によれば、現代日本語では、「人間」は古代日本語の意味（1）は仏教用語として限られた場合にしか用いられていない。また、意味（2）は継承され、そこから新しい意味が派生した、という。その新しい意味及び用法は下記の通りである。

①〔他の人間と共に何らかのかかわりを持ちながら社会を構成し、何ほどかの寄与をすることが期待されるものとしての〕人。○役に立つ人間／人間の屑／人間の幅を広げる／真面目人間／仕事人間。②個人の性格や言動を総合して見た、他人とのかかわりの良さ、悪さ。○人間がいい／よくできた人間、とされている。

一方、中国語の“人間”は、古代中国語ではどのように使われていたのか、《辞海》《古汉语大词典》《汉语大词典》を調べた。その意味や用法の分類をまとめると、次のようになる。

(1) 人类社会（日本語の「人間社会」の意）を示す。

○聾則不能知雷霆之害，狂则不能免人間法令之祸。（耳が聞こえなければ、大きな雷の害を知らない。ほしいままに振る舞えば、人間社会の法律の懲罰を避けられない）
《韩非子・解老》

○凡人之生，群居杂处，故有经纪礼仪之相交接。汝独不欲修之，宁能高飞远走，不在人間邪？（人々が群れをなして生活するには、管理と礼儀が必要である。汝だけがそれを習いたくない。人間社会を離れ、高く飛び遠いところへ行けるものか）
《后汉书・卓茂传》

(2) 尘世；世俗社会（日本語の「俗世、世の中」の意）を示す。

○願弃人間事，欲從赤松子游耳。（世の中のことを捨て、神仙に従って天下を周遊する）
《史记・留侯世家》

○静念园林好，人間良可辞。（この庭園のすばらしさを味わい、俗世を離れても良いと思った）

晋陶潜《庚子岁五月中从都还阻风于规林》诗之二

(3) 民間（日本語の「民衆の中、民間」の意）を示す。

○普天率土，知朕隐在人間。（天下の人々はみな朕が民衆の中に隠棲していることを知っている）
《后汉书・王昌传》

○明帝（宋明帝）嫌帝（萧道成）非人臣相，而人間流言，帝当为天子，明帝愈以为疑。（宋明帝は萧道成が臣の面相ではないことが気に入らなかった。それに、民間に萧道成が天子になるという流言もあって、宋明帝は一層疑ってしまった）
《南史・齐高帝纪》

古代中国語と比較すれば、現代中国語における“人間”はその意味領域が縮小され、“人类社会”、“世间”（人間社会、世の中）の意味しか持っていない。通常、次のように使われる。

○传说耶稣受上帝派遣来到人間传道，创建基督教。（イエスが神により人間界へ派遣されて布教をし、キリスト教を創建したという。）

○他俩就这样一起生活了十二年，传为人間的佳话。（この二人はこのようにしてともに十二年間生活し、世の中の美談として伝えられている。）

○嫦娥因为一念之差，离开了人間，常驻在冷冷清清的月宫里。（嫦娥はちょっとした心得違いから人間界を離れ、ひっそりとした月の宮殿に閉じこもっていた。）

上記の例から分かるように、現代中国語の“人間”は、あの世や神の世界と異なって、人々が生活する場や空間を意味するものである。これは日常的に用いられている現代日本語の「人間」の意味とは異なる。つまり、現代中国語の

“人間”は「人間」のいる空間に重点が置かれているのに対して、現代日本語の「人間」は、「人間」そのもの、または「人間」が有している性格や行動の良さ・悪さを表し、両者は明らかに異なっている。

また現代中国語では、次のような熟語的な表現もよく使用される。“人間奇迹”（人間世界の奇跡）、“人間悲剧”（人間世界の悲劇）、“人間天堂”（地上の楽園）、“人間烟火”（俗世の食べ物）、“人間沧桑”（世の中の激しい移り変わり）、“人間万象”（世の中のあらゆるもの）、“人間至爱”（世の中の至愛）などの“人間”も、人々が生活する場や空間を意味するものである。

(2) 日本語の「人間」とその中国語訳

現代日本語と現代中国語の「人間」の使い方が完全に異なるため、日本語学習者と中国語学習者双方にとって、「人間」は難解な語の一つに挙げられる。次の例を見てみよう。

① 「役に立つ人間」

○名前が佐川ですから、宅急便のように呼ばれてすぐに来て、役に立つ人間です。（他名字叫佐川，所以就像宅急送那样一叫就来，是个有用的人。）

上記の「役に立つ人間」の場合、中国語では“有用的人”とは言えるが、“有用的人間”とは言わない。この場合、中国語では“人間”を使わない。

② 「人間の屑」

○きさまは変わったよ。俺よりひどい人間の屑だぜ。金のために奴らのために働くのか。（你变了！你是个人渣，比我更差劲！难道你就是为了钱、为了那帮家伙工作吗？）

上記の「人間の屑」の場合、中国語では“人渣”と言うが、“人間的渣”とは言わない。

③ 「人間がいい」

○本当に人間がいいものなら、その人間を騙そうとした私は、とんだ悪いことをしたことになる。(如果他人品很好，而我又想骗这个人，那我就是做了一件非常不好的事情。)

上記の例文における二つの「人間」の使い方が異なる。前者の「人間」は「人の品格、人品」という意味を示し、中国語では“人品”“品格”と言うが、後者の「人間」は「ひと」という意味である。中国語では“人間”を使わず、“人”と言う。

④ 「人間らしい」

○私は終戦以来はじめて、人間らしい暮らしを送ることが出来るようになった。(战争结束之后，我终于可以过上像个人样的生活了。)

日本語の「人間らしい」は中国語では“像个人样的”と言う。また「人間らしい人間」を中国語では“真正的人”と言う。

⑤ 「人間不信」

○人間不信になって、お金がさらに嫌になった。(我不相信任何人，并且更加厌恶金钱了。)

日本語の「人間不信」は中国語では“不相信任何人”と言う。

⑥ 「人間的／人間的に／人間的な」

○ここでは、磁石のように人をひきつける人間的魅力、いわゆる人格形成について学ぶ。(在这里，我们将学习如磁石般吸引人的人格魅力、即所谓的人格形成。)

上記の例文における「人間的」は「人間の性格、感情、行動などに関するさま。また、人間らしい知、情、意を豊に備えているさま」(『明鏡 国語辞典』)という意味であり、「人間的魅力」は中国語では“人格魅力”と言う。

○アルバイトをすると人間的に成長することができる。(如果课外打工的话，就能在为人处世方面成熟起来。)

○人間的にも、仕事の面もまだまだ未熟者ですが、これからも頑張っていけますので、宜しくお願い致します。(在做人方面、工作方面都尚未成熟，我要继续努力，请大家给予关照。)

○交際して1年になるAさんにプロポーズされている。Aさんは真面目で誠実で文句のつけようのない人で、人間的には尊敬もしていて大好きなのに、男性として好きになりきれず、結婚へも踏み出せず迷っている。(交往了1年的A桑正向我求婚，他是个正派诚实、无可挑剔的人，他的为人处世也让我尊敬、令我喜欢，但作为男性我却喜欢不起来，也不能与他走入婚姻生活，我正犹豫不决。)

○人間的な欠陥は少年時代に身についた偏見に起因する。(为人方面的缺陷归因于少年时期形成的偏见。)

上記の例の「人間的に」「人間的な」は、中国語の“做人方面”“为人处世”で対応する。下記の例を考えてみよう。

○それは喜びのない毎日を子どもに押しつける結果を招き、非人間的な行動に子どもを駆り立てることになる。(把毫无乐趣的生活强加在孩子身上，将导致孩子采取违背人性的行为。)

○この話は、動物が人間的な感情や思考をもって振る舞うことが多く、人間だった者が前世の悪のために牛になることもある。(在故事里，动物常常具备人类的情感、思考，而人类也会因为前世之恶化身为牛。)

上記の例における「非人間的」は中国語では“违背人性的”“非人性的”と言う。例②の「人間的な感情や思考」は人間が備えている感情や思考という意味である。「人間的な優しい心」も日本語でよく用いられる表現であるが、これは人間が持っている優しい心という意味を示し、中国語では“常人拥有的温情”と言う。

日本語の「人間的に」は人間としての性格・行動などに関する様子、「人間的な」は人間らしい性質・感情などがある様子を示す。自他に誠実で、明朗な性

格を持ち、度量が大きく、豊かな心の持ち主が「人間として出来ている人」「尊敬できる人」であり、中国語では“各方面都很成熟的人”“值得尊敬的人”と言う。

現代日本語の「人間」は使用頻度が高く、他の言葉と組み合わせられて様々な表現を作っている。「人間界」(人世)、「人間性」(人性、人的本性)、「人間味」(人情味)、「人間的」(作为一个人来说)、「人間らしい」(像个人样的)、「人間国宝」(被指定为无形文化财产的国宝级人物)、「人間嫌い」(不爱与人交际)、「人間くさい」(有生活气息的、有普通人的欲望情感的)、「人間関係」(人际关系)、「植物人間」(植物人)、「人間世界」(人世)、「人間模様」(错综复杂的人际关系)、「人間業(わざ)」(人力所及的)、「仕事人間」(工作狂)などがそれである。

上記の「人間界」、「人間世界」、「人間性」、「人間味」、「人間的」、「人間らしい」などの「人間」は、他の事物、動物と対比して「人類」を意味するものである。「植物人間」、「仕事人間」の「人間」は、何らかの側面、性質を有する人を意味する。「人間模様」の「人間」は、人間と人間との複雑な相互関係を意味する。「人間業(わざ)」の「人間」は人間の力を意味し、「人間国宝」の「人間」は、優れた高いランクの人を意味する。

また、日本語の「人間」を中国語に訳す場合、次のような特徴も見られる。

①日本語の「人間」は中国語に訳す場合、基本的には“人”で対応する。

○彼は児童の人権を守り、人間としての尊厳を守るための様々な努力をしてきた。(他一直做着各种努力去保护儿童的人权及作为人的尊严。)

○完璧な人間など存在しないのだから、優秀な人にも一つや二つの欠点はある。(没有完美的人，优秀的人身上也会存在一两个缺点。)

○地元の人間しか行かないところだ。(这是一处当地人才会去的地方。)

○しかも、私の妻もまた同じタイプの人間なので、家の中は暗澹たるムード

だった。（而且，我妻子也是同一类人，因此家中弥漫着暗淡的情绪。）

上記の例における「人間」は、中国語の“人”で対応する。また日本語では「人間失格（失去做人的资格）」「透明人間（透明人）」という表現もよく使われるが、この場合の「人間」も中国語では通常“人”と言う。

②動物や物事に対する人間を強調する場合、中国語では“人”或いは“人类”で対応することが多く見られる。

○このブームに乗り、犬型ロボットは人間の友達として浸透し始めた。（趁着这股热潮，犬型机器人作为人类的朋友开始进入人们的生活。）

○それのみが、人間社会に平和と平穩を回復させる精神の源だからです。（因为这才是恢复人类社会和平与稳定的精神之源。）

○ストックホルム会議では、26原則からなる人間環境宣言及び109項目からなる行動計画を採択した。（在斯德哥尔摩大会上，采纳了由26项原则构成的人类环境宣言及包含了109个项目的行动计划。）

上記の例における「人間」は他の物事に対する人間を強調する場合に使われる表現であり、中国語の“人类”あるいは“人”で対応する。ただ、四字熟語として使われる「人間社会」「人間環境」は“人社会”“人环境”ではなく、“人类社会”“人类环境”と言う。

○猫と人間が親しくなったのは、遠い昔のことだ。（猫和人类相互亲近是很久远的事了。）

○猿たち同士の偏見と、猿と人間の対立の原因は、彼らの外見上の違いにある。（猴子之间的偏见和猴子与人类之间相互对立的原因在于他们外形上的差异。）

上記の例における「人間」は動物に対する人間という存在を強調する場合に使われる表現であり、同じく“人类”あるいは“人”で対応する。また「人間は考える動物だ」「妖怪と人間」といった表現も使い方が同じであり、“人（类）是能思考的动物”“妖怪与人（类）”のように、中国語の“人类”あるいは“人”

で対応する。

③人柄、人となりを示す「人間」の場合、中国語の“为人”、“人品”などで対応することが多く見られる。下記の例がそれである。

○二人とも、人間ができています。(两人为人很好。)

○あの人は人間になっていないから、何をしてもだめだ。(他人品不佳，做什么都不行。)

上記の例の「人間」は人の品格などを表し、中国語の“为人”、“人品”で対応する。また日本語では「人間がいい」という表現が用いられるが、中国語では“人品好”と言う。

④人間性や人間関係などを示す「人間」は、中国語の“人+性(情、际)”で対応する傾向が見られる。下記の例がそれである。

○泰淳の豊かな人間性が描かれると同時に、妻のやさしさ、おかしさ、哀しみも伝わってくる。(其中不仅描写了泰淳丰富的人性，同时也表达了妻子的温柔、怪异、悲哀。)

○コンピュータでやりとりする生徒たちを見れば、テクノロジーはむしろ教育環境に人間味を与えるものだということがわかるだろう。(如果看到通过电脑与人进行交流的学生们，我们会意识到科技给教育环境增添了人情味。)

○そのような場合でも、医師は患者との人間関係を悪化させてはならないことになっている。(即便在这种场合，医生也不能激化医患矛盾。)

上記の例における「人間性」「人間味」「人間関係」は、それぞれ中国語の“人性”“人情味”“人际关系”で対応する。

⑤【人間+高いランクを示す語/高いランクを示す語+人間】の「人間」は、中国語の“人物”で対応することが多く見られる。下記の例がそれである。

○関西は人間国宝が多く、特に京都は伝統工芸で強い。(在关西有很多国宝级人物，尤其在京都传统手工艺有很高的水平。)

○会社を興して社長になるような大物の人間を見ると、二十代そこそこでも風格があり、たくさん経験を積んできたような貫禄がある。(那些创业、成为社长的大人物，即使二十多岁上下也颇具风度，透出经验老道的威仪。)

ただし、「植物人間」の「植物」は人間の修飾語だが、「高いランクを示す修飾語」ではないため、“植物人”と訳すことになる。「仕事人間」の「仕事」も「高いランクを示す修飾語」ではないため、“人物”ではなく“人”で対応する。

⑥周囲の物事に全然関心を持たない人間を示し、マイナス評価をもつ意味の言葉として用いられる場合、中国語の“只顾(知道)……的人”で対応することが多く見られる。下記の例がそれである。

○企業側も、従業員に「会社人間」であることを求めず、「個」として働くことを尊重しよう。(企业方面也不应要求员工成为“只顾在公司工作的人”，要尊重他们作为“个体”进行工作。)

○四十年にわたって仕事人間と言われながら働いてきた。(在我工作的四十年间一直被称作是只顾埋头工作的人。)

上記の例における「会社人間」「仕事人間」は、中国語の“只顾在公司工作的人”“只顾埋头工作的人”で対応する。また日本語では「遊び人間」「勉強人間」という表現が用いられるが、それを中国語では通常“只知道玩乐的人”“只顾学习的人”と言う。

以上、具体例を通して日本語の「人間」に対応する中国語訳について考察した。日本語の「人間」を訳す場合、その意味合いや文脈によって“人類”、“人”、“为人”、“人品”、“人物”、“人性”、“只顾(知道)……的人”などの中国語を使い分ける。

ただし、一部の「人間」を伴う表現は中国語に訳されると、“人”を伴わない場合もある。たとえば、「人間ドック」は「総合的な精密検診」という意味で

近年よく使用される表現だが、この「人間」は「身体、健康状態」という意味で、中国語に訳す場合、“人的検査”ではなく、“综合体检”となる。

(3) 日本語の「人間」と「人」との相違

日本語では「人」は「人間」の口語的表現としてよく使われている。「人一倍」、「人当たり」、「人影」、「人嫌い」、「人恋しい」、「人心地」、「人里」「人ざわり」、「人知れず」、「人頼み」、「人使い」、「人付き合い」、「人妻」、「人手」、「人並み」、「人波」、「人任せ」、「人まね」、「人目」、「人の世」などがそれである。しかし、「人間」と「人」はどのように使い分けられるのか、漢字圏の日本語学習者にはかなり難しい。

次に日本語における「人間」と「人」の意味や用法の共通点と相違点を検討することにする。

①言葉を使い、高度な文化を持ち、二足歩行し、活動する生物である人類を示す場合は、「人間」と「人」との両方が用いられる。しかし、「人間」には他の生物との区別に焦点を当て、距離を置いて客観的観察者の目線で眺めるという意味合いが強いのに対して、「人」には他の「生物」は我々と同類であり、自分もその一員だというニュアンスがある。下記の「○」印は「使える」ことを示す。

動物と人間 ○

動物と人 ○

自然と人間 ○

自然と人 ○

人間に近いチンパンジー ○

人に近いチンパンジー ○

人間の世界 ○

人の世界 ○

人間の屑 ○

人の屑 ○

とても人間のすることではない ○

とても人のすることではない ○

日本語に「人間並み」と「人並み」という言葉があるが、その意味は必ずし

も同じではない。

A1 猫は人間並みの視力を持っている。(猫拥有和人类相同的视力。)

2 鳥は人間並みに色を区別できるようだ。(鸟似乎与人类一样能够区分颜色。)

3 人間並みの翻訳力を備えたソフトが開発されている。(具备和人类相同的翻译能力的软件正在开发之中。)

B1 卒業後は人並みに就職する。(毕业后和大家一样去工作了。)

2 彼の理解力や記憶力は人並み以上にあると思う。(我认为他的理解能力和记忆力比别人都强。)

3 数学は人並み、英語・国語・化学はだめだ。(数学与别人差不多，英语、国語、化学很弱。)

上記 A1、A2、A3 の「人間並み」は、人間と他の動物や物事との比較を意識しながら、「猫」「鳥」「ソフト」のことを述べている。これに対して、B1、B2、B3 の「人並み」は、他の人と比較しつつ、同程度、他人と同様という意味を示す。つまり、前者は人間以外のものとの比較だが、後者は人間同士の比較である。したがって、「人間並み」は中国語で“与人类相同”と言い、「人並み」は“与别人相同”と言う。

A 広場は人間でごった返している。(广场上挤满了人。)

B 広場は人でごった返している。(广场上挤满了人。)

上記の例の「人間」と「人」の相違に関して、国廣哲彌氏（注3）は「同じように『人間一般』を指していても、一段高いところから客観的に眺めているか、人間と同じレベルに立って見ているかという差異がある」と指摘している。

「広場は人間でごった返している」は群衆とは隔たった、傍観者的な態度で眺めているという意味が強いのにに対して、「広場は人でごった返している」は群衆を自分と同じ仲間として見ているという感じがするというのだ。

しかし、筆者が 2010 年 7 月に日本人学生 22 人を対象に、「広場は人間でゴった返している」と「広場は人でゴった返している」のどちらを使うかというアンケート調査を行ったところ、その全員が「広場は人でゴった返している」は使うが、「広場は人間でゴった返している」は使わないと回答している。従って、国廣氏の分析した説と、人々の実際の言語感覚との間には大きなギャップが存在しており、「広場は人間でゴった返している」は日常生活ではほとんど用いられていないことが分かる。

②「人間」同士のかかわりから見た個人の性格としての人柄、人格などの意味を表す場合は、「人間」も「人」も用いられる。

- A ○ 彼は基本的に悪い人間ではない。
- 彼は基本的に悪い人ではない。
- B ○ 彼は人間がいい。
- 彼は人がいい。

ただし、上記の「人間がいい」と「人がいい」という表現の意味は完全に同じではない。

○「家内は人間がいいですから誰にも好かれた。正直で親切で、日本女性の一番いいところがあった」。老教授は滑らかな日本語で、少しのてらいも感じさせずに亡き妻を語った。（“老婆人品很好，颇有人缘。诚实和善，有日本女人最好的地方。”老教授以流畅的日语回忆着亡妻，没有令人感觉到丝毫的炫耀。）

上記の例の「人間がいい」は、老教授が自分の妻の性質や人格のすばらしさを説明し、抽象的な面を語る時に用いる表現であり、中国語では通常、“人品出众”、“品格高尚”と訳す。一方、「人がいい」はどうであろうか、次の例を見てみよう。

○渡辺監督は「ちょっと人がいいので、他人を押しつけてもやるくらいの信

念を持ってほしい」と激励した。(渡边教练鼓励他：“你为人太好了，你要有不
受任何人干扰干到底的信念。”)

上記の例の「人がいい」は性格が穏やかで人に逆らえない、場合によっては、
大人しくて人に侮られがちで、男としては少し弱く、物足りないというイメー
ジも与える。“老实”、“脾气好”という中国語の表現に訳すことが多い。日本
語では、「人間がいい」と「人がいい」が両方用いられるが、「人がいい」の方
が使用頻度が高い。

③特定の個人を示す場合は、「人間」ではなく、「人」を使う。

- A ○ あの人は今どこにいるだろうか。
× あの人間は今どこにいるだろうか。
- B ○ その人の住所は分からない。
× その人間の住所は分からない。
- C ○ 田中さんという人から電話がきた。
× 田中さんという人間から電話がきた。

上記の例における「あの人」「その人」「田中さんという人」はいずれも特定
の個人を示す表現である。この場合、通常「人」を使う。

④「社会を構成している(種々の役割を持った)人や個人」を表す場合、「人
間」ではなく「人」を使う。次の例がそれである。

- | | |
|-----------|------------|
| ○ 党より人を選ぶ | × 党より人間を選ぶ |
| ○ 人が足りない | × 人間が足りない |
| ○ 人によって違う | × 人間によって違う |
| ○ 人を募集する | × 人間を募集する |

「うちの人」と「うちの人間」は両方使えるが、「うちの人」は「自分の夫」

○ 人を馬鹿にする

× ? 人間を馬鹿にする (意味が変わる)

上記の「人」は「他の人」という意味である。「人の金に手を出す」は「他の人のお金を不正な手段で自分のものにする」という意味で、「人間の金に手を出す」は文としては通じない。「人を馬鹿にする」は「他の人を軽く見る」という意味で、この場合、「人間を馬鹿にする」は文としては通じるが、「他の人」や「他人」という意味ではなくなる。

⑦「適当な人、立派な人、必要となる人」を表現する場合は、同様に「人間」ではなく、「人」を使う。

部下に人を得る ○

部下に人間を得る ×

政界に人無し ○

政界に人間無し ×

「人を得て会社の経営もうまくいく」「八方手を尽くして人を探す」「彼が学長になるなんて、よほど人がいないんだね」「会社の知名度が高くないので、なかなか人が集まらない」などもそれである。

上記の「人」の例は「人」の前に修飾語がなく、単独で「立派な人」、「人材」、「必要となる人」という意味としてよく用いられるが、「人間」にはこの用法がない。

⑧「自分自身」を指す場合、「人間」ではなく「人」を使う。

○ 人の気も知らないで

× 人間の気も知らないで

○ よくも人に嘘をついたな。

× よくも人間に嘘をついたな。

○ 少しは人の話も聞いてください。

× 少しは人間の話も聞いてください。

○ 人のことを何と知っているのだ。

× 人間のことを何と知っているのだ。

上記の例は、話し手は自分自身のことを「人」と表現しているが、不満、怨み、怒りというものが感じられる。

以上をまとめると、言葉を使い、高度な文化を持ち、二足歩行し、活動する生物である人類を指し示す場合は「人間」と「人」との両方が使えるが、意味が異なることもある。「人」は特定の個人、「他の人」、「有用な人材」、もしくは「自分自身」を表す場合に用いられる。他人とのかかわりから見た人柄、人格などを表す場合に「人間」、「人」の両方が使われる。

以上を図表で示すと、次のようになる。

「人間」と「人」の主たる相違

	人間	人
言葉を使い、高度な文化を持ち、二足歩行し、活動する生物である人類を示す場合	○	○
人柄、人格などの意味を表す場合	○	○
特定の個人を示す場合	×	○
「社会を構成している（種々の役割を持った）人や個人」を表す場合	×	○

高いランクの人、またはマイナス評価の人を示す場合	○	×
「自分以外の者、自分と対立する立場にある者」を表現する場合	×	○
「適当な人、立派な人、必要となる人」を表現する場合	×	○
「自分自身」を指す場合	×	○

結語

本節では【第2パターン】の<第2類>に属する中国語の“人間”と日本語の「人間」の意味的相違について考察した。日本語の「人間」は中国語の“人間”の意味と同じであるのか、日本語の「人間」と「人」との使い分けはどのようなになっているのかに焦点をあてた。

(1)中国語の“人間”は「人間社会、世の中、この世」という意味を示し、人間が暮らす場所や空間などを表すのに対して、日本語の「人間」は人間そのもの、または「人間」が有している性格や行いの良し悪しなどを表す。日本語の「人間」と中国語の“人間”は意味や用法が完全に異なる。

(2)日本語の「人間」を中国語に訳す場合、基本的には“人”で対応するが、動物や物事に対する人間を強調する場合、中国語の“人”或いは“人類”で対応することが多く見られる。また人の品格などを示す「人間」は、中国語の“人品”、“品格”などで対応し、人間性や人間関係などを示す「人間」の場合、中国語の【人+性(情、际)】で対応する傾向が見られる。さらに「人間国宝」のように【人間+高いランクを示す修飾語/高いランクを示す修飾語+人間】を示す場合、中国語の“人物”で対応し、周囲の物事に全然関心を持たない人

間を示し、「会社人間」のようにマイナス評価をもつ意味の言葉として用いられる場合、“只顧（知道）～的人”で対応する。

(3) 日本語で「人間」と「人」はいずれも日常生活において使用頻度が高い。「自分自身」「適当な人、立派な人、必要となる人」の意味を表す場合、日本語では「人間」ではなく、「人」を使う。「人のことを何と思っているのだ」「なかなか人が集まらない」などがそれである。また、「田中さんという人」のように「特定の人」を言う場合にも、「人」を使う。

(4) 中国語の“人間”と日本語の「人間」に関する辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》では、「人間並み」を“像普通人一样的”と解釈しているが、考察でも分かるように、「人間並み」は「猫は人間並みの視力を持っている」「人間並みの翻訳力を備えたソフト」などのように、人間と他の動物や物との比較を意識しながら表現する場合に使われ、中国語の“与人类相同的”で対応する。同辞書の“像普通人一样的”という語釈には大きな問題がある。日本語の「人並み」は“像普通人一样的”“像其他人一样的”で対応する。

第5節 中国語の“心中”と日本語の「心中」の意味的相違

本節では日本語の「心中」と中国語の“心中”の意味的相違について考察する。日本語の「心中」には「しんじゅう」「しんちゅう」のように二通りの読み方があり、「心中」(しんじゅう)の場合、相愛する男女二人、或いは複数の人が揃って自ら自分の命を絶つことを指す。しかし、中国語の“心中”はこれとは全く異なる意味として用いられているため、日本語の「心中」を間違える中国人学習者が多い。日本語の「心中」(しんちゅう)は中国語の“心中”と同じであるが、日本語の「心中」(しんじゅう)は中国語の“心中”とは意味が完全に異なるため、両者は意味領域の関係において【第2パターン】の<第2類>に属する。

(1) 古代と現代における日本語の「心中」の意味や用法

まず、古代と現代における日本語の「心中」の意味や用法を見る。『日本国語大辞典』『古語林』『古語辞典 旺文社』などにおける「心中」の語釈では、(1) 心の中、心に思っていること。○心中に愁ひあれば。『平家・一〇・請文』、(2) 人に対して義理を立てること。特に男女の間で、相手への信義を守ること。○心中が立たぬと思ひ。『浄・近松・歌念仏』、(3) 相愛の男女が(或いは遊女が客に)自分の気持ちが変わらないことを相手に示す証拠。起請文(誓紙を書く)、髪切り、爪放し(爪を切りはがす)、指切り(指を断ち切る)など。○女郎の心中に髪を切り爪をはなち。『浮・西鶴・一代男』、(4) 情死、相愛の男女が一緒に自殺すること。○この里の心中沙汰がしづまったに。『浄・近松・天網島』とされている。以上の用法は古代日本語に限って用いられ、現在用いられないものもある。

「心中」は、現代日本語にもよく使われている。『新明解 国語辞典』では、(1) 相愛の男女が合意の上でともに死ぬこと、情死。○地元警察は動機について、この男女が別々に暮らすよりも心中を選んだものと見ている。(2) (1から) 一般に、男女に限らず複数の者がともに死ぬこと。○親子心中／一家心中／無理心中、と解釈されている。

以上から分かるように、現代日本語の「心中」は古代日本語の意味(4)だけを引き継ぎ、そしてそこから複数の人間がともに自決する意味を派生させ、古代日本語の意味(1)からかけ離れたものとなっている。

「心中」の本義は「心の中」、「心に思っている」ことである。『邦訳日葡辞書』(注4)に「Xingiu シンヂュウ (心中) Cocorono Vchi. (心の中)」とあり、近世まで本義で使われていた。

『日本国語大辞典』の解釈によれば、江戸時代に入って男女の間に、特に遊女が愛する男に自分の心の中の誠意を示す意味に用いられるようになり、それを「心中立て」とも言った。遊女は「心中立て」のために、証拠として相手に自分の爪や髪など肉体の一部を与えた。他に指切りや血書などで自分の愛の気持ちを示す方法もあったという。相手の男性は「心中箱」を持って遊女から送られた心中の証の髪や爪などを秘蔵して大切にした。心中立てをして爪や髪を交換し、互いに結ばれ、一緒に生活したいというのは極自然な愛の帰結であった。ところが、遊里には遊里なりの掟があり、二人の愛はそう簡単に実現することができない。真実の愛を勝ち取るために、最後に選択せざるを得ないのは一緒にあの世へ赴くことである。そのため言葉も、愛の気持ち、心の中の誠意を示す「心中」(しんちゅう)から、愛する男女が互いに合意の上で自殺するという「心中」(しんじゅう)へと変わっていったのである。こうして、「心中」は本来、心に思っていること、心の中を相手に示すことであったが、そのとき取る手段が極端なものへ傾き、とうとう共に死ぬという究極の意味になるの

である。

明治時代に入ってから、「心中」の意味にさらに変化が見られ、親子が生活苦や家庭苦などの理由で死ぬことを表すようになった(注5)。「親子心中」、「一家心中」がそれである。また現在、「死ぬくらい」の覚悟でする、ある物事と運命をともにする、という忠誠心を示す場合にも用いられている。「会社と心中する」、「仕事と心中する」などがそれである。

(2) 古代中国語と現代中国語の“心中”の意味や用法

“心中”は古代中国語ではどんな意味として使われていたのかに関して《汉语大词典》では、(1) 中心点(日本語の「中心点」の意) ○捷与狂之同长也，心中自是往相若也。(門を縦にさえぎる木と戸の枠は高さが同じだ。円心から円周までの直線は長さが変わらない)《墨子・经说上》、(2) 心里(日本語の「心の中」の意) ○使百姓莫不有藏恶于其心中。(民衆の誰もが心の中に悪い考えを持たないようにさせる)《国语・晋语二》、下顾所憐女，惻惻心中酸。(かわいい娘を見て、心の中は悲しく思っていた) 晋欧阳建《临终诗》と解釈されている。

また、《现代汉语词典》では、(1) 心里(日本語の「心の中」の意) ○笛声唤起人们心中美好的感情，洗涤人们心头的污垢。(笛の音は人々の心の中にすばらしい気持ち呼び起こし、心の垢を洗い落としてくれる)と解釈されている。

以上から分かるように、現代中国語の“心中”は古代中国語の意味(1)“中心点”が消え、意味(2)“心里”がそのまま使われている。つまり、意味領域が縮小されていることが分かる。

日本語の「心中」と中国語の“心中”の使われ始めた時期から考えれば、古代中国語の“心中”が日本語へ伝えられた可能性が高い。古代日本語の「心中」

の意味は古代中国語とは異なる部分が多く、意味 (2) 「人に対して義理を立てること。特に男女の間で、相手への信義を守ること」、意味 (3) 「相愛の男女が自分の気持ちが変わらないことを相手に示す証拠」、意味 (4) 「情死、相愛の男女と一緒に自殺すること」は中国語には全く見られない。しかし、意味 (1) の「心の中」を有する点は中国語と同様である。現代中国語と現代日本語における「心中」は完全に異なった意味として使われ、中国人学習者は特に注意する必要があると思われる。

また、前述したが、現代日本語の「心中」(しんじゅう)は「男女二人の情死」、或いは「何らかの理由で複数の人が自殺する」という意味から転じて、「会社と心中する」「仕事と心中する」のように、比喩的にある物事と運命をともにするという意味にも使われる。

(3) 現代日本語の「心中(しんちゅう)」とその中国語訳

古代日本語の「心中(しんちゅう)」は「心のうち、こころ」という意味として使われていた。その意味が現在もそのまま受け継がれ、多く用いられている。

○「なぜ、連れていかぬ。」彼は心中で叫んだ。(“为什么不带我走?” 他在心中呼喊。)

○木立の陰に身を隠し、声を潜めて話し合っている竜憲と修一を眺めて、大輔は心中で溜め息を吐いた。(看着藏身于树荫处、小声说话的龙宪和修一，大辅心里叹了一口气。)

○どこかにある亀裂を覗き込んでしまうような驚きが心中を走った。(那像是在窥视某处裂痕的惊讶掠过心间。)

○その顔色を見ていた善政が、治憲の心中を推しはかったように言った。(看着对方脸色的善政，似乎揣摩出了治宪的心思，说道。)

○このような状況の中におかれている光仁天皇の心中をあれこれと想像すれば、井上皇后と他戸太子の焦燥は異常性を帯びてきたであろう。（如果对处于这种状况下的光仁天皇的心情作各种想象，井上皇后和他戸太子或许会异常的焦虑吧。）

○この自信は、利休が秀吉の心中を客観的に診断した結果だけからくるものではない。（这个自信，不是仅仅来自于利休对秀吉的想法作出客观判断的结果。）

そのほか、「心中ひそかに期待する」（心中默默地期待）、「心中穏やかでない」（心里不平静）、「心中を察する」（揣摩别人的心思）、「学生の心中を代弁する」（替学生陈述他们的看法）、「父の心中を推し量る」（揣度父亲的心情）、「心中が透ける」（透露心情）、「心中が複雑だ」（情绪复杂）、「方々の心中を思うと胸が痛む」（想到大家的感受，深感痛心）など、日本語には「心中」を伴う表現が多く見られる。

上記の例から分かることであるが、現代日本語の「心中」（しんちゅう）は中国語の“心中”と同様に、「心の中」という意味を表す場合、中国語の“心中”で対応するほかに、“心里”“心间”と訳することができる。しかし、「気持ち」という中国語に見られない意味を表す場合は、それを中国語の“心中”では対応することができず、通常“心情”、“心思”、“情绪”、“感受”、“看法”などを用いる。

(4) 現代日本語の「心中」（しんじゅう）とその中国語訳

次に現代日本語の「心中（しんじゅう）」の中国語訳を考えることにする。

○会社と心中する。（与公司共命运。）

○最後の勝負に賭ける彼は党と心中する気だが、党は彼と心中する気はない。（全力投入最后决战的他决心和党共命运，但党却并不愿意如此。）

この場合の「心中」（しんじゅう）は、中国語で“共命运”“决不放弃”など

に訳すことができる。

○経済の高度成長が終わって低成長期に入った七十年代にも、一家心中が多発した。(从经济高度增长期进入低增长期的 70 年代，全家自杀案件也曾频繁发生。)

○三十代の男性はネットで知り合った女子高生の「ネット心中」の動きをつかんでいたが、止められなかった。(一个 30 多岁的男子虽然掌握了在网络上相识的高中女生通过网络相约自杀的情况，但没能阻止该事件的发生。)

○最後は、彼女が無理心中を図り、彼だけが死んでしまったというのは、大いにあり得ると思います。(最后她强迫对方与自己一起自杀并造成他的死亡，我认为情况很可能就是这样的。)

○十年前、心中をしそこなって、女を斬っただけで逃げた男がいる。(10 年前，有一男子与一女子殉情自杀却没有成功，在杀死了该女子后自己却逃走了。)

上記の例のように、男女二人、或いは男女を問わず複数の人が自殺することを意味する「心中」(しんじゅう)は中国語には見られない表現であり、日本語独特の表現とされる。中国語では男女二人が「心中する」ことを意味する場合は“情死”、“殉情”と言う。また、何人かの人心中する場合は“集体自杀”、また一家が心中する場合は“全家自杀”と表現する。「親子無理心中」を中国語に訳す場合、決まった表現はないため、“父母和孩子一起自杀”と訳すしかない。

結語

本節では、中国語の“心中”と日本語の「心中」の意味的相違について考察した。日本語の「心中(しんちゅう)」は中国語から伝わったもので、中国語の“心中”と同じく「心の中、心に思っていること」という意味を示し、中国語では“心中”“心里”“心间”で対応する。が、日本語の「心中(しんちゅう)」

は「気持ち」という意味を表す場合、中国語の“心情”、“心思”、“情緒”、“感受”、“看法”などで対応する。

現代日本語の「心中（しんじゅう）」は、「情死する」、「自殺する」、「ある組織や仕事と運命を共にする」という意味を示し、中国語の“心中”と意味が全く異なり、それを中国語に訳す場合、“心中”ではなく、“殉情”“情死”“集体自杀”“一起自杀”“同生死，共存亡”などで対応する。図示すると、次のようになる。

日本語の「心中」（しんじゅう）と中国語の“心中”の意味的相違

	日本語	中国語	中国語訳
心の中	×	○	×
相愛の男女が合意の上で ともに死ぬこと	○	×	情死、殉情
男女に限らず複数の者が ともに死ぬこと	○	×	集体自杀、一同自杀
ある物事と運命をともに すること	○	×	共命运、决不放弃

《详解日汉辞典》では、「心中」は、①情死する。②（生活に苦しめられて家族二人以上が）自殺する、と解釈している。しかし、日本語の「心中」には、「会社と心中する」などのように、「ある物事と運命を共にする」という意味もあり、辞書ではその語釈が欠けている。

第6節 中国語の“正体”と日本語の「正体」の意味的相違

本節では日本語の「正体」と中国語の“正体”の意味的相違について考察する。日本語の「正体」と中国語の“正体”は意味が完全に異なるため、両者は意味領域の関係において【第2パターン】の<第2類>に属する。

「何か正体不明の重病がぼくの神経を痛めつけているのだとはっきり確信していた」「《光とは何か》という光の“正体”はよく分かっていなかった。初めて物理学の面から光を研究したのは、万有引力の発見で有名なニュートンだ」という例文にある「正体」は、中国語の“正体”の意味とは異なる。

(1) 「正体」の辞書的解釈の検証

まず、古代と現代における日本語の「正体」、中国語の“正体”の辞書的解釈を見る。『日本国語大辞典』『古語林』『古語辞典 旺文社』における古代日本語の「正体」の解釈では、(1) 本来の姿、本体、実体。○兩人していぶいて正体を現す。(『狂・狐塚』)、(2) 正気。○御酒をしいられ、正体もなうたべ酔ふ。(『狂・茶壺』)、(3) (多く上に「御(み)」を伴って) 神体。○若王子の御正体(みしょうたい)を船に乗せ参らせる。(『平家・二・鶏合・壇浦合戦』)、とされている。

また、『広辞苑』『新明解 国語辞典』における現代日本語の「正体」の解釈では、「(1) 本来の姿を隠して人前に現れているものの実体。○正体を現わす。(2) その人が正常な精神状態である時の、しゃんとした所。○正体がなくなる／正体なく酔う」のように解釈されている。

上記の辞書的解釈で分かるように、日本語の「正体」の意味は古代語と現代語とではそれほど変わりがない。現代語は古代語の意味(3)が脱落しただけで、

ほかにはほぼ古代語と同じ意味として使われている。

《汉语大词典》の“正体”の解釈をまとめると、次のようになる。(1) 主体、本体。(日本語の「主体、本体」の意) ○圣人恶疾病，不恶危难，正体不动，欲人之利也；非恶人之害也。(聖人は病気にかかることを嫌うが、危機に直面してもたじろがない。健康体で人のために働こうとするが、人々から害を及ぼされることを厭わない)《墨子・大取》、今且谈其正体，凡质象所结，不过形神。(今日はひとまず物事の本体を述べるが、物質と現象が結ばれたのは、形と神に過ぎない) 南朝梁陶弘景《答朝士访仙佛两法体相书》、(2) 旧指承宗的嫡长子。(日本語の「家族の血筋を受け継ぐ長男」の意) ○传曰：何以三年也？正体於上，又乃将所传重也。(『伝』曰く「何故三年なのだろうか。一族の祖先の霊を祭る廟を受け継いだ人は、それを授けてくれた人の『斬衰』という喪に服しなければならない)《仪礼・丧服》、(3) 犹正统。(日本語の「封建王朝を正式に受け継ぐ流れ」の意) ○晋宋之王，近於正体，於是乎未忘中国。(晋宋の王、正統から近く、中国文化を忘れていない) 隋王通《文中子・问易》(4) 正統的体式。(日本語の「正統な形式」の意) ○至石渠论艺，白虎通讲，聚述圣言通经，论家之正体也。(石渠で芸を論じ、白虎で経を語り、皆集まり聖人の言論と經典を述べ、これは論客の正統なやり方だ) 南朝梁刘勰《文心雕龙・论说》(5) 正楷字。(日本語の「楷書の字」の意) ○右军正体，如阴阳四时，寒暑调畅，巖廊宏敞，簪裾肃穆。(王羲之の楷書は均衡が取れていて、とてもすばらしい)《法书要录》卷三引唐李嗣真《书後品》

以上の辞書的解釈で、古代中国語では“正体”は人間だけでなく、物事やその性質など、幅広い様々な場合に使われていたことが分かる。

“正体”は現代中国語ではどんな意味として使われているのか、《现代汉语词典》では、(1) 规范的汉字字形。(日本語の「規範に合う漢字の字形」の意) ○他把袖子挥了一下就把留言给擦了，然后他写上了一行正体大字。(彼は袖で

伝言を消した。それから、規範に合う漢字を大きく一行に書いた)、(2) 楷书。

(日本語の「楷书」の意) ○它是否正巧是用正体字写上去的? (ちょうど楷書で書いたの?)、(3) 拼音文字的印刷体。(ピンインの印刷体の意) ○接着又发现他的名字整个是用大写正体字母手写上去的。(また、彼の名前全体を大文字のピンインの印刷体で書いたことに気づいた) と解釈されている。

以上で分かるように、中国語においては“正体”という言葉の意味が古代語と現代語とではかなり異なっている。現代語は古代語の意味(5)だけを継承し、意味領域がかなり縮小され、そこから現在使われている新しい意味二つを派生させたことが分かる。

(2) 日本語の「正体」とその中国語訳

現代日本語と現代中国語の「正体」とでは意味が全く異なるため、日本語の「正体」を中国語に訳す場合、中国語の“正体”で対応することができない。次にどんな言葉で対応しているかを考えてみる。

例①. もっと画素数が多ければ、この物体の正体を明らかにできたかもしれないね。(如果像素再高一些的话, 也许就能够弄清楚这个物体的原形了。)

例②. 不思議な花が咲き出した。地元で話題になっている花の正体はツチアケビです。(那种花开出了奇异的花朵, 并在当地成为话题, 它真实的名称叫土通草。)

例③. 民主を求める声の正体は明かされず、政権が懸命に筆者捜しを試みた。(追求民主之声的真实情况还没有弄清楚, 所以政府试图竭力找出作者。)

上記の例①の「正体」は、中国語では通常“原形”“真实面目”と言うが、そのほかに、例②と例③のように“真实的名称”“真实情况”と対応する場合もある。

日本語では、「正体不明」という表現がよく使われるが、それを中国語では

どう対応するかを考えることとする。

○山の中に、正体不明の石組みがある。(山里有来历不明的石头组合。)

○飲馬河で正体不明の熱病に罹ったとき、誰もいない寄宿舍の一室で突然悪寒に襲われ、いくら着ても着てもあの不気味な寒さが去らなかった。(在饮马河患上原因不明的热病时，在空无一人的一间宿舍里，恶寒会突然向我袭来，无论我穿再多的衣服都抵御不了那种令人害怕的寒冷。)

○空襲のまえに、いくつかの徴候があった。真珠湾口のすぐ外に正体不明の潜水艦が発見され、午前六時四五分、駆逐艦によって撃沈された。(空襲前就有几个预兆，就在珍珠港外发现了一艘不明国籍的潜艇，在上午六点四十五分被驱逐舰击沉。)

上記の例の「正体不明」は、中国語の“来历不明”、“原因不明”、“不明国籍”などで対応する。

○グリーン車に男装した女とも、女装した男とも見分けのつかない正体不明の五人組がいて、彼等の、あるいは彼女たちの性別が判然としないのだ。(在一等车厢里，有五个看不清是女扮男装、还是男扮女装的不明身份的人，他们的或者她们的性别让人难以辨别。)

○外洋帰りの漁師、それに各地から正体不明の者が多数盛り場にたむろしていた。(从外海回来的渔民，以及很多从各地来的不明身份者聚集到闹市上。)

上記の例における「正体不明」は人を表す場合に使われる。この場合の「正体不明」は通常“不明身份”と訳す。

○たいていの人には、分かりにくいものより、分かりやすいものを好む。正体不明のものには、どう対処していいか分からないため、警戒心を抱く。(比起难以理解的事物，大部分人更加偏好容易理解的事物。对于神秘未知的事物，人们总是抱有戒心，因为不知如何应对。)

○圧倒的な力にではなく、理解の範疇を超えた正体不明の存在に恐怖する。

(人们并非是对压倒性的力量，而是对超越了理解范畴的神秘未知的存在而感到恐惧。)

上記の例の「正体不明」は抽象的な物事を表す場合に使われる。この場合の「正体不明」は中国語では“神秘未知的”と訳せばいい。

上記の文に使われる「正体」の意味は、知られていないそのものの本当の様子である。それとよく呼応して用いられる言葉に、「不明」、「明かす」、「なぞに包まれる」、「明らかになる」という表現が多いのも特徴の一つである。この場合の「正体」は、中国語で“真实身份”、“真实面目”、“真实情况”、“来历”などと訳すことが多い。

○酒に酔って正体がなくなる。(喝醉酒失去了知觉。)

○かろうじて正体をなくすようなことはまだない。(总算没有发生失去知觉的情况。)

○正体がなくなるまで飲み、二日酔いはおろか三日酔いもざら。(喝酒喝到神志不清，不仅醉到第二天，醉到第三天的情况也不鲜见。)

○正体をなくすほど酒を飲むことはよくない。(喝酒喝到神志不清可不好。)

上記の例の「正体」は、精神や身体が正常な状態にある場合の姿という意味を表す。この意味の「正体」とともによく用いられる言葉には「ない」、「なくなる」、「なくす」、「失う」などがあり、これも一つの特徴と見られる。そして、「酒を飲む」、「眠る」といった場合にも、よく用いられる。この場合の「正体」は、中国語の“神志”、“知觉”、“意识”と訳されることが多い。

結語

本節では、中国語の“正体”と日本語の「正体」の意味的相違について考察した。現代日本語で用いられている「正体」は、現代中国語の“正体”とは意味が完全に異なり、その意味領域の関係を図表で示すと、下記の通りになる。

中国語の“正体”と日本語の「正体」の意味的相違及び中国語訳

	日本語	中国語	中国語訳
規範に合う漢字の字形	×	○	×
楷書	×	○	×
ピンインの印刷体	×	○	×
本来の姿を隠して人前に現れているものの実体。	○	×	真实面目、原形、真实身份、真实情况、
その人が正常な精神状態にいる時の、しゃんとした所	○	×	神志、知觉、意识

日本語の「正体」を中国語に訳す場合、“正体”ではなく、“原形”、“真实面目”、“真实情况”、“真实身份”となる。「正体なくなる」「正体をなくす」の場合の「正体」は中国語では“神志”“意识”“知觉”と訳される。また、日本語では「正体不明」という表現がよく用いられるが、中国語の“来历不明”、“原因不明”、“不明国籍”、“不明身份”、“神秘未知的”などで対応する。

中国語の“正体”と日本語の「正体」に関する辞書的解釈の問題点について、日本語では「正体不明」という表現がよく用いられ、中国語では“来历不明”“神秘未知的”など様々な表現で対応するが、これに関して『日中辞典 小学館』『日中辞典 講談社』『详解日汉辞典』では解釈されていない。

第7節 中国語の“迷惑”と日本語の「迷惑」の意味的相違

本節では、中国語の“迷惑”と日本語の「迷惑」の意味的相違について考察することとする。日本語の「迷惑」は「迷惑な話だ」、「人の迷惑になる」、「皆に迷惑をかける」のように、「他人の行為などがもとで、不快な思いをしたり、不利益を被ったりすること。また、そのさま」という意味である。中国語の“迷惑”は日本語の「迷惑」と完全に異なった意味として用いられるため、【第2パターン】の<第2類>に属する。

(1) 中国語における“迷惑”の使い方とその日本語訳の特徴

古代中国語の“迷惑”の意味に関して、《说文解字》では“迷，或（惑）也。从辵，米声”と解釈されている。また、《汉字源流字典》《古汉语常用词源流辞典》（注6）では、“迷”の本義は「道に迷う」であると説明されている。道に迷うと、どこへ進めばいいか、方向が分からなくなる。そこから「戸惑う」、「当惑する」という意味が派生したとされる。また、《说文解字》では、“迷”と“惑”は同じ意味であり、“迷惑”は同義の二字が並立する構造の言葉である、という。

古代中国語では、“迷惑”はいつ頃から使われ始めたのであろうか。《古汉语大词典》《辞海》では、“矫言伪行，以迷惑天下之主”（偽りの言動を以て国王を惑わす）、“中瞽乱兮迷惑”（心が混乱し困惑する）という例文が取り上げられている。前者は《庄子・盗跖》の例で、後者は《楚辞・九辩》の例である。したがって、“迷惑”の語源をおおよそ戦国時代に遡ることができよう。《荀子・大略》、《吕氏春秋・不苟》、《管子・任法》など、同時代の作品にも、“故民迷惑而陷祸患，此刑罚之所以繁也”（故に民が困惑し禍に陥り、刑罰が

多いのだ）、“戎王喜，迷惑大乱，饮酒昼夜不休”（戎王が喜び、戸惑って間違った行動を取り、昼夜問わず酒に溺れていた）、“舍大道而任小物，故上劳烦，百姓迷惑而国家不治”（大道を捨てて枝葉末節にこだわる故に、国王がいられだち苦勞なさが、百姓は困惑し国の統治管理もうまく行かない）のような例が多く見られる。

時代を下ってみると、南朝の範曄が著した《后汉书・张衡传》に、“曾烦毒以迷惑兮，羌孰可与言己？”（私はずいぶん悩み困惑していたが、誰か話できる人がいたのだろうか）、唐の時代・杜佑が著した《通典》に、“進退迷惑，不知所行”（進退ともに困惑し、如何なる行動を取ればいいか分からない）、さらに北宋の王欽若らが編著した《册府元龟》に、“此先古帝王，迷惑错误，以不忠为忠，以贤为不贤，率皆十八九也”（昔の帝王が、戸惑って間違いを犯し、不忠を忠とし、賢を不賢とするのは十人中八人、九人いるだろう）、明の時代・馮夢龍が著した《警世通言・假神仙大闹华光庙》に、“这二妖，乃是多年的龟精，一雌一雄，惯迷惑少年男女”（この二人の妖怪は、長年の亀妖怪、メスとオスの一組で、よく若い男女を惑わしていた）が見られる。

これらの例文に使われる“迷惑”は「迷って正しい判断を失する」「当惑する」、または「人を惑わす」「人を迷わせる」という意味としても用いられる。

《現代汉语词典》では、現代中国語でも古代語の意味をほとんどそのまま受け継いで使われている。曹禺の《雷雨》に、“周萍迷惑地望着父亲同侍萍”（周萍は何が何だか分からず、父と侍萍の顔を見ていた）、楊朔の《巴厘的火焰》に、“这岛子确实有股迷惑人的力量”（この島には確かに人を惑わす力がある）が見られる。

現代中国語の“迷惑”の使い方は下記のようなパターンに分けられる。

① 【迷惑+N】

このパターンでは、【迷惑+N】の“迷惑”は他動詞として使われ、「Nを

当惑させる」という意味を表す。下記の例がそれである。

○这种鱼既爱打扮，又爱迷惑人。（この魚は鮮やかな身なりが好きで、またよく人を惑わす。）

○公安人员讲，这也是为了迷惑敌人，乘机改变一下火车行走的时间表。（警察は、これも敵を惑わすため、機会を狙って列車の時刻表を変えと言った。）

○这个早已由希腊人提出过的古老课题，成为一直困惑着又迷惑着人类的难题。（とうにギリシア人によって打ち出されたこの古い課題は、ずっと人間を困惑させ、惑わす難題となっている。）

上記の例文で分かるように、このパターンにおいてNによく使われるのは“人”“敌人”“人类”など、人を示す名詞である。また“对手”（相手、ライバル），“群众”（大衆、民衆），“消费者”（消費者），“局外人”（局外者、部外者），“众人”（大勢の人、みんな）などもよく使われる。そのほかに、“有关部门”（関係部門），“人们视线”（人々の目）など、人ではなく物事を示す言葉を使う場合もあるが、人を示す名詞の方がはるかに多く見られる。

② 【被（为／受）＋N＋迷惑】

このパターンでは、【被（为／受）＋N＋迷惑】の“迷惑”は他動詞として使われ、主体がNに惑わされるという意味を表す受身の構文である。下記の例がそれである。

○我们必须保持清醒的头脑，不要被表面现象所迷惑。（私達は頭を冷静に保ち、表面的現象に惑わされないようにしなければならない。）

○最终还是被对方精心设计的圈套所迷惑。（最後に、やはり相手が念入りに仕掛けた罠に惑わされてしまった。）

○这条波兰河水，有极大的魔力，受它迷惑的人，至死还是爱它。（このポー

ランド河の水は、極めて強い魔力があり、それに惑わされた人が、死ぬまで愛着を抱いた。)

○他们现在终于明白了，这是一个不会被困难所吓倒，不会为成功所迷惑的人。
(この人は困難に動揺することなく、目の前の成功に惑わされない人だと、彼らは今となってやっと気がついた。)

上記の例で分かるように、このパターンにおけるNは“表面現象”、“圈套”、“它”、“成功”のような、人ではなく物事を示す言葉が多い。“被他所迷惑的女人(彼に惑わされた女)”のように人を示す言葉を使うこともあろうが、物事を示す言葉を使う場合が圧倒的に多い。

③ 【使(让/令/把) + N + 迷惑】

このパターンでは、【使(让/令/把) + N + 迷惑】の“迷惑”は他動詞として使われ、主体がNを当惑させるという意味を表す使役の構文である。したがって、意味上パターン①と同じものであると言えよう。下記の例がそれである。

○五光十色的的社会生活充满诱惑，多元的价值、道德观念易使少年儿童迷惑。
(色とりどりの社会はさまざまな誘惑に満ち、多様な価値感、道德感が少年、子供達を惑わしやすい。)

○如果我所写的话有什么让你迷惑的地方，我向你道歉。(もし私が書いたものにあなたを惑わしたところがあれば、お詫びをします。)

○此刻，这么多的建筑物和人进一步把她迷惑住了。(今このとき、このような多くの建築物と人が、一層彼女を惑わした。)

上記の例で分かるように、このパターンにおけるNは“少年儿童”“人”“你”“她”のような、物事ではなく人を示す名詞である。そのほかに“科学家”(科学者)、“我们”(私たち)、“你”(あなた)、“读者”(読者)、“观众”

(観衆、見物人)などもそれである。

④ 【迷惑地+V】

このパターンでは、【迷惑地+V】の“迷惑”は形容詞として使われ、その動作が行われるときの状態を示す。「何が何だか分からずに～する」「ボーっとする」「不審に思う」という意味を表す。下記の例がそれである。

○我颇为迷惑地看着面前含笑期待的双眼，不知该如何回答。（私は何が何だか分からずに目の前の、笑みをたたえるその人の期待の眼差しを見て、どう答えればいいのか分からなかった。）

○他睁大乌黑的眼迷惑地望着这突然出现的一切。（彼は真っ黒な目を見開いて、この突然、目の前に現れたすべてのものをボーっと眺めていた。）

○山坡乡的农民迷惑地问到：是不是又要“卖粮难”了？（山坡郷の農民は「食糧を売るのがまた難しくなるのか」と不審に思って聞いた。）

上記の例文でも分かるように、このパターンにおいて【迷惑地】に後続する動詞は“看”、“望”、“问”のような、人の動作を示す言葉が多く用いられる。また“瞧”（見る）、“瞅”（見る）、“目送”（見送る）、“听”（聞く）、“反问”（問い返す）、“笑问”（微笑みながら聞く）、“追问”（問い詰める）などもよく見られるが、そのうち、特に目と口による動作を示す言葉をよく使うのが特徴である。

⑤ 【迷惑+的+N】

このパターンでは、【迷惑+的+N】の“迷惑”は形容詞として使われる。

○每当她站在课堂上，面对全班几十双清纯而迷惑的眼睛，她就感到很激动。（彼女は教壇に立つたびに、クラスの何十人の澄んだ、戸惑った生徒の目を見て、いつも感動してしまう。）

○她此刻摆出一副迷惑的神色，问：“谁监视你了？”（彼女は戸惑った顔つきで、「誰に見張られた？」と聞いた。）

○老人看着外甥迷惑的脸，不急不徐地说道。（老人は、甥の戸惑った顔を見て、ゆっくり言った。）

上記の例で分かるように、このパターンにおいて、“迷惑的”に後続するのは“眼睛”、“脸”、“神色”のような、人の心の動きを示す目や顔などの名詞が多い。

⑥【N／形容詞／副詞＋的＋迷惑】

このパターンでは、【N／形容詞／副詞】の“迷惑”は名詞として使われる。下記の例がそれである。

○她希望有一个明确的答案来消除自己的迷惑。（自分の戸惑いを無くす明確な答えがあればいいと彼女は思っている。）

○在场的美国朋友看出了我的迷惑，给我做了解释。（その場にいたアメリカの友人が私の戸惑いを見抜いて、説明してくれた。）

○现在她托着腮，看起来十分的迷惑。（今、彼女は頬づえをついて、すっかり戸惑っているように見える。）

○他的眼神中露出一丝不易察觉的迷惑。（彼の目には、人には気づかれない戸惑いが現れていた。）

上記の例で分かるが、このパターンにおいて中国語の“迷惑”は日本語で「戸惑い」「戸惑う」で対応することが多い。

(2) 日本語における「迷惑」の使い方及び中国語訳の特徴

○他人に迷惑をかける。（给人添麻烦。）

○人の迷惑もおかまいなしだ。（不在乎给别人带来的麻烦。）

日本語の「迷惑」は日常生活においてよく用いられる。次に古代日本語と現代日本語においてどういった用い方を持つかについて考える。

『広辞苑』『古語林』『古語辞典 旺文社』では、①どうしてよいか迷うこと。途方にくれること、②困り苦しむこと。難儀すること、と記述されている。日本語の「迷惑」は多くの古典作品に見られる。『平家物語（5）』の「皇居になれざるが故に心迷惑す」、『伊曾保物語』の「狼咽に大きな骨を立てて迷惑ここに窮まって」がそれである。また、『西鶴・永代蔵一・三』の「なんぞあれ奴に従ひ世を渡るも口惜しきと、我をたてける人、ものの急なるときにさしあたって迷惑し、これもまた御無心申さるる」、『西鶴・浮・一代男』の「迷惑せられたる法師の申されける」などもそれである。

『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』の「迷惑」の解釈では「その人のした事がもとになって、相手や周りの人が不利益を被ったり、不愉快な思いをしたりすること。また、処置に困って悩むこと」と解釈されている。その用法を次のパターンに分けることができよう。

① 【Nは／が+迷惑する】

このパターンにおける「迷惑」は「スル」を加えることによってサ変自動詞として使われる。下記の例がそれである。

○そのために全国の地価があがって、多くの人たちは非常に迷惑している。

(全国的地価因此而上升，很多人对此非常不满。)

○あまり遅くまでやっていると、二階から上のマンションの人たちが迷惑する。(如果搞得太晚的话，住在两楼以上的人 would 感到不快。)

○おまえのおかげで、わたしがどんなに迷惑しているか分かっているのか！？(你知道吗?! 由于你的原因，我现在有多么为难吗!)

上記の例で分かるように、「迷惑する」の主体に使われるのは「人たち」「わたし」など人を示す名詞が多い。そのほかに「われわれ」、「お客さん」、「庶

民」、「みんな」などのような言葉もそれである。そのほかに「会社」、「政府」、「世の中」、「世界中」のような、人からなる組織や機関、また人がいる世界などを示す言葉も見られる。

② 【迷惑+な+N】

このパターンでは、「迷惑」は「ナ」を加えることによって、形容詞（形容動詞）として使われ、後続する名詞を飾る。下記の例がそれである。

○あまり喋ることが好きでなかった私には、迷惑な時もあった。（对于不怎么喜欢言谈的我来说，有时也挺麻烦的。）

○賃借人にとって、大家さんが変更になることは自分にとって利益がないばかりか、むしろ迷惑なことであるため、これらの打合せは丁寧に行わなければならない。（对于租客来说，房东变更不仅于己无利，甚至是很麻烦的，所以这些协商一定要礼貌周全。）

○ホテル側にしてみれば、まったく迷惑な話にちがいない。（在饭店方面看来，这完全是很麻烦的情况。）

上記の例で分かるように、「迷惑」は「時」「こと」「話」などの名詞を修飾する。それをさらに分類すれば、「人」「者」「隣人」「乗客」「存在」「やつ」「馬鹿」などの人を示す表現、「投稿」「嫌がらせ」「行動」などの人の行動を示す表現、「メール」「郵便物」「コメント」「もの」などのものを示す表現に分けられる。

③ 【迷惑+をかける／及ぼす／受ける／被る】

このパターンでは、「迷惑」は名詞として使われ、後続する動詞の対象となる。下記の例がそれである。

○誰にも迷惑をかけずに生きることはできない。（我们在生活的过程中不可能不给任何人带来麻烦。）

○これは酒を飲んで人に迷惑を及ぼす典型的な例である。（这是饮酒之后给

人带来麻烦的最典型的事例。)

○大衆が迷惑を受けるという問題に対して、もちろん十分熱意を持って研究しなければいけない。(对于群众遭遇麻烦这一问题，当然应该抱着充分的热情予以研究。)

○まず、商品をもっと丁寧**に**扱うべきだった。そして迷惑を被ったお客様の気持ちを一番に考えて対応すべきだった。(首先应当认真细致地管理商品，另外应该优先考虑遭遇麻烦的顾客的心情而给予关照。)

上記の例で分かるように、「迷惑を」の後に他動詞「かける」、「及ぼす」、「受ける」、「被る」がよく見られる。特に「迷惑をかける」は慣用語としてよく用いられる。また、これらの動詞と対となる自動詞「かかる」、「及ぶ」、「受かる」は【**迷惑+がかかる／及ぶ／受ける**】という形でもよく使われる。

このほかに、「迷惑メール」、「迷惑電話」、「迷惑行為」、「迷惑千万」、「有難迷惑」、「近所迷惑」、「迷惑顔」、「迷惑至極」、「迷惑料」などのように、日本語では、「迷惑」を伴う複合語も多く作られる。下記の例がそれである。

○どうしても感謝の気持ちを伝えたいという方々も多いのですが、私にとっては、ハッキリ申し上げますが、ありがた迷惑です。(也有很多**人**想方设法要表示谢意，但在我看来，我可以明确地讲，这是一种倒添麻烦的好意。)

○すでに航空券を予約、購入済みの客にとっては、旅行や出張の予定を変えざるを得なくなり、はなはだ迷惑千万な話だ。(对于已经预约、购买了机票的顾客来说，不得不改变旅行和出差的行程，实在是**麻烦透顶**的事情。)

○うちには3歳の猫がいる。伝染病のこと、事故のこと、近所迷惑のこと、色々考えて、完全室内飼いにしている。(我家有一只3岁的猫，我考虑了传染病、突发状况、打扰街坊四邻等各种问题，还是决定在室内饲养。)

以上の「迷惑」を伴う複合語は、現代中国語には見られないため、“倒添麻烦的好意” “麻烦透顶” “打扰街坊四邻” など、様々な表現で対応する。

(3) 中国語の“迷惑”と日本語の「迷惑」の意味的相違

次に下記の例を通して中国語の“迷惑”と日本語の「迷惑」の意味的相違について考える。

○用花言巧語迷惑对方。（甘いことばで相手を惑わす。）

○事故のために多数の乗客が迷惑する。（因发生事故，给不少乘客带来麻烦。）

以上のように、中国語でも日本語でも“迷惑”/「迷惑」がよく使われる。

“迷惑”はその語源をおおよそ中国の戦国時代に遡ることができるため、それが使われ始めた時期から判断すると、日本語の「迷惑」は古代中国語から伝えられたものであると言っても差し支えがないであろう。また、古代日本語における「迷惑」は古代中国語の“迷惑”と同様、意味①「どうしてよいか迷うこと、途方にくれること」を表すが、それから、意味②「困り苦しむ」、さらに意味③「その人のした事がもとになって、相手や周りの人が不利益を被ったり、不愉快な思いをしたりすること。また処置に困って悩むこと」という意味が派生した。したがって、「迷惑」の意味変化のプロセスは「意味①⇒意味②⇒意味③」だと考えられる。現代日本語では、意味①と意味②が消え、意味③だけが残りに、「迷惑」とそれを生んだ中国語の“迷惑”との意味上の繋がりが断たれ、互いに独立した表現となっている。しかし、時代を遡っていけば、両者の意味上の繋がりが見えてくる。

「迷惑電話」、「迷惑メール」は中国語で“骚扰电话”、“垃圾邮件”、「迷惑行為」は“扰人的行为”、「迷惑千万」は“极其麻烦。真麻烦”、「有難迷惑」は“好心帮倒忙”、「迷惑料」は“补偿费”、「近所迷惑」は“给邻居带来麻烦”と訳す。以上のように、日本語の「迷惑」は、中国語の“迷惑”ではなく、その他の言葉で対応する。

また、“迷惑”と「迷惑」が動詞として用いられる場合、統語論的に見れば、その用法に相違するところがある。

○ああいう人がいるからみんなが迷惑する。（因为有那样的人，所以大家才觉得麻烦。）

○他听了很迷惑，就问师傅：“出家是否还有别的事可做？”（それを聞いてとても戸惑った彼は、「出家したら、何か別にすることがあるの？」と師匠に聞いた。）

上記の例文のように、日本語の「迷惑」も中国語の“迷惑”もその主体を示す語が現れるが、しかし、中国語の“迷惑”には次のような用法もある。

○有的说他是好人，他就是那基督。有的说他不是，他是来迷惑众人的。（彼はいい人であり、キリストだと言う人がいる。違う、みんなを惑わすために来たのだと言う人もまたいる。）

このように、“迷惑”はその後に目的語が現れ、“迷惑他”、“迷惑对手”、“迷惑不明真相的群众”などの表現がよく見られる。また、次の例文のように、対象を示す名詞が主語に立ち、受身文を作ることもできる。

○他有洞察能力，不被喧嚣一时的议论所迷惑。（彼が洞察力を持ち、一時大いに騒がれたことに惑わされることはない。）

しかし、日本語の「迷惑」は中国語の“迷惑”とは異なり、目的語がないため、「～に迷惑される」のような受身形が見当たらない。

結語

本節では、日本語の「迷惑」と中国語の“迷惑”の意味的相違について考察した。日本語の「迷惑」の用法を【Nは／が＋迷惑する】【迷惑＋な＋N】【迷惑＋をかける／及ぼす／受ける／被る】と、中国語の“迷惑”の用法を【迷惑＋N】【被（为／受）＋N＋迷惑】【使（让／令／把）＋N＋迷惑】【迷惑地＋

V】【迷惑+的+N】【N／形容詞／副詞+的+迷惑】に分け、その意味や用法、また訳語の特徴などを分析した。

中国語の“迷惑”と日本語の「迷惑」は完全に異なった意味を表す。それを図で示すと、下記の通りになる。

中国語における“迷惑”と日本語における/「迷惑」の意味的相違

迷惑（中国語）	意 味	迷惑（日本語）
○	迷って判断を失する、当惑する。	×
○	人を惑わす、人を迷わせる。	×
×	その人のした事がもとになって、相手や周りの人が不利益を被ったり不愉快な思いをしたりすること。また処置に困って悩むこと。	○

日本語の【Nは／が+迷惑する】の「迷惑」は中国語では“不满”、“感到不快”、“为难”、【迷惑+な+N】の「迷惑」は中国語では“麻烦”、【迷惑+をかける／及ぼす／受ける／被る】の「迷惑」は“带来麻烦”“遭遇麻烦”で対応する。

『日中辞典 小学館』では、「迷惑」に関しては、“麻烦”“打扰”と解釈されている。しかし、「迷惑」には上記二つの意味のほかに、“为难”“不满”“感到不便”などの中国語に訳すことも可能であり、「迷惑」に関する同辞書の語釈に解釈不足が存在すると指摘しておきたい。

注と参考文献

(1)2014年6月、京都外国語大学在籍の学生30人を対象に、下記の日本語が正しいかという問いでアンケート調査を行った。〈例1〉即座にこの絵を改正して下さい、〈例2〉本は未改正である、〈例3〉本を改正する、〈例4〉本年より教科書改正、〈例5〉市と区の区画を改正する。

(2)日本語の「深刻」に後続する名詞の分類

後続する名詞がマイナス評価の語であるか否かによって、それを二分することができる。マイナス評価の語をさらに次のように分けることができる。

① 「問題」を伴う複合語 人口問題、老人問題、社会問題、公害問題、環境問題、住宅問題、都市問題、農村問題、財政問題、債務問題、貧困問題、失業問題、青少年問題、通商外交問題、国際収支問題、不良債権問題など

② 「不足」を伴う複合語 米不足、水不足、人手不足、定員不足、住宅不足、外貨不足、食糧不足、労働力不足、就業者不足、医療スタッフ不足など

③ 「危機」を伴う複合語 危機感、金融危機、経済危機、林業危機、内部危機、政治的危機など

④ 「難」「害」「不」など、マイナスイメージを帯びる漢字を伴う語や複合語 住宅難、食糧難、公害、被害、災害、侵害、障害、弊害、人権侵害、消費者被害、女性の人権侵害、不満、不況、社会不安、金融システム不安、不動産不況、不況期、構造的な不況、円高不況、経済不振など

⑤ その他 苦痛、困難、犯罪、混乱、病気、脅威、差別、汚濁、打撃、悩み、薬物禍、副作用、揉め事、いじめ、悪影響、交通麻痺、体の損傷、内部対立、民族対立、落ち込み、景気後退、景気停滞、嫌がらせ、学力低下、骨肉の争い、支持率の低迷、ジレンマ、ストレス、ノイローゼ、ダメージ、デフレ、モラルハザードなど

以上のように、日本語では、「深刻」が修飾する名詞には「問題」、「不足」、

「危機」、「難」「害」「不」などを伴う語や複合語が多く見られる。このほかに、⑤の用法にまとめられた「苦痛」「困難」「犯罪」のような言葉もよく使われる。

また、マイナス評価とは認められず、ニュートラルな語感をもつ語を修飾する場合もある。①表情などを示す語（顔、顔つき、面持ち、表情、面）、②物のありさまや様子などを示す語（形、状態、状況、様子、局面、現実、現状、情勢、実態、事柄、事態、債務状況、経済状況、財政状況、雇用状態、経済情勢）、③人の思考活動や言語活動を示す語（認識、決意、印象、感じ、疑問、物の考え方、受け止め方、話、問い、一言）、④その他（影響、結末、結果、限界、場合、体験、赤字、関係、響き、意味、こと、もの、政治課題、赤字基調、構造的変化、経済的影響）などがそれである。

(3) 国廣哲彌編 『言葉の意味3』 平凡社 1982年5月

(4) 土井忠生、森田武、長南実編訳 『邦訳 日葡辞書』 岩波書店 1980年5月

(5) 下中直人編集 『世界大百科事典』改訂新版 平凡社 2009年6月

(6) 谷衍奎編 《汉字源流字典》 语文出版社 2008年1月、周绪全、王澄愚编著 《古汉语常用词源流辞典》 重庆出版社 1991年1月

第5章 中国語と日本語における漢字形態素「化」 「素」「横」を伴う漢字同形語の意味的相違

第1章～第4章では、中国語と日本語における漢字同形語の【第1パターン】
【第2パターン】の例について考察してきた。本章では中国語と日本語におけ
る漢字形態素「化」「素」「横」を伴う日中漢字同形語の意味的相違、また一部
の日本語的な表現の中国語訳の特徴に関して三つの節に分けて考察し、【第1
パターン】【第2パターン】にかかわる諸問題、また辞書的語釈の問題点につ
いて改めて考えることにする。

第1節 中国語と日本語における「化」を伴う漢字同形 語の意味的相違及び接尾辞「化」の役割

中国語でも、“自由化”“現代化”のように“化”を伴う表現がよく使われて
いる。近年、日本語に由来する“少子化”“高齢化”という表現も使われるよ
うになった。“自由化”“現代化”のような「化」を伴う表現は日本人の手によ
って作られたとする研究(注1)は数多くあり、筆者も同様の立場を取る。

本節の「化」を伴う漢字同形語の研究焦点は下記の通りである。

①「化」を伴う漢字同形語の意味が中国語と日本語とで完全に同じであるの
かについて考察する。日本語の「深刻化」を例に挙げれば、「深刻化」は「問
題がますます深刻になる」という意味で、程度の変化を示すが、中国語の“深
刻化”は、「問題をより掘り下げて分析する」という意味で、「問題の深刻」と
いうマイナス評価的用法ではない。このように両者の意味的相違を明らかにす
るのが研究の目的である。

②「化」を伴う表現における「化」の役割は何かを明らかにすることがも

う一つの研究焦点である。「合理化」「最適化」「高齢化」「少子化」の「化」は程度の変化を示す。しかし、この視点だけで、「化」を伴う表現の主たる特徴を説明し切れるのか。「映画化」や「男性の女性化という現象」の「女性化」は明らかに程度の変化の問題ではない。新しい視点を設けて説明する必要があるか否かについて考える。さらに辞書的解釈に問題がないのかにも関係して考察する。

③日本語の「化」の中国語訳の特徴は何か、とりわけ中国語の“化”以外の対応語の特徴は何か、ということを第三の研究焦点にする。

(1) 日本語と中国語における「化」を伴う漢字同形語の意味的相違

研究焦点①「化」を伴う漢字同形語の意味が完全に同じであるのか、について考察する。「化」を伴う表現を調査した結果、「美化」、「浄化」、「強化」、「合理化」、「一般化」、「国際化」、「少子化」、「弱体化」など、「漢語+化」のパターンの例が最も多く見られる。

このように、接尾辞「化」の前に用いられる漢語は、さらに「美」「浄」「強」のような一字漢語と、「一般」「公式」「国際」のような二字漢語に分けることができる。上記の例の場合、中国語にも“美化”、“浄化”、“強化”、“一般化”、“公式化”、“国际化”があるが、意味は必ずしも同じではない。次に中国語と日本語における「美化」「浄化」「公式化」などの漢字同形語の意味的相違を考察することにする。

① 日本語の「美化」と中国語の“美化”の意味的相違

まず下記の日本語の「美化」の例を見てみよう。

○みなさんの家庭から出る多量のごみは都市美化センターへ分別して直接持ち込むことができる。(从各家里产生的大量垃圾可以分类直接送到城市美化

中心去。)

○本発明は、自然や人体への影響が少なく、環境に優しく街の美化に貢献する。(本發明對自然環境及人體的影響很少，且環保、有益於美化城市的环境。)

○市道に散乱するごみの収集や除草などの美化活動をするボランティアを募集する。(政府正在招募志愿者，他们将参加收集丢弃在市建道路上的垃圾及除草等环境美化活动。)

日本語の「美化」は「環境美化運動」「街の美化に努めよう」「美化活動」のように、環境などを美しく変化させる場合によく使われる。中国語の“美化”もこの場合によく用いられ、“美化环境”“美化市容”“美化家园”などがそれである。下記の場合も日本語の「美化」は中国語の“美化”と同じである。

○戦争が美化される現状に、危機感が募る。(對於美化战争的现状，人们的危机感越来越强烈。)

○美化侵略战争是绝对不能容许的。(戰爭を美化することは絶対に許されない。)

○这伙人口出狂言，力图美化过去的罪恶。(これらの人は口から出まかせを言って、過去の罪惡を美化しようと凶っている。)

中国語の“美化”と日本語の「美化」は、環境を美しく変化させる場合だけでなく、上記の例のように、「戦争」「罪惡」などを正当化し、美しく表現する場合に用いられる。この場合の「美化」は、中国語の“美化”で対応できる。が、下記の場合は中国語の“美化”で対応できないことから、日本語の「美化」と中国語の“美化”との相違が窺える。

○人びとの現実の生活や仕事の様子を美化することなく表現している。(不加修饰地去表达人们的现实生活及工作的状况。)

○この叙述は女性を美化している。(这种叙述是在赞美女性)

○幸子は恋を美化して理想化する。(幸子将恋爱想象得很美, 使之理想化了。)

○飢えや物資の貧困に屈しない精神などを美化する。(赞美不屈服于饥饿、物资匮乏的精神。)

以上の例のように、日本語の「美化」は「実際以上に美しく考えたり、実際以上に美しいものとして表現したりすること」を示す。

以上の考察をまとめれば、日本語の「美化」は、主として①「環境美化」のように、人間が生活する場所や環境、②「戦争美化」のように、戦争のようなマイナス評価の出来事や人間の行動、③「人びとの現実の生活や仕事の様子」「女性」などニュートラルな事柄や人、さらに「恋愛」「飢えや物質の貧困に屈しない精神」などロマンチック、人間の美德とされるプラス評価のものを表す場合に使われる。それとは対照的に、中国語の“美化”は上記①のほかに、②の用法と同じ、“美化战争”“美化过去的罪恶”のように、悪いものをよいもの、醜いものを美しいものとして表現する場合に使われる。しかし、中国語の“美化”はニュートラルな事柄や人、プラス評価のものを表す場合には使わないため、日本語独特の「美化」の用法③を中国語に訳す場合、“把……想象得很美”“修饰”“赞美”で対応する。

『日中辞典 講談社』『日中辞典 小学館』では「美化」に関しては、“美化”“理想化”と解釈している。しかし、中国語の“美化”と日本語の「美化」の使い方の微妙な相違には触れていない。

② 日本語の「浄化」と中国語の“净化”の意味的相違

日本語では、「生活環境を浄化する」「魂を浄化する」などのように「浄化」がよく使われるが、それを“净化生活环境”“净化心灵”などと訳すように、中国語でも“净化”がよく使用され、両者が漢字同形語で対応できる場合が多い。しかし、日本語の「民族浄化」と中国語の“民族净化”のように、意味が

異なる場合もある。まず日本語の「民族浄化」の例を挙げる。

○国連が関与したにもかかわらず、国際社会が十分な対応をしなかったため、民族浄化や、市民の大量殺害を防ぐことができなかった。（尽管联合国进行了干预，但由于国际社会没有采取充分的应对措施，因此没能避免暴力驱逐其他民族以及针对市民的大屠杀的发生。）

次に中国語の“民族浄化”の例を挙げる。

○这项正在进行的民族浄化工作，也许要几个世纪才能完成。（現在、行われている民族文化や伝統を革新する活動は、おそらく数世紀もかけて成し遂げられるであろう。）

○南非用非暴力手段消除了这种种族歧视。这种民族自我浄化的发展模式是世界上独一无二的。（南アフリカは非暴力的手段で人種差別を撤廃した。このような自ら民族の政治体制や文化を革新するやり方は世界で唯一無二のものである。）

日本語の「民族浄化」は複数の民族集団が共存する地域において、暴力的な手段を以てある民族集団を強制的にその地域から排除しようとする政策を指し、マイナス評価の表現である。しかし中国語の“民族浄化”は言語、行動、文化などからマイナスの要素を取り除き、自民族の文化や伝統や政治体制をより立派なものにするという政策や運動を指し、プラス評価の表現とされ、日本語の「民族浄化」とは相当異なる。

次に日本語の「浄化」の中国語訳を考える。

○微生物の働きを活発にさせて汚物を浄化させる。（激活微生物的作用，清除其中的汚物。）

○政界浄化を唱え続けた三木武夫の名は、金権腐敗が繰り返されるたびに国民の脳裏によみがえってくる。（一直在呼吁铲除政界腐败现象的三木武夫的名字，每当发生钱权腐败事件的时候都会浮现在国民的脑海里。）

以上のように、日本語では「生活環境」「海水」「魂」「心身」など清められる対象が「浄化する」の対象語となるほかに、「汚物」など清められる対象から取り除かれる物も「浄化する」の対象語となる。この場合、中国語では“浄化”ではなく、“清除”で対応する。さらに「浄化」は「政界浄化」のように政界における不正腐敗を追放する場合にも使われ、中国語は“铲除”で対応する。このような日本語の使い方は中国語の“浄化”には見られない日本語独特なものである。

《详解日汉辞典》『日中辞典 講談社』の「浄化」の解釈では“浄化”という中国語対応語のみとされるが、上記に挙げた両者の相違を取り上げるべきである。

③ 日本語の「強化」と中国語の“强化”の意味的相違

日本語では、「良好な二国間関係を強化する」「内部統制機能を強化する」のように、「強化」という語がよく使われる。それを“强化良好的两国之间的关系”“强化内部控制功能”と訳すように、漢字同形語で対応できる場合が多い。しかし、以下のような場合には、中国語の“强化”で対応できず、日本語独特の使い方と見られる。

○団結を強化し力を合わせて、労働条件改善や処遇改善を実現していこう。

(加强团结、同心协力，去实现改善劳动条件以及提高待遇的目标。)

○水不足を防止するための取り組みを強化する。(加强防止水资源不足的措施的实施。)

日本語では、上記の例文のように「団結を強化する」「取り組みを強化する」という表現が用いられるが、中国語ではこのような場合には“强化”ではなく、“加强团结”“加强……措施的实施”と訳すように“加强”を使うことが多い。

○お客様への提供力をさらに高めるために、様々な部門を強化する。(为了提高针对客户的供货能力，我们要加强各个部门的实力。)

○京都市交通局は10月10日から、桂川駅へのバス路線を強化する。(京都市交通局自10月10日起扩充开往桂川站的巴士线路的运力。)

○河川堤防の強化に関する研究を行った。(开展了有关加固河流堤坝的研究。)

上記のように、「部門を強化する」の「強化する」は中国語では“加强／充实……实力”で対応する。ただし、日本語の「強化」は幅広く使われており、中国語では“扩充”“发展”“加固”“巩固”などで対応する場合もある。

中国語の“强化”は日本語の「強化」ほど幅広く使われていないが、“突出产品形象以强化竞争力”(製品のイメージをアピールして競争力を強化する)、“我们应该逐步强化这种环保意识”(この環境を保護する意識を徐々に強化すべきである)、“两国宣布强化战略关系”(戦略的関係を強化すると、両国は共同声明を発表した)のように、能力や実力を強めることを表す場合、意識や考えを強めることを表す場合、双方の関係を強めることを表す場合によく用いられ、日本語の「強化」で対応できる。

《详解日汉辞典》『日中辞典 講談社』『中日辞典 小学館』では、「強化」は“强化”“加强”、と解釈している。しかし中国語の“强化”には見られない、日本語独特の「強化」の用法については触れていない。

④ 中国語の“公式化”と日本語の「公式化」の意味的相違

次に中国語と日本語の両言語においてよく使用される「公式化」という表現の意味的相違について考察する。

○为生計所迫，作家们也开始写起这种情节雷同、公式化的小说来。(生計を立てるために、作家達もこのようなストーリーが同じで、芸術性に乏しくお決まりのパターンの小説を書き始めた。)

○这一类片子的公式化其实很严重。（このような映画に見られる紋切り型の現象は実はとても深刻であった。）

中国語の“公式化”は、小説や映画など文芸作品を創作する場合、豊富な現実的生活を定型化した手法で千編一律に描くという意味を表す。小説や映画など文芸作品のほかにも広く使われ、日本語の「お決まりのパターン」「紋切り型」で対応し、マイナス評価の意味で用いられる。

○公式化的礼物谁都会送，可是送什么才能传达自己的心意呢？（ありふれた贈り物なら誰にでも用意できるが、ただし、自分の気持ちが相手に伝わりにくい。何を贈れば自分の気持ちが相手に伝わるだろうか？）

○这些年我们发现，在与市民的互动交流中，那种公式化的回应少了。（ここ数年、市民との交流において、紋切り型の回答が少なくなったことに気づいた。）

中国語における“公式化”は、上記の例のように、あるパターンにはまって何の変哲もなくつまらなく思うことを表す場合と、心を込めずに、決まったやり方で対応することを表す場合がある。この場合も日本語の「公式化」では対応できない。

次に日本語の「公式化」はどんな場合に用いられるのか、どんな中国語で対応しているのかについて考える。次の例を見てみよう。

例①. 政治システムは政府の政策を公式化し、かつそれが実施されることを確実にする執行部門なくしては生き残ることはできない。（没有一个将政府政策形成固定模式、并负责具体实施的执行部门，政治体系是难以维持下去的。）

例②. 一般的に、事業の価値実現とはつぎのように公式化できよう。第一式
資本+利潤=価格 第二式消費者の価値観（感）=消費者の便益/消費者の購入価格（一般来说，企业的价值实现可以化成下列公式，第一公式资本+利润=价格 第二公式消费者的价值观<感>=消费者的便利/消费者的买入价格）

上記の例①の「公式化」は「決まったパターンを作り上げる」という意味であり、中国語では“将……形成固定模式”と言うが、例②の「公式化」は「事業の価値実現」を分かりやすくするため、数学上の記号で表す式にするという意味であり、それを中国語では“化成公式”と言う。

以上のように、中国語の“公式化”と日本語の「公式化」は意味が異なる。また中国語の“公式化”はマイナス評価の語感が強いのに対し、日本語の「公式化」はニュートラルな語感を持つ点においても異なる。

⑤ 中国語の“一般化”と日本語の「一般化」の意味的相違

ここでは、中国語の“一般化”と日本語の「一般化」の意味的相違について考えることにする。

○不能停留在一般化水平上，不能满足于仅仅过得去，而要追求最好、最高。（ごく普通のレベルに留まり、どうにかやっていける状態に満足してはならない。最良、最高を追求するべきだ。）

○一般化的测试题很难考出真实水平。（一般的な試験問題だけでは本当の実力が分からない。）

上記の例の“一般化”はどこにでも見られるありきたりなさまという意味を示し、マイナス評価の語感が含まれる表現である。中国語の“一般化”は“一般”を強める表現で、“太一般化了”は目立ったことはなく、ごく普通、ありふれたことを指す。

次に日本語の「一般化」の用法を見てみよう。

○この竹箒に願い事や詩歌を書いた色とりどりの短冊を吊り下げる習慣は、江戸時代、寺小屋によって一般化したようである。（将写有心愿及诗歌的五颜六色的诗笺挂在细竹上的习俗，似乎到了江户时代，通过私塾而走向了普及。）

○人々の間にスポーツが一般化するのは、フランスでは 19 世紀の後半のことであった。（体育运动在法国民众中走向普及是在 19 世纪后半叶。）

○一生をどう終えるかという〈死〉への関心と結びついて、病いへの関心の人々の間で広く一般化するようになった。（与如何走完一生这种对死亡的关注相关联，对疾病的关注在大众之间越来越普遍了。）

○しかしそれは、ある限られた人たちの「ブーム」であり、一般化されたものではなかった。（但这只是部分人中的热潮，没有普及。）

○PSAD は前立腺癌診断時の特異度の改善には有用であるが、臨床上まだ一般化されていない。（PSAD 对前列腺癌诊断时特异度的改善有所作用，但在临床上尚未普遍使用。）

日本語の「一般化」は「広く行き渡ること」「特殊なものが普通のものになること」という意味であり、中国語の“走向普及”、“普及”、“越来越普遍”、“普遍使用”で対応する。日本語の「一般化」と中国語の“一般化”は意味が異なるほか、“一般化”はマイナス評価の語感を持ち、「一般化」はニュートラルな語感を持つ点においても異なる。

⑥ 中国語の“组织化”と日本語の「組織化」の意味的相違

次に中国語の“组织化”と日本語の「組織化」の意味的相違について考えることにする。

○以商会、教育会等各种社会团体形式得以组织化，与政治社会形成抗衡格局。（商工会議所、教育会などは社会団体の形として組織化され、政治社会との対立の構えをなしている。）

○提高外出民工的组织化程度，帮助农村劳动力在城市顺利务工。（出稼ぎ農民の組織化を促し、農村部の人々が都会で順調に就労できるようにする。）

○歴史の長い過程の中で、国際社会の組織化は、戦争を起こさない方向へと

進んできた。（在漫长的历史过程中，国际社会的组织化始终向抑制战争的方向发展。）

○このような、個別経営の規模拡大、農業生産の組織化によって今後の農業生産を効率的に進めなければならない。（我们必须通过这种个体经营规模的扩大、农业生产的组织化来高效地促进今后的农业生产。）

上記の例のように中国語の“组织化”と日本語の「組織化」はばらばらの団体やグループを、ある体系のなかにまとめ、またはそのままではまとまらない人間の行動をある体系の下にまとめて効率よく行うという意味を表す場合によく使われる。多くの場合、両者は漢字同形語で対応することができる。

○重要なポイントは、農家をとりまとめている農協、農村女性を組織化している農協女性部などの動向であると考えられる。（我认为重要的是将农户们组织在一起的农协、以及将农村妇女组织起来的农协妇女部的动向。）

しかし、日本語の「組織化」は動詞としても使われるが、中国語の“组织化”は動詞としての用い方がないため、上記の例の「農村女性を組織化する」を“将农村女性组织起来”で対応する。

○知識の組織化、情報の組織化は図書館情報学に関する研究分野である。（知识系统化、信息系统化是一项与图书馆信息学相关的研究领域。）

○思想文化与专业学科有所不同，其组织化的方式也不会一样。（思想文化は専門的な学問とは異なるところがあり、その組織化の方法も同じではありえない。）

上記の例のように、日本語の「組織化」は人間社会のばらばらの知識や情報を系統立てるという意味を示す場合によく使われる。一方、中国語でも“组织化”が上述した場合に使われることがあるが、まだ中国語として定着しておらず、使用頻度は高くない。この場合、通常“组织化”より“系统化”の方がよく使われる。“知识系统化”“信息系统化”などがそれである。

ここ二十年、中国語において“国际化”“少子化”という表現がよく使われるようになった。次に中国語と日本語における「国際化」「少子化」の意味的相違を考えることにする。

⑦ 中国語の“国际化”と日本語の「国際化」の意味的相違

ここでは中国語の“国际化”と日本語の「国際化」の意味的相違及びその中国語訳の特徴を考えてみる。

○大学の国際化はもっと積極的に取組まれるべき課題だ。(大学的国际化是一个必须更积极推进的课题。)

○そこが国際化を真に理解できるか、表面的な辻褄合わせに終わるかの分岐点だと思う。(这是真正理解国际化、还是仅止于做表面文章的分岐点。)

○現地に子会社を設置している企業にしても、その経営活動が国際化していることに変わりはない。(即使是在当地设立子公司的企业，其经营活动无疑也已经国际化了。)

○インターネットなど技術的な手段は進化しているのだから、世論を国際化する条件はできているはずだ。(由于英特网等技术手段的发展，社会舆论国际化的条件无疑已经成熟。)

上記の例文のように、日本語の「国際化」は名詞、サ変動詞として用いられ、「国際的な規模に広がること」、また「国際的視野を持ち、その観点に立って行動する」という意味を表す。一方、中国語でも“国际化”という語がよく用いられる。その用例を見てみよう。

○中国汽车工业终于驶上了国际化的轨道。(中国の自動車工業はついに国際化の軌道に乗った。)

○他说,深圳很有希望率先建成国际化城市。(彼は、深圳が真っ先に国際化

する都市になる見込みがあると話している。)

○加快中医药产业现代化、国际化势在必行。(漢方医薬産業の現代化、国際化を加速させるのは避けて通れない時代の流れである。)

上記の例文で分かるように、中国語の“国际化”は日本語の「国際化」とほぼ同じ意味を表す。次に両者の用法における相違点はあるのかについて考える。

○他抛出的所谓“政改方案”，扩大中英对抗，企图使香港问题国际化。(彼の持ち出した、いわゆる「政治改革方案」は、中英の対立を拡大し、香港の問題を多くの国を巻き込んだ複雑なものにしようとする／国際問題にしようとする。)

○另一方面乞求洋人支持，妄图使西藏问题国际化。(一方、外国人の支持を求め、チベットの問題に多くの国を巻き込み、国際問題にしようと企んでいた。)

○可为了石油，一些非洲国家之间的争端也不时突显，甚至不惜使之国际化。(しかし石油のために、一部のアフリカの国々の間で度々紛争も発生し、多くの国を巻き込んでそれを複雑にする／国際問題に発展させることすらある。)

上記の例文における“国际化”は通常、【使+N+国际化】という構文で用いられ、【使】の後に続くNは“問題”“争端”といったような語が多い。この場合の“国际化”は多くの国を巻き込んで国際問題とし、問題解決ではなく、問題をより複雑にするというマイナス評価の表現である。これは普段よく使われる「企業、経済活動などが国際的規模に広がる」、「世界的視野を持って行動する」というプラス評価の意味とは異なる。

⑧ 日本語の「少子化」の中国語訳

現在、日本では子どもの出生率が低く、一世帯あたり子どもの出生数が少ない状態が続いている。この社会的現象を「少子化」と呼ぶ。一方、中国語においても“少子化”を使い始めている。筆者は《人民日报图文电子版 1946-2007》

で“少子化”の用例を検索し、15例を検出した。そのうち、早い時期に使用されているのは、2001年1月6日“日本忧虑少子老龄化”という記事に使われている例である。

○“少子化”是指14岁以下低年龄人口比例不断减少。（「少子化」は14歳以下の低年齢人口の割合が絶えず減少することを指す。）

○“少子化”的主要原因未婚率和晚婚率上升。（「少子化」の主な原因は未婚率と晩婚率の上昇にある。）

○解决少子化的对策，首先要为女性生育创造宽松的社会环境，制订与现代青年生活方式和价值观念相适应的、有力度的优惠政策。（少子化問題を解決するには、まず女性が出産のためにゆとりを持つことのできる社会環境を整え、今どきの若者の生活様式と価値観に適応した、魅力のある優遇政策を制定する必要がある。）

《人民日报》“日本忧虑少子老龄化”2001年1月6日

中国語でいつごろから“少子化”という言葉を使い始められたのか、ということについては、《人民日报》は本来、新語の使用に慎重的でありあまり使用しない、という点を考慮に入れると、“少子化”という言葉が中国語に浸透してきたのは2001年よりもう少し早い時期で、90年代の可能性があると考えられる。

一方、日本語の「少子化」はいつ頃から使われ始めたか、『朝日新聞聞蔵Ⅱ』を利用して検索したところ、最も早い例は1970年代に入ってからのものであった。

○「多産多死」から「少産少死」への移行。これが人口老年化の大きな理由だ。

『朝日新聞』1970年8月10日

○総人口の伸びは戦後最低の水準近くまで落ち込む一方、核家族・少産化傾向が一段と進み、十年後には夫婦に子一人の平均世帯像も崩れかねない。

『朝日新聞』1982年8月1日

上記の例のように、「子どもの出生率、出産数が減少すること」を表すのに、

最初日本語では「少子化」でなく、70年代にまず「少産」、80年代には「少産化」を用いていた。「少子化」はその後に登場してきたと見られる。

○核家族化、少子化の現象や、地域社会の崩壊のなかで、幼時から自然に人間関係を体験しつつ学ぶことが少なくなった。

『朝日新聞』1984年11月13日

○農業社会から工業社会への転換につれて、1組の夫婦が生む子どもの数が減る「少子化現象」が起きるのは、教育費がかさむため、と言われている。

『朝日新聞』1986年3月2日

○都市化、核家族化、少子化などで人間と人間のふれあいがすっかり減った。

『朝日新聞』1986年6月6日

以上の例で分かるように、日本語における「少子化」の登場は80年代の半ば頃である。中国より日本の方が早く「少子化現象」に直面し、「少子化」という語の使用も中国語より早かった。このことから、中国語における“少子化”は日本語より流入した語と見られる。

上述したように中国語においても“少子化”という言葉が使われているが、まだそれほど使用頻度の高いものではない。《CCL 语料库检索系统》を利用して検索したところ、8例しか検出できず、その用例もすべて日本または台湾の事柄を表すものであった。そのほかに《人民网报刊检索》で2013年1月1日から2013年12月31日の人民日報を検索したところ、10例収集できた。そのうちの5例は日本の事柄、2例は台湾の事柄、3例は中国大陸の事柄を述べる場合に使われていたものである。“少子化”はまだ《现代汉语词典》《辞海》に収録されていない。次に日本語の「少子化」に対応する中国語訳の特徴を考える。

○女性の継続就業は少子化対策と実に深い関係がある。（女性的继续就业与少子化对策有很深的关系。）

○少子化社会に向かう中で学校経営は非常に厳しくなる。(在迈向少子化社会的过程中, 学校的经营会变得非常困难。)

○少子化の課題というのは、本当に国を挙げて乗り越えるべき課題である。(少子化这一课题实在是应该举国去克服的问题。)

上記の例の「少子化」は「少子化対策」や「少子化社会」など、他の名詞と組み合わせて使われる場合、及び「少子化の問題」のように他の名詞を修飾する場合に、通常そのまま中国語の“少子化”で対応する。

○少子化が急速に進行し、若い力が減少する場合には、国の基盤に影響を及ぼすことにもなりかねない。(如果少子化问题急剧恶化, 造成劳动力减少的话, 就可能对国家的基础带来影响。)

○少子化による児童生徒数の減少に伴い、子供同士で切磋琢磨する機会がすくなくなった。(伴随着因少子化问题产生的中小學生人数的减少, 孩子们之间相互切磋交流的机会越来越少。)

○少子化に伴う教職員の減員は、今後進むであろう。(伴随着少子化现象的持续, 教职员人数的减少今后会不断扩大。)

上記の例で分かるように、同じく名詞として用いられるが、「～が進行する」、「～に伴う」、「～による」などと共起する場合に使われる日本語の「少子化」は、通常“問題”“現象”を付け加え“少子化問題”または“少子化現象”と訳す。

(2) 日本語の「化」を伴う表現の中国語訳の考察

次に「集団化」「協同化」「先鋭化」など日本語の「化」を伴う表現の中国語訳について考える。

① 日本語の「集団化」の中国語訳

中国語の“集団化”はばらばらの機構や組織をまとめて集団の強さを発揮す

るという意味を表す。“集团化经营”“集团化企业”などがその例である。一方、日本語の「集团化」も同じ意味を表し、「工場の集团化」「企業集团化」という表現を使う。

日本語の「集团化」を中国語では“集团化”としない場合がある。下記の例を見てみよう。

○犯罪の組織化・集团化、巧妙化に対応し確実な防犯システムを構築するうえには、デジタル技術を駆使した警備支援体制の確立が不可欠です。(为应对犯罪的组织化・团伙化、灵巧化，在构筑可靠的防盗系统的基础上，建立运用数码技术的警备支援体制也是必不可少的。)

日本語では、「犯罪の集团化」という表現が使われるが、中国語では犯罪者のグループを“集体”ではなく、“团伙”を使うため、この場合の「集团化」を“团伙化”と言う。

○このような作業を限られた時間内で行うには、研究の集团化をある程度取り入れない限り不可能ではなかろうか。(要在有限的时间里完成这项工作，必须在一定程度上在研究方面采取团队合作的方式，否则是不可能的。)

日本語では、「研究の集团化」という表現も使われるが、この場合中国語では普通“集团化”ではなく、“团队合作的方式”と言う。

次に中国語で使われる“集体化”という表現に対応する日本語訳を考える。中国語には“集体化”という表現があるが、日本語には「集体化」という表現はない。“集体化”は日本語の「集团化」で対応できるのか、次の例を見てみよう。

○分到土地不久的中国农民，在中央政府的组织下，一步步走上了集体化。(土地が割り当てられて間もない中国の農民は、中央政府の指導の下、次第に農業集团化を実現しつつあった。)

中国語の“集体化”（农业集体化）とは、最初は旧ソ連、東ヨーロッパで実

施され、新中国でも導入された政策である。その主な内容は、コルホーズや人民公社などの結成により、小作農が大半を占める農村を改造することであった。日本語の「農業集団化」は専らそれを指す。日本語では「農地集団化」という表現がよく使われるが、それは細分、分散している農用地を広く使いやすい形にまとめるということを意味し、ソ連や東ヨーロッパ、中国などの社会主義諸国で実施されていた政策と異なる。

現代中国語では、“集体化”という表現は農業以外の事柄にも使われている。“集体化生活”は人が集まって共同生活をすることであり、“集体化管理”は散らばった個体を集めて管理することである。日本語では、これらの例をいずれも「集団化」とは表現しない。

② 日本語の「先鋭化」の中国語訳

次に中国語の“尖锐化”と日本語の「先鋭化」の意味的相違及び日本語の「先鋭化」の中国語訳の特徴について考察する。

日本語の場合、「尖」が当用漢字・常用漢字に選定されなかったため、「尖」→「先」に替えて使用することが多く、「尖端」→「先端」、「尖锐」→「先鋭」がそれにあたる。「尖锐」は現在、「先鋭」に替えて使用することが多いが、中国語の“尖锐化”と日本語の「先鋭化」は意味的に同様なのかを、下記の日本語の「先鋭化」の例から考える。

○民主化運動が先鋭化する。(民主化运动越来越激进。)

○長引けば地方が心配だ。地方は東京以上青年将校が先鋭化している。(如果拖延外地令人担心, 外地的一些青年军官更加激进。)

○宗教改革の運動が、やがて政治運動の色彩を帯び、しかもそれが先鋭化していった、農民暴動、農民戦争に発展していった。(宗教改革运动不久就带上了政治运动的色彩, 并且更加激进, 逐渐发展成为农民暴动和农民战争。)

上記の日本語の「先鋭化」は思想や行動が急進的になることを示し、中国語の“越来越激进”“更加激进”で対応する。下記の「先鋭化」の例を見てみよう。

○徐々に両者の対立が先鋭化してくるのである。(双方的对立逐渐激化／越来越尖锐。)

○これにより、三好三人衆と松永久秀の対立が先鋭化する。(由于这个原因，三好三人众和松永久秀的矛盾愈加激烈／越来越尖锐。)

人間同士や国同士の対立が激しくなることを表す場合にも、日本語では「先鋭化」を使うが、中国語では“逐渐激化”“愈加激烈”“越来越尖锐”、または“尖锐化”で対応することができる。

中国語の“尖锐化”は日本語の「先鋭化」と同じ意味として使われるのか、下記の例を見てみよう。

○由此看来，冷战结束之后，西方大国之间的矛盾似在趋向尖锐化。(ここから見れば、冷戦が終結してから、西洋の大国間の対立が激しくなっているようだ。)

○当子女成长、个人发展、就业方向、选择恋爱对象与父母所期望不一致时，家长和孩子之间的矛盾就变得更尖锐化。(子供の成長、個人の発展、就職の方向性、選択した恋愛相手などが親の期待と一致しない時、親と子供の対立が更に激しくなる。)

○即将搬迁的化工企业带来的环保问题日渐尖锐化后，众多官方和民间人士，开始向上级单位反映问题。(間もなく移転する化学工業企業がもたらした環境保全問題は日に日に深刻になり、多くの政府と民間の関係者は、上層部にその問題を訴える行動に出始めた。)

上記の例のように、国同士や人間同士の対立が激しくなることを、中国語では“尖锐化”と言うが、日本語では「激しくなる」、「深刻になる」と訳し、ま

た「先鋭化」とも言うが、使用頻度は低い。

日本語の「先鋭化」は通常「思想や行動の激しさ」が適当と考えられる度合いを超える場合に使われ、「過激的になる」という意味を示す。この場合の「先鋭化」は、中国語の“更加激进”“越来越激进”で対応する。一方、「両者の対立が先鋭化する」のように、人間同士や国同士の対立が激しくなることを表す場合にも、日本語では「先鋭化」を使うが、それに中国語の“逐渐激化”“愈加激烈”“越来越尖锐”、または“尖锐化”で対応する。中国語の“尖锐化”は「(対立、問題などが) 激しくなる、深刻になる」という意味を示し、日本語の「先鋭化」のほかに、「激しくなる」「深刻になる」で対応する。

最後に中国語の“合作化”の日本語訳について、特に日本語の「協同化」で対応できるかどうかを考える。

中国語の“合作化”とは、中国で 1950 年代前半に農業生産力を高めるために農民を“农业生产合作社（農業生産組合）”にまとめ、土地と機械・道具などの生産手段を共有し、生産活動を協同で行うという政策を指す。日本語には見られない表現である。

○因此，政府号召农民组织起来，走合作化的社会主义道路。（そのため、政府は農民を組織し、協同組合化という社会主義の道を歩むように呼びかけていた。）

○由于实现了农业合作化，顺利地渡过了灾荒。（農業協同組合化を実現したため、災害による飢饉を無事に乗り越えた。）

○解放以后，经过土地改革，几千亩土地先是分到农民手中，继而随着合作化运动，土地归集体所有。（解放後、土地改革を経て、数千ムーの土地は初めて農民の手に割り当てられたが、続いて農業協同組合化運動に伴い、土地は皆が共有するものになった。）

上記の例のように、“合作化”が特定の時代に中国で実施された農業政策を指す。中身が多少異なるが、日本語では通常「協同組合化」と訳す。また、現在“合作化”は次のような場合にも使われる。

○亚太区域经济合作化，是不排他的开放式合作。（アジア太平洋地域における経済の協同化は、非排他的でオープン型経済協力である。）

○信息产业向多极化、合作化、国际化方向发展，由美、欧两极竞争过渡到美、欧、日、亚、俄群雄并起的局面。（情報産業は多極化、協同化、国際化の方向に発展し、米欧両極の競争から、米、欧、日、亜、露が群雄割拠する局面に移行する。）

上記の例のように、“合作化”は経済や産業などを発展させるために協力するという意味に使われる場合、日本語では「協同化」と対応する。

ちなみに中国語の“合作”の日本語訳は次の通りである。

○如果是采取合作出版的方式，双方共同负担出版费用，那我们将全力支持。（共同出版という形で両方が出版費用を負担するなら、全面的にバックアップする。）

○他常常能给出好意见，是个很理想的合作人。（彼はいつも良い提案をしてくれる、すばらしいパートナーである。）

○强调加强合作，并非回避问题。（協力関係を強めることを強調するのは、問題を避けるためではない。）

上記の例で分かるように、中国語の“合作出版”は日本語の「共同協力出版」、
“合作人”は「パートナー」、
“加强合作”は「協力関係を強める」で対応する。

(3) 中国語と日本語における【漢字二文字+化】の役割

日本語の【漢語+化】を伴う表現は必ずしも中国語にも同形語があるとは限

らない。例えば、「一本化」のような表現は現代中国語には見られない。

前置語の語種によって【漢語+化】、【カタカナ語+化】、【混種語+化】、【英文字、数字+化】にも分類される。詳しくは<注2>を参照されたい。

前置語の品詞によって、日本語の「～化」を【名詞+化】【動詞+化】【形容詞+化】に分類できる。詳しくは<注3>を参照されたい。

また、【漢字二文字+化】の「～化」を伴う表現を『逆引き広辞苑』『逆引き中国語辞典』（注4）で調査し、日本語57語、中国語19語収集した。そのうち、中国語と日本語における同形の「～化」を伴う表現が7語、中国語に見られない日本語独特の「～化」が50語、日本語に見られない中国語独特の“～化”を伴う表現が12語であることが分かった。

次に『逆引き広辞苑』『逆引き中国語辞典』の両辞書に収録されている【漢字二文字+化】の表現を分類すれば、①中国語と日本語における同形漢字の「～化」、②中国語に見られない日本語独特の「～化」、③日本語に見られない中国語独特の“～化”、という三種類になる。下記の例がそれである。

① 中国語と日本語における同形漢字の【漢字二文字+化】

中国語：一元化、一般化、機械化、合理化、自動化、表面化、大众化

日本語：一元化、一般化、機械化、合理化、自動化、表面化、大衆化

② 中国語に見られない日本語独特の「～化」

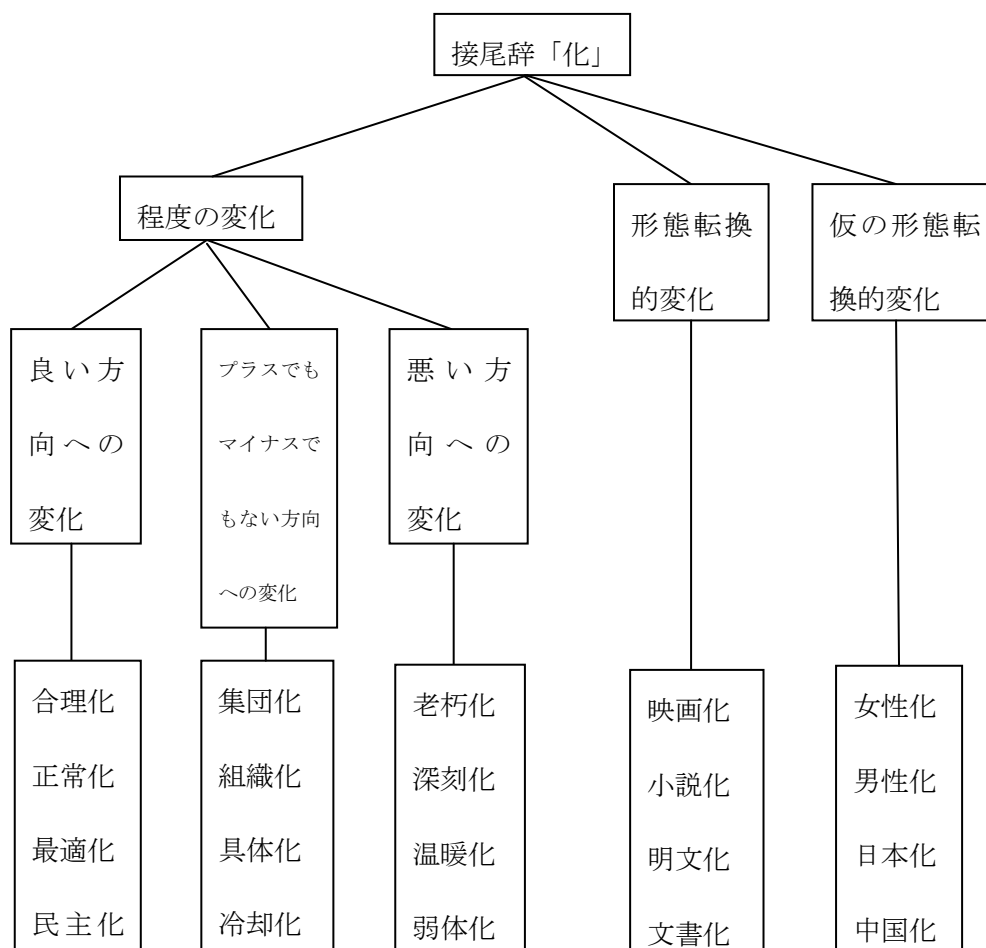
先鋭化、差別化、明文化、活性化、定量化、無核化、様式化、一本化、液状化、初期化、老朽化など

③ 日本語に見られない中国語独特の“～化”

概念化、企業化、规范化、简单化、形象化など

日本語の「最適化」「深刻化」「高齢化」「少子化」の「化」は程度の変化を表す。この視点で「化」を伴う表現の主たる用法を説明し切れるのか。また、たとえば、「映画化」「テレビドラマ化」や「男性の女性化という現象」の「女

性化」について新視点を設けて説明する必要があるのか。筆者は日本語の「～化」の役割を日本語学習者に理解させるために、次の図で説明することを試みる。



まず、中国語と日本語における【漢字二文字+化】の意味を「程度の変化」「形態転換的变化」「仮の形態転換的变化」の三つに分類する。また、「程度の変化」を「良い方向への変化」「プラスでもマイナスでもない方向への変化」「悪い方向への変化」に下位分類する。

「程度の変化」とは物事の状態などにどの程度の変化が起きるかを指す。それには「合理化」「正常化」のような良い方向への変化もあれば、また「老朽化」「深刻化」のような悪い方向への変化もある。さらに「集団化」「具体化」のようなプラスでもマイナスでもない方向への変化もある。

「形態転換的变化」とは、物事が本来有する形態が別の形態に変わる（変える）という変化である。「映画化」はある話や小説をもとに映画を製作するということを表し、本来話や小説という形態にある物が映画という異なる形態になるという変化を示す。また、「明文化」とは話の内容を明らかに文章に書くことを表し、音声的形態にあるものが文字という異なる形態になるという変化を指す。

「形態転換的变化」は物事がAの形態からBの形態に転換可能な変化を指し、「仮の形態転換的变化」とは物事がAの形態からBの形態に転換不可能な変化を示す。例えば、「映画化」は話や小説というAの形態から映画というBの形態に転換可能である。それに対し、「女性化」は男性であるのに、女々しい女性の特性や身なりをするという意味で、男性というAの形態から女性というBの形態に転換するという実質的变化ではなく、仮の変化を示している。

○女性は高齢になると男性化し、男性は逆に女性化する。定年を迎えて、退職したサラリーマンの妻がいきいきと積極的、行動的になる。（女性进入高龄后变得男性化，相反男性则变得女性化，那些退休职员的妻子显得积极、主动起来。）

○どうやらいつの間にか、女性化した人達が集まり、ホモバーになってしまったようだ。（不知何时，这里俨然成了一家女性化的人士聚集的男同性恋酒吧。）

○日本の労働市場は依然として「女性の男性化」を要求している。（日本的劳动力市场依然有“女性男性化”的要求。）

○重化学工業を基軸とする「二十世紀システム」は、女性が男性化しなければ、有償労働に参加することができないシステムを形成してきたと言ってよい。

（可以说在以重化学工业为支柱的 20 世纪体系中，已经形成如果女性不男性化一些的话，就无法参加有偿工作的制度。）

上記の例の「女性化」は男性が女性に変わることを意味するのではなく、通

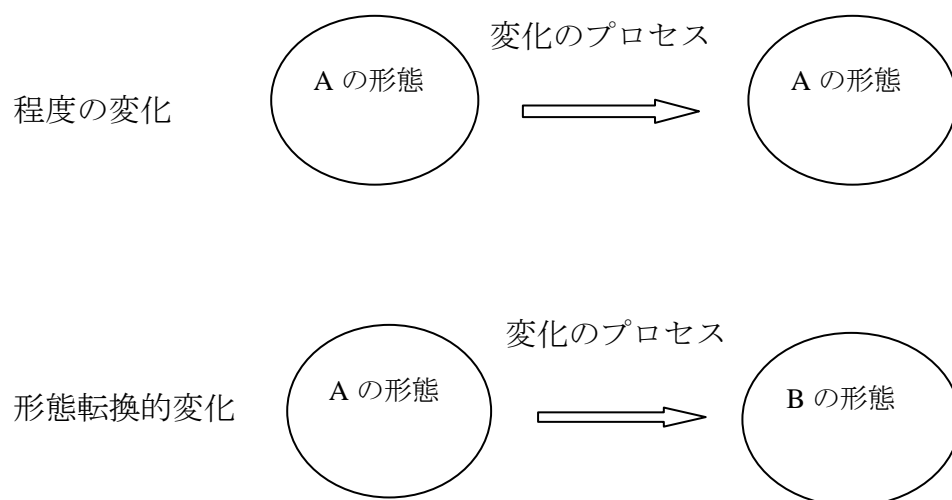
常女性のような恰好、仕草、性格、能力を男性が持つことを表す。「男性化」も女性が男性に変わるのではなく、一般的に男性のような恰好、仕草、性格、能力を持つようになることを表す。

下記の「中国化」もこの類に属する。

○円滑な統治には漢人官僚の協力が不可欠であり、（北魏）帝国は急速に中国化の道歩むことになる。（为了实行平稳的统治，汉族官僚的合作是不可或缺的，北魏帝国快速走上了中国化的道路。）

上記の「中国化」も同様に、北魏が中国本土になるのではなく、中国本土の文字、政治体制、生活様式などを取り入れて各方面で漢化されていった変化を指す。

【漢字二文字+化】の「程度の変化」と「形態転換的变化」の基本的な区分の基準は物事が本来持つ形態が別の形態に変わるか否かという点にある。前者の「合理化」「具体化」などは物事の状態などがいくら変化しても、その形態は元のままである。それに対して「映画化」「小説化」は物事が本来持つ形態が別の形態に完全に変わることを示す。それを図示すれば、下記の通りになる。



上記の図表で分かるように、「程度の変化」は変化のプロセスを経て、変わ

ったのは状態などであり、形態は元のままであるが、「形態転換的変化」は変化のプロセスを経て別の形態に変わることである。

中国語の“美化”、“浄化”、“組織化”、“公式化”などは同形の日本語の漢字語とは意味や用法に様々な微妙な相違点があるが、中国語の【漢字二文字+化】の役割は日本語の【漢字二文字+化】と基本的に同じである。が、「どこにでも見られるありきたりなさま」という意味を表す中国語の“一般化”の“化”は「程度の変化」ではない、「形態転換的変化」でも「仮の形態転換的変化」でもない。この“化”の役割は“一般”の意味を強めるものであり、日本語の「化」には見られない。これに関しては今後の研究課題とする。

結語

本節では、「日本語と同様の表現でも意味が完全に同様なのか」「日本語の『化』の中国語訳の特徴」「日本語と中国語における『化』の役割」の三つの視点から、日本語と中国語における「化」及び「化」を伴う漢字同形語の意味的相違について考察した。

中国語と日本語には「化」を伴う同形漢字語が数多くあるが、意味の異なる表現が少なくない。本節の(1)で、「美化」「浄化」「強化」「公式化」「一般化」「組織化」「国際化」「少子化」を例に取り上げ、その意味的相違を考えた。

日本語の「美化」は、主として「環境美化」のように、人間が生活する場所や環境、「戦争美化」のように、戦争のようなマイナス評価の出来事や人間の行動、「人びとの現実の生活や仕事の様子」「女性」などニュートラルな事柄や人、さらに「恋愛」「飢えや物質の貧困に屈しない精神」などロマンチック、人間の美德とされるプラス評価のものを表す場合に幅広く使われる。それとは対照的に、中国語の“美化”は“美化环境”(環境美化)の場合を除き、専ら“美化战争”“美化过去的罪恶”のように、悪いものをよいもの、醜いものを

美しいものとして表現する場合に使われる。

日本語の「民族浄化」は複数の民族集団が共存する地域において、暴力的な手段を以てある民族集団を強制的にその地域から排除しようとする政策を指し、マイナス評価の表現であるのに対して、中国語の“民族浄化”はマイナス評価的な意味がなく、自民族の文化や伝統や政治体制をより立派なものにするという政策や運動を指し、プラス評価の表現である。また日本語では「生活環境」「海水」「魂」「心身」など清められる対象が「浄化する」の対象語となるほかに、「汚物」など清められる対象から取り除かれる物も「浄化する」の対象語となる。この場合、中国語では“浄化”ではなく、“清除”で対応する。

日本語では、「団結を強化する」「取り組みを強化する」という表現がよく用いられるが、中国語ではこのような場合には“強化”ではなく、通常“加强团结”“加强……措施的实施”などのように“加强”とする。また「部門を強化する」の「強化する」は中国語の“加强……实力”で対応する。ただし、日本語の「強化」は幅広く使われており、中国語では“扩充”“发展”“加固”“巩固”などで対応する場合もある。中国語の“強化”は日本語の「強化」ほど幅広く使われていないが、能力や実力を強めることを表す場合、意識や考えを強めることを表す場合、双方の関係を強めることを表す場合によく用いられ、日本語の「強化」で対応できる。

中国語の“公式化”は、小説や映画など文芸作品を創作する場合、豊富で多彩な現実的生活をある一定の手法で同じように描くという意味を表す。また、あるパターンにはまった何の変哲もなくつまらないもの、心を込めずに決まったやり方で対応することという意味をも示す。日本語の「公式化」は決まったパターンを作り上げる、または数学上の記号で表した式にするという意味であり、中国語の“公式化”とは意味が異なる。“公式化”はマイナス評価の意味

合いがあるのに対し、「公式化」はニュートラルな語感を持つ点においてもかなりの違いがある。

中国語の“一般化”は“一般化水平”（ごく普通のレベル）のように、どこにでも見られるありきたりなさまという意味であり、マイナス評価の意味合いが含まれる表現である。日本語の「一般化」は「人々の間にスポーツが一般化する」のように、「広く行き渡ること」「特殊なものが普通のものになること」という意味を持つ。両者は意味的に異なるほかに、前者がマイナス評価の語感を持ち、後者はニュートラルな語感を有する点においても異なると言える。

中国語の“組織化”と日本語の「組織化」は、いずれもばらばらの人を一つの体系の中にまとめるという意味を表す。日本語の「組織化」は動詞としても使われるが、“組織化”は動詞としての使い方がないため、通常「～を組織化する」を“将～组织起来”と訳す。また日本語では「組織化」は人間社会におけるまとまりのない知識や情報を系統立てるという意味を示す場合によく使われる。一方、中国語でも“組織化”が上記のような場合に使われるが、まだ定着せず使用頻度は高くない。この場合、通常“組織化”より“系统化”の方がよく使われ、“知识系统化”“信息系统化”などがそれである。

中国語の“国际化”と日本語の「国際化」は、「大学の国際化」「経営活動が国際化する」のように「世界的視野を持って行動する」ことや「企業、経済活動などが国際的規模に広がる」ことを示す。が、中国語の“国际化”は多くの国を巻き込んで国際問題とし、問題解決を図るのではなく、より問題を複雑にするというマイナス評価の表現としても用いられる。この意味を表す場合、中国語の“国际化”は【使+N+国际化】という構文で用いられ、【使】の後に続くNは“问题”“争端”といったような語であることが多い。この場合の“国际化”は、日本語の「国際化」には見られない用法である。

現在中国語で使われる“少子化”という表現は、日本語に由来するものであ

る。日本語の「少子化」は「少子化対策」「少子化社会」など、他の名詞と組み合わせられて使われ、また「少子化の問題」のように他の名詞を修飾する場合に、中国語では通常そのまま“少子化”と対応する。また同じく名詞として用いられるが、「～が進行する」「～に伴う」「～による」「～に歯止めがかかる」などと共起する場合に使われる「少子化」は通常、中国語で“少子化問題”または“少子化現象”と訳す。

本節の(2)では日本語の「化」を伴う表現「集団化」「協同化」「先鋭化」の中国語訳を考察した。日本語では、「犯罪の集団化」という表現が使われるが、中国語では犯罪者のグループを“集体”ではなく、“团伙”を使うため、この場合の「集団化」を“团伙化”と言う。「研究の集団化」の「集団化」は“团队合作的方式”で対応する。

中国語の“尖锐化”は「(問題、対立などが) 激しい。厳しい」という意味を示す。日本語の「先鋭化」は通常「思想や行動の激しさ」が適当と考えられる度合いを超える場合に使われ、「過激的」という意味を示す。この場合の「先鋭化」は、中国語の“更加激进”“越来越激进”で対応する。また、「両者の対立が先鋭化する」のように、人間同士や国同士の対立が激しくなることを表す場合にも、日本語では「先鋭化」を使うが、中国語では“逐渐激化”“愈加激烈”“越来越尖锐”のほかに、“尖锐化”で対応する場合もある。

さらに本節の(3)では日本語の「化」の役割について程度の変化を示すが、それ以外に「映画化」「小説化」の「化」と「男性化」「女性化」の「化」は「形態転換的变化」「仮の形態転換的变化」という新視点を設けて説明する必要性があることを説明した。

「程度の変化」とは物事の状態などにどの程度の変化が起きるかを指す。それには「合理化」「正常化」のような良い方向への変化もあれば、「老朽化」「深刻化」のような悪い方向への変化もあり、さらに「集団化」「具体化」のよう

なプラスでもマイナスでもない方向への変化もある。

「形態転換的变化」は物事が A の形態から B の形態に転換可能な変化を指し、「仮の形態転換的变化」は物事が A の形態から B の形態に転換不可能な変化を指す。「映画化」は話や小説という A の形態から映画という B の形態に転換可能であるが、「女性化」は男性であるのに、女々しい女性の特性や身なりをするという意味で、男性という A の形態から女性という B の形態に転換するという実質的变化ではなく、仮の変化であり、男性という A の形態から女性という B の形態への変化は不可能である。本節では具体例を示して「程度の変化」「形態転換的变化」「仮の形態転換的变化」を説明し、その違いを分析した。

第2節 中国語と日本語における「素」を伴う漢字同形語の意味的相違及び「素」を伴う表現の中国語訳

本節では中国語の“素”と日本語の「素」を伴う漢字同形語の意味的相違を中心に考察する。また「素」を伴う日本語の複合語、派生語の中国語訳の特徴に関しても考察する。

(1) 中国語の“素”と日本語の「素」を伴う漢字同形語の意味的相違

中国語の“素”と日本語の「素」には、ともに複合語や派生語が数多くあり、漢字同形語も多く見られる。その意味や用法にいかなる相違があるのか、ここでは中国語の“素材”と日本語の「素材」、「素质」と「素質」、「元素」と「元素」、「要素」と「要素」、「素人」と「素人」など5組の漢字同形語を研究対象に考察する。

(1) 素材

高野繁男『近代漢語の研究』（注5）によれば、「素材」という言葉は近代において菊池大麓が訳した『修辞及華文』（『百科全書』所収）にその例が見られ、菊池大麓が作った和製漢語である、とされている。

原書：the mining by the rocks;and the manufacturing by the raw material and the facility for mechanical power;(P.744)

訳書：採鉱ノ業ニハ堅岩硬土ヲ開クノ難アリ製造ノ業ニハ素材ト施工品ノ利害損益ニ大関係ヲ為スアリ。(P.59)

高野氏は「『素材』は、現代語では、原料、材木、題材などを意味するが、ここでは『原料』をさし、これが原義であろう。それはともかく、いずれの意味でもこの例が早い」と述べている。

しかし、唐末新羅の漢学者・崔致遠が書いた《桂苑筆耕集》に“百堵皆作三旬而成，然后郢匠劳功，素材变质，优人展妙，赭壤凝华。”（この建築群は三十日かけて作り上げられた。そして器用な職人の手によって、原料がすばらしい建物に変身した。そこで踊り子は美しい踊りを演じた）という例が見られる。ここで言う「素材」とは原料のことを指す。使われていた時期から見れば、この例は上記の『修辞及華文』の例より古いため、「素材」という言葉の源が日本語にあるとする主張には疑問がある。

次に現代中国語の“素材”と日本語の「素材」はどのように用いられているか、その意味や用法にずれがあるかを考える。まず、日本語の例を見てみよう。

○このように、自然素材かつメンテナンスも容易にできるので、環境性能は高いと言える。（总之，采用的是自然材料而且容易维护，因此可以说环保性能很高。）

○素材が上質であれば、多少の縫製ミスや地味なデザインは十分にカバーできる。（如果原料质量上乘，一些缝制问题及平庸的设计也能完全掩盖。）

○豆腐もうどんも、ごぼうも海藻もなかったアメリカで、あれだけ自然食品店や伝統的な素材が並んでいるというのは、いい意味で衝撃でした。（在没有豆腐、乌冬面，也没有牛蒡、海藻的美国，竟然有如此丰富的自然食品店及传统食材排列着，真是让人大为震惊。）

上記の例文の「素材」は「もととなる材料、原料」という意味である。第一例の「素材」は機械や建物を作るための材料であり、第二例の「素材」は服を作るための材料であり、また第三例の「素材」は料理を作るための食材であり、いずれも目に見えるものである。次の例文の「素材」を見てみよう。

○この中で特に、針葉樹の丸太及び素材が 9.7%上昇した。（其中，特别是针叶林原木及原材的价格上升了 9.7%。）

この「素材」は「造材によってできた材種で、まだ製材されていないもの。

丸太、そまかくの類」という意味を示す。

上記の例のように、日本語の「素材」は「もととなる材料、原料」と「造材」によってできた材種で、まだ製材されていないもの。丸太、そまかくの類」という意味を表すが、中国語の“素材”はこの意味を持たないため、“原料”“材料”“食材”“原材”で対応する。

次に①、②に分け、日本語と中国語の共通点や相違点を考える。

① 新聞、演劇や芸術作品や文学作品などを作るための材料を示す場合
下記の例を見てみよう。

○その劇は民話を素材にしたものだ。(那部戏是以民间传说为素材而编的。)

○これらの作家たちの作品は、採りあげられる素材の新鮮さと多様性、テーマの重層性という点で大きな特徴をおびている。(这些作家的作品在素材的鲜活性和多样性、主题的多层性方面具有很大的特征。)

○月刊誌や単行本に長い歴史的論評を書くわけではないから、あくまで身近な新聞素材にこだわった。(由于月刊杂志及单行本不可能刊载长篇历史性的评论，只能以日常生活的新闻素材为主。)

上記の例文の「素材」は演劇や芸術作品や文学作品などを作るための材料となるものであり、芸術創作の場合によく使われる。更に「新聞素材」のように広く活字になるものの素材としても使われる。この場合、中国語の“素材”の使い方と共通する。

下記の中国語の“素材”の例を見てみよう。

○但在 3000 多年前的商代, 中国大地上大象成群结队, 成为工匠进行艺术创作的素材。(しかし 3000 年あまり前の商の時代、中国の大地で群れをなしていた象は、職人が芸術的創作をする際の素材となった。)

○他们都尝试将中国传统文化和音乐素材与最新的作曲技法相结合, 探索中西

文化的有機貫通。（彼らは中国の伝統文化と音楽の素材を最新の作曲技法と結びつけることを試み、中国文化と西洋文化が一体となるつながりを探求する。）

○一部以“9.11”恐怖袭击事件为素材而创作的小说《纽约是否在燃烧》英文版日前在印度出版。（「9.11」テロ攻撃事件を素材に書かれた小説『ニューヨークは燃えているか』の英語版は先日インドで出版された。）

上記の“素材”は彫刻、音楽、小説などの芸術作品を作るために用いられる、手を加えていない材料であるということを意味し、日本語の「素材」に置き換えても差し支えない。

② 人間の言語活動や思考活動を行うための材料、資料を示す場合

下記の日本語の例を見てみよう。

○この国会等で行われた議論というものが中心になって検討の素材になるということである。（主要以在国会等场合进行的讨论作为研讨的素材。）

○惑星の運行や日月蝕の長期にわたる天文観測の莫大な記録がつくられたが、これらがヘレニズム科学の形成に重要な素材を提供したことは疑うべくもない。（针对行星的运行及日月蚀的长期天文观测留下了大量的记录，它们无疑为希腊科学的形成提供了重要的素材。）

上記の例文の「素材」は人間の言語活動や思考活動を行うための材料、資料を表す場合に用いられる例である。

下記の中国語の“素材”の例を見てみよう。

○我希望各位严肃对待奥运会的安全问题,不要把这件事当成新闻炒作的素材。（オリンピックの安全問題に真剣に取り組み、この事を新聞で宣伝するだけの素材／材料にしないようにお願いします。）

○这对经济理论研究也具有某种启发的意义,至少提供了可资研究的素材。（これは経済理論の研究にもある種のヒントを与える意義をもち、少なくとも研究に値する素材／材料を提供している。）

○作为民主派与政府合作的结晶，呈送到中共中央、国务院，以为决策之素材。
(民主派と政府が協力した成果としてのものは、中国共産党中央委員会、國務院に呈上し、政策決定の判断材料となる。)

以上のように、中国語の“素材”と日本語の「素材」は、「芸術創作の材料」「人間の言語活動や思考活動を行うための材料、資料」という意味を持つ点が共通している。しかし、現代中国語の“素材”は日本語の「素材」の「もととなる材料、原料」と「造材によってできた材種で、まだ製材されていないもの。丸太、そまかくの類」という意味を持たない。

(2) 素質

“素质”は古代中国語にも見られ、白い下色という意味を示す(注6)。現代中国語における“素质”は「物事本来の性質、または人の素養や資質」という意味を持つ。柯岩の《奇异的书简・美的追求者》に“我想：正是这些风雨、阳光、大树、小草……长年累月地陶冶了他的品德和素质。”(これらの風雨、日光、大きな木、小さな草……長い年月をかけて彼の品性と資質を磨いたと思う)、孫犁の《澹定集・答吴泰昌问》に“按照我的身体素质，我已经活得够长了。”(体質を考えれば、私はすでに十分長生きしている)という例がある。

一方、日本語の「素質」の本義は「物の白い質」であり、中国語の“素质”と同じである(注7)。

次に「優れた素質」や「いい素質」のように現代日本語でよく使われる「素質」の意味や用法は中国語の“素质”とは如何なる相違点と共通点があるかを考えることにする。

『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』の「素質」の解釈においては「生まれつき備わっている性質。特に、将来の発達が期待される性質、能力」、とされている。次の例文を見てみよう。

○SED は素質が良くても、参入に遅れた不利がある。(即使 SED 性能再好, 但也存在进入这个领域较晚的不利情况。)

○親が子を育てるように、人間が樹木の素質を見抜き、それにふさわしい環境におかないかぎり、大樹にはならない。(如果像父母养育孩子一样, 人也应该看清树木的材质, 将它放到合适的环境里, 否则不会长成大树。)

上記の例文の「素質」は「SED」と「樹木」に生まれつき備わっている性質という意味である。中国語の“素质”もこれと似たような用法がある。下記の例がそれである。

○要在面向国际市场的竞争中, 提高我国企业的素质, 推动经济、科技的发展, 进而增强综合国力。(国際市場における競争で、我が国の企業の資質を高め、経済、科学技術を発展させることにより、国の総合的实力を高めることができる。)

○罗马在鼎盛时代, 艺术的发达登峰造极, 书牘的素质也因之提高。(ローマ帝国の最盛期に、文芸の水準が最高峰に達し、書簡の質も高まっていた。)

しかし、以上の例文で分かるように、中国語の“素质”は日本語と同じように「物事の備わっている性質」という意を示すが、それが「生まれつき持っているもの」ではなく、「いま現在の性質、状態」というところに視点が置かれているところが日本語とは異なる。

下記の例を考えてみよう。

○学問に必要なものは何かといえば、素質と修練と学習だという。(做学问什么是必需的呢? 很多人认为是素质、磨练和学习。)

○そのためには、素質と教育の値を高めなければならないのだが、残念ながら素質は両親がつくってくれたものなのでどうしようもない。(为此, 必须提高素质和教育水准, 但遗憾的是, 素质是父母赋予的, 我们无能为力。)

日本語の「素質」は教育や修練などによって身につけられた個人の能力や性

格ではなく、生まれつき持っている能力を表す。最初の例は、学問に必要なものは生まれつきの「素質」と、生まれてからの「修練と学習」であることを言っている。中国語の“素质”にも同じ意味を有する。次の例がそれである。

○探究其因, 颇为复杂, 有天生心理素质不强的, 有自恃技高而疏于练艺的, 有扛不住压力而心急气躁的。(その原因を探究すれば、たいへん複雑であることが分かる。生まれつき心理面の素質は弱く、腕前が優れているが練習をおろそかにしたり、プレッシャーに耐えられずいらいらしたりである。)

○有的人却才华横溢, 能文能武, 这除了遗传素质、生活环境、教育条件外, 个人的主观努力是起决定作用的。(才気が溢れ、文武両道に優れた人がいる。遺伝による素質、生活環境、教育環境のほかに、自ら努力する意欲の有無によって優秀な人になるかを決定される。)

上記の例文の“素质”は日本語の「素質」と同様、人に先天的に備わっている心理的性格や才能などを表している。また中国語の“素质”は後天的に「教育や学習などの努力により身につけられた個人の能力や性格」という意味にも用いられる。次の例を考えてみよう。

○对政府及非政府公共机构管理人员的专业素质的要求越来越高。(政府機関及び非政府機関の管理者には、より高い専門的技能などが要求される。)

○职业教育和成人教育发展迅速, 有效地提高了劳动者素质。(職業教育と成人教育が急速に発展し、労働者の技能などを効果的に高めることができた。)

上記の例文の“专业素质”と“劳动者素质”はどちらも育成訓練や職場教育などによって身につけられたり高められたりする技能や技術を指す。中国語の“素质”はこの意味においては日本語の「素質」とは異なる。

以上の分析をまとめると、「物事の性質」を示す場合、中国語の“素质”は物事が今現在の性質、状態に重きを置くのに対して、日本語の「素質」は物事が先天的に備える性質に視点が置かれている。また、「人の性格、能力」を示

す場合、中国語の“素质”は日本語の「素質」と同様に「人が生まれつき持つ性格や能力」を指すことができるが、同時に日本語の「素質」と異なり、「教育や訓練により身につく性格や能力」を指すこともできる。

(3) 元素

『明鏡 国語辞典』『新明解 国語辞典』では、「元素」に関しては「宇宙間にある物質を構成し、化学的にそれ以上は分解できないもの」と解釈している。次の例を見てみよう。

○酸素という元素は、他の元素と化合し、それを安定させる傾向がある。(氧气这种元素具有与其他元素化合、使其稳定的特点。)

○元素が生物体に取り込まれるには、水に溶けていることが必要である。(元素要被生物体吸收，必须溶于水。)

以上のように、日本語の「元素」は化学の分野においてよく用いられている。また、他の語と結合して「新元素」「金属元素」「非金属元素」「微量元素」「放射性元素」「必須元素」という表現も多く見られる。

一方、中国語の“元素”はどのように使われているかを見てみよう。

○据科学测定，人体血液中的 60 多种化学元素的含量比例，同地壳各种化学元素的含量比例十分相似。(科学的测定によると、人体の血液にある 60 余種の化学元素の含有量の割合は、地殻にある各種の化学元素の含有量の割合と非常に似ているという。)

○镉是对人体有害的元素，自然界中含量并不高。(カドミウムは人体に有害な元素であり、自然界で含有量が高くない。)

以上の例文の“元素”は日本語の「元素」と同じ意味や用法を持ち、化学の分野においてよく用いられる。また、“微量元素”“放射性元素”“金属元素”“新元素”など、日本語と同様の複合語もよく使われている。しかし、中国語の“元

素”にはそれ以外にも日本語の「元素」と異なる新しい意味や用法が見られる。
下記の例がそれである。

○荷叶、鸳鸯、鱼演化出的喜字,几乎集合了所有的民间吉祥元素。(荷葉、オシドリ、魚の画から生まれた「喜ぶ」という漢字は、世の中の色々なめでたい要素をほぼ集めた。)

○这一活动包罗了美食、娱乐、节庆等元素,突出香港好客文化,将为游客带来新体验。(このイベントは美食、娯楽、祝祭日などの要素を網羅し、香港の客好き文化を強調し、観光客がこれまでにない体験をする機会となる。)

○其绿色环保理念和元素,深受国际航运界的青睐。(その自然環境保護の理念と要素は、国際海運業界で広く認められている。)

以上の例文の“元素”は「ある物事を構成する基本的な要素、部分」という意味を表し、さまざまな場合に用いられる。中国語で“音乐元素”“民俗元素”“传统元素”“人文元素”“流行元素”などもよく使われるが、日本語の「元素」にはこのような意味や用法は見られない。

“元素”の由来については先行研究があり、ここではそれを研究対象としない(注8)。

(4) 要素

現代日本語では「要素」はどんな意味に用いられているか。『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』では、「ある物事を成り立たせている成分(条件)」と解釈している。下記の例がそれである。

○被害の軽減及び災害復旧のための抜本的対策を樹立するには、科学技術の研究・開発は不可欠の要素である。(要制定减少损失及灾后恢复的根本对策,科技的研究开发是不可或缺的要素。)

○発信者、受信者の居場所を問わない携帯電話は、将来の公衆通信網の重要

な構成要素である。(打电话者、接电话者可可在任何场所接听手机是未来公众通信网络的重要构成要素。)

上記の第一例の「要素」は被害に対する対策を樹立するには様々な条件が必要であるが、科学技術の研究・開発はそのうちの一つであることを説明している。また第二例の「要素」は将来の交通通信網は様々なものから構成されることが見込まれるが、携帯電話はそのうちの一つであることを表している。

中国語の“要素”はどのような意味で使われているか、次の例を見てみよう。

○生産力包括三个要素：劳动力、劳动资料、劳动对象。(生産力は労働力、労働手段、労働の対象という三つの要素が含まれる。)

○水是苏州园林的一大要素,更是中国南方的特色人文景观。(水は蘇州庭園の一大要素であり、中国南方地域の特色ある人文的景観である。)

○政府对疫情作出反应的快慢是影响疫情扩散的第二要素。(政府が疫病発生に対応するスピードは、疫病の拡散を左右する第二の要素である。)

上記の第一例の“要素”は生産力を構成する三つの内容を示し、第二例の“要素”は蘇州庭園を作り上げるには様々なエレメントがあり、水はそのうちの重要な部分であることを示す。また第三例の“要素”は疫病蔓延を防ぐには多くの条件が必要であり、政府の対応が早い遅いは二番目に重要なものであることを表す。

以上のように、日本語の「要素」と中国語の“要素”ではどちらも「物事の成立に必要不可欠な根本的な条件。エレメント」という意味を示し、多くの場合、漢字同形語で対応できる。日本語の「生産要素」「軍事要素」「構成要素」

「宗教的要素」「三大要素」「諸要素」を、中国語ではそのまま“生産要素”“軍事要素”“構成要素”“宗教要素”“三大要素”“诸要素”と訳すことができる。

ただし、日本語の「要素」は法律用語としても用いられ、法律行為または意思表示の内容において、発言者が重要であると考えられる部分を指す。次の用例を見

てみよう。

○犯罪の基礎的構成要素は、以下に掲げる通りである。(犯罪的的基本構成要件如下所示。)

○以下の計画に従って、刑法の基礎理論、犯罪の構成要素について講義を進める。(按照下列计划,对刑法基础理论、犯罪构成要件进行讲解。)

上記の例のように、日本語の「犯罪の構成要素」は、中国語では“犯罪构成要件”のように“要件”で対応する。

“要素”の由来について先行研究があり、ここでは研究対象としない(注9)。

(5)素人

“素人”はここ三十年、中国のマスコミの間で、流行り言葉として用いられている。

○林瑞雄的政治资历白纸一张,被称为政治“素人”。(林瑞雄の政界におけるキャリアは皆無に等しく、政治の「素人」と呼ばれている。)

(《人民日报海外版》2011年9月22日)

○事实上,在创业的路上没有“明星”和“素人”之分,只有走在创业路上的人和倒在创业路上的人。(事实上、起業をする人の世界では、「成功して注目される人」と「素人」の区別がなく、起業の道を歩み続ける人と途中で倒れた人しかいない。)

(《国际金融报》2011年4月21日)

そのほか、“素人生活”、“网络素人”、“素人时代”、“素人旅行家”、“素人艺术家”、“荧屏素人”、“素人风格”などと使われる。現在、中国語で用いられている“素人”は日本語の「素人」と全く同じ意味なのか、またそれはいつごろ日本語から伝わってきたものなのかを考えることにする。

日本語の「素人」はいつ、どのように使われ始めたのであろうか。『日本語源大辞典』『新明解語源辞典』(注10)では、「素人」は、「しらひと」の変化し

た言葉である。「しらひと」の「しら」は「しろ（白）」の複合語を作る時の形である。「しろ（白）」は「手を加えていない、ある物事に経験の浅い人、水準が低い」ことを意味し、囲碁の場合は、下位者は白石、上位者は黒石を持つ。柔道の場合は、下位者は白い帯を付け、上位者は黒い帯を付ける。

室町時代には「しらうと」となり、江戸時代に「しろうと」と発音が変化したとされている。また、「素」には「手を付け加えていない、ありのまま」という意味のほかに平凡さに対する軽蔑する意味も含まれているため、「白」の代わりに「素」の字が使われ、「白人」が「素人」になったと考えられている。

古代日本語に生まれたこの「素人」は、現代日本語でも依然として使用されている。『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』では、「その事に経験が浅く、未熟な人。またその事を職業、専門にしていない人」、「水商売を職業にしている女性に対して、一般家庭の女性」と解釈されている。下記の例がそれである。

○お前はこれまで素人間の対局のみで、専門家と指した経験がない。(以前你只和外行人对局，没有与内行下棋的经验。)

○この先物取引が素人である一般市民を巻き込んで、被害が各地で続出している。(这种期货交易将外行的普通市民卷入其中，受骗事件各地不断发生。)

○素人には手を出さない方がいい。(还是不要去沾<不从事接客行业的>一般的女人为好。)

上記の例文の「素人」はいずれも単独で用いられ、「専門家ではない。その事に経験が浅く、力が弱い」、或いは「一般家庭の女性」という意味を表す。以上の用法のほかに、「素人」を伴う複合語や慣用表現も数多く作られている。

「素人女」、「素人考え」、「素人臭い」、「素人芸」、「素人下宿」、「素人芝居」、「素人筋」、「素人離れ」、「素人目」、「素人屋」、「素人分り」などがそれである。

○素人目にはどれもこれもいっしょに見えて判別がむずかしい。(外行人看来哪个都一样，很难辨别。)

○鎌倉へ移ってからは、新制作派の堀越政寿先生に師事して、やや素人離れのした油絵や水彩を描きはじめていた。(移居鎌倉后，他师从新制作派的堀越政寿先生，逐渐画出稍有画家水准的油画及水彩画。)

○一見、正当なように思えるが、ばかげた素人考えというほかない。(乍一看觉得是合理的，但这只能说是荒唐的外行人的浅薄看法。)

上記の例文の「素人目」は「専門家でない人の見る目」という意味であり、中国語では“外行人的看法。在外行人看来”と訳す。「素人離れ」は「専門家ではないのに、まるで専門家のようにであること」という意味であり、中国語では、“不像外行。跟专家似的”という表現で対応する。「素人考え」は「知識や経験のない人の浅はかな考え」という意味であり、中国語では“外行人浅薄的看法”と表現される場合が多い。

上記の複合語や慣用表現のほかに、辞書には収録されないが、「素人＋名詞」という形の表現もある。「素人監督」、「素人数学者」、「素人探偵」、「素人店員」、「素人外交」、「素人劇団」、「素人判断」、「素人社員」、「素人同然」、「素人料理」、「素人写真」、「素人画家」、「素人目線」、「素人漁師」、「素人質問」、「素人芸」、「素人知識」、「素人投資家」、「素人相手」、「素人演芸会」、「素人氣象学者」、「素人役者」、「素人知恵」、「素人講師」、「素人大使」、「素人調理」、「素人軍団」、「素人騙し」、「素人娘」、「素人っぽさ」、「素人レベル」、「素人カメラマン」、「素人オーディション番組」、「素人ハンドラー」、「素人モデル」、「素人メンバー」などがそれぞれあり、使用頻度の高いものもあれば、低いものもある。これらの表現を観察すると、「素人」に後続する言葉は漢語、和語、外来語などがあり、またその意味内容から見ると、ある種の仕事をする人を示すものが最も多い。

一方、中国語でもここ三十年の間に“素人”という言葉が次第に使われるようになっていく。《人民日報図文電子版 1946年～2007年》で検索したところ、“素人”の用例がかなりの多さで検出された。最も早い例は1985年のもので

あった。その例を見てみよう。

○八十六岁的李玉哥老太太是一位“大器晚成”而很有影响的画家，被誉为：“素人艺术家中的奇葩”。（八十六歳の李玉哥ばあさんは「大器晚成型」の著名な画家で、「素人芸術家における独特な存在」と評価されている。）

（《人民日报》1985年8月19日）

○在台湾，人们把如林渊先生这样没有经过专门学习和训练的自学成材者称之为“素人艺术家”。（台湾では、林淵さんのような専門的な教育や訓練を受けずに独学で一人前になった人を、「素人芸術家」と呼ぶ。）

（《人民日报》2002年2月2日）

上記の例文の“素人”は日本語の「素人」と同じく「その事に経験が浅く、未熟な人。また、その事を職業、専門にしていない人」という意を示している。台湾では「専門的訓練を受けていない芸術家」のことを指し、“素人艺术家”という表現がよく使われている。《人民日報》は、台湾について報道する記事で、当時、中国大陸においてよく使われていた“业余（爱好者）”、“外行”ではなく、台湾で使われている“素人艺术家”という表現の“素人”をそのまま使ったと見られる。

中国大陸で出版された《现代汉语词典》《辞海》など、多くの中国語辞書には“素人”は収録されていない。しかし、1986年から1993年に出版された《汉语大词典》（第1版）にはこの語が収録され、章炳麟、鲁迅の著作における用例を取りあげている。章炳麟(1869年-1936年)の《社会通詮商兑》に“古者，宗法行于大夫，元士，不行于齐民；今者，宗法行于村落素人，不行于都人士。”

（昔、同族支配体系は大夫、知識人には認められていたのに、庶民には受け入れられなかった。今ではそれは一般の村人に受け入れられているが、身分の高い人には認められていない）があり、また鲁迅の《书信集·致李桦》に“作介绍文字，颇易为，一者因为我虽爱版画，却究竟无根本知识，不过一个‘素人’。”

(紹介する文を書くのは頗る簡単である。私は、版画が好きだが、それに関する基礎的知識を持たない全くの「素人」に過ぎない) がある。そして 1990 年に出版された《汉语外来语词典》(注 11) にも“素人”が収録され、同じく鲁迅の《书信集·致李桦》における例を引用し、しかも“日源外来词”(日本語に由来する外来語)という注釈がつき、日本語の発音まで付け加えられている。

“素人”は清末民初の頃、日本に亡命或いは留学した経験のある一部の学者、知識人(章炳麟、鲁迅等)が使用したことにより、中国語に流入したと考えられ、その後、新中国が建国されてからかなり長い間、中国大陸で使われることはなかったが、80年代中期に至って台湾を経由して大陸中国に伝わってきたと見られる。

(2) 中国語と日本語における「素」の意味や用法の相違

《説文·糸部》では、“素，白繖繒也”と解釈され、本義は染色されていない本来の色の生糸である。《孔雀东南飞》の“十三能织素，十四学裁衣(十三になって生糸を織り、十四になると服の裁断を学ぶ)”における“素”はその意味である。“素丝”、“素服”もその例である。《楚辞·九歌·少司命》の“绿叶兮素华”(青葉よ、白花よ)における“素”もその意味である。また形容詞として「色がさっぱりしていて、鮮やかではない」という意味が派生し、“素雅”、“素净”、“素淡”などがその例である。

中国語の“素”に多くの派生義が生まれたが、“素质”、“素材”、“索性”などの“素”が持つ「本来の」や「もとの」という意味がそれである。《文子·道原》(春秋戦国時代、文子)の“虚无者，道之舍也；平易者，道之素也”(虚無とは、道が生まれた処であり、平易とは、道の本来の様子である)における“素”はその意味である。二つ目の派生義として挙げられるのは“色素”、“元素”、“像素”のように「物事、物質のもととなるもの」である。これは近代に、日本語

から伝わったものであり、現在では強い造語力を持つ語基として中国語でよく用いられている。三つ目の派生義として挙げられるのは“葷”の反対語として用いられ、野菜や穀物などの食物を示す語義であり、“葷素”、“素菜”などがその例である。《墨子・辞过》の“古之民未知为饮食时，素食而分处。”（古代の民は食事をするという概念を持たなかった頃、草木の実を食べ、散らばって暮らしていた。）における“素”はその意味である。四つ目の派生義として挙げられるのは“平素”、“素日”、“素不相识”のように、「もともと、いままでずっと、いつも、ふだん」という意味を示す副詞的用法である。《国语・吴语》の“夫谋，必素见成事焉而后履之。”（謀とは、必ず成功できることをいつも見込み、それから実行に移す。）における“素”がその意味である。

“有的消费者说：‘现在的花布，不是太素了，就是太花了。’”（「今どきの花柄の生地は、ちょっと地味か、そうでなければ派手すぎる」という消費者の意見がある）のように、中国語の“素”は単独で用いられる。“素洁”、“素来”、“素描”、“素养”のように造語力の強い造語成分としても用いられる。

一方、日本語の「素」はどのような意味に用いられているであろうか。『広辞苑』『明鏡 国語辞典』『新明解 国語辞典』では下記のように解釈している。

日本語の「素」は読み方が二通りある。「ソ」と発音する場合の意味は次のようである。(1) 染めていない白絹。また、白い色。「素衣」、「素雪」などがその例である。「素」が中国語から日本語に伝えられた当初、基本義は中国語の“素”と同じである。(2) 手を加えていない。飾り気がない。簡単である。「素材」、「素質」、「素描」、「素朴」、「質素」などがそれである。(3) 普段の。つねづねの。「平素」、「素行」、「素志」などがそれである。(4) 物事や物質のもとになるものである。根本になるものである。または化学の術語として元素の名につける語。「要素」、「素因」、「元素」、「酸素」、「水素」、「炭素」などがそれである。

語義 (4) の意味や用法は古代中国語には見られず、近代日本が西洋文明を取り入れるために、日本の知識人が考え出したものであり、その後中国語に伝わってきたものであると見られる。

江戸時代は蘭学が盛んであったが、蘭学者たちは科学の書物を訳すために、たくさんの和製漢語の訳語を作った。高野繁男『近代漢語の研究』では、蘭学者たちはオランダ語の「stof」を「素」と訳した。そこで、「Koolstof」を「炭素」、「Stikstof」を「窒素」、「Waterstof」を「水素」と直訳した、とある。日本語においては、「～素」という表現を用い、化学分野の学術用語が数多く考案された。「珪素」、「硼素」、「酸素」、「炭素」、「二酸化炭素」、「栄養素」、「塩素」、「音素」、「形態素」、「酵素」、「花青素」、「画素」、「乾酪素」、「希元素」、「血色素」、「構成素」、「抗毒素」、「色素」、「毒素」、「繊維素」、「砒素」、「臭素」、「靑素」、「茶素」、「尿素」、「熱素」、「燃素」、「弗素」、「溶血素」、「葉黄素」、「沃素」、「葉緑素」、「酪素」などがそれである。

この語義 (4) は「物事や物質のもとになるもの」という意を表し、とりわけ、元素名に用いられる「素」の意味や用法が中国語に伝えられ、同時に上記の言葉の多くが中国語に流入してきた。現在中国語で使われている“色素”、“毒素”、“纤维素”、“叶绿素”、“营养素”などもそれである。しかし、気体という状態の物質を言い表す場合、中国語は日本語とは異なり、日本語から借り入れた「素」ではなく、“气”を用いている。「水素」、「窒素」、「酸素」、「二酸化炭素」のことを、それぞれ“氢气”、“氮气”、“氧气”、“碳酸气(二氧化碳)”と呼ぶ。

また、「素」を「ス」と発音する場合、下記のような意味や用法を有する。(1) 「素手」、「素うどん」、「素泊まり」、「素っ裸」、「素顔」、「素足」、「素のまま」のように、他のものが付け加えられず、そのものだけを意味する。(2) 接頭辞として用いられる場合、「素浪人」、「素町人」、「素寒貧」のように《名詞に付

いて》軽蔑の意をこめて、平凡な、みすぼらしいなどの意を表す。また「素早い」、「素ばしこい」のように《形容詞などに付いて》程度が甚だしいことを表す。

日本語の「素」に関する意味をまとめると、次のようなことが言える。「素」は最初、古代中国語から日本語に流入し、日本語では中国語における本来の一部の意味を受け継ぎながら、新しい意味や用法を派生させた。「素」を派生語や複合語の構成要素として化学分野を含め学術用語を生み出し、一部は現在、日常的によく用いられている。

中国語と日本語における「素」の意味や用法の相違点を図示すれば、次のようになる。

中国語の“素”と日本語の「素」の意味や用法の相違

	“素”	「素」(ソ)	「素」(ス)
染色されていない生糸。	○	○	×
もとの色。白い色。	○	○	×
手を加えてない。本来の。	○	○	×
物事、物質のもとになるもの。 または、元素の名につける語。	○	○	×
もともと。ふだん。	○	○	×
野菜や穀物などの食物。	○	×	×
色があっさりとしていて、鮮やかではない。	○	×	×
他のものが付け加わらず、そのものだけである。	×	×	○

平凡な、みすぼらしい。	×	×	○
程度が甚だしい。	×	×	○

以上のように、中国語の“素”は日本語の「素（ソ）」と意味領域が重なる部分が多いが、「野菜や果物などの食物」と「色があっさりとしていて鮮やかではない」という意味は中国語独特のものであり、「素（ソ）」には見られない。また中国語の“素”は日本語の「素（ス）」とは意味領域が重なる部分がなく、完全に異なることが分かる。

「素」を「ソ」と読む場合、ごく僅かな例を除き、後続するのは通常「質（しつ）」「朴（ぼく）」「因（いん）」「行（こう）」「懐（かい）」「願（がん）」「材（ざい）」「志（し）」「心（しん）」「性（せい）」「地（じ）」「点（てん）」「描（びょう）」「望（ぼう）」などのような、音読の漢字である。この形の語の多くは中国語から伝わったもので、「素懐」「素志」「素行」「素願」などがそれに当たる。

一方、「素」を「ス」と読む場合、後続するものに「寒貧」のような漢語もあるが、その数はごく僅かであり、多く見られるのは動詞連用形（「話し」「通り」「焼き」「泊まり」「踊り」）、形容詞（「早い」「はしこい」）、訓読みの一文字の漢字（「手（て）」「顔（かお）」「足（あし）」）及び和製漢語（「町人」「浪人」という日本の固有語或いはその活用形である。この形の語は通常日本語にのみ見られる。

同じ漢字でありながら、「素」が「ソ」、「ス」と読み分けられ、その意味と造語法も異なってくる点において、両者の特徴が見える。

(3) 中国語にしか用いられない“素”と日本語にしか用いられない「素」の用法

中国語と日本語における「素」は意味領域の重なる部分がかかなりある。した

がって、中国語の“素”と日本語の「素」を含む語には、同様の意味を持つものが少なくない。「素意」、「素行」、「素材」、「素志」、「素質」、「素描」などがその例である。しかし、中国語の“素”と日本語の「素」は意味的に異なる部分もかなりある。

①中国語にしか用いられない“素”及び“素”を伴う表現の用い方の特徴

中国語の“素”は複合語の構成成分としてよく用いられるが、単独に使用される場合もある。

○真好吃……就是太素了点。(本当においしかった。ただ味がちょっとさっぱりしすぎた。)

○我一看到那件衣服，便直言不讳地说：“不管怎么说，这太素了点。”(あの服を一目見て、「いくらなんでも、これは地味すぎた」とずばりと言った。)

上記の二つの例文における“素”は「穀物、野菜、豆腐など植物性の材料ばかり用いて味がさっぱりする」、「色があっさりとしていて鮮やかではない」という意味を示す。この意味を表す場合は“素”の前に“太”がともに用いられるのが特徴であり、「わずかでも肉類や魚介類があってもいいじゃないか」や、「もうすこし他の色が混じっているといいなあ」など、「いささか物足りない」というニュアンスが含まれる。

また、「野菜や穀物などの食物」、「色があっさりとしていて鮮やかではない」という意味の“素”を構成要素として作られた複合語も多い。“素菜”、“素斋”、“素餐”、“素酒”、“素席”、“素雅”、“素淡”など中国語ではよく用いられるが、日本語には見られない。下記の例がそれである。

○他生活很有规律，早睡早起，不嗜烟酒，喜食米饭和素菜。(彼は規則正しい生活で、早寝早起き、タバコと酒をたしなまず、ご飯と精進料理を好んで食べる。)

○佛门素斋成为南岳旅游的“招牌菜”。(寺院の精進料理は南岳<衡山の異称

>旅行の「名物料理」である。)

○会餐的时候，还专门为大娘设了一座素席。(会食の際、伯母のために精進料理の宴席を設けた。)

上記の第一例の“素菜”は野菜や豆腐などで作られた料理という意味で、日本語の「精進料理」にあたる。第二例の“素斋”は“素菜”と同じ料理を指す。第三例の“素席”は食卓に並べられる料理は肉類や魚介類を一切使わず、野菜や穀物や豆腐しか用いない宴席のことを指す。

中国語の“吃素”は「容赦する」という比喩義にも用いられ、“我可不是吃素的!”(俺をなめるな!)のように、喧嘩の相手を脅かす場合などに使われる。この比喩義として用いられる場合、通常、“不吃素”という否定形で使用する。

○她从书架上拿这本书给我看，那是一本装帧素雅的英文版旧书。(彼女は本棚からこの本を取って見せてくれた。それは地味で上品な装丁の英語の古本だった。)

○这个姑娘的性格比较沉静，衣饰不喜欢大红大绿，只喜欢紫的、蓝的、青的等素淡颜色。(その女の子は物静かな性格で、色が鮮やかな服を好まず、紫、藍、青などの地味な色だけを好む。)

○她站在铁门外，一身素净的白衣服，头上戴著朵小花。(彼女は鉄の門の外に立って、さっぱりした白い服を身に付け、頭に小さい花をつけていた。)

上記の例文の“素雅”、“素淡”、“素净”はそれぞれ「さっぱりしていて気品がある」、「色彩や模様が地味で鮮やかでない。あるいは料理が脂っこくなく、あっさりしている」、「色彩が地味でけばけばしくない」という意味を表し、いずれも日本語には見られない。

さらに、上述の言葉や表現のほかに、中国語にしか用いられない「素」を伴う熟語や表現なども数多くある。詳しくは<注 12>を参照されたい。

②日本語にしか用いられない「素」及び「素」を伴う表現の用い方の特徴

一方、日本語にも独特な「素」、及び「素」を伴う表現が数多く存在している。

日本語の「素（ス）」には「他のものが付け加わらなくて、そのものだけであること」の意がある。その意味は中国語の“素”にはないため、その意味から作られた言葉は日本語特有のものであり、中国語には見られない。「素顔」、「素肌」、「素手」、「素足」、「素うどん」、「素泊まり」、「素話」、「素焼き」、「素通り」、「素読み」、「素踊り」などがそれである。

○野球未経験の方には絶対に身の安全を考え、ボールを素手で捕球するのは避けていただきたいと思います。（请没有打过棒球的人一定要注意自身安全，避免空手接球。）

○私は、再び長椅子に足を伸ばした。素足が妙に白く、それを見つめながら新たに煙草を取り出して口にくわえた。（我又将脚伸到长椅上，光着的脚异常的白，我一边看着它一边重新取出香烟叼在嘴上。）

○これは素泊まり客用のごくあっさりした部屋で、テレビもラジオもない。（这里是给只住宿不吃饭的客人准备的陈设简单的房间，电视机和收音机都没有。）

上記の例文の「素手」は「手に何も持っていないこと。また手に何もつけていないこと。さらに手には所持品、お土産など何もないこと」という意味を示し、中国語では“空手”で対応する。「素足」は「履物、靴下などを履いていない足」という意味であり、中国語では“光脚”で対応できる。「素泊まり」は中国語で（投宿旅店时）只住宿不吃饭”と表現する。

“素手”は古代中国語においても使われており、唐の詩人・李白が書いた《游泰山》の“含笑引素手，遗我流霞杯。”（美女らは微笑みながら白くて美しい手を差し伸べ、綺麗な杯を渡してくれた。）、また宋・陸游が書いた

《岳池农家》の“小姑画得城中眉，一双素手无人识。”（その娘が街で最も綺麗に眉を書いているが、その白くて美しい手のことは誰も知らない）の例がそれである。中国語の“素手”は「白く、柔らかで美しい手」の意味であり、日本語の「素手」の意味とは全く異なる。“素手”は現代中国語ではすでに使われなくなっている。

また“素足”も古代中国語では使われており、晋・陶潜が書いた《闲情赋》の“愿在丝而为履，附素足以周旋。”（絹になり履となり、白く美しい足につけられて方々を回りたい）、唐・李白が書いた《越女词》に“东阳素足女，会稽素舸郎。”（白く美しい足を持つ東陽の女、何の飾り物もない船を持つ会稽の男）などの例がそれである。中国語の“素足”は「白くて美しい足」という意味を示し、日本語の「素足」とは異なる。これも“素手”と同様、現代中国語では使用されなくなっている。古代中国語における“素手”、“素足”と日本語における「素手」、「素足」の意味のずれは“素”と「素」の意味の違いに起因すると考えられる。

ここ数十年、“素颜”“素肌”は次第に中国語に浸透してきた。“人民网报刊检索”で検索したところ、“素颜照”“素颜亮相”“素肌美人”“素肌粉饼”のような、“素颜”“素肌”を伴う表現が使われている。

“素肌”は古代中国語においてよく使われていた。唐・白居易の《食笋》に“紫箨坼故锦，素肌擘新玉”（古い絹を引き裂くように紫色の皮を剥いて現れた筍の白い中身はまるで新しく掘り出した玉のようだ）、南宋・程垓の《满江红·忆别》の“春寒在，罗衣初试，素肌犹怯”（春の寒い天気、薄手の服を始めて身に付け、白い肌はまだ震える）の例がそれである。古代中国語の“素肌”は「白い肌。または、野菜や果物の白い中身」を指すが、日本語の「素肌」は「化粧されていない肌」であり、両者の意味のずれは中国語の

“素”と日本語の「素」の意味的相違に起因すると見られる。しかし、現在中国語で用いられる“素肌”は日本語の「素肌」と同様の意味を示し、中国の女性に愛用されている日本製化粧品と共に伝わってきたものと見られる。

一方、中国の古典作品を調べたところ、中国語の“素颜”も古代中国語においても使われていたことが分かる。晋・葛洪の《抱朴子・至理》の“然荣华势利诱其意，素颜玉肤惑其目”（しかし、栄華権勢はその心を誘惑し、美人はその目を惑わす）の例のように「白くて美しい顔」という意味を示す。また、宋・李昉の《太平广记》の“须臾出半身，绿裙红衫，素颜夺目。”（しばらくして少し姿を現し、緑のスカートに赤の単衣で、化粧されていない顔は人の目を奪うほど綺麗だ）の例は、「化粧されていない顔」という意味を示す。現在、中国語で使われている“素颜”は後者を指し、日本語の「素颜」と同様の意味である。“素颜”は古代中国語の“素颜”を復活させたものなのか、それとも日本語から伝わったものなのかは判断が難しく、さらなる研究が必要である。

中国語の“素手”“素足”“素肌”“素颜”は《现代汉语词典》《辞海》などの代表的な辞書には収録されておらず、使用頻度の高い“素肌”“素颜”のような語でも化粧品の広告などごく限られた分野にだけ用いられている。

また、「素（ス）」の接頭辞としての意味や用法も中国語にはなく、それに基づいて作られた表現も日本語にしか見られない。次のとおりである。

(1) 軽蔑の意をこめて、財産も地位もない意を表す。「素町人」、「素浪人」などがそれである。下記の例がそれである。

○素浪人生活に憧れる私には、まことにうってつけの雰囲気なのである。
(对于向往穷浪人生活的我来说，这是一种非常合适的环境。)

○「僕は実業家は学校時代から大嫌いだ。金さえ取ればなんでもする、むかしでいえば、素町人だからな」と、実業家を前にひかえて太平楽をならべる。

（“从学生时代起我就讨厌实业家，只要能得到钱什么都干，用老话讲就是身份卑微的商人。”我在实业家面前如此信口开河。）

上記の例文にある「素浪人」は本来失職して仕える主人のない武士を卑しめていう語であるが、現在は「無一物の浪人」という意味として用いられ、中国語では“穷浪人”または“身无分文的失业者”に訳される。また、「素町人」は町人を卑しめていう表現であり、「身分の賤しい町人」という意味であり、中国語で言えば、“身份卑微的商人”である。

(2)程度が甚だしいことを表す。「素早い」、「素寒貧」、「素頓狂」などがそれである。

○津波の人的被害は、情報提供と素早い避難とで大幅に軽減できる。（海啸造成的人员损失可以通过提供信息和迅速避难大幅减少。）

○「やあ、あれを見よ」素頓狂な法師の声にばらばらと二、三十人の法師が集まって来た。（“啊，来看啊！”二三十个和尚因为突然发疯似的和尚的声音三三两两地聚过来。）

○これは、どうして素寒貧の私が金を作り、財産を積み、そしてまたもとの無一物に還ったかという話である。（这是一个关于一贫如洗的我是如何赚钱、积累财富、并且重又身无分文的故事。）

上記の例文の「素早い」は「早い」を強めていう語であり、「動作や頭の回転が非常に早いさま。敏捷だ」という意味に用いられ、中国語では“敏捷”、“敏锐”などに訳される。また、「素頓狂」は「頓狂」を強めていう語であるが、「非常に間の抜けたさま」という意味によく使われ、中国語では“突然发疯(似的)”に訳される。さらに「素寒貧」は「きわめて貧乏なこと。また、その人」という意味であり、中国語の“一贫如洗”、“赤贫”、“穷光蛋”にあたる。

結語

本節では中国語の“素”と日本語の「素」を伴う漢字同形語の意味的相違を中心に考察した。また「素」を伴う日本語の複合語、派生語の中国語訳の特徴に関しても考察した。中国語の“素”と日本語の「素」を伴う漢字同形語は多くあり、本節では日中両言語でよく用いられる漢字同形語「素人」、「素材」、「素質」、「元素」、「要素」の意味や用法の相違を中心に検討した。

中国語の“素材”と日本語の「素材」は、「芸術創作の材料」「人間の言語活動や思考活動を行うための材料、資料」という意味を持つ点が共通している。しかし、現代中国語の“素材”は日本語の「素材」の「もととなる材料、原料」と「造材によってできた材種で、まだ製材されていないもの。丸太、そまかくの類」という意味を持たない。

「物事の性質」を示す場合、中国語の“素质”は物事が今現在呈している性質、状態に重きを置くのに対して、日本語の「素質」は物事に生まれつき備わっている性質に視点を置くものである。また、「人の性格、能力」を示す場合、中国語の“素质”は日本語の「素質」と同様に「人が生まれつき持つ性格や能力」を指すことができる。が、日本語の「素質」と異なる用法として、「教育や訓練により身につく性格や能力」を指すこともできる。

中国語の“元素”と日本語の「元素」は「非金属元素」（非金属元素）、「微量元素」（微量元素）のように、「ある物事を構成する要素」という意味を表す点においては同様である。しかし、中国語で“美食、娱乐、节庆等元素”（美食、娯楽、祝祭日などの要素）のように「ある物事を構成する要素」という意味を表す場合にもよく使われるが、日本語の「元素」にはこのような意味や用法は見られない。

日本語の「素人」は①「その事に経験が浅く、未熟な人。またその事を職業、

専門にしていない人」、②「水商売を職業にしている女性に対して、一般家庭の女性」という意味を示すが、中国語の“素人”は意味①を持つが、台湾を経由して中国大陸に伝わったものであると見られ、まだ使用頻度が高くない。日本語では「素人目」「素人離れ」「素人考え」のような複合語が多く見られるが、中国語では“外行人看来”“有画家水准”“外行人的浅薄看法”と対応する。

日本語の「素（ソ）」は元素名の後につく術語として用いられる場合、ある種の物質を示す。中国語の“素”におけるこの意味や用法は日本語から伝わったものであるが、気体の物質を示す場合、“素”ではなく“气”を用いる点において日本語と異なる。

「素」には「ソ」と「ス」の二通りの読み方があり、読み方によって意味と造語法が異なる。中国語の“素”は「素（ソ）」と意味的に重なる部分があるが、一部異なる部分もある。中国語の“素”と日本語の「素（ス）」とは意味的に重なる部分がなく、用法が完全に異なる。中国語の“素足”と日本語の「素足」、中国語の“素手”と日本語の「素手」など、中国語と日本語における一部の「素」を伴う漢字同形語の意味や用法の相違は“素”と「素」の意味や用法の違いによるものである。

第3節 中国語の“横行”と日本語の「横行」の意味的相違及び日本語における「横」を伴う表現の中国語訳

本節では中国語の“横行”と日本語の「横行」の意味的相違及び日本語における「横」を伴う表現の中国語訳について考察する。

(1) 中国語の“横行”と日本語の「横行」の共通点と相違点

まず中国語の“横行”と日本語の「横行」の意味や用法の共通点と相違点を考察することにする。

① 中国語と日本語における「横行」のプラス評価とマイナス評価

“横行”という語が使われていた例は、中国の戦国時代の《吕氏春秋》、《庄子·盗跖》、《管子·中篇·小匡》などの古典作品で確認できる。

○盗跖从卒九千人，横行天下，侵暴诸侯。（盗跖は兵士九千人を率いて、天下で勝手気ままに振る舞い、諸侯を威圧した。） 《庄子·盗跖》

上記の例の“横行”はマイナス評価として「勝手気ままに行動すること、暴虐をほしいままにすること」を意味する。それに対して、“君有此教士三万人，以横行于天下，诛无道，以定周室，天下大国之君莫之能圉也”（このように訓練を受けた三万人の兵士を擁し、天下を縦横無尽に駆け回って、非道を責め、周の政権をつかさどる君主の行動を、天下大国の王が阻止することはできない）

《管子·中篇·小匡》、“齐桓公良车三百乘，教卒万人，以为兵首，横行海内，天下莫之能禁。”（齊の桓公は三百台のすばらしい車と訓練を受けた兵士一万人を擁し、それを戦闘部隊とし、国内を縦横無尽に駆け回った。天下はそれを止めることはできなかつた。）《吕氏春秋》の“横行”は、「天下を縦横無尽に駆け巡る」というプラス評価として用いられる例である。

これらの例から分かるように、当時、“横行”はプラス評価とマイナス評価

の両義で使われていたことが分かる。しかし、現代中国語における“横行”は、ほとんどマイナス評価で使用されている。下記の例がそれである。

○一个好的制度，可以使坏人不敢任意横行；而制度不好，却可能使好人逐渐向善。（良い制度は悪人が思うままのさばることを阻止し、悪い制度は品行方正な人を次第に墮落させてしまうかもしれない。）

○吏治腐败透顶，买官卖官成风，贪赃枉法横行。（官吏の腐敗はきわまり、官職の売買、賄賂のやり取り、法を曲げることが横行している。）

○黑社会势力历史上也曾经横行美国，并形成了“五大家族”。（暴力団・マフィアの勢力はかつて米国でものさばり、「五大家族」を形成した。）

○许多车站周边聚集着许多乞讨人群，黑车横行拉客，强行载客的现象屡禁不鲜。（多くの駅の周辺で物乞いをする人が群れをなし、白タクがのさばって客引きをし、強引に客を載せたりする現象を禁じきれない。）

○因索马里多年来动乱不止、冲突不断，加之过去一段时间以来海盗横行，使得这里的局势更趋复杂。（ソマリアは数年来、動乱や衝突が絶えず、一時海賊がのさばり、この地域の情勢をさらに複雑にし、悪化させた。）

上記の“横行”の例は、いずれも「悪事や望ましくないことが平然と行われること、のさばること」を意味するものである。例文を調査した結果、“横行”の後に来る表現は“不法”（不法である）、“霸道”（横暴である）、“无忌”（何も憚らない）であり、その前に来るのは“伪钞”（偽札）、“黑社会”（暴力団、マフィア組織）、“兵马”（兵隊と軍馬）、“官吏”（官吏、役人）、“贪污”（汚職行為、賄賂を取る）、“假冒伪劣商品”（質の悪い偽物）、“车匪路霸”（鉄道や道路などの交通路で強盗窃盗を働く犯罪者）、“高利贷”（高利の貸付）、“瘟疫”（流行性の急性伝染病）、“流氓地痞”（ならず者、チンピラ、ごろつき）、“物欲”（物欲、金銭や品物を手に入れようとする心）、“奸商”（悪徳商人）など、いずれもマイナス的评价を示す表現である。

一方、日本語における「横行」の意味に関して、『新明解 国語辞典』『明鏡国語辞典』には、「(A) 勝手気ままに歩き回ること。(B) 社会正義に反することが平然と行われること」と記されている。しかし、現代日本語でも、現代中国語と同じく意味 (B) の使用が多い。下記の例を考える。

○この国は拝金主義ばかりが横行して大国としての品格、謙虚さが全く感じられない。(这个国家拜金主义横行，让人完全感觉不到大国应该具备的品格和谦虚。)

○昔では考えられないような凶悪な事件が横行している。(从前令人难以想象的凶残的事件在不断地发生。)

○最近の不景気で会社も残業をしない方針に変えてしまい、サービス残業が横行する事態となってしまった。(由于近来经济不景气，公司也采取了不让员工加班的方针，造成了无薪加班盛行的情况。)

上記の例では、「横行」の主体の「拝金主義」、「凶悪事件」、「サービス残業」などは、いずれも社会正義に反する行為であり、「横行」はそれが平然と行われることを表す。

② 「横行」の主体からみる日本語と中国語の相違

中国語でも日本語でも「横行」は「望ましくないことがあちこちで行われる、のさばる」というマイナスの意味を表す場合に使われるが、両者の間にどのような相違点があるのか、日本語と中国語の「横行」が漢字同形語で対応できるか否かを検討することにする。

筆者は中国語の“横行”の使い方を次のように分類する。

(A) “横行”の主体が悪い人間や組織や団体などである場合

○当地一些恶霸、地痞看到官府不敢惹洋教，纷纷入教，以洋人为靠山横行乡里，欺压百姓。(地元の悪辣なボスや土地の与太者は、役所が外国の宗教に逆

らう度胸がないことを見抜き、次から次へと信者になり、外国人を後ろ盾に好き勝手に暴虐をほしいままにして／横行して、民衆を抑圧する。）

○一涉及 30 余人的流氓抢劫团伙，曾横行顺义县城关地区，年龄都在 18 至 24 岁之间。（この 30 数人にのぼるごろつきの強盗グループは、かつて順義県城門周辺で横暴な振る舞いをしていた／横行していた。年齢はすべて 18～24 歳である。）

○“四人帮”横行时，一些领导同志跟着干了一些蠢事。（「四人組」が横暴に振る舞っていた／横行していた時、一部の指導者が馬鹿なまねをした。）

上記の“横行”の例の主体は、“悪霸、地痞”（地元の悪辣なボスや土地の与太者）、“流氓抢劫团伙”（ごろつきの強盗グループ）、“四人帮”（四人組）であり、好き勝手に不法なことをする人間や団体・組織である。中国語では上記のような“横行”の例が最も多く見られる。

この場合、日本語では、「横行」のほかに、「横暴な振る舞い」「のさばる」「暴虐をほしいままにする」「不法な行為をする」といった表現を用いる。

日本語の「横行」もこの場合に使われる。下記の例がそれである。

○暴走族が横行する世の中では治安が悪くなる一方だ。（社会上暴走族猖獗／横行，治安不断恶化。）

○千年余り昔、瀬戸内海や豊後水道に海賊が横行した。（一千多年前，瀬戸内海及丰后水道等地海盜猖獗／横行。）

上記の例のように、日本語でも「横行」は主体が「暴走族」「海賊」など好き勝手に不法なことをする人間や団体・組織である場合に使われる。中国語では“横行”のほかに、“猖獗”を使う。

(B) “横行”の主体が自然災害や人間に害のある動物などである場合
次の例を見てみよう。

○徐启斌治水 6 年，驯服了肆虐横行千百年来的洪兽。(徐启斌は 6 年間に及ぶ治水工事を行い、長年猛威を振るっていた／氾濫していた洪水を征服した。)

○在亚马逊河流域的热带丛林里，山麓跌宕，道路崎岖，人烟稀少，毒蛇猛兽横行。(アマゾン川流域の熱帯ジャングルの中は、山麓の起伏が激しく、道が険しく、人の家が少なく、毒へびと猛獣が我がもの顔に出没する。)

上記の“横行”の主体は、“洪兽”(洪水)、“毒蛇猛兽”(毒蛇と猛獣)である。日本語の「横行」は、このような自然災害、人間に害のある動物などには使われない。

この場合の中国語の“横行”を日本語に訳す場合、上記の例の「猛威を振るう／氾濫する」、「我がもの顔に出没する」のように、「横行」とは別の表現を用いる。

(C) “横行”の主体が人間社会全体に悪い影響を及ぼす行動や社会現象である場合

○目前暴力横行，正说明我们未能维护法律，未能让所有人树立尊重法律的意识。(現在暴力が横行していることは、私達がまだ法律を守れていないこと、すべての人に法律を尊重する意識を確立させることができていないことを物語っている。)

○但是，在这个世界上，强权政治还在横行，暴力干涉别国内政的事屡见不鲜，战争的硝烟远未散尽。(しかし、この世界でも強権政治はまだ横行し、暴力で以って他国の内政に干渉する事は珍しくなく、戦争の砲煙がまだ完全に消えていない。)

上記の例から分かるように、中国語の“横行”は“暴力”(暴力)、“強権政治”(強権政治)を主体とすることがある。日本語の「横行」も、同じように人間社会全体に悪い影響を及ぼす行動や社会現象などにも使われるため、この場

合の中国語の“横行”はほとんどの場合、日本語の「横行」で対応できる。

例文を調査した結果、下記の事柄についても日本語で「横行する」を用いる。

闇取引、不正取引、インサイダー取引／手抜き工事／詐欺的商売、フィッシング詐欺、家宝詐欺／まったく根拠のない架空請求／悪質商法、偽造薬の販売、森林違法伐採、裏で無法なサイバー監視／いじめ、やらせ・セクハラ・パワハラ／社内不倫、職員同士の不倫関係、などがそれである。犯罪行為、不正行為、さらに不倫関係などの場合も「横行する」を用いることが多い。

また日本語では、悪い影響が及ぶ範囲がそれほど広くなく、悪質の程度もそれほどひどくない場合でも「横行」を使用することがある。次の例はそれである。

○いま、正社員の長時間労働、サービス残業、有無を言わさぬ賃金カットなどが横行している。（現在，正式员工长时间工作、无薪加班、强行克扣工资等现象屡见不鲜。）

○以前私の会社はサービス残業が横行しており、労働基準監督所からご指導を受けて一時的には改善した。（以前我公司无薪加班现象严重，自从得到劳动标准监督所的指导后暂时有了改善。）

○敗北を恐れて極端な守備戦術が横行する可能性がある。（有可能因为害怕失利而争相采取防守战术。）

○障害者と偽って優先入場するなどの不正が横行する。（伪装成残疾人优先入场等不正当现象非常严重。）

上記の例の「横行」の主体は、「正社員の長時間労働」、「サービス残業」、「有無を言わさぬ賃金カット」、「極端な守備戦術」、「不正」などであり、前に挙げた「強権政治」や「暴力」などに比べると、影響が及ぶ範囲が狭く、悪質さの程度もそれほどではない。このような場合、中国語では通常、“横行”は用いない。前後の文脈によって、“严重”“屡见不鲜”“屡屡发生”“风行”などの言

葉で表現する。

(D) “横行”の主体が人々に悪影響を及ぼす物である場合

○这种假冒伪劣商品横行的最大的受害者，无疑是我们。（このような劣悪なコピー商品が横行することによる最大の被害者は間違いなく私達自身である。）

○假币在农村横行，主要是由于农村反假工作薄弱，农民防假意识防假知识少，给犯罪分子以可乘之机。（偽札が農村で横行しているのは、農村では偽札を防ぐシステムが出来上がっていないからだ。しかも農民には偽札を警戒する意識が薄く、それを見分ける知識が少ないため、犯罪者につけこまれるすきを与えてしまったのである。）

上記の例の“横行”の主体は、“假冒伪劣商品”（劣悪なコピー商品）、“假币”（偽札）である。このような場合、日本語でもよく「横行」を用いるため、中国語の“横行”はそのまま日本語の「横行」で対応できる。

以上「横行」の主体からみる日本語と中国語の相違を表にして示せば、下記の通りになる。

日本語と中国語における「横行」の意味的相違

	「横行」 (日本語)	“横行” (中国語)	注
(A) “横行”の主体が悪い人間や悪い人間からなる組織や団体などの場合	○	○	
(B) “横行”の主体が自然災害や人間に害のある動物などの場合	×	○	
(C) “横行”の主体が社会全体に悪い影響を及ぼす行動や社会現象などの場合	○	○	日本語の「横行」は使われる範囲がより広い
(D) “横行”の主体が人々に悪影響を及ぼす物の場合	○	○	

(2) 古代中国語の“横”と古代日本語の「横」の本義と比喩義

“横行”という表現はなぜ「縦」ではなく、「横」で表現するのか。次に古代中国語の“横”と古代日本語の「横」の本義と比喩義を考える。

漢の時代の許慎氏の《説文解字》では、“横”に関して“闌木也，从木，黄声”と解釈されている。その意味は「さえぎる木なりとあり、門に施すかんの木の類のこと、声符は黄である」という。つまり、“横”は「タテヨコ」の「よこ」を意味するものではなかったことが分かる。

《实用古汉语大词典》(注 13) の“横”に関する解釈をまとめると、下記のようなになる。中国語の“横”は「地面と平行する。東西の方向と左右の方向。

物の長い方向と垂直すること」のように方向や位置が本義で、物事や人間の行動に対する評価など比喩義を示し、意味範囲がかなり広い。物事や人間の行動に対する評価では、マイナス評価がとりわけ多い。

一方、古代日本語の「横」はどのような意味で用いられていたのか。『日本国語大辞典』『古語辞典 旺文社』『漢字源 改訂新版』（注14）の解釈をまとめると、下記のようになる。

①（上下に対して）水平の方向、（前後に対して）左右の方向、（南北に対して）東西の方向を意味する。「長く駕（ゆ）き、遠く撫で、都の外に横（よこ）に逸（こえい）で」『書紀一安閑元年閏一二月（寛文版訓）』、「よこに行鴈といふ事<略>遥なる嶺うち超えてくる鴈は風に吹かれて横へきれけり」『桜井基佐集一秋』、「つぼの石ぶみは、高さ六尺余り、横三尺ばかりか」『奥の細道・壺碑』がそれである。上記の「横」は「東西の方向」、「左右の方向」、「水平の方向」として、物理的・地理的方向を表すが、これらは「横」の本義と見られ、古代中国語の“横”の本義とほぼ同じである。

②正当でないこと、不正、道理にあわない、非道、正常でない、異常などを示す。「年中、偽（うそ）と横と欲とを元手にして世を渡り」『西鶴・好色一代女・三・三』、「横の罪に当たりて思ひかけぬ世界に漂ふ」『源氏・明石』、「これを横様の死にすべき者にこそはあんめれ」『源氏・手習』がそれである。上記の例の「横」は比喩義として用いられ、「無理」、「筋が通らない」、「異常」などマイナス評価として人の行動や物事の性質を示す。ただ、意味②を示す場合、通常は「よこしま」、「よこさま」を用い、「よこ」の例は少ない。「よこしまの義をば神祇（じんぎ）を用いず」などがそれである。

古代日本語の「横」は主に上記の意味を表すが、古代中国語の“勇敢”（勇敢である）などの意味を持たない。しかし、古代日本語と古代中国語において、「横」はマイナス評価に用いられるという点で共通している。

漢字の「縦」は、「人間が常に進行する方向」、「服従する」、「正しい」、「秩序がある」などを意味するのに対して、対義語の「横」は「正しくない」、「道理に合わない」、「勝手気まま」、「意外」などマイナスの意味を持つ。このように比喩義として用いられる場合、両漢字がまさに正反対の意味を持つ点は注目すべきである。中国人は数多くのマイナス評価の“横”を伴う表現を作り、そのような行動や物事を非難し、戒めてきた。古代の日本語は中国文化の影響を強く受けたことから、中国語と同様、「横」がマイナス評価として多く用いられていた。ここから、「横行」はマイナス評価として用いられる理由がうかがえる。

(3) 現代中国語と現代日本語における「横」を伴う表現のマイナス評価とプラス評価の用法

「横行」の考察に関連する研究として、現代中国語と現代日本語における「横」を伴う表現の意味的相違を考察することにする。

筆者は日本語辞書の「縦」「横」の項目を調査した。「縦」を伴う語彙は「縦糸、縦組み、縦縞、縦振動、縦笛、縦波、縦結び、縦揺れ、縦横、縦貫、縦線、縦走、縦断、縦覧、縦列」などを含め、70語近くある。それらはほとんど本義で用いられ、比喩義に用いられる例はあまり見られない。これに対し、「横」を伴う語彙ははるかに多く、『日本国語大辞典』では地名や人名などの固有名詞を除き、少なくとも120語近くにのぼる(注15)。「横(おう)～」の表現を合わせれば、さらに相当な数となり、意味や用法も豊富かつ多彩である。

「横」を伴う表現には、本義でしか用いられないものと比喩義にしか用いられないものがある。この基準で分類すると次の通りになる。

本義として用いられるものは、下記の語彙が挙げられる。

横(よこ)～：横雨、横糸、横馬、横絵、横帯、横泳ぎ、横風、横書き、横

掛け、横雲、横側、横木、横系図、横桁、横幅、横梯子、横本、横文字、横降りなど。

横（おう）～：横臥、横貫、横波、横文、横転、横断、横線、横絶、横陣、横隊など。

日本語の「横丁」は表通りから横に入った細い道を指し、中国語の“胡同”“弄堂”に相当するものである。

比喩義として用いられるものは、下記のように挙げることができる。

横（よこ）～：横意地、横外、横車、横言、横好き、横訛り、横道理、横取り、横流し、横槍、横理屈、横恋慕など。

横（おう）～：横溢、横禍、横議、横逆、横句、横死、横恣、横政、横着、横柄、横領、横暴、横奪など。

次に現代日本語と現代中国語の「横」、「横」を伴う表現のマイナス評価の用法、そしてプラス評価の用法の順に考察していく。

まず、現代中国語と現代日本語における「横」、及び「横」を伴う表現のマイナス評価の用法を考察する。

中国語の“横”、及び“横”を伴う表現は、マイナス評価を示す場合、次のような意味を持つ。

(A)凶暴、横暴で筋を通さない、勝手気ままなどを示す。

○局子里的警察挺横，动不动就打人。（留置場の警察は凶暴で、ややもすれば人を殴る。）

○现在吏贪官横，民不聊生。（今の官吏は貪欲かつ横暴で、民衆が安心して生活できない。）

○这人说话很横。（この人は横柄な態度で話をする。）

以上のように“横”は「凶暴」、「横暴で筋を通さない」、「勝手気ままである」という意味としてよく用いられる。これは“横”を伴う表現にも多く見られる。

下記の例を見よう。

○他并不是因看惯了他们的横行霸道而变成麻木不仁，而是看到了光明的那一面。（彼は彼らが権勢をたのんで横暴なふるまいをするのを見慣れたため無感覚になったのではなく、あの明るい一面が見えたのである。）

○他有峻烈的正义感，使他对于横逆永不屈服。（彼は正義感が強く、横暴な振る舞いに決して屈服しない。）

○从此他虽不似往日的横闹，大约一月之间也在书房坐上十天八天。（その後、彼は昔のようにでたらめにやることはなく、ひと月に大体十日間ぐらいは書齋に坐っていた。）

○（朱老忠）恨恨地说：“还说横话，光明世界，你放心吧，老爷们这辈子落不到你手里了！”（<朱老忠>冷酷に言った。「また横暴な言葉を吐くのか。ここは正義に満ちた世界。安心しなさい、旦那さま達は一生お前の手に落ちないよ！」）

○但是横人也有他自己的直道理的。（しかし横暴な人にも自分なりの筋の通った道理がある。）

上記の“横行霸道”、“横逆”、“横闹”、“横话”、“横人”は、それぞれ「横暴な人」「権勢をたのんで横暴なふるまいをする」「乱暴で道理に合わない」「横暴な言葉」「でたらめにやる」という意味を持ち、人の行動などをマイナス評価としている。

(B)意外、不吉、自分のものでないことを示す。

この用法には、“横死”（不慮の死），“横祸”（思いがけない災難），“横財”（不正な手段による儲け、悪銭），“横事”（不幸な出来事、思いがけない出来事），“横灾”（思いがけない災い）などがある。

○你看武大的尸首，是病死的还是横死的？（武大の死体を見てどう思う？病死したのかそれとも不慮の死なのか。）

○王成义到了叔叔家里不久，就遭了这样的横事。(王成義が叔父の家に来て間もなくこのような凶事に遭遇した。)

○你新近掘着了横财么？这样地着急，要逃到上海去。(お前、近頃荒稼ぎをしていたのか？なぜこんなに焦って上海に逃げていくの。)

意味 (A) を表す“横”と比べて、「意外」、「不吉」、「自分のものでない」という意味 (B) を表す“横”の用例数はあまり多くはなく、“横”を伴う表現の種類も比較的少ない。

以上のように、中国語には“横”を伴ってマイナス評価を表す表現が数多くあることが分かる。これらの表現を、次のように分類することもできる。

① “横”を伴う二文字表現

“横霸”（横暴で筋が通らない）、“横暴”（横暴である）、“横财”（＜不正な手段による＞儲け、悪銭）、“横夺”（横暴に奪い取る）、“横加”（道理をわきまえず強引に行う）、“横话”（横暴な言葉）、“横祸”（思いがけない災難）、“横理”（道理に合わない理屈）、“横蛮”（横柄である）、“横逆”（横暴な振る舞い）、“横人”（横暴な人）、“横事”（不幸な出来事、思いがけない出来事）、“横死”（非命の死）、“横行”（横行する、のさばる）、“横灾”（思いがけない災難）などがそれである。

② “横”を伴う三文字表現

“横死神”（強盗殺人）、“横死眼”（人を見る目が無い、目が利かない）、“横死贼”（畳の上で死ぬことができない人）などがそれである。

③ “横”を伴う四文字表現

“横冲直撞”（人ごみを乱暴にかきわけて進む）、“横征暴敛”（重税を搾り取る）、“横三竖四”（ごちゃごちゃに入り乱れている）、“横七竖八”（ごちゃごちゃに入り乱れている）、“横行霸道”（権勢をたのんで勝手気ままな振る舞いをする）、“横生枝节”（思わぬ面倒が起る）、“横抢硬夺”（乱暴に奪い取る）、“横

頭横脳”（場所柄をわきまえず失礼なことをする）、“横无忌惮”（わがまま乱暴で憚らない）などがそれである。

以上の表現のうち、二文字のものが最も多いことが分かる。上記は「横」で始まる言葉だが、「横」で終わる言葉にもマイナス評価のものも多く見られる。下記の例がそれである。

“刁横”（意気地が悪くて横暴である）、“发横”（横柄に振舞う、無礼に振舞う）、“耍横”（乱暴に振舞う）、“骄横”（横暴である、専横である）、“蛮横”（横暴で筋を通さない）、“强横”（強引に無理を通す）、“贪横”（貪欲で横暴である）、“凶横”（凶悪で横暴である）、“专横”（専横である）などがそれである。

以上の日本語訳で分かるように、上記の“～横”は「横暴」と訳されることが多い。この種の中国語の“横”を伴う表現の方が、日本語よりも多いことがうかがえる。その他、三文字表現には“打横炮”（邪魔する、横やりを入れる）、“推横车”（横車を押す、じゃまだてする）などがある。

次にマイナス評価としての現代日本語の「横」を伴う表現の特徴を考えることにする。

①「横」を伴う表現

「横取り」（他人の物をわきから無理に奪い取ること、横奪）、「横意地」（わざと曲がった主張を通そうとする意地、片意地）、「横道理」（道理に外れたこと、無理を押し通すこと）、「横恋慕」（すでに配偶者や恋人のある人に、横合いから恋をすること）などがある。

以上から分かるように、現代日本語の「横」は、古代日本語の「正当でないこと」、「不正」、「道理にあわない」、「非道」の意味や用法を受け継いでいる。使用頻度が低い「横外」（「よこがい」と呼び、理に合わないことを示す）、「横言」（「よこごと」、わきから中傷する言葉、讒言、よこしまごと）、「横蔵」

（「よこぞう」と呼び、横道にそれた邪道の人）、「横道」（「よこみち」と呼び、人間としての正しい道からはずれること、また正道からはずれた物事、邪道）、「横理屈」（「よこりくつ」と呼び、無理を押し通そうとする理屈、屁理屈）、「横様」（「よこさま」と呼び、正しくないこと、道理に合わないこと、非道）などの例もそれに当てはまる。

②「横」を伴う慣用表現

マイナス評価としての「横」を伴う慣用表現も多い。下記の【横車を押す／横に車を押す】の例を見てみよう。

○独り善がりの横車を押すというような行為をすると、取り返しのつかないことになる可能性がある。（如果采取自以为是蛮横无理的行为，可能造成不可挽回的结果。）

○横車を押すと話がこじれますので、冷静に解決してください。（如果蛮不讲理的话，情况就会变得复杂起来，所以请你们冷静地把它解决掉。）

以上の【横車を押す／横に車を押す】は「無理を押し通す」ことを意味し、中国語の“蛮不讲理”“蛮横无理”に相当する。下記の【横紙を破る】の例を見てみよう。

○横紙を破る司会者がずけずけ質問を浴びせる視聴者参加のテレビ番組が、人気を呼んでいる。（这个由嘴下不留情面的节目主持人单刀直入地提出问题、观众们参与的电视节目很受大家欢迎。）

○問題はその国がさまざまな横紙を破るような行為を繰り返し、しかも安全保障上看過できない不安定な状況にあることだ。（问题是这个国家一再采取各种蛮横的行为，而且在安全保障方面它处于难以让人忽视的不安定状态中。）

以上の【横紙を破る】は「無理を押し通す、理不尽なことをする」ことを意味し、中国語の“不留情面”“蛮横”にあたる。次に【横槍を入れる】の例を見てみよう。

○人が意見を述べているのに平気で横槍を入れる。(别人在陈述意见，他却若无其事地在一旁插嘴。)

○先輩の会話中に横槍を入れることはよくないと思う。(我认为前辈在说话的时候在一旁插嘴不好。)

以上の【横槍を入れる】は「人の話や仕事にわきから文句をつけて邪魔をする」ことを意味し、中国語の“一旁插嘴”に相当する。

【下手の横好き】は「下手なくせに、そのことが大変好きで熱心なこと」を意味し、中国語の“虽然不擅长，但沉迷于此”に相当する。下記の【下手の横好き】の例を見てみよう。

○下手の横好きでも努力次第で優秀になれる。(水平不高，但很喜欢，只要努力就能成为有才华的人。)

○将棋が好きなのですが、下手の横好きといった感じで全く勝てません。(虽然很喜欢下将棋，但似乎只是业余爱好，根本不可能取胜。)

上記の「下手の横好き」の「横」は、「見当はずれな(道理に合わない)行為」というマイナスの意味で使われる。日本語には「横好き」という表現はあるが、「縦好き」という表現はない。

【横の物を縦にもしない】は「面倒くさがって何もしない」、「ひどいものぐさ」であることを示し、【縦の物を横にもしない】とも言う。下記の【横の物を縦にもしない】の例を見てみよう。

○普段は横の物を縦にもしないような男だが、ゴルフに行くとなると、さっさと自分で服装やら道具やらを準備する。(平时很懒惰的一个男人，一说要去打高尔夫，很快地就会自己去准备好服装啊用具什么的。)

○主人は横の物を縦にもしない性格だ。(丈夫生性懒惰。)

上記の例の【横の物を縦にもしない】はマイナス的評価の意味にとれることが明白である。では、【縦の物を横にもしない】ならどうなるか、次の例を見

てみよう。

○夫は縦の物を横にもしない人です。(我家丈夫是个懒惰的人。)

○私はよく母に「縦の物を横にもしない」と怒られる。(妈妈经常训斥我“懒惰!”)

上記の例の【縦の物を横にもしない】も明らかにマイナス的評価の意味にとれる。

以上のように日本語の慣用語にも、マイナス評価を表すものは少なくない。そのうち、「無理を押し通す」という意味を示すものがかなり多く、【横車を押す／横に車を押す】と【横紙を破る】がそれである。他にも【横に出る／横に行く／横に渡る】は昔使われていたが、現在では使用されなくなっている。

日本語には、「横(よこ)～」だけでなく、「横(おう)～」を伴う表現も多数あり、その多くは中国語から伝わったものと見られ、ほとんど中国語の同形の表現で対応できる。そのうち、「横禍」「横議」「横逆」「横行」「横死」「横恣」「横政」「横暴」「横民」「横夭」などマイナス評価を示すものが多い。また、現在よく使われている「横柄」「横着」「横領」という表現もマイナス評価を示すが、これらは古代中国語の“横”の主たる意味や用法を継承し、日本で作り出された「和製漢語」であると見られる。これに関しては今後の研究課題とする。

次に日本語と中国語における「横」、「横」を伴う表現のプラス評価の用法を考察することにする。

中国語では、マイナス評価として用いられる“横”が多く見られるが、プラス評価の“横”及び“横”を伴う表現が全くないというわけでもない。

○此书和先生以往的作品一样，文字朴实，意趣横生。(この本は先生のこれまでの作品と同じように、素朴な表現で、味わいに満ち溢れている。)

○考史多存横海志，论文时听绕梁音。（歴史を考証し、遠大な志が記されている書物を多く読み、詩文を論ずる時、ご高見をしばしば拝聴する。）

○在这时期内，闪现了一大批个性突出，才华横逸的音乐人，他们以无数光芒四射，风格各异，至今仍然传唱不息的经典作品，创造了香港流行乐的一个黄金时代。

（この時期、個性豊かで才気溢れたミュージシャンが数多く登場し、彼らは燦然と光を放ち、それぞれにスタイルは異なり、今なお愛唱されているすばらしい作品を生み出し、香港のポピュラー音楽の黄金時代を築き上げた。）

○这使得他和范尼等一批才华横轶的球员失去了表现的机会。（これで彼とファンニーら才能に溢れた選手たちは、自分の能力を発揮するチャンスを逃してしまった。）

上記の“横生”（面白みなどに満ち溢れる），“横海志”（大きな志），“横逸”（才気などがみなぎっている、あふれている），“横轶”（自由奔放である）はそれぞれ意味が異なるが、いずれもプラス評価を示している。しかし、これらの表現は書き言葉として詩や四字熟語など限られた場合にしか使われなくなり、使用頻度は低い。

中国語と同様、日本語にもプラス評価を表す「横」、及び「横」を伴う表現があるが、少ない。「横に目が切れる」（識別する力がある、分別がある）はかつては使われていたが、現在では使用されなくなっている。

また、「横綱」という表現もプラス評価を示すものである。それは本来、力士の最上位の階級を指すものであるが、現在では、「家電業界の横綱」などのように比喻としても用いられる。そして、新聞などでは「簿記の専門学校では大原が横綱です」、「高校野球でなぜ帝京は東の横綱と呼ばれているのですか?」という表現も見られ、「横綱」は力士の最上位の階級の意味だけでなく、同類のうち最も優れたものであるという意味に用いられることが多い。

実は、「横綱」は最初、力士の最上位の階級を指すものではなかった。もと

もと実力のある大関の腰に纏った、四手を垂れた白麻で編んだ太い綱を指すだけであり、番付には関係がなく大関の称号でもなかった。その後大関のうち技量、力量が特に優れた者に授与され、土俵入りの際、化粧回しの上に纏うことを許された力士の称となった。それが 1909 年以後、力士の最高地位の名となったという(注 16)。「横綱」の「横」は本来の意味からかなりかけ離れていて、現在「横綱」はプラス評価の言葉として用いられている。

以上、中国語と日本語における「横」、及び「横」を伴う表現のマイナス評価とプラス評価の用法を比較してきたが、日本語は中国語と同様、プラス評価の例があまり見られず、数においても極めて少ない。それに対して、マイナス評価の例はきわめて多く、意味や用法も非常に豊富である。これは中国語と日本語における「横」、及び「横」を伴う表現の大きな特徴であると言えよう。

「横から口を出す」(从一旁插嘴)のように、日本語で「横」を用いるが中国語では“横”を用いない例、すなわち日本語にしか用いられない「横」及び「横」を伴う表現の中国語訳の特徴に関しては、詳しくは<注 17>を参照されたい。また中国語で“横”を用いるが、日本語では「横」を用いない例についても調査した。中国語にしか用いられない“横”の日本語訳の特徴については、<注 18>を参照されたい。

結語

本節では中国語と日本語における「横行」の意味的相違及び日本語における「横」を伴う表現の中国語訳について考察した。

中国語でも日本語でも「横行」という表現がよく用いられ、しかも同じく「のさばる、社会正義に反することが平然と行われる」というマイナス評価の意味を示す。しかし、「横行」の主体の考察を通じ、中国語と日本語における「横行」の使われる範囲がかなり異なることが分かった。中国語の“横行”と日本

語の「横行」は、主体が悪い人間や悪い人間からなる組織や団体などの場合、人々に悪影響を及ぼす物の場合、社会全体に悪い影響を及ぼす行動や社会現象などの場合に使われる点においては共通している。しかし、中国語の“横行”は主体が自然災害や人間に害のある動物などの場合にも用いられるのに対し、日本語の「横行」はそのような場合に使われない。

古代中国語の“横”は本義が方向や位置、また比喻義が物事や人間の行動に対する評価などを示し、意味範囲がかなり広い。物事や人間の行動に対する評価では、マイナス評価がとりわけ多い。

古代日本語の「横」は比喻義として用いられる場合、「無理」、「筋が通らない」、「異常」などマイナス評価として人間の行動や物事の性質を示す。ただ、この意味を示す場合、通常は「よこしま」、「よこさま」を用い、「よこ」のみで用いられる例は少ない。「よこしまの義をば神祇（じんぎ）を用いず」などがそれである。

古代中国語の“横”と古代日本語の「横」の意味や用法を比較すると、古代中国語の“横”の方がかなり意味幅が広く、古代日本語の「横」のもつ意味をほぼ包括している。しかし、古代日本語と古代中国語において、「横」はマイナス評価に用いられるという点で共通している。

中国語と日本語における「横」、及び「横」を伴う表現のマイナス評価とプラス評価の用法を比較したが、日本語は中国語と同様、プラス評価の例があまり見られず、数的にも極めて少ない。それに対してマイナス評価の例はきわめて多く、意味や用法も非常に豊富である。これは中国語と日本語における「横」及び「横」を伴う表現の大きな特徴であると言えよう。

注と参考文献

(1)張麗君(2013)「漢語接尾辞『一化』の成立と展開」『社会文化科学研究紀要第35号』岡山大学大学院社会文化科学研究科、張勇(2009)「接辞要素「化」的中日对比研究」《河北北方学院学报》河北北方学院

(2)日本語の「～化」を前置語の語種によって下記のように【漢語+化】、【カタカナ語+化】、【混種語+化】、【英文字、数字+化】に分類できる。

「美化」、「浄化」、「強化」、「一元化」、「国際化」、「少子化」のような【漢語+化】の形。調査した結果、このパターンの例が最も多く見られる。このパターンに用いられる漢語をさらに、「美」「浄」「強」のような一字漢語と、「一元」「国際」「少子」のような二字漢語に分けることができる。

日本語には「グローバル化」、「ドラマ化」、「アニメ化」、「マンネリ化」、「ネット化」、「ボーダーレス化」、「デジタル化」、「システム化」、「コンピューター化」、「コード化」などのように【カタカナ語+化】の形が多く見られる。上記の例の中国語訳は“全球化”、“公式化”、“网络化”、“模糊化”、“数码化”、“系统化”、“符号化”になり、一部は“拍成电视”のように“化”を用いない場合もある。「最近、小説や漫画がドラマ化や映画化がされることは多い」(最近, 小说以及漫画等被拍成电视剧、电影的情况很普遍)、「司馬遼太郎の歴史小説をドラマ化した」(将司马辽太郎的历史小说拍成了电视)などがそれである。

日本語では、「ドラマ化」という表現がよく使われる。これは小説や漫画などの形態をドラマという形態に換えるということの意味ですが、中国語では、“化”を用いず、“拍成电视剧”と訳す。

「電子チケット化」、「大河ドラマ化」のような【混種語+化】の形。「先進国が中心となり電子チケット化が進められている」(以发达国家为主, 电子机票化正在不断地推进)、「航空会社は値下げによって利用を容易にし、電子チケット化を促進する」(航空公司通过降价使购买机票更加方便, 以此来促进电子

机票化的发展) などがそれである。日本語では、「電子チケット化」という表現がよく使われるが、中国でも最近 E-チケットや電子チケットというサービスが提供され、“电子机票化” という表現が用いられるようになっている。上記の例のように、このパターンは接尾辞「化」の前に用いられるのはカタカナ語と漢語を組み合わせた混種語である。上記の例は“电子机票化” という中国語訳になり、一部は“根据长篇小说拍成电视剧”のように“化”を用いない場合もある。

「CD化」、「IP化」、「3D化」のような【英文字、数字+化】の形。このパターンは接尾辞「化」の前に用いられるのは「CD」「IP」「3D」などのような英文字、数字である。日本語と中国語において同形の「～化」も見られる。上記の日本語の例の場合、中国語でも“CD化”、“IP化”、“3D化”で対応できる。

「この曲は今月 CD化 されるという」(据说这首曲子本月将 CD化)、「今は、古い名盤は次から次に新たに CD化 されて容易に手に入る」(如今，老旧的名曲录音盘不断地重新 CD化，人们能够很容易地弄到手了)などがそれである。日本語では、「CD化」という表現がよく使われるが、上記の例のように中国語でも同形の表現があるため、「CD化」は通常“CD化”で対応できる。

(3)接尾辞「化」の前に用いられる語の品詞(名詞、動詞、形容詞など)によって、「化」を伴う表現を下記のように分類できる。

①日本語の【名詞+化】の類には、「緑化」、「CD化」、「砂漠化」、「軍事化」などがある。中国語でも“绿化”、“CD化”、“沙漠化”、“军事化”で対応する。

②日本語の【形容詞+化】の類には「正当化」、「多様化」などのように、接尾辞「化」の前に形容詞が用いられるパターンがあるが、この場合、中国語では“正当化”、“多样化”で対応できる。中国語における漢字一文字“强”“恶”は形容詞として用いられるが、日本語では名詞として使われるため、「強化」「悪化」などはこのパターンに入れることには無理があり、この点において、中国

語の“強化”“悪化”と日本語の「強化」「悪化」は異なる。

③ “拡大化” “加速化” のような【動詞+化】の形。このパターンは“拡大” “加速” のように接尾辞「化」の前に動詞が用いられ、日本語の「拡大化」「加速化」で対応できる。「拡大する」「加速する」のような【漢語+する】の形の動詞は接尾辞の「化」の前にも置くことができるが、一般的に「食べる」「行く」のような「る／く」で終わる動詞は接尾辞の「化」の前に置かない。しかし、全くないというわけでもなく、例えば近年、「見える化」という言葉がよく使われている。「全ての情報をできる限り『見える化』して変化に対応していく仕組みを持つことは、企業の生き残りの必須条件だ」（尽量公开所有信息以应对变化，拥有这样的结构是企业生存的必要条件。）、「『時間の見える化』は次のように進めよう」（我们将按下列步骤推进“时间的可视化”）、「アンドンを通じて生産現場全体を『見える化』しているのだ」（通过生产状态监视系统实现整个生产岗位的“可视化”）などがそれである。「見える化」は翻訳語とも考えられ、違和感が少しあるが、透明性、情報公開などの意味でよく用いられる。中国語では通常、“公开” “可视化” で対応する。

(4) 岩波書店辞典編集部編 『逆引き広辞苑』（第五版対応） 岩波書店 1999年10月、上野恵司、相原茂共編 『逆引き中国語辞典』 日外アソシエーツ 1993年6月

(5) 高野繁男『近代漢語の研究』 明治書院 2005年11月

(6) 西周の初め頃に書かれた《逸周書・克殷》に、すでに“及期，百夫荷素质之旗于王前。”という“素质”の例が見られる。また、ほぼ同じ時期の《尔雅・释鸟》に“伊洛而南，素质五采皆备成章曰翬；江淮而南，青质五采皆备成章曰鷩。”（伊水と洛水の南に、翬と言う白い下色にいろいろな色があって美しい柄の鳥がいる。揚子江と淮河の南に、鷩と言う青い下色にいろいろな色があって美しい柄の鳥がいる。）という例が見られる。

上記の“素质”は「白い下色」という意味を示す。《管子・勢》にも“正静不争，动作不贰，素质不留，与地同极。”という例があるが、「物事の本来の性質」という意味を示す。さらに晋の時代、葛洪が書いた《抱朴子・畅玄》に“冶容媚姿，铅华素质，伐命者也。”という用例があり、それは「肌が白く綺麗である」という意味を示す。

(7) 日本語の「素質」の本義は「物の白い質」であり、中国語の“素质”と同じである。『経国集・一・棗賦』に「爾其秋実抱丹心而泛色、春花含素质而飞馨」とある。「素質」はまた「白い肌」を意味し、『万葉一五・七九四右詩序文』の「紅顔共三従長逝 素质子四徳永滅」という例がそれである。「素質」の意味は古代中国語の“素质”と同じである。

(8) 1873年から1884年にイギリスの『W.R.Chamber's "Information for the people" V2,1868,London』の訳書として『百科全書』が日本で出版された。そこで「化学」に次のような言葉がある。

化学学习ノ便利ニ由テ六十二種ノ元素ヲ諸般ニ類別ス 就中吾人採用スル所ニ抛レバ大別ノ金属ト非金属ノ二種トスベシ [第一] 非金属元素ハ其数十三アリ 酸素、水素、窒素、炭素、蓬素、珪素、硫格魯林、蒲魯民、沃顛、弗律阿林、摄列纽母、及ヒ磷是ナリ、殊ニ酸素、格魯林、蒲魯民、沃顛、及ヒ弗律阿林ハ大抵他ノ元素ト抱合セザルハナク…… (小林義直訳 P. 23)

しかし、ここの用例が最も早いものではなく、1870年に出版された西周の『百学連環』に「右各弊害ある三種の政治を以て **elemental forms** 即ち政体の元素となすなり」という例も見られる。

一方、『大漢和辞典』には中国語の“元素”が収録されているが、古代中国語の例がない。《汉语大辞典》では、“元素”に関しては“犹言本质；要素”（本質、要素）と解釈されている。またその例として鄭澤《杂诗五首答钝庵》における“象罔得真詮，巖扃守元素。良友时经过，嘯吟慰迟暮”、黄遠庸《库伦独

立後之外交》における“立国元素，必赖军队，则有私人武官数名为之任军事教育矣”が取り上げられている。

鄭澤（1895-1959）、黄遠庸（1884-1915）はいずれも二十世紀の人物で、古代中国語には「元素」の使用例がないことから、日本の知識人が西洋の書籍を翻訳した際に作った漢字語彙とも考えられる。これに関しては今後の研究に譲ることとする。

(9) 高野繁男『近代漢語の研究』によれば、井上哲次郎らが編んだ『哲学字彙』初版において、英語「factor」に「要素」という訳語を当て、1912年明治後期の同書3版の刊行でその用法が確立された、とある。現在では、一般語や学術用語として広く使われるようになっている。

一方、中国語では清末・刘锦藻の《清续文献统考》に“有顾问大臣及参议官两项，均为该院组织之要素”“而臣民之要素，又有属人属地两主义”、という用例があるが、日本語の「要素」よりは遅いものであると見られる。

(10) 前田富祺監修 『日本語源大辞典』 小学館 2005年4月、小松寿雄・鈴木英夫編 『新明解 語源辞典』 三省堂 2011年9月

(11) 岑麒祥 《汉语外来语词典》 北京商务印书馆 1990年

(12) 中国語には“素”を伴う四字熟語がよく見られる。“七葶八素”、“我行我素”、“素面朝夭”、“素未谋面”、“素不相识”、“爱素好古”、“红装素裹”、“安之若素”、“把素持斋”、“好丹非素”、“青蝇点素”、“素隐行怪”、“素车白马”、“素昧平生”、“相知有素”、“我行我素”、“鱼传尺素”、“冰魂素魄”、“怀真抱素”などがそれである。いずれも日本語には見られない表現である。

○乡下人命大，病得七葶八素了，母亲几针下去就又能下炕扛锄了。（運がいい田舎者で、病気にかかってひどい状態になったが、母が数回注射してやると、またオンドルをおりて鋤を担いで野良仕事にいった。）

○我就一直梳一条不长不短的马尾巴刷子，露着大脑门，你们写字的人说什么

“素面朝天”，就是不施粉黛。(私はずっと長くも短くもないポニーテールを結って、広いおでこを出している。皆さんのような学問のある方がおっしゃるところの“素面朝天”(女性が化粧していない顔で人に接する)で、つまり化粧をしていない。)

○他们之中既有父女、情侣，也有素不相识的陌生人。(彼らの中には、父と娘、カップルのほかに、全く見知らぬ他人もいる。)

上記第一例の“七葦八素”は「てんてこ舞をする」や「めちゃくちゃでひどく混乱している」や「東西南北の方向をはっきり見分けられない」という意味を表す。中国語では【七〇八〇】という形の四字熟語がよく使用される。“七上八下”、“七嘴八舌”、“七拼八凑”、“七零八落”、“七手八脚”などがそれである。第二例の“素面朝天”の本義は「女性が化粧しないまま、参内して天子に拝謁する」ことをいうが、現在は「女性が化粧していない素顔で人に接する」という意味として用いられる。第三例の“素不相识”は「見知らぬ」という意味である。

(13) 中国人民大学语言研究所编写 《实用古汉语大词典》 河南人民出版社
1995年7月

(14) 藤堂明保、松本昭、竹田晃、加納喜光編 『漢字源 改訂新版』 学習
研究社 2002年4月

(15) 日本語に「横」を伴う語彙や慣用表現が数多くあり、『日本国語大辞典』では地名や人名などの固有名詞を除き、少なくとも120近く収録されている。

「横合、横雨、横意地、横板、横糸、横入り、横入れ、横馬、横絵、横帯、横泳ぎ、横折、横外、横顔、横書き、横額、横掛、横風、横被り、横嚙、横紙、横側、横木、横聞き、横切り、横食い、横口、横組み、横雲、横車、横系図、横桁、横言、横座、横裂き、横刺し、横様、横尻、横皺、横姿、横好き、横筋、横滑り、横擦り、横座り、横題、横倒し、横抱き、横丁、横付、横面、横手、

横飛び、横綱、横腹、横道理、横取り、横長、横流し、横流れ、横殴り、横投げ、横撫で、横訛す、横波、横縄、横睨み、横庭、横抜き、横根、横寝、横寝がち、横乗り、横這い、横禿、横端、横箸、横梯子、横走り、横幅、横張り、横平、横開き、横広、横笛、横吹き、横太り、横吹雪、横降り、横振れ、横棒、横類、横本、横巻き、横幕、横枕、横町、横窓、横眉、横見、横身、横店、横道、横向き、横結び、横目、横文字、横物、横矢、横山、横槍、横雪、横理屈、横連子、横恋慕、横輪、横渡し、横割」など約 120 あり、それに「横溢、横逸、横禍、横臥、横潰、横貫、横議、横虐、横逆、横撃、横句、横行、横穴、横言、横災、横冊、横死、横恣、横斜、横豎、横陣、横生、横政、横説、横絶、横塞、横線、横隊、横奪、横断、横着、横転、横笛、横道、横波、横難、横帆、横被、横文、横柄、横放、横暴、横民、横夭、横流、横頷、横歴、横惑」など「横（おう）～」の表現を合せると、相当数になる。

(16) 下中直人編集 『世界大百科事典』改定新版 平凡社 2009年6月

(17) 日本語の「横」及び「横」を伴う表現の中国語訳の特徴について考えた。

日本語の「横」を中国語に訳すとき、「大根を横に切る」(横切萝卜)、「カニは横に歩く」(螃蟹横向爬行)のように、そのまま“横”で対応できるものがある。しかし、日本語で「横」を用いるが、中国語では“横”を用いない例も多い。「箱の横に名前を書く」(在箱子的侧面写上名字)、「家の横に小さな書店がある」(我家的边上有一家小小的书店)、「横から口を出す」(从一旁插嘴)、「話が横にそれた」(话题岔开了)、「ソファで横になる」(躺在沙发上)などがそれで、“横”ではなく、“側面”、“边上”、“一旁”で対応する。さらに「話が横にそれた」や「ソファで横になる」のように、全く別の言葉で対応する場合もあることが分かる。

日本語の「横～」を中国語に訳す場合、どう対応すればいいのだろうか。「横合い」(側面、旁边；局外、不相干)、「横雨」(斜雨)、「横糸」(纬线)、「横泳

ぎ」(側泳)、「横顔」(側臉)、「横風」(側風、从側面吹来的風)、「横口」(側面入口)、「横小路」(小道、小巷)、「横皺」(抬頭紋、魚尾紋)、「横姿」(側影)、「横波」(从側面涌来的波浪)、「横太り」(个子矮而肥胖)、「横腹」(側腹、腰窩)、「横吹雪」(暴风雪)、「横町」(胡同、小巷)、「横見」(从一旁看、看旁边)、「横揺れ」(左右摇晃)などはプラス評価・マイナス評価の意がなく、ニュートラルなものである。「横意地」(頑固、固執)、「横言」(中伤别人的話)、「横様」(不合理、意外、不正常、歪門邪道)、「横取り」(抢夺、騙取)、「横道」(岔道、歧路)、「横恋慕」(恋慕别人的配偶)などはマイナス評価の意が強い。

以上のように、本義として方向や位置を表す「横書き」「横額」「横歩き」「横線」は、中国語では“横写，横匾，横走，横线”などと訳し、“横”のほかに、“側面，側”をよく使う。また、マイナス評価の「横～」を中国語に訳す場合、“横”で対応しない。マイナス評価を表す「横外」(没有道理、不讲理)、「横蔵」(歪門邪道之人)、「横道理」(不讲道理、蛮干)、「横理屈」(不讲道理)などの表現はかつては使われていたが、現在ではあまり使用されなくなっている。

(18)筆者は中国語で“横”を用いるが、日本語では「横」を用いない例を調査した。ここから中国語にしか用いられない“横”を伴う表現の日本語訳の特徴がうかがえる。中国語には“横”と“竖”(縦)を組み合わせることで、出来上がる熟語や慣用語が多い。“横竖”(どうせ、どちらみち、いずれにしても)、「横挑鼻子竖挑眼」(あれやこれやとあら捜しをする)、「横七竖八」(ごちゃごちゃに入り乱れているさま)、「横三竖四」(ごちゃごちゃに入り乱れているさま)、「横拖竖拉」(無理やりに引っ張っていく)、「横草不拿，竖草不拈」(不精である、ものぐさである)、「横针不拈，竖线不动」(女が怠けていることのとえ)、「横眉竖眼」(眉を吊り上げ目を怒らす、恐ろしい形相のさま)、「横躺竖卧」(大勢の人がざこ寝しているさま)などがよく用いられる。このように“横”と“竖”を呼応して使う例は、日本語には見られない。このような表現

は日本語の「横」、及び「横」を伴う表現ではなく他の表現で対応する。

また、中国語には“横”を用いる方言がよく見られるが、このような方言を日本語に訳す場合も、「横」、及び「横」を伴う表現ではなく、他の表現を用いることが多い。たとえば、瀋陽の方言“横是”は「たぶん」、「恐らく」の意味である。“我横不那么办”の“横”も方言で、日本語の「どうせ」、「いずれにせよ」で対応する。

さらに日本語の「横」には意外、不吉、自分のものではないという意味がないため、次のような中国語では“横”を用いる言葉について、日本語では「横」は用いられない。たとえば、“横財”（不正な手段による儲け、悪銭）、“横事（不幸な出来事、思いがけない出来事）”などがその例である。

その他、中国語にしか見られない“横心”（思いきる、腹をすえる）、“横肉”（<人の顔を形容して>凶悪な人相）、“横眉”（眉を吊り上げて怒る、まなじりを決する）、“横生”（思いがけなく発生する、次々に起こる）などを日本語に訳す場合も、「横」ではなく、他の表現を用いる。

第6章 漢字圏学習者の混同しやすい日本語と中国語の漢字同形語の考察

本章は漢字圏学習者向けの日本語教育の視点から、日本語と中国語の漢字同形語の意味的相違、日本語の漢字類義語の中国語訳について考察する。第1節では「散歩／散策」のような日本語の漢字類義語の中国語訳について考察する。

「散歩」と「散策」は中国語に訳すと、同じ“散歩”になる。「散歩」と「散策」の使い分けは何か、日本語学習者の関心事となる。本節では日本語の漢字類義語の意味的相違について考察する。第2節では「平和、和平」「運命、命運」「習慣、慣習」「別離、離別」「苦勞、勞苦」を中心に、中国語と日本語の漢字類義語（反転語）の意味的相違に関して解析する。

第1節 日中漢字同形語及び日本語の漢字類義語の意味や使い方の相違

本節では「児童／子供」「厨房／台所」「散歩／散策」「価格／値段」「便利／重宝」「関心／興味」「学習／勉強」など11例を中心に、日本語と中国語の漢字同形語の意味や使い方の相違について、日本語における「漢字類義語」の意味的相違にも力点を置き、日本語学習者の日本語習得の視点から考察する。

(1) 中国語の“児童”と日本語の「児童」「子供」の意味的相違

「児童文学」（儿童文学）、「児童手当」（儿童津贴）、「子供の日」（儿童节）、「子供の教育」（儿童教育）のように、日本語の「児童」と「子供」はどちらも中国語の“児童”で対応できる。しかし、中国語の“児童”と日本語の「児童」は完全に同じ意味で用いられているのか、考えることとする。

① 中国語の“儿童”と日本語の「児童」の意味的相違

中国語の“儿童”は法律上その年齢ははっきり規定されていないが、最高人民法院、最高人民検察院、公安部が1984年3月31日に公表した《关于当前办理拐卖人口案件中具体应用法律的若干问题的解答》では6歳以上14歳未満の者としている。

中国語の“儿童”は一般的に年齢が“少年”より下の者を指す。“儿童医院”（小児科病院）、“儿童票”（こども用の切符）、“儿童乐园”（子供の楽園）、“儿童玩具”（子供の玩具）、“儿童读物”（子供向けの読み物）、“留守儿童”（親が都市部へ出稼ぎに行っているが、実家に残る子供）などがその例である。

中国語の“儿童”は書き言葉としてよく用いられる。次の例を見てみよう。

○楼内有儿童福利中心和图书馆。（このビルの中に儿童福祉センターと図書館がある。）

○大会通过了有关儿童权利的法案。（その大会は、儿童の権利に関する法案を採択した。）

上記の例の“儿童”は改まった場合に使われる書き言葉である。それに対して中国語の“孩子”“小孩”は話し言葉として用いられる。“这孩子真乖！”（かわいい子だね）、“小孩，过来。”（ちょっとおいで）がその例である。

日本語の「児童」は一般的に幼児と青年の中間の年少の人間を指すが、何を基準とするかによって大きく異なる。「児童福祉法」では満18歳未満、「道路交通法」では6歳以上13歳未満の者を「児童」と呼ぶ。また「学校教育法」では6歳以上12歳未満の小学校に通う者を「児童」と言う。このように「児童」は法律用語としてよく用いられる。

現在、「児童」は通常「小学校に通う子供」という意味として用いられる。次の例を見てみよう。

例①. 小学校の児童数は、昭和56年度まで年々増加していた。（小学在校人

数到昭和 56 年为止年年都在增加。)

例②. 小学校の児童と保護者 23 人がその活動に参加した。(小学生及监护者 23 人参加了此次活动。)

例③. 町役場には 3 名の児童が訪れ、各課の仕事を見学した。(3 名小学生来到街道政府，参观了各科室的工作情况。)

上記の例①と例②の「児童」は「小学校の」という修飾語があり、「小学校に通っている子供」という意味がはっきりするが、例③は「児童」の前に「小学校の」のような修飾語がなくても、その年齢や身分などが分かる。

中国語の“儿童”と日本語の「児童」は、定められた年齢の範囲が若干異なるが、大体同じ意味を表すため、同形の漢字語で対応することが多い。「児童劇」(儿童剧)、「児童画」(儿童画)、「児童手当」(儿童津贴)、「児童公園」(儿童公园)、「児童憲章」(儿童宪章)、「児童心理」(儿童心理)、「児童福祉法」(儿童福利法)などがそれである。

ただし、中国語の“儿童”は日本語のように「児童」イコール「小学生」ではない。小学校関係の規則や条例、カリキュラムなどでは“儿童”を用いるより“小学生”の方がよく用いられる。また、中国語の“儿童是祖国的未来”は「子供は国の未来である」と訳す。中国語の“儿童”は保育所や幼稚園の園児も含むため、「子供」と訳すのは適切である。

② 日本語の「児童」と「子供」の意味的相違

日本語の「児童」と「子供」は、どちらも中国語の“儿童”にあたる。次に日本語の「児童」と「子供」の意味的相違を考える。

○児童は、単に家族の人間関係の中でのみ成長するのではない。(儿童并不仅仅在家庭的人际关系中成长。)

○昔は、子供の日なんかなかった。(从前是没有儿童节的。)

以上の例のように、日本語の「児童」と「子供」は中国語に訳すと、いずれも“儿童”となる。上記の例①の場合、「児童」は「子供」に置き換えられ、話し言葉と書き言葉の違いと説明できる。例②の「子供の日」は決まった表現なので、「児童の日」とは言わない。

法律や学校関連条例において通常、「児童」を用いる。「児童法」「児童扶養手当法」などがそれである。

日本語では「児童会」と「子供会」が両方用いられているが、前者は小学校での児童による組織であり、「生徒会」とも言う。ちなみに中学校、高等学校でも「生徒会」を用い、大学においては通常「学生自治会」と呼ぶ。一方、後者の「子供会」は子供の健全育成を目的として、地域で組織され、年齢の異なる子供が集まる団体を指す。

「子供」には下記の用法もある。次の例を見てみよう。

○まだ子供だった僕達は、父ほど深刻に考えていなかった。(那时我们还很幼稚，没有像父亲那样考虑得很严重。)

○あいつはまだ子供だ。(他还是小毛孩儿。)

上記の二例の「子供」はいずれも「児童」には置き換えられない。「子供」は社会経験や人生経験に乏しく、精神的に成熟していない若い人を指し、「大人」の反対語として使われる。「あいつはまだ子供だ」の「子供」は嘲笑的に表現するもので、「児童」には置き換えられない。「子供っぽい」「子供扱い」「子供だまし」「子供心」も同じである。この場合、中国語では“幼稚”“小毛孩儿”などと言う。

「子供」は人間だけではなく、「犬の子供」「猫の子供」「馬の子供」「鯨の子供」のように、動物の子という意味を表す場合にも使う。が、この場合の「子供」も「児童」には置き換えられない。中国語の場合、動物の子は通常、“崽”“仔”などで対応する。

さらに、「子供」は自分の息子、娘という意味を表す。次の例を見てみよう。

○学校の運動会で自分の子供が一所懸命走った。(自己的孩子在学校运动会上拼命奔跑。)

○すでに結婚しており、三人の子供がいた。(我已经结婚，有了三个孩子。)

上記の例の「子供」は親から生まれた子供という意味であり、「児童」には置き換えられない。この場合、中国語では“孩子”“子女”と言う。

日本語の「児童」は書き言葉として使われ、「子供」は話し言葉として多く用いられ、ぬくもりが感じられる。法律においては「児童法」「児童福祉法」と言うが、「子供法」「子供福祉法」とは言わない。

『日中辞典 講談社』『日中辞典 小学館』では、「児童」は“儿童”と解釈している。「児童」は「小学校に通う子供」という意味であり、中国語の“儿童”のほかに、“小学生”という対応語を付け加えるべきである。

(2) 中国語の“厨房”と日本語の「厨房」「台所」の意味的相違

「厨房器具」(厨房器具)、「厨房セット」(厨房全套设备)、「台所で料理を作る」(在厨房做饭)、「台所の面積」(厨房面积)などのように、日本語の「厨房」と「台所」は中国語に訳すと、いずれも“厨房”となる。中国語の“厨房”と日本語の「厨房」、それに日本語の「厨房」と「台所」に如何なる意味的相違があるのかについて考えることとする。

① 中国語の“厨房”と日本語の「厨房」の意味的相違

中国語の“厨房”は料理を作る場所という意味である。どのように用いられるのか、次の例を見てみよう。

例①. 他家很大，有客厅、厨房，还有卫生间。(彼の家は広い。応接間、台所があって、バス・トイレもある。)

例②. 这家店的厨房很干净。(この店は厨房がとてもきれいだ。)

中国語の“厨房”は例①のように家庭内の料理を作る場所という場合に使われ、レストランや飲食店などの調理場という場合にも使われる。

一方、日本語の「厨房」は「料理を作る場所」という意味を表す点においては、中国語の“厨房”と共通するが、しかし、日本語の「厨房」の使われる場合は中国語の“厨房”よりかなり少なくなる。次の例を見てみよう。

○彼は、今イタリアン・レストランで働いている。当店の厨房は定期的に保健所が検査に来る。(现在，他在一家意大利餐厅工作。保健所定期来本店的厨房检查。)

上記の例の「厨房」は「料理を作る場所」である。しかし、それはレストランや飲食店などに設置されている調理場という意味のみで、中国語の“厨房”とは大きく異なる。

② 日本語の「厨房」と「台所」の意味的相違

前にも述べたが、日本語の「厨房」はホテル、レストランなど営業用の調理場という場合に使われ、家庭内の料理を作る場所を示す場合は通常「台所」と言う。

○母親はすぐ隣の台所でお茶の支度をしている。(母亲在隔壁的厨房里沏茶。)

○私がつらい時、主人が台所に立ってくれて、家事を手伝ってくれた。(当我感到不适的时候，丈夫就会进入厨房帮着做家务。)

「台所」は下記のように比喻としても用いられる。

○昨年度の豊中市の台所事情を説明する。(我来说明一下上一年度丰中市的财务状况。)

○一家の台所を預かる責任が重い。(掌管全家财务的责任很重。)

日本語の「台所」は「金銭のやりくり。また、家計」という意味を表す場合にも使われ、中国語では“财务状况”“财务”で対応する。「会社の台所を預か

る」「台所が苦しい」「台所は火の車」などもその例である。「厨房」はこの意味には使わない。

『日中辞典 講談社』『日中辞典 小学館』では、「厨房」と「台所」は、同じく“厨房”と解釈しているが、以上の分析で明らかにした両者の違いには触れておらず、日本語学習者が両者を誤用してしまう可能性が大きい。

(3) 中国語の“行李”と日本語の「行李」「荷物」の意味的相違

“行李箱”（スーツケース），“手提行李”（手荷物），“行李に詰める”（装进行李箱），“柳行李”（柳編行李箱）など、中国語と日本語とも「行李」という表現が使われる。ここでは、中国語の“行李”と日本語の「行李」、また日本語の「行李」と「荷物」の意味的相違を考察することとする。

① 中国語の“行李”と日本語の「行李」の意味的相違

日本語の「行李」は、竹や柳などを編んで作られる葛籠であり、衣類や雑物を入れるための収納用の道具、旅行用の荷物入れなどに用いられる。現在、「スーツケース」や「トランク」が利用されるため、日常生活で「行李」はあまり使われなくなった。一方、中国語の“行李”は収納用の道具や旅行用の荷物入れではなく、旅行や出張の際に携帯する荷物を指す。次の例を見てみよう。

○出发前收拾行李的时候，发现了那本书。（出発する前に荷物を片付けたら、その本を見つけた。）

○乘客携带的行李不得超过 20 公斤。（乗客の荷物は 20 キロを超えてはだめだ。）

上記の例の“行李”はいずれも旅行や出張の際に携帯する荷物を指すが、“行李架”（網棚），“行李牌”（託送荷物引換券），“行李员”（ベルボーイ），“行李车”（荷物運搬車）など“行李”を伴う表現は日常的によく使われている。

日本語の「行李」は中国語の“行李”と同じ漢字であるが、旅行や出張の際

に携帯する荷物ではなくそれを入れるための道具であり、中国語の“行李”とは大きく異なる。中国語の“行李”は日常的によく使われるが、一方日本語の「行李」はその道具が日常生活から消えつつあり、その言葉も次第に用いられなくなっている。

② 日本語の「行李」と「荷物」の意味的相違

日本語の「荷物」は「送ったり運んだりする物」という意味であり、「行李」とは大きく異なる。「手荷物」(手提行李)、「荷物を運ぶ」(运行李)、「荷物船」(货船)などがその例である。

日本語の「荷物」は次のような意味を表す場合にも使われる。下記の例を見てみよう。

○この国は世界経済のお荷物になっている。(这个国家已经成为世界经济的负担。)

○試合になると、いつも負けてばかりで、「うちの柔道部のお荷物だ」と監督に叱られていた。(一到比赛就输，所以一直受到教练的训斥：“你是我们柔道部的累赘!”)

上記の例のように、「荷物」は負担の意味をも表し、中国語では“负担”“累赘”と言う。この「荷物」の用法は「行李」には見られないものである。

《详解日汉辞典》では、「行李」は“行李”“箱笼”と解釈している。中国語の“行李”と日本語の「行李」は意味が全く異なり、「行李」の対応語に“行李”を取り上げるのは大きな間違いである。

(4) 中国語の“散步”と日本語の「散歩」「散策」の意味的相違

現代中国語では、“散步”は「気晴らしや健康維持のために、ぶらぶら歩く」という意味を表す。“出去散步”(散歩に出かける)、“在公园散步”(公園を散

歩する)などがそれである。

一方、『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』『国語辞典 旺文社』(注1)における日本語の「散歩」の解釈では、「気分転換や健康のために、戸外をのんびりと歩くこと」とある。「朝の散歩」「散歩に出る」などがその例である。辞書的語釈からみれば、中国語の“散步”と日本語の「散歩」はほぼ同じ意味であり、ほとんどの場合、漢字同形語で対応することができる。饭后散歩(食事のあと、散歩をする)、聊天散步(おしゃべりをしながら、散歩をする)、去湖边散步(湖のほとりを散歩する)、散歩のコース(散歩的路线)、散歩の時間(散歩的时间)、夕方の散步(傍晚的散步)、散步道(散步道)などがそれである。

散歩の場所が地面ではなく、“空中散歩”“海底散歩”のように、空や海の底となる場合も、日本語も中国語と同じく「空中散歩」「海底散歩」という表現で対応することができる。

① 中国語の“散步”と日本語の「散歩」の意味的相違

下記の日本語の「散歩」の例を見てみよう。

○文学浪漫の香り溢れる街を散歩する。(漫歩于散发着文学浪漫气息的街头。)

○京都でゆったり歴史散歩を楽しもう。(让我们在京都好好体验历史漫游的乐趣。)

○明治から昭和初期にかけて活躍した小説家・幸田露伴の自宅跡地に作られた「露伴児童遊園」が今春、文学散歩が楽しめるスポットとして再整備された。(建于明治至昭和初期十分活跃的小说家幸田露伴故居的“露伴儿童乐园”，今春已重新做了修缮，将成为供人探索文学世界的场所。)

上記の例文における「散歩」は明らかに「気晴らしや健康維持のために、戸外をのんびりと歩くこと」とは異なり、「軽い気持ちの探索」という意味を表す。「数学世界を散歩する」「科学の散歩」などもその例である。この場合の「散

歩」は、中国語では“散歩”ではなく、“漫步”“漫游”“探索”など他の言葉で対応する。

中国語の“散歩”と日本語の「散歩」はいずれも名詞だけでなく、動詞としても用いられる。日本語の「散歩」は動詞として使われる場合、よく【場所＋を＋散歩する】【場所＋で＋散歩する】という構文で使用する。次の例がそれである。

○家の近くを散歩する。(在家附近散步。)

○武蔵野で散歩する。(在武蔵野散步。)

これに対し、中国語では通常【在＋場所＋散歩】という構文で対応する。上記の日本語の例文を中国語に訳すと、“在家附近散步”“在武蔵野散步”となる。

② 日本語の「散歩」と「散策」の意味的相違

次に日本語の「散歩」と「散策」の意味的相違を考える。ちなみに中国語には「散策」という表現は存在しない。日本語の「散策」は中国語で通常、“散歩”と訳しているが、これでよいのか否かも考える。

○幸い、父の病状は軽いもので、近所を散歩できる程度に回復していた。(幸好父亲的病状比较轻微，已经恢复到了能去附近散步的程度。)

○お昼には家に帰り、お昼ご飯を食べてお昼寝をして、昼寝後はママと近所を散策する。(中午回家，吃完午饭然后午睡，午睡后和妈妈去附近散步。)

上記の例のように、日本語では「散歩」と「散策」はいずれもよく用いられる言葉であり、「市内を散歩/散策する」「公園を散歩/散策する」「散歩道/散策道」など一見大した違いがなく使われているように見える。『新明解 国語辞典』では、「散歩」と「散策」の意味に関して、「散歩」は「(行く先、道順などを特に詳しく決めることなく)気分転換、健康維持や軽い気持ちの探索などに出て歩きまわること」とあり、「散策」は「『散歩』の意の漢語的表現」とあ

る。すなわち、「散歩」と「散策」は同じく「ぶらぶら歩くこと」という意味を表すが、違いは「散歩」は日常用語、「散策」は漢語的表現ということになる。しかし、両者の意味的相違は本当に上述した通りであろうか。

1、「散歩」はとくに目的がなく、ただ気の向くままにぶらぶら、のんびり歩きまわることを示す場合、「散策」と大差はない。「散歩」は話し言葉によく用いられ、「散策」は書き言葉としてもよく用いられる。「散歩」は気晴らしや健康維持や軽い気持ちの探索などのために、ぶらぶら歩くことをも示す。この点において「散策」とは異なる。「健康のために毎日散歩する」とは言うが、「健康のために毎日散策する」とはあまり言わない。下記の用例を見てみよう。

例①. 健康維持のため、いつも早起きをして公園を散歩する。（为了保持健康，经常早起在公园里散步。）

例②. 橋を渡って奥多摩湖の右岸を散策した。（渡过那座桥，沿着奥多摩湖的右岸散步。）

上記2例における「散歩」と「散策」は同じく「公園などをゆっくり歩き回る」意味を表すが、例①のように「軽い運動」「健康維持」を目的として歩く場合は「散歩」を使うが、ただぶらぶら歩く場合は例②のように「散策」を使うことが多い。

旅行社の作った観光日程では「散策」をよく用いる。たとえば、「嵐山自由散策」だが、この場合、「自由散歩」とは言わない。

2、家の近所をゆっくり歩き回る意味を表すには、「散歩」を用いるが、かなり離れた場所をゆっくり歩く場合は、「散策」を用いることが多い。

○いろいろな時期に野山を散策してみると、さまざまな景色に出あうことができる。（在不同的时期进入野山中走走，就能看到各种不同的风景。）

○少年時代、森や山を散策するのが好きで、山で多くの時間を過ごしていた。（少年时代，我喜欢在森林和山中游荡，因此很多时间是在山里度过的。）

○秋の、野の花が咲き乱れる野原を「^{はなの}花野」と言い、花野を散策して短歌や俳句を詠むことが、古来より行われていた。(秋天，野花盛开的原野被称为“花野”，漫步花野吟诵短歌和俳句之趣，延续至今。)

上記の例のように、日本語の「散策」は「野山」「山」「野原」「荒野」「郊外」「自然林」「上高地」など日常生活の場からかなり離れたところで行うイメージが強い。

3、「散策」は人間以外には用いられないが、「散歩」は人間だけでなく犬など動物の場合にも使われる。下記の例がそれである。

○犬を散歩させる時は、ふんを処理するための用具を携帯しよう。(带狗散步时，要携带处理狗粪的工具。)

○時折、犬を散歩させているご婦人や杖をついた老紳士とすれ違うことがあった。(有时会和带着狗散步的妇人及拄着手杖的老绅士擦肩而过。)

○田舎では牛や馬を散歩させるそうだ。(听说在乡下会让牛马散步。)

上記の例のように、日本語では人間だけでなく、人間が飼う犬や牛、馬など動物がぶらぶら歩くことも、「散歩」を以て表すが、「散策」はこの場合には用いられない。ただし、人間が飼うペットや動物の「散歩」を表す場合、「～を散歩させる」という構文で用いられるが、「人間が飼うペットや動物」を主語としてはあまり用いられないのが特徴である。

以上のように、「散歩」と「散策」はある場所をぶらぶら歩き回る意味を示す点においては同様の意味であるが、しかし、「軽い運動」「健康維持」などを目的とした場合は「散歩」を用いることが多い。また「散策」は書き言葉にもよく用いられる。この2語に関する辞書の解釈はほとんど「散歩＝散策」と同じ意味としているため、問題がある。『新明解 国語辞典』だけでなく、『広辞苑』『明鏡 国語辞典』『現代日漢例解詞典』(注2)においても「散歩」と「散策」の意味や使い方の相違は説明されていない。

(5) 中国語の“价格”と日本語の「価格」「値段」の意味的相違

中国語の“价格”は通常、「価格」や「値段」という日本語に訳される。次に中国語の“价格”と日本語の「価格」の意味的相違について考える。また日本語の「価格」と「値段」の用い方の相違について考察する。

① 中国語の“价格”と日本語の「価格」の意味的相違

《現代汉语词典》、『日中辞典 小学館』では“价格”の語釈は、“商品价值的货币表现”（物の価値を金額で表したもの。値段。あたい）とある。“价钱”はほぼ同じ意味を表す語であるが、“价格”に比べ、よりくだけたニュアンスを有する。

日本語の「価格」は、『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』『国語辞典 旺文社』では、「品の値打ちを金額で示したもの。値段、価（あたい）の意の漢語的表現」と解釈している。日本語の「価格」と中国語の“价格”は同様の意味を表し、大差がなく、「価格」は“价格”で対応することができる。価格を統制する（控制价格）、価格が上がる（价格上涨）、価格を見積る（估算价格、估价）、価格を釣り上げる（抬高价格）、価格を据え置く（维持原来的价格）のように、日本語の「価格」はいずれも中国語の“价格”で対応することができる。

しかし、下記のように中国語の“价格”に日本語では「価格」以外の語や表現で対応する場合もある。

最低价格 → 最低価格／最安値

批发价格 → 卸売価格／卸値

零售价格 → 小売価格／小売値

价格补贴 → 経営者への経営手当てと勤労者への消費手当て

上記の中国語の“价格”は日本語の「価格」だけでなく、「値」でも対応する場合がある。また“价格补贴”のように意味を解釈して訳す場合もある。

また中国語の“价格”は書き言葉のみならず、話し言葉としても使われ、日本語の「価格」では対応しにくい。次の例がそれである。

价格很贵啊！ → 値段がとても高いね。

价格很优惠嘛。 → 値段がずいぶん買い得だな。

上記の例のように、中国語の“价格”は話し言葉として日常会話でもよく使われ、日本語の「価格」よりやわらかく感じられる。この場合、日本語では「値段」と使う。

② 日本語の「値段」と「価格」の意味的相違

中国語には「値段」という表現はない。次に日本語の「値段」と「価格」の意味的相違を考える。下記の例を見てみよう。

○非常に価格が安い上に、来店すると 100 円割引券が貰えることで、人気がある。(不光价格非常便宜，而且光顾店家就能得到 100 日元折扣券，因而很有人气。)

○価格が下がるとともに、その販売活動が拡大されていることがうかがわれる。(人们发现随着价格的下降，销售范围扩大了。)

○デジタルTVは急速に値段が下がるので、普及するだろう。(因为数码电视的价格快速下跌，将来会普及吧。)

○値段が安いのはうれしい驚きだった。(价格便宜让人惊喜。)

中国語の“价格便宜”は日本語に訳すと、「値段が安い」「価格が安い」の両方の表現になる。日本語の「価格」と「値段」の相違は、どちらかといえば前者は書き言葉、後者は話し言葉として用いられるという点にある。一方、中国語の“价格”は話し言葉と書き言葉の両方に用いられる。中国語の“价格”は日本語の「価格」だけでなく「値段」でも対応でき、改まった文章語のほか、日常会話などのくだけた場合でも用いるが、日本語では「価格」より「値段」

で対応することが多い。

「値段」が単独で用いられることが多いのと対照的に、「価格」は熟語の構成要素として他の言葉と組み合わせてよく使われる。「市場価格」「価格変動表」「販売価格」「オープン価格」「小売価格」「価格統制」などがそれである。また日本語の「生産価格」「生産者価格」、「消費価格」「消費者価格」もすでに熟語として用いられ、この場合の「価格」は通常、「値段」には置き換えられない。

「料金表」「価格表」「値段表」など「～表」を伴う表現の場合、それぞれ違いがあるのか。「料金表」は宅急便、クリーニング、レンタカー、ホテルなどサービス業でよく使われる。「価格表」は「メーカー希望小売価格表」「在庫価格表」「学生購読価格表」のように販売業、新聞雑誌など物を販売する場合によく使われる。「値段表」は「昼の値段表」「すし屋の値段表」など日常生活でよく用いられるものに使われることが多い。

消費者が何かを購入する場合、「値段が高い」とは言うが、「価格が高い」はあまり言わない。

日本語の「値段」も「値段を値切る」「値段が張る」のように熟語として用いられ、その場合「価格」に置き換えられない。さらに丁寧語にするために「値段」に「お」をつけて、「お値段」と言うが、「価格」には「お」がつかない。

また、日本語では「卸し値」「値引き」「掛け値」「底値」「値札」のように「値」で値段を示す場合も多い。

『日中辞典 小学館』『現代日漢例解詞典』『新編日汉词典』(注3)は、「値段」と「価格」について、“价格”“价钱”と解釈している。確かにこの2語は辞書的語釈が非常に近い。しかし、書き言葉か話し言葉か、語構成の特徴などを説明する必要がある。

(6) 中国語の“关心”と日本語の「関心」「興味」の意味的相違

日本語の「関心」はどんな場合でも中国語の“关心”で対応できるのか。次に中国語の“关心”と日本語の「関心」の意味的相違、さらに日本語の「関心」と「興味」の違いについて説明する。

① 中国語の“关心”と日本語の「関心」の意味的相違

《現代汉语词典》『中日辞典 小学館』における“关心”の語釈では「関心を持つ。気にかける。重視する」とある。关心国家政治（国の政治に関心を持つ）、关心孩子的生活（こどもの生活を気にかける）、大家都关心的问题（双方とも重視する問題／関心を持つ問題）などがそれである。

『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』『国語辞典 旺文社』における日本語の「関心」の語釈では、「ある物事に心をひかれて、注意を払うこと」とある。「政治に関心を持つ」「教育への関心が高い」などがその例である。

辞書的語釈をみると、中国語の“关心”と日本語の「関心」は重なる部分も、また異なる部分もあることが分かる。「政治に関心を持つ」（关心政治），“这是双方关心的问题”（これは両方とも関心を持つ／重視する問題である），“关心学生的学习”（学生の勉強に関心を寄せる／勉強を気にかける）のように「ある物事に注意を払うこと／関心を寄せる／重視する」という意味を表す場合、日本語の「関心」は中国語の“关心”で対応することができる。

○異性への関心（对异性的兴趣）

「人や物事に興味を持つこと」という意味を表す場合、日本語では「関心」を用いるが、中国語では“关心”ではなく“兴趣”で対応する。

○你要多关心关心他。（彼のことをいろいろと世話してあげてください。）

○她对我很关心的，使我感到无比的温暖。（大變親切にしていただき、暖かい気持ちでいっぱいです。）

○平时对她关心不够。（彼女への普段の気配りや心遣いが足りなかった。）

上記の例のように、中国語の“关心”は「あれこれと気を配る、優しく接する、さらに何か世話する（こと）」などを意味し、日本語では「関心」ではなく、「心遣い」「気配り」「親切にする」「世話をする」という表現で対応する。

中国語の“关心”は“关心人民群众”（民衆への気配りや心遣い）、“关心国家大事”（国の重大な出来事に関心を持つ）、“关心物价”（物価に関心を寄せる）などのように、動詞として用いられるが、“谢谢领导的关心”（指導者の気配りや心遣いに感謝する）のように、名詞として使われる場合もある。それに対して、日本語の「関心」は主に名詞として使われ、「関心を持つ」「関心が高い」「関心がある」といった慣用の形で現れることが多い。

②日本語の「関心」と「興味」の意味的相違

日本語の「無関心」は中国語の“不关心”の意味ではなく、“不感兴趣”の意味である。

○政治的問題に関心がある。（对政治问题感兴趣）

○政治的問題に興味がある。（对政治问题感兴趣。）

日本語では上記の文はどちらでも使われ、意味も近い。中国語ではいずれも“感兴趣”で対応できる。

日本語では「関心」「興味」は、ある物事に心を引かれることを意味する。しかし、「関心」と「興味」はまったく同じ意味で用いられるのであろうか。次の例を考えてみよう。

○新聞を破り捨てたからといって、その記事に関心がなかったとは言えない。（即使将报纸撕碎丢弃了，也不表示他对这篇报道不感兴趣。）

○もし日本の植民地化に関心があったなら、欧米列強も躊躇せず阿片戦争に乗じて日本の植民地化に動いたはずである。（如果对日本的殖民化有兴趣，欧美列强肯定也会毫不犹豫地趁着鸦片战争推进日本的殖民地化。）

日本語の「関心」は心を引かれ、ある物事に注意を払うという意味を示す。上記の例文では「関心」の対象はそれぞれ「新聞の記事」と「日本の植民地化」であるが、文の主体である「彼」「欧米列強」はそれに対して面白みを感じたかどうかはともかく、それに心を引かれ注意を払うということを表している。一方、「興味」はどうであろうか、次の例を見てみよう。

○文倉平次郎という人は、サンフランシスコで十数年苦学して、私的な興味から「日米交通史」の研究をした。(文倉平次郎在旧金山苦读十余载，出于个人的兴趣研究了《日美交通史》。)

○読んでいて「つまらない」と感じるのは、内容に興味が持てない場合と、英語が難しすぎる場合とがある。(阅读之后感觉“无聊”，有无法对内容抱有兴趣和英语太难这两种情况。)

日本語の「興味」は「対象の面白みや趣に心を引かれて、知りたいと思うこと。また、その気持ち」という意味である。つまり、人にとって対象が面白いということは、注意を払ったり、知りたいと思ったりする気持ちが湧くからである。「興味」においては対象が「面白み」を持つという点で「関心」との根本的な違いがある。上記の例文で「文倉平次郎」が「日米交通史」を研究した理由は、個人的にその分野が面白いと思うからであると述べている。また、人が読んで「つまらない」と感じるのは、その人にとってその内容が面白くないからである。

また、日本語の「関心」と「興味」は名詞で、他の言葉と組み合わせ、連語として用いられることが多い。しかし、組み合わせられる言葉に相違が見られる。下記の「○」は使うことを示し、「×」は使わないことを示す。

関心が高い	○	興味が高い	×
関心が低い	○	興味が低い	×
重大な関心	○	重大な興味	×

関心を払う	○	興味を払う	×
関心が集まる	○	興味が集まる	×
関心を添える	×	興味を添える	○
関心を豊かにする	×	興味を豊かにする	○
関心を覚える	×	興味を覚える	○

日本語の「関心事」「関心度」「無関心」の「関心」は「興味」には置き換えられない。一方、「興味深深／興味津津」「興味本位」「興味半分」の「興味」も「関心」には置き換えられない。

《新編日汉词典》などの辞書における「関心」と「興味」の意味の解釈は、“兴趣”“关心”、としている。両者は同じ意味であるとの説明が施されているが、微妙な違いを説明すべき必要性を指摘しておきたい。

(7) 中国語の“便利” と日本語の「便利」「重宝」の意味的相違

「交通が便利だ」「便利な店」のように、日本語では「便利」がよく使われる。それを中国語の“便利”で完全に対応することができるのか否か、中国語の“便利”と日本語の「便利」の意味的相違を考察する。

① 中国語の“便利” と日本語の「便利」の意味的相違

《现代汉语词典》『日中辞典 小学館』によると、中国語の“便利”は①「便利である」、②「便宜を図る」の意味を表す、という。その例を見てみる。

○交通便利 → 交通が便利である。交通の便がよい。

○便利顾客 → お客さんの便宜を図る。

『新明解 国語辞典』『明鏡 国語辞典』『国語辞典 旺文社』によれば、「便利」は「あることをするのに都合のよいこと。役に立つこと」という意味を表す。辞書的語釈で分かるように、中国語の“便利”と日本語の「便利」は意味的に重なる部分もあれば、異なる部分もある。両者が同じように「何かをする

のに都合のよいこと」を表す場合、日本語の「便利」は中国語の“便利”で対応することができる。

○携帯装置が軽量で便利である。(携帯装置很轻, 非常便利。)

○イロハ順で検索できるので便利である。(能够按照假名顺序检索, 非常便利。)

○公共事業というのは、国民みんなの便利と幸せのためにあるべきなんだ。

(所谓公共事业, 那是为了国民的便利和幸福应该做的。)

以上の例文における「便利」はいずれも中国語の“便利”で対応する。最近中国語では“便利店”という表現がよく使われるが、それは営業時間が長く、買いたい物があればいつでも気軽に買いに行ける、「便利」な店を指す。日本語では「コンビニ」と言う。

日本語に「便利屋」という言葉があるが、万屋(よろずや)、なんでも屋などとも呼ばれ、様々な雑事の代行業務を行うサービス業者を指す。それは中国語の“便民小店”に当たる。

○利用职务便利, 谋取私利。(勤務上の地位を利用して、私利を図る。)

中国語では“职务便利”という表現がよく用いられるが、それは日本語の「勤務上の地位」で対応する。日本語の「便利」はこの場合には使わない。

また中国語の“便利”は動詞としても用いられ、「便宜を図る」という意味を表す。日本語の「便利」にはその意味や用法がない。

便利居民 → 住民の便宜を図る

便利消費者 → 消費者の便宜を図る

上記の表現における“便利”は動詞であり、日本語に訳すと、「便宜を図る」という表現を用いるのが適切である。

② 日本語の「便利」と「重宝」の意味的相違

日本語の「便利」の意味に近い語に「重宝」がある。ここでは日本語の「便利」と「重宝」の意味的相違を考える。

○電子レンジは生活に便利な品である。(微波炉是一种方便生活的产品。)

○電子レンジは生活に重宝な品である。(微波炉是一种方便生活的产品。)

上記の例文の「便利」と「重宝」は意味的に近い。中国語に訳せば、いずれも“方便”“便利”となる。両者をどう使い分ければよいのか、中国人学習者にとってはかなり困惑するところである。「便利／重宝なもの」「便利／重宝な辞書」「これは非常に便利／重宝だ」などがそれである。辞書の解釈ではいずれも、「うまく役に立つさま」としている。しかし、「便利」と「重宝」に意味のずれはないのであろうか。次の例を見てみる。

○留守電があったら、君がいないときに連絡するのに便利だからいいなといつも思っていた。(我一直在想，如果有了录音电话，你不在的时候就方便联络了，多好!)

○高度に発達した科学技術によって、人類は、ますます便利で快適な生活を送れるようになるだろう。(随着科学技术的高度发展，人类或许能够过上更加方便舒适的生活。)

上記の例文の「便利」は「うまく役に立つさま」という意味である。次に「重宝」の例を見てみよう。

○材料をドンと入れて焼くだけのロースト料理は忙しい主婦や、おもてなしの場ではとても重宝なものである。(只要放入食材进行烧烤的烤肉料理对于忙碌的主妇来说、或者在招待客人的时候非常方便。)

○たとえていうならアーミーナイフのごとくで、ひとつで何通りにも使える重宝な家具だ。(打个比方说就像是折叠式多功能军刀，它是一种非常方便的多用途家具。)

上記の例文の「重宝」もまた、「便利」と同様に「うまく役に立つさま」と

いう意味である。しかし、「重宝」は「便利」と異なり、「何かをするのに好都合」という意味がないため、「ここは交通の重宝なところだ」「買い物に重宝な町だ」「そこは電車を利用するのに重宝だ」などは言わない。また、「重宝」は文法上「便利」にはない「～する」「～がる」という形を用いることが多い。ヤフー知恵袋と『KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス』で検索すると、「重宝」が「～する」「～がる」を伴う用例が数多く見られる。「そのソフトを大変重宝している」「観賞用の愛玩犬として重宝される」「これを重宝がる」「会社で重宝がられる資格」などがそれである。

『現代日漢例解詞典』『日中辞典 小学館』『新編日汉词典』では「便利」と「重宝」について“方便”“便利”と同じ説明が施されている。しかし、以上分析してきたように両者の意味は非常に近いものの、見逃せない違いもある。

(8) 中国語の“学习” と日本語の「学習」「勉強」の意味的相違

日本語では、「学習者」「学習環境」「学習に励む」など、「学習」がよく使われ、これらの表現はいずれも中国語では“学习”で対応できる。次に中国語の“学习”と日本語の「学習」にいかなる意味的相違があるのかを考える。

① 中国語の“学习” と日本語の「学習」の意味的相違

現代中国語では“学习”は“学习数学”“学习绘画”“学习生活技能”のように“从阅读、听讲、研究、实践中获得知识或技能”（読書、講義を聴くこと、研究や実践を通じ、知識や技能を身に付けること）という意味を表す。

《現代日漢例解詞典》における日本語の「学習」の解釈は“学习。特指在学校等学习”（学び習うこと。特に学校などで学び習うことを指す）とある。また『新明解 国語辞典』は「(学校などで) 他の生徒と一緒に繰り返しながら (段階的に) 基礎的知識を学ぶこと」と解釈し、「英語を学習する」「学習に励む」などを例に挙げている。

以上の辞書の解釈をみると、中国語の“学习”と日本語の「学習」は意味的に重なる部分もあり、互いに異なる部分もあることが分かる。次の例を見てみよう。

英語を学習する → 学习英语
面白い学習 → 有趣的学习
古典音楽の学習 → 古典音乐的学习

上記の表現における「学習」は「学校などで基礎的知識を学び習うこと」を指し、中国語の“学习”も同じ意味を表し、いずれも“学习”で対応できる。しかし、「学校以外の場所で見習うなど実践により何らかの技能を身に付ける」という意味を表す場合、中国語では“学习”を使うが、日本語でも「学習」を用いるであろうか。

学习种地 → 畑仕事を学ぶ
学习打猎 → 狩を学ぶ
学习好的经验 → 人の良い経験を学ぶ
学习人家的长处 → 他人の長所を学ぶ

以上の中国語の“学习”は日本語の「学習」ではなく、「学ぶ」または「見習う」などで対応するのが適切である。

中国語の“学习”は意味の幅が広く、日本語に訳す場合、「学習」だけでなく「学ぶ」、「見習う」、「習う」、「勉強する」などで対応する。“向他学习”は「彼に学ぶ」、「学习艺技」は「芸を見習う」、「学习钢琴」は「ピアノを習う」、「学习不够」は「勉強が足りない」となる。

② 日本語の「勉強」と「学習」の意味的相違

日本語の「勉強」と「学習」はいずれも中国語の“学习”にあたる。次に日本語の「勉強」と「学習」の意味的相違を考える。

○大学で欧米の歴史、地理、物理、化学などを学習した。(在大学学习欧美
的历史、地理、物理、化学等科目。)

○夜間大学で簿記を勉強し、会計士になりたかった。(在夜大学学习簿记，
想当会计师。)

上記の例文の「学習」と「勉強」は中国語に訳すと、どちらも“学习”とな
る。「勉強／学習に励む」「外国語を勉強／学習する」「数学の勉強／学習」な
どもそれである。辞書を調べてみると、この二語は知識や技能などを学ぶこと
を指し、互いに入れ替えることが可能な場合もある。しかし、両者は全く同じ
ように用いられるのであろうか。次の例を見てみよう。

○もちろん高校までに学習してきた文法はどうしても必要なもので、この文
法なしには英会話も英作文もできない。(当然高中之前学习的语法无论如何都
是需要的，不掌握这些语法，就不会英语会话和英语作文。)

○そうすると、子どもは非常に喜んで学習するばかりか、中学二年ぐらいで
ないと出てこない連立方程式の問題まで解いてしまったのである。(如此一来，
孩子便不仅非常乐于学习，甚至能够解答只有在中学二年级才出现的联立方程式
的题目。)

上記の例文の「学習」は「知識や技能などを学ぶこと」を意味する。「学習」
は学校で学ぶことを指す場合によく用いられる。「学習者」「学習漢字」「学習
指導要項」「学習の手引き」などがそれである。また、塾を「学習塾」とも言
う。「学習」は「勉強」と比べて書き言葉としてよく用いられる。

一方、「勉強」はさらに幅広く使われており、話し言葉として学校などで学
ぶことを指し、使われることも多い。下記の例を見てみよう。

○法律学科を選ばなかったのは、大学での訴訟法の勉強が面倒だと聞いて敬
遠したためであった。(之所以没有选择法律专业，是因为听说大学里诉讼法的
学习非常麻烦而对此敬而远之的缘故。)

○武史はまたしても、公認会計士試験に落ちた。夏美に夢中になりすぎて、勉強がおろそかになっていたからだ。(武史又没有通过注册会计师考试，因为他太迷恋夏美了，没认真学习。)

上記の「勉強」も「学習」と同様、学校で数学や英語の知識などを系統的に学ぶことを表す。「勉強が嫌いだ」は使えるが、「学習が嫌いだ」とは言わない。

「勉強」は話し言葉として使用頻度が高い。「学習」は何かを学習する、のように目的語がつく場合が多い。

「勉強」は下記の例文のように学校以外の訓練センターなどでデザインや美容などの技能を学び、身につける場合にも用いることができる。

○また、「職業訓練プログラム」に進めば、デザインやエンジニアリング、美容関係などの職業に直結した勉強ができる。(另外，如果进入“职业训练计划班”，就能学习与设计、工程、美容等职业直接有关的内容了。)

「勉強」は最もよく使われる日常用語であるが、「学習」は改まった場合に用いられる文章語である。したがって、普段の会話でも「もっと学習しなさい」より「もっと勉強しなさい」の方が、「学習がよくできる子だ」より「勉強がよくできる子だ」の方がよく用いられる。

『現代日漢例解詞典』『日中辞典 小学館』は「勉強」と「学習」の意味について中国語の“学习”と説明しているが、話し言葉に用いられるのか、それとも書き言葉に用いられるのかなど、上記に挙げた微妙な相違や使用場面などについては解釈していない。

(9) 中国語の“病人”と日本語の「病人」「患者」の意味的相違

「半病人」(半个病人)、「病人を看病する」(护理病人)、「患者を診察する」(诊查病人)、「あの医者には患者が多い」(那医生看的病人多)のように、日本語の「病人」と「患者」は中国語に訳すと、いずれも“病人”となる。中国語

の“病人”と日本語の「病人」は全く同じ意味に用いられるのか、日本語の「病人」と「患者」にはいかなる意味的相違があるのか、を考えることとする。

① 中国語の“病人”と日本語の「病人」の意味的相違

日本語の「病人」はどのように用いられるのか、次の用例を見てみる。

○病人を収容するとは言っても、満足に薬がない。(即使将病人收容进来, 也没有足够的药品。)

○現代人が変な物を食べ過ぎて病人が増えている。(现代人过多地吃那些怪异的食物, 导致病人增加。)

○私たちが生活していく上で、もっとも心配なことのひとつは、自分や家族の中に病人が出たり、けがをした際の治療費や生活費の問題だ。(生活中我们最为担心的事情之一就是自己及家人中出现病人、或有人受伤时的医疗费及生活费的问题。)

○病人扱いされているようで、いい気持ちはしない。(自己似乎被当作病人来对待了, 很不高兴。)

上記の例の「病人」は「なんらかの病気にかかっている人」という意味である。病院でお世話になっている人も、なっていない人も全般的に指す場合に使われる。

一方、中国語の“病人”はどのように使われるのか、次の例を見てみる。

例①. 在家照料病人。(家で病人を看護する。)

例②. 为住院病人安排专车接送。(入院患者のために専用車を手配して送り迎えする。)

上記の例の“病人”は「病気にかかっている人」という意味を表すが、例①は病院にかかっていないが、例②は入院して治療を受けている人である。中国語の“病人”は、日本語の「病人」とほぼ同じ意味を持つが、“住院病人”の“病人”は日本語では「患者」と言うことが多い。

また、“请病人家属来一下”（患者さんのご家族はこちらにおいでいただきませす）のように、中国語では病院で治療を受ける人を医者、看護師から言う場合にも使われる。この場合、日本語では「患者」と使われることが多い。

このほか、中国語の“病人”は次の場合にも使われる。例を見てみよう。

○中国股市是个病人，仅靠打强心剂不行。（中国の株式市場は、不健全な状態に陥り、その場しのぎの対策だけでは役立たない。）

○上海队是个病人，各方面都有问题。（上海チームは、ひどい状態に陥り、あらゆる面で問題が起きている。）

中国語の“病人”は、上記の例のように不健全な状態、ひどい状態に陥っていることを喩える場合にも用いられるが、日本語の「病人」には見られない用法である。

② 日本語の「病人」と「患者」の意味的相違

日本語の「患者」と「病人」にいかなる意味的相違があるのか、次の例を見てみよう。

○手術部に患者の家族から問い合わせの電話があった。（有患者家属给手术部来电咨询。）

○家族や親しい人の支えや励ましの有無は、手術に対する患者の心理を左右する。（是否有家人及朋友的支持和鼓励，左右着患者面对手术时的心理。）

上記の例の「患者」は、病気にかかり、入院している者を医者や看護師から言う場合に使われる。病院で治療を受けている者を医者や看護師の目線で見るといのは、「患者」と「病人」の使い分けの大事なポイントである。病院で治療を受けていない場合は、たとえ病気にかかっている「患者」とは言わない、という傾向が見られる。

また、医療関係者、医者、看護婦、薬剤師などが「さん」をつけて「患者さ

ん」という表現を使うが、「病人さん」とは言わない。

『日中辞典 講談社』『日中辞典 小学館』『详解日汉辞典』では、「患者」は、“患者”“病人”と、対応語を列挙するだけで、「患者」の意味的特徴に関する説明はしていない。

(10) 中国語の“准备”と日本語の「準備」「用意」の意味的相違

「試験の準備をする」(准备考试)、「心の準備」(心理准备、思想准备)、「用意ができています」(准备好了)、「食事を用意する」(准备饭菜)のように、日本語の「準備」と「用意」を中国語に訳すと、いずれも“准备”になる。次に中国語の“准备”と日本語の「準備」、日本語の「準備」と「用意」の意味的相違を考えることとする。

① 中国語の“准备”と日本語の「準備」の意味的相違

中国語の“准备”は「準備(する)、用意(する)、備え」という意味を表す。次の例を見てみよう。

例①. 连夜准备明天会议的材料。(すぐその夜に明日の会議の資料を準備した。)

例②. 他在准备考试，所以很忙。(彼は試験の準備で忙しい。)

例③. 我还没有做好精神准备。(私にはまだ心の準備ができていない。)

中国語の“准备”は、例①のように目に見える具体的なもの、例③のように目に見えない抽象的なもの、また例②のように両方を重ねる場合など、幅広く使われ、日本語では「準備」で対応することが多い。

しかし、中国語の“准备”は日本語にはない次の場合にも使われる。例を試してみる。

○大学毕业后准备去公司工作。(大学卒業後は会社に就職するつもりだ。)

○准备和对方谈判。(相手と協議する用意がある。)

上記の例の“准备”は、「～するつもりだ」「～する用意がある」という意味であり、日本語の「準備」では対応できない。

さらに次の中国語の“准备”も、日本語の「準備」では対応できない。

○凡事都要做最坏的准备。(何事でも最悪の事態に備えなければならない。)

中国語では、“准备”は「望ましくない事態や結果などに備える」という意味を表す場合にも使われるが、日本語の「準備」はこの使い方はない。

逆に、日本語の「準備」で中国語の“准备”で対応できない場合もある。「準備体操」は“预备体操”、「外貨準備高」は“外汇储备额”、「準備委員会」は“筹备委员会”、「準備金」は“储备金”と言う。

② 日本語の「準備」と「用意」の意味的相違

日本語の「準備」と「用意」はいずれも中国語の“准备”で対応できるが、両者にいかなる意味的相違があるのか、を考える。

「準備」は、大きな事の準備、長時間かけて着々とその準備を進めることを指す。次の例を見てみよう。

○会社設立のため去年から綿密な準備をしてきた。(为了公司的成立,从去年开始就进行了周密的准备。)

○来年の結婚式を控えて少しずつ準備を始めている。(为明年的结婚仪式开始着手准备。)

上記の例の「準備」は「会社設立」「結婚式」などの大きな事を、長い時間をかけて着々と進めるという意味を表し、中国語の“准备”で対応する。「会場の準備が整う」、「総選挙の準備」などもそれである。「寝具を用意する」「プレゼントを用意する」のように「用意」は比較的小さいことを表す場合に使用され、両者はかなり異なる。

また、ある事のために行う行為が終わったことが目に見える場合は、「準備」

と「用意」のどちらでもいいが、目に見えない場合は「準備」を使い、「用意」は使わない。「心の準備ができています」とは言うが、「心の用意ができています」と言わないのはそのためである。「田中さんは、英語検定試験のための準備をしている」の「英語検定試験のための準備」とは、単語や文法を覚えたり読解力を身に付けたりすることであり、その行為が終わった状態が目に見えないため、「準備」を使い、「入試のための用意」とは言わない。

一方、「夕食の準備／用意」「遠足の準備／用意」は、食事のために行う行為が終わったことは目に見えるため、「準備」と「用意」を入れ替えても差し支えない。「夕食の準備／用意」は料理ができあがり食卓に並べてある状態、「遠足の準備／用意」は遠足用のリュックに入れてある状態がいずれも目に見えるものである。

『日中辞典 講談社』では、「準備」と「用意」は、同じく“准备”と解釈している。しかし日本語の「準備」がどんな場合に使われるのか、中国語の“准备”とどのように違うのか、「準備」と「用意」の意味的相違の有無については全く触れていない。

(11) 中国語の“作用” と日本語の「作用」「役割」の意味的相違

「心理作用」(心理作用)、「副作用」(副作用)、「両国の架け橋の役割をする」(起到两国之间桥梁的作用)、「役割を果たす」(发挥作用)のように、日本語の「作用」と「役割」は中国語に訳すと、いずれも“作用”となる。ここでは、中国語の“作用”と日本語の「作用」、日本語の「作用」と「役割」の意味的相違を考えることとする。

① 中国語の“作用” と日本語の「作用」の意味的相違

中国語の“作用”と日本語の「作用」は同じ意味を表し、同形の漢字語で対応することが多い。「消化作用」(消化作用)、「直接作用」(直接作用)、「相

相互作用」(相互作用)、「薬理作用」(薬理作用)、「殺菌作用」(杀菌作用)、「消臭作用」(除臭作用)、「化学作用」(化学作用)、「鎮静作用」(镇静作用)、「反作用」(反作用)、「抗癌作用」(抗癌作用)、「麻痺作用」(麻痺作用)、「同化作用」(同化作用)などがそれである。

中国語の“作用”は“药物的作用”(薬の作用)、“对人体的作用”(人体に及ぼす作用)のように他の物事に影響を与えるという意味のほかにも、「役割を果たす」「効果がある」など広い意味に用いられる。次の例を見てみよう。

○他在队中起着越来越重要的作用。(彼はこのチームでますます重要な役割を演じている。)

○领导们的行动在群众当中起了带头作用。(指導者達の行動は人々の中で率先垂範の働きをした。)

○父母的言行对于孩子性格的形成起着极大的作用。(親の言行は子供の性格の形成にきわめて重要な働きをしている。)

○这药对治疗青光眼很有作用。(この薬は緑内障に効き目がある。)

上記の例の“作用”は「役割」「働き」「効き目」などの意味であり、日本語の「作用」には置き換えられない。

このほか、中国語の“毫无作用”、“起作用”、“发挥作用”、“积极作用も、日本語の「作用」ではなく、「何の役にも立たない。全く効き目がない」、「役に立つ。効き目が現れる」、「効果を発揮する」、「積極的な役割」のように、他の表現で対応する。

② 日本語の「作用」と「役割」の意味的相違

日本語の「作用」と「役割」にいかなる意味的相違があるか、まず「役割」の例を見てみよう。

○左脳と右脳の役割の違いは医学的に証明されていない。(左脳和右脳在功

能上の差異尚未得到医学方面的证实。)

○家庭内でのしつけ・教育の役割は非常に重要なものである。(家庭教育的作用是很重要的。)

○経済力にふさわしい責任と役割を分担していく。(我们将承担与经济能力相符的责任和职责。)

○母は二人の子供を育てるために父の役割もした。(母亲为抚养两个孩子还承担起了父亲的角色。)

上記の例の「役割」は、それぞれ(の人)に割り当てられた役目、任務という意味であり、中国語では“功能”“作用”“职责”“角色”などの言葉で対応する。

一方、「作用」は次のような場合に使われる。例を見てみよう。

○大豆の一種のクロマメは腎臓の働きを活発にする作用を持っている。(黑豆属大豆的一种，具有激活肾脏功能的作用。)

○治療の副作用で髪が抜けた。(由于治疗带来的副作用而导致头发脱落。)

○光化学スモッグは、大気汚染物質に太陽の紫外線が作用して起こるものである。(光化学烟尘是由太阳紫外线作用于大气污染物而产生的物质。)

○甘いものにはストレス解消作用がある。(甘甜物质具有消除精神压力的功效。)

○作物の発育には環境が大きく作用する。(环境会直接影响农作物的生长。)

上記の例の「作用」は、「他に影響を及ぼすこと、またその働き」という意味であるが、中国語では“作用”で対応することが多いが、“功效”“影响”で対応することもある。

以上のことをまとめると、「役割」は「割り当てられた役目、任務」を意味し、「他とのつながり」には焦点を当てない。「作用」は「他に影響を及ぼすこと。またその働き」という意味であり、常に「他とのつながり」に焦点を当

てる。これが両者の最大の違いであると言えよう。また「役割」は名詞、「作用」は名詞のみならず、サ変動詞としても使われる。

《详解日汉辞典》では、「作用」は、“作用”と解釈している。両者の意味的相違には全く触れていないため、この解釈に基づくと、中国人学習者は「作用」を誤用する可能性が大きい。

結語

本節では漢字圏学習者向けの日本語教育の視点から中国語の“儿童”“厨房”“关心”“价格”“便利”“学习”“散步”と日本語の「児童／子供」「厨房／台所」「関心／興味」「価格／値段」「便利／重宝」「学習／勉強」「散歩／散策」など 11 例について、日本語と中国語の漢字同形語の意味や使い方の相違、また日本語における「漢字類義語」の意味的相違にも力点を置いて考察した。

(1) 中国語の“儿童”と日本語の「児童」は、定められた年齢の範囲が若干異なるが、大体同じ意味を表すため、同形の漢字語で対応する場合が多い。ただし、中国語の“儿童”は日本語の「児童」イコール「小学生」のように使わない。小学校関係の規則や条例、カリキュラムなどでは“儿童”より“小学生”の方がよく用いられる。

日本語の「子供」は、「児童」と同じ意味を表す場合もあるが、社会経験や人生経験に乏しく、精神的に成熟していない若い人、動物の子、自分の息子・娘などの意味をも表すため、両者は大きく異なる。

(2) 中国語の“厨房”は家庭内の料理を作る場所だけでなく、レストランや飲食店などの調理場にも使われる。一方、日本語の「厨房」はレストランや飲食店などに設置される調理場という意味のみで、大きく異なる。「台所」は家庭内の料理を作る場所を指し、「厨房」とはかなり違う。

(3) 日本語の「行李」は、竹や柳などで編まれた葛籠であり、収納用の道具、

旅行用の荷物入れなどに用いられるが、現在日常生活ではあまり使われなくなっている。中国語の“行李”は収納用の道具や旅行用の荷物入れではなく、旅行や出張の際に携帯する荷物を指す。日本語の「荷物」は、送ったり運んだりする物、負担という意味を表し、「行李」とは大きく異なる。

(4) 日本語の「散歩」は「歴史散歩」「科学の散歩」のように、「軽い気持ちの探索」という意味の場合にも用いられるが、中国語の“散歩”にはその用い方はなく、“探访”“探索”“漫步”など他の言葉で対応する。また日本語の「散歩」は動詞として使われる場合、「家の近くを散歩する」「武蔵野で散歩する」のようによく【場所+を+散歩する】【場所+で+散歩する】という構文で使用する。これに対し中国語では“在家附近散步”“在武蔵野散步”のように【在+場所+散歩】という構文で対応する。

日本語の「散歩」はただ気の向くままにぶらぶら、のんびり回り歩くことを表す点において「散策」と同じである。「散歩」は気晴らしや健康維持のために、ぶらぶら歩く場合にも用いられる点は「散策」と異なる。また家の近所をゆっくり歩き回る意味を表す時は「散歩」を用いるが、かなり離れた場所をゆっくり歩く場合は、「散策」を用いることが多い。「散策」は人間以外には用いられないが、「散歩」は人間だけでなく犬など動物にも使われる。

(5) 中国語の“价格”と日本語の「価格」は同じ意味を表すが、中国語の“价格”は話し言葉と書き言葉の両方に用いられる点において、日本語の「価格」と少し異なる。日本語の「価格」は書き言葉、「値段」は話し言葉として用いられる。また「値段」が単独で用いられることが多いのと対照的に、「価格」は「市場価格」「価格変動表」「販売価格」のように、熟語の構成要素として別の言葉と組み合わせる場合によく使われる。さらに「値段を値切る」「値段が張る」など「値段」しか使えない言い方がある。また、丁寧語にするために「お」をつけて、「お値段」と言うが、「お価格」とは言わない。

(6)中国語の“关心”は“关心他”“她对我很关心的”“关心不够”のように、あれこれと気を配ること、優しく接すること、世話することを表す場合に使われるが、その場合、日本語では「関心」ではなく「心遣い」「気配り」「親切にする」「世話をする」などの表現で対応する。中国語の“关心”は“关心国家大事”のように動詞としての用法もあるが、“谢谢领导的关心”のように、名詞として使われる場合もある。それに対して、日本語の「関心」は主に名詞として使われ、「関心を持つ」「関心が高い」「関心がある」など慣用句として使われることが多い。「異性への関心」のように「人や物事に興味を持つこと」の意味を表す場合、日本語では「関心」を用いるが、中国語では“对异性的兴趣”のように“关心”ではなく“兴趣”で対応する。

日本語の「関心」と「興味」は、似たような意味を持つが、「関心」は物事に「面白み」がない場合でも、理性的な態度で知りたい場合によく使われ、「興味」は人にとって対象が面白いと感じられ、注意を払ったり知りたいと思う場合に用いられる。この点において両者は大きく異なる。また、日本語の「関心事」「関心度」「無関心」の「関心」は「興味」には置き換えられない。一方、「興味深深／興味津津」「興味本位」「興味半分」の「興味」も「関心」には置き換えられない。

(7)中国語の“便利”は、“便利居民”のように動詞として用いられる場合、日本語では「便利」ではなく「便宜を図る」と訳す。また、中国語の“便利店”は日本語の「コンビニ」で対応する。

日本語の「便利」と「重宝」は同じく「うまく役に立つさま」という意味を示す。しかし、「重宝」が「便利」と異なる点は、「買い物に重宝な町だ」「そこは電車を利用するのに重宝だ」などとは言わないことだ。「何かをするのに好都合」という意味がない。また、「重宝」は「そのソフトを重宝する」「これを重宝がる」のように、文法上「便利」にはない「～する」「～がる」という

形を用いることが多い。

(8) 中国語の“学习”と日本語の「学習」は「学校などで基礎的知識を学び習う」ことを表す点において共通している。しかし、“学习种地”“学习人家的长处”のように「学校以外の場所で見習うなど実践により何らかの技能を身に付ける」という意味を表す場合、中国語では“学习”を使うが、日本語では「学習」ではなく、「畑仕事を学ぶ」「他人の長所を学ぶ」のように、「学ぶ」または「見習う」などの言葉で対応する。また中国語の“学习”は日本語に比べて意味の幅が広い。日本語に訳す場合、「学習」だけではなく、“向他学习”は「彼に学ぶ」、「学习钢琴」は「ピアノを習う」、「学习不够」は「勉強不足」、「学习艺技」は「芸を見習う」など、「学ぶ」、「見習う」、「習う」、「勉強する」などで対応する。

日本語の「学習」は「知識や技能などを学ぶ」ことを意味する。「学習」は学校で学ぶことを指す場合によく用いられ、「学習者」「学習漢字」「学習指導要項」「学習の手引き」などがそれである。「勉強」は「学習」と同様、学校で学ぶことを表すが、学校以外の訓練センターなどでデザインや美容などの技能を学び、身につける場合にも用いることができ、「学習」よりかなり幅広く使われている。また日常会話では「もっと学習しなさい」より「もっと勉強しなさい」の方が、「学習がよくできる子だ」より「勉強がよくできる子だ」の方がよく用いられる。「学習」は「勉強」と比べて改まった場合に用いられる文章語である。

(9) 中国語の“病人”は「なんらかの病気にかかっている人」という意味を表すという点において、日本語の「病人」と共通している。しかし、“病人”は、病院で治療を受ける人を医者、看護師から言う場合、不健全な状態、ひどい状態に陥っている物事を喩える場合にも用いられる。「患者」は、病気にかかり、病院で世話になっている者を医者や看護師から言う場合に多く使われ、

中国語の“病人”と意味的に重なる部分もあるが、日本語の「病人」とはかなり異なる。

(10) 中国語の“准备”と日本語の「準備」は、意味も同じで、同形の漢字語で対応できる場合が多いが、“准备”は、「～するつもりだ」「～する用意がある」「望ましくない事態や結果などに備える」という意味をも表し、日本語の「準備」との違いがうかがえる。「準備」と「用意」は、前者は大きな事を長い時間をかけて着々と進めるという意味を表し、後者は比較的小さいことを表す場合に使われる。また「準備」は、ある事のために行う行為が終わったことが目に見える場合と見えない場合に使われるが、「用意」は目に見える場合にしか使われない。

(11) 中国語の“作用”と日本語の「作用」は、同じく他の物事に影響を与えるという意味を表す。“作用”は「役割を果たす」「働きをする」「効き目がある」という意味にも使われるが、「作用」には置き換えられない。日本語の「役割」と「作用」の最大の違いは、前者は「割り当てられた役目、任務」を意味し、「他とのつながり」には焦点を当てないが、後者は「他に影響を及ぼすこと。またその働き」という意味であり、常に「他とのつながり」に焦点を当てる。また「役割」は名詞、「作用」は名詞のみならず、サ変動詞としても使われる。

第2節 中国語と日本語の漢字類義語(反転語)の意味的相違

本節では中国語と日本語の漢字類義語(反転語)の意味的相違に関して解析する。

日本語には漢字の順序を逆にしても熟語になる漢字語が多い。「文人、人文」、「事故、故事」、「習慣、慣習」、「光荣、栄光」、「感情、情感」などがその例である。そのうち、「事情、情事」や「室内、内室」などは完全に意味が異なるが、「平和、和平」や「習慣、慣習」は意味的に近い。本節では本論文の延長線上の研究として「運命、命運」、「平和、和平」、「慣習、習慣」、「別離、離別」、「苦勞、勞苦」の5組の言葉を中心に、漢字の順序が逆さになる漢字語の意味的相違、また日本語と中国語における漢字同形語の意味的相違を考察することとする。

(1) 中国語の“命运”と日本語の「運命」「命運」の意味的相違

古代中国語では、“运命”と“命运”の両方が使われていた。しかし、現代中国語では、“命运”だけが用いられ、“运命”は使われなくなり、《现代汉语词典》『中日辞典 小学館』にも収録されていない。

一方、現代日本語では「運命」と「命運」は両方用いられている。それらがどのような意味を持ち、どのように用いられているのかを見てみよう。

○能力や人格がいかに優れていても、運のない政治家に国の運命を任せることはできない。(即使能力和人格再出色，也不能把国家的命运交给那些运道不佳的政治家。)

○そのような人物に国の命運を任せるのは、やはり危険である。(将国家的命运托付给那种人还是危险。)

上記の例のように、日本語では「国の運命」と「国の命運」のように、「運命」と「命運」の両方が使われる。「一族の運命／命運」「地球人類の運命／命運」「運命／命運を賭ける」「運命／命運を左右する」などがその例である。日常会話では「運命」の方が「命運」より使用頻度が高い。この二語は類義的關係をなす言葉であり、入れ替えて用いる場合もある。

「命運」と「運命」はいずれも「人間に幸福、不幸などをもたらす、人間の力を超えた作用」という意味を表している。「運命のいたずら」、「運命だとあきらめる」などの「運命」は人間の力や意志より強く、常に物事の成り行きを左右しているものを意味する。一方、「命運」は「国家の命運に関わる一大事」のように、人間の意志にコントロールされず、たとえ人々が努力してもどんな結果になるか分からない、その存続にかかわる重大な運命というニュアンスが含まれる。

また、「運命」と「命運」には下記のような相違点も見られる。

1、「運命には逆らえない」などのように、「運命」とは人間の力ではどうにもならない宿命という意味であるため、「～は運命だ」という形でよく用いられる。その例を見てみよう。

○人生はすべて運命だ。あれこれ思い悩んでもしょうがない。（人生一切都是宿命，即使忧这愁那的也无济于事。）

○自分の力で、なんとか乗り切るはずだ。もし乗り切れなければお終りだ。それも運命だよ。（凭借自己的力量定能设法度过难关，如果不能克服困难那就一切都完了，这也是命！）

○別にそれを不服にも思わず、運命だとあきらめていた。（我对此并没有感到不甘，已经认命。）

上記の例に用いられる「運命」は人間の力ではコントロールできない、吉凶を支配する神秘的な力や事柄という意味を表す。この場合の「運命」は中国語

では“宿命”“命”と訳す。

また、そのほか「運命」には転じて将来の成り行きという意味を表す用法もある。「運命がかかる」「運命を決める／賭する／迎える／変える／予言する／予知する／読み取る」などがその例である。その例を見てみよう。

○衛星タイタン計画は、専門家から見れば地球の運命がかかっている大プロジェクトだ。(卫星大力神计划在专家们看来是一项关系到地球命运的大工程。)

○罪人ではないと言うものの、そこでの返答次第によってはどういう運命となるか分からない。(虽说不是罪犯,但那种情况下如何回答将决定你的命运。)

○肥前佐賀藩のずばぬけた洋式軍事力が天下の運命を決め、佐賀藩の発言力を大ならしめるであろう。(肥前佐賀藩出眾的西式军事实力将决定天下的命运,极大地提高佐賀藩的发言权。)

上記の例の「運命がかかる」「運命となる」「運命をきめる」の「運命」は「将来の成り行き」という意味であり、中国語では“命运”のほかに、“前途”“未来的发展”などと訳すことも可能である。

一方、「命運」も「運命」と同じように将来の成り行きという意味を表すが、「差し迫った、存亡・存続にかかわる重大な運命」というニュアンスが含まれている点において「運命」とは少し異なる。「国の命運」「人類の命運」「社の命運」などのように使われるが、下記の例がそれである。

○王にとって、新しい宗教が入ってくることは自分の政治的命運に関わることを意味した。(在国王看来,新的宗教进入国门意味着它将关系到自己的政治前途。)

○一刻も早く我が国経済の再生を図ることこそが、政府が命運をかけて取り組むべき課題である。(只有尽快筹划重建我国的经济,才是政府应该赌上前途去应对的课题。)

○この成否があなたとあなたの会社の命運を左右すると言っても過言では

ない。（即使认为此次成败将左右你和你的公司的命运也不为过。）

上記の例の「命運」は中国語では“命运”“前途”などと訳す。

2、「運命」は【動詞連体形（体言＋の）＋運命にある】という形を持って、そのような成り行きになること、必然であることを表す。その例を見てみよう。

○この広大な宇宙そのものも滅びる運命にある。（这广袤的宇宙自身也必然会灭亡。）

○将来中国の産業から淘汰される運命にある。（将来必定会被中国的产业所淘汰。）

上記の例の「運命」は「必然的にそのような成り行きになる」という意味を表し、それを中国語では“必然”“必定”などに訳すことが多い。一方、「命運」にはその用法がない。

また、「運命」の前には修飾語を置くことができるが、「命運」の前には通常、修飾語を置かない。その例を見てみよう。

○厳しい寒さと無医地区の悲しい運命だが、疎開学童を襲ったのは飢えだけではなかった。（这是严寒和无医地区的悲惨命运，折磨疏散学童的不仅仅是饥饿。）

○やがて小池一家にも苛酷な運命がやって来る。（不久，残酷的命运降临到小池一家的头上。）

○だが、脱出は失敗しサマーはスパイとして処刑される運命が待っていた。（但是逃亡失败了，等待萨马的是作为间谍被处决的命运。）

上記の例文のように、「運命」の前に「悲しい」、「苛酷」、「処刑される」のような形容詞、形容動詞、動詞からなる修飾語が置かれるが、「命運」の前にはこのような修飾語は見られない。

3、「命運」は「存亡に関わり、重大な出来事」という意味から転じて、「命運が尽きる／絶える」の形を持って「寿命」という意味を表すこともできる。

その例を見てみよう。

○190年、彼は董卓が中原を乱しているのを知り、目をかけていた官吏たちに「漢の命運は絶えようとしている。今こそ君たちとともに王位を狙う時だ」と語った。（公元190年，他知悉董卓已在中原揭竿而起，便对关注此事的官吏们说：“汉朝气数已尽，现在正是我们夺取王位的时候。”）

○アジアから離れなければ日本の命運は尽きるんだ、ということを繰り返している。（他反复说，不脱离亚洲日本命数将尽。）

○葦崎に外敵に備えた城を築いた時、武田の命運も尽きていたのであろうと穰太郎は思った。（穰太郎认为，当他在葦崎修筑御敌之城时，武田的命数已尽。）

上記の例のように、「寿命」という意味を表す場合、日本語では「命運が尽きる／絶える」を用いるが、中国語では“命数已尽”“气数已绝”と訳す。「運命」にはこの用法はない。

「運命」「命運」は「国の運命」「国の命運」のように同じ意味として用いられる場合がある。「運命」は「運命がかかる」「運命を決める／賭する／迎える／変える／予言する／予知する／読み取る」のように「これからの行く末」の意が強い。一方、「命運」は「命運が尽きる／絶える」のようにこれまでの過程の意が強い。

『現代日漢例解詞典』は「運命＝命運」と解釈している。両者の微妙な違いに触れず、説明が不十分である。

現代中国語では“运命”は使われず、“命运”だけが用いられている。日本語の「運命」と「命運」を中国語に訳すと、いずれも“命运”になる。そのほかに“宿命”“命”“前途”“未来的发展”“命数”“气数”など多彩な訳語で対応する。

(2) 中国語の“和平”と日本語の「平和」「和平」の意味的相違

日本語では「平和」と「和平」の両方が用いられているが、如何なる意味的相違があるのか、下記の例を見てみよう。

○8日から11日までソ連政府の招待によりソ連を訪問し、ソ連との平和条約締結交渉及び外相間定期協議を行った。(8日至11日，应苏联政府的邀请访问了苏联，并举行了缔结日苏和平条约的谈判和外相定期磋商。)

○捕らえられた兵士たちはカイロに送られ、そこで和平条約にむけた交渉が行なわれ、十字軍側はダミエッタを手放さざるをえなくなった。(被俘士兵被送往开罗，并在当地举行了有关和平条约的谈判，十字军一方不得不放弃了达米埃塔。)

日本語では上記の例文のように、「条約」の場合、「和平条約」と「平和条約」の両方が用いられる。

一方で、「和平交渉」とは言うが、「平和交渉」とは言わない。このようなことから、両者の意味的相違を下記のようにまとめた。

1、「平和」と「和平」は争いなどがなくなった状態を表し、意味的に近いが、「平和」は「和平」より使用頻度が高い。「平和」は戦争や災害などがなく、不安なく生活できる穏やかな状態そのものを指すが、「和平」は国と国との間の紛争状態が終わり、平和な状態を取り戻すための仲直りや努力、または悪い状態から平和状態への変化をも表す。「平和」は日常用語であるが、「和平」は文章語で日常会話ではあまり用いられない。その違いを表す例を見てみよう。

例①. これより約200年間の時代は「ローマの平和」と呼ばれ、空前の繁栄と平和が続いた。(此后约200年的时代被称作“罗马和平期”，延续着空前的繁荣与和平。)

例②. 急速に変貌しつつも相互依存を深める国際社会の中で、我が国は平和と繁栄を享受している。(在急剧变化并且更加相互依存的国际社会中，我国正

享受着和平与繁荣。)

上記の例①と例②の「平和」はその当時、「ローマ」や「わが国」が呈していた「戦争がない穏やかな状態」を指しており、中国語では“和平”で対応する。下記の例を見てみよう。

○北ベトナムが「南」支配の野望をはっきり見せつけたのは、1973年1月27日のパリ和平議定書に調印したすぐ後のことである。(北越明显暴露出占领南部的野心，是在1973年1月27日签署巴黎和解议定书之后。)

○和平交渉の問題は改めて研究されるべき時にきている。(和平谈判的问题已经到了应该重新研究的时候了。)

上記の場合、国と国との関係で、「和平」は「平和な状態を取り戻すための努力」を指し、中国語では“和解”“议和”などで対応するのが適切である。

下記の用法における「平和」と「和平」の違いをしてみる。「○」は使うことを示し、「×」は使わないことを示す。

原子力の平和利用	○	原子力の和平利用	×
平和共存	○	和平共存	×
平和主義	○	和平主義	×
平和ボケ	○	和平ボケ	×
平和交渉	×	和平交渉	○
平和工作	×	和平工作	○
平和プロセス	×	和平プロセス	○

さらに、「平和」と「和平」は後続する動詞も異なっている。「平和」に続く動詞には「平和を願う／保つ、破る、築く、乱す」「平和が戻る／訪れる、宿る」「平和に慣れる／満ちる、なる」などがある。一方、「和平」に続く動詞は比較的になく、「和平を支持する／支える」「和平ができる」「和平に応じる／奔走する、尽力する」などがある。

日本語「平和共存」は中国語では“和平共存”、「平和主義」は“和平主义”と対応する。また、「和平」を中国語では“和解、议和”で対応する場合もある。「和平工作」を“和解工作”と訳するのがその例である。

2、日常生活に不安やもめごとなどがなく、穏やかで和やかな状態を示す場合、「平和」を使うが、「和平」は使わない。下記の例がそれである。

○平和で調和のとれた生活を彼は念頭に置いている。(平和协调的生活始终在他的脑海里。)

○恋愛だとか欲情というパターンはほとんどなくて、まずまず平和で退屈な高校時代だった。(几乎没有什么恋爱和情欲，总之是一段平和但无聊的高中时期。)

○生活のレベルは低くても、心の平和は保たれていた。(虽然生活水平很低，但内心的平和得以保持。)

○われわれ家族は生活に何の不安もなく、平和に毎日を過ごすことができたからである。(因为我们一家在生活上没有任何的担心，能够太平地度过每一天。)

上記の「平和」は中国語で“和平”(日本語と同形語)か、“和睦、平安、太平”などと訳すことが多い。

3、状態を表す「平和」は形容動詞として「平和な」「平和に」「平和そうな」という形で用いられるが、平和な状態を実現するための仲直りや平和な状態への変化を表す「和平」は名詞であるため、「～な」「～に」という形が取れず、「和平の～」、「和平が」などの形で用いられることが多い。下記の例がそれである。

○静かな眼、平和な心、そのほかに何の宝が世にあらう。(宁静的眼神，平和的内心，这世上还有什么其他的宝贝吗?)

○一見平和そうな家庭にも、実にさまざまな問題があることも、よくわかる。(我们深深体会到，乍一看似乎非常和睦的家庭里也存在着各类问题。)

○婦人は、実際の年齢よりずっと若く見え、結婚生活は平和に続けられた。

(那女士看上去要比实际年龄年轻许多，婚姻生活始终很和睦。)

○和平合意が調印され、和平の達成に向け大きな前進が見られた。(签署和解协议后，在实现和解方面有了很大的进展。)

○和平が保証されていても、人間の心理は複雑である。(虽然和平有了保证，但人们的情绪还是很复杂。)

上記の例のように、「平和」は形容動詞であり、「和平」は名詞である。その違いによって、両者の使い方が異なってくる。

以上のことから分かるように、日本語の「平和」を中国語に訳す場合、“和平”と“平和”で対応することができるが、「和平」を訳す場合は、“和平”のほかにも“议和”“和解”などで対応することが多い。

(3) 中国語の“习惯”と日本語の「習慣」「慣習」の意味的相違

漢字“惯”は《说文・辵部》では“遺，习也”と、また《玉篇・心部》でも“惯，习也”と解釈される。昔、“惯”と“习”は同じ意味を持つ漢字であり、それを並列して作られた“习惯”という語は「長期にわたって身に付けた、変わらない習性や癖」「新しい状況に徐々に慣れる」という意味を表していた。

《现代汉语词典》には、現代中国語では“习惯”は上述した意味をそのまま受け継ぎ、日常的によく使われている、とある。

“惯习”も古代中国語で使われていたが、現代中国語では使われなくなり、《现代汉语词典》『中日辞典 小学館』には収録されていない。

一方、日本語の「習慣」と「慣習」は両方用いられているが、その主たる相違は下記のようにまとめられる。

1、「ある国や地域におけるならわし」という意味を示す場合、「習慣」と「慣習」はどちらでも使われるが、「習慣」より「慣習」の方が文章語的である。

まず「習慣」の用例を下記に挙げる。

○日本人は海外旅行に不慣れであり、受入れ国の風俗、習慣、マナー等について十分熟知していない。(日本人不熟悉海外旅行，对接纳国的风俗、习惯、礼节所知甚少。)

○鎖国が終わり、明治になって西洋から靴を履く習慣が入ってきた。(锁国时代告一段落，进入明治时期穿鞋的习惯由西方传入。)

○内容は日本の習慣に従った普通の雇用契約で、雇用期間は二年となっていた。(内容是按日本的习惯做法制定的普通雇佣合同，雇佣期为两年。)

次に「慣習」の例を見てみよう。

○「海洋は自由である」とする考え方は、長い間海洋における国際慣習であった。(“海洋是自由的”这一观念，长期以来都是海洋上的国际惯例。)

○中国人は漢字をどう発音するかはその地域の慣習に任せ、漢字でどう表記するかをこそ重視するのです。(中国人很重视汉字的写法，至于汉字的读法则尊重当地的习惯。)

○日本式の氏名というものは江戸時代の日本の慣習ではなく、政府役人の頭の中で考えられたものである。(日式姓名并非是江户时期日本的习俗，它是政府官员思考的产物。)

日本語では「日本の習慣」の方が「日本の慣習」よりよく使われる。また「商慣習」「国際慣習」「地域慣習」のように「～慣習」がよく用いられる。「習慣」は伝統的習慣の意が強く、一方、「慣習」は地域、業界などのルール・習慣を指すことが多い。

下記のように「習慣」と「慣習」は同じ意味として用いられる場合も多い。

土地の習慣を重んじる ○ 土地の慣習を重んじる ○

日本の習慣を知る ○ 日本の慣習を知る ○

長年の習慣を守る ○ 長年の慣習を守る ○

同じ習慣がある ○ 同じ慣習がある ○

2、「個人におけるならわし」という意味を示す場合は「習慣」を使い、「慣習」は使わない。その例を見てみよう。

○私は週 2、3 冊ペースで主にフィクション小説を読む習慣があり、これはアメリカへ行ってもやめられそうにありません。(我有阅读的习惯，以虚拟小说为主，每周 2 至 3 册，即使去了美国也没有放弃。)

○これは考えることに疲れたときの佳奈子の習慣だった。(这是佳奈子疲于思考时的习惯。)

○それをみて、本当に恐ろしくなり、自分の子どもは絶対に早寝の習慣が身に付くように育てようと思った。(她看到这种情形非常害怕，心想绝对要让自己的孩子养成早睡的习惯。)

上記の例文に用いられた「習慣」はそれを持つ主体が「私」、「佳奈子」、「自分の子ども」と個人であり、また個人が繰り返して行い、努力によって身に付いたり、直したりできるものである。「慣習」は社会的に決まっているものを指し、下記の例における「習慣」を「慣習」に置き換えることはできない。

早起きの習慣をつける ○ 早起きの慣習をつける ×

予習や復習をする習慣 ○ 予習や復習をする慣習 ×

頭を働かす習慣 ○ 頭を働かす慣習 ×

「習慣」には良いものと悪いものがある。日本語では「読書の習慣」、「早寝の習慣」、「考える習慣」など良い習慣を表す場合、「毎日 2 時間ぐらい散歩するのが習慣だ」のように、わざわざ「良い」はつけない傾向が見られる。しかし、悪い場合は、「だらだらと食べる悪い習慣をつける」ように、「悪い」を「習慣」に前置して表現することが多い。

3、「習慣」は「食」、「生活」、「風俗」などの漢語と組み合わせて「生活習慣」や「風俗習慣」といった複合語が作られ、「慣習」は「法」や「商」などの漢

語と組み合わせて「商慣習」や「慣習法」のような複合語が作られる。

「習慣」は個人や民族、社会のルールなどを幅広く使うが、「慣習」は規定されたあるいは一般に受け入れられたしきたり、規範、社会的規範、集団や社会のルールというイメージが強い。

下記の例を見てみよう。

○家庭では共働きによる食習慣の変化も顕著になってきた。(在家庭中因双职工导致的饮食习惯的变化也很显著。)

○新興の階層がより上位の階層の風俗習慣を模倣するという現象は古くから見られる。(新兴阶层模仿更高阶层的风俗习惯这一现象自古就有。)

○都会ではなく田舎から生まれた封建社会の慣習法よりもローマ法の方が商人にとってはずっと都合がよいのである。(与产生于乡村而非城市的封建社会的不成文法相比，对商人来说罗马法更加合适。)

○「正常な商慣習」とは、正常な競争秩序の維持・促進の立場からは是認される商慣習をいう。(所谓“正常的商业惯例”，是指从维持促进正常的竞争秩序的立场受到认可的商业惯例。)

以上のように、「習慣」と「慣習」は漢語語基として他の語と組み合わせて使われることが多い。

日本語の「習慣」は通常、中国語では“习惯”と訳されるが、「慣習」は“习惯”のほかに、“习俗”“惯例”などにも訳される。

また、日本語の「習慣」と「慣習」はいずれも名詞として用いられるが、中国語の“习惯”は名詞のほかに動詞としても使われる。“这两个民族从前一直习惯用汉字来记录自己的语言”（この二つの民族は昔からずっと漢字で自らの言葉を記すのに慣れていた)のような動詞の用法は日本語の「習慣」と「慣習」には見られない。この場合の“习惯”を日本語では「～に慣れる」という表現で対応するのが適切である。

(4) 中国語の“离别”と日本語の「別離」「離別」の意味的相違

現代中国語では、“离别”と“别离”は、両方とも「長らく親しんだ人と別れ、親しんだ場所を離れる」という意味を表し、日常的によく用いられる。

一方、日本語においても「離別」と「別離」は使われており、その主たる相違には下記のような点が挙げられる。

1、愛する人、親しい人と別れるという意味を表す。この場合、「別離」も「離別」も使われる。その例を見てみよう。

○『晩春』は戦後の家族の別離や崩壊をテーマにした作品である。(《晩春》是一部以战后家人离别、失散为主题的作品。)

○まことに非情というか、あつけない父と娘の別離であった。(他们父女的离别实在是无情、或者说是过于简单了。)

○求職者の 41.3%が、就職できずに恋人と離別したことが調査で分かった。(通过此次调查得知，41.3%的求职者由于找不到工作导致与恋人分手。)

○私が中学の時に親が離婚し実父と離別した。(在我上初中时，由于父母离婚，我离开了生父。)

上記の例文のように、家族や恋人や友人との別れを言う場合、「別離」と「離別」の両方が使われるが、「離別」の方が「別離」より使用頻度が高い。中国語では“离别”“分手”“离开”で対応する。

2、「別離」と「離別」は「別れる対象」が「人」だけではなく、「物」である場合にも用いられる。下記の例がそれである。

○死の恐怖は、死にいたる苦しみ、周囲の人や物との別離の苦しみ、そして、自己が消滅するというおそれであろう。(对死亡的恐惧也许就是临死的痛苦、与周围的人和物分离的痛苦、以及自身行将消亡的畏惧吧。)

○民主党は国民新党と離別した方がよかったと思う。(民主党为脱离国民新党而庆幸。)

○アジアの「醜」から離別することの正当性を説く「脱亜論」を経過し、さらに「欧化亜侵」に至った。(从论说摆脱亚洲之“丑”正当性的“脱亚论”，发展到“欧化侵亚”。)

上記の例文における「周囲の物」、「国民新党」、「アジアの『醜』」はいずれも「人」ではなく、「物事」である。「別離」と「離別」に関する『新明解 国語辞典』の語釈は「人と分かれる」の意はあるが、「物事と別れる」の意がないため、説明不足であると言える。この意味を表す「別離」と「離別」は、通常中国語の“分离”“摆脱”“脱离”で対応する。

3、「離別」が「夫婦の関係を断つこと。離婚」の意味を表すのに対して、「別離」にはその意味がない。

○彼が早智子と離別するのは、一九四〇年のことである。(他与早智子离婚是在1940年。)

○あとに引かないのを見ると、文次郎とすれば心を鬼にしても妻を離別するほかなかった。(见对方如此固执，作为文次郎也只能狠下心来休了妻子。)

上記二つの例文に用いられる「離別」は「離婚」という意味である。この意味を示す場合、「離別」は【N+を離別する】と【N+と離別する】という2通りの形を使うことが多い。前者は婚姻者のどちらかの一方が主導的にそれを行うというニュアンスであり、中国語では“休妻(夫)”と言うが、後者は婚姻者双方が双方、納得のうえ離婚するというニュアンスであり、中国語では“与妻子(丈夫)离婚”と言う。また、「お父さんが死んだ、お母さんが死んだ」というような死による夫婦の別離は、不可抗力である」とも言うが、文中の「夫婦の別離」は「婚姻関係を断つ」ではなく、「二人が物理的に別れて会えなくなる、死別」という意味である。

4、「別離」は名詞として使われることが多いが、「離別」は名詞としてもサ変動詞としても用いられる。

○夫や恋人が戦場に赴くとき、その戦旅の安全を祈って、別離の涙をこの小壺に封じ込め、無事に帰還する日を願ったという。(据说她们会在丈夫、恋人开赴战场时祈祷部队平安，并将离别的眼泪封入小壶，祝愿他们平安归来的日子到来。)

○京都の料亭で別離の宴を催した。(在京都的高级饭庄举办了送别宴会。)

○離別の日はいともあっさりと過ぎて行った。(離別の日悄无声气地就过去了。)

○十四歳でかなり年長の軍人と結婚させられ、六年後に夫と離別したときには三人の子持ちだった。(14岁时与一个年长许多的军人结了婚，当6年后与丈夫离婚时，她已是3个孩子的母亲了。)

上記の例文のように、「別離」は名詞として「別離の涙」、「別離の脅し」などの形で用いられるが、「離別」は名詞、サ変動詞として「離別の日」、「夫と離別した」のように使われることが多い。

現代中国語の“离别”と“别离”は古代中国語と同じ意味で使われてきたが、日本語の「別離」と「離別」は意味が異なり、特に「離別」には「離婚」という語義が生まれている。

「愛する人、親しい人と別れる」意を表す場合の「離別」と「別離」は、中国語の“离别”と“别离”で対応することができるが、「別れる対象」が「人」ではなく、「物」である場合の「離別」と「別離」は、「国民新党と離別する」(脱离／离开国民新党)、「周囲の物との別離」(与周围事物的分离)のように、“脱离”“离开”“分离”などで対応することが多い。また、「離婚」という意味を表す「離別」は、“离婚”で対応する。

また、“离别母校”“别离家乡”のように、中国語の“离别”と“别离”は「親しんだ場所を離れる」意味を示し、動詞として使われるが、この場合日本語では「別離」や「離別」ではなく、「母校を離れる」「故郷を離れる」のように「～

を離れる」という表現で対応する。

(5) 中国語の“劳苦”と日本語の「苦劳」「劳苦」の意味的相違

中国語の“劳苦”は、専ら「勤勉、骨が折れる」という意味を表す場合に用いられる。“苦劳”は、「ある仕事のために苦劳した、何らかの貢献をした」という意味を表し、“功劳”の対語としてよく用いられる。“没有功劳，也有苦劳”（「功劳」はないながらもそれなりの「苦劳」はしてきている）がその例である。

日本語にも「苦劳」と「劳苦」があるが、その主たる相違には下記のような点が挙げられる。

1、「苦劳」と「劳苦」は同様にあれこれと骨を折ったり苦しい思いをしたりすることを表す。しかし、「苦劳」は肉体的な場合と精神的な場合にも使われるのに対し、「劳苦」はわずらわしさや气苦劳といった精神面におけるものより、体の「劳」の方に重点が置かれる。

○苦劳を重ねた末に、戦後、会社を興し、二、三十人の従業員を抱えるまでになった。（他历经辛苦，战后开了一家公司，雇佣了二、三十名员工。）

○今の苦劳が報われる時は必ず来る。（现在的辛苦一定会获得回报。）

○日頃の苦劳に報いるために、暮れのボーナスを弾んだ。（为酬谢员工们平时的辛勤工作支付了很多年终奖。）

○市町村は条例に基づきこれらの消防団員に対し、その劳苦に報いるための報酬及び出勤した場合の費用弁償としての出勤手当を支給する。（市町村将按照条例向这些消防队员发放出动津贴，作为奖励他们辛苦工作的报酬及出动时的费用赔偿。）

日本語では「苦劳」は日常적으로よく用いられ、仕事そのものの骨折りだけでなく、精神的な悩みや心配なども含まれる。「劳苦」は文章語であり、体の「劳」

の方に重点が置かれ、「苦勞」と類義的關係をなす言葉である。

「苦勞／勞苦に報いる」のように両方使われる場合がある。ほかにも「苦勞／勞苦を重ねる」「苦勞／勞苦をいとわず」「苦勞／勞苦を共にする」などがその例である。しかし、「大変苦勞した」「苦勞をかける」とは言うが、「大変勞苦した」「勞苦をかける」とは言わない。

2、「苦勞」は名詞、形容動詞、自サ変という品詞性を持っているが、「勞苦」は名詞としての働きしかない。

○日本の首相に比べ膨大な権限を持つといわれるアメリカの大統領でさえも、難しい法案のときは議会運営で相当苦勞する。（与日本首相相比，即使是被认为拥有巨大权限的美国总统，如果是困难的法案，在议会运作上也会相当头疼。）

○苦勞なことではあるが良かったね、と思う。（我想，虽然很艰辛，但还算幸运。）

○こうして苦勞を重ねてきた母のからだは、もう見るのもつらいほどになっていた。（母亲如此饱受辛苦，她的身体令我不忍目睹。）

「苦勞」と「勞苦」は品詞性が異なるため、文における使い方は大きく違う。「苦勞」は上記の文において述語、連体修飾語及び対象語として用いられ、中国語では“头疼”“辛苦”“艰辛”と訳すことが多い。一方、「勞苦」にはそのような用法はない。その例を見てみよう。

○輪廻から解脱するには、たいへんな勞苦がいる。（要从轮回中解脱出来，必须作出极大的努力。）

○三十年の歳月を経て、父子の、そしてご家族全員の勞苦は報われたといえよう。（经历了30年的岁月，可以说父子及全家人的辛勤工作得到了回报。）

○この機会に本委員会は、あらためて、三十年前、日ソ国交回復のために先人の払った勞苦を想起し、これに敬意を表する。（值此机会，本委员会重新回

顾 30 年前前人为恢复日苏邦交而付出的努力，并对此表示敬意。）

上記の例で分かるように、「劳苦」は名詞であるため、文においては述語、連体修飾語としては用いられず、中国語では“辛勤工作”“辛苦”“努力”などと訳すことが多い。

3、「苦劳」は「ご苦劳」「ご苦劳さま（さん）」の形で挨拶の言葉として相手の手間や努力をねぎらう場合にもよく用いられる。その例を見てみよう。

○「みんな、ご苦劳。あらためて維新体制に乾杯だ。」（“各位辛苦了！让我们再一次为维新体制干杯！”）

○このときまでわたしは「ご苦劳さまでした」が、目上の方が目下の人をねぎらうことばだとは、知らなかった。（此前我一直都不知道“辛苦了！”是上司犒劳部下说的话。）

上記のような場合に用いられる「苦劳」の意味や用法は「劳苦」にはない。またほかに「一苦劳」「気苦劳」「苦劳人」「苦劳性」「取り越し苦劳」のように、「苦劳」を伴う慣用表現は多いが、「劳苦」にはそれがない。

○自費の旅とは違って、雑事にまわす気苦劳はかなり減っていた。（与自费旅行不同的是操心于杂事的情况大大减少。）

○桑畑さんは苦劳人だ。いろいろな仕事をしながら絵を学び続けた。（桑田是个饱经风霜的人，他做过很多不同的工作，同时还一直在学习画画。）

これらの言葉のうち、「気苦劳」（操心、劳神）、「苦劳性」（因为小事而担心的性格）の「苦劳」は何かのために心配するという意味を表す。これもまた「劳苦」には見られない用法である。

現代中国語では“苦劳”と“劳苦”は、“不辞劳苦”“劳苦功高”“劳苦大众”のように熟語で使われるほか、“没有功劳，也有苦劳”のように“功劳”の対句として用いられるが、日本語の「苦劳」は使用頻度が高い。

また、日本語の「苦劳」「劳苦」が、中国語に訳される場合、“苦劳”と“劳”

苦”ではなく、“辛勤工作”“努力”“辛苦”“艰辛”“头疼”など多彩な言葉で対応することが多い。

結語

本節では中国語と日本語の漢字類義語（反転語）の意味的相違について解析した。

日本語には漢字の順序が逆になる漢字語が多く、「文人、人文」、「事故、故事」、「習慣、慣習」、「光荣、荣光」、「感情、情感」などがその例である。そのうち、「事情、情事」や「室内、内室」などは完全に意味が異なるが、「平和、和平」や「習慣、慣習」は意味的に近い。本節では「運命、命運」、「平和、和平」、「慣習、習慣」、「別離、離別」、「苦勞、勞苦」の5組の言葉を中心に、漢字の順序が逆さになる漢字語の意味的相違、また日本語と中国語における漢字同形語の意味的相違について考察した。

(1)日本語の「運命」と「命運」は「国の運命」「国の命運」のように同じ意味として用いられる場合がある。「運命」は「運命がかかる」「運命を決める/賭する/迎える/変える/予言する/予知する/読み取る」のように「これからの行く末」を強調する。一方、「命運」は「命運が尽きる/絶える」のようにこれまでの過程を強調する。また「運命」の前に「悲しい」、「苛酷」、「処刑される」のような形容詞、形容動詞、動詞からなる修飾語が置かれるが、「命運」の前には修飾語は置かない。さらに「命運」は「存亡・存続に関わる重大な運命・出来事」という意味から転じて、「命運が尽きる/絶える」の形を持って「寿命」という意味を表すこともできるが、「運命」はその場合には用いられない。

現代中国語では“运命”を使わず、“命运”だけを用いる。日本語の「運命」と「命運」を中国語に訳すと、いずれも中国語の“命运”になる。そのほか“宿

命” “命” “前途” “命数” “气数” などと訳す場合もある。

(2) 日本語の「平和」と「和平」はいずれも争いなどがなくなった状態を表し、意味的にも近いが、「平和」が日常語であるのに対し、「和平」は文章語で日常会話ではあまり用いられないという違いがある。また日常生活に不安やもめごとなどがなく、穏やかで和やかな状態を示す場合、「平和」は使うが、「和平」は使わない。「和平」は専ら国と国の関係を表す場合に使われるが、「平和」は心の状態を表す場合によく使われる。さらに「平和」は形容動詞として「平和な」「平和に」「平和そうな」という形で用いられるが、平和な状態を実現するための仲直りや平和な状態への変化を表す「和平」は名詞であるため、「～な」「～に」という形が取れず、「和平の～」、「和平が」などの形で用いられることが多い。

日本語の「平和」を中国語に訳す場合、「和平」と「平和」で対応することができるが、「和平」を訳す場合は、「和平」のほかに“议和”“和解”などで対応することが多い。

(3) 「習慣」と「慣習」は「ある国や地域におけるならわし」という意味を示す場合に使われるが、「習慣」より「慣習」の方が文章語的である。「習慣」は伝統的習慣を表す場合に用いられ、「慣習」は地域、業界などのルール・習慣を指すことが多く、「商慣習」「国際慣習」「地域慣習」のように「～慣習」がよく用いられるという特徴がある。また日本語では「小説を読む習慣」「彼の習慣」のように、「個人におけるならわし」という意味を示す場合、「習慣」を使うのに対し、「慣習」は社会的に決まっているものだけを指すため、そのような場合には使わない。さらに「習慣」は「食」、「生活」、「風俗」などの漢語と組み合わせて「食生活」「生活習慣」「風俗習慣」のような複合語を作ることができるが、「慣習」は「法」や「商」などの漢語と組み合わせて「商慣習」や「慣習法」のような複合語となる。

現在、中国語では“习惯”がよく使われ、“惯习”は使われなくなっている。日本語の「習慣」は通常、中国語では“习惯”と訳されるが、「惯習」は“习惯”のほかに、“习俗”“惯例”などの語にも訳される。また日本語の「習慣」と「惯習」はいずれも名詞としてのみ用いられるが、中国語の“习惯”は名詞のほかに、日本語の「習慣」と「惯習」には見られない動詞としての用法もあり、この場合“习惯”を日本語では「～に慣れる」という表現で対応するのが適切である。

「習慣」は個人や民族、社会のルールなどに幅広く使うが、「惯習」は規定されたあるいは一般に受け入れられたしきたり、規範、社会的規範、集団や社会のルールというイメージが強い。

(4)「愛する人、親しい人と別れる」という意味を表す場合、「別離」と「離別」の両方が使われるが、「離別」の方が「別離」よりも使用頻度が高い。「離別」は「夫婦の関係を断つこと。離婚」という意味を表すのに対して、「別離」にはその意味がない。この意味を示す場合、「離別」は【N＋を離別する】と【N＋と離別する】という二通りの形を使うが、前者は婚姻者のどちらかの一方が主導的にそれを行うことを表し、中国語では“休妻（夫）”と言い、後者は婚姻者双方が納得のうえ離婚するという意味を表し、中国語では“与妻子（丈夫）离婚”と言う。「別離」は「別離の言葉」「別離の涙」など、別れの瞬間そのものが焦点となり感傷的な雰囲気が生じる。これに対して「離別」は離婚など二人が別れて別々に生活をするというところに重きが置かれる。「別離」は名詞として「別離の涙」、「別離の脅し」などの形で用いられるが、「離別」は名詞、サ変動詞として「離別の日」、「夫と離別した」のように使われることが多い。

「愛する人、親しい人と別れる」意を表す「離別」と「別離」を訳す場合、中国語では“离別”と“别离”で対応することができるが、「離婚」という意

味を表す「離別」は“離婚”で対応する。また「別れる対象」が「人」ではなく、「物」である場合の「離別」と「別離」は、「国民新党と離別する」（离开国民新党）、「周囲の物との別離」（与周围事物的脱离）のように、“离开”“脱离”などで対応することが多い。“离别母校”“别离了家乡”のように、中国語の“离别”と“别离”は「親しんだ場所を離れる」という意味を示し、動詞として使われるが、この場合日本語では「別離」と「離別」ではなく、「～を離れる」という表現で対応する。

(5) 日本語の「苦勞」と「勞苦」はいずれもあれこれと骨を折ったり苦しい思いをしたりすることを表す。「苦勞」は肉体的な場合にも精神的な場合にも同じように使われるが、「勞苦」はわずらわしさや氣苦勞といった精神面におけるものより、体の「勞」の方に重点が置かれる。「苦勞」は日常的によく用いられ、「勞苦」は文章語である。また「苦勞」は名詞、形容動詞、自サ変という品詞性を持っているが、「勞苦」は名詞の働きしかない。「苦勞」は文中で述語、修飾語及び対象語として用いられ、「勞苦」は文中で主語や対象語として用いられる。さらに「苦勞」は「ご苦勞」や「ご苦勞さま（さん）」の形で挨拶の言葉として相手の手間や努力をねぎらう場合によく用いられる。このほかに「一苦勞」「氣苦勞」「苦勞人」「苦勞性」「取り越し苦勞」のような「苦勞」を伴う慣用表現は多いが、「勞苦」には見られない。

現代中国語では、“勞苦”は「勤勉、骨が折れる」、 “苦勞”は「ある仕事のために苦勞した、何らかの貢献をした」という意味を表す。二語とも“不辭勞苦”（苦勞を辞さない）、“勞苦功高”（苦勞を重ね、功績を挙げる）、“勞苦大衆”（勤勞大衆）のように熟語で使われるほか、“没有功勞，也有苦勞”（功績がなくても、苦勞はちゃんとしてきた）のように“功勞”の対句として用いられる。日本語の「苦勞」と「勞苦」は中国語に訳される場合、“苦勞”と“勞苦”ではなく、“辛勤工作”“努力”“辛苦”“艰辛”“头疼”などで対応する。

注と参考文献

- (1) 山口明穂……和田利政・池田和臣編 『国語辞典 旺文社』(第11版) 旺文社 2013年10月
- (2) 林巨樹主編『現代日漢例解詞典』 外语教学与研究出版社 2010年5月
- (3) 吴侃ほか主編《新编日汉词典》(修订本) 吉林大学出版社 2012年3月

終章

本論文は漢字圏学習者向けの日本語教育の視点から、日本語と中国語における漢字同形異義語の意味的相違について考察したものである。

漢字同形異義語を「意味が多少異なる漢字同形語パターン」、「意味が相当或いは完全に異なる漢字同形語パターン」と二分類し、さらにこれらの漢字同形語の意味や使い方の考察を通して『日中辞書』『中日辞書』の辞書的解釈の問題点についても考察した。

本論文のもう一つの特色は16視点を設けたことだ。(1) 比喩的表現、派生的用法(意味拡張)の有無による両言語の使い方の相違、(2) 同じ表現でも指し示す範囲の異なりによる両言語の意味的相違、(3) 人を表すかモノを表すかによる両言語の意味的相違、(4) 人間と物事の両方に用いられるか否かによる両言語の意味的相違、(5) 広く人間を指すのか、それとも特定の人間を指すのかによる相違、(6) 人間の内心世界を表すのか、それとも人間の表情など外観を表すのかによる相違、(7) 道徳、品格にかかわることを表す場合に用いられるか否かによる両言語の意味的相違、(8) プラス評価に用いられるかマイナス評価に用いられるかによる相違、(9) 動詞、形容詞、名詞、副詞としての働きがあるか否かによる両言語の使い方の相違(動詞として用いられるのか、動詞を修飾できるのかなど)、(10) 動詞として用いられるが対象となる目的語が異なることによる相違、(11) 共起する語が同じか否かによる両言語の相違、(12) 固有名詞、熟語として使われるか否かによる両言語の使い方の相違、(13) 流行語か否かによる両言語の使用頻度の高低や造語力の強弱の相違、(14) 話し言葉なのか書き言葉なのかによる両言語の相違、(15) 中国語・日本語それぞれにおける慣習的な表現の使い方の相違、(16) 複合語があるか否かによる両言語の相違、の16視点から漢字同形異義語について考察した。

本論文は序章、終章を含め、八つの章から構成されている。

第1章では「第1パターン」(字形は同じだが、意味が多少異なる漢字語)における中国語と日本語の漢字同形語の意味的相違について考察した。「第1パターン」の下位分類として、「第1類」(中国語と日本語で意味領域が重なる部分があると同時にそれぞれ異なる部分も見られる)、「第2類」(日本語の方が中国語より意味幅が広い場合)、「第3類」(中国語の方が日本語より意味幅が広い場合)、「第4類」(日本語と中国語の意味はほぼ同じであるが、品詞や動作の主体などが異なるもの)の4つを設けた。本章では16視点から「清潔」「衛生」「接触」「緊張」を中心にその意味的相違について考察した。

第1節では、中国語の“清洁”と日本語の「清潔」の意味的相違を考察した。

(1) 動詞、形容詞、名詞、副詞としての働きがあるか否かによる両言語の用い方の相違について、日本語では「清潔に保つ」のように「清潔」は動詞を修飾することができるが、中国語の“清洁”はできない。が、中国語の“清洁”は動詞として用いられるが、日本語の「清潔」は用いられない。(2) 複合語があるか否かによる両言語の相違について、“清洁工人”(清掃員)のように中国語の複合語は職業を表し、この用法は日本語には見られない。“清洁剂”“清洁袋”“清洁工作”なども同じである。(3) 比喩的表現、派生的用法(意味拡張)の有無による両言語の用い方の相違について、日本語の「清潔」は中国語の“清洁”より意味領域が広い。日本語の「清潔感」は中国語には見られず、“纯洁”“清纯”“干净利落”“仪容整洁”“干净卫生”などと訳されることが多い。(4) 道徳、品格にかかわることを表す場合に用いられるか否かによる両言語の意味的相違について、人間の道徳にかかわる「清潔な選挙」「清潔な政治家」などは中国語には見られない表現で、中国語では“公正透明”“清廉”などと訳されることが多い。また人柄や品行に不正が感じられず、清らかな状態という抽象的な意味を表す場合、日本語では「清潔」が用いられるが、中国語では“清洁”ではなく、“清廉”“高尚”などで対応する。中国語の“清洁”は抽象的なこと

には使わない。現代中国語の“清潔”は古代中国語より意味領域が小さくなり、物事の状態を表す場合にだけ用いられるようになっている。日本語の「清潔」は中国語の“清潔”より意味領域が広く、中国語には見られない意味を持っている。(5)話し言葉か書き言葉かによる両言語の相違について、中国語の“清潔”は書き言葉にも話し言葉にも使われるが、日本語の「清潔」は話し言葉より書き言葉としてよく用いられる。(6)物事の状態を表す場合に、中国語の“清潔”と日本語の「清潔」の用法は同じである。が、衣服、生活用品に汚れがなくきれいな状態を言う場合、日本語では「清潔」が使われるが、中国語では“清潔”より“干净”で対応する。(7)中国語の“清潔”と“卫生”も置き換えて使われることがある。その使い分けを下記に示す。

“清潔”と“卫生”の使い分け

清 洁	卫 生
汚れがなくきれいである。	菌がなく健康によい。
人の命にかかわらない。	人の命にかかわる。
目に見える状態である。	目に見えない状態である。
法によって決められない。	法によって決められる。

上の表で示されるように、“清潔”は汚れがなくきれいであるという意味を表すが、“卫生”は菌がなく健康によいという意味を表す。“卫生”は“卫”と“生”を組み合わせて作られた語であり、古代中国語では「命を守る」という意味を表していた。現代中国語にはその意味はなくなっているが、健康や飲食など人間の命にかかわる場合、“清潔”でなく“卫生”がよく使われるのは古代中国語と関係する。簡単な治療を行う場を“卫生所(院)”と言い、“清洁所”と言わないのもそのためである。また“清洁”かどうかは目に見えるが、“卫生”かどうかは目に見えない。さらに“清洁”は法律などによって決められないが、“食品卫生法”のように“卫生”は法律上決められる。(8)辞書的解釈の

問題について、『中日辞典 講談社』では、中国語の“清潔”は、「形」清潔である。きれいである」と解釈している。“清潔”は形容詞だけでなく、名詞・動詞としても使われるため、上記の語釈は明らかに間違っている。また「清潔である、きれいである」という語釈だけでは“清潔”がどんな場合に用いられるか、日本語の「清潔」と意味や用法がどのように異なるのかが分からない。《详解日汉辞典》では日本語の「清潔」は、“清洁”“干净”“清秀”“清廉”“廉洁”と解釈している。が、中国語の“清洁”と日本語の「清潔」の品詞のずれによる使い方の違いには一切触れていない。

第2節では、中国語の“卫生”と日本語の「衛生」の意味的相違を考察した。

(1)動詞、形容詞、名詞、副詞としての働きがあるか否かによる両言語の用い方の相違について、中国語の“卫生”は名詞で、形容詞でもあるため直接名詞を修飾することができる。また“卫生”は副詞“很”“非常”“不太”などに修飾される場合もある。が、動詞を修飾することはできない。中国語の“卫生”と対照的に、日本語の「衛生」は形容詞でないため、「衛生」に「的」を後続させ、「衛生的な」の形で名詞を、「衛生的に」の形で動詞を修飾する。(2)固有名詞、熟語として使われることによる両言語の用い方の相違について、日本語の「歯科衛生士」は中国語には見られない。また“搞卫生”は中国語では「清掃する」という意味の熟語として使われるが、日本語には「清潔をする」「衛生をする」の表現はない。中国語の“卫生间”“卫生球”“卫生筷”“卫生所”など、いずれも日本語には見られない。一方、日本語の「衛生車」は中国語には見られない。(3)同じ表現で、指し示す範囲の異なりによる両言語の意味的相違について、中国語の“卫生纸”と日本語の「衛生用紙」の指し示す意味は異なる。日本語の「衛生用紙」は家庭やオフィス等で広く使用されているティッシュペーパー、ペーパータオルなども含まれる。中国語の“卫生纸”はトイレットペーパーだけを指す。(4)中国語の“卫生”の語源は古代中国語に遡る。

古代中国語の“衛生”は日本に伝えられ、明治時代に長与専齋によってドイツ語 Hygiene、英語 hygiene の訳語に当てられたのがきっかけで「身の回りを清潔にして、健康の維持と疾病の予防・治療につとめること」という意味が付与された。清末に康有為らがその意味の「衛生」を中国語に取り入れたと見られる。

(5)辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》『日中辞典 小学館』『日中辞典 講談社』では、日本語の「衛生」は、“衛生 weisheng”と解釈されている。しかしながら、日本語の「衛生」と中国語の“衛生”における品詞のずれや使い方の相違点は記述されていない。また「衛生設備」と“卫生设备”は指す内容が異なるが、『日中辞典 小学館』では、「衛生設備」をそのまま“卫生设备”で対応させるという不備がある。

第3節では、中国語の“接触”と日本語の「接触」の意味的相違について考察した。「人間と人間が接触する」場合、「人間と物体、モノが接触する」場合、「物体と物体、モノとモノが接触する」場合をそれぞれ考察した。(1)「人間と人間が接触する」場合、「会う」「付き合う」「ばったり遭遇する」「交戦する」「連絡を取り合う」などの意味を表す。また、日本語の「接触」は「人間と人間が物理的に触れる」という意味を表すが、中国語の“接触”はその意味を表さない。それを表そうとする場合、中国語では“碰”“撞”を使うが、日本語では「接触」のほかに、「当たる」「ぶつかる」などを使う。ここに中国語の“接触”と日本語の「接触」との共通点が見られる。また「敵と接触する」の意味について調査を行い、「双方の部隊がばったり遭遇する」「交戦する」「密談する」の少なくとも三つの場面があることが判明した。(2)「人間と物体、モノが接触する」場合、中国語の“接触”は日本語の「接触」と同じ意味もあれば、日本語にはない、「習う、勉強する」「～言及する、～にかかわる」という独自の用法もある。(3)「物体と物体、モノとモノが接触する」場合、日本語の「接触」は「航空機」「船」「電車」「バイク」など乗り物同士が触れ

ることを表す。中国語の“接触”にはそのような使い方は見られない。具体的な状態により、“碰撞”“碰擦”“蹭”で対応する。(4)中国語・日本語それぞれにおいて慣習的な表現の使い方に相違がある。中国語の“接触群众”は日本語には見られない中国語独自の表現である。また“接触接触”のように“接触”という動詞を重ねて用いる使い方も日本語には見られない。日本語では慣習的表現として「接触事故」がよく使われるが、中国語にはない用法である。(5)辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》では、「接触」は、“接触”“交往”と解釈している。しかし「接触」と“接触”は、双方の部隊がばったり遭遇する、交戦するという意味もあるため、中国語訳は“接触”“交往”だけではない。また日本語では「接触事故」という表現が使われるが、中国語ではそう言わない。一方、中国語では“接触群众”“接触接触”と言うが、日本語ではそう言わない。中国語の“接触”は「習う」「言及する」などの意味も表すが、日本語には見られない。前掲の辞書では、このような意味や用法の相違点に関する解釈がなされていない。

第4節では、中国語の“紧张”と日本語の「緊張」の意味的相違について考察した。(1)人間の状態と物事の状態の両方に用いるか否かによる両言語の意味的相違について、中国語の“紧张”と日本語の「緊張」の意味や用法を10項目に分類し、その共通点と相違点を図示すると、次のようになる。

中国語の“紧张”と日本語の「緊張」の意味的相違

紧张 (中)	主体	緊張 (日)
	人間の状態	
○	人間、人間の心の状態	○
○	身体部位(筋肉、肩など)	○
○	人間と人間の関係	○

	物事の状態（緊張ムード）	
○	互いに戦いあう人間の活動	×
○	世の中の状態、様子	○
○	その場の雰囲気	○
○	業務や事務	×
	物事の状態（物が不足する）	
○	何かをするのに必要なもの	×
○	市場で販売される商品	×
○	商品を供給する市場	×

上記の一覧で分かるように、中国語の“紧张”を「人間の状態」と「物事の状態」に二分し、さらに「物事の状態」を「緊張ムード」と「物が不足する」の二つに下位分類する。10項目のうち、中国語の“紧张”はいずれも用いられるが、日本語の「緊張」の用法は中国語の“紧张”に比べてはるかに少なく、5項目の用法しかない。上記の表の「人間の状態」を示す三つの用法は、中国語にも日本語にも見られる。“大家都很紧张”は日本語では「みんなとても緊張している」、「紧张的心情」は「緊張した気持ち」、「身体肌肉紧张」は「体の筋肉が緊張する」、「人与人之间的关系很紧张」は「人間関係の緊張が高まっている」と訳す場合が多い。「人間の状態」の場合、中国語の“紧张”と日本語の「緊張」の意味や用法は相違点が少ない。しかし中国語では“手紧张”、“腿紧张”（緊張して手や足が震えたり、硬くなったりするという意味）と言うが、日本語では「手が緊張する」「足が緊張する」とは言わず、「緊張して手が固くなる／手が緊張で固くなる」「緊張して足が震える／足が緊張で震える」で対応する。この点に日本語と中国語との相違点が窺える。また「物事の状態」の「緊張ムード」を表す場合、日本語の「緊張」の使い方は少なく、中国語の“紧张”には他の言葉で対応することが多い。“比赛很紧张”は「試合がとても激

しい」、「工作紧张」は「仕事が忙しい」と訳すように、日本語では「緊張」ではなく、それぞれ「激しい」「忙しい」と訳す。「物事の状態」の「物が不足する」ことを表す場合、「时间紧张」は「時間が足りない、時間がきつい」、「电力紧张」は「電力の供給に余裕がない」、「用水紧张」は「水供給が厳しい」、「市场紧张」は「市場供給の手詰まり」と、これも日本語の「緊張」ではなく、「供給に余裕がない」「厳しい」「手詰まり」で対応する。(2)動詞、形容詞、名詞、副詞としての働きがあるか否かによる両言語の使い方の相違について、中国語の“紧张”は形容詞であるのに対して、日本語の「緊張」は名詞、サ変動詞であるため、文における両者の使い方もそれによって異なってくる。“紧张”は、“他很紧张”のように述語としてよく用いられるが、日本語では「彼はとても緊張である」ではなく、「彼はとても緊張している」と言う。また中国語の“紧张”は形容詞として名詞を修飾することができるが、日本語の「緊張」にはその使い方はない。(3)辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》『日中辞典 講談社』『中日辞典 講談社』では、日本語の「緊張」と中国語の“紧张”の語義は解釈しているものの、「緊張」と“紧张”の意味的相違、使われる場合の違い、さらに両者の品詞のずれによる使い方の異なりなど、中国人学習者にとって難解な問題に関する説明はしていない。

第2章では、「人」を伴う表現(別人、他人、人種、達人、人気)及び「人」を表す表現(第三者)の意味的相違について考察した。第1節では(1)固有名詞、熟語として使われるか否かによる両言語の使い方の相違について考察した。日本語には、「他人行儀」、「他人事」、「他人扱い」「他人井」など他人を伴う複合語が多く、中国語にはない。それらの複合語は中国語では通常、“见外”“别人的事”など他の語で対応し、または“如客人般客气”“与自己没有关系的事”のように解釈的に訳す。(2)中国語の“他人”“别人”にも「ほかの人」の意味

があり、同じ意味として用いられることがある。日本語の「他人」は「ほかの人」の意味もあり、中国語の“他人”の用法に近いため、【第1パターン】の例とする。一方、「別人」は「ほかの人」の意味ではあまり用いられず、中国語とは相当異なる用法のため、【第2パターン】の例とする。(3)日本語の「他人」と「別人」の意味的相違について、「他人」は①「自分、親類以外の人、血縁関係のない人」、②「当事者でない人」、③「自分以外の人」の意味を表すが、そのうち、意味③は「別人」の用法に類似する。(4)中国語の“別人”“他人”と日本語の「別人」「他人」の意味的相違について、中国語の“別人”と“他人”は口頭語と文章語の相違があるものの、同様の意味を表す。日本語の「別人」とはずいぶん意味が異なるため、“別人”と“他人”は対応できる場合が少ない。「別人」は中国語の“判若两人”“另外一个人”“不是同一个人”“另有其人”で対応することが多い。しかし「他人」は意味的に包括される関係にあり、「自分以外の人、ほかの人」という意味を表す場合、“別人”“他人”と「他人」は互いに対応でき、その他の意味を表す「他人」は中国語では、“外人”“局外人”“无关者”などと言う。(5)辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》には「別人」は収録されていない。『日中辞典 小学館』『日中辞典 講談社』には収録されているが、“別人”“另外一个人”と解釈されているだけで、中国語の“別人”との意味や用法の違いには触れていなかった。また上記三冊の辞書では、「他人」に関しては“別人”“他人”“外人”“陌生人”“局外人”“旁人”などを挙げているが、日本語の「他人」と中国語の“他人”“別人”の意味的相違に関する説明は行われていない。

第2節では(1)広く人間を指すのか、それとも特定の間を指すのかによる相違について考察した。日本語の「人種」は中国語の“人种”より意味領域が広く、中国語には見られない「政治家という人種」「夜型の人種」のように特定の間を指す独特の用法を持っており、中国語では“这类人”“这种人”な

どで対応する。(2)中国語では、“中国人種”“日本人種”“美国人種”などのように、【国名+人種】の形が使われるが、日本語にはない。また日本語の「人種主義」を“种族主义”、「人種差別」を“种族歧视”、「人種のるつぼ」を“种族大熔炉”というように中国語では“种族”で対応する場合もある。(3)「人種」の意味を、「環境・職業などの違いによる生活習慣や気質を共通の特徴として、人を分類した言い方」としているが、筆者はこの用法も本来の意味「地球上の人類を、骨格・皮膚の色・毛髪・血液型など形質的特徴によって区別した種類」から意味拡大した用法、一種の比喩的な用法と見ている。「社長という人種」「サラリーマンという人種」「政治家という人種」は職業などに関係し、「ゴルファーという人種」「深夜人種」「気の長い人種」は嗜好、生活習慣、気質、性格と関係し、「この種の人」の意味で、場合によっては軽視的な意味として用いられる点も見逃すことができない。この用法は中国語の“人種”には見られず、中国語に訳す場合、“人種”ではなく、“这类人”“这一种人”など、前後の文脈に応じて適切な言葉を選んで対応する。(4)辞書的解釈の問題点について、『日中辞典 小学館』では、「人種」に関しては、“人種”“种族”“《比喩的》種類”と解釈している。この語釈には大きな間違いはないが、“《比喩的》種類”の解釈は、意味不明である。“(具有共同特征的群体) 这类人，这一种人”と説明した方が分かりやすいと考える。

第3節では(1)派生語や複合語があるか否かによる両言語の相違について考察した。中国語の“达人”は“书法达人”(書道の達人)、“快乐达人”(暮らしを楽しむ達人)のように四字熟語としてよく用いられる。“……达人”は複合語が作られる漢語語基として造語力が強い。日本語の場合、「達人」を伴う四字熟語はあまり見られず、「～の達人」や「修飾句+達人」という形で用いられる。(2)辞書的解釈の問題点について、「達人」に関して、『日中辞典 講談社』では“高手”“专家”“名人”、『日中辞典 小学館』では“高手”、《详解日

漢辞典》では“名手”“高手”“好手”と解釈しているが、現在中国語でも同じ意味でよく用いられている“达人”は見られない。“达人”を付け加えるべきである。

第4節では(1)「流行語か否かによる両言語の使用頻度の高低や造語力の強弱の相違」について考察した。中国語の“人气”は流行語としてよく用いられ、“人气”を伴う表現はよく見られる。“人气”に後続するのは二字表現が圧倒的に多い。それは中国人が二文字或いは四文字の表現に、音節のバランスが保たれた美感を感じることに関係する。日本語の「人気」の後に来る言葉にも同じような傾向が見られるが、そう多くはない。(2)日本語では、嵐人気、Jリーグ人気、野球人気、サッカー人気など「～人気」という表現が使われる。中国語には、“……人气”のような複合語は見られない。この場合、中国語では“姚明热”、“足球热”のように、“……热”という表現を使う。(3)日本語の「人気」(評判が良い意)を中国語に訳す場合、“人气”“受欢迎”の他に、人を指す場合は、“当红”“有声望”“有人缘儿”で対応し、物事を指す場合は、“热门”“热销”“……热”などの表現を用いるのが特徴である。(4)日本語の「人気」は古代中国語から伝えられたものである。日本で「人々の好みや評判」という新しい意味が付与された後、中国に逆輸入されたと見られる。(5)辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》では、日本語の「人気」(世間からの好みや評判)に関しては“声望”“名声”“受欢迎”としている。しかし、現在中国語で「世間の好みや評判」という意味を表す場合、“人气”がよく用いられているため、“人气”を付け加えるべきである。また中国語の“人气”に関して、『中日辞典 小学館』では「人气、人々の評判」「人の品性、人柄」、『中日辞典 講談社』では「人气」「品格」と解釈している。が、中国語の“人气”は上記の意味のほかに、「身体の匂いや人の息」「人の気分や気持ち」という意味があり、上記二冊の辞書はこれを補足追加するべきである。

第5節では「比喩的表現、派生的用法（意味拡張）の有無による両言語の使い方の相違」という視点より、中国語の“第三者”と日本語の「第三者」の意味的相違について考察した。(1)中国語の“第三者”は日本語の「第三者」より意味領域が広く、近代日本語から伝えられ、また使われている内に「愛人」「浮気相手」という意味が派生した。日本語の「第三者」はこの中国語の派生義「愛人」「浮気相手」という意味は持たない。日本語の「第三者」は法律用語と「第三者の立場」の意味で使われる場合、中国語の“第三者”と意味や用法が同じで、中国語の“第三者”または“第三方”で対応することができる。(2)辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》では、「第三者」の意味の解釈に、漢字同形語の“第三者”で対応しているが、しかし、日本語の「第三者」とは異なり、中国語の“第三者”は、「当事者双方以外の人または団体」のほかに、「愛人、浮気相手、不倫相手」という意味も持つ。

第3章では「問題」「条件」「要求」「状況」「情況」「参加」「気色」を中心にその意味的相違について考察した。第1節では、【第1パターン】の<第1類>に属する中国語の“問題”と日本語の「問題」の意味的相違について考察した。(1)「比喩的表現、派生的用法（意味拡張）の有無による両言語の使い方の相違」について、“摆问题”（苦情を言う、文句を言う、仕事上のミスや失敗／問題点を挙げる）、“交代问题”（犯行を白状する）のように、中国語の“问题”には派生的用法が多く、いずれも日本語の「問題」には見られない用法で、日本語に訳す際は「問題」以外の表現で対応することが多い。“车子出问题”の“问题”は「(車が)故障する」、 “问题家电”は日本語では「欠陥のある家電製品」となる。人間の場合、“脑袋出问题”の“出问题”は「頭がおかしくなる」、 “肠胃／身体出问题”の“出问题”は「病気になる、健康状態が悪化する」、 “他／领导干部出问题”の“出问题”は「ある事件に巻き込まれる」「逮捕さ

れる」「悪事がばれる」を意味する。また中国語の“个人问题解决了吗？”の“个人问题”は「結婚する」を意味し、“他们之间有什么问题发生了吗？”の“问题”は「揉め事」「不愉快なこと」を意味する。いずれも日本語の「問題」は使わない。重要な箇所ということを表す場合、中国語では“最最重要的问题在于改变现状”と“问题”を使うが、日本語では「問題」ではなく、「ポイント」「肝心な点」「重要な点」「かぎ」などで対応する。疑問などを尋ねるという意味を表す場合、中国語では“大家有问题吗？”のように“问题”を使うが、日本語では「質問」と言う。中国語の“问题”は日本語の「問題」よりも幅広く使われており、日本語に訳す場合、「問題」をカットするか他の言葉で対応することが多い。取りあげられる事柄<重大な問題でないこと、問題になっているわけではないこと>を表す場合、中国語では“关于……问题”のように、“问题”を使うが、日本語では「～について」「～の件について」「～のことについて」のように「問題」をカットして表現する。また「～の話」「～の議題」で対応する場合も見られる。“这件事没有问题”“吃饭不成问题”のように中国語の“没有/不成问题”は「大丈夫」「～心配はない」で対応することが多い。

(2) 日本語では「問題発言」「問題行動」など「問題」を伴う表現が多く、この場合は中国語の“问题”で対応することができない。“问题发言”“问题行动”より“有争议的发言”“异常行为”を使う方が多い。日本語の「問題作」「問題の本」は取り上げるべき問題を含んだ作品・本、また人々の注目を集める作品・本、その作品・本自身に問題があることを意味し、通常“引发热议的作品<书>”“引起轰动的作品<书>”“有问题的作品<书>”と訳す。答えが求められる試験問題は、中国語では“考题”“试题”と言う。「入試過去問題」「試験問題集」は中国語では“历年入学试题”“试题集”と訳し、“问题”では対応しない。

(3) 日本語の「問題児」に対応する“问题儿童”はここ数十年、中国語でもよく用いられるようになり、そのまま対応することができる。

(4) 辞書の解

積の問題点について、『中日辞典 講談社』では、“問題”に関して①問題、質問、②解決すべき問題、③肝要な点、キーポイント、④故障、出来事、トラブル、と解釈している。しかし中国語の“問題”は「苦情」「文句」「罪」など派生義をもち、また“这件事没有问题”（この件は大丈夫だ）、“脑子有问题”（こいつは頭がおかしい）のような場合にも使われる。これは日本語の「問題」には見られない意味や用法であり、補足追加すべきである。中国語の“問題”は日本語の「問題」よりも幅広い意味で使われ、“关于……问题”のように日本語訳では「～について」「～の件について」「～のことについて」と、通常、「問題」をカットして表現する。また「～の話」「～の議題」で対応する場合も見られる。中国語の“具体问题”は日本語の「具体策」「具体的なこと」にあたる。『中日辞典 小学館』ではこの重要な点について説明していない。

第2節では、【第1パターン】の<第3類>に属する中国語の“要求”“条件”と日本語の「要求」「条件」の意味的相違を考察した。(1)中国語の“要求”の慣習的用法について、“教学要求”（学習指導要領／教育要領）のように、中国語では“要求”を使うが、日本語では「要求」ではなく「要領」で対応する。また“你有什么要求？”のように「希望」「要望」などを表す場合、日本語では「要求」は使わない。中国語の“要求”は“要求签名和合影”のように「～をしてほしいと求める」という意味を表す場合に使われるが、日本語の「要求」にはこの使い方がない。また中国語では、ある組織や団体に参加するために申し出ることを“提出入……要求”と言う。日本語の「要求」はこの場合は使われない。中国語では“质量要求”“技术要求”のように「製品の品質を評価する基準」を表す場合“要求”を使うが、日本語では「条件」「規格」などで対応する。また“有……要求”のように「～の制限がある」意味を表す場合、日本語では「要求」は使わない。結婚相手を求める場合“要求很高”がよく使われるが、日本語では「理想が高い」で対応することが多い。さらに中国語では

「～に厳しい」という意味を表す場合、“对……要求很严格”“严格要求……”と言うが、日本語の「要求」にはこの使い方はない。考察の結果、中国語の“要求”の八つの用法は日本語の「要求」には見られないことが分かった。(2)中国語の“条件”の慣習的用法について、中国語の“生活条件很好”を日本語に訳す場合、「いい生活をしている」のように「条件」をカットして対応する。また中国語の“家庭条件”は親の職業、住む家の広さ、家庭の経済状況などを意味する。場合によって専ら家庭の経済状況を指すこともある。日本語では「家の経済状況」で対応し、「条件」は使わない。中国語の“学习条件”は「学習環境・設備」、「卫生条件」は「衛生状態」、「身体条件」は「体格」「体質」「体の健康状態」で対応する。“经济条件”は「経済状況」で対応し、“没有经济条件在日本继续留学了”(日本留学を続ける経済的余裕がない)の“经济条件”は「経済的余裕」と訳される。“个人条件”はその人の能力、収入、容貌、家柄などを含めて指す表現であり、日本語ではそれに相当する表現がないため、説明的に訳すしかない。考察の結果、中国語の“条件”の七つの用法は日本語の「条件」には見られないことが判明した。(3)辞書的解釈の問題点について、『中日辞典 小学館』『中日辞典 講談社』では“要求”に関して、「要求する、求める」「要求、希望、条件」と解釈している。結婚相手に対する「理想」、何らかの組織や団体に加入するための「申し出」、「～の制限」など中国語独自の“要求”の用法に関する記述が見られない。中国語の“条件”と日本語の「条件」に関する辞書的解釈の問題点について、中国語では“家庭条件”“学习条件”“卫生条件”“经济条件”“个人条件”など“条件”を伴う慣用表現が多いが、『中日辞典 講談社』では説明されていない。また『中日辞典 小学館』でも“家庭条件”“卫生条件”“个人条件”などに関する語釈が欠けている。

第3節では、【第1パターン】の<第3類>に属する中国語の“情况”“状况”と日本語の「情況」「状況」について考察した。(1)中国語の“情况”“状况”

の八つの用法は日本語の「情況」「状況」には見られない。中国語の“有情況”“发生情況”の“情況”は異状や意外な動き・事態を意味し、日本語では「異状」という言葉で対応することが多い。中国語では“一般情況獎金多少”のように“一般情況”という表現がよく使われ、日本語では「普通」「通常」で対応する。中国語の“個人情況”の“情況”は日本語では「個人情報」のように「情報」で対応する。“天气情況”“天气狀況”は日本語では「状況」をカットして「天気」と訳す。中国語の“情況尷尬”の“情況”は日本語の「場面」「雰囲気」に、“情況不对”の“情況”は「様子」に、“工地情況怎么样？”の“情況”は「進展」、 “任何情況”“具體情況”の“情況”は「こと」と訳す。日本語の「經濟狀況」「財政狀況」「社會狀況」は中国語の“狀況”で対応できるが、中国語の“情況”“狀況”は日本語の「状況」より幅広く使われ、日本語に訳す場合、「状況」をカットする場合と「異状」「普通」「通常」「場面、雰囲気」「情報」「様子」「進展」など他の表現で対応する場合がある。(2)辞書的解釈の問題点について、『中日辞典 小学館』『中日辞典 講談社』では、“情況”に関しては、「状況、様子」「<軍事、保安上>状況変化、異状」と解釈している。しかし、“有什么情況，马上告诉我”のように、「異状、意外な事態」という意味の“情況”は軍事、保安上だけでなく、広く一般に使われている表現である。また“情況”が持つ「場面、雰囲気」「情報」「進展」の意味に関する記述も抜けている。

第4節では、動詞の目的語が異なることによる相違という視点から、【第1パターン】の<第1類>に属する中国語の“参加”と日本語の「参加」の意味的相違を考察した。(1)日本語でも「世界的なプログラム、計画などに参画する」「参戦する」「入隊する」「入札する」という意味を表す場合、「参加」が使えることを検証し、中国語の“参加”と日本語の「参加」の意味や用法に関する王雪晨氏の分類の四箇所に修正を加えることを提案した。中国語独自の“参

加”の意味は「保険に加入する」「意見を出す／発表する」「就職する／入社する」「受験する」である。また王雪晨氏は中国語には見られない日本語独自の「参加」の意味や用法を7種類にまとめているが、「組織や団体の結成に参加する場合」「市場メカニズムやシステムに参加する場合」「運営、経営などに参加する場合」の3種類を付け加えて10種類に修正することを提案した。(2)辞書的解釈の問題点について、『中日辞典 講談社』では、“参加”は、「参加する」と解釈している。『中日辞典 小学館』では、上記の辞典より詳しく解釈しているが、いずれの辞書も“参加保険”など中国語の“参加”の独自の意味や用法に関する記述が欠けている。《详解日汉辞典》『日中辞典 小学館』『日中辞典 講談社』では、「参加」に関しては、“参加”“加入”と解釈しているが、「組織や団体の結成に参加する」のように、「参加」の独自の意味や用法には触れていない。

第5節では、人間の内心世界を表すのか、それとも人間の表情などの外観を表すのかによる日中両言語の相違という視点より、【第1パターン】の<第1類>に属する中国語の“气色”と日本語の「気色」の意味的相違を考察した。

(1)現代中国語の“气色”と現代日本語の「気色」は、両者とも人の様子を表す。中国語の“气色”は顔に現れる快、不快を表す場合、日本語の「気色」^{きしよく}で対応することができる。しかし顔に表れる健康状態を示す場合、日本語では「血色」、「顔色」と訳すように、「気色」^{きしよく}では対応し切れない場合がある。一方、顔に現れる快、不快を表す日本語の「気色」^{きしよく}は、中国語の“气色”で対応することができるが、「気色悪い」^{きしよく}のように「気分、気持ち」という意味を表す場合は、中国語では通常“气色”ではなく、“心情、感觉”で対応する。中国語の“气色”は顔に現れた外の様子を示し、日本語の「気色」^{きしよく}は顔に表れた外の様子だけでなく、「気分、気持ち」という人間の内心世界をも表す。(2)辞書的解釈の問題点について、『中日辞典 小学館』には“气色”が収録されていない

が、『中日辞典 講談社』には収録され、「顔色、血色」と解釈している。中国語の“气色”は顔に現れる快、不快を表す場合、日本語の「気色」で対応することができるため、対応語として「気色」を補足追加すべきである。『日中辞典 講談社』では、「気色」は、“感觉”“感受”と解釈している。しかし日本語の「気色」はこれ以外に、「気色が悪い（脸色不好）」「気色をうかがう（查看对方脸色）」の意味があるので、“脸色”のほかに、“气色”、“神色”、“神情”という対応語も付け加えるべきである。

第4章では、字形は同じだが、意味が相当（もしくは完全に）異なるパターン【第2パターン】の漢字同形語を中心に考察した。【第2パターン】における漢字同形語をさらに<第1類>と<第2類>に分類する。<第1類>とは意味が重なる部分があるが、使われる場合や評価の善悪など意味や用法が相当異なる漢字同形語を指し、<第2類>は意味や用法が完全に異なる漢字同形語を指す。中国語と日本語における「帮助」「助長」「改正」は意味が重なる部分もあるが、使われる場面が異なり、評価の善悪なども完全に異にするため、意味や用法が相当異なる【第2パターン】<第1類>に属する。また、「人間」「正体」「深刻」「迷惑」は意味や用法が完全に異なり、【第2パターン】<第2類>に属する。第1節では、日本語の「帮助」「助長」と中国語の“帮助”“助长”を中心に考察した。(1)「マイナス評価・プラス評価の相違」について、日本語の「帮助」はマイナスイメージをもつ事柄を表し、特に法律関係の文脈によく用いられるが、中国語の“帮助”はプラス評価の語として使われる。一方、日本語の「助長」はプラスイメージだけでなく、マイナスイメージの事柄やニュートラルの場合にも用いられる。が、中国語の“助长”は、マイナスイメージをもつ事柄を述べる場合にしか用いられない。日本語の「助長」の意味幅が広いと、対応する中国語訳として“促进”“促使”“促成”“引发”“煽

動” “推动”なども多く見られる。(2)日本語の「幫助犯」「幫助罪」という表現は中国語には見られない。中国語に訳すと、“协从犯”“协从罪”となる。(3)中国語の“帮助”は【帮助+名詞】の構文でよく用いられるが、その名詞には“别人”“群众”“大家”など、人を表す語がよく現れる。日本語においても【名詞+を+幫助する】という構文が使われるが、その名詞には「逃亡」「殺害」「自殺」「死亡」「脱税」「飲酒運転」「犯罪」「侵害」など違法行為を表す語がよく使われ、「人を表す名詞」が少ない、といった相違点が見られる。(4)辞書的解釈の問題点について、『日中辞典 小学館』では「帮助」は「(法) 辅助, 帮助」と解釈しているが、「他人の犯罪の遂行に便宜を与える行為」という意味的特徴には触れていない。また『中日辞典 小学館』には、中国語の“帮助”が持つ「役立つ」「メリットがある」「ためになる」という意味の記述が漏れている。さらに『中日辞典 講談社』では、“助长”は「**勸** 助長する」と解釈しているが、日本語の「助長」と中国語の“助长”が使われる場合の違いについては記述していない。

第2節では、中国語の“改正”と日本語の「改正」の意味的相違について考察した。(1)「共起する語の異なりによる両言語の相違」について、中国語の“改正”と日本語の「改正」は何かを改めるという意味においては共通点が見られるが、使われる場面は相当異なる。日本語では「改正」と共起するのは「憲法」「銀行法」など法律や法規などの表現であるのに対して、中国語の“改正”は個人や集団が犯した過ち、または個人や集団の行動、思想、考え、さらにその態度、やり方などを表す語が共起する。その対象がかなり異なるため、漢字同形語で対応することができない。日本語の「改正」は中国語で“修改”と訳され、中国語の“改正”は「改める」「正す」「直す」などに訳される。(2)「中国語と日本語にみられる慣習的な表現による両言語の用い方の相違」について、日本語では「憲法改正」「銀行法改正」など慣習的な表現としてよく使われる

が、中国語の“改正”には見られない用法である。この場合、中国語では“修改宪法”“修改银行法”のように“修改”が用いられる。日本語の「改正」と「改定」は類似する意味として使われるが、①改められる対象、②改められる対象の性質、③対象を改める目的、という三点から考察すると、両者は意味的に相当異なることが分かる。(3)辞書的解釈の問題点について、『日中辞典 小学館』と《详解日汉辞典》ではいずれも語釈が曖昧であるため、学習者が日本語の「改正」の意味や用法を的確に把握するのが困難である。「法律、規則、規約などの不適當な点や不備な点を改めること」(『明鏡 国語辞典』)のように、その改める対象や内容をはっきりと明記しなければならない。

第3節では、【第2パターン】の<第2類>に属する例として、日本語の「深刻」及び中国語の“深刻”と共起する動詞や名詞など品詞の違いについて、また両者の意味や用法、訳語の特徴についても考察した。(1)中国語の“深刻”と日本語の「深刻」は意味が完全に異なるため、置き換えることができない。中国語の“深刻”がプラス評価、またニュートラルな意味で用いられるのに対して、日本語の「深刻」はマイナス評価の意味が強い。日本語の「深刻」は、中国語では「意味深い」「奥深い」「深い／深く」「大きい／大きく」「強い／強く」「はっきりと」「きちんと」などで対応する。(2)辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》では「深刻」に関しては、“深刻、严重”と解釈している。中国語の“深刻”は日本語の「深刻」と完全に意味が異なるため、“深刻”を「深刻」と対応させるのは問題である。また、同辞書の、「深刻」が持つ「非常に切迫した事態に心がとらわれている様子」という意味の解釈が欠けている点は、大きな不備である。

第4節では、【第2パターン】の<第2類>に属する中国語の“人間”と日本語の「人間」の意味的相違について考察した。日本語の「人間」は中国語の“人間”の意味と同じであるのか、日本語の「人間」と「人」との使い分けは

どのようになっているのかに焦点をあてた。(1)中国語の“人間”が「人間社会、世の中、この世」という意味を表し、人間が暮らす場所や空間などを表すのに対して、日本語の「人間」は人間そのもの、または「人間」が有している性格や行いの良し悪しなどを表す。日本語の「人間」と中国語の“人間”は意味や用法が完全に異なる。(2)日本語の「人間」を中国語に訳す場合、基本的には“人”で対応するが、動物や物事に対する人間を強調する場合には、中国語の“人”或いは“人類”で対応することが多く見られる。また人の品格などを表す「人間」は、中国語では“人品”、“品格”などで対応し、人間性や人間関係などを表す「人間」の場合、中国語の【人+性(情、际)】で対応する傾向が見られる。さらに「人間国宝」のように【人間+高いランクを示す修飾語/高いランクを示す修飾語+人間】を表す場合、中国語では“人物”で対応し、周囲の物事に全然関心を持たない人間や、「会社人間」のようにマイナス評価の言葉として用いられる場合は、“只顾(知道)~的人”で対応する。(3)日本語で「人間」と「人」はどちらも日常生活において使用頻度が高い。「自分自身」「適当な人、立派な人、必要となる人」の意味を表す場合、日本語では「人間」ではなく、「人」を使う。「人のことを何と思っているのだ」「なかなか人が集まらない」などがそれである。また「田中さんという人」のように「特定の人」を言う場合にも、「人」を使う。(4)辞書的解釈の問題点について、《详解日汉辞典》では、「人間並み」を“像普通人一样的”と解釈しているが、考察から分かるように、「人間並み」は「猫は人間並みの視力を持っている」「人間並みの翻訳力を備えたソフト」などのように、人間と他の動物や物との比較を意識しながら表現する場合に使われ、中国語では“与人类相同的”で対応する。同辞書の“像普通人一样的”という語釈には大きな問題がある。日本語の「人並み」は“像普通人一样的”“像其他人一样的”で対応する。

第5節では、中国語の“心中”と日本語の「心中」の意味的相違について考

察した。日本語の「心中（しんちゅう）」は中国語から伝わったもので、中国語の“心中”と同じく「心の中、心に思っていること」という意味を表し、中国語では“心中”“心里”“心间”で対応する。が、日本語の「心中（しんちゅう）」が「気持ち」という意味を表す場合、中国語の“心情”“心思”“情绪”“感受”“看法”などで対応する。現代日本語の「心中（しんじゅう）」は、「情死する」「自殺する」「ある組織や仕事と運命を共にする」という意味を表し、中国語の“心中”と全く意味が異なり、中国語に訳すと、“心中”ではなく、“殉情”“情死”“集体自杀”“一起自杀”“同生死，共存亡”などになる。《详解日汉辞典》では、「心中」は、①情死する。②（生活に苦しめられて家族二人以上が）自殺する、と解釈している。しかし、日本語の「心中」には、「会社と心中する」などのように、「ある物事と運命を共にする」という意味もあり、辞書ではその語釈が欠けている。

第6節では、中国語の“正体”と日本語の「正体」の意味的相違について考察した。現代日本語で用いられている「正体」は、現代中国語の“正体”とは意味が完全に異なり、その意味領域の関係を図表で示すと、下記の通りになる。

中国語の“正体”と日本語の「正体」の意味的相違及び中国語訳

	日本語	中国語	中国語訳
規範に合う漢字の字形	×	○	×
楷書	×	○	×
ピンインの印刷体	×	○	×
本来の姿を隠して人前に現れているものの実体。	○	×	真实面目、原形、真实身份、真实情况、
その人が正常な精神状態である時の、しゃんとした所	○	×	神志、知觉、意识

日本語の「正体」を中国語に訳す場合、“正体”ではなく、“原形”“真实面目”“真实情况”“真实身份”となる。「正体がなくなる」「正体をなくす」の場合の「正体」は中国語では“神志”“意识”“知觉”と訳される。また、日本語では「正体不明」という表現がよく用いられるが、中国語では“来历不明”“原因不明”“不明国籍”“不明身份”“神秘未知的”などで対応する。辞書的解釈の問題点について、日本語では「正体不明」という表現がよく用いられ、中国語では“来历不明”“神秘未知的”など様々な表現で対応するが、これに関して『日中辞典 小学館』『日中辞典 講談社』『详解日汉辞典』では解釈していない。

第7節では、日本語の「迷惑」と中国語の“迷惑”の意味的相違について考察した。日本語の「迷惑」の用法を【Nは／が＋迷惑する】【迷惑＋な＋N】【迷惑＋をかける／及ぼす／受ける／被る】と、中国語の“迷惑”の用法を【迷惑＋N】【被（为／受）＋N＋迷惑】【使（让／令／把）＋N＋迷惑【迷惑地＋V】【迷惑＋的＋N】【N／形容詞／副詞＋的＋迷惑】に分け、その意味や用法、また訳語の特徴などを分析した。中国語の“迷惑”と日本語の「迷惑」は完全に異なった意味を表す。それを図で示すと、下記の通りになる。

中国語における“迷惑”と日本語における「迷惑」の意味的相違

迷惑（中国語）	意味	迷惑（日本語）
○	迷って判断を失する、当惑する。	×
○	人を惑わす、人を迷わせる。	×
×	その人のした事がもとになって、相手や周りの人が不利益を被ったり不愉快な思いをしたりすること。また処置に困って悩むこと。	○

日本語の【Nは／が+迷惑する】の「迷惑」は中国語では“不满”“感到不快”“为难”、【迷惑+な+N】の「迷惑」は中国語では“麻烦”、【迷惑+をかける／及ぼす／受ける／被る】の「迷惑」は“带来麻烦”“遭遇麻烦”で対応する。『日中辞典 小学館』では「迷惑」には関しては、“麻烦”“打扰”と解釈している。しかし「迷惑」はそれ以外に、“为难”“不满”“感到不便”などの中国語に訳すことも可能であり、「迷惑」に関する辞書の語釈に解釈不足が存在する。

第5章では、中国語と日本語における漢字形態素「化」「素」「横」を伴う日中漢字同形語の意味的相違に関して、また一部の日本語的な表現の中国語訳の特徴に関して三つの節に分けて考察した。第1節では「日本語と同様の表現でも意味が完全に同じなのか」「日本語の『化』の中国語訳の特徴」「日本語と中国語における『化』の役割」の三つの視点から、日本語と中国語における「化」及び「化」を伴う漢字同形語の意味的相違について考察した。中国語と日本語には「化」を伴う同形漢字語が数多くあるが、意味の異なる表現が少なくない。

(1) 日本語の「美化」は、主として「環境美化」のように人間が生活する場所や環境、「戦争美化」のように戦争のようなマイナス評価の出来事や人間の行動、「人びとの現実の生活や仕事の様子」「女性」などニュートラルな事柄や人、さらに「恋愛」「飢えや物質の貧困に屈しない精神」などロマンチックで人間の美德とされるプラス評価のものを表す場合に幅広く使われる。それとは対照的に、中国語の“美化”は“美化环境”（環境美化）を除き、専ら“美化战争”“美化过去的罪恶”のように、悪いものをよいもの、醜いものを美しいものとして表現する場合に使われる。日本語の「民族浄化」は複数の民族集団が共存する地域において、暴力的な手段を以てある民族集団を強制的にその地域から排除しようとする政策を指し、マイナス評価の表現であるのに対して、

中国語の“民族浄化”は、自民族の文化や伝統や政治体制をより立派なものにするという政策や運動を指し、プラス評価の表現である。また日本語では「生活環境」「海水」「魂」「心身」など清められる対象が「浄化する」の対象語となるほか、「汚物」など清められる対象から取り除かれる物も「浄化する」の対象語となる。この場合、中国語では“浄化”ではなく“清除”で対応する。日本語では、「団結を強化する」「取り組みを強化する」のように「強化する」がよく用いられるが、中国語ではこのような場合には“強化”ではなく、“加强团结”“加强……措施的实施”のように通常、“加强”を使う。また「部門を強化する」の「強化する」は中国語の“加强……实力”で対応する。ただし、日本語の「強化」は幅広く使われており、中国語では“扩充”“发展”“加固”“巩固”などで対応する場合もある。中国語の“強化”は“強化競争力”のように使用の場面が限定されており、日本語の「強化」ほど幅広く使われない。中国語の“公式化”は、小説や映画など文学作品を創作する場合、豊富で多彩な現実的生活をある一定の手法で同じように描くという意味を表す。また、あるパターンにはまった何の変哲もなくつまらないもの、心を込めずに決まったやり方で対応することという意味をも表す。日本語の「公式化」は決まったパターンを作り上げる、または数学上の記号で表した式にするという意味であり、中国語の“公式化”とは意味が異なる。“公式化”がマイナス評価の語感があるのに対し、「公式化」はニュートラルな語感を持つ点においてかなりの違いがある。中国語の“一般化”は“一般化水平”（ごく普通のレベル）のように、どこにでも見られるありきたりなさまという意味であり、マイナス評価の表現である。日本語の「一般化」は「人々の間にスポーツが一般化する」のように、「広く行き渡ること」「特殊なものが普通のものになること」という意味を持ち、ニュートラルな語感を有し、両者は意味的に異なる。中国語の“组织化”と日本語の「組織化」はいずれもばらばらの人を一つの体系の中にまとめると

いう意味を表す。日本語の「組織化」は動詞としても使われるが、中国語の“组织化”は動詞としての使い方がない。また、日本語の「組織化」は人間社会におけるまとまりのない知識や情報を系統立てるという意味を表す場合によく使われる。一方、中国語では“组织化”はまだ使用頻度は高くなく、“组织化”より“系统化”の方がよく使われる。“知识系统化”“信息化”などがそれである。中国語の“国际化”と日本語の「国際化」は「大学の国際化」「経営活動が国際化する」のように「世界的視野を持って行動する」ことや「企業、経済活動などが国際的規模に広がる」ことを表す点において共通する。が、中国語の“国际化”は多くの国を巻き込んで国際問題とし、より問題を複雑にするというマイナス評価の表現としても用いられる。この意味を表す場合、中国語の“国际化”は【使+N+国际化】という構文で用いられ、【使】の後に続くNは“問題”“争端”といった語であることが多い。この“国际化”は、日本語の「国際化」には見られない用法である。(2) 日本語では、「犯罪の集団化」という表現が使われるが、中国語では犯罪者のグループは“集体”ではなく、“团伙”を使うため、通常“团伙化”と言う。「研究の集団化」の「集団化」は“团队合作的方式”で対応する。中国語の“尖锐化”は「(問題、対立などが) 激しい、厳しい」という意味を表す。日本語の「先鋭化」は通常「思想や行動の激しさ」が度合いを超える場合に使われ、「過激的」という意味を表す。この場合の「先鋭化」は、中国語の“更加激进”“越来越激进”で対応する。また日本語では「両者の対立が先鋭化する」のように人間同士や国同士の対立が激しくなることを表す場合にも「先鋭化」を使うが、中国語では“逐渐激化”“愈加激烈”“越来越尖锐”を使い、時には“尖锐化”で対応する場合もある。(3) 日本語の「化」は程度の変化を表すが、それ以外に「映画化」「小説化」の「化」と「男性化」「女性化」の「化」については、「形態転換的变化」「仮の形態転換的变化」という新視点を設けて説明する必要があることを説明し

た。「程度の変化」とは物事の状態にどの程度の変化が起きるかを指す。それには「合理化」「正常化」のような良い方向への変化もあれば、「老朽化」「深刻化」のような悪い方向への変化もあり、さらに「集団化」「具体化」のようなプラスでもマイナスでもない方向への変化もある。「形態転換的变化」は物事が A の形態から B の形態に転換可能な変化を言い、「仮の形態転換的变化」は物事が A の形態から B の形態に転換不可能な変化を言う。「映画化」は話や小説という A の形態から映画という B の形態に転換可能であるが、「女性化」は男性なのに、女性の特性や身なりをするという意味で男性という A の形態から女性という B の形態への変化は不可能で、実質的变化ではなく、仮の変化である。本節では具体例を示して「程度の変化」「形態転換的变化」「仮の形態転換的变化」を説明し、その違いを分析した。

第 2 節では、中国語の“素”と日本語の「素」を伴う漢字同形語の意味的相違、とりわけ漢字同形語「素人」「素材」「素質」「元素」「要素」の意味や用法の相違を中心に検討した。また「素」を伴う日本語の複合語、派生語の中国語訳の特徴に関しても考察した。中国語の“素材”と日本語の「素材」は、「芸術創作の材料」「人間の言語活動や思考活動を行うための材料、資料」という意味を持つ点が共通している。しかし現代中国語の“素材”は日本語の「素材」の「もととなる材料、原料」「造材によってできた材種で、まだ製材されていないもの、丸太」という意味は持たない。「物事の性質」を表す場合、中国語の“素质”は物事の現在の性質、状態に重きを置くのに対して、日本語の「素質」は物事の本来備わっている性質に視点を置くものである。また「人の性格、能力」を表す場合、中国語の“素质”は日本語の「素質」と同様「人が生まれつき持つ性格や能力」を表す。が、日本語の「素質」と異なる用法として、「教育や訓練により身につく性格や能力」がある。中国語の“元素”と日本語の「元素」は「非金属元素」（非金属元素）、「微量元素」（微量元素）のように、「あ

る物事を構成する要素」という意味を表す点においては同様である。しかし中国語の“美食、娱乐、节庆等元素”（美食、娯楽、祝祭日などの要素）は「ある物事を構成する要素」という意味を表す場合にもよく使われるが、日本語の「元素」にはそのような意味や用法は見られない。日本語の「素人」は①「その事に経験が浅く、未熟な人。またその事を職業、専門にしていない人」、②「水商売を職業にしている女性に対して、一般家庭の女性」という意味を表すが、中国語の“素人”は意味①は持つが、台湾を経由して中国大陆に伝わったものであると見られ、まだ使用頻度は高くない。日本語では「素人目」「素人離れ」「素人考え」のような複合語が多く見られるが、中国語では“外行人看来”“有画家水准”“外行人的浅薄看法”と対応する。

第3節では、中国語と日本語における「横行」の意味的相違及び日本語における「横」を伴う表現の中国語訳について考察した。中国語でも日本語でも「横行」という表現がよく用いられ、しかも同じく「のさばる、社会正義に反することが平然と行われる」というマイナス評価を表す。しかし「横行」の考察を通じて、中国語と日本語の「横行」の使われる範囲がかなり異なることが分かった。中国語の“横行”と日本語の「横行」は、主体が悪い人間や悪い人間からなる組織や団体などの場合、人々に悪影響を及ぼす物の場合、社会全体に悪い影響を及ぼす行動や社会現象などの場合に使われる点においては共通している。しかし中国語の“横行”は主体が自然災害や人間を害する動物などにも用いられるのに対し、日本語の「横行」はそのような場合に使われない。古代中国語の“横”は本義が方向や位置、また比喩義が物事や人間の行動に対する評価を表し、意味範囲がかなり広い。物事や人間の行動に対する評価では、マイナス評価がとりわけ多い。古代日本語の「横」が比喩義として用いられる場合、「無理」「筋が通らない」「異常」などマイナス評価として人間の行動や物事の性質を表す。古代日本語の「横」は古代中国語の“横”の“勇敢”などの

意味を持たない。しかし、古代日本語と古代中国語の「横」はマイナス評価に用いられるという点では共通している。中国語と日本語における「横」、及び「横」を伴う表現のマイナス評価とプラス評価の用法を比較したが、日本語は中国語と同様、プラス評価の例が極めて少ない。それに対してマイナス評価の例は極めて多く、意味や用法も非常に豊富である。これは中国語と日本語における「横」及び「横」を伴う表現の大きな特徴と見られる。

第6章では、漢字圏学習者向けの日本語教育の視点から、日本語と中国語の漢字同形語の意味的相違、日本語の漢字類義語の中国語訳について考察した。第1節では中国語の“儿童”“厨房”など11例について考察した。(1)中国語の“儿童”と日本語の「児童」は、定められた年齢の範囲は若干異なるが、大体同じ意味を表すため、同形の漢字語で対応する場合が多い。ただし、中国語の“儿童”は日本語の「児童」イコール「小学生」のように使わない。小学校関係の規則や条例、カリキュラムなどでは“儿童”より“小学生”の方がよく用いられる。日本語の「子供」は、「児童」と同じ意味を表す場合もあるが、社会経験や人生経験に乏しく、精神的に成熟していない幼い人、動物の子、自分の息子・娘などの意味をも表すため、両者は大きく異なる。(2)中国語の“厨房”は家庭内の料理を作る場所だけでなく、レストランや飲食店などの調理場にも使われる。一方、日本語の「厨房」はレストランや飲食店などに設置される調理場という意味のみで、大きく異なる。「台所」は家庭内の料理を作る場所を指し、「厨房」とはかなり違う。(3)日本語の「行李」は、竹や柳などで編まれた葛籠であり、収納用の道具、旅行用の荷物入れなどに用いられるが、現在日常生活ではあまり使われなくなっている。中国語の“行李”は収納用の道具や旅行用の荷物入れではなく、旅行や出張の際に携帯する荷物を指し、日本語の「荷物」は、送ったり運んだりする物、負担という意味を表し、「行李」

とは大きく異なる。(4)日本語の「散歩」は「歴史散歩」「科学の散歩」のように「軽い気持ちの探索」という意味の場合にも用いられるが、中国語の“散歩”にはその用い方はなく、“探访”“探索”“漫步”など他の言葉で対応する。また日本語の「散歩」は動詞として使われる場合、「家の近くを散歩する」「武蔵野で散歩する」のようによく【場所+を+散歩する】【場所+で+散歩する】という構文で使用する。これに対し中国語では“在家附近散步”“在武蔵野散步”のように通常、【在+場所+散歩】という構文で対応する。日本語の「散歩」はただ気の向くままにぶらぶら、のんびり回り歩く点において「散策」と同じである。「散歩」は気晴らしや健康維持のために、ぶらぶら歩く場合にも用いられる点で「散策」と異なる。また家の近所をゆっくり歩き回る意味を表す時は「散歩」を用いるが、かなり離れた場所をゆっくり歩く場合には「散策」を用いることが多い。「散策」は人間以外には用いられないが、「散歩」は人間だけでなく犬など動物にも使われる。(5)中国語の“价格”と日本語の「価格」は同じ意味を表すが、中国語の“价格”は話し言葉と書き言葉の両方に用いられる点において、日本語の「価格」と少し異なる。日本語の「価格」は書き言葉、「値段」は話し言葉として用いられる。また「値段」が単独で用いられることが多いのと対照的に、「価格」は「市場価格」「価格変動表」「販売価格」のように、熟語の構成要素として別の言葉と組み合わせる場合によく使われる。さらに「値段を値切る」「値段が張る」など「値段」しか使えない言い方がある。また、丁寧語にするために、「お」をつけて、「お値段」と言うが、「お価格」とは言わない。(6)中国語の“关心”は“关心他”“她对我很关心的”“关心不够”のように、あれこれと気を配ること、優しく接すること、世話をすることを表す場合に使われるが、その場合、日本語では「関心」ではなく「心遣い」「気配り」「親切にする」「世話をする」などの表現で対応する。中国語の“关心”は“关心国家大事”“关心空气质量”のように動詞としての用法も

あるが、“谢谢领导的关心”のように、名詞として使われる場合もある。それに対して日本語の「関心」は主に名詞として使われ、「関心を持つ」「関心が高い」「関心がある」など慣用句として使われることが多い。「異性への関心」のように「人や物事に興味を持つこと」の意味を表す場合、日本語では「関心」を用いるが、中国語では“对异性的兴趣”のように“关心”ではなく“兴趣”で対応する。日本語の「関心」と「興味」は似たような意味を持つが、「関心」は物事に「面白み」がない場合でも、理性的な態度で知りたい場合によく使われ、「興味」は人にとって対象が面白いと感じられ、注意を払ったり知りたいと思う場合に用いられる。この点において両者は大きく異なる。また日本語の「関心事」「関心度」「無関心」の「関心」は「興味」には置き換えられない。一方、「興味深深／興味津津」「興味本位」「興味半分」の「興味」も「関心」には置き換えられない。(7)中国語の“便利”が、“便利居民”のように動詞として用いられる場合、日本語では「便利」ではなく「便宜を図る」と訳す。また中国語の“便利店”は日本語の「コンビニ」で対応する。日本語の「便利」と「重宝」は同じく「うまく役に立つさま」という意味を表す。しかし「重宝」が「便利」と異なる点は、「買い物に重宝な町だ」「そこは電車を利用するのに重宝だ」とは言わないことだ。「何かをするのに好都合」という意味はない。また「重宝」は「そのソフトを重宝する」「これを重宝がる」のように、文法上「便利」にはない「～する」「～がる」という形を用いることが多い。(8)中国語の“学习”と日本語の「学習」は「学校などで基礎的知識を学び習うこと」を表す点において共通している。しかし“学习种地”“学习人家的长处”のように「学校以外の場所で見習うなど実践により何らかの技能を身に付ける」という意味を表す場合、中国語では“学习”を使うが、日本語では「学習」ではなく、「畑仕事を学ぶ」「他人の長所を学ぶ」のように「学ぶ」「見習う」で対応する。また中国語の“学习”は日本語に比べて意味の幅が広い。日本語に

訳す場合、「学習」以外に、“向他学习”は「彼に学ぶ」、「学习钢琴」は「ピアノを習う」、「学习不够」は「勉強不足」、「学习艺技」は「芸を見習う」など、「学ぶ」「見習う」「習う」「勉強する」などで対応する。日本語の「学習」は「知識や技能などを学ぶこと」を意味し、学校で学ぶことを表す場合によく用いられる。「学習者」「学習漢字」「学習指導要項」「学習の手引き」などがそれである。「勉強」は「学習」と同様、学校で学ぶことを表すが、学校以外の訓練センターなどでデザインや美容などの技能を学び、身につける場合にも用いることができ、「学習」よりかなり幅広く使われている。また日常会話では「もっと学習しなさい」より「もっと勉強しなさい」、「学習がよくできる子だ」より「勉強がよくできる子だ」の方がよく用いられる。「学習」は「勉強」と比べて改まった場合に用いられる文章語である。(9)中国語の“病人”は「なんらかの病気にかかっている人」という意味を表す点において、日本語の「病人」と共通している。しかし中国語の“病人”は病院で治療を受ける人を医者、看護師から見て言う以外に、不健全な状態、ひどい状態に陥っている物事を喩える意味にも用いられる点が、日本語の「病人」との大きな違いである。日本語の「患者」は病気にかかり、病院で世話になっている者を医者や看護師から言う場合に使われ、中国語の“病人”と意味的に重なる部分もあるが、日本語の「病人」とはかなり異なる。(10)中国語の“准备”と日本語の「準備」は意味も同じで、同形の漢字語で対応できる場合が多いが、“准备”は「～するつもりだ」「～する用意がある」「望ましくない事態や結果などに備える」という意味をも表し、日本語の「準備」との違いがうかがえる。「準備」と「用意」は前者は大きな事を長い時間をかけて着々と進めるという意味を表し、後者は比較的小さいことを表す場合に使われる。また「準備」は、ある事のために行う行為が終わったことが目に見える場合と見えない場合に使われるが、「用意」は目に見える場合にしか使われない。(11)中国語の“作用”と日本

語の「作用」は、同じく他の物事に影響を与えるという意味を表す。“作用”は「役割を果たす」「働きをする」「効き目がある」という意味にも使われるが、「作用」には置き換えられない。日本語の「役割」と「作用」の最大の違いは、前者は「割り当てられた役目、任務」を意味し、「他とのつながり」には焦点を当てないが、後者は「他に影響を及ぼすこと。またその働き」という意味で、常に「他とのつながり」に焦点を当てる。また「役割」は名詞、「作用」は名詞のみならず、サ変動詞としても使われる。

第2節では、「運命、命運」など漢字の順序が逆さになる漢字類義語（反転語）の意味的相違、また日本語と中国語における漢字同形語の意味的相違について考察した。(1)日本語の「運命」と「命運」は「国の運命」「国の命運」のように同じ意味として用いられる場合がある。「運命」は「運命がかかる」「運命を決める/賭する/迎える/変える/予言する/予知する/読み取る」のように「これからの行く末」を強調する。一方、「命運」は「命運が尽きる/絶える」のようにこれまでの過程を強調する。また「運命」の前に「悲しい」「苛酷」「処刑される」のような形容詞、形容動詞、動詞からなる修飾語が置かれるが、「命運」の前には修飾語は置かない。さらに「命運」は「存亡・存続に関わる重大な運命・出来事」という意味から転じて、「命運が尽きる/絶える」の形を持って「寿命」という意味を表すこともできるが、「運命」はその場合には用いられない。現代中国語では“运命”を使わず、“命运”だけを用いる。日本語の「運命」と「命運」を中国語に訳すと、いずれも中国語の“命运”になる。そのほか“宿命”“命”“前途”“命数”“气数”などと訳す場合もある。(2)日本語の「平和」と「和平」はいずれも争いなどがなくなった状態を表し、意味的にも近いが、「平和」が日常語であるのに対し、「和平」は文章語で日常会話ではあまり用いられないという違いがある。また日常生活に不安やもめごとなどがなく、穏やかで和やかな状態を示す場合、「平和」は使うが、「和平」

は使わない。「和平」は専ら国と国の関係を表す場合に使われるが、「平和」は心の状態を表す場合によく使われる。さらに「平和」は形容動詞として「平和な」「平和に」「平和そうな」という形で用いられるが、平和な状態を実現するための仲直りや平和な状態への変化を表す「和平」は名詞であるため、「～な」「～に」という形が取れず、「和平の～」、「和平が」などの形で用いられることが多い。日本語の「平和」を中国語に訳す場合、“和平”と“平和”で対応することができるが、「和平」を訳す場合は、“和平”のほかに“议和”“和解”などで対応することが多い。(3)「習慣」と「慣習」は「ある国や地域におけるならわし」という意味を表す場合に使われるが、「習慣」より「慣習」の方が文章語的である。「習慣」は伝統的習慣を表す場合に用いられ、「慣習」は地域、業界などのルール・習慣を指すことが多く、「商慣習」「国際慣習」「地域慣習」のように「～慣習」の形でがよく用いられるという特徴がある。また日本語では「小説を読む習慣」「彼の習慣」のように「個人におけるならわし」という意味を表す場合、「習慣」を使うのに対し、「慣習」は社会的に決まっているものだけを表すため、そのような場合には使わない。さらに「習慣」は「食」「生活」「風俗」などの漢語と組み合わせて「食生活」「生活習慣」「風俗習慣」のような複合語を作ることができるが、「慣習」は「法」や「商」などの漢語と組み合わせて「商慣習」や「慣習法」のような複合語となる。「習慣」は個人や民族、社会のルールなどに幅広く使うが、「慣習」は規定されたあるいは一般に受け入れられたしきたり、規範、社会的規範、集団や社会のルールというイメージが強い。中国語では“习惯”がよく使われ、“惯习”は使われなくなっている。日本語の「習慣」は通常、中国語では“习惯”と訳されるが、「慣習」は“习惯”のほかに“习俗”“惯例”などにも訳される。また日本語の「習慣」と「慣習」はいずれも名詞としてのみ用いられるが、中国語の“习惯”は名詞のほかに動詞としての用法もあり、この場合の“习惯”は日本語では「～

に慣れる」という表現で対応するのが適切である。(4)「愛する人、親しい人と別れる」という意味を表す場合、「別離」と「離別」の両方が使われるが、「離別」の方が「別離」よりも使用頻度が高い。「離別」が「夫婦の関係を断つこと、離婚すること」を表すのに対して、「別離」にはその意味がない。「別離」は「別離の言葉」「別離の涙」など、別れの瞬間そのものが焦点となり感傷的な雰囲気が生じる。これに対して「離別」は離婚など二人が別れて別々に生活をするというところに重きが置かれる。「別離」は名詞として「別離の涙」、「別離の脅し」などの形で用いられるが、「離別」は名詞、サ変動詞として「離別の日」、「夫と離別した」のように使われることが多い。「愛する人、親しい人と別れる」意を表す「離別」と「別離」を訳す場合、中国語では“离别”と“别离”で対応することができるが、「離婚」という意味を表す「離別」は“离婚”で対応する。また「別れる対象」が「人」ではなく、「物」である場合の「離別」と「別離」は、「国民新党と離別する」(离开国民新党)、「周囲の物との別離」(与周围事物的脱离)のように、“离开”“脱离”などで対応することが多い。“离别母校”“别离了家乡”のように、中国語の“离别”と“别离”は「親しんだ場所を離れる」という意味を表し、動詞として使われるが、この場合日本語では「別離」「離別」ではなく、「～を離れる」という表現で対応する。(5)日本語の「苦勞」と「勞苦」はいずれもあれこれと骨を折ったり苦しい思いをしたりすることを表す。「苦勞」は肉体的な場合にも精神的な場合にも同じように使われるが、「勞苦」はわずらわしさや気苦勞といった精神面なものより、体の「苦」の方に重点が置かれる。「苦勞」は日常的によく用いられ、「勞苦」は文章語である。また「苦勞」は名詞、形容動詞、自サ変という品詞を持っているが、「勞苦」は名詞の働きしかない。「苦勞」は文中で述語、修飾語、対象語として用いられ、「勞苦」は文中で主語や対象語として用いられる。さらに「苦勞」は「ご苦勞」や「ご苦勞さま(さん)」の形で挨拶の言葉として相手

の手間や努力をねぎらう場合によく用いられる。このほかに「一苦勞」「氣苦勞」「苦勞人」「苦勞性」「取り越し苦勞」のような「苦勞」を伴う慣用表現は多いが、「勞苦」には見られない。現代中国語では、“勞苦”は「勤勉、骨が折れる」、 “苦勞”は「ある仕事のために苦勞した、何らかの貢献をした」という意味を表す。二語とも“不辭勞苦”（苦勞を辞さない）、“勞苦功高”（苦勞を重ね、功績を挙げる）、“勞苦大眾”（勤勞大衆）のように熟語で使われるほか、“沒有功勞，也有苦勞”（功績がなくても、苦勞はちゃんとしてきた）のように“功勞”の対句として用いられる。日本語の「苦勞」と「勞苦」は中国語に訳される場合、“苦勞”と“勞苦”ではなく、“辛勤工作”“努力”“辛苦”“艰辛”“头疼”など多彩な言葉で対応する。